取扱説明書

FOMA® SA702i ’06.6

かんたん検索／目次／注意事項
ご使用前の確認
電話のかけかた／受けかた
テレビ電話のかけかた／受けかた
電話帳
音／画面／照明設定
あんしん設定
カメラ
iモード／iモーション
メール
iアプリ
iチャネル
GPS機能
データ表示／編集／管理
音楽再生／FMラジオ
その他の便利な機能
ネットワークサービス
データ通信
文字入力
付録／外部機器連携／困ったときには
索引／クイックマニュアル



ドコモ　W-CDMA 方式

このたびは、「FOMA SA702i」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書および電池パックなど機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、裏面の総合お問い合わせ先までお問い合わせください。
FOMA SA702iは、あなたの有能なパートナーです。大切にお取扱いのうえ、末永くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社、日本ジオトラスト株式会社
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.

はじめてFOMA端末をお使いになる方へ

- 本FOMA端末が「はじめてのFOMA端末」という方は、まず、本書を以下の順序でお読みください。FOMA端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひととおりご理解いただくことができます。

1. 電池パックをセットし、充電しましょう。→P41、42
2. 電源を入れ初期設定を行い、自分の電話番号を確認しましょう。→P48、49 、51
3. 本体のボタンなど役割を確認しましょう。→P28
4. 画面に表示されるアイコンなどの意味を確認しましょう。→P30
5. メニューの操作方法を確認しましょう。→P34
6. 電話のかけかた／受けかたを確認しましょう。→P53

本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
-「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
  http://www.nttdocomo.co.jp/support/manual/download/index.html

※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかたについて

本書では、FOMA端末を正しくお使いいただくために、操作のしかたをイラストやマークを交えて説明しています。

本書の引きかたについて

本書では、次のような検索方法で、お客様の用途に応じて、機能やサービスの説明ページを探すことができます。

次ページで詳しく説明しております。

索引から →P406

FOMA端末のディスプレイに表示されている機能の名称や、あらかじめ機能名・サービス名がわかっている場合は、ここから探します。

かんたん検索から →P4

よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。

表紙インデックスから →表紙

表紙のインデックスを使用して、本書をめくりながら探します。

目次から →P6

機能ごとに分類された目次から探します。

特徴から →P8

新機能や便利な機能など、FOMA端末の特徴的な機能をご利用になりたい場合はここから探します。

メニュー一覧から →P360

FOMA端末のメニューに表示されるメニューを一覧表でまとめております。

クイックマニュアルから →P412

基本的な機能について簡潔に説明しております。外出の際に切り離してお持ちいただけます。

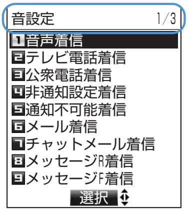
- この「FOMA SA702i取扱説明書」の本文中においては、「FOMA SA702i」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の中ではminiSDメモリーカードを使用した機能の説明をしておりますが、その機能のご利用にあたっては、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードについて→P287
- 本書では、お買い上げ時の設定をもとに説明しています。設定の変更によってFOMA端末の表示内容が本書の記載と異なる場合があります。
- 本書に掲載されている画面およびイラストはイメージですので、製品の画面とは異なる場合があります。
- 本書の内容を一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

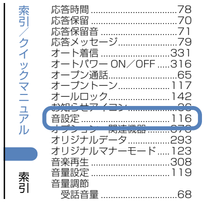
音設定の引きかたを例として説明します。

索引から

→P406

FOMA端末のディスプレイに表示されている機能の名称や、あらかじめ機能の名称やサービスがわかっている場合はここから探します。



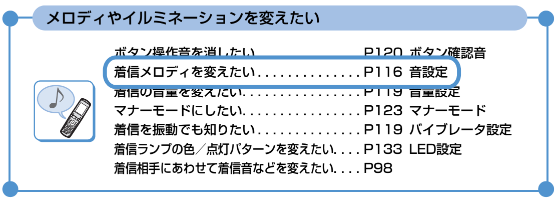


P116「音設定」の説明ページへ

かんたん検索から

→P4

よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。

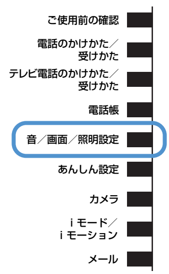


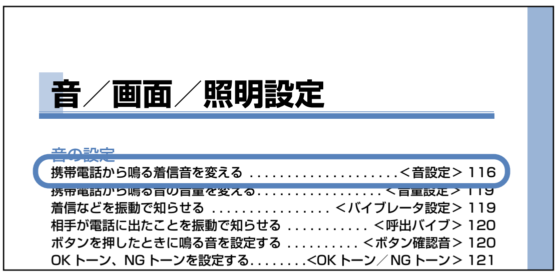
P116「音設定」の説明ページへ

表紙インデックスから

→表紙

「表紙」→「章扉（章の最初のページ）」→「説明ページ」の順に設定したい機能の説明ページを探します。章扉には詳しい目次を記載しております。





P116「音設定」の説明ページへ

機能名称：
索引には、この名称を
記載しています。

お買い上げ時の設定を
記載しています。
また、「メニュー一覧」
にもお買い上げ時の
設定を一覧で記載して
います。→P360

音設定

携帯電話から鳴る着信音を変える

電話やメールの着信音、操作時の確認音や位置情報の通知・確認音を設定します。

- ｉモーションを着信音に設定すると、着信時にｉモーションの映像と音声が再生されます。（着モーション）

各機能を利用する
場合に必要な注意
事項を記載しています。

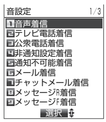
着信音や着モーションを変更する

お買い上げ時	音声／テレビ電話着信：The Space 公衆電話／非通知設定／通知不可能着信：パターン4 メール／メッセージR/F着信：エレクトリック チャットメール着信：ハープ

画面／照明設定

音設定

1 ●▶（設定）▶ 1 ▶ 2 を押す



各手順を操作する際の
ポイントとなる画面を
表しています。お使いの
FOMA端末と照らし
合わせてご覧ください。
（数値や設定、任意に
入力する文字などは
すべて一例です）

インデックスから
章、機能ごとに
検索できます。

2 1～9を押す

音声着信	音声電話の着信時の設定です。
テレビ電話着信	テレビ電話の着信時の設定です。
公衆電話着信	公衆電話などからかかってきた電話の着信時の設定です。
非通知設定着信	非通知設定でかかってきた電話の着信時の設定です。
通知不可能着信	国際電話や、一般電話から各種転送サービスを経由しての着信時などの設定です。（経由する電話会社により発信者番号が通知される場合もあります。）
メール着信	メールの着信時の設定です。
チャットメール着信	チャットメールの着信時の設定です。
メッセージR着信	メッセージRの着信時の設定です。
メッセージF着信	メッセージFの着信時の設定です。

各項目の説明や
操作方法を記載
しています。

画面に表示される
項目と説明を記載
しています。

お知らせ

●映像のみのｉモーションなど、ｉモーションによっては着信音に設定できない場合があります。
●着信音に映像と音声が含まれるｉモーションを設定した場合は、着信画像もそのｉモーションに変更されます。ただし、音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）の場合は、着信画像は変更されず、設定された画像が表示されます。
●着信音の設定が重なっているときは次のような順番で優先されます。
①電話帳の個別着信の設定
②電話帳のグループ着信の設定
③音設定の設定
ただし、マルチナンバーにお申し込みいただき、付加番号に設定している場合は、付加番号の設定に従います。
→P342
●着信音に映像と音声が含まれるｉモーションを設定したときは、電話帳の基本情報に静止画を設定している相手から着信があっても設定した静止画は表示されず、ｉモーションが再生されます。ただし、音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）のときは、設定された静止画が表示されます。

各機能を利用する
場合に参考となる
内容を記載しています。

116

ページ数

- ページはイメージです。本文中のページと異なります。

かんたん検索

知りたい機能や操作方法から調べるときにご活用ください。

通話に便利な機能を知りたい



電話番号を知らせたい／知られたくない . . P51　発信者番号通知
携帯電話と向き合って通話をしたい . . . . . P83　ハンズフリー通話
相手の声の音量を変えたい . . . . P68　受話音量
通話を保留したい . . . . P55　通話中保留

出られない電話をこうしたい



用件を録音したい . . . . P76　伝言メモ
留守番電話に録音したい . . . . P338　留守番電話
応答を保留したい . . . . P70　応答保留

メロディやイルミネーションを変えたい



ボタン操作音を消したい . . . . P120　ボタン確認音
着信メロディを変えたい . . . . P116　音設定
着信の音量を変えたい . . . . P119　音量設定
マナーモードにしたい . . . . P123　マナーモード
着信を振動でも知りたい . . . . P119　バイブレータ設定
着信ランプの色／点灯パターンを変えたい . . . . P133　LED設定
着信相手にあわせて着信音などを変えたい P98

画面表示を変えたい／知りたい



待受画面を変えたい . . . . P125　待受画面設定
待受画面にカレンダーを表示させたい . . . . P126　時計／カレンダー設定
時計を合わせたい . . . . P50　日付時刻設定
文字の大きさを変えたい . . . . P135　文字サイズ変更
画面のマーク（アイコン）の意味を知りたい . . P30

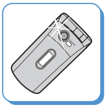
＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

メールを使いこなしたい



デコメールを送りたい................P211 デコメール
画像を送りたい....................P214 メロディ／画像／動画／iモーションメール
メールを自動で振り分けて保存したい....P223 自動振り分け設定
メールアドレスを確認・変更したい.....P205
チャットメールを利用したい..........P232 チャットメール作成・送信

カメラを使いこなしたい



撮影するサイズを変えたい............P168
シャッター音を変えたい..............P171
ライトを点灯したい.................P168
miniSDメモリーカードに直接保存したい...P171 保存先設定
撮影した画像を表示したい............P275

安心して電話を使いたい



電話帳の内容を知られたくない.........P148 シークレットモード
番号非通知の電話を受けたくない.......P150 非通知理由別着信拒否
電話帳にない人からの電話を受けたくない....P152 電話帳登録外着信拒否
サイドボタンをロックしたい..........P147 サイドボタン操作有効／無効

こんなこともできます



目的地までの道を調べたい............P258 ナビゲーション
よく使う機能を簡単に呼び出したい........P326 ジャンプメニュー
電卓として使いたい.................P329 電卓
QRコードやJANコードを取り込みたい.....P172 バーコードリーダー
赤外線で情報をやり取りしたい.........P298
目覚ましとして使いたい..............P316 アラーム
GPS機能を使いたい..................P255
miniSDメモリーカードを使いたい......P287
FMラジオとして使いたい..............P309
最新のソフトウェアにしたい..........P387 ソフトウェア更新
セキュリティを最新の状態にしたい.....P392 スキャン機能

その他の操作の引き方については、表紙裏面の「はじめてFOMA端末をお使いになる方へ」をご参照ください。
よく使う機能などの操作手順をクイックマニュアルとして案内しております。→P412

目 次

FOMA端末のご使用にあたって …… 表紙裏
はじめてFOMA端末をお使いになる方へ …… 表紙裏
本書の見かた／引きかたについて …… 1
かんたん検索 …… 4
FOMA SA702iの特徴 …… 8
FOMA SA702iを使いこなす！ …… 10
安全上のご注意（必ずお守りください） …… 12
取扱い上の注意について …… 21
知的財産権について …… 24
本体付属品および主なオプション品について …… 26

ご使用前の確認 27
各部の名称と機能　ディスプレイの見かた　メニューの選択方法　FOMAカードを使う　電池パックの取付けかた／取外しかた　充電　電池残量　電源ON／OFF　日付時刻設定　発信者番号通知　プロフィール　など

電話のかけかた／受けかた 53
かけかた　リダイヤル　国際電話　受けかた　エニーキーアンサー　オープン通話　クローズ動作　着信履歴　応答保留　公共モード（ドライブモード）　伝言メモ　など

テレビ電話のかけかた／受けかた 81
かけかた　受けかた　送信映像の設定　テレビ電話の画面表示設定　など

電話帳 93
電話帳登録　グループ編集　電話帳検索　シークレット設定　直デン　など

音／画面／照明設定 115
音設定　バイブレータ設定　マナーモード　待受画面設定　照明設定　LED設定　Select language　など

あんしん設定 137
暗証番号　端末暗証番号変更　PIN コード　オールロック　セルフモード　PIMロック　ダイヤル発信制限　シークレットモード　着信拒否　など

カメラ 155
静止画撮影　動画撮影　撮影時の設定　バーコードリーダー　文字リーダー　など

ｉモード／ｉモーション 177
ｉモード　サイト表示　ｉモードパスワード変更　インターネット接続　ブックマーク　ｉモード設定　メッセージR／F　証明書操作　ｉモーション　ｉモーション取得　など

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

メール　203
iモードメール作成・送信　デコメール　ファイル添付　iモードメール保存
iモードメール受信　iモード問合せ　iモードメール返信　iモーションメール
メロディ再生／保存　メール設定　チャットメール　SMS作成・送信　など

iアプリ　239
ダウンロード　iアプリ実行　iアプリTo機能　iアプリ待受画面設定　など

iチャネル　251
iチャネル表示　iチャネル設定

GPS機能　255
現在地確認　ナビゲーション　GPSソフト　位置提供　現在地通知　など

データ表示／編集／管理　273
静止画／動画再生　静止画／動画編集　メロディ再生　miniSDメモリーカード
フォルダ／データ管理　赤外線通信　ボイスレコーダー　など

音楽再生／FMラジオ　305
ミュージックプレイヤー　FMラジオ

その他の便利な機能　313
マルチアクセス　マルチタスク　アラーム　スケジュール　ジャンプメニュー
プロフィール　通話中音声メモ　時間／料金　電卓　テキストメモ　通話上限値設定
設定リセット　データ一括削除　英単語辞書　など

ネットワークサービス　337
留守番電話サービス　キャッチホン　転送でんわサービス　迷惑電話ストップサービス
番号通知お願いサービス　デュアルネットワークサービス　英語ガイダンス
サービスダイヤル　着信動作選択　遠隔操作設定　など

データ通信　345
データ通信の流れ　ATコマンド

文字入力　349
文字入力　定型文／顔文字編集　文字コピー　区点コード入力　ユーザー辞書登録
ダウンロード辞書　入力予測　2タッチ方式　など

付録／外部機器連携／困ったときには　359
メニュー一覧　ダイヤルボタンの文字割当て一覧　区点コード一覧
マルチアクセス／マルチタスクの組み合わせ　オプション・関連機器
データリンクソフト　動画再生ソフト　故障かな？と思ったら、まずチェック
エラーメッセージ一覧　保証とアフターサービス　ソフトウェア更新　スキャン機能
主な仕様　携帯電話の比吸収率（SAR）について　など

索引／クイックマニュアル　405

FOMA SA702iの特徴

FOMAは、第三世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格の１つとして認定されたW-CDMA 方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

ｉモードだからスゴイ！

ｉモードは、ｉモード端末のディスプレイを利用して、ｉモードメニューサイト（番組）やｉモード対応ホームページから便利な情報をご利用いただけるほか、手軽にメールのやりとりができるオンラインサービスです。

- ｉモード→P178
- ｉモードメール→P204
- ｉモーションメール→P207
- ｉモーション→P201
- ｉショット→P206

SA702iの主な特徴

テレビ電話→P81

離れている相手と顔を見ながら会話することができます。相手の声をスピーカーから聞こえるようにしたり、アウトカメラに切り替えて周囲の風景を相手に見せたりすることもできます。

デコメール→P211

メール本文の文字の色、大きさや背景色を変えたり、デコメールピクチャや内蔵カメラで撮影した写真を本文中に挿入できるなど、表現力豊かなメールを作成し、送信できます。またテンプレートに対応しているので、送られてきたデコメールやサイトからダウンロードしたデコメールの様式を利用し、簡単にデコメールを作成できます。

ｉチャネル→P252

ニュースや天気などのグラフィカルな情報を受信できます。定期的に情報を受信し、最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、ｉチャネル対応ボタンを押すことで、見ることができるチャネル一覧を表示できます。さらにチャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。またｉチャネルを申し込んだことがない場合、一定期間、サービス利用料無料でおためしサービスを利用できます。

ｉアプリ、ｉアプリDX→P239

様々なｉアプリをサイトから取り込んで活用したり、それらを待受画面に設定したりできます。さらにｉアプリDXでは、電話帳やメールなどｉモード端末内の情報と連動することで、よりｉアプリの楽しみ方が広がります。

豊富なネットワークサービス

- 留守番電話サービス（有料）※1→P338
- 転送でんわサービス※1→P340
- キャッチホン（有料）※1→P339
- SMS（ショートメッセージ）※2→P235
- デュアルネットワークサービス（有料）※1→P341

※1 お申し込みが必要です。　※2 お申し込みは不要です。

あんしん設定

暗証番号を設定してプライバシーを保護したり、第三者に勝手に見られたり通信されたりしないように、オールロックやセルフモードなどの設定ができます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

その他の多彩な機能

GPS機能→P255

GPS衛星から発信される電波を利用して、FOMA端末の位置情報を取得します。取得した位置情報から以下のようなサービスが利用できます。

- **今いる場所の地図や周辺情報を見る、探す**
  取得した位置情報を送信して地図を表示したり、周辺情報を簡単に探したりできます。
- **メールで自分の場所やお気に入りの場所を送る**
  位置情報をメール本文に貼り付けることができます。また、受け取ったｉモード利用者が地図などで場所を確認できます。
- **電話帳や画像に位置情報を登録する**
  お店などの位置情報を電話帳などに埋め込み、お店の場所を地図などにて確認できます。
  撮影した静止画に、撮影場所などの位置情報を埋め込み、のちほど地図などにて確認できます。
- **GPS機能対応のｉアプリを使う（GPSソフト）**
  位置情報を利用した便利なｉアプリを使えます。
- **ナビゲーションを使う**
  取得した位置情報を利用して目的地までのナビゲーションを行えます。

充実のカメラ機能→P155

FOMA端末には有効画素数約130万画素（最大記録画素数約120万画素）のCCDカメラが搭載されており、最大SXGAサイズの静止画が撮影できます。フレームや特殊効果をつけて撮影したり、連続撮影が行えます。
また、FOMA端末は最大QCIFサイズの動画が撮影できます。

文字リーダー→P174／バーコードリーダー→P172

FOMA端末に内蔵のカメラを使って電話番号やメールアドレスなどを読み取って、電話帳登録やｉモードメールなどが作成できます。また、読み取った英単語を翻訳することができます。
バーコード（JANコード、QRコード）を読み取ることもできます。

マルチタスク→P315

複数の機能を同時に起動させて、画面を切り替えながら操作できる機能です。例えば、音声電話通話中に電話帳を見たり、テキストメモを見ながらメールを作成したりできます。

miniSDメモリーカード対応→P287

miniSDメモリーカード規格に対応しているため、外部機器に保存している画像やメロディ、音楽データなどをFOMA端末で利用できます。
miniSDメモリーカードに保存した動画や音楽データはFOMA端末で再生できます。（一部条件下では再生できない場合があります）
またFOMA端末内の画像や電話帳、メールなどをminiSDメモリーカードを使って外部機器に保存しておくことができます。

FMラジオ→P309

FMラジオ放送とテレビ放送（1ch～3ch）の音声を聴くことができます。聴きたいエリアを選択することで、ダイヤルボタンを押して放送局を選ぶことができます。また、放送内容を録音することもできます。

メロディ→P287

FOMA端末には最大64和音のPCM音源によるメロディが内蔵されており、電話やメールの着信音に設定できます。またサイトからPCM音源の臨場感のあるメロディを取り込んで利用することができます。

赤外線通信→P298

赤外線通信機能が搭載されたFOMA端末や携帯電話などとの間で電話帳やメール、画像、メロディなどの送受信ができます。

Flash® 対応→P181

ｉモードサイトで使用されているFlashの動画やアニメーションをFOMA端末で楽しむことができます。また、Flashのアニメーションなどをダウンロードして、待受画面に設定できます。

直デン→P111

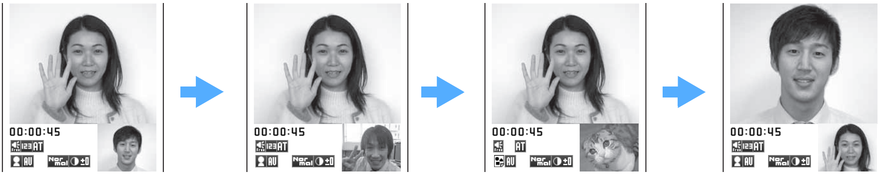
よく連絡する相手を登録しておくと、簡単な操作でスピーディーに電話をかけたり、メールを送信したりできます。また、登録した相手の着信履歴・リダイヤルや送受信メールだけを選び出して一覧表示することができます。

FOMA SA702iを使いこなす！

FOMA SA702iの多彩な機能を画面表示によって紹介します。

テレビ電話 →P82

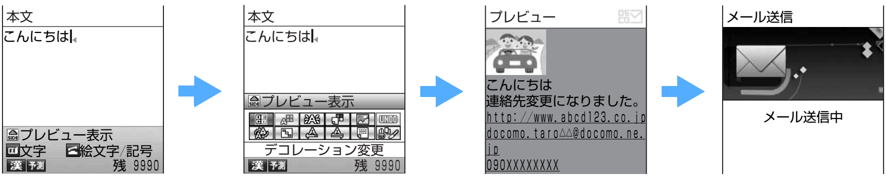
テレビ電話では、送信画像を簡単に切り替えることができます。インカメラ、アウトカメラを切り替えたり、データBOX内の画像を表示させたりできます。



インカメラで自分の画像を表示　アウトカメラで周囲の映像を相手に送信　データBOX内の画像を代替画像として送信　表示画面の大きさも入れ替え可能

デコメール→P211、213

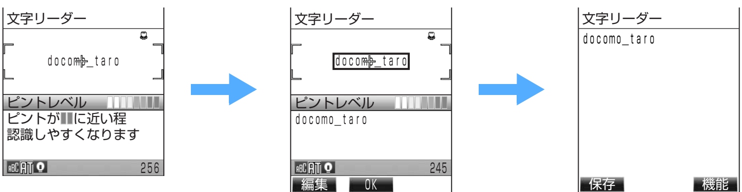
文字の色や背景色などを変えたり、デコメールピクチャや内蔵カメラで撮った写真を入れたカラフルで楽しいメールを簡単に送信できます。



本文を入力　パレットを表示　プレビューを表示　デコメールを送信

文字リーダー →P174

FOMA端末に内蔵のカメラを使って、電話番号やメールアドレスなど読み取ることができます。読み取ったデータを電話帳に登録したり、メールを送るなどさまざまな活用が可能です。



文字リーダー起動　文字読み取り　文字入力時に利用

直デン→P111

よく連絡する相手を直デンに登録しておくと、簡単な操作でスピーディーに電話をかけたり、メールを送信したりすることができます。



電話帳を直デンへ登録



で直デン画面を表示

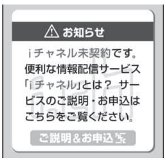


相手と項目を選ぶだけの簡単操作

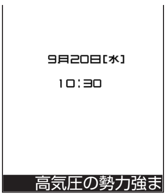
ｉチャネル→P252

自分で操作することなく、いろいろな情報を定期的に受信します。また、ｉチャネル対応ボタンを押すと、チャネル一覧を表示することができます。チャネル一覧から詳しい情報を取得することができます。

■ 未契約

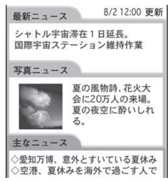


■ 契約後



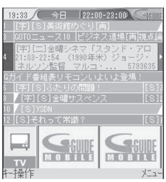


接続



Gガイド番組表リモコン→P244

FOMA端末にあらかじめ登録されているｉアプリ「Gガイド番組表リモコン」を使うと、いつでも知りたい時間の番組情報が取得できます。また、FOMA端末の赤外線通信機能を利用して、テレビのリモコン操作ができます。



番組表でGコード®を見ることができます。



サーバに接続して番組の詳細情報を取得できます。

- 画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じたチャンネルが表示されます。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠ 危険	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取扱いについて（共通）. . 13
FOMA端末の取扱いについて 14
電池パックの取扱いについて 16
アダプタ（充電器含む）の取扱いについて 18
FOMAカードの取扱いについて 19
医用電気機器近くでの取扱いについて 20

FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取扱いについて（共通）

⚠危険

指示
FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

電池パック SA03
卓上ホルダ SA03
FOMA ACアダプタ 01
FOMA DCアダプタ 01
FOMA海外兼用ACアダプタ 01
FOMA乾電池アダプタ 01

※その他互換性のある商品については、ドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

水濡れ禁止
濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ると、発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

分解禁止
分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。
また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止
火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。
機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。
また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

⚠警告

禁止
強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止
電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）、FOMAカードを入れないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

禁止
ガソリンスタンドなど、引火、爆発の恐れがある所では、使用しないでください。
プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

禁止
充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災や故障の原因となります。

指示
使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、ただちに次の作業を行ってください。
1. 電源プラグをコンセントやソケットから抜く。
2. FOMA端末の電源を切る。
3. 電池パックをFOMA端末から取外す。
そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取扱いについて（共通）（つづき）

⚠注意

指示
乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

禁止
湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
故障の原因となります。

指示
子供が使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

禁止
ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。

指示
充電、または動画撮影や再生、テレビ電話、ｉモード、ｉアプリの繰り返しや長時間連続使用などの場合においてFOMA端末や電池パック・アダプタ（充電器含む）の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じるおそれがあります。
FOMA端末をアダプタ（充電器含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

FOMA端末の取扱いについて

⚠警告

禁止
自動車などを運転中に使用しないでください。
2004年11月1日から、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となっております。ハンズフリーキットをご利用の場合でもクルマを安全な場所に停車してからご利用ください。運転中は、公共モードまたは留守番電話サービスをご利用ください。

指示
ハンズフリーに設定して通話する場合は、必ずFOMA端末を耳から離してください。
難聴になる可能性があります。

指示
高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示
心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える可能性があります。

警告

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。
また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

禁止

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。
FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

指示

屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。
落雷、感電の原因となります。

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に影響を与える可能性があります。
また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。
エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてフラッシュ／ライトを点灯しないでください。
目がくらんで運転ができなくなり、事故の原因となります。

注意

禁止

FOMA端末内のFOMAカード挿入口やminiSDメモリーカードスロットには、水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、感電、故障の原因となります。

禁止

内蔵のカメラのレンズに太陽光などの強い光が進入する状態で長時間放置しないでください。
レンズの集光作用により、火災が発生する原因となります。

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。
本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

FOMA 端末の取扱いについて（つづき）

⚠注意

禁止
磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

指示
自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。
安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

禁止
フラッシュ／ライトをカメラ撮影以外の用途に使用しないでください。
カメラが終了するとフラッシュ／ライトは消灯します。急に暗くなり、事故の原因となります。

指示
誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。
液晶が目や口に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。
失明や皮膚に傷害をおこす原因となります。

禁止
FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。
けがなどの事故や破損の原因となることがあります。

電池パックの取扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止
端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示
電池パック内部の液体が目のなかに入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

電池パックの取扱いについて（つづき）

⚠危険

禁止 **火の中に投下しないでください。**
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止 **釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。**
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止 **電池パックをFOMA端末や電池パック充電器に取付けるときに、うまく取付けできない場合は、無理に取付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取付けてください。**
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

⚠警告

指示 **電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。**
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示 **所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。**
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示 **電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。**
皮膚に傷害をおこす原因となります。

⚠注意

禁止 **一般のゴミと一緒に捨てないでください。**
発火、環境破壊の原因となることがあります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

アダプタ（充電器含む）の取扱いについて

警告

禁止
DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災の原因となります

濡れ手禁止
濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

禁止
コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

指示
指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、FOMA海外兼用ACアダプタ 01を使用してください。
ACアダプタ:
AC100V（国内の家庭用交流100Vコンセントのみに接続すること）
FOMA海外兼用ACアダプタ:
AC100～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DCアダプタ:
DC12V・24V（マイナスアース車専用）

禁止
雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）には触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

指示
DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

禁止
ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では、使用しないでください。
感電の原因となります。

電源プラグを抜く
万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットからプラグを抜いてください。
感電、発煙、火災の原因となります。

指示
ACアダプタをコンセントに差し込む時は、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

禁止
アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。
感電、発熱、火災の原因となります。

指示
プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災の原因となります。

アダプタ（充電器含む）の取扱いについて（つづき）

⚠警告

電源プラグを抜く
長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

禁止
電源プラグがコンセントから抜けない場合、無理に抜かないでください。
破損し、感電や故障の原因となります。

禁止
充電中は、卓上ホルダおよびACアダプタを安定した場所に置いてください。また、卓上ホルダおよびACアダプタを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

禁止
コンセントや配線器具の定格を超えた使用はしないでください。
タコ足配線などで定格を超えると、発熱、火災の原因となります。

⚠注意

電源プラグを抜く
お手入れの際は、コンセントやシガーライタソケットから抜いて、行ってください。
感電の原因となります。

禁止
アダプタ（充電器含む）のコードの上に重いものをのせたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

禁止
アダプタ（充電器含む）をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）のコードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

FOMA カードの取扱いについて

⚠注意

指示
FOMAカード（IC部分）を取外す際にご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

医用電気機器近くでの取扱いについて

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

指示

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

取扱い上の注意について

共通のお願い

- 水をかけないでください。
  - FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。
    調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証の対象外となり修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証の対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
  - FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。お取扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれたりすることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。
  - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などでふいてください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
  - 急激な湿度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- FOMA端末に無理な力がかかるような場所に置かないでください。
  - 多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。
- 電池パックやアダプタ（充電器含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

FOMA 端末についてのお願い

- 使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 極端な高温、低温は避けてください。
  - 温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ズボンやスカートの後ろポケットにFOMA端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、鞄の底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。
  - 故障、破損の原因となります。
- ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を折りたたまないでください。
  - 故障、破損の原因となります。

- ディスプレイやボタンのある面にシールなどを貼らないでください。
  - FOMA端末を折りたたんだときにボタンが押されるなどして誤動作したり、FOMA端末が損傷する恐れがあります。
- 通常はイヤホンマイク端子キャップ、外部接続端子キャップ、miniSDメモリーカードスロットのカバーをはめた状態でご使用ください。
  - ほこり、水などが入り故障の原因となることがあります。
- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
  - 傷つくことがあります。
- カメラを直射日光に向けて放置しないでください。
  - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。
  - 十分に充電しても使用状態によっても異なりますが、使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、温度が5℃～35℃の範囲で行ってください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの金属部分（端子）が汚れると、端末との接触が悪くなり電源が切れたりすることがあります。汚れたら乾いた布や綿棒などで拭いてからご使用ください。
- 直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所に保管してください。
  - 長時間使用しないときは、使い切った状態でFOMA端末から外し、電池パックを包装しているビニール袋などに入れて保管してください。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが若干膨れる場合がありますが問題ありません。

アダプタ（充電器含む）についてのお願い

- 次のような場所では、充電しないでください。
  - 周囲の温度が5℃未満、または35℃よりも高くなる場所
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
  - 車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
  - 故障の原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントを使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

FOMA カードについてのお願い

- FOMAカードの取外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
- ご使用になる端末への挿入には必要以上の負荷をかけないようにしてください。
- 使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- 他のICカードリーダ/ライタなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  - 万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- 極端な高温・低温は避けてください。
- ICを傷付けたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  - データの消失、故障の原因となります。
- FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- FOMAカードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- FOMAカードにシールなどを貼らないでください。

miniSD メモリーカードについてのお願い

- miniSDメモリーカード使用中は、miniSDメモリーカードを抜いたり、電源を切ったり、電池パックを取外したり、強い衝撃を与えないでください。
  - データが壊れる恐れがあります。
- miniSDメモリーカードにシールなどを貼らないでください。
- miniSDメモリーカードを廃棄する場合、保存内容が流出する恐れがありますので、保存内容を消去するだけでなく、物理的にminiSDメモリーカードを破壊したうえで処分することをおすすめします。他人に譲渡する場合も含めて、miniSDメモリーカードの保存内容については、お客様の責任において管理してください。

カメラについて

- お客様がFOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

本書に記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「mova」「ｉモーション」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉメロディ」「ｉアニメ」「mopera U」「mopera」「WORLD CALL」「WORLD WING」「公共モード」「ｉモーションメール」「ｉアプリDX」「ｉショット」「ｉエリア」「ショートメール」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「ｉアプリサーチ」「Vライブ」「ビジュアルネット」「セキュリティスキャン」「sigmarion」「musea」「DoPa」「パケ・ホーダイ」「デコメール」「着モーション」「クイックキャスト」「イマドコサーチ」「メッセージF」「トクだねニュース便」「My DoCoMo」「直デン」「マルチナンバー」「ｉチャネル」および「FOMA」ロゴ、「i-mode」ロゴ、「i-αppli」ロゴ、「直デン」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称およびフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズの商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。（Windowsの正式名称は、Microsoft® Windows® operating systemです。）
- JavaおよびJavaに関連するすべての商標は、米国およびその他の国において米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Multitask／マルチタスク」は日本電気株式会社の商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- 本製品はインターネット機能として、株式会社ACCESSのNetFrontを搭載しています。NetFrontは日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。Copyright© 1996-2006 ACCESS CO., LTD.
- JV-Liteは日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
- Macromedia、Flash、Macromedia FlashはMacromedia, Inc.の米国内外における商標または登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- miniSD™および はSDアソシエーションの商標です。（miniSD™メモリーカードをminiSDメモリーカードと表記しています。）
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の登録商標です。
- AdobeおよびReaderは米国およびその他の国におけるAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標または登録商標です。
- 『Gガイドモバイル』およびそのロゴ、『Gガイド』およびそのロゴは、米Gemstar-TVGuide International, Inc.またはその関係会社の日本国内における登録商標です。
- QuickTimeは、米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

- ©2006 Microsoft. All rights reserved. Microsoft, the Microsoft Game Studios® logo, Age of Empires®, Age of Empires 2 Gold Edition® and Ensemble Studios are either trademarks or registered trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
  ©2006 IN-FUSIO. Published by Media Socket Inc.
- その他、本取扱説明書に記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
  - Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
  - Windows Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
  - Windows 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
  - Windows 98SEは、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating systemの略です。
  - Windows NT Serverは、Microsoft® Windows NT® Server Network operating system Version 4.0の略です。
  - Windows XP、2000、Me、98のように併記する場合があります。
  - Windows 98とWindows 98SEをまとめてWindows 98と表記しています。

その他

- 本製品はMacromedia, Inc. のMacromedia® Flash® テクノロジーを搭載しています。
  Copyright© 1995-2006 Macromedia, Inc. All rights reserved.
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- 本製品はJava Virtual Machine 技術として、株式会社ACCESS のJV-Lite2 を搭載しています。
  Copyright© 2000-2006 ACCESS CO., LTD.
- 日本語変換は、オムロン ソフトウェア（株）のAdvanced Wnnを使用しています。
  “Advanced Wnn” © OMRON SOFT WARE Co.,Ltd. 2003-2006 All Rights Reserved.
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画やｉモーション（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;

4,901,307	5,600,754	5,267,261	5,506,865	5,710,784
5,504,773	5,416,797	5,568,483	5,228,054	5,778,338
5,109,390	5,490,165	5,414,796	5,544,196	
5,535,239	5,101,501	5,659,569	5,337,338	
5,267,262	5,511,073	5,056,109	5,657,420	

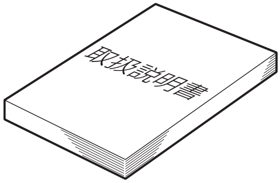
本体付属品および主なオプション品について

<本体付属品>

FOMA SA702i
（リアカバー SA03、保証書含む）

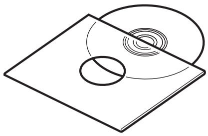


取扱説明書



※P412にクイックマニュアルを記載しております。

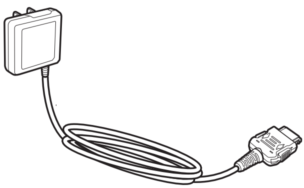
FOMA SA702i 用CD-ROM



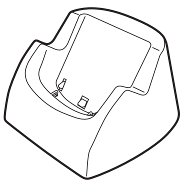
※PDF版「データ通信マニュアル」を収録しております。

<主なオプション品>

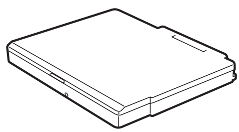
FOMA ACアダプタ 01
（保証書、取扱説明書付き）



卓上ホルダ SA03
（取扱説明書付き）



電池パック SA03
（取扱説明書付き）



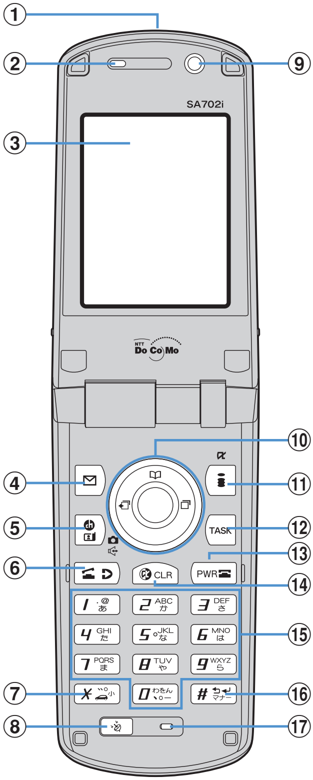
その他オプション品について→P378

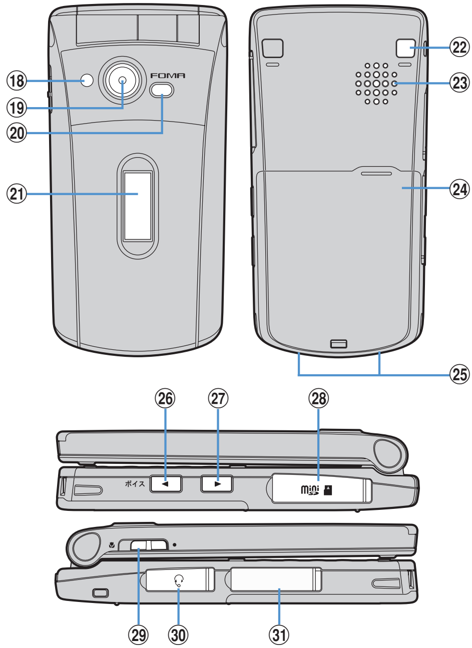
ご使用前の確認

各部の名称と機能 28
ディスプレイの見かた 30
メニューの選択方法. 34
ボタン操作を忘れてしまったとき . . . . <ガイド機能> 38
FOMAカードを使う 39
電池パックの取付けかた／取外しかた 41
携帯電話を充電する. 42
電池残量の確認のしかた . . . . <電池残量> 47
電源を入れる／切る. . . . . <電源ON ／OFF> 48
初期設定を行う . . . . <初期値設定> 49
日付・時刻を合わせる . . . . <日付時刻設定> 50
相手に自分の電話番号を通知する . . . . <発信者番号通知> 51
自分の電話番号を確認する . . . . <プロフィール> 51

各部の名称と機能

FOMA端末の各部の名称と機能は次のとおりです。





サイズ（mm）	質量（g）
高さ98×幅50×奥行き21 （折りたたみ時）	約104 （電池パック装着時）

① 赤外線ポート
赤外線通信でデータを送受信するときに使います。→P298

② 受話口
相手の声がここから聞こえます。

③ ディスプレイ→P30

④ メール／左フレキシブルボタン（✉）
メールメニューを表示します。→P208
1秒以上押すと、メール作成画面を表示します。→P209

⑤ iチャネル／テレビ電話開始（📺）／カメラボタン（📷）
チャネル一覧画面を表示します。→P253
テレビ電話を発信します。→P83
1秒以上押すと、静止画撮影画面を表示します。→P163

⑥ 音声電話開始／ハンズフリー／直デンボタン（📞）
音声電話を発信します。→P54
テレビ電話通話中に押すと、ハンズフリー通話のON／OFFを切り替えます。（音声電話通話中は1秒以上押します。）→P54、83
直デン画面を表示します。→P111

⑦ ＊／公共モード（ドライブモード）ボタン（＊）
「＊」、小文字、濁点などを入力します。→P350
1秒以上押すと、公共モード（ドライブモード）になります。→P73

⑧ GPSボタン（GPS）
GPSメニューを表示します。→P256
1秒以上押すと、現在地確認を行います。→P256

⑨ インカメラ→P156
自画像を撮影したり、テレビ電話で自画像を送信するときに使います。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

⑩ **カーソルボタン（）**
センターボタン（）
操作の実行、メニュー項目を決定します。→P32
1秒以上押すと、サイドボタン操作有効／無効を設定します。→P147
電話帳／上カーソルボタン（）
電話帳検索画面を表示します。→P103
上の項目を選択します。→P32
1秒以上押すと、電話帳新規登録ができます。→P95、99
下カーソルボタン（）
下の項目を選択します。→P32
着信履歴／左カーソルボタン（）
着信履歴を表示します。→P66
左の項目を選択します。→P32
1秒以上押すと、受信アドレス履歴を表示します。→P228
リダイヤル／右カーソルボタン（）
リダイヤルを表示します。→P56
右の項目を選択します。→P32
1秒以上押すと、送信アドレス履歴を表示します。→P228

⑪ **ｉモード／右フレキシブル（）／ｉアプリボタン（）**
ｉモードメニューを表示します。→P183
1秒以上押すと、ｉアプリフォルダ一覧画面を表示します。→P242

⑫ **タスクメニューボタン（TASK）**
タスクメニューを表示します。→P315

⑬ **電源／応答保留／終了ボタン（PWR）**
2秒以上押すと、電源を入れます／切ります。→P48
通話を終了します。→P54、83
着信中に押すと、応答を保留します。→P70
メニュー表示などを終了します。

⑭ **クリアボタン（CLR）**
入力した文字を消去したり、前画面に戻ります。

⑮ **ダイヤルボタン（1～0）**
電話番号を入力します。
文字や数字を入力します。

⑯ **#／マナーモード／改行ボタン（#）**
「#」を入力します。→P350
1秒以上押すと、マナーモードになります。→P123
文字入力画面で押すと、改行します。→P351

⑰ **送話口／マイク**
自分の声をここから伝えます。
録画や録音中はマイクになります。
- ここをふさがないでください。通話中にお客様の声が相手に聞こえにくくなったり、正常に録音されない場合があります。

⑱ **着信／充電／撮影ランプ**
着信時、撮影時や充電中などに点灯（点滅）します。

⑲ **アウトカメラ→P156**
静止画や動画を撮影したり、テレビ電話通話中に風景などの映像を相手に送信するときに使います。

⑳ **フラッシュ／ライト**
撮影時に光量を補います。→P168

㉑ **背面ディスプレイ→P33**

㉒ **ストラップ取付口**

㉓ **スピーカー**
ここから着信音が聞こえます。
ハンズフリー通話中は、ここから相手の声が聞こえます。

㉔ **リアカバー**

㉕ **充電端子**
卓上ホルダ（別売）で充電するときに使います。

㉖ **サイドボタン（（ボイス））→P30**

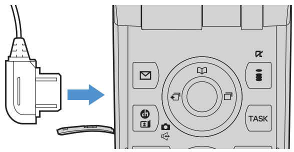
㉗ **サイドボタン（）→P30**
を1秒以上押すと、「+」を入力します。

㉘ **miniSDメモリーカードスロット→P287**
miniSDメモリーカードを入れます。

㉙ **接写切替スイッチ**
接写モード／標準モードを切り替えます。→P169

㉚ **イヤホンマイク端子**
平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を差し込んで使用します。
- イヤホンジャック変換アダプタ（別売）を使用すると、従来のイヤホンマイクを使用できます。

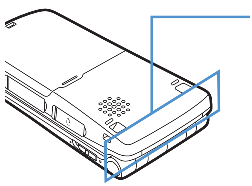
平型スイッチ付イヤホンマイクの接続方法



㉛ **外部接続端子**
ACアダプタ（別売）を接続して充電します。
FOMA USB接続ケーブル（別売）を接続してパソコンと接続します。

お知らせ

- 操作手順の説明は、ここで説明したボタンイラストで表しています。
- リアカバーの内部については「FOMAカードの取付けかた／取外しかた」や「電池パックの取付けかた／取外しかた」をご覧ください。→P39、41
- FOMA端末のアンテナは本体に内蔵されています。通話中やｉモードご利用時などは、アンテナ内蔵部を手でおおわないでください。



サイドボタンでできる主な操作

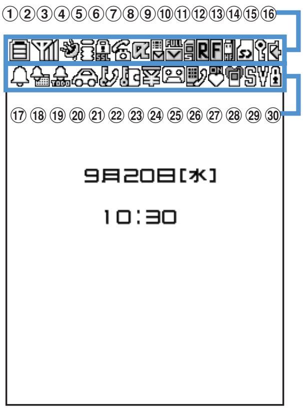
FOMA端末のサイドボタン（▲、▼）を押してできる主な操作は次のとおりです。

状　態	操　作	操作の結果
FOMA端末を開いているとき		
待受画面	▲を１秒以上押す	国際電話発信時などに「+」入力
	▼を押す	時刻や不在着信、メール受信などの音声通知
サイト表示中	▲、▼を押す	画面のスクロール
着信音・通知音鳴動時※1		着信音、通知音、バイブレータの停止
アラーム鳴動時※1		アラームの停止
テレビ電話、静止画／動画撮影時		明るさの調整
画像表示時、動画・ｉモーション／メロディ再生時、ミュージックプレイヤー再生時		前後のデータを表示、再生
FMラジオ起動時※1	▲、▼を1秒以上押す	音量の調整※2
	▲、▼を押す	放送局の選択※2
FOMA端末を折りたたんでいるとき		
ー	▲を押す	背面ディスプレイの表示切り替え
ー	▼を押す	時刻や不在着信、メール受信などの音声通知
ミュージックプレイヤー再生時	▲、▼を1秒以上押す	音量の調整

※1 折りたたんでいるときも同様の動作となります。
※2 設定によって操作の結果が変更します。

ディスプレイの見かた

ディスプレイには現在のモードを示したり、電池容量などFOMA端末の状態を表すさまざまなマーク（アイコン）が表示されます。



アイコン表示部
FOMA端末の状態や設定状況が表示されます。

お知らせ

- 同じ表示位置の機能（状態など）が複数起動している場合でも、優先順位が高いもの1つしか表示されません。
- アニメーション画像やｉモーションの再生中は、アイコン表示部の2行目（⑰～㉚）は表示されません。CLRを押すと、再生を中止してアイコンを表示することができます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

■ ディスプレイアイコン一覧

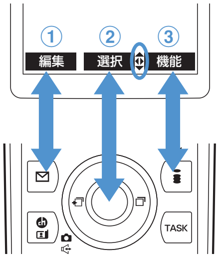
アイコン		内　容
①		電池残量表示→P47
		充電中
		充電が正常に行われていない
②		電波受信レベル→P48
		サービスエリア外または電波の届かないところ
		セルフモード中→P144
③		現在地確認中／位置提供中／現在地通知中→P255
		定期現在地通知設定中→P264
		位置提供設定中→P261
		定期現在地通知設定中かつ位置提供設定中
④		ｉモード接続中→P183
		パケット通信中（待機中）→P346
		パケット通信中（発信）
		パケット通信中（送受信中）→P346
⑤		SSLページ表示中・SSLからダウンロードしたソフトウェア起動中→P184
⑥		音声電話通話中→P53
		テレビ電話通話中→P81
		64Kデータ通信中→P346
		赤外線通信中→P298
⑦	（オレンジ）	ｉアプリ実行中→P242
	（グレー）	ｉアプリ待受画面表示中→P246
	（オレンジ）	ｉアプリDX実行中→P242
	（グレー）	ｉアプリDX待受画面表示中→P246
⑧		ｉモードセンターにメールあり（満杯はメールマークがオレンジ）→P216
		ｉモードセンターにメッセージRあり（満杯はRマークがオレンジ）→P196
		ｉモードセンターにメッセージFあり（満杯はFマークがオレンジ）→P196
⑨		受信BOX満杯→P221
		受信BOXに未読ｉモードメールあり→P216
		受信BOXに未読ｉモードメール／SMSあり→P216、236
		受信BOXに未読SMSあり→P236
⑩		FOMAカード（SMS）満杯→P237
		ターミナルリンク（FOMAカード以外挿入時）

アイコン		内　容
⑪		未読メッセージRあり（満杯はオレンジ）→P196
⑫		未読メッセージFあり（満杯はオレンジ）→P196
⑬		USBハンズフリー動作中→P63
		通信モードでUSB接続中→P346
		USB接続状態表示（miniSDモード中）（USB接続中はオレンジ）→P292
⑭		miniSDメモリーカード装着時（参照時またはminiSDモードでUSB接続中はオレンジ）
		miniSDメモリーカード装着時の認識不可（参照時はオレンジ）
⑮		シークレットモード中（シークレットデータ編集中はオレンジ）→P148
⑯		不在着信あり→P76
⑰		アラーム設定中→P316
⑱		スケジュールアラーム設定中→P321
⑲		ToDoアラーム設定中→P323
		オールロック中→P142
⑳		公共モード（ドライブモード）中→P73
㉑		ダイヤル発信制限中→P146
㉒		PIMロック中→P145
㉓		上限通知設定で設定した積算通話料金を超えたとき→P329
㉔	／	伝言メモ設定中（数字は件数、満杯はオレンジ）→P76
㉕	／	センター留守電あり（数字は2件以上の件数）→P338
㉖		マナーモード（時間経過OFF）中→P123
		マナーモード（期間設定）中→P123
㉗	（赤）	マナーモード（サイレントバイブ）中→P123
		マナーモード（おやすみ）中→P123
	（緑）	マナーモード（オリジナルマナー）中→P123
㉘		音声着信音量OFF設定中→P119
㉙		音声着信バイブレータ設定中→P119
㉚		サイドボタン操作無効中→P147

ソフトキーについて

操作中にディスプレイ下部に表示されるソフトキーで操作や設定を行います。
ソフトキーの内容を実行するためには、左フレキシブルボタン（）や右フレキシブルボタン（）、センターボタン（）を使用します。

- ソフトキーの内容は操作状況により異なります。



■ ソフトキー ①の内容を実行するとき

① を押す

■ ソフトキー ②の内容を実行するとき

① を押す

- ソフトキー ②の右側に表示されている「▲」や「▼」などは、選択中の項目が上下左右に選択できることを示しています。カーソルボタン（）を押して選択してから、を押します。

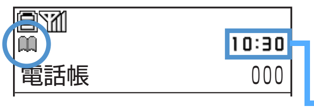
■ ソフトキー ③の内容を実行するとき

① を押す

- 本書では、ソフトキー①、③を押すときは、［編集］や［機能］のように［ ］内にソフトキーの内容を表記しています。

タスクアイコンについて

使用中や動作中の機能がアイコン表示されます。（タスクアイコン）
複数の機能を実行している場合、複数のタスクアイコンが表示されます。→P315



たとえば、電話帳を表示している場合、電話帳を示すタスクアイコンが表示されます。

現在の時刻が表示されます。

■ タスクアイコン一覧

アイコン	内　容	アイコン	内　容
	ダイヤル入力中		「メロディ」フォルダ表示中
	音声通話 発信／着信／通話中		Bookmark表示中
	テレビ電話 発信／着信／通話中		カタカナ英語辞書起動中
	スケジュールアラーム		和英辞書起動中
	ToDoアラーム		英和辞書起動中
	アラーム		英単語クイズ起動中
	メール・メッセージ閲覧中、メール設定中		カメラde辞書起動中
	メール／SMS／デコメールテンプレート作成中		リダイヤル、着信履歴、送受信アドレス履歴、不在着信履歴、拒否履歴表示中
	ｉモード問合せ中、ｉモードメール送受信中、メッセージR/F受信中		静止画撮影起動中
	SMS問合せ中、SMS送受信中		動画撮影起動中
	ｉモード接続中、ｉモード設定中、画面メモ表示中		バーコードリーダー起動中
	チャットメール中		文字リーダー起動中
	データBOX表示中		設定中
	「マイピクチャ」フォルダ表示中		赤外線通信実行（待機）中
	「ｉモーション」フォルダ表示中		伝言メモ再生起動中

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

アイコン	内　容	アイコン	内　容
	通話中音声メモ再生起動中		ボイスレコーダー起動中
	テキストメモ起動中		miniSDメモリーカード内容表示中
	ダイヤルメモ起動中		オリジナルデータ表示中
	ｉアプリ／GPSソフト実行中		直デン中
	GPS機能起動中、簡易コンパス起動中		パターンデータ更新中
	電話帳表示中		ソフトウェア更新（待機）中
	カレンダー表示中、ToDo/スケジュール起動中		ｉチャネル中
	電卓起動中		ミュージックプレイヤー起動中
	プロフィール表示中		FMラジオ起動中

お知らせ

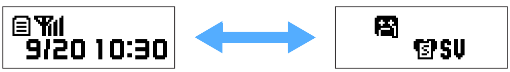
●FOMA端末のディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。故障ではありませんのでご了承ください。

背面ディスプレイの見かた

背面ディスプレイには電波状態や電池レベルのほか、時計やFOMA端末の状態が表示されます。また、電話着信やメール着信などの状況を確認できます。

1 FOMA端末を折りたたんでいるときに[・]を押す

- 押すたびに次のように表示が切り替わります。状態表示に点灯しているアイコンのないときは、表示は切り替わりません。



時計表示　　状態表示

■ アイコン一覧（時計表示）

アイコン	内　容	アイコン	内　容
	電池残量表示→P47		セルフモード中→P144
	充電中		ｉモード接続中→P183
	充電が正常に行われていない		未読ｉモードメール／SMSあり→P216、236
	電波受信レベル→P48	R	未読メッセージRあり→P196
圏外	サービスエリア外または電波の届かないところ	F	未読メッセージFあり→P196

■ アイコン一覧（状態表示）

アイコン	内　容	アイコン	内　容
	不在着信あり→P76		マナーモード（期間設定）中→P123
	伝言メモ設定中（数字は件数）→P76		マナーモード（時間経過OFF）中→P123
	センター留守電あり（数字は件数）→P338		マナーモード（サイレントバイブ）中→P123
	PIMロック中→P145		マナーモード（おやすみ）中→P123
	ダイヤル発信制限中→P146		マナーモード（オリジナルマナー）中→P123
	miniSDメモリーカード装着中→P287		音声着信音量OFF設定中→P119
	認識できないminiSDメモリーカード装着中		音声着信バイブレータ設定中→P119
	公共モード（ドライブモード）中→P73		アラーム設定中→P316

次ページへつづく

お知らせ

- FOMA端末を開くと、背面ディスプレイの表示は消えます。発着信時など消えない場合もあります。
- 電話番号が電話帳に登録されているときは、着信時に名前が表示されます。→P95
- FOMA端末を開いたとき、背面ディスプレイの照明の点灯時間は、ディスプレイの照明の設定に従います。

メニューの選択方法

メニューから項目を選択して設定・実行します。メニュー画面ではダイヤルボタンで選択する方法と、カーソルボタンで選択して、[●]を押す方法があります。

- メニュー項目でグレー表示になっている項目は選択できません。
- 選択・設定を途中でやめるときは、[PWR]を押すと待受画面に戻ります。
- 前の画面に戻るときは、[CLR]を押します。

メニューから機能を選択する

待受画面で[●]を押すと、メインメニューが表示されます。任意のアイコンを選択すると、その項目のメニュー／フォルダ一覧が表示されます。一覧から任意の項目を選び、設定します。

- 待受画面で[✉]、[i]、[GPS]を押すと、それぞれのメニューが表示されます。項目の設定方法はメインメニューと同じです。
  - [✉]：メールメニューを表示します。
  - [i]：ｉモードメニューを表示します。
  - [GPS]: GPSメニューを表示します。
- メニューの説明を表示させるように設定することができます。→P132

<例>着信音量を変更する

1 待受画面で[●]を押す



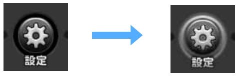
メインメニューが表示され、9個の項目がアイコン表示されます。

2 を押して を選択し、 を押す



設定画面が表示されます。

- 選択されている項目は、フォーカスが当たったり、アイコンの形状が変わったりします。



非選択　選択

■ アイコンをダイヤルボタンで選択するとき

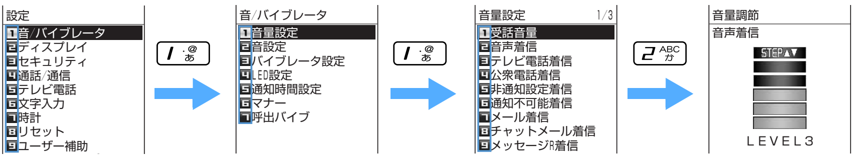
各メニューのアイコンはダイヤルボタンの位置と対応しています。（例：メインメニューで「設定」を選択するときは6を押します。）

- アイコンを並び替えてもダイヤルボタンの位置に対応したアイコンを選択できます。

3 1「音/バイブレータ」を押して1「音量設定」を押し、2「音声着信」を押す

音量調節画面が表示されます。

- 項目の頭についている□で囲まれた番号はダイヤルボタンの番号を表します。



■ カーソルボタンで選択するとき

① （カーソルボタンの上下）を押して項目を選択し、 を押す

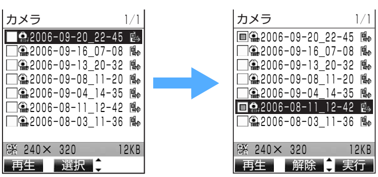
- 選択されている項目は反転表示されます。

4 を押して音量を調節し、 を押す



複数を選択する

選択削除など、複数を選択する場合は、ファイルなどを選択して を押すと、□が▣に変わります。すべてのファイルを同じように選択したあと、実行します。

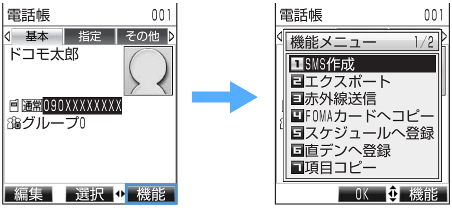


- 複数選択時は、データを選択して を押すと、内容を確認できます。

機能メニューから機能を選択する

メニュー画面を表示し、機能を実行しているときに、ソフトキーに「機能」が表示されることがあります。i（右フレキシブルボタン）を押して操作します。

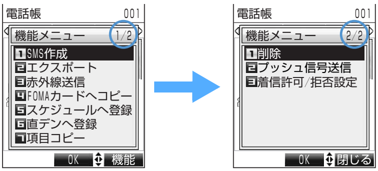
1 画面にソフトキー「機能」が表示されているときに、iを押す



機能メニューが表示されます。

■ 機能メニューなどのページが複数あるとき

① ○を押し、次のページを表示する、または○を押し、前のページを表示する



前後のページが表示されます。
画面右上に「現在表示中のページ/ページ総数」が表示されます。

2 ダイヤルボタンを押すか、○を押して選択して●を押す

お知らせ

● iを押して、次のページを表示することもできます。最後のページで押すと、機能メニューを閉じます。

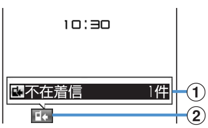
<お知らせアイコン>

お知らせアイコンから情報を表示する

不在着信があったり、メールを受信したりしたとき、待受画面にお知らせアイコンが表示され、すばやく通知内容の情報を表示できます。

- 直デン登録している相手からの不在着信やメール受信があると、直デンアイコンが表示されます。→P113

<例>不在着信があるとき



① 通知内容
② お知らせアイコン

1 ●を押す

不在着信履歴一覧が表示されます。

- 通知内容が複数あるときは、○で通知内容を選択します。
- お知らせアイコンが複数あるときは、○でアイコンを選択します。お知らせアイコンと直デンアイコンがあるときは、○でアイコンを選択します。
- お知らせアイコンや直デンアイコンだけが表示されているときは、○を押して通知内容を表示し、アイコンを選択して●を押します。

■ アイコン一覧

• 通知内容の件数は1件の場合です。

アイコン	通知内容	選択・実行後の画面表示
(不在着信等)	不在着信　1件	不在着信履歴が表示されます。発着信履歴表示の「着信/受信アドレス履歴」が「OFF」の場合はメッセージが表示されます。
	留守番電話　あり	留守番メッセージ再生確認画面が表示されます。
	伝言メモ　1件	伝言メモ一覧画面が表示されます。発着信履歴表示の「着信/受信アドレス履歴」が「OFF」の場合はメッセージが表示されます。
(メール等)	メール　1件	最新のｉモードメール／SMSが保存されているフォルダが表示されます。
	メッセージR　1件	メッセージR一覧画面が表示されます。
	メッセージF　1件	メッセージF一覧画面が表示されます。
(アラーム等)	アラーム　1件	未確認アラーム一覧が表示されます。
	スケジュールアラーム　1件	スケジュールが表示されます。（2件以上のときは一覧が表示されます。）
	ToDoアラーム　1件	ToDoが表示されます。（2件以上のときは一覧が表示されます。）
	通知失敗/不応答　1件	位置履歴が表示されます。
(ｉアプリ)	ｉアプリ自動起動失敗	ｉアプリ自動起動が失敗したというメッセージが表示されます。
(ソフトウェア更新)	ソフトウェア更新　完了	ソフトウェア更新が完了したというメッセージが表示されます。
	ソフトウェア更新　説明あり	ソフトウェア更新ができなかった理由などが表示されます。

折りたたんでいるときに情報を表示する

お知らせアイコンの通知内容を背面ディスプレイで表示、音声通知します。

• マナーモード中は音声は通知されず、振動にて通知します。オリジナルマナーモードの場合は、オリジナルマナーの音声着信の音量に従います。

<例>不在着信があるとき

1 FOMA端末を折りたたんでいるときに［ボイスキー］（ボイス）を押す

不在着信 1件

不在着信件数が表示され、音声通知されます。

• 複数のお知らせアイコンがあるときは、［ボイスキー］を押すたびに表示、音声通知します。

お知らせ

●電話を受けたり、アラームを停止させたりしたときは、お知らせアイコンは表示されません。

●お知らせアイコンを選択・実行すると、表示は消えます。

●通知内容を表示中は、●を押してもメインメニューは表示されません。ⓢまたは[CLR]を押して表示内容を消し、●を押してください。

●音声で通知しないように設定できます。→P335

●音声通知の音量は、音量設定の音声着信の設定に従います。→P119

操作手順の記載について

本書では、操作手順を次のように簡略して記載しています。

<例>伝言メモを削除する

1 ●▶ プライベート ▶ 4 ▶ 3 を押す

2 メモを選択し、i［機能］▶ 7「削除」を押す

実際の操作は次のようになります。

① 待受画面で●（センターボタン実行）を押す

② ✥を押し、プライベート を選択して●を押す

③ 4（「4メモメニュー」の選択）を押す

④ 3（「3伝言メモ再生」の選択）を押す

- ここまで（①～④）が手順1の操作となります。

⑤ 削除するメモを選択してi（右フレキシブルボタン実行）を押す

- 左右フレキシブルボタンを押す場合、ソフトキーの内容を［　］内に表示しています。

⑥ 7（「7削除」の選択）を押す

- ここまで（⑤～⑥）が手順2の操作となります。

お知らせ

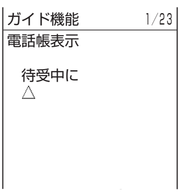
●センターボタンの内容は省略し、「●」のみ記載しています。
●操作終了後、PWRを押して操作を終了する操作説明は省略しています。
●設定内容によっては、設定したときに確認用のメッセージが表示される場合があります。約5秒後にメッセージは消えますが、●を押して消すこともできます。（手順では省略しています。）

ガイド機能

ボタン操作を忘れてしまったとき

- 詳しい操作方法については本書の各操作項目をご確認ください。

1 ●▶ 設定 ▶ 9 ▶ 7 を押す



2 ✥を押して、ガイドを表示する

押すごとに、項目が切り替わります。

- 終了するときは●を押します。

FOMAカードを使う

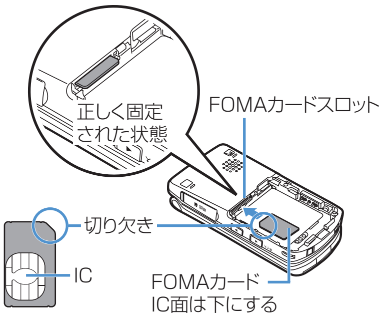
FOMAカードにはお客様の電話番号などの情報が記録されています。

FOMAカードの取付けかた／取外しかた

- FOMAカードの取付け／取外しは電源を切ってから、電池パックを取外し、FOMA端末を折りたたんだ状態で両手で持って行います。→P41

取付けかた

1 FOMAカードを図のような向きにして、FOMAカードスロットの奥までゆっくり押し込む



- 正しく取付けられると、図のような位置でFOMAカードが固定されます。

取外しかた

1 FOMAカードスロットに取付けられているFOMAカードを指で軽く押し込む

2 FOMAカードを矢印の方向へ水平に引き抜く



お知らせ

●外したFOMAカードはなくさないようにお気をつけください。
●FOMAカードを無理に取付けようとしたり、引き抜こうとするとFOMA端末（FOMAカードスロット）、FOMAカードが壊れることがありますので、ご注意ください。

FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号があります。

PIN1コード	プライバシー保護のためFOMA端末の電源を入れるたびに入力するように設定できます。
PIN2コード	サイトやインターネットで個人認証を行うときに入力します。

- ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、４～８桁の任意の数字に変更できます。
- PINコードがロックされた場合は、PINロック解除コードを入力します。→P141

FOMAカード動作制限機能について

FOMAカード動作制限機能は、お客様のデータやファイルを保護するためのものです。
FOMAカードを取付けているときに、サイトやインターネットホームページからデータやファイルをダウンロードすると、それらにはFOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。

- 別のFOMAカードを取付けたり、FOMAカードを抜き取った状態ではFOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルの表示・再生はできません。
- FOMAカード動作制限の対象となるデータは次のとおりです。
  - 画像
  - メロディ
  - ｉモーション
  - フレーム・スタンプ
  - Flash画像
  - 画面メモ
  - ｉアプリ
  - オリジナルデータ
  - デコメールテンプレート
  - デコメール本文中に挿入された画像
  - ｉモードメール添付のファイル
  - メッセージR/F添付のファイル

お知らせ

- ●赤外線通信やminiSDメモリーカード、データリンクソフトを利用して取得したデータやファイル、FOMA端末内蔵のカメラで撮影した画像や編集された画像は、FOMAカード動作制限機能の対象とはなりません。
- ●FOMA端末内蔵の画像、ｉアプリ、メロディなどは動作制限機能の対象にはなりませんが、一度削除してダウンロードした場合は動作制限機能の対象となります。
- ●FOMAカード動作制限機能の対象になっているデータを待受画面や発着信画面、着信音などに設定している場合、別のFOMAカードを取付けたり、FOMAカードを抜いた状態で起動したりすると、お買い上げ時の状態に戻ります。

FOMAカードに保存される設定について

以下の設定はFOMAカードに保存されています。FOMAカードを差し替えると、差し替えたFOMAカードに保存されている設定が有効になります。

- Select language
- PIN1コード
- PIN2コード
- PIN1コード入力設定
- ｉモード設定（証明書設定）
- SMSメッセージ有効期限
- SMS入力文字種設定
- SMSセンター設定

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

FOMAカードの機能差分について

FOMAカードには緑色と青色の2種類があり、それぞれのカードは次のように機能が異なります。

項　目	FOMAカード（緑色）	FOMAカード（青色）
FOMAカード電話帳に登録可能な電話番号の桁数	最大26 桁	最大20 桁
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用可	利用不可
WORLD WING サービスの利用	利用可	利用不可
サービスダイヤル	利用可	利用不可

WORLD WINGについて

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色）をサービス対応のFOMA端末や海外用携帯電話（W-CDMAまたはGSM方式）に差し替えることにより、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。

WORLD WINGはお申込み手続きなしでご利用いただけます。

※2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約でWORLD WINGをご契約いただいていないお客さまは、WORLD WINGをご利用される場合、別途お申込み手続きが必要となります。

※一部ご利用になれない料金プランがあります。

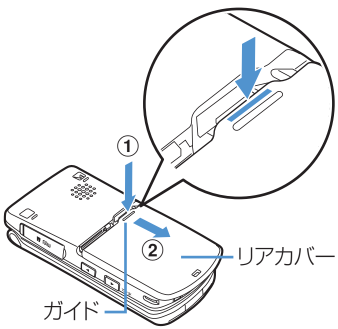
※万一、FOMAカード（緑色）を海外で紛失・盗難された場合には、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをとってください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

電池パックの取付けかた／取外しかた

- 電池パックの交換や取外しは、電源を切ってから行ってください。

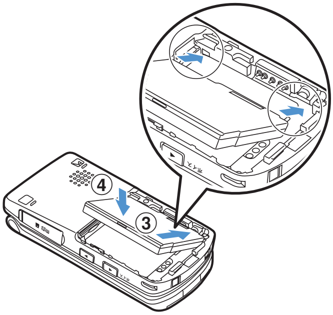
取付けかた

1 リアカバーについているガイドに指を押しあてて、スライドさせて外す



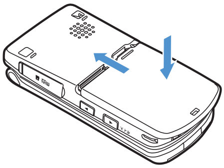
①の方向に押しあてて、②の方向にスライドさせて外します。

2 電池パックの印字面を上にして取付ける



電池パックとFOMA端末の金属端子部があうように③の方向に押し付け、④の方向にはめ込みます。

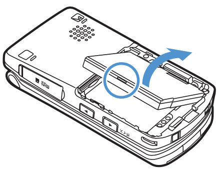
3 リアカバーを付ける



リアカバーのつめとFOMA端末の溝があう位置に約2mmすき間をあけてFOMA端末にのせ、音がするまでスライドさせます。

取外しかた

1 リアカバーを外し、電池パックを外す



電池パックのつまみを押し上げ、矢印の方向に持ち上げて取外します。
- リアカバーの外しかたは取付けかたと同じです。

お知らせ

●電池パックを無理に取付けたり、取外そうとするとFOMA端末の金属端子部が壊れることがあります。
●電池パックの取付けや取外しは、FOMA端末を折りたたんだ状態で行ってください。

携帯電話を充電する

- お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていません。必ず専用のACアダプタ（別売）またはDCアダプタ（別売）で充電してからお使いください。

充電時のご注意

電池パックの上手な使いかた

FOMA端末専用の電池パックをご使用ください。
- 電池パックの詳しい取扱いについては、電池パックの取扱説明書をご覧ください。
- 閉めきった車内に放置するなど極端に高温や低温環境では、電池の容量が低下し、使用できる時間が短くなります。また電池の寿命も短くなります。できるだけ常温でご使用ください。

- 電池パックには寿命があります。充電しても、短い時間しか使用できないなど、電池パック本来の機能が回復しない場合は寿命と考えられます。指定の新しい電池パックをご購入ください。
- 電池パックの寿命は約1年です。ただし、使用頻度により寿命は短くなります。

Li-ion **環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。**

充電について

- 電源を入れたままで長時間（数日間）の充電はおやめください。
  FOMA端末の電源を入れたまま、長時間充電すると、充電完了後にFOMA端末の電池パックから電源が供給されるようになります。電池パックが消費されるため、短い時間しか使用できずにアラームが鳴る場合があります。このような場合は、もう一度正しい方法で充電を行ってください。再充電のときは、一度FOMA端末を別売りのACアダプタ（卓上ホルダ）やDCアダプタから外して、接続し直してください。
- 長時間使用しなかったときは、充電してください。
- 充電中にFOMA端末の電源を入れておくと、電話を受けたり、メールを受信したりできます。ただし、充電時間は長くなります。
- 電池パック単体での充電はできません。必ずFOMA端末に取付けてから充電してください。

充電時間・使用時間（目安）について

■ 充電にかかる時間

- FOMA端末の電源を切って、電池パックを空の状態から充電したときの時間です。

FOMA AC アダプタ 01	FOMA DC アダプタ 01
約105分	約105分

■ 使用可能時間（目安）

- 使用環境によって使用時間は変わります。

連続待受時間（静止時）	連続待受時間（移動時）	連続通話時間（音声電話通話時）	連続通話時間（テレビ電話通話時）	連続再生時間
約480時間	約360時間	約170分	約100分	音楽（ミュージックプレイヤー）　：約7時間 FMラジオ：約20時間

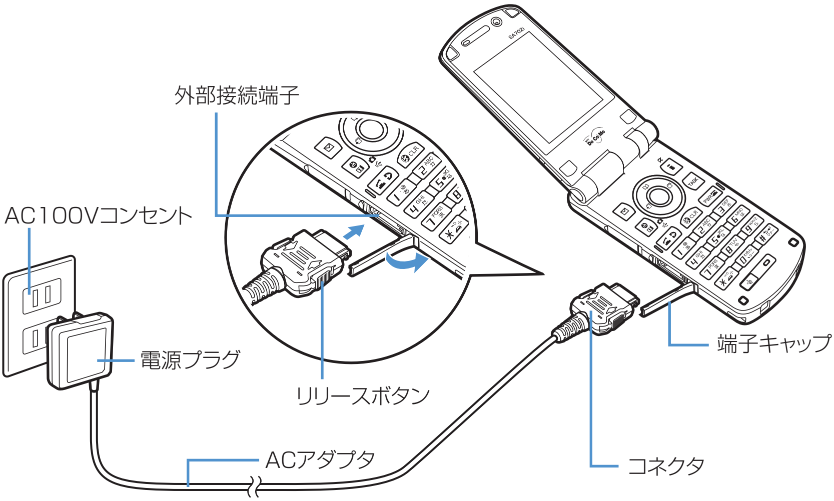
- 連続通話時間は、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用する場合の目安です。
- 連続待受時間はFOMA端末を折りたたんで電波を正常に受信できる状態で移動した場合の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い場合など）などにより、通話（通信）・待受時間は約半分程度になる場合があります。ｉモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。
- ｉモードメールの作成、ｉアプリの起動やデータ通信、カメラ、音楽再生、FMラジオの使用やマルチアクセスの実行などを行った場合、通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 連続再生時間は、FOMA端末を折りたたんで、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を取付けないで、再生音量をLEVEL7（お買い上げ時）、オフタイマーをOFFに設定した状態で使用する場合の目安です。

ACアダプタ／DCアダプタを使って充電する

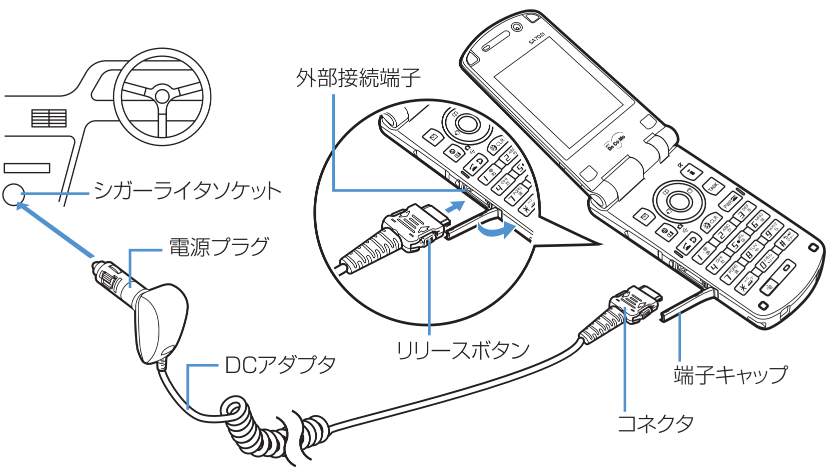
別売りのACアダプタ、DCアダプタ、卓上ホルダを使用して充電します。

- 必ずFOMA ACアダプタ01（別売）またはFOMA DCアダプタ01（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA端末に電池パックを取付けておいてください。

■ ACアダプタを使用して充電するとき



■ DCアダプタを使用して充電するとき



1 FOMA端末の外部接続端子のキャップを開ける

2 ACアダプタまたはDCアダプタのコネクタの矢印マークを上にして、FOMA端末の外部接続端子に差し込む

- カチッと音がするまで水平に差し込みます。

3 ACアダプタの場合は、電源プラグを起こし、コンセントに差し込む
DCアダプタの場合は、DCアダプタのプラグを車のシガーライタソケットに差し込む

充電開始の確認音が鳴り、充電ランプが点灯して充電が始まります。

4 充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く
DCアダプタの場合、プラグをシガーライタソケットから抜く

5 FOMA端末からコネクタを取外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜く

- 無理に引っ張ろうとすると故障の原因になります。

6 FOMA端末の外部接続端子のキャップを閉じる

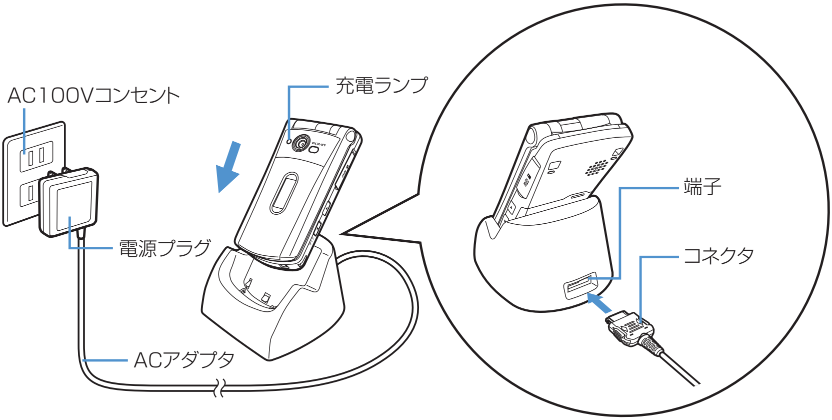
お知らせ

●充電中は充電ランプが赤く点灯します。充電が完了すると消灯します。
●充電が始まってすぐに充電ランプが点灯しない場合があります。充電が始まってしばらくしても点灯しない場合は、FOMA端末を一度ACアダプタ（卓上ホルダ）またはDC アダプタから取外し、接続し直してから充電してください。
●充電中はFOMA端末や電池パックやACアダプタ、DCアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。
●ACアダプタはAC100Vコンセントに接続してください。
●DCアダプタはエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリーを消耗させてしまう場合があります。
● コネクタを抜き差しするときは、正しい向きや角度で、無理な力がかからないようにゆっくりと確実に行ってください。無理に抜き差しすると外部接続端子の破損の原因となります。
●DCアダプタのヒューズ（2A）は消耗品ですので、交換に際しては、お近くのカー用品店などでお買い求めください。
●DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対に使用しないでください。
●電池パックを外したままの状態や電池残量が空の状態でも、FOMA端末に保存・登録されているデータは、約1ヶ月は保持されています。それ以上経過すると消失する可能性があります。また、FOMA端末の故障、修理やその他の取扱いによっても消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

卓上ホルダを使って充電する

卓上ホルダ（別売）を使用して充電します。

- 必ず卓上ホルダ SA03（別売）の取扱説明書をご覧ください。



1 ACアダプタ（別売）のコネクタの矢印マークを上にして、卓上ホルダの端子に差し込む

- カチッと音がするまで水平に差し込みます。

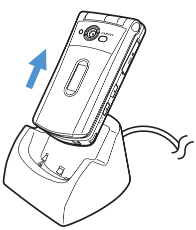
2 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む

3 FOMA端末を卓上ホルダに図のように置く

充電開始の確認音が鳴り、充電ランプが点灯して充電が始まります。

- カチッと音がするまで差し込んでください。

4 充電が終わったら、FOMA端末を矢印の方向に抜いて、卓上ホルダから外す



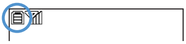
お知らせ

●FOMA端末を卓上ホルダにしっかり取付けてください。
●ACアダプタはAC100Vコンセントに接続してください。
●FOMA端末を卓上ホルダへ取付けるときにストラップなどを挟まないようにしてください。
●卓上ホルダだけでは充電することはできません。
●充電中はFOMA端末や電池パックやACアダプタ、卓上ホルダが温かくなることがありますが、異常ではありません。
●卓上ホルダは平らな面に置いて使用してください。また、卓上ホルダへの取付けや取外しを行うときは、FOMA端末を折りたたんでください。
●長時間使用しないときはAC アダプタをコンセントから抜いてください。

電池残量の確認のしかた

ディスプレイに電池残量を示すアイコンが表示されます。

- 電池残量表示は、あくまでも目安としてご利用ください。



(電池レベル3)：十分残っています。
(電池レベル2)：少なくなっています。
(電池レベル1)：電池残量がほとんどありません。充電してください。



■ 背面ディスプレイで確認するとき

(電池レベル3)：十分残っています。
(電池レベル2)：少なくなっています。
(電池レベル1)：電池残量がほとんどありません。充電してください。

電池残量を音と表示で確認する

- 充電中、マナーモード中、ボタン確認音OFF時は確認音は鳴りません。

1 ●▶設定▶9▶4を押す

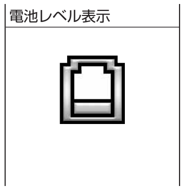
電池レベルが表示され、確認音が鳴ります。



電池レベル3



電池レベル2

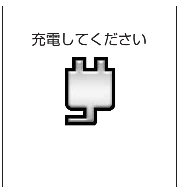


電池レベル1

「トゥル トゥル トゥル」(電池レベル3)：十分残っています。
「トゥル トゥル」(電池レベル2)：少なくなっています。
「トゥル」(電池レベル1)：電池残量がほとんどありません。充電してください。

電池が切れたら

- マナーモード中、公共モード(ドライブモード)中はアラーム音は鳴りません。



電池が切れそうになると、ディスプレイにメッセージが表示され、アラーム音が鳴ります。

- 表示後、約1分後に電源が切れます。
- アラーム音をすぐに止めたいときは、いずれかのボタンを押します。

お知らせ

- 通話中に電池が切れそうになると、ディスプレイにメッセージが表示され、約20秒後に通話が切断され、その約1分後に電源が切れます。
- データをダウンロード中に電池が切れそうになると、アラーム音が鳴り、ダウンロードが中断される場合があります。
- メッセージが表示され、電池が切れた場合、編集中のデータ内容(電話帳、スケジュール、ToDo、テキストメモ、プロフィール、現在地通知先など)は一時的に保存されます。

電源ON／OFF

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 PWRを2秒以上押す



待受画面

アニメーションが表示され、待受画面が表示されます。

- 受信レベルのアイコンが画面に表示されます。目安にしてください。
  （強い）→ → （弱い）→ 圏外

お知らせ

- 「圏外」の表示が出ているときは、サービスエリア外や電波の弱いところにいます。電波の強いところに移動してください。
- が表示されていても、通話や通信が切れる場合があります。
- 移動しながら通話すると電波の強さが安定しません。デジタルの特性上、急に通話が切れることがあります。できるだけが表示されている状態で使用することをおすすめします。
- FOMAカードが取付けられていないときは、FOMAカードの挿入が必要な旨のメッセージが表示されます。電源を切り、FOMAカードを正しく取付けてから電源を入れなおしてください。
- PIN1コード入力設定が「ON」の場合、PIN1コード入力画面が表示されます。→P139

電源を切る

1 待受画面でPWRを2秒以上押す

お知らせ

- 以下の設定を行ったときは、電源を切っていても、自動的に電源が入る場合があります。
  - オートパワーON→P316
  - アラーム起動設定→P319

初期設定を行う

初めて電源を入れたときに、日付時刻設定、端末暗証番号変更、ボタン確認音、発信者番号通知設定、ソフトウェア更新を行います。

- 設定をリセットしても、初期値設定は表示されません。
- ダイヤル発信制限中、オールロック中は初期値設定は表示されません。

1 ◉を押す

2 日付時刻設定を行う

- 設定方法について→P50

3 端末暗証番号を変更する

- 設定方法について→P140
- お買い上げ時は「0000」となります。

4 ボタン確認音を設定する

- 設定方法について→P120

5 発信者番号通知の設定を変更する

- 設定方法について→P51

6 [1]「次回起動」または[2]「起動しない」を押す

- 電源を入れるたびに初期値設定を行うときは[1]「次回起動」を押します。

7 ソフトウェア更新を実行する

- 設定方法について→P387

お知らせ

●設定中に[PWR]を押すなどして途中で設定が終了した場合でも、設定が終了していた機能については有効になります。

日付時刻設定

日付・時刻を合わせる

お買い上げ時	自動

日付・時刻を自動で設定したり、補正したりできます。

- 日時は2000年1月1日0:00～2099年12月31日23:59まで入力できます。
- 設定後、ディスプレイや背面ディスプレイに日時が表示されるようになります。

1 ●▶設定▶7▶1を押す

2 1「自動」を押す

日付・時刻が設定されます。

- ドコモのネットワークから取得した時刻情報をもとに、日付・時刻を補正します。

■ 手動で設定するとき

① 2「手動」を押す

② 日付・時刻を入力し、●を押す

- ◎を押して反転表示させ、ダイヤルボタンを押すか、◎を押します。（月、日が1～9のときは前に0を入力します。）

＜GPS時刻設定＞

GPSを利用して時刻を合わせる

お買い上げ時	OFF

GPSを利用して時刻を補正します。

1 ●▶設定▶7▶2を押す

2 1「ON」を押す

測位を開始し、時刻が補正されます。（測位中のアイコンは表示されません。）

- 設定しないときは2「OFF」を押します。

お知らせ

●圏外やセルフモード中は時刻の補正は行われません。

●電波状況によっては時刻を補正できない場合があります。

●補正機能は数秒の誤差が生じる場合があります。

●日付・時刻を設定しないと次の機能は利用できません。

- SSL通信（認証）※
- ｉアプリ自動起動
- ｉアプリDX起動
- 静止画／動画撮影
- ボイスレコーダー録音
- 定期現在地通知設定　など

※サイトによっては利用できる場合もあります。

●日付・時刻を設定すると、次の機能で日時が表示されます。

- リダイヤル
- 着信履歴
- 伝言メモ
- 通話中音声メモ
- 受信／送信アドレス履歴　など

●設定した日時は、電池パックを交換する場合や電池が切れたときにも保持されます。ただし、長期間電池が切れた状態にしておくと、設定した日時はリセットされます。その場合は、再度設定してください。

●日付時刻設定は電源を入れたときなどごとに、GPS時刻設定は現在地確認など測位するごとに、自動的に日付・時刻を補正します。

●GPS時刻設定時の測位は位置履歴に保存されません。

発信者番号通知

相手に自分の電話番号を通知する

電話をかけたときに、相手の電話機のディスプレイに自分の電話番号（発信者番号）を表示させることができます。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。
- 圏外のときは発信者番号通知の設定はできません。
- 詳しくは「ネットワークサービス操作ガイド」をご覧ください。

1 **●▶NWサービス▶5▶2を押す**

2 **1「通知する」を押す**

- 通知しないときは2「通知しない」を押します。

3 **ネットワーク暗証番号を入力し、●を押す**

■ 設定内容を確認するとき

① ●▶NWサービス「NWサービス」▶5▶1を押す

お知らせ

●電話をかけたときに、番号通知お願いガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。→P57

●発信者番号は相手の電話機が発信者番号表示対応の場合に通知されます。

プロフィール

自分の電話番号を確認する

FOMAカードに登録されている電話番号（自局電話番号）を確認します。

1 **●▶0を押す**



FOMAカードに登録されている自局電話番号が表示されます。

- お買い上げ時は自局電話番号のみ表示されます。

お知らせ

●●▶プライベート「プライベート」▶5「プロフィール」を押しても確認できます。

●自局電話番号以外の個人情報を登録することもできます。→P326

●メールアドレスを確認するときは、i▶iMenu「i Menu」▶8「オプション設定」▶「メール設定」を選択し、●▶「アドレス確認」を選択し、●を押します。

電話のかけかた／受けかた

電話のかけかた

電話をかける. 54
前にかけた相手にかけ直す . . . . <リダイヤル> 56
1回の通話ごとに電話番号を通知するかしないかを設定する
. . . . <186／184> 57
プッシュ信号を手早く送り出す . . . .<ポーズダイヤル> 58
国際電話を利用する. . . . .<WORLD CALL／プレフィックス設定> 59
サブアドレスを指定して電話をかける . . . . <サブアドレス設定> 61
途切れた通話を自動的に接続するときのアラーム音を設定する
. . . . <再接続機能> 62
周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする . . . . <ノイズキャンセラ> 62
ハンズフリー対応機器を利用する . . . .<車載ハンズフリー＞ 63

電話の受けかた

電話を受ける. 63
ダイヤルボタンなどを押して電話に出られるようにする
. . . . <エニーキーアンサー＞ 64
FOMA端末を開いて通話を開始する . . . . <オープン通話> 65
FOMA端末を折りたたんで通話を終了／保留する . . . . <クローズ動作> 65
着信履歴を利用する. . . . .<着信履歴> 66
通話中に相手の声の音量を調節する. . . . .<受話音量> 68
小声で会話できるようにする. . . . . <ナイショ＞ 69
迷惑電話をゲキタイする . . . .<ゲキタイ> 69
ダイヤルメモを利用する . . . . <ダイヤルメモ> 69

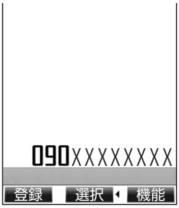
電話に出られないとき／出られなかったとき

すぐに電話に出られないときに保留にする. . . . .<応答保留> 70
応答保留音を設定する . . . . <応答保留音> 71
通話中保留音を設定する . . . . <通話中保留音> 72
公共モード（ドライブモード）を利用する
. . . .<公共モード（ドライブモード）＞ 73
公共モード（電源OFF）を利用する. . . . . . .<公共モード（電源OFF）＞ 74
不在着信を確認する. . . . .<不在着信> 76
電話に出られないときに用件を録音／録画する . . . .<伝言メモ> 76
伝言メモを再生／削除する 80

電話をかける

ここでは、音声電話のかけかたと、音声電話とテレビ電話での共通の操作を説明します。

1 待受画面で市外局番から電話番号を入力する



- 同一市内への通話でも、必ず市外局番から入力してください。
- 電話番号は26桁表示されます。
- 電話番号は3～80桁まで有効です。
- 電話番号を訂正するには、[CLR]を押します。
- 最初から電話番号を入力し直したいときは、[CLR]を1秒以上押すか、[PWR]を押して待受画面に戻してから行ってください。

一般電話にかける	：市外局番－市内局番－電話番号
携帯電話にかける	：090－XXXX－XXXX、080－XXXX－XXXX
PHSにかける	：070－XXXX－XXXX

2 [発信]を押す



「プップップッ」という発信音がして電話がかかります。

- 「プープー」という話中音が聞こえるときは、相手が話し中です。[PWR]を押していったん発信を終了し、しばらくたってからおかけ直しください。
- [●]▶[1]「音声発信」を押しても電話がかかります。
- 電話をかけたときに発信者番号通知をお願いするガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。→P51、57
- 相手の携帯電話やPHSの電源が入っていないとき、または相手が電波の届かない場所にいるときには、ガイダンスで接続できないことをお知らせします。
- [発信]を1秒以上押すと、通話直後からハンズフリー通話になります。
- 通話中に[発信]を1秒以上押すと、ハンズフリー通話に切り替えることができます。

3 通話が終わったら[PWR]を押す

お知らせ

●クローズ動作を「切断」にしているときは、通話中にFOMA端末を折りたたむと電話を切ることができます。→P65

●発信・通話中は、内蔵アンテナ部分を覆わないようにしてご利用ください。→P29

●通話中に別の画面などが表示された場合は、[CLR]を押すと通話中画面に戻ります。

●<マルチナンバー選択について>
マルチナンバーをご契約の場合、登録しているマルチナンバーを選択してから電話をかけることができます。→P342

電話番号を入力したあとにできる機能

待受画面で電話番号を入力したあと、いろいろな機能を使って発信できます。

1 待受画面で市外局番から電話番号を入力し、[i]［機能］を押す

2 項目を選択し、●を押す

発信者番号通知設定	発信者番号通知を設定します。 ① [1]「番号非通知」または[2]「番号通知」を押す • 設定した内容を解除するときは[3]「設定削除」を押します。
番号付加	国際電話番号などを付加します。 ① [1]～[3]を押す • プレフィックスのときは番号を選択し、●を押します。 • 国際アクセス番号のときは番号が付加されます。 • マルチナンバーについて→P342
電話帳引用※	電話帳を引用します。 ① 電話帳を選択し、●を押す ② 電話番号を選択し、●を押す
履歴引用※	履歴を引用します。 ① [1]～[4]を押す ② 電話番号を選択し、●を押す ③ ●を押す
文字サイズ	電話番号入力時の文字サイズを変更します。 ① [1]～[3]を押す

※引用後は不要な数字を削除してください。
• 各機能は通話中に電話番号を入力しても行えます。

<通話中保留>

音声電話の通話中に保留にする

音声電話の通話を保留にします。

1 通話中に●を押す



通話が保留になり、相手に保留音が流れます。
• 保留を解除するには、再度●または[通話]を押します。

お知らせ

●保留中も電話をかけた側に通話料金がかかります。
●クローズ動作を「保留」にしているときは、通話中にFOMA端末を折りたたむと保留にできます。
●保留中に流れるメロディは変更できます。→P72

リダイヤル

前にかけた相手にかけ直す

前にかけた電話をリダイヤルとして記録しておき、そこから電話をかけ直します。

- 30件まで記録されます。30件を超えると古いものから削除されます。
- 同じ電話番号にかけたときは最新の1件のみが記録されます。

1 を押す



リダイヤル一覧画面

- 相手の電話番号、日付、発信時間が表示されます。
- 相手の電話番号が電話帳に登録されている電話番号と一致したときは、名前が表示されます。
- を押すと、着信履歴一覧を表示できます。

■ 電話帳に登録されている画像を表示しないとき

① ［機能］▶「フォト表示OFF」を押す

- 表示するときは「フォト表示ON」を押します。

■ ｉモードメールを送るとき

- 電話番号が電話帳に登録されていて、その電話帳にメールアドレスが登録されていると、メールアドレスが宛先になります。登録されていないときは、電話番号が宛先になります。

① **相手を選択し、［機能］▶「メール作成」を押す**

- 以降の操作：→P209「ｉモードメールを作成して送信する」手順4～6
- リダイヤル詳細画面でも同じ操作でメール作成を行えます。

2 リダイヤルを選択し、を押す



リダイヤル詳細画面

■ 電話帳に登録されている画像を背景として表示しないとき

① ［機能］▶「シースルー表示OFF」を押す

- 表示するときは「シースルー表示ON」を押します。

■ 通話中にプッシュ信号を送信するとき

- 通話中にリダイヤルを表示する→P315

① **リダイヤルを選択し、［機能］▶「プッシュ信号送信」を押す**

■ リダイヤルに表示されるアイコンについて

アイコン	内　容	アイコン	内　容
	音声電話発信		付加番号2発信（マルチナンバー）
	テレビ電話発信		基本契約番号国際電話発信（マルチナンバー）
	国際電話発信		付加番号1国際電話発信（マルチナンバー）
	基本契約番号発信（マルチナンバー）		付加番号2国際電話発信（マルチナンバー）
	付加番号1発信（マルチナンバー）		

3 を押す

- を押すと、テレビ電話をかけられます。
- を押すと、いろいろな機能を利用できます。→P193

お知らせ

- ●電源を切っても、リダイヤルは削除されません。
- ●相手の電話番号が複数の電話帳に登録されているときの名前の表示などは、次の順位で優先されます。
  ① 直デンに登録している電話帳
  ② 通常使用の電話番号として登録している電話帳
  ③ フリガナの50音順
  ④ メモリ番号の小さい順
- ●マルチナンバーに登録している発信番号を選択する→P342
- ●発着信履歴表示の「リダイヤル/送信アドレス履歴」が「OFF」の場合、リダイヤルは表示されません。

リダイヤルを削除する

1 **リダイヤル一覧画面でリダイヤルを選択し、i［機能］▶2「削除」を押す**

2 **1「1件削除」を押す**

■ 選択削除するとき

① 2「選択削除」を押す

② リダイヤルを選択し、●を押す

• 解除するときは●を押します。

③ i［実行］を押す

■ 全件削除するとき

① 3「全件削除」を押す

② 端末暗証番号を入力し、●を押す

3 **1「はい」を押す**

• 中止するときは2「いいえ」を押します。

お知らせ

- ●リダイヤル詳細画面で削除するにはi［機能］▶2「削除」を押します。

186／184

1回の通話ごとに電話番号を通知するかしないかを設定する

相手の電話のディスプレイに電話番号を通知するときは相手の電話番号の前に「186」、通知しないときは「184」をつけます。

• 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。

■ 発信者番号を通知するとき

① 1 8 6＋相手の電話番号＋発信（テレビ電話のときは テレビ電話）

■ 発信者番号を通知しないとき

① 1 8 4＋相手の電話番号＋発信（テレビ電話のときは テレビ電話）

次ページへつづく

お知らせ

●発信者番号の通知設定は次の方法でも行えます。
- 電話をかけるごとに機能メニューから発信者番号通知設定を行う→P55
- NWサービスメニューの発信者番号通知設定で一括して行う→P51
- 電話帳の番号に設定しておく→P95

●発信者番号は相手の電話機が発信者番号表示対応の場合に通知されます。
●国際電話では「186」を付けても、経由する電話会社などにより発信者番号表示ができない場合があります。
●電話をかけたときに発信者番号通知をお願いするガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。
●相手の電話番号に「186」／「184」を付けて発信した場合、「186」／「184」がリダイヤルに記録されます。

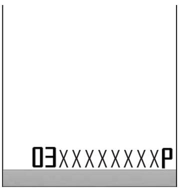
ポーズダイヤル

プッシュ信号を手早く送り出す

プッシュ信号を送って、ポケットベル※へのメッセージ送信や自宅の留守電の操作、チケット予約などに利用します。

• ポーズ（P）を入力した位置で電話番号を区切って、プッシュ信号（DTMF）を送出できます。

1 待受画面で電話番号を入力し、ポーズ（P）を入れたいところで[#]を1秒以上押す



「P」が入力されます。
• ポーズは先頭に入力したり、連続入力したりできません。

2 続きの番号を入力し、[発信]を押す

•「P」を含めて80桁まで入力可能です。

3 電話がつながったあと、[●]を押す

「P」以降の番号がプッシュ信号で送信されます。

お知らせ

●受信側の機器によっては、プッシュ信号を受信できない場合があります。

国際電話を利用する

「WORLD CALL」はドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。

- FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時に合わせて「WORLD CALL」もご契約いただいています。（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます。）
- 申込手数料、月額使用料は無料です。
- 一部ご利用できない料金プランがあります。
- 通話先は世界約220の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通信料金と合わせてご請求します。
- **国際電話ダイヤル手順の変更について**
  携帯電話などの移動体通信は、電話会社選択サービス「マイライン」のサービス対象外であるため、「WORLD CALL」についても「マイライン」をご利用いただけませんが、「マイライン」の導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順（下記ダイヤル手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。
- 詳しくは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
  - ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

電話番号をダイヤルして国際電話をかける

1 待受画面で009130-010-国番号-市外局番-電話番号を入力する

- 市外局番が「0」で始まる場合には「0」を除いてダイヤルしてください。（ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。）

2 [発信キー]を押す

- 通話が終わったら[PWR]を押します。

> - 海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対し、上記ダイヤル方法の後に[テレビ電話キー]を押すと、「国際テレビ電話」がご利用いただけます。
>   - 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモのホームページをご覧ください。
>   - 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。

<自動付加設定>

簡単に国際電話をかける

お買い上げ時	ON

自動付加設定を「ON」にすると、「+」を入力したときに国際電話用の「009130010」に変換して国際電話をかけることができます。

- 日本国内で「+」の後に日本の国番号「81」を先頭に付けて発信したときは、自動付加設定が「ON」でも「009130010」に変換されません。

1 [●]▶[設定]▶[4GHI]▶[◎]▶[4GHI]▶[1]を押す

※2001年1月から、ドコモのポケットベルは「クイックキャスト」に名称が変わりました。

次ページへつづく

2 1「ON」を押す

- 設定しないときは2「OFF」を押します。

自動付加設定を利用して国際電話をかける

1 待受画面で0を1秒以上押す

「+」が入力されます。

2 国番号-市外局番-電話番号を入力する

3 発信キーを押す

発信する番号の確認画面が表示されます。

4 1「発信（自動付加あり）」を押す

- 自動付加しないときは2「発信（自動付加なし）」、中止するときは3「中止」を押します。

＜国際電話設定＞

WORLD CALL以外の番号を設定する

お買い上げ時	名称：WORLD CALL　番号：009130010

- お買い上げ時は、国際電話用の「009130010」が登録されています。
- 国際電話設定として登録できるのは1件のみです。

1 ●▶設定▶4▶○▶4▶2

2 1「WORLD CALL」を押す

■ 設定した番号をお買い上げ時の設定に戻すとき

①メール［リセット］を押す

②1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

3 1「名称」を押し、名称を入力して●を押す

- 全角10文字（半角21文字）まで入力できます。

4 2「番号」を押し、番号を入力して●を押す

- 10桁まで入力できます。

5 i［登録］を押す

プレフィックスを設定する

国際電話以外にもプレフィックスを登録して、電話をかけるときに利用できます。

- 5件まで登録できます。

1 ●▶設定▶4▶○▶3を押す

2 「未登録」を選択し、●を押す

- すでに登録されているプレフィックスを選択し、●を押すと、プレフィックスを編集できます。[i]［詳細］を押すと、登録内容を確認できます。

■ プレフィックス設定を削除するとき

① プレフィックスを選択し、[✉]［削除］を押す

② [1]「1件削除」を押す

- [2]「全件削除」を押したときは端末暗証番号を入力し、●を押します。

③ [1]「はい」を押す

- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

3 登録名を入力し、●を押す

- 全角9文字（半角18文字）まで入力できます。

4 番号（プレフィックス）を入力し、●を押す

- 10桁まで入力できます。

5 [i]［登録］を押す

プレフィックスを利用して電話をかける

1 待受画面で電話番号を入力し、[i]［機能］▶[2]▶[1]「プレフィックス」を押す

2 プレフィックスを選択し、●を押す

プレフィックスが番号の先頭に付加されます。

3 [発信]を押す

- テレビ電話のときは[テレビ電話]を押します。

サブアドレス設定

サブアドレスを指定して電話をかける

お買い上げ時	ON

「＊」を区切りとし、それ以降の番号をサブアドレスとする設定です。
サブアドレスを使うと特定の電話機や通信機器に指定着信するようにできます。

- ISDN 回線で特定の通信機器に指定着信するときや、映像配信サービス「Vライブ」でコンテンツを選択するときなどに利用できます。

1 ●▶▶[4]▶[○]▶[2]を押す

2 [1]「ON」を押す

- 設定しないときは[2]「OFF」を押します。

サブアドレスを指定して電話をかける

1 待受画面で電話番号を市外局番から入力する

2 [＊]を押して「＊」を入力し、サブアドレスを入力する

3 [発信]を押す

- テレビ電話のときは[テレビ電話]を押します。

お知らせ

- サブアドレス設定を「ON」に設定していても、電話番号の先頭に「＊」を入力した場合やプレフィックスで付加した番号内に「＊」がある場合、＊59n＃（nは0～9）と入力した場合は、サブアドレスとして認識しません。また、ポーズを入力した後に「＊」を入力した場合も同様です。

再接続機能

途切れた通話を自動的に接続するときのアラーム音を設定する

お買い上げ時	アラーム高音

電波状態が悪くなって途切れた音声・テレビ電話を、電波状態がよくなると再接続します。そのときに鳴るアラーム音を設定します。

1 [●]▶[設定]▶[4]▶[○]▶[1]▶[2]を押す

2 [1]「アラーム高音」または[2]「アラーム低音」を押す

- 設定しないときは[3]「アラームOFF」を押します。

お知らせ

- 利用状態や電波状態により、再接続が可能な時間は異なります。目安は最大10秒間です。（その間も通話料がかかります。）
- 電波が途切れている間は、相手は無音状態となります。
- 利用状態や電波状態により、アラーム音が鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

ノイズキャンセラ

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

お買い上げ時	ON

通話中に周囲の騒音を抑えて、自分の声を相手にはっきり聞こえるようにします。

1 [●]▶[設定]▶[4]▶[○]▶[1]▶[3]を押す

2 [1]「ON」を押す

- 設定しないときは[2]「OFF」を押します。

車載ハンズフリー

ハンズフリー対応機器を利用する

FOMA端末を車載ハンズフリーキット01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。

- ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。なお、車載ハンズフリーキット01（別売）をご利用時には、FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル01（別売）が必要です。

お知らせ

●FOMA端末を待受画面にした状態で行ってください。
●USBモード設定を「通信モード」にしてください。→P346
●着信時の画面表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。
●ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合は、FOMA端末でマナーモード中や着信音量を「OFF」に設定中でもハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
●公共モード（ドライブモード）中の着信動作は、公共モード（ドライブモード）の設定に従います。
●伝言メモ設定中の着信動作は、伝言メモの設定に従います。
●FOMA端末から音を鳴らす設定にしている場合は、通話中にFOMA端末を折りたたんだときの動作はクローズ動作の設定に従います。ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合は、クローズ動作の設定にかかわらずFOMA端末を折りたたんでも通話状態は変わりません。

電話を受ける

ここでは、音声電話の受けかたと、音声電話とテレビ電話での共通の操作を説明します。

1 電話がかかってきたら◉または[⊆D]を押す



着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。

- 通話中に[⊆D]を1秒以上押すと、ハンズフリー通話に切り替えることができます。
- エニーキーアンサーを「ON」にしておくと、他のボタンを押して電話を受けることができます。→P64

2 通話が終わったら[PWR]を押す

お知らせ

●FOMA端末を折りたたんでも電話を切ることができます。折りたたんでも電話が切れないようにするには、クローズ動作を「保留」または「ミュート」にします。→P65
●着信中の相手からの発信状況やFOMA端末の設定によって次のような情報がディスプレイに表示されます。
- 相手の電話番号が電話帳に登録されていないときは、相手の電話番号が表示されます。
- 相手の電話番号が電話帳に登録されているときは、相手の電話番号、名前、静止画／動画（電話帳登録されている場合）が表示されます。
- 相手の電話番号が通知されなかったときは、発信者番号非通知理由が表示されます。→P150
- 転送でんわサービスを利用して転送されてきたときは、転送元が表示されます。
- マルチナンバーの付加番号にかかってきたときは、付加番号が表示されます。

着信中の操作について

着信中に[i]［機能］を押して、次の操作を行うことができます。

着信拒否	電話を受けず、そのまま電話が切れます。拒否履歴に記録されます。
転送でんわ	かかってきた電話を登録している転送先に転送します。→P340
留守番電話	かかってきた音声電話を留守番電話サービスセンターへ転送します。→P338
伝言メモ	かかってきた電話の用件をFOMA端末に録音します。

お話し中に「ププ‥ププ‥」という音（通話中着信音）が聞こえたとき

留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかをご契約いただくと、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という音が聞こえ、次の動作が可能です。

留守番電話サービス※	留守番電話サービスセンターへ転送します。→P338
キャッチホン	通話中の電話を保留にし、かかってきた電話に応対します。→P339
転送でんわサービス※	転送登録先へ転送します。→P340

※通話中着信設定を「開始」に設定し、着信動作選択を「通常着信」に設定した場合に選択できます。

FOMA端末を折りたたんでいるとき

電話がかかってきたときは、着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。背面ディスプレイに「着信中」と表示されます。

- 電話番号や電話帳に登録している名前などが表示されます。（背面通知表示が「ON」のとき）
- 電話番号が通知されない場合は、発信者番号非通知理由が表示されます。（背面通知表示が「ON」のとき）

お知らせ

●電話帳に登録されていない相手からの着信を拒否できます。呼出が開始されるまで設定した時間を無音状態にすることもできます。→P151、152
●電話帳に登録されている相手に対して着信拒否を設定しておくことにより、その相手からの着信を拒否できます。→P149

エニーキーアンサー

ダイヤルボタンなどを押して電話に出られるようにする

お買い上げ時	ON

音声電話がかかってきたときに[発信]、[●]以外にダイヤルボタン（[0]～[9]）、カーソルボタン（[カーソル]）、[CLR]、[メール]、[*]、[#]、[サイド]を押して電話に出られるように設定します。

1 [●]▶[設定]▶[4]▶[4]を押す

2 [1]「ON」を押す

- 設定しないときは[2]「OFF」を押します。

お知らせ

●エニーキーアンサーは音声電話にのみ有効です。ただし、通話中の音声着信時は無効です。
●エニーキーアンサーは着信があった約3秒後から動作が有効となります。

オープン通話
FOMA端末を開いて通話を開始する

お買い上げ時	OFF

折りたたんでいるFOMA端末を開いて、電話を受けるように設定します。
• テレビ電話をオープン通話で受けると、代替画像での応答となります。

1 ●▶設定▶4▶5▶1を押す

2 1「ON」を押す
• 設定しないときは2「OFF」を押します。

クローズ動作
FOMA端末を折りたたんで通話を終了／保留する

お買い上げ時	切断

FOMA端末を折りたたんで、音声電話やテレビ電話の通話を終了したり、保留したりするように設定します。
• 64Kデータ通信、パケット通信では本機能は動作しません。

1 ●▶設定▶4▶5▶2を押す

2 折りたたんだときの動作を選択し、●を押す

切断	FOMA端末を折りたたむと電話が切れます。
保留	FOMA端末を折りたたむと保留中音が鳴り、保留になります。（開くと通話状態に戻ります。）
ミュート	FOMA端末を折りたたむと保留音は鳴らず、保留になります。テレビ電話では自画像の代わりに代替画像が送信されます。

お知らせ
●平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続して通話中にFOMA端末を折りたたんだ場合、クローズ動作の設定に関わらず通話は継続します。

着信履歴

着信履歴を利用する

電話をかけてきた相手の電話番号などの情報は着信履歴として記録されます。

- 30件まで記録されます。30件を超えると古いものから削除されます。

1 を押す



着信履歴一覧画面

- 相手の電話番号、日付、着信時間が表示されます。
- 相手の電話番号が電話帳に登録されている電話番号と一致したときは、名前が表示されます。
- 電話番号が表示されないときは、非通知理由が表示されます。→P150
- を押すと、リダイヤル一覧を表示できます。

■ 電話帳に登録されている画像を表示しないとき

① [機能] ▶ 6 「フォト表示OFF」を押す

- 表示するときは 6 「フォト表示ON」を押します。

■ ｉモードメールを送るとき

- 電話番号が電話帳に登録されていて、その電話帳にメールアドレスが登録されていると、メールアドレスが宛先になります。登録されていないときは、電話番号が宛先になります。

① 相手を選択し、 [機能] ▶ 1 「メール作成」を押す

- 以降の操作：→P209「ｉモードメールを作成して送信する」手順4～6
- 着信履歴詳細画面でも同じ操作でメール作成を行えます。

2 着信履歴を選択し、 を押す



着信履歴詳細画面

- 不在着信を選択したときは、画面に呼出時間が表示されます。

■ 電話帳に登録されている画像を背景として表示しないとき

① [機能] ▶ 6 「シースルー表示OFF」を押す

- 表示するときは 6 「シースルー表示ON」を押します。

■ 通話中にプッシュ信号を送信するとき

- 通話中に着信履歴を表示する→P315

① 着信履歴を選択し、 [機能] ▶ 7 「プッシュ信号送信」を押す

■ 着信履歴に表示されるアイコンについて

アイコン	内　容	アイコン	内　容
	音声電話着信		64Kデータ通信不在着信（確認済）
	音声電話不在着信		基本契約番号着信（マルチナンバー）
	音声電話不在着信（確認済）		付加番号1着信（マルチナンバー）
	国際電話着信		付加番号2着信（マルチナンバー）
	テレビ電話着信		基本契約番号国際電話着信（マルチナンバー）
	テレビ電話不在着信		付加番号1国際電話着信（マルチナンバー）
	テレビ電話不在着信（確認済）		付加番号2国際電話着信（マルチナンバー）
	64Kデータ通信着信		伝言メモあり
	64Kデータ通信不在着信		

3 [send key]を押す

- [TV phone key]を押すと、テレビ電話をかけられます。
- ⦿を押すと、いろいろな機能を利用できます。→P193

不在着信履歴、無音着信履歴、拒否履歴を表示する

着信拒否設定を行っている電話は、拒否履歴として着信履歴とは別に30件まで記録されます。30件を超えると古いものから削除されます。

1 [左キー]▶[i]［機能］を押す

2 履歴の種類を選択し、⦿を押す

不在着信履歴表示	出られなかった電話の着信履歴のみを表示します。
無音着信履歴表示	呼出動作開始時間で設定した時間内の着信履歴を表示します。
拒否履歴表示	着信拒否設定をしている相手からや着信を拒否した着信履歴を表示します。履歴には [手動拒否アイコン]（手動による拒否）または [設定拒否アイコン]（設定による拒否）が表示されます。 ①端末暗証番号を入力し、⦿を押します。

お知らせ

- ●電源を切っても、着信履歴は削除されません。
- ●相手がダイヤルインを利用している場合、ダイヤルイン番号以外の番号が表示されることがあります。
- ●相手の電話番号が複数の電話帳に登録されているときの名前の表示などは、次の順位で優先されます。
  - ① 直デンに登録している電話帳
  - ② 通常使用の電話番号として登録している電話帳
  - ③ フリガナの50音順
  - ④ メモリ番号の小さい順
- ●発着信履歴表示の「着信/受信アドレス履歴」が「OFF」の場合、着信履歴は表示されません。
- ●マルチナンバーに登録している発信番号を選択する→P342

<着信履歴削除>

着信履歴を削除する

1 着信履歴一覧画面で着信履歴を選択し、[i]［機能］▶[2]「削除」を押す

2 [1]「1件削除」を押す

■ 選択削除するとき

①[2]「選択削除」を押す

②着信履歴を選択し、⦿を押す

- 解除するときは⦿を押します。

③[i]［実行］を押す

■ 全件削除するとき

①[3]「全件削除」を押す

②端末暗証番号を入力し、⦿を押す

3 [1]「はい」を押す

- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

次ページへつづく

お知らせ

●着信履歴詳細画面でi［機能］▶2「削除」を押しても削除できます。
●着信履歴を全件削除しても、拒否履歴は削除されません。

受話音量

通話中に相手の声の音量を調節する

お買い上げ時	LEVEL3

音声電話やテレビ電話の通話中に、相手の声の大きさをLEVEL1（最小）～LEVEL5（最大）の5段階で調節します。

1 通話中に を押す



音声電話通話中



テレビ電話通話中

2 音量を大きくするには 、小さくするには を押す

• 押し続けると音量を連続して調節できます。

お知らせ

●通話中に変更された音量は、通話終了後も保持されます。
●受話音量は電源を切っても保持されます。

待受中に調節する

1 ●▶  ▶1▶1▶1を押す

2 音量を大きくするには 、小さくするには を押す

• 押し続けると音量を連続して調節できます。

3 ●を押す

ナイショ

小声で会話できるようにする

小さな声で話しても、相手には通常の音量で聞こえるようにします。

- マナーモード中、ハンズフリー対応機器と接続時の通話中は設定できません。

1 通話中に i［機能］▶ 2「ナイショ」を押す

通話中画面に「ナイショ」と表示されます。

■ ナイショを解除するとき

① ✉［解除］を押す

ゲキタイ

迷惑電話をゲキタイする

いたずら電話の場合などに相手の声をそのまま送り返します。

- ゲキタイが使えるのはかかってきた電話に対してのみです。（電話をかけたときは使えません。）
- こちらの声は相手に聞こえません。

1 通話中に i［機能］▶ 3「ゲキタイ」を押す

通話中画面に「ゲキタイ」と表示されます。

■ ゲキタイを解除するとき

① ✉［解除］を押す

ダイヤルメモ

ダイヤルメモを利用する

通話中に電話番号などをメモしておきます。ダイヤルメモはいつでも閲覧したり、ダイヤルメモから電話をかけたりすることができます。

- 5件まで登録できます。5件を超えると古いものから削除されます。
- 1件につき26桁まで登録できます。
- 電源を切っても削除されません。

ダイヤルメモを登録する

1 通話中にメモしておきたい番号をダイヤルボタンで入力する

- 間違えたときは CLR を押します。

2 ✉［登録］▶ 3「ダイヤルメモ登録」を押す

ダイヤルメモを利用する

1 ●▶［プライベート］▶4▶5を押す

■ 電話をかけるとき

① ダイヤルメモを選択し、[発信]を押す
- テレビ電話をかけるときは[テレビ電話]を押します。

■ ダイヤルメモを削除するとき

① ダイヤルメモを選択し、[i]［機能］▶1「削除」を押す
② 1「1件削除」を押す
- 2「全件削除」を押したときは端末暗証番号を入力し、●を押します。

③ 1「はい」を押す
- 中止するときは2「いいえ」を押します。

■ 通話中にプッシュ信号を送信するとき

- 通話中にダイヤルメモを表示する→P315

① ダイヤルメモを選択し、[i]［機能］▶2「プッシュ信号送信」を押す

2 ダイヤルメモを選択し、●を押す

ダイヤルメモ詳細画面が表示されます。

お知らせ

●ダイヤルメモ詳細画面から削除するには[i]［機能］▶1「削除」を押します。
●ダイヤルメモ詳細画面からプッシュ信号を送信するには[i]［機能］▶2「プッシュ信号送信」を押します。
●ダイヤルメモ詳細画面で●を押すと、音声電話やテレビ電話の発信、電話帳登録などが行えます。→P193

応答保留

すぐに電話に出られないときに保留にする

着信中に、すぐに電話に出られない場合に保留にします。

- 応答保留中、かけてきた相手には通話料金がかかります。

1 着信中に[PWR]を押す



音声電話応答保留中



テレビ電話応答保留中

「ピー、ピー、ピー」と音が鳴り、応答保留になります。
相手に応答保留のガイダンスが流れます。
- テレビ電話がかかってきたときは、自分と相手にはテレビ電話応答保留画像が送信されます。

2 電話に出られる状態になったら[発信]を押す

- テレビ電話のときは[テレビ電話]または[発信]を押すと自画像で応答します。●を押すと代替画像で応答します。

お知らせ

●応答保留のガイダンスは編集できます。
●マナーモード中や着信音量が「OFF」のときは、応答保留時の「ピー、ピー、ピー」という音は鳴りません。オリジナルマナーモードで着信音量が「OFF」以外に設定されている場合は、「ピー、ピー、ピー」という音が鳴ります。
●エニーキーアンサーを「ON」にしているときは、[応答保留]以外でも音声電話の応答保留を解除できます。→P64
●応答保留中に[PWR]を押すか、相手が電話を切ると、通話は切れます。
●留守番電話サービスや転送でんわサービスをご契約されている場合は、着信中に[i]［機能］を押して、留守番電話サービスセンターへの接続や転送先への転送ができます。ただし、留守番電話サービスはテレビ電話に対応していません。

応答保留音

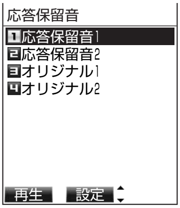
応答保留音を設定する

お買い上げ時	応答保留音1

音声電話やテレビ電話の応答保留中に、相手に流す応答保留音を設定します。また、お好きなメッセージを録音して応答保留音として設定できます。

• 2件、各12秒まで録音できます。

1 [●]▶[設定]▶[1]▶[2]▶[◎]▶[7]を押す



応答保留音一覧画面

2 [1]～[4]を押す

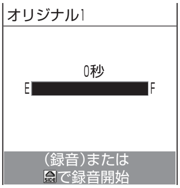
応答保留音1	「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。」（FOMA端末に内蔵の応答保留音）
応答保留音2	「ただいま電話に出ることができません。申し訳ありませんがまもなく出ますので、よろしければそのままお待ちください。」（FOMA端末に内蔵の応答保留音）
オリジナル1、2	録音した応答保留音

• [✉]［再生］を押すと、応答保留音を確認できます。再生中に[●]を押すと、設定できます。
•「オリジナル1」、「オリジナル2」にはお好きなメッセージを録音できます。録音前は設定できません。

応答保留音を録音する

1 応答保留音一覧画面で「オリジナル1」または「オリジナル2」を選択する

2 [i]［機能］▶[1]「録音」を押す



3 [●]を押す

録音を開始します。送話口に向かってお話しください。

4 [●]を押す

録音を停止します。録音可能時間を超えると自動的に録音は停止します。

- 応答保留音を録音すると、応答保留音一覧画面にが表示されます。
- [✉]［再生］を押すと、録音した応答保留音を確認できます。

録音した内容を削除する

- 設定している「オリジナル1」、「オリジナル2」を削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。

1 応答保留音一覧画面で「オリジナル1」または「オリジナル2」を選択し、[i]［機能］▶[2]「削除」を押す

2 [1]「はい」を押す

- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

通話中保留音

通話中保留音を設定する

お買い上げ時	通話中保留音 1

音声電話やテレビ電話の通話保留時に流す通話中保留音を設定します。

1 [●]▶[設定]▶[1]▶[2]▶[●]▶[8]を押す

2 [1]～[4]を押す

通話中保留音1	「グリーンスリーヴス」（FOMA端末に内蔵の通話中保留音）
通話中保留音2	「愛の挨拶」（FOMA端末に内蔵の通話中保留音）
オリジナル1、2	録音した通話中保留音

- [✉]［再生］を押すと、通話中保留音を確認できます。
- 「オリジナル1」、「オリジナル2」にはお好きなメッセージを録音できます。録音前は設定できません。録音／削除方法は応答保留音と同じです。→P72

公共モード（ドライブモード）

公共モード（ドライブモード）を利用する

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードを設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

- 公共モードの設定／解除は、待受中のみできます。（画面に「圏外」が表示されているときでも可能です。）
- 公共モード設定中でも、通常どおり電話をかけることができます。
- 本機能は、データ通信中は、ご利用できません。
- 番号通知お願いサービスを「開始」に設定中に「非通知設定」の着信をした場合、番号通知お願いガイダンスが流れます。（公共モードのガイダンスは流れません。）

公共モード（ドライブモード）を利用する

1 待受画面で[＊]を1秒以上押す

公共モードが設定され、待受画面に[車]が表示されます。

- 着信時に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。
- マナーモードを同時に設定しているときは、公共モードの設定が優先されます。

■ 公共モード（ドライブモード）を解除するとき

①**待受画面で[＊]を1秒以上押す**

公共モードが解除され、[車]が消えます。

公共モード（ドライブモード）を設定すると

お客様のFOMA端末に電話がかかってきても、着信音は鳴りません。画面にはお知らせアイコンが表示され、不在着信履歴に記録されます。

電話をかけてきた相手には運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

公共モード（ドライブモード）中の各ネットワークサービスの関係について

公共モード中には各ネットワークサービスは次のように動作します。

サービス名	音声電話着信時	テレビ電話着信時
留守番電話サービス	運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れたあと、留守番電話サービスセンターに接続されます。	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されず、留守番電話サービスに接続されます。※
転送でんわサービス	運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れたあと、転送先へ転送されます。相手に流れるガイダンスは、転送でんわサービスのガイダンス有無設定に従います。「ガイダンスを流す」に設定したときは、公共モードのガイダンスが流れます。「ガイダンスを流さない」に設定したときは、ガイダンスは流れません。	相手に公共モード中である旨の映像ガイダンスは表示されずに、転送先へ転送されます。転送先がテレビ電話に対応していない電話機の場合は切断されます。
キャッチホン	公共モードのガイダンスが流れた後、切断されます。	公共モードを設定している場合、相手に公共モードの映像ガイダンスが流れた後、切断されます。
迷惑電話ストップサービス	相手を迷惑電話着信拒否に登録している場合、相手に接続できなかった旨のガイダンスが流れた後、切断されます。	相手を迷惑電話着信拒否に登録している場合、相手に接続できなかった旨の映像ガイダンスが流れた後、切断されます。
番号通知お願いサービス	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスが流れた後、切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードのガイダンスが流れた後、切断されます。	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスが流れた後、切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードの映像ガイダンスが流れた後、切断されます。

※2006年5月現在、留守番電話サービスに接続されず、切断されます。

お知らせ

●公共モード（ドライブモード）設定中は、次の音が鳴りません。
- 音声／テレビ電話の着信音
- メール・メッセージ着信音
- 各種アラーム・確認音

公共モード（電源OFF）

公共モード（電源OFF）を利用する

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（電源OFF）を設定すると、電源を切っている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要のある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

公共モード（電源OFF）を利用する

1 「✱25251」をダイヤルする

公共モード（電源OFF）が設定されます。（待受画面上の変化はありません。）
- 公共モード（電源OFF）設定後、電源を切った際の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

■ 公共モード（電源OFF）を解除するとき

①「*25250」をダイヤルする

公共モード（電源OFF）が解除されます。

■ 公共モード（電源OFF）の設定を確認するとき

①「*25259」をダイヤルする

公共モード（電源OFF）の設定状況を確認できます。

公共モード（電源OFF）を設定すると

「*25250」をダイヤルして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。
サービスエリア外または電波の届かないところにいる場合も、公共モード（電源OFF）ガイダンスが流れます。
電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

公共モード（電源OFF）中の各ネットワークサービスの関係について

公共モード（電源OFF）中には各ネットワークサービスは次のように動作します。

サービス名	音声電話着信時	テレビ電話着信時
留守番電話サービス	電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れたあと、留守番電話サービスセンターに接続されます。	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されず、留守番電話サービスに接続されます。※
転送でんわサービス	電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れたあと、転送先に転送されます。 相手に流れるガイダンスは、転送でんわサービスのガイダンス有無設定に従います。「ガイダンスを流す」に設定したときは、公共モードのガイダンスが流れます。「ガイダンスを流さない」に設定したときは、ガイダンスは流れません。	相手に公共モード中である旨の映像ガイダンスは表示されずに、転送先に転送されます。転送先がテレビ電話に対応していない電話機の場合は切断されます。
迷惑電話ストップサービス	相手を迷惑電話着信拒否に登録している場合、相手に接続できなかった旨のガイダンスが流れた後、切断されます。	相手を迷惑電話着信拒否に登録している場合、相手に接続できなかった旨の映像ガイダンスが表示された後、切断されます。
番号通知お願いサービス	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスが流れた後、切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れた後、切断されます。	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスが流れた後、切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合は、公共モード中である旨の映像ガイダンスが表示された後、切断されます。

※2006年5月現在、留守番電話サービスに接続されず、切断されます。

不在着信

不在着信を確認する

不在着信履歴は着信履歴の中から不在着信のみを表示します。

待受画面で確認する



不在着信があると、待受画面に とお知らせアイコン、通知内容が表示されます。
- ◉を押すと、不在着信履歴一覧が表示されます。
- はすべての不在着信を確認するまで表示されます。

不在着信履歴を表示する

1 リダイヤル／着信履歴一覧画面で i［機能］▶ 3「不在着信履歴表示」を押す

- 不在着信履歴での操作は着信履歴での操作と同じです。→P66

背面ディスプレイで確認する

- 確認するときはサイドボタン操作を有効に設定しておいてください。

1 FOMA端末を折りたたんだ状態で ▾（ボイス）を押す

背面ディスプレイに件数が表示され、音声通知されます。

お知らせ

●リダイヤル／着信履歴詳細画面から不在着信履歴を表示するには、i［機能］▶ 3「不在着信履歴表示」を押します。

伝言メモ

電話に出られないときに用件を録音／録画する

電話に出られないときに応答メッセージを再生し、相手の用件を録音します。テレビ電話の場合は映像も録画します。
- 4件まで、1件につき約20秒まで録音できます。

伝言メモと留守番電話サービス

伝言メモと留守番電話サービスの違いは次のとおりです。

項　目	伝言メモ	留守番電話サービス
録音件数・時間	最大4件、最大約20秒	最大20件、最大3分
伝言の保存期間	制限なし	最大72時間
伝言の保存場所	FOMA端末	留守番電話サービスセンター
録音可能な場所・状況	電話を受ける側が圏内にいて、かつ電源がはいっているときに録音可能	電話を受ける側が圏内／圏外いずれの場所にいても、また電源を切っていても録音可能

<伝言メモ設定>

伝言メモを設定する

お買い上げ時	OFF

1 ●▶（プライベート）▶4▶2を押す

2 1「ON」を押す

- 解除するときは、2「OFF」を押します。操作はここで終了です。

3 i［確定］を押す



伝言メモが設定され、待受画面に が表示されます。

- 応答時間を設定する→P78
- 応答メッセージを設定する→P79

お知らせ

●FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他の取扱いによって、録音内容が消失する場合があります。万一、録音内容が消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。伝言メモの内容は、手帳などにも記録しておくことをおすすめします。
●FOMA端末を折りたたんでいるときは応答メッセージ、相手の声は聞こえません。
●伝言メモが4件録音されているときは、伝言メモを設定できません。応答時間や応答メッセージも設定できません。

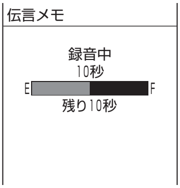
伝言メモを設定したときは

伝言メモ設定中に電話がかかってきた場合、以下のようになります。

1 電話がかかってくる

設定した応答時間経過後、相手に応答メッセージが流れます。

2 相手のメッセージが録音される



音声電話時

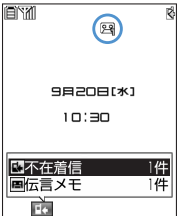


テレビ電話時

「録音中」と表示されて録音が開始されます。テレビ電話時は「伝言メモ録画中」と表示されて録画されます。

- 録音中は相手の声が聞こえません。◎で録音の音量を調節した場合は、FOMA端末の受話口から相手の声が聞こえます。録音時間にかかわらず、録音がはじまると録音件数1件として数えられます。

3 記録が終了すると、電話が切れる



待受画面に□（数字は未確認の伝言メモの件数）とお知らせアイコン、通知内容が表示されます。

- 伝言メモが4件記録されると、アイコンがオレンジになります。
- 通知内容（伝言メモ）を選択し◉を押すと、伝言メモ一覧画面を表示できます。

お知らせ

- 応答メッセージ中、伝言メモ録音・録画中に電話を受けることができます。音声電話のときは□または◉を押します。テレビ電話のときは□を押すと自画像での通話、◉を押すと代替画像での通話となります。このとき、伝言メモ録音・録画中の場合は電話を受けるまでの録音・録画内容は記録されません。
- 伝言メモが4件録音されている場合は、伝言メモ機能は動作せず、着信音が鳴り続けます。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを「開始」に設定している場合は、各サービスに接続します。
- 伝言メモ録音・録画中に他の人から電話がかかってきたときは、着信を拒否して録音を継続します。拒否された電話も着信履歴に記録されます。
- 公共モード（ドライブモード）中は伝言メモは動作しません。

<応答時間>

応答メッセージが始まるまでの時間を設定する

お買い上げ時	8秒

着信があってから伝言メモが起動するまでの時間を設定します。

1 ◉▶プライベート▶4▶2▶1▶1を押す

2 応答時間を入力して、◉を押す

- 0～120秒まで設定できます。

3 □［確定］を押す

お知らせ

- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスと伝言メモを同時に設定している場合、伝言メモの利用を優先するときは応答時間を各サービスの呼出時間より短く設定してください。

応答メッセージを設定する

お買い上げ時	標準

自分の声を応答メッセージとして録音することもできます。
- 2件、各12秒まで録音できます。

1 ●▶ [プライベート] ▶ 4 ▶ 2 ▶ 1 ▶ 2 **を押す**

2 1 〜 4 **を押す**

標準	「ただいま電話にでることができません。ピーという発信音の後に、20秒以内でお名前、連絡先などをお話ください。」(FOMA端末に内蔵の応答メッセージ)
ドライブ	「ただいま運転中のため電話に出ることができません。ピーという発信音の後に、20秒以内でお名前、連絡先などをお話ください。」(FOMA端末に内蔵の応答メッセージ)
オリジナル1、2	録音した応答メッセージ

- ✉ [再生] を押すと、応答メッセージを確認できます。
- 「オリジナル1」、「オリジナル2」にはお好きなメッセージを録音できます。録音前は設定できません。録音／削除方法は応答保留音と同じです。→P72

3 i **[確定] を押す**

テレビ電話伝言メモの応答メッセージ画像を設定する

テレビ電話の伝言メモ応答メッセージ再生中や録画中に表示する画像を設定します。

1 ●▶ [設定] ▶ 5 ▶ 6 ▶ 2 **を押す**

2 1 **「マイピクチャ」を押す**

- 設定しないときは 2 「OFF」を押します。操作はここで終了です。

3 **静止画を選択し、● を押す**

お知らせ

●テレビ電話伝言メモ画像を設定しないときは、お買い上げ時の画像(「伝言メモ(テレビ電話)」)を表示します。

伝言メモを再生／削除する

伝言メモを再生する

1 ●▶プライベート▶4GHIた▶3DEFさを押す

2 メモを選択し、●を押す

- 再生中に◎を押すと、音量調節ができます。
- ●を押すと、停止します。

お知らせ

●伝言メモを選択し、i［機能］を押して音声電話やテレビ電話をかけたり、電話帳に電話番号を登録したりできます。
●通話終了後すぐには再生できません。待受画面に戻るまでお待ちください。
●テレビ電話伝言メモはスピーカーから再生されます。

伝言メモを削除する

1 ●▶プライベート▶4GHIた▶3DEFさを押す

2 メモを選択し、i［機能］▶7PQRSま「削除」を押す

3 1@あ「1件削除」を押す

- 2ABCか「全件削除」を押したときは端末暗証番号を入力し、●を押します。

4 1@あ「はい」を押す

- 中止するときは2ABCか「いいえ」を押します。

お知らせ

●伝言メモを再生中に削除するには、i［機能］▶7PQRSま「削除」を押します。

テレビ電話のかけかた／受けかた

テレビ電話について 82
テレビ電話をかける 83
テレビ電話を受ける 85
相手側に送信する映像について設定する 86
テレビ電話のハンズフリーについて設定する
. . . . <テレビ電話ハンズフリー設定> 88
テレビ電話通話中の画面表示について設定する 88
テレビ電話の設定を変更する 90

テレビ電話について

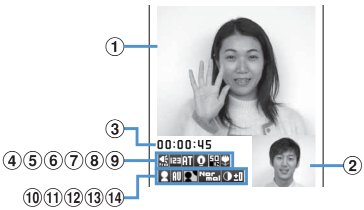
ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしでテレビ電話を利用できます。
自画像以外に代替画像として静止画などを送受信できます。

ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

- テレビ電話の通信速度には、次の2種類があります。
  - 64K：通信速度64kbpsで通信をします。
  - 32K：通信速度32kbpsで通信をします。※3

※1 3GPP（3rd Generation Partnership Project）
第三世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体。
※2 3G-324M
第三世代携帯テレビ電話の国際規格。
※3 SA702iでは、32Kのテレビ電話は利用できません。

テレビ電話画面の見かた

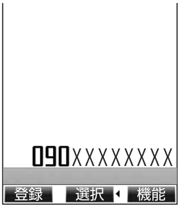


機　能	説　明	機　能	説　明
①親画面	相手のカメラ映像を表示（お買い上げ時）	⑧ちらつき軽減	表示なし：自動で抑制、50Hz、60Hz
②子画面	自分のカメラ映像を表示（お買い上げ時）	⑨接写切替	接写モード
③通話時間	通話時間を表示	⑩送信画像種別	自画像、代替画像 通話保留中、応答保留中、 伝言メモ録音中、 通話中音声メモ録音中、 ファイル再生中
④ハンズフリー	ハンズフリー通話中	⑪音声／映像	映像+音声、映像のみ、 音声のみ
⑤DTMF送信	DTMF送信	⑫特殊効果	セピア、モノクロ、 レッドなど4色
⑥ホワイトバランス	自動、晴天、曇天、 電球、蛍光灯（昼白色）、 蛍光灯（昼光色）	⑬送信画質	標準、動き優先、 画質優先
⑦ライト	ライト点灯（黒）、 使用不可（グレー）	⑭明るさ	～～の範囲で明るさを調整

テレビ電話をかける

- ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して、国際テレビ電話を利用できます。→P59

1 待受画面で市外局番から電話番号を入力する



- 同一市内への通話でも、必ず市外局番から入力してください。
- 電話番号は26桁表示されます。
- 電話番号は3～80桁まで有効です。
- 電話番号を訂正するには、[CLR]を押します。
- 最初から電話番号を入力し直したいときは、[CLR]を1秒以上押すか、[PWR]を押して待受画面に戻してから行ってください。

一般電話にかける	：市外局番－市内局番－電話番号
携帯電話にかける	：090－XXXX－XXXX、080－XXXX－XXXX
PHSにかける	：070－XXXX－XXXX

2 [テレビ電話]を押す

「プップップッ」という発信音がして電話がかかります。

- 相手が話し中のときは、「プープー」という話中音が聞こえ、「お話中です」と表示されます。[PWR]を押していったん発信を終了し、しばらくたってからおかけ直しください。
- ●▶[2]「テレビ電話発信」を押しても電話がかかります。
- 画面に「テレビ電話接続中」と表示された時点から課金されます。

3 テレビ電話接続後、相手と通話する



- テレビ電話ハンズフリー設定が「OFF」のときは、[スピーカー]を押してハンズフリー通話に切り替えます。
- ハンズフリー通話にしない場合は、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続してください。
- 相手の設定により、代替画像などが表示される場合があります。

■ 代替画像とカメラ映像を切り替えるとき

① [テレビ電話]を押す

■ インカメラとアウトカメラを切り替えるとき

① [メール]［カメラ切替］を押す

- アウトカメラのときは接写モードに切り替えることができます。→P169

■ データBOXの画像を表示するとき

- 画像サイズがQCIF以下の画像を表示できます。

① テレビ電話通話中に[i]［機能］▶[5]「ファイル再生」を押す
② フォルダを選択し、●を押す
③ データを選択し、●を押す

4 通話が終わったら[PWR]を押す

テレビ電話がかからなかった場合のメッセージについて

電話がかからなかった理由がメッセージとして表示されます。
メッセージは相手の電話機種別や契約しているネットワークサービスによって異なります。

メッセージ	説　明
番号をご確認の上おかけ直しください	使用されていない電話番号にかけています。
お話中です	相手が話し中か64Kデータ通信中かパケット通信中です。
電波の届かない所にいるか電源が切れています	相手が圏外にいるか、電源が入っていません。
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号非通知で接続した場合に表示されます。（Vライブやビジュアルネット等への発信時）
音声電話でおかけ直しください	転送でんわサービスを設定していて、転送先がテレビ電話非対応端末の場合に表示されます。※
接続できませんでした	上記以外の場合に表示されます。

※2006年5月現在、相手が留守番電話サービスを設定している場合も表示されます。

<通話中保留>

テレビ電話通話中に保留にする

1 テレビ電話通話中に(●)を押す



テレビ電話が保留になります。

■ 保留を解除するとき

- **[カメラ]または[切替]を押す**
  自画像で通話を再開します。
- **[✉]［解除］を押す**
  保留前に送信していた画像での通話を再開します。
- **(●)を押す**
  代替画像が送信されます。

お知らせ

●代替画像として静止画を利用した場合にも、通信料金は音声通話料ではなくデジタル通信料になります。
●緊急通報番号（110番、119番、118番）へテレビ電話をかけることはできません。ただし、音声自動再発信設定を「ON」に設定しているときは、音声電話として電話をかけ直します。→P90
●テレビ電話非対応端末にかけた場合や、相手がテレビ電話対応端末でも圏外にいる場合や電源を切っている場合は接続できません。テレビ電話非対応端末にかけた場合で、音声自動再発信設定を「ON」に設定しているときは、テレビ電話接続前に相手から切断され、音声電話として電話をかけ直します。ただし、ISDN同期64kbpsやPIAFSのアクセスポイント、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話など（2006年5月現在）、間違い電話をしたときは、このような動作にならない場合があります。通話料金が発生する場合もありますのでご注意ください。
●SA702iは32Kのテレビ電話には対応しておりません。PHSなど、ネットワーク環境により32Kでしか接続できない場合、テレビ電話をかけることはできません。音声自動再発信設定が「ON」の場合は、自動的に音声電話に切り替えて再発信されます。
●テレビ電話通話中、音声または映像の通信が切れて A（音声のみ）または V（映像のみ）が表示されても、通話が継続される場合があります。
●テレビ電話通話中に電波状況が悪くなると、映像がモザイク表示になる場合があります。
●テレビ電話通話中は、音声電話やテレビ電話をかけることができません。また、ｉモード接続、ｉモードメール、メッセージR/Fの送受信もできません。ただし、SMSはテレビ電話通話中でも受信できます。
●マナーモード中でも、ハンズフリー通話は行えます。
●ハンズフリー通話はFOMA端末を耳から離してご使用ください。急に音量が大きくなり、耳に損傷などを与える恐れがあります。FOMA端末から20～40cmの間でご使用ください。

テレビ電話を受ける

- カメラ映像の代わりに代替画像を表示させて、テレビ電話を受けることもできます。

1 テレビ電話がかかってきたら、またはを押す



画面に「テレビ電話着信中」と表示され、電話番号（または非通知理由）などが表示されます。

- 着信中にPWRを押すと、応答保留になります。

■ 代替画像でテレビ電話を受けるとき

①◉を押す

2 テレビ電話接続後、相手と通話する



- テレビ電話ハンズフリー設定が「OFF」のときは、を押してハンズフリー通話に切り替えます。
- ハンズフリー通話にしない場合は、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続してください。

■ 代替画像とカメラ映像を切り替えるとき

①を押す

■ インカメラとアウトカメラを切り替えるとき

①［カメラ切替］を押す

- アウトカメラのときは接写モードに切り替えることができます。→P169

3 通話が終わったらPWRを押す

着信中の操作について

テレビ電話着信中、［機能］を押して次の操作ができます。

着信拒否	電話を受けず、そのまま電話が切れます。拒否履歴に記録されます。
転送でんわ	登録している転送先に電話を転送します。→P340
伝言メモ	相手の映像／音声を記録します。

お知らせ

- テレビ電話の留守番電話サービスへの接続は、2006年5月現在、サービス未提供ですので、留守番電話サービスを開始に設定していても、テレビ電話は留守番電話サービスセンターに接続されず、呼出時間経過後に着信が切れます。
- テレビ電話がかかってきたときは、転送でんわサービスを開始に設定していても、転送先を3G-324Mに準拠した64Kのテレビ電話対応機に設定していない場合は接続されません。転送先の電話機をあらかじめご確認の上、転送設定を行ってください。
- 迷惑電話ストップサービスで拒否登録した電話番号からテレビ電話がかかってきた場合、相手には着信拒否の映像ガイダンスが表示され、通話が切断されます。
- 相手が32Kでテレビ電話を発信した場合、FOMA端末は着信音やバイブレータなど着信動作を行いません。また着信履歴にも記録されません。
- PIMロック（マルチメディア）中は代替画像が「カメラオフ（テレビ電話）」になります。
- 画像サイズがSub-QCIF設定されている端末とテレビ電話をするときは、相手の画像が正しく表示されません。

相手側に送信する映像について設定する

テレビ電話通話中に、相手に送信する映像について設定します。

- 相手の画像を親画面に表示する設定の場合、子画面で画像を確認できます。
- 代替画像として静止画を送信中は、次の機能は設定できません。

- 送信画質設定	- 特殊効果	- ホワイトバランス	- 明るさ調整
- ライト	- ズーム	- ちらつき軽減	

送信する映像の画質を設定する

お買い上げ時	標準

相手に送信する映像の画質を設定します。

1 テレビ電話通話中に[i]［機能］▶[○]▶[1]「送信画質設定」を押す

2 [1]～[3]を押す

標準	画像、動きとも標準の画像となります。
動き優先	動きはなめらかですが、画質は少し粗い画像となります。
画質優先	高画質ですが少し動きが不安定な画像となります。

映像に特殊効果をかけて送信する

お買い上げ時	効果なし

相手に送信する映像に特殊効果をかけます。相手に特殊効果がかかった映像が映ります。

1 テレビ電話通話中に[i]［機能］▶[6]▶[1]「特殊効果」を押す

2 [1]～[7]を押す

- 効果について→P170
- 効果をかけないときは[1]「効果なし」を押します。

ホワイトバランスを調整する

お買い上げ時	自動

相手に送信する映像のホワイトバランスを調整します。周囲の環境に応じて設定を変更できます。

1 テレビ電話通話中に[i]［機能］▶[6]▶[2]「ホワイトバランス」を押す

2 [1]～[6]を押す

- 項目について→P170

明るさを調整する

お買い上げ時	明るさ：±0　ライト：OFF

相手に送信する映像の明るさを調整します。
- −5〜+5まで11段階の設定ができます。

1 テレビ電話通話中に▲または▼を押す

◐±0の数値が変わります。
- ▲を押すごとに画像が明るくなります。
- ▼を押すごとに暗くなります。

ライトをつける

アウトカメラ使用時にライトをつけると明るい映像を送信できます。

1 テレビ電話通話中にi［機能］▶6▶3「ライト」を押す

2 1「ON」を押す

- 消灯するときは2「OFF」を押します。

<ズーム>
表示倍率を切り替える

お買い上げ時	等倍

相手に送信する映像の表示倍率を切り替えます。
- インカメラ、アウトカメラを切り替えると、ズームはもとに戻ります。

1 テレビ電話通話中に◀または▶を押す



ズームバーが表示され、倍率が変わります。
- ▶を押すごとに画像が大きくなります。
- ◀を押すと、小さくなります。（縮小表示はされません。）

プッシュ信号（DTMF）を送出する

テレビ電話通話中にプッシュ信号（DTMF）を送出します。

1 テレビ電話通話中にダイヤルボタンを押す

番号が表示され、送出されます。

<テレビ電話画像選択>

送信する画像を変更する

お買い上げ時	代替画像：カメラオフ（テレビ電話） テレビ電話伝言メモ画像：伝言メモ（テレビ電話） 応答保留画像：応答保留（テレビ電話） 通話中保留画像：通話中保留（テレビ電話）

テレビ電話中の代替画像やテレビ電話伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像を変更できます。

- 通話開始時から選択した代替画像でテレビ電話をかけるときは、発信時自画像送信を「OFF」にしておきます。→P90
- テレビ電話伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像表示中は、FOMA端末にも表示されます。
- 画像サイズがQCIF以下の画像を設定できます。

1 ● ▶ 設定 ▶ 5 ▶ 6 を押す

2 1 〜 4 を押す

3 1「マイピクチャ」を押す

- 設定しないときは 2「OFF」を押します。操作はここで終了です。

4 静止画を選択し、●を押す

テレビ電話ハンズフリー設定

テレビ電話のハンズフリーについて設定する

お買い上げ時	ON

テレビ電話を開始すると、自動的にハンズフリーに切り替わります。

1 ● ▶ 設定 ▶ 5 ▶ 7 を押す

2 1「ON」を押す

- 設定しないときは 2「OFF」を押します。

テレビ電話通話中の画面表示について設定する

テレビ電話通話中に表示する画面を設定します。

受信する映像の画質を設定する

お買い上げ時	標準

1 テレビ電話通話中に i［機能］▶ ◎ ▶ 2「受信画質設定」を押す

2 [1]～[3]を押す

標準	画像、動きとも標準の画像となります。
動き優先	動きはなめらかですが、画質は少し粗い画像となります。
画質優先	高画質ですが少し動きが不安定な画像となります。

受信する映像のちらつきを抑える

お買い上げ時	自動

1 テレビ電話通話中に[i]［機能］▶[6]▶[4]「ちらつき軽減」を押す

2 [1]～[3]を押す

親画面・子画面の映像を設定する

お買い上げ時	親画面：相手画像　子画面：自画像　表示画面：両方

親画面と子画面の映像を切り替える

1 テレビ電話通話中に[i]［機能］▶[3]「画面表示位置切替」を押す

親画面にFOMA端末の映像が表示され、子画面に相手の映像が表示されます。

- 手順1を行うごとに、親画面と子画面の映像が切り替わります。

親画面と子画面の表示を設定する

1 テレビ電話通話中に[i]［機能］▶[1]「テレビ電話画面設定」を押す

2 [1]～[3]を押す

両方	親画面と子画面の両方に映像が表示されます。
相手画像	相手の映像のみ表示されます。
自画像	自分の映像のみ表示されます。

親画面の表示サイズを変更する

お買い上げ時	拡大表示

映像が粗い場合は、等倍表示にすることをおすすめします。

1 テレビ電話通話中に[i]［機能］▶[2]「等倍表示」を押す

親画面の表示サイズが等倍表示になります。

- 拡大表示にするときは[2]「拡大表示」を押します。

ディスプレイの照明を設定する

お買い上げ時	ON

テレビ電話通話中のディスプレイ照明の常時点灯ON／OFFを設定します。

1 テレビ電話通話中に i ［機能］▶ 7 「照明設定」を押す

2 1 「ON」を押す

- 設定しないときは 2 「OFF」を押します。「OFF」に設定すると、照明設定の設定に従います。

テレビ電話の設定を変更する

お買い上げ時	発信時自画像送信：ON　音声自動再発信設定：OFF テレビ電話画面設定：両方　画面サイズ設定：拡大表示　送信画質設定：標準

テレビ電話がつながらなかったときやテレビ電話通話中の画像について設定します。

- 相手へのアクセスをより確実なものとするために「音声自動再発信設定」という設定項目があります。音声自動再発信設定とは、テレビ電話をかけた相手がテレビ電話に対応していない端末のときや、デュアルネットワークサービスでmova サービスを利用中の場合などでテレビ電話を受けられないときなどに、自動的に音声電話に切り替えて再発信する機能です。

1 ◉▶ 設定 ▶ 5 を押す

2 項目を選択し、◉を押す

発信時自画像送信	テレビ電話をかけるときの送信画像を設定します。 ① 1 「ON」または 2 「OFF」を押す ・「OFF」を押したときは代替画像を設定します。以降の操作：→P88「送信する画像を変更する」手順3～4
音声自動再発信設定	音声電話で自動的にかけ直すときに設定します。 ① 1 「ON」または 2 「OFF」を押す
テレビ電話画面設定	テレビ電話通話中の画面表示を変更します。 ① 1 ～ 3 を押す
画面サイズ設定	親画面の表示サイズを変更します。 ① 1 「拡大表示」または 2 「等倍表示」を押す
送信画質設定	送信する映像の画質を設定します。 ① 1 ～ 3 を押す
テレビ電話画像選択	相手に送信する画像を変更します。→P88
テレビ電話ハンズフリー設定	テレビ電話開始時のハンズフリー通話ON／OFFを設定します。→P88

お知らせ

- 音声自動再発信設定を「ON」に設定していても、相手やネットワークの状況によって再発信できない場合があります。
- 音声自動再発信設定を「ON」に設定しているときに音声で再発信した場合は音声通話の料金になります。
- SA702iは32Kのテレビ電話には対応しておりません。PHSなど、ネットワーク環境により32Kのテレビ電話でしか接続できない場合、音声自動再発信設定が「ON」のときは、自動的に音声電話に切り替えます。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について 94
FOMA端末電話帳に登録する . . . . <電話帳登録> 95
FOMAカード電話帳に登録する . . . . <FOMAカード電話帳登録> 99
リダイヤルや着信履歴などから電話帳に登録する 101
グループを編集する . . . . <グループ編集> 101
電話帳から電話をかける . . . . <電話帳検索> 103
電話帳を修正する . . . . <電話帳編集> 107
電話帳をコピーする 107
電話帳を削除する . . . . <電話帳削除> 109
知られたくない電話帳を守る . . . . <シークレット設定> 109
電話帳の登録状況を確認する . . . . <メモリ登録件数> 110
少ないボタン操作で電話をかける . . . . <ツータッチダイヤル> 110
特定の相手との連絡を簡単に行う . . . . <直デン> 111

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA端末では、FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳が使用できます。

- FOMAカード電話帳は、FOMAカードを差し替えて他のFOMA端末でも使用できます。

FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳の違い

アイコン	登録項目	FOMA端末電話帳	FOMAカード電話帳
		基　本	
	登録件数（メモリ番号）	500件まで登録できます。 （メモリ番号は000～499）	50件まで登録できます。（メモリ番号は設定できません。）
	名前	全角16文字（半角32文字）まで入力できます。	全角10文字（半角21文字※1）まで入力できます。
	フリガナ	半角32文字まで入力できます。	全角カナ12文字（半角英数・記号25文字※2）まで入力できます。
	電話番号	1件の電話帳で3つまで設定できます。 26桁まで入力できます。 電話番号の種類を8種類のアイコンから選択できます。	1件の電話帳に設定できるのは1つだけです。 26桁※3まで入力できます。
	メールアドレス	1件の電話帳で3つまで設定できます。 半角英数字、半角記号を50文字まで入力できます。 メールアドレスの種類を5種類のアイコンから選択できます。	1件の電話帳に設定できるのは1つだけです。 半角英数字、半角記号を50文字まで入力できます。
	グループ	20グループの中から選択します。 グループ名は全角10文字（半角21文字）まで入力できます。	10グループの中から選択します。 グループ名は全角10文字（半角21文字※1）まで入力できます。
	画像	「データBOX」のJPEG／GIF／3GPファイル（映像のみのｉモーション）／Flashが表示できます。※4	設定できません。
	位置情報	経度、緯度、測地系、測位レベル、測位日時が登録できます。	
	シークレット設定	「ON」にすると、電話帳がシークレットモード中のみ表示されるようになります。	
	シークレットコード	シークレットコードを設定している相手にメールを送るときに、シークレットコードを付加して送信できます。	
		指　定	
	個別音声着信	着信音・バイブレータ・着信ランプが設定できます。	設定できません。
	個別テレビ電話着信	着信音・バイブレータ・着信ランプが設定できます。	
	個別メール着信	着信音・バイブレータ・着信ランプ・通知時間が設定できます。	
	個別伝言メッセージ	メッセージの設定ができます。	

アイコン	登録項目	FOMA端末電話帳	FOMAカード電話帳
その他			
	ホームページ	半角英数字、半角記号を256文字まで入力できます。	
	フリーメモ	全角100文字（半角200文字）まで入力できます。	
	血液型	血液型が選択できます。	
	誕生日	半角数字で入力できます。（西暦）	
	星座	星座が選択できます。誕生日の入力で自動的に表示されます。	設定できません。
	郵便番号	半角数字7桁で入力できます。	
	住所	全角50文字（半角100文字）まで入力できます。	
	趣味	全角10文字（半角20文字）まで入力できます。	

※1 全角と半角が混在している場合や、半角カナが含まれている場合は、10文字までしか登録できません。
※2 全角と半角が混在している場合は、12文字までしか登録できません。
※3 FOMAカードによっては半角数字20桁までしか登録できない場合があります。
※4 画像のサイズなどによっては表示できない場合があります。

名前の表示について



音声電話着信時

電話帳に登録した名前や電話番号、画像は、テレビ電話・音声電話の着信があったときに画面に表示されます。また、リダイヤルや着信履歴などにも表示されます。

- 相手が番号非通知にしている場合は、着信があっても登録した情報は表示されません。
- FOMAカード電話帳に登録した名前などは、FOMAカード読み込み中、または電源を入れた直後は表示されない場合があります。

お知らせ

●メールアドレスや電話番号を電話帳に登録した場合、ｉモードメールやSMSを送受信したときに受信アドレス履歴や送信アドレス履歴に表示されます。

電話帳登録

FOMA端末電話帳に登録する

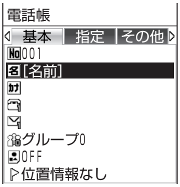
電話番号やメールアドレスなどの基本情報の設定、着信音や伝言メッセージなどの指定、住所や誕生日などその他情報の設定ができます。ここでは基本情報、着信音などの指定、その他情報の順で設定する手順を説明します。

- 500件まで登録できます。電話帳1件につき電話番号3つ、メールアドレス3つまで設定できます。

1 **Ⓢを1秒以上押す**

次ページへつづく

2 1「本体」を押す



電話帳登録画面

- 2「FOMAカード（UIM）」を押すと、FOMAカードに電話帳を登録できます。→P99

3 基本情報を設定する

■ 名前を設定するとき

① 名を選択し、◉を押す

② 名前を入力し、◉を押す

- 全角16文字（半角32文字）まで入力できます。
- 漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号、絵文字、顔文字が入力できます。
- 名前は必ず入力してください。入力しないと電話帳に登録できません。
- 名前を入力すると、ｶﾅにフリガナが自動的に表示されます。
- 名前を英数字にしたときは、フリガナは名前と同じになります。また、絵文字や一部の記号を使用したときはフリガナは表示されません。

■ フリガナを設定するとき

自動的に入力されたフリガナを修正できます。

① ｶﾅを選択し、◉を押す

② フリガナを入力し、◉を押す

- 半角32文字まで入力できます。

■ 電話番号を設定するとき

① 電話を選択し、◉を押す

② 電話番号を入力し、◉を押す

- 「⁎」、「＃」、「＋」、「P」を含めて、26桁まで入力できます。

③ 番号種別を選択し、◉を押す

- 電話番号を1つ設定すると、画面に電話が表示されます。電話番号は3つまで設定できます。
- 電話番号を2つ以上設定したときは、通常使用する電話番号を選択します。

■ メールアドレスを設定するとき

① メールを選択し、◉を押す

② メールアドレスを入力し、◉を押す

- 半角英数字、半角記号を50文字まで入力できます。

③ アドレス種別を選択し、◉を押す

- メールアドレスを1つ設定すると、画面にメールが表示されます。メールアドレスは3つまで設定できます。
- メールアドレスを2つ以上設定したときは、通常使用するメールアドレスを選択します。

■ グループを設定するとき

設定しないときは「グループ0」となります。

① を選択し、●を押す

② グループを選択し、●を押す

- グループ番号は0～19まで選択できます。

■ 画像を設定するとき

1件登録できます。

① を選択し、●を押す

② 1～5を押す

マイピクチャ	① マイピクチャフォルダからデータを選択し、●を押す
iモーション	① iモーションフォルダからデータを選択し、●を押す • 映像のみのiモーションだけ設定可能です。
フォト撮影	静止画を撮影して設定します。 ① 静止画を撮影し、●を押す
ムービー撮影	動画を撮影して設定します。 ① 動画を撮影し、●を押す
OFF	画像を登録しません。

- プレビュー画面が表示されたときは、着信時に表示される位置やサイズなどを設定し、●を押します。

■ 位置情報を埋め込むとき

① を選択し、●を押す

- 以降の操作：→P266「位置情報を埋め込む」手順3

■ シークレット設定するとき

シークレットモード中のみ設定できます。

① を選択し、●を押す

② 1「ON」を押す

- 解除するときは2「OFF」を押します。

■ シークレットコードを設定するとき

相手がメールアドレスにシークレットコードを登録しているときは、シークレットコードを電話帳に設定します。登録すると電話帳からiモードメールを作成するときに自動的にシークレットコードが付加されます。

- メールアドレスが設定されていないときは設定できません。

① を選択し、●を押す

② 端末暗証番号を入力し、●を押す

③ 1「コード設定」を押し、メールアドレスを選択して●を押す

- シークレットコードを確認するときは2「コード参照」を押します。
- 解除するときは3「設定解除」を押します。

④ 4桁のコードを入力し、●を押す

- 「0000」は設定できません。

⑤ 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

■ メモリ番号を設定するとき

① No を選択し、●を押す

② メモリ番号を入力し、●を押す

- で番号を入力することもできます。

次ページへつづく

4 を押し、個別の着信音などを設定する

① 種別を選択し、を押す

：個別音声着信を設定します。
：個別テレビ電話着信を設定します。
：個別メール着信を設定します。
：個別伝言メッセージを設定します。

② 「ON」を押す

- 解除するときは「OFF」を押します。

③ 各項目を設定する

：着信音を選択します。
- 以降の操作：→P116「着信音や着モーションを変更する」手順3～5

：バイブレータを選択します。
- 以降の操作：→P119「着信などを振動で知らせる」手順3～4

：着信ランプを選択します。
- 以降の操作：→P133「着信ランプの色を設定する」手順3～4

：通知時間を設定します。（個別メール着信のみ）
- 通知時間を入力し、を押します。

- 個別伝言メッセージについて→P79「応答メッセージを設定する」手順2

④ ［確定］を押す

5 を押し、その他の情報を設定する

■ ホームページなどのURLを設定するとき
① を選択し、を押す
② URLを入力し、を押す
- 半角英数字、半角記号を256文字まで入力できます。

■ フリーメモを設定するとき
① を選択し、を押す
② メモを入力し、を押す
- 全角100文字（半角200文字）まで入力できます。

■ 血液型を設定するとき
① を選択し、を押す
② ～を押す

■ 誕生日を設定するとき
① を選択し、を押す
② 生年月日を西暦で入力し、を押す
- 誕生日を入力すると、自動的に星座も入力されます。

■ 星座を設定するとき
自動的に入力された星座を変更できます。
① を選択し、を押す
② 星座を選択し、を押す

■ 郵便番号を設定するとき
① を選択し、を押す
② 郵便番号を入力し、を押す

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

■ 住所を設定するとき

① を選択し、を押す

② 住所を入力し、を押す

• 全角50文字（半角100文字）まで入力できます。

■ 趣味を設定するとき

① 趣を選択し、を押す

② 趣味を入力し、を押す

• 全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

6 ［登録］を押す

お知らせ

- 電話帳検索画面から新規登録するには［機能］▶「新規登録」を選択し、▶「本体」を押します。
- ｉモード端末のメールアドレスを登録するときは、メールアドレスの@以降のドメイン名（「@docomo.ne.jp」）は省略できます。（それ以外のメールアドレスを登録するときは、@以降のドメイン名まで入力してください。）
- 電話帳に登録した画像データのサイズやデータ量などによっては、表示に時間がかかる場合があります。
- 184や186を付けて登録した電話番号は、SMSの宛先として使用できません。また、メールアドレスを「184や186+FOMA端末の電話番号@docomo.ne.jp」とすると、ｉモードメールの宛先として使用できません。
- シークレットコードは電話帳のメールアドレスに直接登録せず、シークレットコード設定でコードを入力してください。
- シークレット設定されている相手から着信やメール着信があったときは、シークレットモード中のみ個別着信で設定した動作になります。

お願い

- 電話帳に登録した内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカードを利用したりして保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用してパソコンに保管することもできます。→P378
- ドコモショップなど窓口にて機種変更時など新機種へコピーする際は、仕様によってはFOMA端末に登録したデータをコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合があります。また、電話帳の内容は電池パックを外した状態および空の状態でも約1ヶ月は保持されますが、それ以上経過すると内容が消失してしまう場合があります。

万一、電話帳などに登録してある内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

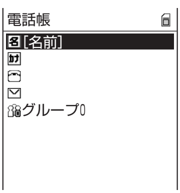
FOMAカード電話帳登録

FOMAカード電話帳に登録する

• 50件まで登録できます。

1 を1秒以上押す

2 「FOMAカード（UIM）」を押す



3 項目を設定する

■ 名前を設定するとき

① 名 を選択し、● を押す

② 名前を入力し、● を押す

- 全角10文字（半角21文字）まで入力できます。（全角と半角が混在している場合や、半角カナが含まれている場合は、10文字までしか登録できません。）
- 漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号、絵文字、顔文字が入力できます。
- 名前は必ず入力してください。入力しないと電話帳に登録できません。
- 名前を入力すると、ｶﾅにフリガナが自動的に表示されます。
- 名前を英数字にしたときは、フリガナは名前と同じになります。また、絵文字や一部の記号を使用したときはフリガナは表示されません。

■ フリガナを設定するとき

自動的に入力されたフリガナを修正できます。

① ｶﾅ を選択し、● を押す

② フリガナを入力し、● を押す

- 全角カナ12文字（半角英数・記号25文字）まで入力できます。（全角と半角が混在している場合は、12文字までしか登録できません。）

■ 電話番号を設定するとき

① ☎ を選択し、● を押す

② 電話番号を入力し、● を押す

- 「＊」、「＃」、「＋」、「P」を含めて、26桁まで入力できます。

■ メールアドレスを設定するとき

① ✉ を選択し、● を押す

② メールアドレスを入力し、● を押す

- 半角英数字、半角記号を50文字まで入力できます。

■ グループを設定するとき

設定しないときは「グループ0」となります。

① グループアイコン を選択し、● を押す

② グループを選択し、● を押す

- グループ番号は0〜9まで選択できます。

4 i ［登録］を押す

- FOMAカードに登録した電話帳には FOMAカードアイコン が表示されます。

お知らせ

●電話帳検索画面から新規登録するには i ［機能］▶「新規登録」を選択し、●▶ 2 「FOMAカード（UIM）」を押します。

●FOMAカードによっては電話番号が20桁までしか入力できない場合があります。

リダイヤルや着信履歴などから電話帳に登録する

1 **またはを押す**

リダイヤル一覧画面または着信履歴一覧画面が表示されます。

■ アドレス履歴から登録するとき

① または▶［アドレス履歴］を押す

2 **電話番号やメールアドレスを選択し、を押す**

3 **▶「電話帳新規登録」を選択し、を押す**

- 以降の操作：→P95「FOMA端末電話帳に登録する」手順2～6、→P99「FOMAカード電話帳に登録する」手順2～4

■ すでに登録されている電話帳に追加登録するとき

① ▶「電話帳追加登録」を選択し、を押す

② 電話帳を選択し、を押す

- 以降の操作：→P107「電話帳を修正する」手順2～4

グループ編集

グループを編集する

電話帳のグループ名やアイコンを変更したり、FOMA端末電話帳のグループごとに着信音や伝言メッセージを設定できます。

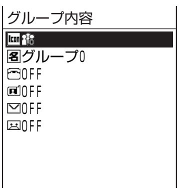
- FOMAカード電話帳で編集できるのはグループ名だけです。
- 「グループ0」のグループ名は編集できません。

1 **を押す**

- グループ検索画面が表示されたときは、を押します。

2 **［機能］▶「グループ編集」を選択し、を押す**

3 **グループを選択し、を押す**



■ FOMAカード電話帳のグループを編集するとき

① ［FOMAカード］を押す

■ お買い上げ時に戻すとき

① ［リセット］を押す

② 「1件リセット」を押す

- 「全件リセット」を押したときは、端末暗証番号を入力し、を押します。

③ 「はい」を押す

- 中止するときは「いいえ」を押します。

4 項目を設定する

■ グループアイコンを設定するとき

① Iconを選択し、●を押す

② グループアイコンを選択し、●を押す

■ グループ名を設定するとき

① 名を選択し、●を押す

② グループ名を入力し、●を押す

- 全角10文字（半角21文字）まで入力できます。（FOMAカード電話帳のグループ名は、全角と半角が混在している場合や、半角カナが含まれている場合は、10文字までしか登録できません。）

■ グループ別の着信音などを設定するとき

① 種別を選択し、●を押す

- ：グループ音声着信を設定します。
- ：グループテレビ電話着信を設定します。
- ：グループメール着信を設定します。
- ：グループ伝言メッセージを設定します。

② 1「ON」を押す

- 解除するときは2「OFF」を押します。

③ 各項目を設定する

- ：着信音を選択します。
  - 以降の操作：→P116「着信音や着モーションを変更する」手順3～5
- ：音量を選択します。
  - 1「指定あり」▶音量を調節し、●を押します。
- ：画像を選択します。（グループメール着信では設定不可）
  - 1「マイピクチャ」または2「ｉモーション」を押し、データを選択します。
- ：バイブレータを選択します。
  - 以降の操作：→P119「着信などを振動で知らせる」手順3～4
- ：着信ランプを選択します。
  - 以降の操作：→P133「着信ランプの色を設定する」手順3～4
- ：通知時間を設定します。（グループメール着信のみ）
  - 通知時間を入力し、●を押します。

- グループ伝言メッセージについて→P79「応答メッセージを設定する」手順2

④ i［確定］を押す

5 i［保存］を押す

お知らせ

●バイブレータや着信ランプの設定で「メロディ連動」を選択すると、着信音に設定したメロディに連動した動きになります。ただし、着信音を振動パターンが登録されていないメロディに設定している場合は、「パターン1」で振動します。

●音量を「指定なし」にすると音量設定での設定に従います。

●着信動作の優先順位について

- 着信音→P117　- バイブレータ→P120　- 着信画面→P128　- LED→P134

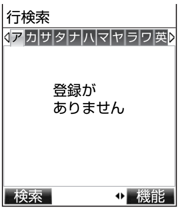
電話帳から電話をかける

電話帳を検索して電話をかけます。

- 次の方法で検索できます。

検索方法	説　明
行検索	五十音順（ア行、カ行、･･･英、数、ナシ）で区分けされて表示される一覧から検索します。
名前検索	名前から検索します。
フリガナ検索	フリガナから検索します。
メモリ番号検索	メモリ番号から検索します。
グループ検索	グループ名から検索します。
電話番号検索	電話番号から検索します。
メールアドレス検索	メールアドレスから検索します。
番号種別検索	番号種別アイコンで区分けされて表示される一覧から検索します。
時短検索	ダイヤルボタンで簡単に検索します。

1 ⓥを押す



電話帳検索画面
（行検索のとき）

前回検索した方法で電話帳検索画面が表示されます。

2 検索方法を選択し、電話帳を検索する

検索方法の選択は次のいずれかの方法で行います。（電話帳検索画面によって操作方法が変わります。）

- **[✉]［検索］▶検索方法を選択し、●を押す**
- **[i]［機能］▶「検索切替」を選択し、●▶検索方法を選択し、●を押す**



■ 行検索のとき

① ◀▶を押し、ア～ワ、英、数、ナシ行を選択する

- ダイヤルボタンを押して電話帳を表示させることもできます。（「ア」行：[1]、「カ」行：[2]･･･「ワ」行：[0]、「英」：[*]、「数」：[#]）

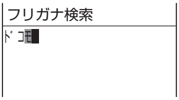


■ 名前検索のとき

① 名前を入力し、●を押す

- 名前の最初の文字から1文字以上入力して検索すると、該当する電話帳がすべて表示されます。（すべての文字を入力する必要はありません。）

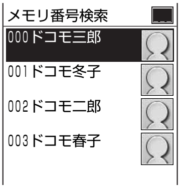
次ページへつづく



■ フリガナ検索のとき

① **フリガナを入力し、●を押す**

- フリガナの最初の文字から1文字以上入力して検索すると、該当する電話帳がすべて表示されます。（すべての文字を入力する必要はありません。）



■ メモリ番号検索のとき

- FOMAカード電話帳は検索できません。

① **メモリ番号を3桁で入力する（例：003など）**

- 画面右上にメモリ番号が表示され、該当の電話帳が選択されます。



■ グループ検索のとき

- iを押すごとにFOMAカード電話帳とFOMA端末電話帳を切り替えられます。

① **グループを選択し、●を押す**

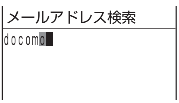
- ◀▶を押して前後のグループを表示させることもできます。



■ 電話番号検索のとき

① **電話番号を入力し、●を押す**

- 電話番号の一部を入力しても検索できます。



■ メールアドレス検索のとき

① **メールアドレスを入力し、●を押す**

- メールアドレスの一部を入力しても検索できます。



■ 番号種別検索のとき

- FOMAカード電話帳は？の種別に分類されます。

① **◀▶を押し、番号種別を選択する**

- ダイヤルボタンを押して表示する番号種別を切り替えることもできます。（：0、：1、：2、：3、：4、：5、：6、：7、？：8）

3 電話帳を選択し、●を押す



電話帳詳細画面

■ URLを利用するとき

①[i][機能]▶[7]「URL」を押す

- 以降の操作：→P322「URLを利用するとき」手順②

■ 直デンに登録するとき

①[i][機能]▶○▶[4]「直デンへ登録」を押す

- 解除するときは[4]「直デンを解除」を押します。

②[1]「はい」を押す

- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

■ 通話中にプッシュ信号を送信するとき

- 通話中に電話帳を表示する→P315

①[i][機能]▶○▶○▶[3]「プッシュ信号送信」を押す

②電話番号を選択し、●を押す

4 電話番号を選択し、[発信]を押す

- テレビ電話をかけるときは[テレビ電話]を押します。

■ メールを作成するとき

①メールアドレスを選択し、●を押す

②[1]「メール作成」を押す

- 以降の操作：→P209「ｉモードメールを作成して送信する」手順4〜6

■ SMSを作成するとき

①[i][機能]▶[1]「SMS作成」を押す

②電話番号を選択し、●を押す

- 以降の操作：→P235「SMS（ショートメッセージ）を作成して送信する」手順4〜5

■ 誕生日をスケジュールに登録するとき

①[i][機能]▶[5]「スケジュールへ登録」を押す

②[1]「はい」を押す

- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

■ 直デンに登録するとき

①[i][機能]▶[6]「直デンへ登録」を押す

- 解除するときは[6]「直デンを解除」を押します。

②[1]「はい」を押す

- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

■ 電話帳の内容をコピーするとき

①[i][機能]▶[7]「項目コピー」を押す

②項目を選択し、●を押す

時短検索

ダイヤルボタンで素早く検索できます。検索結果の表示は回数順とカナ順に切り替えられます。
- 電話の回数などはFOMA端末に記録されており、これにより利用回数を検索しています。（FOMAカード電話帳は利用しても0回として記録されます。）

1 待受画面でダイヤルボタンを1秒以上押す



- 次のダイヤルボタンを押すと、その中で利用回数の多い順に電話帳を表示します。

1：ア行、1	2：カ行、A～C、2
3：サ行、D～F、3	4：タ行、G～I、4
5：ナ行、J～L、5	6：ハ行、M～O、6
7：マ行、P～S、7	8：ヤ行、T～V、8
9：ラ行、W～Z、9	0：ワ行、ン、0

■ **回数順とカナ順を切り替えるとき**

①［切替］を押す

■ **電話の利用回数の記録を消去するとき**

①［機能］▶▶▶3「利用回数リセット」を押す
②端末暗証番号を入力し、を押す
③1「はい」を押す
- 中止するときは2「いいえ」を押します。

<フォト表示ON／OFF>

電話帳に設定されている画像を表示する

お買い上げ時	フォト表示ON

電話帳検索画面に画像を表示するかどうかを設定します。

1 電話帳検索結果画面で［機能］▶▶▶1「フォト表示ON」を押す

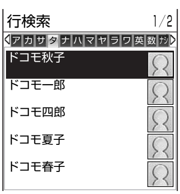
- 画像を表示しないときは1「フォト表示OFF」を押します。

電話帳検索結果画面の文字サイズを変更する

お買い上げ時	標準

1 電話帳検索結果画面で［機能］▶▶7「文字サイズ」を押す

2 1～3を押す



小さめ：16ドット



標準：20ドット



大きめ：24ドット

電話帳を修正する

- ダイヤル発信制限中は修正できません。

1 電話帳詳細画面で[✉]［編集］を押す

2 各項目を修正する

- それぞれの項目の設定について→P95、99

3 [i]［登録］を押す

4 [1]「はい」を押す

- 上書きしないときは[2]「いいえ」を押し、新しいメモリ番号を入力して[●]を押します。FOMAカード電話帳を修正したときは、メモリ番号の入力は行いません。

お知らせ

●シークレット設定された電話帳は、シークレットモード中のみ修正できます。
●電話番号やメールアドレスが複数登録されている電話帳の1件目を削除すると、残りのどちらを通常使用にするかを選択する画面が表示されます。残りが1件の場合は自動的に通常使用になります。

電話帳をコピーする

FOMA端末とFOMAカードの間で電話帳をコピーできます。

FOMA端末電話帳をFOMAカードにコピーする

- 次の項目がコピーされます。

項　目	説　明
名前	全角10文字（半角21文字）までコピーされます。これを超えた部分はコピーされません。また、全角と半角が混在している場合や、半角カナが含まれている場合は、10文字までコピーできます。
フリガナ	半角25文字までコピーします。これを超えた部分はコピーされません。また、半角カナが含まれている場合は、12文字までコピーできます。
電話番号	1件目に登録されている電話番号のみコピーされます。アイコンは[電話]に変更されます。
メールアドレス	1件目に登録されているメールアドレスのみコピーされます。アイコンは[✉]に変更されます。
グループ	グループ名が同じグループがFOMAカードにある場合は、そのグループにコピーされます。ない場合は、グループ0にコピーされます。

1 電話帳を選択し、[i]［機能］▶[○]▶[3]「FOMAカードへコピー」を押す

次ページへつづく

2 1「1件コピー」を押す

- コピーできない項目があるときは、確認画面が表示されます。

■ 選択コピーするとき

① 2「選択コピー」を押す
② 電話帳を選択し、●を押す
- 解除するときは●を押します。

③ i［実行］を押す

■ 全件コピーするとき

① 3「全件コピー」を押す

3 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

お知らせ

●電話帳詳細画面からFOMAカードへコピーするにはi［機能］▶4「FOMAカードへコピー」を押します。
●名前・フリガナ・電話番号・メールアドレス・グループ以外の項目（画像・個別音声着信などの設定・誕生日など）はコピーできません。

FOMAカード電話帳をFOMA端末にコピーする

- 次の項目がコピーされます。

項　目	説　明
名前	コピーされます。
フリガナ	全角カナは半角に変更され、コピーされます。
電話番号	電話番号の1件目にコピーされます。
メールアドレス	メールアドレスの1件目にコピーされます。
グループ	グループ名が同じグループがFOMA端末にある場合は、そのグループにコピーされます。ない場合は、グループ0にコピーされます。

1 電話帳を選択し、i［機能］▶◎▶3「本体へコピー」を押す

2 1「1件コピー」を押す

■ 選択コピーするとき

① 2「選択コピー」を押す
② 電話帳を選択し、●を押す
- 解除するときは●を押します。

③ i［実行］を押す

■ 全件コピーするとき

① 3「全件コピー」を押す

3 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

お知らせ

●電話帳詳細画面からFOMA端末へコピーするにはi［機能］▶4「本体へコピー」を押します。

電話帳削除

電話帳を削除する

1 **電話帳を選択し、i［機能］▶◎▶5「削除」を押す**

2 **1「1件削除」を押す**

■ 選択削除するとき
① 2「選択削除」を押す
② 電話帳を選択し、◉を押す
- 解除するときは◉を押します。

③ i［実行］を押す

■ 全件削除するとき
① 3「全件削除」を押す
② 端末暗証番号を入力し、◉を押す
- FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳がどちらも含まれているときは、項目を選択し、◉を押します。

3 **1「はい」を押す**

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

お知らせ

●電話帳詳細画面から削除するにはi［機能］▶◎▶1「削除」を押します。
●削除する電話帳に着信許可／拒否が設定されている場合は、端末暗証番号を入力する必要があります。

シークレット設定

知られたくない電話帳を守る

電話帳をシークレット設定すると、シークレットモード中以外では検索、表示できなくなり、プライバシーを守れます。

- シークレットモード中のみシークレット設定、解除ができます。
- FOMAカード電話帳、直デンに登録している電話帳は、シークレット設定できません。

1 **シークレットモードを設定する**

- 設定方法について→P148

2 **電話帳を選択し、◉▶✉［編集］を押す**

3 **🔑を選択し、◉を押す**

4 **1「ON」を押す**

- 解除するときは2「OFF」を押します。

5 **i［登録］を押す**

6 **1「はい」を押す**

- 新規登録するときは2「いいえ」を押し、メモリ番号を入力して◉を押します。

次ページへつづく

お知らせ

●シークレット設定された電話帳のリダイヤルや着信履歴などは、シークレットモード中以外は名前は表示されません。
●シークレット設定されている電話帳に個別の着信動作の設定、グループ別の設定をしていても、シークレットモード中以外は個別の動作にはなりません。

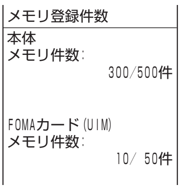
メモリ登録件数

電話帳の登録状況を確認する

FOMA端末電話帳やFOMAカード電話帳の登録件数やシークレット設定件数を表示します。

• シークレット設定件数はシークレットモード中のみ表示されます

1 電話帳検索画面でi［機能］▶◎▶◎▶2「メモリ登録件数」を押す



FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード（UIM）電話帳の登録件数が表示されます。

ツータッチダイヤル

少ないボタン操作で電話をかける

FOMA端末電話帳のメモリ番号（0～99）で簡単に電話をかけることができます。

• 複数の電話番号が登録されている場合、通常使用の電話番号にかかります。

<例>メモリ番号3の電話番号に電話をかけるとき

1 待受画面でメモリ番号（3）を入力し、発信キーを押す

• メモリ番号の前に0を入力する必要はありません。
• テレビ電話のときはメモリ番号を入力し、テレビ電話キーを押します。

お知らせ

●メモリ番号を入力し、◉▶1「音声発信」または2「テレビ電話発信」を押しても電話をかけることができます。

直デン
特定の相手との連絡を簡単に行う

よく連絡をする相手を直デンに登録しておくと、簡単に電話をかけたり、メールを送信したりできます。また、登録した相手との発着信履歴や送受信メールだけを一覧表示することができます。

直デンに相手を登録する

直デンに登録するには、あらかじめ電話帳に登録しておく必要があります。→P95
- 5件まで登録できます。
- FOMAカード電話帳、シークレット設定された電話帳は登録できません。

1 待受画面で[直デンキー]を押す



直デン画面

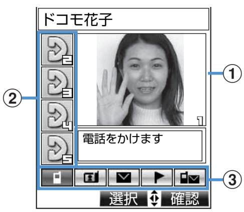
2 [i]［登録］を押す

3 電話帳を選択し、[●]を押す

4 [1]「はい」を押す
- 直デンに登録した電話帳には[アイコン]（直デン1に登録した場合）が表示されます。
- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

直デンを使って電話をかける／メールを送る

1 待受画面で[直デンキー]を押す



①選択している相手
②登録している相手
③機能アイコン

2 [1]～[5]を押して相手を選択する
- [十字キー]を押しても選択できます。

電話帳
直デン

3 を押して機能アイコンを選択する

■ 電話をかけるとき

① を選択し、を押す
② 電話番号を選択し、またはを押す

■ テレビ電話をかけるとき

① を選択し、を押す
② 電話番号を選択し、またはを押す

■ メールを送るとき

① を選択し、を押す
② メールアドレスや電話番号を選択し、を押す
- 以降の操作：→P209「ｉモードメールを作成して送信する」手順4〜6

■ 位置情報URLを貼り付けたメールを送るとき

- 位置情報URLについて→P257

① を選択し、を押す
② メールアドレスや電話番号を選択し、を押す
③ 位置情報URLを貼り付ける
- 以降の操作：→P210「位置情報URLを貼り付けるとき」手順②

④ 「はい」を押す
- 中止するときは「いいえ」を押します。
- 以降の操作：→P209「ｉモードメールを作成して送信する」手順4〜6

<直デンBOX>

直デンの履歴やメールを表示する

直デンに登録した相手とのリダイヤルや着信履歴、送受信メールだけを表示できます。

<例>直デンのメールを表示する

1 直デン画面で相手を選択する

2 を選択し、を押す



直デンBOX（メール）

直デンBOX（メール）が表示されます。
- を押すと、直デンBOX（メール）と直デンBOX（電話）を切り替えられます。
- 直デンBOX（電話）には次のアイコンが表示されます。
  - ：着信
  - ：発信

3 メールを選択し、を押す

メール表示画面が表示されます。

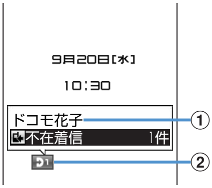
お知らせ

- 直デンBOXや詳細画面に表示されるアイコンの意味や利用できる機能の操作手順は、リダイヤル、着信履歴、送受信メールBOXと同じです。
- セキュリティ設定されたメールフォルダがある場合、確認画面が表示されます。表示するときは1「はい」を押し、端末暗証番号を入力します。表示しないときは2「いいえ」を押します。

直デンアイコンから情報を表示する

直デンに登録した相手からの不在着信、伝言メモ、メールを、直デンアイコンでお知らせします。また、直デンアイコンから直デンBOXを表示することができます。伝言メモのときは伝言メモ一覧が表示されます。

<例>直デン1に登録した相手の不在着信があるとき



① 登録名
② 直デンアイコン
- ：直デン１に登録した相手からのとき
- ：直デン２に登録した相手からのとき
- ：直デン３に登録した相手からのとき
- ：直デン４に登録した相手からのとき
- ：直デン５に登録した相手からのとき

1 ●を押す

直デンBOX（電話）が表示されます。
- 通知内容が複数あるときは、で通知内容を選択します。
- 直デンアイコンが複数あるときは、でアイコンを選択します。
- PIMロック（電話帳）中は、直デンアイコンは表示されず、通常の通知として表示されます。

直デン登録した相手を変更／解除する

登録した相手を変更する

1 直デン画面で相手を選択し、i［確認］を押す

2 i［機能］▶2「直デンを変更」を押す

3 1「はい」を押す

- 以降の操作：→P111「直デンに相手を登録する」手順3～4
- 中止するときは2「いいえ」を押します。

登録した相手を解除する

1 直デン画面で相手を選択し、i［確認］を押す

2 i［機能］▶3「直デンを解除」を押す

3 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

登録した相手の電話帳を編集する

1 直デン画面で相手を選択し、[i]［確認］を押す

2 [i]［機能］▶[1]「編集」を押す

- 以降の操作：→P107「電話帳を修正する」手順2～4

音／画面／照明設定

音の設定

携帯電話から鳴る着信音を変える . . . . <音設定> 116
携帯電話から鳴る音の音量を変える. . . . .<音量設定> 119
着信などを振動で知らせる . . . .<バイブレータ設定> 119
相手が電話に出たことを振動で知らせる . . . . <呼出バイブ> 120
ボタンを押したときに鳴る音を設定する . . . .<ボタン確認音> 120
OKトーン、NGトーンを設定する . . . .<OKトーン／NGトーン> 121
充電時の確認音を設定する . . . .<充電確認音> 121
通話が切れそうなときはアラームで知らせる . . . .<通話品質アラーム> 121
メールの着信音などを鳴らす時間を設定する . . . . <通知時間設定> 122
イヤホンだけから着信音を鳴らす . . . .<着信音出力先切替> 122
電話から鳴る音を消す . . . . <マナーモード> 123
マナーモードを変更する . . . . <オリジナルマナーモード> 123

画面／照明の設定

待受画面の表示を変える . . . . <待受画面設定> 125
発着信時の画像を設定する . . . .<発着信画面設定> 128
背面ディスプレイを設定する. 128
ディスプレイとボタンの照明を設定する . . . .<照明設定> 129
ディスプレイの配色を設定する . . . . <テイスト設定> 131
メインメニューのデザインを変更する 131
着信ランプの色を設定する . . . . <LED設定> 133
文字のサイズを変える . . . .<文字サイズ変更> 135
画面を英語表示に切り替える . . . . <Select language> 136

携帯電話から鳴る着信音を変える

電話やメールの着信音、操作時の確認音や位置情報の通知・確認音を設定します。

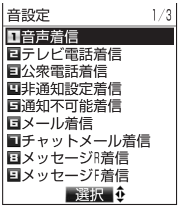
- ｉモーションを着信音に設定すると、着信時にｉモーションの映像と音声が再生されます。（着モーション）

着信音や着モーションを変更する

お買い上げ時	音声／テレビ電話着信：The Space 公衆電話／非通知設定／通知不可能着信：パターン4 メール／メッセージR/F着信：エレクトリック チャットメール着信：ハープ

1 ● ▶ 

▶ 1 ▶ 2 を押す



2 1～9を押す

音声着信	音声電話の着信時の設定です。
テレビ電話着信	テレビ電話の着信時の設定です。
公衆電話着信	公衆電話などからかかってきた電話の着信時の設定です。
非通知設定着信	非通知設定でかかってきた電話の着信時の設定です。
通知不可能着信	国際電話や、一般電話から各種転送サービスを経由しての着信時などの設定です。（経由する電話会社により発信者番号が通知される場合もあります。）
メール着信	メールの着信時の設定です。
チャットメール着信	チャットメールの着信時の設定です。
メッセージR着信	メッセージRの着信時の設定です。
メッセージF着信	メッセージFの着信時の設定です。

3 1～3を押す

ｉモーション	動画・ｉモーションでお知らせします。
メロディ	メロディでお知らせします。
OFF	着信音は鳴りません。操作はここで終了です。

4 フォルダを選択し、●を押す

5 データを選択し、●を押す

- ✉［再生］を押すと、データを確認できます。

お知らせ

●映像のみのｉモーションなど、ｉモーションによっては着信音に設定できない場合があります。
●着信音に映像と音声が含まれるｉモーションを設定した場合は、着信画像もそのｉモーションに変更されます。ただし、音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）の場合は、着信画像は変更されず、設定された画像が表示されます。
●着信音の設定が重なっているときは次のような順番で優先されます。
①電話帳の個別着信の設定
②電話帳のグループ着信の設定
③音設定の設定
ただし、マルチナンバーにお申し込みいただき、付加番号に設定している場合は、付加番号の設定に従います。→P342
●着信音に映像と音声が含まれるｉモーションを設定したときは、電話帳の基本情報に静止画を設定している相手から着信があっても設定した静止画は表示されず、ｉモーションが再生されます。ただし、音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）のときは、設定された静止画が表示されます。

<オープントーン／クローズトーン>

FOMA端末を開閉したときの音を変更する

お買い上げ時	オープントーン：オープントーン1 クローズトーン：クローズトーン1

1 ●▶設定▶1▶2を押す

2 ○▶2「オープントーン」または3「クローズトーン」を押す

3 1「メロディ」を押す

• 鳴らさないときは2「OFF」を押します。操作はここで終了です。

4 フォルダを選択し、●を押す

5 メロディを選択し、●を押す

• ✉［再生］を押すと、メロディを確認できます。（メロディ確認時に再生設定でバイブレータを「ON」に設定しているときはFOMA端末が振動しますが、FOMA端末を開閉するときは振動しません。）

GPS機能に関する音を変更する

お買い上げ時	現在地確認：OFF 現在地通知／定期現在地通知／位置提供/許可：モールス 位置提供/確認：シロフォン

1 ●▶設定▶1▶2を押す

2 ○を1回または2回押し、項目を選択して◉を押す

現在地確認	現在地確認を行うときの設定です。
現在地通知	現在地通知が行われたときの設定です。
定期現在地通知	定期現在地通知を行うときの設定です。
位置提供/許可	位置情報の提供を要求されたときの設定です。(GPSサービス利用設定が「許可」の場合)
位置提供/確認	位置情報の提供を要求されたときの設定です。(GPSサービス利用設定が「毎回確認」の場合)

3 [1]「メロディ」を押す

- 鳴らさないときは[2]「OFF」を押します。操作はここで終了です。

4 フォルダを選択し、◉を押す

5 メロディを選択し、◉を押す

- [✉][再生]を押すと、メロディを確認できます。

内蔵のメロディ一覧

- 「プリインストール」フォルダに登録されています。

曲　名	作曲者	曲　名	作曲者
パターン1〜4	―	コスモス	―
The Space	―	ブザー	―
The Rockabilly	―	シロフォン	―
The Moment	―	モールス	―
I Got Rhythm	ガーシュウィン (George Gershwin)	黒電話	―
エンターテイナー	ジョプリン (Scott Joplin)	水のしずく	―
愛の挨拶	エルガー (Edward Elgar)	にわとり	―
4羽の白鳥	チャイコフスキー (Pyotr Ilych Tchaikovsky)	パトカー	―
ツァラトゥストラはかく語りき	シュトラウス (Richard Strauss)	メールを受信しました	―
ウィリアムテル序曲	ロッシーニ (Gioacchino Rossini)	You've got a Mail!	―
交響曲第25番ト短調	モーツァルト (Wolfgang Amadeus Mozart)	アラーム音	―
ハンガリー舞曲第5番	ブラームス (Johannes Brahms)	オープントーン1、2※1	―
エレクトリック	―	クローズトーン1、2※2	―
ハープ	―		

※1 オープントーンにのみ設定可能です。
※2 クローズトーンにのみ設定可能です。

音量設定

携帯電話から鳴る音の音量を変える

お買い上げ時	OKトーン、NGトーン：LEVEL 1 その他：LEVEL 3

電話やメールの着信音、確認音の音量を設定します。

- 音量はLEVEL1（最小）～LEVEL5（最大）の5段階と、OFF（無音）に設定できます。だんだん音が大きくなったり小さくなったりするステップトーンに設定できるものもあります。
- 受話音量はOFF(無音)、ステップトーンに設定できません。

1 ▶設定▶1▶1を押す



2 項目を選択し、を押す

- 設定項目について→P68、116、117、120、121

■ 音量をまとめて調節するとき

- 受話音量は「一括設定」では調節できません。

① ［一括設定］を押す

② を押して音量を調節し、を押す

③ 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

3 を押して音量を調節し、を押す

- ［STEP↓］を押すと、音がだんだん小さくなる設定になります。［STEP↑］を押すと、音がだんだん大きくなる設定になります。（ステップトーン）

バイブレータ設定

着信などを振動で知らせる

お買い上げ時	すべて OFF

音声電話やテレビ電話の着信時、メールやメッセージR/Fの受信時などに振動（バイブレータ）でお知らせします。

1 ▶設定▶1▶3を押す

2 項目を選択し、を押す

- 設定項目について→P116、117

3 1～8を押す

メロディ連動	メロディに登録された振動パターンにあわせて振動します。 • メロディによっては連動しない場合があります。
パターン1～6	FOMA端末に内蔵の振動パターンです。
OFF	振動しません。操作はここで終了です。

• ✉［確認］▶●を押すと、振動を確認できます。

4 1～3を押す

• ✉［確認］▶●を押すと、振動を確認できます。

お知らせ

●マナーモード中にもこのバイブレータの設定で振動します。
●音設定を「OFF」または振動パターンが登録されていないメロディに設定し、バイブレータ設定を「メロディ連動」に設定している場合は、「パターン1」で振動します。
●バイブレータの動作時に振動で机などから落下しないようにご注意ください。
●バイブレータの設定が重なっているときは次のような順番で優先されます。
①電話帳の個別着信の設定
②電話帳のグループ着信の設定
③バイブレータ設定の設定

呼出バイブ

相手が電話に出たことを振動で知らせる

お買い上げ時	OFF

電話した相手が電話に出たときにFOMA端末が振動するように設定します。

1 ●▶設定▶1▶7を押す

2 1「ON」を押す

• 設定しないときは2「OFF」を押します。

ボタン確認音

ボタンを押したときに鳴る音を設定する

お買い上げ時	ピポパ

1 ●▶設定▶1▶2▶◎▶1を押す

2 1～3を押す

• ✉［再生］を押すと、音を確認できます。
• 鳴らさないときは4「OFF」を押します。

お知らせ

●「OFF」にすると、電池レベル表示時の確認音も鳴らなくなります。

OKトーン／NGトーン

OKトーン、NGトーンを設定する

お買い上げ時	OKトーン：ON　NGトーン：ON

FOMA端末の機能を正しく設定・操作したときや、操作を間違えたとき、設定できない機能を設定しようとしたときに音を鳴らすかどうかを設定します。

1 ●▶[設定]▶[1]▶[2]を押す

2 ◎▶[4]「OKトーン」または[5]「NGトーン」を押す

3 [1]「ON」を押す

- 鳴らさないときは[2]「OFF」を押します。

充電確認音

充電時の確認音を設定する

お買い上げ時	充電確認音1

充電を開始したときや完了したときに鳴らす確認音を設定します。

1 ●▶[設定]▶[1]▶[2]▶◎▶[6]を押す

2 [1]「充電確認音1」または[2]「充電確認音2」を押す

- [✉]［再生］を押すと、音を確認できます。
- 鳴らさないときは[3]「OFF」を押します。

お知らせ

●マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中、通話中、ｉモード接続中、電源が入っていないときなどは充電確認音は鳴りません。

通話品質アラーム

通話が切れそうなときはアラームで知らせる

お買い上げ時	アラーム高音

通話中に電波の状態が悪くなり、電話が途中で切れてしまいそうなときは、直前にアラームを鳴らしてお知らせします。

- 急に電波状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

1 ●▶[設定]▶[4]▶◎▶[1]▶[1]を押す

2 [1]「アラーム高音」または[2]「アラーム低音」を押す

- 鳴らさないときは[3]「アラームOFF」を押します。

通知時間設定

メールの着信音などを鳴らす時間を設定する

お買い上げ時	すべて 5秒

メールやメッセージR/Fの着信音やGPS機能の通知音を鳴らす時間を設定します。

1 ●▶設定▶1▶5を押す

2 1〜9を押す

3 通知時間を入力し、●を押す

- 通知時間を0秒に設定すると、通知音やバイブレータの振動による通知は行いません。

メール着信、チャットメール着信、メッセージR/F着信	1〜30秒で設定します。
現在地確認、現在地通知、定期現在地通知、位置提供/許可	0〜30秒で設定します。
位置提供/確認	0〜20秒で設定します。

着信音出力先切替

イヤホンだけから着信音を鳴らす

お買い上げ時	イヤホン+スピーカー

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているときに、スピーカーから着信音が鳴らないように設定します。

1 ●▶設定▶4▶8を押す

2 1「イヤホン」を押す

- スピーカーからも着信音を鳴らすときは2「イヤホン+スピーカー」を押します。

お知らせ

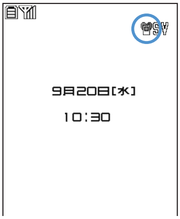
●平型スイッチ付イヤホンマイクを接続していないときは、本機能の設定にかかわらず、スピーカーから着信音が鳴ります。

マナーモード
電話から鳴る音を消す

お買い上げ時	OFF

周囲に迷惑がかからないように、着信音やボタン確認音などを鳴らさないように設定できます。

1 待受画面で[#]を1秒以上押す



マナーモードが設定され、待受画面に が表示されます。

■ マナーモードを解除するとき
① 待受画面で[#]を1秒以上押す

マナーモード（サイレントバイブ）を設定すると

- 着信音、ボタン確認音、アラーム音、GPS機能の通知音などの音を消し、着信を振動でお知らせします。また、マイクの感度が上がり、小さな声でも通話できます。
- 着信音、アラーム音、GPS機能の通知はバイブレータで行われます。バイブレータ設定が「OFF」のときは「パターン1」、強度「中」で振動します。

お知らせ

●マナーモード中でもカメラ撮影時の確認音（シャッター音など）が鳴ります。確認音の音量は変更できません。
●マナーモード中に音を鳴らす動作になったとき、一時的に音を鳴らすかどうかのメッセージが表示される場合があります。項目を選択し、●を押します。

オリジナルマナーモード
マナーモードを変更する

お買い上げ時	マナーモード　：サイレントバイブ タイマーモード：連続モード

指定した時刻にマナーモードを設定／解除するように動作時間を設定（タイマーモード）したり、着信音やバイブレータの動作などを個別に設定（オリジナルマナー）したりできます。

マナーモードの種類や動作時間を設定する

1 ●▶▶[1]▶[6]を押す

2 [1]～[3]を押す

- マナーモードの種類と内容は次のとおりです。

種　類	音　量	バイブレータ	マイク感度	低電圧アラーム
サイレントバイブ	OFF	ON（バイブレータ設定）	高感度	OFF
おやすみ	OFF	OFF	高感度	OFF
オリジナルマナー	個別に設定可能			

次ページへつづく

3 動作時間を設定する

■ 手動で設定／解除するとき

① 1「連続モード」を押す
② 待受画面で#を1秒以上押す
待受画面に が表示されます。
・解除するまでマナーモードが継続します。

■ 指定した時刻に自動的に設定／解除するとき

① 2「期間設定モード」を押す
② 開始時刻を入力し、●を押す
③ 終了時刻を入力し、●を押す
④ 待受画面で#を1秒以上押す
待受画面に が表示されます。
・開始時刻から終了時刻まで自動的にマナーモードになります。マナーモード中は待受画面に が表示されます。

■ 設定した時間を過ぎると自動的に解除するとき

① 3「時間経過でOFF」を押す
② 動作時間を入力し、●を押す
・1～999分まで設定できます。
③ 待受画面で#を1秒以上押す
待受画面に が表示されます。
・設定した時間が経過すると自動的に解除されます。

オリジナルマナーモードを設定する

1 ●▶設定▶1▶6を押す

2 「オリジナルマナー」を選択し、i［編集］を押す

3 1～4を押す

音量	音量を設定します。 ① 項目を選択する ・以降の操作：→P119「携帯電話から鳴る音の音量を変える」手順2～3 ② i［完了］を押す
バイブレータ	バイブレータを設定します。 ① 項目を選択する ・以降の操作：→P119「着信などを振動で知らせる」手順2～4 ② i［完了］を押す
マイク感度	マイクの感度を設定します。高感度にすると小さな声で話しても相手にはっきり聞こえるようになります。 ① 1～3を押す ・マナーモードを設定していないときのマイク感度は中感度です。
低電圧アラーム	電池が切れそうなときにアラームを鳴らすかどうかを設定します。 ① 1「ON」または2「OFF」を押す

4 i［保存］を押す

待受画面の表示を変える

待受画面の画像を、ｉモードのサイトなどからダウンロードした画像やｉモーション、FOMA端末で撮影した静止画や動画などに変更できます。また、待受画面にカレンダーや時計などを表示できます。

- お買い上げ時に登録されている画像について→P363

<壁紙設定>

画像を表示する

お買い上げ時	本体色 「ホワイトブラック」：スプライン 「ブラックブルー」：スクエア 「ピンクホワイト」：ファンシー

静止画を表示する

1 ●▶［設定］▶2▶1▶1を押す

2 1「マイピクチャ」を押す

- 表示しないときは3「OFF」を押します。操作はここで終了です。

3 フォルダを選択し、●を押す

4 画像を選択し、●を押す



- ✉［再生］を押すと、画像を確認できます。
- プレビュー画面が表示されたときは、位置やサイズを設定し、●を押します。

■ 位置を設定するとき

① ✥を押して設定する

- 押すごとに1ドットずつ移動します。
- 1秒以上押すと、10ドットずつ移動します。

■ サイズを変更するとき

- 画面と画像のサイズが同じときは、画像のサイズ変更はできません。

① i［サイズ変更］を押す

- 押すごとにサイズが①→②→③→①のように変更されます。
  ①画面の縦辺に合わせて、画像を拡大／縮小
  ②画面の横辺に合わせて、画像を拡大／縮小
  ③もとの画像サイズに戻す

動画・ｉモーションを表示する

- 待受画面が表示されるたび、動画・ｉモーションが再生されます。再生後は最初の1コマが表示されます。
- 公共モード（ドライブモード）中は再生されません。
- 音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）など、ｉモーションによっては待受画面に設定できないものがあります。

1 ●▶設定▶2▶1▶1を押す

2 2「ｉモーション」を押す

- 表示しないときは3「OFF」を押します。操作はここで終了です。

3 フォルダを選択し、●を押す

4 動画・ｉモーションを選択し、●を押す

- ✉［再生］を押すと、内容を確認できます。

5 1「拡大」または2「等倍」を押す

- 音量調節画面が表示されたときは、音量を調節し、●を押します。

お知らせ

●フレーム、スタンプを壁紙に設定することはできません。
●待受画面に設定したｉモーションからは、Phone To (AV Phone To)・Mail To・Web To機能は利用できません。
●ｉモードサイトからダウンロードしたアニメーションGIFやFlash画像を待受画面に設定した場合、ｉモードサイトでの表示と異なる場合があります。
●待受画面に設定した画像などが削除された場合は、お買い上げ時の設定に戻ります。

<時計／カレンダー設定>

時計やカレンダーを表示する

お買い上げ時	デジタル時計（小）

待受画面の壁紙上に、時計やカレンダー、当日スケジュールを表示します。

1 ●▶設定▶2▶1▶3を押す

2 時計やカレンダーを設定する

■ デジタル時計を設定するとき

① 1「デジタル時計」を押す
② 1「デジタル時計（小）」または2「デジタル時計（大）」を押す
- ✥で位置を調整できます。

③ ●を押す

■ アナログ時計を設定するとき

① 2「アナログ時計」を押す
② 1「アナログ時計（小）」または2「アナログ時計（大）」を押す
- 1「アナログ時計（小）」を押したときは✥で位置を調整できます。

③ ●を押す

■ 世界時計を設定するとき



［USA］ニューヨーク
設定時

① 3 「世界時計」を押す

② ◎を押して都市を選択する

- 国名（アルファベット3文字の略称）、都市名、日時、日本との時差が表示されます。
- サマータイムの制度がある国では、✉［サマータイム］を押すと、サマータイム時刻が表示され、時刻の横に☼が表示されます。（もう一度押すと戻ります。）

③ ●▶●を押す

■ カレンダーを設定するとき

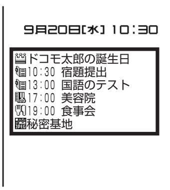
① 4 「カレンダー」を押す

② 1～5を押す

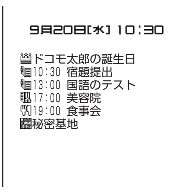
1ヶ月カレンダー	当月のカレンダーを表示します。 • ◎で位置を調整できます。
1ヶ月カレンダー（小）	当月のカレンダーを表示します。 • ◎で位置を調整できます。
2ヶ月カレンダー	当月と翌月のカレンダーを表示します。 • ◎で位置を調整できます。
3ヶ月カレンダー	当月、前月、翌月のカレンダーを表示します。
4ヶ月カレンダー	当月以降4ヶ月のカレンダーを表示します。

③ ●を押す

■ 当日スケジュールを設定するとき



当日スケジュール
（下地あり）



当日スケジュール
（下地なし）

当日の日付・曜日・現在時刻の下に、カレンダーに登録した誕生日・ToDo・スケジュール・画像などのデータを優先度の高いものから7件まで表示します。

- 優先順位について→P320

① 5 「当日スケジュール」を押す

- i［切替］を押すと、下地の表示／非表示を切り替えられます。

② ●を押す

■ 設定しないとき

① 6 「OFF」を押す

発着信画面設定

発着信時の画像を設定する

お買い上げ時	音声発信：発信（音声）　音声着信：着信（音声） テレビ電話発信：発信（テレビ電話）　テレビ電話着信：着信（テレビ電話） 公衆電話／非通知設定／通知不可能着信：着信（番号表示なし）

音声電話やテレビ電話をかけたり、受けたりするときに表示される画像を設定します。

• 音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）は設定できません。

1 ●▶設定▶2▶2を押す

2 1〜7を押す

3 1「マイピクチャ」または2「ｉモーション」を押す

• 発信画面には動画・ｉモーションは設定できません。
• 画像を表示しないときは、「OFF」を選択し、●を押します。操作はここで終了です。

4 フォルダを選択し、●を押す

5 画像を選択し、●を押す

• プレビュー画面が表示されたときは、位置やサイズを設定し、●を押します。→P125

お知らせ

●ｉモーションによっては、着信時の画像として設定できない場合があります。
●着信画像に映像と音声が含まれるｉモーションを設定した場合は、着信音もそのｉモーションに変更されます。ただし、映像のみのｉモーションの場合は、着信音は変更されません。
●着信音に音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）が設定されている場合は、着信画像にFlash画像を設定すると、着信音がお買い上げ時の設定になります。
●着信時の画面設定が重なっている場合は、次の優先順位で表示されます。
①電話帳の基本情報に設定した画像
②電話帳のグループ着信の画像設定
③発着信画面設定の画像設定（映像と音声が含まれるｉモーションを設定した場合は最優先で表示される場合があります）

背面ディスプレイを設定する

FOMA端末を折りたたんだときに、背面ディスプレイに着信相手の名前などの情報を表示させることができます。また時計の表示サイズを変更できます。

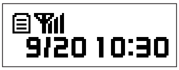
<背面時計設定>

背面ディスプレイの時計表示を設定する

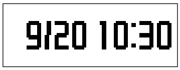
お買い上げ時	時計（小）

1 ●▶設定▶2▶3を押す

2 [1]「時計（小）」または[2]「時計（大）」を押す



時計（小）



時計（大）

<背面通知表示>

着信時に相手の名前などを表示する

お買い上げ時	ON

電話の着信時に、背面ディスプレイに名前や電話番号が表示されます。

1 ●▶設定▶[2]▶[4]を押す

2 [1]「ON」を押す

- 表示しないときは[2]「OFF」を押します。

お知らせ

●シークレットモード中以外は、電話帳がシークレット設定されている相手の電話を着信しても名前は表示されません。

<背面表示>

背面ディスプレイの表示を設定する

お買い上げ時	時間経過でOFF

1 ●▶設定▶[2]▶[5]を押す

2 [1]「常時表示」または[2]「時間経過でOFF」を押す

常時表示	背面ディスプレイを常に表示します。
時間経過でOFF	約60秒後に背面ディスプレイは消灯します。

照明設定

ディスプレイとボタンの照明を設定する

お買い上げ時	画面/ボタン照明：ON　照明時間：10秒

FOMA端末の操作を行うときやFOMA端末を開いたときに、ディスプレイとボタンの照明を点灯するように設定します。また、照明を点灯する時間を設定できます。

1 ●▶設定▶[2]▶[6]▶[1]を押す

2 項目を設定する

■ 画面／ボタン照明を設定するとき

① [1]「画面/ボタン照明」▶[1]「ON」を押す

- 点灯させないときは、[2]「OFF」を押します。

次ページへつづく

■ 照明時間を設定するとき

① 2 「照明時間」▶時間を入力し、●を押す

- 1～60秒まで設定できます。

3 i［保存］▶ 1 「はい」を押す

- 中止するときは 2 「いいえ」を押します。

＜常時点灯設定＞

ディスプレイを常時点灯するように設定する

お買い上げ時	テレビ電話：ON　その他のすべて：OFF

テレビ電話通話中やｉモード接続中などに、ディスプレイが照明時間の設定にかかわらず常時明るくなります。

1 ●▶ 設定 ▶ 2 ▶ 6 ▶ 2 を押す

2 1 ～ 5 を押す

充電器接続	ACアダプタ（別売）やDCアダプタ（別売）接続時は、省電力設定で設定した時間が経過しても消灯しなくなります。
テレビ電話	テレビ電話通話中は常時点灯するようになります。
ｉモード	ｉモードのサイト画面や画面メモ、チャネル一覧表示中は常時点灯するようになります。
メール	メール表示画面、デコメールのプレビュー画面、チャットメール画面では常時点灯するようになります。
ｉアプリ	ｉアプリ実行中は常時点灯するようになります。

3 1 「ON」を押す

- 常時点灯しないようにするときは 2 「OFF」を押します。

＜省電力設定＞

ディスプレイが消灯するまでの時間を設定する

お買い上げ時	30秒

設定した時間になると、ディスプレイが消灯します。

1 ●▶ 設定 ▶ 2 ▶ 6 ▶ 3 を押す

2 1 ～ 6 を押す

お知らせ

- ●照明設定で設定した時間が経過していなくても、省電力設定で設定した時間が経過すると、ディスプレイは消灯します。
- ●消灯中はいずれかのボタンを押して、ディスプレイの照明を点灯させてからダイヤルしてください。

ディスプレイの配色を設定する

お買い上げ時	本体色 「ホワイトブラック」、「ブラックブルー」：ブラック 「ホワイトピンク」：ピンク

1 ● ▶ 

▶ 2 ▶ 8 を押す

2 1「ブラック」または 2「ピンク」を押す

メインメニューのデザインを変更する

メインメニューのアイコンを並び替えたり、デザインを変更したりします。

- メールメニュー、GPSメニュー、ｉモードメニューでも行えます。

メニューアイコンを並び替える

1 メニューを表示し、i［機能］▶ 1「並べ替え」を押す

2 アイコンを選択し、● を押す

■ お買い上げ時に戻すとき

① ✉［リセット］を押す

② 1「はい」を押す

- 中止するときは、2「いいえ」を押します。

3 ✥ で移動先を選択し、● を押す

- 他のアイコンを並び替えるときは手順2～3を繰り返します。

4 i［保存］を押す

メニューアイコンを変更する

お買い上げ時	本体色 「ホワイトブラック」、「ブラックブルー」：サークル 「ホワイトピンク」：パネル

1画面分をまとめて変更する「セットアイコン」と個別に変更する「個別アイコン」があります。
- セットアイコンや個別アイコンは、メニューアイコン作成（→P277）で作成したり、「どこでもSANYO」（→P183）のサイトからダウンロードしたりできます。
- お買い上げ時に登録されているセットアイコンについて→P363

1 メニューを表示し、i［機能］▶2▶1「メニューアイコン変更」を押す



■ お買い上げ時に戻すとき

① 2「メニューアイコン解除」▶1「はい」を押す
- 中止するときは2「いいえ」を押します。

2 アイコンを選択し、●▶●を押す

- ✉［再生］を押すと、アイコンを確認できます。
- i［機能］▶1「情報表示」を押すと、アイコン情報が表示されます。

■ 個別アイコンを設定するとき

① 個別アイコンを選択し、●▶アイコンを選択し、●を押す
- 続けてアイコンを変更するときは1「はい」を押します。終了するときは2「いいえ」を押します。

お知らせ

●メニューアイコンを並び替えたあと、セットアイコンを変更するときは、お買い上げ時に戻してから行ってください。

メニューの説明を表示する

お買い上げ時	メニュー説明表示ON

メニューを選択した約3秒後にメニューの説明が表示されるようになります。設定はすべてのメニューに反映されます。

1 メニューを表示し、i［機能］▶3「メニュー説明表示ON」を押す

- 表示しないときは3「メニュー説明表示OFF」を押します。

着信ランプの色を設定する

お買い上げ時	パターン： 音声／テレビ電話／公衆電話／非通知設定／通知不可能／メール／チャットメール／メッセージR/F着信：メロディ連動 現在地確認／現在地通知／定期現在地通知／位置提供/許可／位置提供/確認：パターン1 カラー：すべて カラー7

電話やメールの着信時、GPS機能の通知・確認時などに点滅する着信ランプに、色や点滅パターンを設定します。

1 ●▶[設定]▶[1]▶[4]を押す

2 項目を選択し、●を押す

- 設定項目について→P116、117

3 [1]～[5]を押す

メロディ連動	着信音にメロディを設定すると、メロディに登録された点滅パターンにあわせて点滅します。 • メロディによっては連動しない場合があります。 • 現在地確認、現在地通知、定期現在地通知、位置提供/許可、位置提供/確認では選択できません。
パターン1～3	FOMA端末に内蔵の点滅パターンです。
OFF	点滅しません。操作はここで終了です。 • 定期現在地通知、位置提供/許可、位置提供/確認では選択できません。

4 カラーを選択し、●を押す

- カラー 1～11、ALLから選択できます。
- 「ALL」は1秒ごとに点滅色が変わります。
- 色はカラー選択中に着信ランプで確認できます。

お知らせLEDを設定する

お買い上げ時	OFF

着信ランプが約4秒間隔で点滅し、不在着信やメール受信、アラームなどを通知します。

- 複数の通知がある場合、最新のものを通知します。
- センターにメールがある場合、最優先で通知します。

1 ●▶[設定]▶[1]▶[4]▶◎▶[1]を押す

2 [1]「ON」を押す

- 設定しないときは[2]「OFF」を押します。操作はここで終了です。

3 1～5を押す

不在着信	不在着信、留守番電話、伝言メモがあったときに通知します。
メール	ｉモードメール／SMS／メッセージR/F着信があったとき、センターにメールがあるときに通知します。
アラーム	アラーム、スケジュールアラーム、ToDoアラームに応答しなかったとき、定期現在地通知が失敗したときなどに通知します。
ｉアプリ	ｉアプリ自動起動失敗時に通知します。
ソフトウェア	ソフトウェアの更新結果があるときなどに通知します。

4 カラーを選択し、●を押す

- カラー 1～11、ALLから選択できます。
- 「ALL」は点滅するごとに色が変わります。
- 色はカラー選択中に着信ランプで確認できます。
- 点灯させないときは「OFF」を選択し、●を押します。

5 i［保存］を押す

お知らせ

●不在着信やメール受信は、次の優先順位で通知されます。
①電話帳の個別着信の設定
②電話帳のグループ着信の設定
③お知らせLEDの設定

通話イルミネーションを設定する

お買い上げ時	OFF

通話中にランプが点滅するように設定します。

1 ●▶設定▶1▶4▶○▶2を押す

2 1「ON」を押す

- 設定しないときは2「OFF」を押します。操作はここで終了です。

3 カラーを選択し、●を押す

- カラー 1～11、ALLから選択できます。
- 「ALL」は1秒ごとに点滅色が変わります。
- 色はカラー選択中に着信ランプで確認できます。

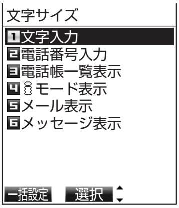
文字サイズ変更

文字のサイズを変える

お買い上げ時	すべて標準

文字や電話番号入力時、電話帳一覧、ｉモード、メッセージ、メール表示時の文字サイズを変更できます。

1 ● ▶ 設定 ▶ 2 ▶ 7 を押す



2 1 〜 6 を押す

■ 文字サイズをまとめて変更するとき

① ✉［一括設定］を押す

- ✉［切替］を押すと電話番号入力時の文字サイズを確認できます。

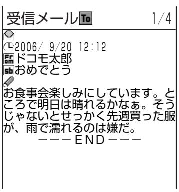
② 1 〜 3 を押す

③ 1「はい」を押す

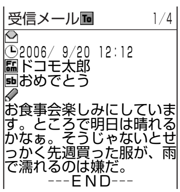
- 中止するときは 2「いいえ」を押します。

3 1 〜 3 を押す

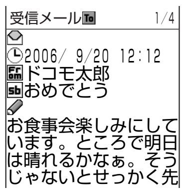
- 例：メール表示



小さめ：16ドット



標準：20ドット



大きめ：24ドット

Select language

画面を英語表示に切り替える

お買い上げ時	日本語

1 ●▶設定▶9▶3を押す



2 2「English」を押す

- 英語表示に切り替わります。（機能名「Select language」は「バイリンガル」と表示されます。）

■ 英語表示を日本語表示に戻すとき

① ●▶「Settings」▶9▶3を押す

② 1「日本語」を押す

お知らせ

●Select language の設定はFOMAカードを挿入しているときはFOMAカードに記憶されます。FOMAカードを抜いたり、設定したときと違うFOMAカードを挿入したりすると、設定が変わる場合があります。

あんしん設定

暗証番号について

FOMA端末で利用する暗証番号について 138
端末暗証番号を変更する . . . . <端末暗証番号変更> 140
PINコードを設定する . . . . <FOMAカード（UIM）> 140
PINロックを解除する 141

携帯電話の操作や機能を制限する

各種ロック機能について 142
他の人が使用できないようにする . . . . <オールロック> 142
発信や着信ができないようにする . . . . <セルフモード> 144
電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする . . . . <PIMロック> 145
ダイヤル発信を禁止する . . . . <ダイヤル発信制限> 146
サイドボタンの誤操作を防止する . . . <サイドボタン操作有効／無効> 147
リダイヤルや着信履歴の表示を設定する . . . .<発着信履歴表示> 148

発着信や送受信を制限する

シークレット設定されている情報を表示する . . <シークレットモード> 148
指定した電話番号からの電話だけを受ける. . . . <電話帳指定着信許可> 148
指定した電話番号からの電話だけを受けない . . <電話帳指定着信拒否> 149
発信者番号のわからない電話を受けない . . . <非通知理由別着信拒否> 150
電話番号未登録の相手の着信音を無音にする . . . . <呼出動作開始時間> 151
電話番号未登録の相手からの電話を受けない . <電話帳登録外着信拒否> 152

その他の「あんしん設定」について

その他の「あんしん設定」について. 153

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号の必要なものがあります。暗証番号には、各種端末操作用の端末暗証番号の他、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ドコモからお客様の暗証番号をうかがうことは一切ございません。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問合せ先」までご相談ください。

端末暗証番号

端末暗証番号は、お買上げ時には「0000」に設定されていますが、お客様のお好みで自由に番号を変更できます。→P140

- 端末暗証番号を万一お忘れになったときは、FOMA端末※、ご利用中のFOMAカード、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップ窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。
  ※契約者ご本人が購入された携帯電話でない場合、受け付けできない場合があります。

ネットワーク暗証番号

ドコモeサイトでの各種手続き時や、各種ネットワークサービスご利用時にお使いいただく数字４桁の番号で、ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My DoCoMo」の「My DoCoMo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。なお、ｉモードからは、ドコモeサイト内の「各種手続き」からお客様ご自身で変更ができます。
※「My DoCoMo」「ドコモeサイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

ｉモードパスワード

マイメニューの登録／削除、メッセージサービス、ｉモード有料サービスのお申し込み／解約などを行う際には、4桁の「ｉモードパスワード」が必要になります。
この他にも各IP（情報サービス提供者）が独自にパスワードを設定している場合があります。
ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様のお好みで自由に番号を変更できます。
ｉモードから変更される場合は、ｉMenu→[8]「オプション設定」→「ｉモードパスワード変更」を選択し、(●)を押すと変更ができます。

PIN1コード／PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様のお好みで自由に番号を変更できます。→P140

PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

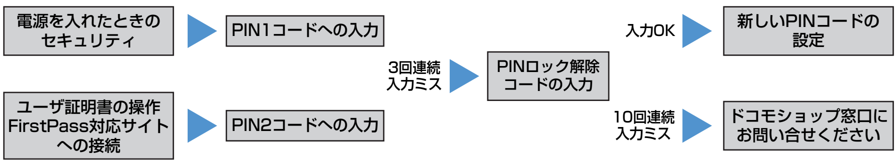
PIN2コードは、積算通話料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する4～8桁の暗証番号です。

- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。

PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更することができません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、FOMAカードがロックされます。



認証パスワード

赤外線通信で全件送信／全件受信するときのパスワードです。（数字4桁）
赤外線通信を行う前に、送信側と受信側で同じパスワードを入力します。

お知らせ

●いたずら防止のため、端末暗証番号／PIN1コード・PIN2コード／ｉモードパスワードはご契約後にお好きな番号に変更してください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。

●電話番号の下4桁などのわかりやすい番号の使用は避け、他人に知られないよう十分ご注意ください。

端末暗証番号変更

端末暗証番号を変更する

お買い上げ時	0000

FOMA端末を安全にご使用いただくために、端末暗証番号を変更できます。

- 端末暗証番号には、4～8桁の数字を入力します。

1 ●▶設定▶3▶1を押す

2 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

3 現在設定している端末暗証番号を入力し、●を押す

- 入力した数字は「￥」で表示されます。

4 新しい端末暗証番号を入力し、●を押す

5 手順4で入力した端末暗証番号をもう一度入力し、●を押す

端末暗証番号が変更されます。

お知らせ

●FOMA端末の機能や設定でFOMA端末暗証番号の入力が必要になる場合があります。FOMA端末暗証番号とネットワーク暗証番号やｉモードパスワードとは異なりますので、お気をつけください。

FOMAカード（UIM）

PINコードを設定する

FOMAカードを不正に使用されないため、FOMA端末の電源を入れたときにPIN1コードを入力しなければ、使用できない設定にします。

- PINコードには、4～8桁の数字を入力します。

<PIN1コード入力設定>

電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定する

お買い上げ時	OFF

1 ●▶設定▶3▶7を押す

2 端末暗証番号を入力し、●を押す

3 3「PIN1コード入力設定」を押す

4 1「ON」を押す

- 設定しないときは2「OFF」を押します。

5 PIN1コードを入力し、●を押す

- 入力した数字は「￥」で表示されます。

PIN1／PIN2コードを変更する

お買い上げ時	PIN1コード：0000　PIN2コード：0000

- PIN1コード入力設定を「ON」にしないと、PIN1コードは変更できません。

1 ●▶設定▶3▶7を押す

2 端末暗証番号を入力し、●を押す

3 1「PIN1コード変更」または2「PIN2コード変更」を押す

4 現在のPIN1（またはPIN2）コードを入力し、●を押す

- 入力した数字は「¥」で表示されます。

5 新しいPIN1（またはPIN2）コードを入力し、●を押す

6 手順5で入力したPIN1（またはPIN2）コードをもう一度入力し、●を押す

PIN1（またはPIN2）コードが変更されます。

お知らせ

●PIN1コード、PIN2コード、PIN1コード入力設定はFOMAカードに記録されます。新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、これまでお使いの設定のままご利用になれます。

PINロックを解除する

間違ったPIN1コード、PIN2コードを3回連続して入力すると、PINコードが自動的にロックされます。その場合は、ロックを解除して、新しいPINコードを設定します。

- PINロック解除コードを忘れた場合や完全にロックされた場合は、ご利用中のFOMAカード、およびご契約されたご本人であるかどうか確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。

1 「PINロック解除コードを入力してください」と表示されたら、8桁のPINロック解除コードを入力し、●を押す

2 新しいPIN1（またはPIN2）コードを入力し、●を押す

- 入力した数字は「¥」で表示されます。

3 手順2で入力したPIN1（またはPIN2）コードをもう一度入力し、●を押す

PINロックが解除され、新しいPIN1（またはPIN2）コードが設定されます。

次ページへつづく

お知らせ

●PIN2コードの場合はロックされていても電話の発着信、メールの送受信などは行えます。
●間違ったPINロック解除コードを10回連続で入力すると、PINコードが完全にロックされます。この場合、FOMA端末とロックされたFOMAカード、ご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップ窓口までお持ちいただくことが必要になりますのでご注意ください。

各種ロック機能について

FOMA端末のデータを他の人に閲覧されたり、使用されないようにするために、ロック機能を利用します。次のようなロック機能があります。

ロック機能の種類	説　明	参照先
オールロック	他の人が不正に使用できないようにします。電源の切／入、緊急通報番号（110番、119番、118番）への発信以外の操作ができなくなります。	P142
セルフモード	電話やメールの発着信や通信機能が利用できなくなります。	P144
PIMロック	電話帳やスケジュールなどの個人情報を表示・編集できなくなります。	P145
ダイヤル発信制限	ダイヤルボタンでの電話の発信ができなくなります。	P146
サイドボタン操作有効／無効	FOMA端末を折りたたんだときのサイドボタンの操作を無効にし、誤動作を防ぎます。	P147
シークレットモード	シークレット設定されている電話帳データ、その着信履歴などを表示します。シークレットモード中以外は電話帳に登録されている名前は表示せず、電話番号だけが表示されます。	P148

お知らせ

●ロック中であっても、緊急通報番号（110番、119番、118番）へ発信できます。

オールロック
他の人が使用できないようにする

お買い上げ時	OFF

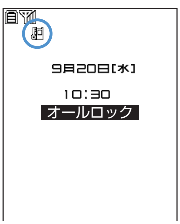
FOMA端末を操作できないように設定します。

• FOMA端末の電源の操作と、緊急通報番号（110番、119番、118番）への発信はできます。（端末暗証番号入力画面で番号を入力し、[発信]を押します。）

1 [●]▶[設定]▶[3]▶[4]**を押す**

2 [1]**「ON」を押す**

3 **端末暗証番号を入力し、**[●]**を押す**



オールロックが設定され、待受画面に「オールロック」と[アイコン]が表示されます。

オールロックに設定すると

次のような操作制限がかかります。

- 静止画などを待受画面に設定しているときは、お買い上げ時の設定になります。オールロックを解除すると、設定していた待受画面に戻ります。
- 電話がかかってきても着信が拒否され、着信音は鳴りません。
- ｉモードメール、SMS、メッセージR/Fは受信されますが、メール、メッセージ着信音は鳴りません。
- アラームを設定していた時刻になっても、アラームは鳴りません。
- お知らせアイコンは表示されません。オールロックを解除すると、着信やメール、メッセージ受信、アラームなどのお知らせアイコンが表示されます。

<遠隔オールロック>

遠隔オールロックの設定を行う

お買い上げ時	OFF

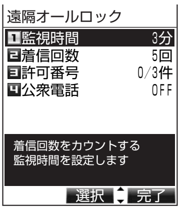
設定した時間内（監視時間）に、設定した電話番号の電話や公衆電話から設定回数電話をかけると、オールロックを設定できます。

1 ● ▶ 設定 ▶ 3 ▶ 5 を押す

2 1「ON」を押す

- 解除するときは2「OFF」を押します。

3 端末暗証番号を入力し、●を押す



- 手順2で「OFF」を選択したときは、操作はここで終了です。

4 項目を設定する

■ 監視時間を設定するとき

①1「監視時間」を押す
②時間を入力し、●を押す
- 1～10分まで設定できます。

■ 着信回数を設定するとき

①2「着信回数」を押す
②回数を入力し、●を押す
- 3～10回で設定できます。

■ 電話番号を設定するとき

- 3件まで登録できます。

①3「許可番号」を押す
②「未登録」を選択し、●を押す

次ページへつづく

③ 電話番号を入力し、●を押す
④ i［完了］を押す

■ 公衆電話から遠隔操作するとき
① 4「公衆電話」を押す
② 1「ON」を押す
- 設定しないときは2「OFF」を押します。

5 i［完了］を押す

遠隔操作でオールロックをかける

1 設定した電話番号や公衆電話からFOMA端末に電話をかける

2 呼び出し音などを確認し、電話を切る

- 手順1～2を繰り返し、設定した時間内に設定回数になるまで電話をかけます。

3 応答メッセージを確認し、電話を切る

オールロックが設定されます。

オールロックを解除する

1 待受画面で端末暗証番号を入力し、●を押す

お知らせ

●オールロックの解除に5回続けて失敗するとFOMA端末の電源が切れます。再び電源を入れて、正しい端末暗証番号を入力してください。
●オールロックは電源を切っても解除されません。
●設定した電話番号から電話をかけても、次のような場合は着信回数のカウントを開始しません。
- 電話番号を通知せず電話をかけたとき
- セルフモード設定中
- 伝言メモなどでFOMA端末が自動的に応答したとき
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスを開始していて、呼出時間を0秒に設定しているとき
●設定している複数の許可番号から電話をかけた場合、最初に着信した許可番号からの着信のみ着信回数としてカウントされます。

セルフモード
発信や着信ができないようにする

お買い上げ時	OFF

電話の発着信やメールの送受信、iモード、赤外線通信などの通信機能が使用できないように設定します。

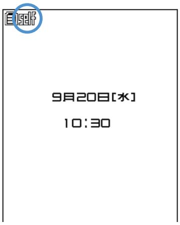
1 ●▶設定▶3▶3を押す

2 1「ON」を押す

- 解除するときは2「OFF」を押します。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

3 [i] 「はい」を押す



セルフモードが設定され、待受画面に [self] が表示されます。
- 「圏外」や [圏外アイコン] は表示されなくなります。
- 中止するときは [2] 「いいえ」を押します。

お知らせ

●セルフモード中でも留守番電話サービス、転送でんわサービスは利用できます。
●セルフモード中に緊急通報番号（110番、119番、118番）へ発信すると、セルフモードは解除されます。

PIMロック

電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする

お買い上げ時	OFF

電話帳やスケジュールなどの個人情報を表示できないように設定し、プライバシーを守ります。
- 電話帳登録外着信拒否を「ON」に設定しているときは、「電話帳」は設定できません。
- 設定できる項目は次のとおりです。項目ごとに設定したり、複数の項目を設定したりできます。

項　目	使用できない機能	表示されない通知※
マルチメディア	データBOX、オリジナルデータ、カメラ、ボイスレコーダー、miniSDメモリーカード、FMラジオの録音、ミュージックプレイヤー	―
電話帳	電話帳、直デン	直デン通知がすべて通常の通知として表示されます。（PIMロック設定前の直デン通知は表示されません。）
リダイヤル/送信アドレス履歴	リダイヤル、送信アドレス履歴	―
着信/受信アドレス履歴	着信履歴、受信アドレス履歴	不在着信
メール	メール、送信アドレス履歴、受信アドレス履歴	新着メール
ｉモード	ｉモード、ｉチャネル、ソフトウェア更新、パターンデータ更新	メッセージR/F、ソフトウェア更新完了（説明あり）
ｉアプリ	ｉアプリ	ｉアプリ自動起動失敗
GPS	GPS機能（ただし、位置提供は利用できます。）	通知失敗／不応答
プロフィール	プロフィール	―
カレンダー	カレンダー、スケジュール、ToDo	スケジュールアラーム、ToDoアラーム
テキストメモ/ダイヤルメモ	テキストメモ、ダイヤルメモ	―
伝言メモ/音声メモ	伝言メモ、通話中音声メモ	伝言メモ
アラーム	アラーム	アラーム

※通知はそれぞれPIMロックが解除されたときに表示されます。

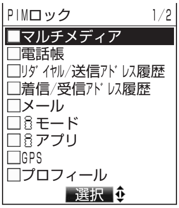
次ページへつづく

1 ◉ ▶ 設定 ▶ 3 ▶ 8 **を押す**

2 1 **「ON」を押す**

- 解除するときは 2「OFF」を押します。

3 **端末暗証番号を入力し、◉を押す**



- 手順2で「OFF」を選択したときは、操作はここで終了です。

4 **項目を選択し、◉を押す**

- 解除するときは◉を押します。

5 i **［完了］を押す**

PIMロックが設定され、待受画面に が表示されます。

PIMロックを設定すると

- 「マルチメディア」を設定すると、静止画などを待受画面に設定しているときは、お買い上げ時の設定になります。解除すると設定していた待受画面に戻ります。
- 「電話帳」を設定すると、リダイヤル、着信履歴、受信／送信アドレス履歴などには名前は表示されません。
- 「マルチメディア」、「電話帳」を設定すると、リダイヤル、着信履歴、受信／送信アドレス履歴の画像は表示されません。
- 「マルチメディア」を設定すると、ファイル名やタイトルが「＊＊＊」となります。
- 「リダイヤル/送信アドレス履歴」を設定すると、リダイヤルと送信アドレス履歴が削除されます。「着信/受信アドレス履歴」を設定すると、着信履歴と受信アドレス履歴が削除されます。「メール」を設定すると、受信／送信アドレス履歴が削除されます。PIMロック設定後の履歴は記録されます。
- 「カレンダー」を設定しても、カレンダー月間表示画面は表示できます。

お知らせ

●オールロックとPIMロックが設定されている場合は、はじめにオールロックを解除してから、PIMロックを解除してください。

ダイヤル発信制限

ダイヤル発信を禁止する

お買い上げ時	OFF

ダイヤルボタンで電話番号を入力して電話をかけることができないように設定します。

- 緊急通報番号（110番、119番、118番）への発信はできます。

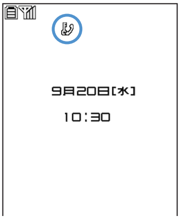
1 ◉ ▶ 設定 ▶ 3 ▶ 6 **を押す**

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

2 「ON」を押す

• 解除するときは「OFF」を押します。

3 端末暗証番号を入力し、◉を押す



ダイヤル発信が制限され、待受画面に が表示されます。

ダイヤル発信制限を設定すると

• 次の状態からの電話発信ができなくなります。

- ダイヤル入力　- 着信履歴　- プロフィール　- バーコードリーダー
- ｉアプリ　- 送信／受信メール　- ｉモード　- 画面メモ
- お知らせアイコン　- 文字リーダー　- miniSDメモリーカード内の電話帳データ

• 次の機能が使用できなくなります。
- FOMA端末電話帳・FOMAカード電話帳の新規登録／編集／削除
- Phone To／AV Phone To／Mail To機能（電話帳からのPhone toは使用できます。）
- FOMAカード、miniSDメモリーカードを使った電話帳データのコピー
- 赤外線通信での電話帳データの送受信
- ダイヤルボタン入力操作によるネットワークサービスの利用

• 設定前のリダイヤルと着信履歴は削除されます。ただし、設定後のリダイヤルと着信履歴については記録されます。
• ｉモードメールやSMSの送信に規制がかかることがあります。

サイドボタン操作有効／無効

サイドボタンの誤操作を防止する

かばんの中などでの誤動作を防ぐために、FOMA端末を折りたたんだときにサイドボタン操作が無効になるように設定します。

1 待受画面で◉を1秒以上押す

サイドボタン操作無効が設定され、待受画面に が表示されます。

■ サイドボタン操作を有効にするとき

① 待受画面で◉を1秒以上押す

発着信履歴表示

リダイヤルや着信履歴の表示を設定する

お買い上げ時	リダイヤル/送信アドレス履歴：ON 着信/受信アドレス履歴：ON

リダイヤルや着信履歴、受信／送信アドレス履歴などを表示するかしないかを設定できます。

1 ●▶設定▶3▶○▶1を押す

2 端末暗証番号を入力し、●を押す

3 1「リダイヤル/送信アドレス履歴」または2「着信/受信アドレス履歴」を押す

4 1「ON」を押す

- 表示しないときは2「OFF」を押します。

シークレットモード

シークレット設定されている情報を表示する

お買い上げ時	OFF

シークレット設定されている電話帳やスケジュール、ToDoは、シークレットモード中のみ表示されます。

1 ●▶設定▶3▶2を押す

2 1「ON」を押す

- 解除するときは2「OFF」を押します。ここで操作は終了です。

3 端末暗証番号を入力し、●を押す

シークレットモードが設定され、ディスプレイに が表示されます。

お知らせ

●FOMA端末の電源を切るとシークレットモードは解除されます。

電話帳指定着信許可

指定した電話番号からの電話だけを受ける

FOMA端末電話帳の特定の電話番号からの電話だけ受けるように設定します。

- 本機能は番号を通知している相手からの電話に対して有効です。「番号通知お願いサービス」をあわせて設定することをおすすめします。
- 電話帳指定着信拒否と同時に設定できません。

着信を許可する電話番号を指定する

1 電話帳詳細画面で着信を許可する電話番号を選択する

2 i［機能］▶ ◎ ▶ 3「着信許可/拒否設定」を押す

3 端末暗証番号を入力し、◉を押す

4 1「着信許可」を押す

- 解除するときは3「設定なし」を押します。
- 電話帳指定着信許可を利用するには、このあと、電話帳指定着信許可を設定してください。

指定した電話番号からのみ電話を受けるように設定する

お買い上げ時	OFF

1 ◉ ▶ 設定 ▶ 3 ▶ 9を押す

2 端末暗証番号を入力し、◉を押す

3 1「電話帳指定」を押す

4 1「ON 着信許可」を押す

- 解除するときは3「OFF」を押します。

お知らせ

●着信許可を設定した電話番号には、電話帳詳細画面の電話番号表示の横に が表示されます。
●着信許可を設定している電話番号以外から電話がかかってきたときは、拒否履歴に記録されます。
●着信許可を設定している電話番号以外に電話をかけることはできます。
●ｉモードメールやSMSは本機能に関係なく受信できます。
●「電話帳指定」以外の着信拒否設定もあわせて設定できます。

電話帳指定着信拒否

指定した電話番号からの電話だけを受けない

FOMA端末電話帳の特定の電話番号からの電話だけ拒否するように設定します。

- 本機能は番号を通知している相手からの電話に対して有効です。「番号通知お願いサービス」をあわせて設定することをおすすめします。
- 電話帳指定着信許可と同時に設定できません。

着信を拒否する電話番号を指定する

1 電話帳詳細画面で着信を拒否する電話番号を選択する

2 i［機能］▶ ◎ ▶ 3「着信許可/拒否設定」を押す

3 端末暗証番号を入力し、◉を押す

次ページへつづく

4 2「着信拒否」を押す

- 解除するときは3「設定なし」を押します。
- 電話帳指定着信拒否を利用するには、このあと、電話帳指定着信拒否を設定してください。

指定した電話番号からの電話を受けないように設定する

お買い上げ時	OFF

1 ● ▶ 設定 ▶ 3 ▶ 9 を押す

2 端末暗証番号を入力し、●を押す

3 1「電話帳指定」を押す

4 2「ON 着信拒否」を押す

- 解除するときは3「OFF」を押します。

お知らせ

- ●着信拒否を設定した電話番号には、電話帳詳細画面の電話番号表示の横に✋が表示されます。
- ●着信拒否を設定している電話番号から電話がかかってきたときは、拒否履歴に記録されます。
- ●着信拒否を設定している電話番号に電話をかけることはできます。
- ●ｉモードメールやSMSは本機能に関係なく受信できます。
- ●「電話帳指定」以外の着信拒否設定もあわせて設定できます。

非通知理由別着信拒否

発信者番号のわからない電話を受けない

お買い上げ時	非通知設定：OFF　公衆電話：OFF 通知不可能：OFF

電話番号が非通知の場合に、非通知理由により着信動作を設定します。

- 「番号通知お願いサービス」をあわせて設定することをおすすめします。

1 ● ▶ 設定 ▶ 3 ▶ 9 を押す

2 端末暗証番号を入力し、●を押す

3 3～5を押す

非通知設定	発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
公衆電話	公衆電話などから発信した場合
通知不可能	海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信した場合（ただし、経由する電話会社により発信者番号が通知される場合もあります。）

4 1「ON」を押す

- 設定しないときは2「OFF」を押します。

お知らせ

●着信拒否を設定している非通知理由の電話がかかってきたときは、拒否履歴に記録されます。

呼出動作開始時間

電話番号未登録の相手の着信音を無音にする

お買い上げ時	OFF

電話帳に登録されていない相手や非通知設定の相手から電話がかかってきたときに、設定した時間を経過した後に呼出動作（着信音、バイブレータなど）を開始するように設定します。

- 「ワン切り」などの迷惑電話対策に利用できます。
- 電話帳登録外着信拒否を「ON」にしているときは、本機能を設定できません。

1 ●▶設定▶4▶9▶1を押す

2 1「ON」を押す

- 解除するときは2「OFF」を押します。操作はここで終了です。

3 無音時間を入力し、●を押す

- 1～99秒まで設定できます。

無音着信時に着信履歴に表示しないようにする

お買い上げ時	ON

相手が呼出動作開始時間で設定した時間内に電話を切った場合に、着信履歴に表示されないようにできます。お知らせアイコンも表示されません。

1 ●▶設定▶4▶9▶2を押す

2 2「OFF」を押す

無音着信があったとき、着信履歴に表示されなくなります。

- 無音着信履歴を着信履歴に表示させるときは1「ON」を押します。

無音着信履歴を表示する

- 無音着信履歴だけを表示することはできません。無音着信履歴表示が「ON」のときは、無音着信履歴は着信履歴の中に含まれて表示されています。

1 着信履歴一覧画面でi［機能］▶4「無音着信履歴表示」を押す

お知らせ

●マナーモード中も呼出動作開始時間は有効です。
●PIMロック（電話帳）中は電話番号が電話帳に登録されていても本機能が動作します。
●シークレットモード中以外では、シークレット設定されている電話帳の相手から電話があったときも本機能は動作します。

電話帳登録外着信拒否

電話番号未登録の相手からの電話を受けない

お買い上げ時	OFF

電話帳に登録していない電話番号から電話がかかってきたときに電話を受けないように設定します。

- 電話帳登録外拒否を「ON」に設定しているときは、非通知理由別着信拒否(非通知設定着信拒否、公衆電話着信拒否、通知不可能着信拒否）の設定にかかわらず、非通知着信は拒否されます。
- 「番号通知お願いサービス」をあわせて設定することをおすすめします。
- 呼出動作開始時間を「ON」に設定中は、本機能を設定できません。

1 ●▶設定▶3▶9を押す

2 端末暗証番号を入力し、●を押す

3 2「電話帳登録外」を押す

4 1「ON」を押す

- 解除するときは2「OFF」を押します。

お知らせ

● i モードメールやSMSは本機能に関係なく受信できます。
●シークレットモードを設定していないときに、シークレット設定されている電話帳の相手から電話があったときは本機能は動作しません。

その他の「あんしん設定」について

FOMA端末では、この章で記載している機能以外に、次のような「あんしん設定」をご利用できます。

<table>
<tr><th>目　的</th><th>機能・サービス</th><th>参照先</th></tr>
<tr><td>いたずら電話や悪質な勧誘電話などの「迷惑電話」を受けない</td><td>迷惑電話ストップサービス</td><td>P340</td></tr>
<tr><td>発信者番号を通知しない電話を着信しない</td><td>番号通知お願いサービス</td><td>P341</td></tr>
<tr><td>必要なメールだけを受信する</td><td>メール選択受信</td><td>P230</td></tr>
<tr><td>メールアドレスを変更する</td><td>アドレス変更</td><td rowspan="12">『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。</td></tr>
<tr><td>メールアドレスを確認する</td><td>アドレス確認</td></tr>
<tr><td>受信メールのサイズを制限する</td><td>メールサイズ制限</td></tr>
<tr><td>指定したドメインからのメールを受信／拒否する</td><td rowspan="3">迷惑メール対策
（受信／拒否設定）</td></tr>
<tr><td>ｉモードどうしのメールだけを受信する／拒否する</td></tr>
<tr><td>指定したアドレスからのメールを受信／拒否する</td></tr>
<tr><td>SMSを受信しない</td><td>迷惑メール対策
（SMS拒否設定）</td></tr>
<tr><td>一方的に送られてくる広告メールを受信しない</td><td>未承諾広告※メール拒否</td></tr>
<tr><td>1日に1台のｉモード携帯電話から送信される200通目以降のｉモードメールを受信しない</td><td>ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限</td></tr>
<tr><td>メール機能を一時的に停止する</td><td>メール機能停止</td></tr>
<tr><td>災害発生時に、ｉモードを利用して安否情報を登録／確認する</td><td>ｉモード災害用伝言板サービス</td></tr>
<tr><td>電子認証サービス「FirstPass」を利用して、安全で信頼性のあるデータ通信を行う（FirstPass対応のサイトに限ります。）</td><td>FirstPass</td><td>P184</td></tr>
<tr><td>必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新する</td><td>ソフトウェア更新</td><td>P387</td></tr>
<tr><td>障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る</td><td>スキャン機能</td><td>P392</td></tr>
<tr><td>メールの受信／送信／未送信BOXやデータBOX内のフォルダにセキュリティをかける</td><td>セキュリティ設定</td><td>P225
P294</td></tr>
</table>

カメラ

カメラをご利用になる前に 156
静止画を撮影する ....<静止画撮影> 163
動画を撮影する ....<動画撮影> 166
撮影時の設定を変える 167
バーコードリーダーを利用する ....<バーコードリーダー > 172
文字を読み取る ....<文字リーダー > 174

カメラをご利用になる前に

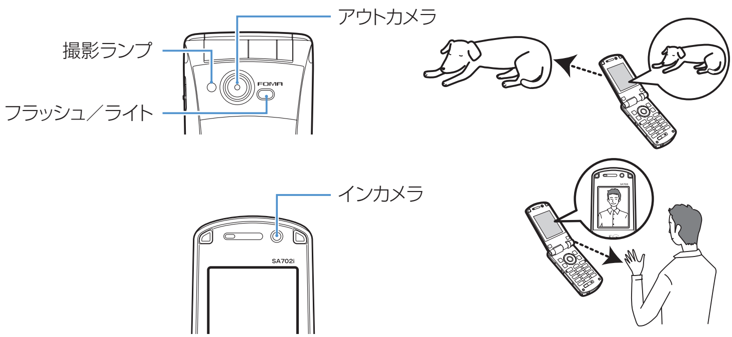
FOMA端末に内蔵のカメラで、静止画や動画を撮影できます。

- miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287
- miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

FOMA端末のカメラの特徴について

FOMA端末はアウトカメラとインカメラの2つのカメラを搭載しています

他の人や風景などを撮影する場合はアウトカメラを、自分を撮影する場合などはインカメラを利用すると便利です。



静止画や動画を撮影できます

- 撮影した静止画や動画、録音した音声は、FOMA端末で表示・再生して楽しむ他に、ｉモードメールや赤外線通信で他のFOMA端末や他社携帯電話に送信したり、FOMA USB接続ケーブル（別売）を利用してパソコンに転送したりできます。→P214、298、378
- 撮影した静止画や動画を電話帳や待受画面などに設定することができます。→P97、278、283
- 撮影した静止画にFOMA端末で測位した位置情報を埋め込むことができます。→P171

バーコードや文字を読み取ることができます

- カメラを使ってバーコード（JANコード、QRコード）を読み取ったり（バーコードリーダー）、文字を読み取ったり（文字リーダー）することができます。

カメラの使いかた

アウトカメラはCCDカメラ、インカメラはCMOSカメラを使用しています

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、赤、青、緑、白などの発色をした画素や線、黒い帯状のノイズが増えますのでご了承ください。
- FOMA端末を暖かい場所に長時間置いた後で画像を撮影したり、保存した場合は、画像が劣化することがあります。
- レンズ部分に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して画像が変色することがあります。
- アウトカメラで撮影中に強い光が入ると白っぽい帯が発生することがありますが、故障ではありません。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

撮影時のご注意

- FOMA端末で撮影した画像は、実際の被写体と色味が異なる場合や明るさにムラがでる場合があります。また、広角レンズを使用しているため被写体が一部ゆがんで写る場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 非常に暗い場所での撮影では、赤、青、緑、白などの発色をした画素や線、黒い帯状のノイズが出ることがありますのでご了承ください。
- 撮影するときに手ぶれでFOMA端末が動くと、画像がぶれる原因となります。FOMA端末が動かないようしっかり持って撮影するか、安定した場所に置いてセルフタイマーで撮影してください。特に、室内など光量が十分でない場所では画像のぶれが起きやすくなりますのでご注意ください。また、被写体が動いた場合もぶれた画像になりますのでご注意ください。
- マナーモード中や公共モード（ドライブモード）中、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続中でも、シャッター音が鳴ります。シャッター音の音量は変更できません。
- レンズ部に指紋や油脂などがつくと、ピントが合わなくなります。撮影前に柔らかな布などでふいてください。
- 撮影する場合は、レンズに指や髪、ハンドストラップなどがかからないように注意してください。
- FOMA端末はフラッシュ※を内蔵しています。フラッシュをご使用になる場合は、人の目の前で発光させないよう、ご注意ください。視力障害を引き起こす原因となります。
  ※フラッシュは、暗い場所などでの撮影を補助するもので、通常のカメラのストロボのような光量はありません。
- フラッシュ／ライトを目に近づけて点灯させないでください。またライト点灯中は発光部を直視しないようにしてください。視力低下などの障害を引き起こす原因となります。
- 蛍光灯照明の室内で撮影する場合は、蛍光灯のフリッカー（人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき）を感知してしまい、画面がちらついたり、黒い縞状の模様が出ることがありますが、故障ではありません。
- 動画撮影する場合は、マイクを手や指でおおわないようにご注意ください。また、撮影時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。

著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して撮影・録音したものを、権利者に無断で複製・改変・編集などを行うことは、個人で楽しむ場合などのほかは、著作権法上禁止されております。また、個人で楽しむ場合であっても禁止されている場合がありますので、ご注意ください。
個人の肖像や名前を無断で使用・改変するなども、肖像権の侵害となる場合がありますので、ご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

静止画撮影について

FOMA端末に内蔵のカメラでSXGAサイズまでの静止画を撮影します。
撮影した静止画はJPEG形式で保存されます。
静止画撮影では次のような操作を行えます。

- 画像サイズ、画質の設定→P168
- 連続撮影→P164
- 撮影環境・被写体による5つの設定から選択して撮影（シーンセレクト）→P169
- フレームイラストを重ねて撮影（フレーム撮影）→P165
- 近くにある被写体の撮影→P169
- 特殊効果を付加しての撮影→P170
- セルフタイマーを使用した撮影→P169
- 日付スタンプを入れての撮影→P171
- 位置情報を埋め込んでの撮影→P171
- ホワイトバランスの調整→P170
- シャッター音の変更→P171
- 撮影した画像の自動保存→P170
- miniSDメモリーカードへの画像保存→P171

次ページへつづく

- 画面のちらつきを抑えて撮影→P171
- ズーム→P167
- ライト／フラッシュを使っての撮影→P168
- 明るさ調整→P168

静止画の画像サイズ・画質などについて（目安）

SA702iで撮影できる画像のサイズ・画質は次のとおりです。

画像サイズ（横×縦）	カメラ	画　質		
		ノーマル	ファイン	スーパーファイン
Sub-QCIF（128×96）	インカメラ アウトカメラ	約9Kバイト	約10Kバイト	約20Kバイト
QCIF（176×144）	インカメラ アウトカメラ	約9Kバイト	約10Kバイト	約20Kバイト
待受画面（240×320）	インカメラ アウトカメラ	約20Kバイト	約30Kバイト	約50Kバイト
CIF（288×352） CIF（352×288）	インカメラ アウトカメラ	約20Kバイト	約30Kバイト	約50Kバイト
VGA（480×640）	アウトカメラ	約50Kバイト	約100Kバイト	約150Kバイト
XGA（768×1024）	アウトカメラ	約100Kバイト	約150Kバイト	約250Kバイト
SXGA（960×1280）	アウトカメラ	約150Kバイト	約200Kバイト	約300Kバイト

保存できる静止画の枚数について（目安）

- SA702iに保存できる静止画は、最大約1024枚です。ただし、画像サイズまたは画質の設定や、保存されているデータ数などによって、最大保存枚数まで保存できない場合があります。
- 保存できる枚数はあくまで目安です。

画像サイズ（横×縦）	画　質	FOMA端末	miniSDメモリーカード	
			16Mバイト	32Mバイト
Sub-QCIF（128×96）	ノーマル	約1024枚	約910枚	約1900枚
	ファイン	約1024枚	約910枚	約1900枚
	スーパーファイン	約1024枚	約450枚	約950枚
QCIF（176×144）	ノーマル	約1024枚	約910枚	約1900枚
	ファイン	約1024枚	約910枚	約1900枚
	スーパーファイン	約1024枚	約450枚	約950枚
待受画面（240×320）	ノーマル	約1024枚	約450枚	約950枚
	ファイン	約850枚	約450枚	約950枚
	スーパーファイン	約510枚	約230枚	約470枚
CIF（288×352） CIF（352×288）	ノーマル	約1024枚	約450枚	約950枚
	ファイン	約850枚	約450枚	約950枚
	スーパーファイン	約510枚	約230枚	約470枚
VGA（480×640）	ノーマル	約510枚	約230枚	約470枚
	ファイン	約250枚	約130枚	約270枚
	スーパーファイン	約170枚	約90枚	約190枚
XGA（768×1024）	ノーマル	約250枚	約130枚	約270枚
	ファイン	約170枚	約90枚	約190枚
	スーパーファイン	約100枚	約60枚	約120枚
SXGA（960×1280）	ノーマル	約170枚	約90枚	約190枚
	ファイン	約125枚	約70枚	約150枚
	スーパーファイン	約85枚	約50枚	約100枚

お知らせ

●miniSDメモリーカードに保存するときは、すべての静止画がDCFに準拠します。
●接写モードでは距離が約7cmの被写体にピントをあわせて撮影できます。
●本文中は、画像サイズの（横×縦）という記載を省略しています。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

動画撮影について

FOMA端末に内蔵のカメラで動画を撮影します。映像のみの撮影、または音声のみの録音もできます。
録画した動画はMP4形式で保存されます。
動画撮影では次のような操作を行えます。

- 画像サイズ、画質の設定→P168
- 近くにある被写体の撮影→P169
- 特殊効果を付加しての撮影→P170
- マイク感度の設定→P166
- 録画・録音開始／終了音の変更→P171
- miniSDメモリーカードへの画像保存→P171
- ライトを使っての撮影→P168
- ズーム→P167
- ファイルサイズを制限しての撮影→P169
- 映像のみの撮影または音声のみの録音→P166
- セルフタイマーを使用した撮影→P169
- ホワイトバランスの調整→P170
- 撮影した画像の自動保存→P170
- 画面のちらつきを抑えて撮影→P171
- 明るさ調整→P168

動画の画像サイズ・撮影モードなどについて

SA702iで撮影できる画像は次のとおりです。

画像サイズ（横×縦）	撮影モード	ビデオビットレート	オーディオビットレート	フレームレート（1秒あたり）
Sub-QCIF（128×96）	標準	32Kbps	12.2Kbps	7.5フレーム
	動き優先	128Kbps		15フレーム
	画質優先	192Kbps		10フレーム
QCIF（176×144）	標準	32Kbps	12.2Kbps	7.5フレーム
	動き優先	128Kbps		15フレーム
	画質優先	192Kbps		10フレーム

保存できる動画の長さについて（目安）

- SA702iに保存できる動画の長さは、最大約24分です。ただし、撮影モード、撮影種別、ファイルサイズ制限の設定や保存先の空き容量によって、保存できる動画の長さは異なります。
- 保存できる動画の長さはあくまで目安です。

■ SA702iに保存できる動画の長さ（目安）

画像サイズ（横×縦）	撮影モード	撮影種別	ファイルサイズ制限		
			iモードメール添付（秒）	大容量メール添付（秒）	制限なし（分）
Sub-QCIF（128×96）	標準	映像＋音声	約50	約80	約24
		映像のみ	約60	約90	約33
	動き優先	映像＋音声	約20	約30	約7
		映像のみ	約20	約30	約8
	画質優先	映像＋音声	約10	約20	約6
		映像のみ	約10	約30	約6
QCIF（176×144）	標準	映像＋音声	約50	約80	約24
		映像のみ	約60	約90	約33
		音声のみ	約180	約310	約85
	動き優先	映像＋音声	約20	約30	約7
		映像のみ	約20	約30	約8
	画質優先	映像＋音声	約10	約20	約6
		映像のみ	約10	約30	約6

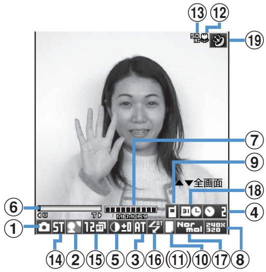
■ miniSDメモリーカードに保存できる動画の長さ（目安）

容　量	画像サイズ（横×縦）	撮影モード	撮影種別	ファイルサイズ制限		
				iモードメール添付（秒）	大容量メール添付（秒）	制限なし（分）
16Mバイト	Sub-QCIF（128×96）	標準	映像＋音声	約50	約80	約42
			映像のみ	約60	約90	約60
		動き優先	映像＋音声	約20	約30	約14
			映像のみ	約20	約30	約15
		画質優先	映像＋音声	約10	約20	約11
			映像のみ	約10	約30	約12
	QCIF（176×144）	標準	映像＋音声	約50	約80	約42
			映像のみ	約60	約90	約60
			音声のみ	約180	約310	約120
		動き優先	映像＋音声	約20	約30	約14
			映像のみ	約20	約30	約15
		画質優先	映像＋音声	約10	約20	約11
			映像のみ	約10	約30	約12
32Mバイト	Sub-QCIF（128×96）	標準	映像＋音声	約50	約80	約90
			映像のみ	約60	約90	約120
		動き優先	映像＋音声	約20	約30	約30
			映像のみ	約20	約30	約30
		画質優先	映像＋音声	約10	約20	約20
			映像のみ	約10	約30	約30
	QCIF（176×144）	標準	映像＋音声	約50	約80	約90
			映像のみ	約60	約90	約120
			音声のみ	約180	約310	約120
		動き優先	映像＋音声	約20	約30	約30
			映像のみ	約20	約30	約30
		画質優先	映像＋音声	約10	約20	約20
			映像のみ	約10	約30	約20

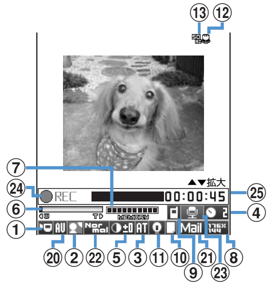
＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

撮影画面の見かた

静止画撮影を起動すると、静止画撮影画面が表示されます。動画撮影を起動すると、動画撮影画面が表示されます。



静止画撮影画面



動画撮影画面

機　能	アイコンと項目名	内　容
静止画・動画共通		
①カメラモード	静止画撮影	静止画を撮影します。
	動画撮影	動画を撮影します。
②特殊効果	セピア	古い写真のような、茶色がかった画像になります。
	モノクロ	白黒の画像になります。
	レッドなど4色	画像に色味（レッド、グリーン、ブルー、パープル）を付加します。
③ホワイトバランス	自動	色合いを自動で調整します。
	晴天	晴天下での撮影に適した設定です。
	曇天	曇天下での撮影に適した設定です。
	電球	電球の下での撮影に適した設定です。
	蛍光灯（昼白色）	昼白色の蛍光灯の下での撮影に適した設定です。
	蛍光灯（昼光色）	昼光色の蛍光灯の下での撮影に適した設定です。
④セルフタイマー	2秒、5秒 10秒	設定した時間が経過すると、自動的に撮影を開始します。
⑤明るさ	−5～±0～+5	明るさを設定します。
⑥ズーム	W T	被写体を拡大（ズーム）します。
⑦メモリーバー	MEMORY	保存先の空き容量（残量）を表示します。
⑧サイズ選択	128×96、176×144、240×320、352×288、 288×352、480×640、768×1024、960×1280	設定した画像サイズで撮影されます。 動画撮影の場合、Sub-QCIF、QCIFのみとなります。
⑨自動保存 保存先設定	自動保存ON 保存先設定：データBOX	静止画を撮影または録画（録音）を終了すると、データBOXに自動保存されます。
	自動保存ON 保存先設定：miniSD	静止画を撮影または録画（録音）を終了すると、miniSDメモリーカードに自動保存されます。
	自動保存OFF 保存先設定：データBOX	撮影した静止画または動画（音声）を確認してからデータBOXに保存できます。
	自動保存OFF 保存先設定：miniSD	撮影した静止画または動画（音声）を確認してからminiSDメモリーカードに保存できます。
⑩ファイル制限	ファイル制限あり	送付先のFOMA端末から送信／転送できなくなります。
	ファイル制限なし	送付先のFOMA端末で送信／転送ができます。
⑪ライト	ライトON（黒）	ライトが点灯しています。
	使用不可（グレー）	周囲の温度が低いため、ライトは使用できません。

次ページへつづく

機　能	アイコンと項目名	内　容
静止画・動画共通		
⑫接写	接写モード	近くにある被写体を撮影します。
⑬ちらつき軽減	表示なし：自動	ちらつきを自動で抑えます。
	50Hz	50Hz用の蛍光灯によるちらつきを抑えます。
	60Hz	60Hz用の蛍光灯によるちらつきを抑えます。
静止画		
⑭シーンセレクト	標準	通常撮影を行います。
	人物	肌色を強調し、背景をぼかして人物をひきたてます。
	風景	輪郭線を強調して撮影します。
	夜景	夜景を活かしながら被写体を撮影します。
	逆光	被写体の後ろから光が差し込む場合でも、被写体をきれいに撮影します。
⑮連続撮影	12枚自動 24枚自動	●を1回押すと、自動で連続撮影を行います。 撮影できる枚数は画像サイズにより異なります。
	12枚手動 24枚手動	●を押すごとに連続して撮影を行います。 撮影できる枚数は画像サイズにより異なります。
⑯フラッシュ	フラッシュ AUTO	撮影時に周囲・被写体が暗い場合、自動的にフラッシュが光ります。
	フラッシュ ON	撮影時に常にフラッシュが光ります。
⑰画質選択	ノーマル	標準的な画像を撮影します。
	ファイン	高画質の画像を撮影します。
	スーパーファイン	最高画質の画像を撮影します。
⑱日付スタンプ	日時	撮影した静止画に日時を入れて保存します。
	日付	撮影した静止画に日付を入れて保存します。
	時間	撮影した静止画に時間を入れて保存します。
⑲位置情報埋め込み	位置情報埋め込み	撮影した静止画に位置情報を埋め込んで保存します。
動　画		
⑳撮影種別	映像+音声	映像と音声を記録します。
	映像のみ	映像のみ記録します。
	音声のみ	音声のみ記録します。
㉑ファイルサイズ制限	ｉモードメール添付	記録できるファイルサイズが、約290Kバイトまでに制限されます。
	大容量メール添付	記録できるファイルサイズが、約490Kバイトまでに制限されます。
	制限なし	ファイルサイズの制限はありません。（最大約8Mバイト）
㉒撮影モード	標準	画質、動きとも標準で録画します。
	動き優先	動きはなめらかですが、画質は少し粗くなります。
	画質優先	高画質ですが、動きが少し不安定になります。
㉓マイク感度	広域用	広い範囲で集音します。
	自分撮り用	近い範囲で集音します。
㉔録画・録音中	●REC	録画・録音中です。
㉕撮影可能残時間	00:00:00	録画・録音可能残時間を表示します。

静止画を撮影する

FOMA端末のカメラで静止画を撮影します。

- マナーモード中や公共モード（ドライブモード）中、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続中でも、シャッター音が鳴ります。シャッター音の音量は変更できません。

1 待受画面で（）を1秒以上押す



静止画撮影画面

静止画撮影画面が表示され、撮影ランプが緑で点滅します。

- インカメラに切り替えるときは［カメラ切替］を押します。
- 撮影時の設定を変更できます。→P167

■ 全画面表示にするとき

- 画像サイズが待受画面、VGA、XGA、SXGA、CIF（インカメラ）のときに全画面表示ができます。

①を押す

画面のアイコンやソフトキーが一時的に非表示になります。

- もう一度押すと、画面のアイコンなどが表示されるようになります。
- 静止画確認画面でも同じ操作で全画面表示ができます。

■ 拡大表示するとき

- 画像サイズがSub-QCIF、QCIFのときに拡大表示ができます。

①を押す

- ［機能］▶「拡大表示」／「等倍表示」を選択し、を押しても拡大／等倍表示できます。
- もう一度押すと、等倍表示になります。
- 静止画確認画面でも同じ操作で拡大表示／等倍表示ができます。

2 被写体にカメラのレンズを向けて、を押す



静止画確認画面

シャッター音が鳴り、撮影ランプが赤で点灯します。静止画確認画面が表示されます。

- 「自動保存ON」に設定しているときは保存され、静止画撮影画面に戻ります。

3 画像を確認する

- 撮り直すときはを押します。

■ 画像をメールに添付して送るとき

- 保存先設定を「miniSD」にしているときは、メール作成はできません。

①［メール作成］を押す

画像がデータBOXに保存され、画像が添付されたメール作成画面が表示されます。

- 画像サイズが待受画面より大きい場合は、画像サイズを待受画面に変換して添付できます。
- 以降の操作：→P209「ｉモードメールを作成して送信する」手順2～6
  位置情報付き静止画の添付について
  →P215
- 「自動保存ON」に設定しているときは、データBOXからメールに添付できます。
  →P275

■ 日付スタンプを貼り付けるとき

- 画像サイズがVGA、XGA、SXGAの静止画は貼り付けできません。

①［機能］▶「日付スタンプ」を押す

- 以降の操作：→P171「日付スタンプを貼り付けるとき」手順②

■ 位置情報を埋め込むとき

①［機能］▶「位置情報埋め込み」を押す

- を押しても位置情報埋め込みができます。
- 以降の操作：→P266「位置情報を埋め込む」手順3

■ 画像を待受画面などに設定するとき

- 保存先設定を「miniSD」にしているときは、画像設定はできません。

①［機能］▶「画像設定」を押す

画像がデータBOXに保存されます。

- 以降の操作：→P278「画像を待受画面などに設定する」手順2

■ タイトルを編集するとき

①［機能］▶「タイトル編集」を押す

②タイトルを入力し、を押す

- 全角18文字（半角36文字）まで入力できます。

■ 画像を反転表示するとき

- 画像サイズがVGA、XGA、SXGAの静止画はかがみ画像表示／保存できません。

①［機能］▶「かがみ画像表示」を押す

- 反転表示を戻すときは［機能］▶「普通画像表示」を押します。
- 反転表示した画像を保存するときは［機能］▶「かがみ画像保存」を押します。フレームを重ねた画像はかがみ画像保存できません。

次ページへつづく

4 ●を押す

画像が保存されます。

- 画像は「データBOX」→「マイピクチャ」→「カメラ」フォルダに保存されます。保存先は変更できます。→P171

お知らせ

- ●▶[生活ツール]「生活ツール」▶[4]▶[1]を押しても静止画撮影画面が表示されます。
- シャッター音は3種類から選択できますが、メロディなどをシャッター音に設定することはできません。→P171
- 画像サイズや画質などによって、画像の保存に時間がかかる場合があります。
- 静止画撮影画面または静止画確認画面表示中に電話の着信・アラーム（スケジュールアラーム、ToDoアラームも含む）・GPS測位があった場合は、撮影は停止され、途中までのデータが保持されます。通話終了後、アラーム停止後またはGPS測位後に元の画面に戻ります。アラームにスヌーズを設定している場合は、スヌーズモード解除後に元の画面に戻ります。
- 撮影中にメールを受信しても、そのまま撮影を続けることができます。
- 静止画撮影画面で約2分以上何も操作しなかったときは、カメラが自動的に終了します。

<連続撮影>

連続撮影する

お買い上げ時	OFF

静止画を連続で撮影できます。連続撮影には一定の間隔で自動的に設定枚数を撮影する「自動」と、設定枚数を1枚ずつ手動で撮影する「手動」があります。

- 撮影する画像サイズによって、連続撮影できる枚数が異なります。
- 画像サイズがVGA、XGA、SXGAの画像は連続撮影できません。

1 静止画撮影画面で[i]［機能］▶[5]「連続撮影」を押す

2 項目を選択し、●を押す

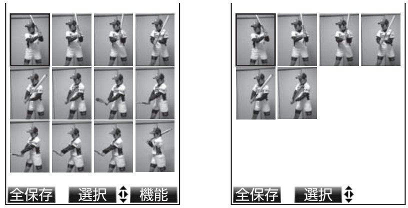
■画像サイズがSub-QCIF、QCIFのとき

24枚自動（速い）	24枚の静止画が約0.2秒間隔で連続撮影されます。
24枚自動（普通）	24枚の静止画が約0.4秒間隔で連続撮影されます。
24枚手動	●を押すごとに撮影し、24枚の静止画を撮影するとインデックス表示されます。
OFF	連続撮影しません。操作はここで終了です。

■画像サイズが待受画面、CIFのとき

12枚自動	12枚の静止画が約0.4秒間隔で連続撮影されます。
12枚手動	●を押すごとに撮影し、12枚の静止画を撮影するとインデックス表示されます。
OFF	連続撮影しません。操作はここで終了です。

3 ●を押す



（途中で停止した場合）

インデックス表示画面

■連続撮影（自動）のとき

連続撮影が始まり、選択した枚数分を撮影後にインデックス表示されます。

- 途中で連続撮影を停止するときは、[✉]［停止］を押します。停止操作をする前に撮影した画像が、インデックス表示されます。
- 「自動保存ON」に設定しているときは撮影が終了するとすべての画像が保存され、静止画撮影画面に戻ります。

■連続撮影（手動）のとき

選択した枚数まで撮影できます。

- 途中で連続撮影を停止するときは、[✉]［停止］を押します。停止操作をする前に撮影した画像が、インデックス表示されます。
- 「自動保存ON」に設定しているときは撮影が終了するとすべての画像が保存され、静止画撮影画面に戻ります。

4 静止画を選択して●を押す

■全画像を一括保存するとき

①[✉]［全保存］を押す

全画像が保存され、静止画撮影画面に戻ります。

■インデックス画像を保存するとき

- 連続撮影できる枚数をすべて撮影した場合のみインデックス画像を保存できます。

①[i]［機能］▶[1]「インデックス保存」を押す

②[1]「はい」を押す

インデックス画像が保存され、インデックス表示画面に戻ります。

- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

- 保存したインデックス画像の画像サイズは以下のとおりです。
  - Sub-QCIF　　　　　：256×288
  - QCIF　　　　　　　：352×432
  - 待受画面　　　　　：240×240
  - CIF（アウトカメラ）：352×216
  - CIF（インカメラ）　：288×264

5 画像を確認して●を押す

選択した画像が保存され、インデックス表示画面に戻ります。
必要な静止画をすべて保存します。
- [i]［機能］を押して位置情報埋め込み、タイトル編集などができます。→P163

■ 画像をメールに添付して送るとき
- 保存先設定を「miniSD」にしているときは、メール作成はできません。

① [✉]［メール作成］を押す

② [1]「全保存」または[2]「選択データのみ保存」を押す

画像がデータBOXに保存され、画像が添付されたメール作成画面が表示されます。
- 中止するときは[3]「キャンセル」を押します。
- 画像サイズが待受画面より大きい場合は、画像サイズを待受画面に変換して添付できます。
- 以降の操作：→P209「ｉモードメールを作成して送信する」手順2～6
  位置情報付き静止画の添付について→P215

■ 画像を待受画面などに設定するとき
- 保存先設定を「miniSD」にしているときは、画像設定はできません。

① [i]［機能］▶[2]「画像設定」を押す

② [1]「全保存」または[2]「選択データのみ保存」を押す

画像がデータBOXに保存されます。
- 中止するときは[3]「キャンセル」を押します。
- 以降の操作：→P278「画像を待受画面などに設定する」手順2

お知らせ

● 連続撮影のシャッター音は設定にかかわらず、「カシャ」になります。
● 連続撮影では、ライトON／OFFのみできます。
● 連続撮影ではシーンセレクトの「夜景」は選択できません。「夜景」にしていた場合、「標準」に設定されます。
● インデックス表示画面から静止画を選択して保存した後に「全保存」を実行しても、すでに保存された画像は保存されません。
● 連続撮影中にFOMA端末を折りたたむと、撮影は中断します。開くと、折りたたむ前に撮影した画像がインデックス表示されます。「自動保存ON」のときは自動的に保存されます。
● 連続撮影中に電話の着信があった場合、撮影は停止し、着信画面になります。着信する前に撮影した画像は保持され、通話終了後にインデックス表示されます。
● 連続撮影中にメールを受信しても、連続撮影を継続します。

<フレーム撮影>

フレームを重ねて撮影する

お買い上げ時	フレームなし

FOMA端末に内蔵のフレームやサイトからダウンロードしたフレームを重ねて撮影できます。
- 画像サイズがVGA、XGA、SXGAの画像はフレーム撮影できません。
- 撮影する画像サイズと異なるフレームは選択できません。
- お買い上げ時に登録されているフレームについて→P363

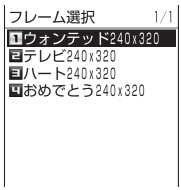
1 静止画撮影画面で[i]［機能］▶[6]「フレーム撮影」を押す

2 フレームを選択し、●を押す

フレームが表示されます。
- [◀▶]を押すと、前後のフレームを表示できます。
- 解除するときは[✉]［解除］を押します。静止画撮影画面に戻ります。

■ インデックス表示にして選択するとき

[i]［4分割］を押すと、4分割のインデックス表示になります。[i]を押すたびに、インデックス表示（リスト表示）が切り替わります。



リスト表示



4分割



12分割

3 ●を押す

- 以降の操作：→P163「静止画を撮影する」手順2～4

お知らせ

● フレームだけを赤外線通信で送信したり、メールに添付して送信することはできません。
● フレームは、「どこでもSANYO」のサイトからダウンロードできます。→P183

動画撮影

動画を撮影する

FOMA端末のカメラで音声付き動画を撮影します。

- マナーモード中や公共モード（ドライブモード）中、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続中でも、録画・録音開始／終了音が鳴ります。録画・録音開始／終了音の音量は変更できません。

1 待受画面で[カメラ]（📷）を1秒以上押す

2 [i]［機能］▶[1]「カメラモード」▶[2]「ムービー撮影」を押す



動画撮影画面

動画撮影画面が表示され、撮影ランプが緑で点滅します。

- インカメラに切り替えるときは[メール]［カメラ切替］を押します。
  撮影時の設定を変更できます。→P167

■ 拡大表示するとき

①[上下]を押す
- [i]［機能］▶「拡大表示」／「等倍表示」を選択し、[●]を押しても拡大／等倍表示できます。
- もう一度押すと等倍表示になります。
- 動画確認画面でも同じ操作で拡大表示／等倍表示ができます。

■ 撮影種別を設定するとき

①[i]［機能］▶[5]「撮影種別」を押す
②[1]～[3]を押す

■ マイク感度を設定するとき

①[i]［機能］▶[右]▶[1]「マイク感度」を押す
②[1]「広域用」または[2]「自分撮り用」を押す

広域用	広い範囲で集音します。
自分撮り用	近い範囲で集音します。

3 被写体にカメラのレンズを向けて、[●]を押す

録画開始音が鳴り、「●REC」が表示され、録画が始まります。録画中は撮影ランプが赤で点滅します。

- 録画を一時停止するときは[メール]［一時停止］を押します。もう一度押すと録画を再開します。

4 [●]を押す



動画確認画面

録画終了音が鳴り、録画が停止します。

- 撮り直すときは[CLR]を押します。
- 「自動保存ON」や、ファイルサイズ制限を「制限なし」に設定しているときは保存され、動画撮影画面に戻ります。

■ 動画をメールに添付して送るとき

- 保存先設定を「miniSD」にしているときはメール作成はできません。

①[メール]［メール作成］を押す
動画がデータBOXに保存され、動画が添付されたメール作成画面が表示されます。
- 以降の操作：→P209「iモードメールを作成して送信する」手順2～6
- iモードメールに添付できるファイルサイズには制限があります。メールに添付する場合は、「ファイルサイズ制限」の設定をしておくと便利です。
- 「自動保存ON」や、ファイルサイズ制限を「制限なし」に設定しているときは、データBOXからメールに添付できます。→P281

■ 動画を確認するとき

①[i]［機能］▶[1]「再生」を押す
録画した動画を再生します。
- [左]で巻き戻し、[右]で早送りができます。[上下]で音量を調節できます。
- [●]を押す、または録画した動画をすべて再生すると、動画確認画面に戻ります。

■ 動画を待受画面や着信音などに設定するとき

- 保存先設定を「miniSD」にしているときはiモーション設定はできません。

①[i]［機能］▶[2]「iモーション設定」を押す
動画がデータBOXに保存されます。
- 以降の操作：→P283「動画・iモーションを音声着信などに設定する」手順3

■ タイトルを編集するとき

①[i]［機能］▶[4]「タイトル編集」を押す
②タイトルを入力し、[●]を押す
- 全角18文字（半角36文字）まで入力できます。

5 [●]を押す

動画が保存されます。

- 動画は「データBOX」→「iモーション」→「カメラ」フォルダに保存されます。保存先は変更できます。→P171

動画撮影中に静止画を撮影する

- 撮影できる静止画は、撮影種別が「映像+音声」または「映像のみ」の場合は動画撮影中に9枚、「音声のみ」の場合は録音前に1枚です。
- 撮影種別が「映像+音声」または「映像のみ」のときは、ファイルサイズ制限が「制限なし」の場合のみ静止画を撮影できます。→P166、169
- シャッター音は設定にかかわらず「カシャ」になります。
- 撮影種別を「映像+音声」に設定した場合、撮影中の動画には静止画撮影時のシャッター音が記録されます。

1 動画撮影中または録音前に📷を押す

- 画像サイズは設定されている動画サイズと同じになります。
- 撮影の一時停止中でも静止画を撮影できます。

お知らせ

●◉▶生活ツール「生活ツール」▶4▶2を押しても動画撮影画面が表示されます。
●撮影中にFOMA端末を折りたたむと撮影は中断します。開くと動画確認画面が表示されます。「自動保存ON」、ファイルサイズ制限が「制限なし」の場合は、自動的に保存されます。
●動画撮影／ボイスレコーダー終了時、停止時に録画・録音終了音が鳴ります。
●動画撮影中にボタン操作を行うと、操作音が録音される場合があります。
●動画撮影画面または動画確認画面表示中に電話の着信・アラーム（スケジュールアラーム、ToDoアラームも含む）・GPS測位があった場合は、録画（録音）は停止され、途中までのデータが保持されます。通話終了後、アラーム停止後またはGPS測位後に元の画面に戻ります。アラームにスヌーズを設定している場合は、スヌーズモード解除後に元の画面に戻ります。
●動画撮影中（音声録音中）にメールを受信しても、そのまま録画（録音）を継続します。
●通話中は動画撮影、ボイスレコーダーは使用できません。
●動画撮影画面で約2分以上何も操作しなかったときは、カメラが自動的に終了します。

撮影時の設定を変える

カメラの設定を撮影シーンに合わせて変更します。保存先を変更したり、セルフタイマーで撮影したりできます。

- 静止画撮影画面または動画撮影画面で行います。
- 静止画撮影画面の表示方法は「静止画を撮影する」をご覧ください。→P163
- 動画撮影画面の表示方法は「動画を撮影する」をご覧ください。→P166
- 電話帳の登録画面、iアプリなどからカメラを起動した場合や、動画撮影の撮影種別の設定によっては、変更できない項目があります。
- 次の設定はカメラを終了しても保持されます。設定リセットまたはデーター括削除を行うとお買い上げ時の設定に戻ります。
  - サイズ選択
  - 画質選択
  - シャッター音
  - 開始/終了音
  - ファイルサイズ制限
  - マイク感度
  - 撮影モード
  - 日付スタンプ※
  - 自動保存ON／OFF
  - 保存先設定
  - ちらつき軽減

※ 日付スタンプの色の設定は保持されません。

ズームを使う

お買い上げ時	ワイド

- 画像サイズがSXGAの静止画はズームできません。

1 静止画／動画撮影画面で◉を押す



ズームバーのズームバーが左右に動き、画像表示が拡大（縮小）します。

- 動画撮影中、動画撮影の一時停止中でもズームできます。
- ズーム倍率は次のとおりです。

画像サイズ（横×縦）	カメラ	ズーム（段階）
静止画		
Sub-QCIF（128×96）	インカメラ	約2倍まで（6段階）
	アウトカメラ	約7倍まで（27段階）
QCIF（176×144）	インカメラ	約1.6倍まで（4段階）
	アウトカメラ	約5.45倍まで（19段階）
待受画面（240×320）	インカメラ	－
	アウトカメラ	約4倍まで（13段階）
CIF（288×352）	インカメラ	－
CIF（352×288）	アウトカメラ	約2.7倍まで（6段階）
VGA（480×640）	アウトカメラ	約2倍まで（5段階）
XGA（768×1024）	アウトカメラ	約1.2倍まで（2段階）

画像サイズ（横×縦）	カメラ	ズーム（段階）
動　画		
Sub-QCIF（128×96）	インカメラ	約2倍まで（6段階）
	アウトカメラ	約7倍まで（13段階）
QCIF（176×144）	インカメラ	約1.6倍まで（4段階）
	アウトカメラ	約5.45倍まで（11段階）

明るさを設定する

お買い上げ時	±0

画像全体の明るさを設定します。

1 静止画／動画撮影画面で▲または▼を押す

- 画面の明るさが−5〜+5まで11段階で設定できます。
- −5〜±0〜+5と表示が変わります。

ライト（フラッシュ）を点灯する

お買い上げ時	静止画：フラッシュ AUTO 動画　：OFF

撮影場所が暗いときにライトを点灯して撮影できます。静止画撮影の場合は、撮影時にフラッシュを使うことができます。

- 静止画撮影時にライトを「ON」に設定すると、フラッシュも点灯します。
- 動画撮影時はフラッシュは使えません。
- 連続撮影・シーンセレクトの「夜景」設定時は、フラッシュは使えません。（「ライト/フラッシュ」の設定項目は「ライト」になります。）
- 周辺の気温が非常に低い場合（約−10℃以下）、ライト／フラッシュは使えません。

ライト／フラッシュを点灯する（静止画撮影）

1 静止画撮影画面で［i］［機能］▶◎▶◎▶［3］「ライト/フラッシュ」を押す

2 ［1］〜［4］を押す

フラッシュ AUTO	撮影時に、周囲や被写体が暗い場合に自動的にフラッシュが光ります。
フラッシュ ON	撮影時にフラッシュが光ります。
ライトON	ライトとフラッシュが点灯します。
OFF	ライトとフラッシュは点灯しません。

■ 簡単にライト／フラッシュを切り替えるとき

①静止画撮影画面で［#］を押す

- 押すたびにアイコンが切り替わります。

ライトを点灯する（動画撮影）

1 動画撮影画面で［i］［機能］▶◎▶◎▶［1］「ライト」を押す

2 ［1］「ON」を押す

- 点灯させないときは［2］「OFF」を押します。

■ 簡単にライトを切り替えるとき

①動画撮影画面で［#］を押す

- 押すたびにアイコンが切り替わります。

お知らせ

●ライトは薄暗いときなどに、光量を補うために使用します。真っ暗な場所を明るく写すことはできません。

画像サイズ／画質を選択する

お買い上げ時	静止画　サイズ選択：待受画面 　　　　画質選択　：ノーマル 動画　　サイズ選択：QCIF 　　　　撮影モード：標準

撮影する画像サイズを選択する

1 静止画／動画撮影画面で［i］［機能］▶［2］「サイズ選択」を押す

2 画像サイズを選択し、◉を押す

■ 簡単に画像サイズ切り替えるとき

①静止画／動画撮影画面で［1］を押す

- 押すたびにアイコンが切り替わります。

撮影する静止画の画質を選択する

1 静止画撮影画面で［i］［機能］▶［3］「画質選択」を押す

2 ［1］〜［3］を押す

ノーマル	標準画質で撮影します。
ファイン	高画質で撮影します。
スーパーファイン	最高画質で撮影します。

■ 簡単に画質を切り替えるとき

①静止画撮影画面で［2］を押す

- 押すたびにアイコンが切り替わります。

撮影する動画の画質を選択する

1 動画撮影画面で［i］［機能］▶［4］「撮影モード」を押す

2 ［1］〜［3］を押す

標準	画像、動きとも標準の画像となります。
動き優先	動きはなめらかですが、画質は少し粗い画像となります。
画質優先	高画質ですが動きが少し不安定な画像となります。

■簡単に撮影モードを切り替えるとき

①動画撮影画面で[3]を押す
- 押すたびにアイコンが切り替わります。

<ファイルサイズ制限>

ファイルサイズを制限する

お買い上げ時	iモードメール添付

撮影した動画をメールに添付して送る場合、ファイルサイズ制限を設定しておくと便利です。

1 動画撮影画面で[i]［機能］▶[3]「ファイルサイズ制限」を押す

2 [1]〜[3]を押す

iモードメール添付	ファイルサイズが約290Kバイトになるように撮影時間を制限します。
大容量メール添付	ファイルサイズが約490Kバイトになるように撮影時間を制限します。
制限なし	保存先設定が「データBOX」の場合はファイルサイズが約8Mバイトまで、「miniSD」の場合は約40Mバイトまで録画できます。保存先の空き容量によっては、保存できる動画のファイルサイズが変わります。

■簡単にファイルサイズ制限を切り替えるとき

①動画撮影画面で[2]を押す
- 押すたびにアイコンが切り替わります。

お知らせ

- 保存先の空き容量が約390Kバイト未満の場合、「制限なし」には設定できません。
- 「制限なし」に設定すると、録画（録音）終了後に動画（音声）は自動保存されます。自動保存ON／OFFの設定は変更できません。

<シーンセレクト>

撮影シーンを選択する

お買い上げ時	標準

人物をひきたてて撮影する、夜景を撮影するなど、撮りたいシーンにあわせた設定を選択できます。
- 連続撮影にしている場合「夜景」は選択できません。「夜景」に設定しているときに、連続撮影にした場合、設定は「標準」になります。
- 「夜景」に設定すると、フラッシュは使用できません。

1 静止画撮影画面で[i]［機能］▶[4]「シーンセレクト」を押す

2 [1]〜[5]を押す

標準	通常の撮影です。
人物	肌色を強調し、背景をぼかして人物をひきたてます。
風景	輪郭線を強調して撮影します。
夜景	夜景を活かしながら被写体を撮影します。
逆光	被写体の後ろから光が差し込む場合でも、被写体をきれいに撮影します。

■簡単にシーンセレクトを切り替えるとき

①静止画撮影画面で[3]を押す
- 押すたびにアイコンが切り替わります。

お知らせ

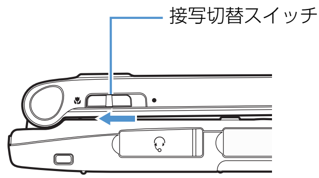
- 「夜景」に設定すると、ホワイトバランスは「自動」になります。

近くのものを撮影する

お買い上げ時	標準モード

被写体までの距離が約7cmのものを撮影できます。
- アウトカメラで撮影時のみ接写できます。

1 静止画／動画撮影画面で接写切替スイッチを「✿」にする



- 標準モードで撮影するときは、接写切替スイッチを「•」にします。

セルフタイマーを使う

お買い上げ時	OFF

セルフタイマーで設定した時間が経過すると、自動的に撮影を開始します。撮影するときにボタン操作を行わないので、ボタン操作による手ぶれを防ぐことができます。

1 静止画撮影画面で[i]［機能］▶◎▶[1]「セルフタイマー」を押す
- 動画撮影のときは、[i]［機能］▶[7]「セルフタイマー」を押します。

2 [1]〜[3]を押す

[5]（5秒の場合）が表示されます。
- セルフタイマーを使わないときは[4]「OFF」を押します。操作はここで終了です。

次ページへつづく

3 撮影する構図を決めて、●を押す

セルフタイマーが起動します。[アイコン]の残り時間が減っていき、設定した時間が経過すると撮影を開始します。

- 1秒間隔で撮影ランプが緑で点滅します。3秒前になると撮影ランプが赤に変わり、点滅が速くなります。また、3秒前から1秒間隔で「ピッ、ピッ、ピッ」という撮影開始のタイミングを知らせる音が鳴ります。

■ 簡単にセルフタイマーを設定するとき

①静止画／動画撮影画面で5を押す
- 押すたびにアイコンが切り替わります。

お知らせ

●セルフタイマー起動中に✉［中止］またはCLRを押すと、セルフタイマーのカウントが元に戻ります。

●セルフタイマー起動中に電話の着信・アラーム（スケジュールアラーム、ToDoアラームも含む）・GPS測位があった場合は、カウントダウンは停止し、通話終了後、アラーム停止後またはGPS測位後にカウントダウンは元に戻ります。

●セルフタイマー起動中にメールを受信しても、カウントダウンは継続します。

<特殊効果>

撮影効果を設定する

お買い上げ時	効果なし

画像に色味をつけるなどの効果を付加できます。

1 静止画撮影画面でi［機能］▶7「特殊効果」を押す

- 動画撮影のときは、i［機能］▶6「特殊効果」を押します。

2 1～6を押す

プレビュー画面が表示されます。
- プレビュー画面で◀▶を押すと、特殊効果を切り替えられます。
- 解除するときは✉［解除］を押します。操作はここで終了です。

セピア	古い写真のような、茶色がかった画像になります。
モノクロ	白黒の画像になります。
レッド	赤みがかった画像になります。
グリーン	緑がかった画像になります。
ブルー	青みがかった画像になります。
パープル	紫がかった画像になります。

3 ●を押す

選択した特殊効果に設定されます。

■ 簡単に特殊効果を設定するとき

①静止画／動画撮影画面で4を押す
②◀▶を押して特殊効果を選択し、●を押す
- 解除するときは✉［解除］を押します。

ホワイトバランスを調整する

お買い上げ時	自動

撮影する場所の明るさや照明の種類などによって、画像の色合いが実際の色合いと異なって撮影されることがあります。このような場合に色合いを調整します。

1 静止画撮影画面でi［機能］▶◀▶4「ホワイトバランス」を押す

- 動画撮影のときは、i［機能］▶◀▶2「ホワイトバランス」を押します。

2 1～6を押す

自動	色合いを自動で調整します。
晴天	晴天下での撮影に適するように設定します。
曇天	曇天下での撮影に適するように設定します。
電球	電球の下での撮影に適するように設定します。
蛍光灯（昼白色）	昼白色の蛍光灯の下での撮影に適するように設定します。
蛍光灯（昼光色）	昼光色の蛍光灯の下での撮影に適するように設定します。

■ 簡単にホワイトバランスを切り替えるとき

①静止画／動画撮影画面で6を押す
- 押すたびにアイコンが切り替わります。

<自動保存ON／OFF>

撮影した静止画／動画を自動的に保存する

お買い上げ時	自動保存OFF

1 静止画撮影画面でi［機能］▶◀▶6「自動保存ON」を押す

- 動画撮影のときは、i［機能］▶◀▶4「自動保存ON」を押します。
- 自動保存しないときは、静止画／動画撮影画面でi［機能］▶「自動保存OFF」を選択し、●を押します。
- 撮影後、すぐにメールに添付する場合は「自動保存OFF」にしておいてください。

お知らせ

●動画撮影でファイルサイズ制限を「制限なし」に設定すると、録画（録音）終了後に動画（音声）は自動保存されます。自動保存ON／OFFの設定は変更できません。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

<保存先設定>

撮影した静止画／動画の保存先を設定する

お買い上げ時	静止画 ：「データBOX」→「マイピクチャ」→「カメラ」 動画 ：「データBOX」→「iモーション」→「カメラ」

- miniSDメモリーカードが挿入されていないときは、保存先を「miniSD」に設定することはできません。miniSDメモリーカードの挿入について→P287
- 保存先を「miniSD」にしているときは、静止画／動画確認画面から、メール作成、待受画面などへの設定はできません。

1 静止画撮影画面で[i]［機能］▶[◎]▶[7]「保存先設定」を押す

- 動画撮影のときは、[i]［機能］▶[◎]▶[5]「保存先設定」を押します。

2 [1]「データBOX」または[2]「miniSD」を押す

データBOX	データBOXの任意のフォルダに保存されます。 ①フォルダを選択し、[●]を押す
miniSD	miniSDメモリーカードの「デジカメ」フォルダ（静止画の場合）または「iモーション」フォルダ（動画の場合）に保存されます。

保存された静止画や動画のファイル名／タイトルについて

撮影した画像を保存すると、画像のファイル名／タイトルは「撮影年-撮影月-撮影日_撮影時間（時）-撮影時間（分）」となります。

<例>2006年9月20日10：30に撮影した場合
ファイル名／タイトルは「2006-09-20_10-30」となります。

- 連続撮影した静止画のファイル名は、1枚目に撮影した撮影日時となり、その後ろに通し番号がつきます。2006年9月20日10:30に連続撮影した場合、3枚目の画像のファイル名は「2006-09-20_10-30_03」となります。インデックス画像は通し番号が「00」になります。

お知らせ

- 保存した静止画のファイル名や動画のファイル名／タイトルは、「情報表示」で確認できます。→P296
- 保存先に設定しているフォルダを削除した場合は、自動的にお買い上げ時の設定に戻ります。
- miniSDメモリーカードに保存した場合、ファイル名とタイトルは異なります。miniSDメモリーカードに保存した場合のファイル名について→P289
- miniSDメモリーカードに保存中に、miniSDメモリーカードを抜かないでください。画像やminiSDメモリーカードが壊れるおそれがあります。
- miniSDメモリーカードに保存した画像はDPOFプリント予約ができます。
- miniSDメモリーカードの空き容量がない、または件数オーバーの場合は、データBOXに保存されます。

撮影時に静止画／動画を参照する

1 静止画撮影画面で[i]［機能］▶[◎]▶[◎]▶[5]「マイピクチャ参照」を押す

- 動画撮影のときは[i]［機能］▶[◎]▶[◎]▶[3]「iモーション参照」を押します。

2 [1]「データBOX」または[2]「miniSD」を押す

3 フォルダを選択し、[●]を押す

4 画像を選択し、[●]を押す

- 静止画再生画面について→P276
- 動画再生画面について→P282

お知らせ

- 保存先設定を「miniSD」にしているときに、miniSDメモリーカード内の静止画／動画を参照すると、保存先設定は「データBOX」になります。

撮影後に静止画／動画を参照する

- 保存した画像を表示する→P275
- 動画・iモーションを再生する→P281

その他の設定を変える

お買い上げ時	日付スタンプ：OFF シャッター音：カシャ 開始/終了音 ：ピピッ ファイル制限：なし ちらつき軽減：自動

撮影時に日付スタンプを入れたり、シャッター音を変更したり、さまざまな設定ができます。

1 静止画／動画撮影画面で[i]［機能］を押す

2 項目を選択する

■ 日付スタンプを貼り付けるとき

- 静止画撮影画面で行えます。
- 画像サイズがVGA、XGA、SXGAの静止画は貼り付けできません。

①[◎]▶[2]「日付スタンプ」を押す
②[1]～[3]を押す
- 日付スタンプを貼り付けないときは[4]「OFF」を押します。
- [i]［色変更］を押すと、日付スタンプの色を変更できます。

次ページへつづく

■ 位置情報を埋め込むとき

- 静止画撮影画面で行えます。

①（メニュー）▶ 3「位置情報埋め込み」を押す
- 静止画撮影画面で（位置情報キー）を押しても位置情報埋め込みができます。
- 以降の操作：→P266「位置情報を埋め込む」手順3

■ シャッター音を変更するとき

- 静止画撮影画面で行えます。

①（メニュー）▶ 5「シャッター音」を押す
② 1～3を押す
- （メール）［再生］を押すと、シャッター音を確認できます。マナーモード中でも音が鳴ります。

■ 録画開始／終了音を変更するとき

- 動画撮影画面で行えます。

①（メニュー）▶ 3「開始/終了音」を押す
② 1～3を押す
- （メール）［再生］を押すと、開始／終了音を確認できます。マナーモード中でも音が鳴ります。

■ ファイル制限を設定するとき

静止画や動画を送信したFOMA端末から送信や転送ができないように設定できます。
- 静止画撮影画面、動画撮影画面で行えます。

①「ファイル制限」を選択し、●を押す
② 1「あり」を押す
- 解除するときは2「なし」を押します。

■ 画面のちらつきを抑えるとき

- 静止画撮影画面、動画撮影画面で行えます。

①「ちらつき軽減」を選択し、●を押す
② 1～3を押す

■ 操作ガイドを表示するとき

- 静止画撮影画面、動画撮影画面で行えます。

①「操作ガイド」を選択し、●を押す
- 終了するときは●を押します。

バーコードリーダー

バーコードリーダーを利用する

FOMA端末のカメラを使ってJANコードやQRコードを読み取ります。読み取ったデータからPhone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能などを利用して、電話の発信やメール送信、サイト接続などができます。
- 読み取ったコードは18件まで保存できます。
- 読み取れるのはJANコードとQRコードだけです。

JANコード・QRコードについて

4123578369877

JANコードとは、太さや間隔の異なる縦のバーで数字を表しているバーコードの一種です。FOMA端末では8桁（JAN8）と13桁（JAN13）の2種類を読み取れます。
- 左のJANコードから、「4123578369877」という数字の情報が読み取れます。

QRコードとは、縦横の模様で数字、アルファベット、漢字、カナ、絵文字、メロディ、画像などを表している、高い情報力を持った二次元コードです。
- 左のQRコードから、「株式会社NTTドコモ」という文字情報が読み取れます。

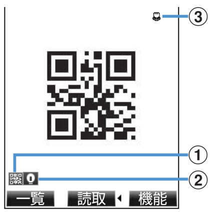
コードを読み取る

JANコードやQRコードをカメラを使って読み取ります。
- コードが読み取れるのはアウトカメラだけです。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射によっては読み取れないことがあります。
- バーコードの種類やバージョン、サイズによっては読み取れないことがあります。
- 読み取り完了音の音量は、音量設定の音声着信の設定に従います。→P119

1 接写モードに切り替える
- 接写モードの切り替えについて→P169

2 待受画面で（カメラキー）（📷）を1秒以上押す

3 i［機能］▶ 1「カメラモード」▶ 3「バーコードリーダー」を押す



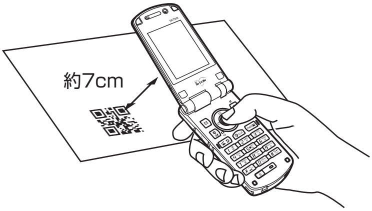
バーコードリーダー画面

① （バーコードアイコン）：バーコードリーダーが起動しています。
② （ライトアイコン）（黒）：ライトが点灯しています。
（ライトアイコン）（グレー）：周囲の温度が低いため、ライトは使用できません。
③ （接写アイコン）：接写モードで読み取ります。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

4 アウトカメラをコードから約7cm離し、コード全体をディスプレイに表示させる

- FOMA端末を手でしっかり支えて操作します。
- [◁▷]で等倍／拡大表示を切り替えて読み取れます。



■ ライトを点灯させて読み取るとき

①[i]［機能］▶[2]「ライト」▶[1]「ON」を押す
- 点灯させないときは[2]「OFF」を押します。

5 [●]を押す



「読み取り中」と表示された後、読み取り結果が表示されます。

6 [✉]［保存］を押す

読み取ったデータが保存されます。
- 保存せず、情報を利用することもできます。以降の操作：→P173「読み取ったデータを利用する」手順3、→P174「読み取ったテキスト情報を利用する」手順2
- データを保存しないときは、[CLR]▶[1]「はい」を押します。

分割された複数のQRコードを読み取る

分割されたQRコード（16個まで）を結合できます。
- 読み取ったQRコードが分割されていた場合、「次のデータを読み取ってください」と表示されます。次のコードをディスプレイに表示させると、自動的に読み取ります。すべてのQRコードを読み取ると、読み取り結果が表示されます。

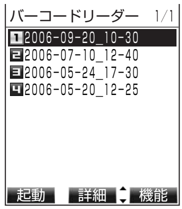
お知らせ

- ●[●]▶[生活ツール]「生活ツール」▶[1]または[●]▶[生活ツール]「生活ツール」▶[4]▶[3]を押してもバーコードリーダー画面が表示されます。
- ●暗い場所ではライトを点灯してから読み取ってください。

- ●保存したデータのタイトルは、読み取った日時になっています。（西暦-月-日_時間（時）-時間（分））たとえば、2006年9月20日10:30に読み取った場合、「2006-09-20_10-30」になります。保存したデータのタイトルは変更できます。
- ●データBOX、miniSDメモリーカードには読み取ったデータを保存できません。

読み取ったデータを利用する

1 バーコードリーダー画面で[✉]［一覧］を押す



バーコードリーダー一覧画面

- バーコードリーダー画面に戻るときは、[✉]［起動］を押します。

2 データを選択し、[●]を押す

■ タイトルを変更するとき

①データを選択し、[i]［機能］▶[1]「タイトル編集」を押す
②タイトルを入力し、[●]を押す
- 全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

3 データを利用する

- 読み取ったデータが電話番号、メールアドレス、URLの場合は、Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能が利用できます。→P193

■ 電話帳に登録するとき

データの内容を電話帳に登録できます。
①「電話帳登録」を選択し、[●]を押す
- データ内容を電話帳に登録します。以降の操作：→P95「FOMA端末電話帳に登録する」手順2～6、→P99「FOMAカード電話帳に登録する」手順2～4
- 選択した電話帳によって、登録できない項目があります。

■ メールを作成するとき

データにある「宛先」にメールを送信します。
①「メール作成」を選択し、[●]を押す
- 以降の操作：→P209「ｉモードメールを作成して送信する」手順4～6

■ ブックマークに登録するとき

データにあるURLやタイトルをブックマークに登録します。

①「Bookmark登録」を選択し、●を押す
- 以降の操作：→P188「ブックマークに登録する」手順2〜3

■ iアプリを起動するとき

①「iアプリ起動」を選択し、●を押す
- 該当するiアプリがFOMA端末にない場合、起動できません。

② 1「はい」を押す
- 起動しないときは 2「いいえ」を押します。

■ データにある画像・メロディを再生・保存するとき

① 画像・メロディを選択し、●を押す

画像・メロディが再生されます。
- 画像・メロディを保存するときは、データを選択し、i［機能］▶5「データBOXへ保存」▶1「はい」を押します。
- 画像は「データBOX」→「マイピクチャ」→「データ交換」フォルダに、メロディは「データBOX」→「メロディ」→「データ交換」フォルダに保存されます。

読み取ったテキスト情報を利用する

1 バーコードリーダー一覧画面でデータを選択し、●を押す

2 i［機能］▶項目を選択し、●を押す

コピー	①コピーする範囲の始点で●▶終点で●を押す • コピーしたデータは貼り付けデータとして保存されます。
ユーザー辞書登録	①登録する範囲の始点で●▶終点で●を押す • 全角20文字（半角40文字）まで範囲指定できます。 ②よみを入力し、●を押す
英単語辞書	①調べる単語の始点で●▶終点で●を押す • 全角16文字（半角32文字）まで範囲指定できます。
よみ確認	①調べる単語の始点で●▶終点で●を押す • 全角50文字（半角100文字）まで範囲指定できます。 • 文章は文節ごとに表示されます。文節を選択し、●を押します。

保存したコードを削除する

1 バーコードリーダー一覧画面でデータを選択し、i［機能］▶2「削除」を押す

2 1「1件削除」を押す

■ 選択削除するとき

① 2「選択削除」を押す

② データを選択し、●を押す
- 解除するときは●を押します。

③ i［実行］を押す

■ 全件削除するとき

① 3「全件削除」を押す

② 端末暗証番号を入力し、●を押す

3 1「はい」を押す
- 中止するときは 2「いいえ」を押します。

お知らせ

●電話番号やメールアドレス、URLを読み取っても、各機能にリンクできない場合があります。（下線付きの色文字でない場合リンクできません。）

文字リーダー

文字を読み取る

FOMA端末のカメラを使って文字（英数字と記号）を読み取ります。読み取った文字は電話帳登録やメール作成などで利用できます。また、簡単に英単語の意味を調べることができます。

- 読み取った文字は18件まで保存できます。（カメラde辞書で読み取った文字は保存できません。）1件につき半角256文字まで登録できます。
- 一度に読み取れる文字数は約49文字です。（カメラde辞書の場合は16文字までです。）
- 文字が読み取れるのはアウトカメラだけです。
- 読み取り可能な文字は書体が「明朝体」「ゴシック体」「セリフ書体」「サンセリフ書体」(斜体は対象外)の「アルファベット」「数字」「半角記号」のみです。
- パソコンなどのディスプレイから読み取った場合や撮影状況によっては、正しく読み取れない場合があります。
- 縦書きの文字は、読み取れません。
- 読み取り完了音の音量は、音量設定の音声着信の設定に従います。→P119

1 接写モードに切り替える
- 接写モードの切り替えについて→P169

2 待受画面で 📷（📷）を1秒以上押す

3 [i]［機能］▶[1]「カメラモード」▶[4]「文字リーダー」を押す



文字リーダー画面

① [ABC]：文字リーダーが起動しています。
② [接写]：接写モードで読み取ります。
③ [バー]：ピントレベルです。バーが多いほど認識しやすくなります。
④ [AT]（自動）：認識モードを表示しています。他に[メール]（メールアドレス）、[URL]（URL）、[電話]（電話番号）があります。
[辞書]：英単語の意味を英単語辞書で調べます。（カメラde辞書）
⑤ [ライト]（黒）：ライトが点灯しています。
[ライト]（グレー）：周囲の温度が低いため、ライトは使用できません。

4 文字をディスプレイに表示し、[●]を押す



読み取り結果画面

読み取った部分が赤枠で囲まれ、実際に読み取った文字テキストが表示されます。

- ディスプレイに［OK］が表示されているときに、読み取ることができます。
- [左右]で等倍／拡大表示を切り替えて読み取れます。

■ ライトを点灯させて読み取るとき

① [i]［機能］▶[3]「ライト」▶[1]「ON」を押す
- 点灯させないときは[2]「OFF」を押します。

5 [●]を押す

■ 文字を編集するとき

① [メール]［編集］を押す
② 文字を編集する
- 赤く表示されている文字があるときは、読み取り候補から文字を選択することができます。文字を選択して[上下]を押し、読み取り候補から文字を選択して[●]または[左右]を押します。

6 [1]「はい」または[2]「いいえ」を押す

はい	続けて文字を読み取り、追加できます。手順4～5を繰り返します。
いいえ	追加認識はしません。手順7へ進みます。



文字データ確認画面

7 [メール]［保存］を押す

- 電話番号やメールアドレス、URLを読み取ったときは、Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能が利用できます。→P193
- [i]［機能］を押すと読み取った文字を利用できます。
  以降の操作：→P176「読み取った文字データを利用する」手順3
- データを保存しないときは、[CLR]▶[1]「はい」を押します。

認識モードを設定する

認識モードを設定すると、設定した項目に最適化した読み取りが行われます。

1 文字リーダー画面で[i]［機能］▶[2]「認識モード」を押す

2 [1]～[4]を押す

自動	文字の種別を自動で認識します。
メールアドレス	メールアドレスが読み取りやすくなります。
URL	URLが読み取りやすくなります。
電話番号	電話番号が読み取りやすくなります。

保存したデータを削除する

1 文字リーダー画面で✉［一覧］を押す

- 文字リーダー画面に戻るときは、✉［起動］を押します。

2 文字データを選択しⓘ［機能］▶2「削除」を押す

3 1「1件削除」を押す

■選択削除するとき

①2「選択削除」を押す

②データを選択し、●を押す

- 解除するときは●を押します。

③ⓘ［実行］を押す

■全件削除するとき

①3「全件削除」を押す

②端末暗証番号を入力し、●を押す

4 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

英単語を読み取る

読み取った英単語の意味を確認できます。

1 文字リーダー画面でⓘ［機能］▶4「カメラde辞書」を押す



2 英単語をディスプレイに表示させ、●を押す

読み取った英単語と意味が表示されます。

- 該当の英単語が辞書にない場合など、意味が表示されないときは●を押し、翻訳候補一覧から英単語を選択し、●を押します。
- ◎で等倍／拡大表示を切り替えて読み取れます。

読み取った文字データを利用する

1 文字リーダー画面で✉［一覧］を押す

2 データを選択し、●を押す

- 電話番号、メールアドレス、URLを読み取った場合は、Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能が利用できます。
→P193

3 ⓘ［機能］▶項目を選択し、●を押す

編集	①文字を編集し、●を押す
コピー	①コピーする範囲の始点で●▶終点で●を押す • コピーしたデータは貼り付けデータとして保存されます。
ユーザー辞書登録	①登録する範囲の始点で●▶終点で●を押す • 半角40文字まで範囲指定できます。 ②よみを入力し、●を押す
英単語辞書	①調べる単語の始点で●▶終点で●を押す • 半角32文字まで範囲指定できます。

お知らせ

- ●▶「生活ツール」▶4▶4を押しても文字リーダー画面が表示されます。
- 暗い場所ではライトを点灯してから読み取ってください。
- データBOX、miniSDメモリーカードには読み取った文字データを保存できません。
- 電話番号やメールアドレス、URLを読み取っても、各機能にリンクできない場合があります。（反転していない場合リンクできません。）
- 通話中は文字リーダーは使用できません。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

ｉモード／ｉモーション

ｉモードとは. 178
ｉモードメニューを表示する. 183

サイトを表示する

サイトを表示する 183
サイトの見かたと操作. 185
マイメニューに登録する . . . .<マイメニュー> 187
ｉモードパスワードを変更する . . . .<ｉモードパスワード変更> 187
インターネットホームページを表示する . . . . . <インターネット接続> 187
ホームページやサイトを登録してすばやく表示する . . <ブックマーク> 188
サイトの内容を保存する . . . .<画面メモ> 190

サイトから画像やメロディなどをダウンロードする

サイトやメッセージから画像を取得する . . . .<画像保存> 192
サイトからｉメロディをダウンロードする. . . . . <ｉメロディ> 192
サイトからメニューアイコンやデータをダウンロードする. 192

ｉモードの便利な機能

Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を使う. 193

ｉモードの設定を行う

ｉモードの設定を行う . . . . <ｉモード設定> 194

メッセージサービスを利用する

メッセージR/Fを受信したときは . . . .<メッセージ受信> 196
メッセージR/Fがあるかどうかを問い合わせる . . . . .<ｉモード問合せ> 197
メッセージBOXのメッセージR/Fを表示する
. . . . <メッセージR／メッセージF> 197

証明書を利用する

SSL証明書を操作する . . . .<SSL証明書操作> 199
FirstPassの設定を行う . . . . <ユーザ証明書操作> 199
証明書発行接続先を変更する . . . . <証明書センター接続先設定> 201

ｉモーションを利用する

ｉモーションとは 201
サイトからｉモーションを取得する. . . . .<ｉモーション取得> 201
ｉモーションを自動再生するかどうかを設定する
. . . . <ｉモーション自動再生設定> 202

iモードとは

iモードでは、iモード対応FOMA端末（以下iモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、iモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

■サイト（番組）接続

iモードメニューからメニューリストを選択して、天気、ニュースなどIP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。さらにゲームや待受画像をダウンロードして楽しめます。

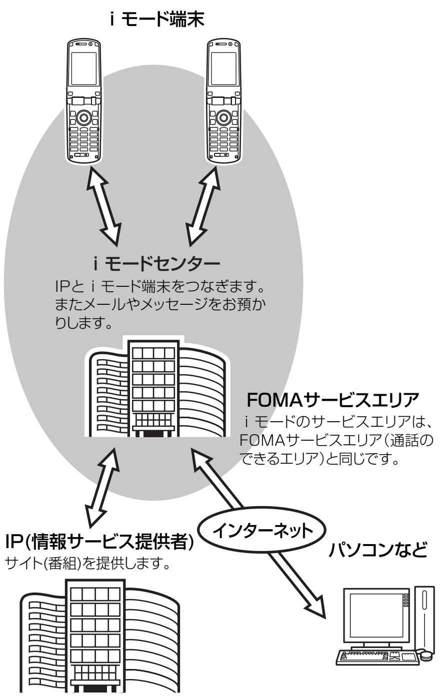
■インターネット接続

iモード端末にホームページアドレス（URL）を直接入力することで、iモード対応のさまざまなホームページを見ることができます。

■iモードメール

iモード端末どうしをはじめ、インターネットのメールアドレスを持っている人となら誰とでもe-mailのやりとりが最大全角5000文字までできます。さらにデコメールや静止画像、動画を送受信して楽しいメールのやりとりができます。

サービスのしくみ



- iモードはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みに関するお問い合わせは、取扱説明書裏面をご覧ください。

お知らせ

- 新規でFOMAサービスのご契約をいただいた場合は、当日よりすべてのサービスがご利用になれます。
- movaサービス（iモードをご契約）からFOMAサービスへ契約を変更された場合、movaサービスでご利用いただいていた「マイメニュー」の内容は引き継がれます。サイトによって、FOMAに「マイメニュー」が引き継がれないサイトもございますので、その場合は再登録をお願いします。なお、「マイメニュー」引継対応サイトについては、iMenu内「お知らせ&ヘルプ」でご確認できます。
- iモードは送受信した情報量（パケット数）に応じて課金されるサービスです。本取扱説明書においては、料金に関する情報は記載しておりません。ご利用料金等につきましては、iモードご契約時にお渡しいたします『iモード操作ガイド』をご覧ください。
- iモードのサービス内容は変更することがありますので、詳しくは最新の『iモード操作ガイド』をご覧ください。

サイト（番組）接続

簡単なボタン操作でサイトに接続して、IPが提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。たとえば銀行の残高照会・振込、チケット予約、ニュース、辞書検索、着信メロディのダウンロードなどさまざまなオンラインサービスがあります。

サイトを表示するには

iモードセンターに接続すると、最初にiMenuが表示されます。ここから、各サイト（番組）や「週刊iガイド」などへアクセスします。

- サイトの表示方法について→P183



メニュー名	機　能
1マイメニュー	よく利用するサイトを登録しておくと、次回から簡単にサイトに接続できます。→P187 iMenu内の有料サイト等は自動的に登録されます。登録可能な件数は45件です。
2週刊iガイド	新着サイトやおすすめサイトなど最新のサイト情報を毎週月曜日から金曜日までの毎日更新して掲載します。
3メニューリスト	すべてのサイトをジャンル別・地域別に紹介するリストです。ここから見たいサイトを選んで接続できます。

メニュー名	機　能
4とくするメニュー	楽しいキャンペーン情報、プレゼントやお得な割引クーポン情報などが掲載されています。毎週情報が更新されます。（提供：D2コミュニケーションズ）
5 i エリア	今いる場所やその周辺に関する天気・地図・タウン情報・GPSを活用できるサイトなどを簡単にご利用になれます。
6かんたん検索	「ゲーム」「待受画面」などのカテゴリからキーワード検索などで簡単にサイトを検索できます。
i アプリサーチ	i アプリを情報料が無料のものやゲームができるものなど、目的別に紹介しているメニューです。
便利サイトサーチ	メニューリストの中から、日常的に利用できる便利なサイトを利用シーン別に合わせて紹介しているメニューです。
7マイボックス	サービスを提供するお店やサイトにあらかじめ登録することにより簡単にアクセスできる会員向けのサービスです。
8オプション設定	i モードメールの設定や i モードパスワードの変更などを行います。
9お知らせ＆ヘルプ	ドコモからのお知らせや、 i モードの利用方法やご利用規則を掲載しています。
■料金＆お申込	料金の確認やお支払い、また、ご契約内容の変更・各種サービスのお申し込みができます。
ENGLISH	i Menuを英語表記に変更できます。

- 画面はイメージです。設定によっては表示が異なる場合があります。

お知らせ

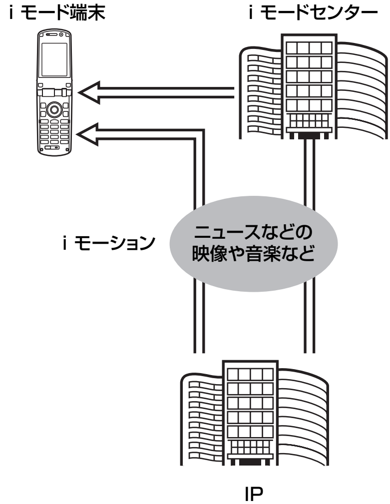
- サイトによっては、利用するために情報料が必要なもの（ i モード有料サイト）があります。
- IPが提供するサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。
- i モードアイコンが点滅していても、 i モードセンターとの通信中以外は、パケット通信料はかかりません。
- デュアルネットワークサービスご契約の場合、 i Menu画面などが一部異なります。

こんなこともできます

■ i モーション

i モードのサイトから映像や音を i モード端末に取得し、再生したり、待受画面として楽しんだりすることができます。

- i モーションを取得する→P201
- i モーションを再生する→P281
- i モーションを自動再生設定する→P202



■着モーション／着うた®

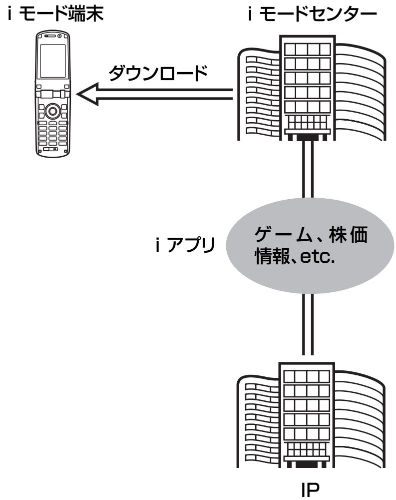
i モードのサイトから i モーションを i モード端末に取得し、着信音や着信画像に設定できます。メロディだけではなくお好きな歌手の歌声なども着信音としてご利用いただけます。（一部の対応していない i モーションは着モーションに設定できません。）

- 着モーションを設定する→P116
- 「着うた®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

■ iアプリ

iアプリをサイトからダウンロードすることにより、iモード端末をより便利に活用いただけます。たとえばiモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のiアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックするなどが可能です。さらに、地図のiアプリでは必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。

- iアプリをダウンロードする→P241
- iアプリを実行する→P242
- iアプリを自動実行する→P244



■ iアプリ待受画面

iアプリ待受画面ではiアプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。

- iアプリ待受画面を設定する→P245

■ iアプリDX

iアプリDXでは、iモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信かを知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、iアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。

- iアプリDX→P240

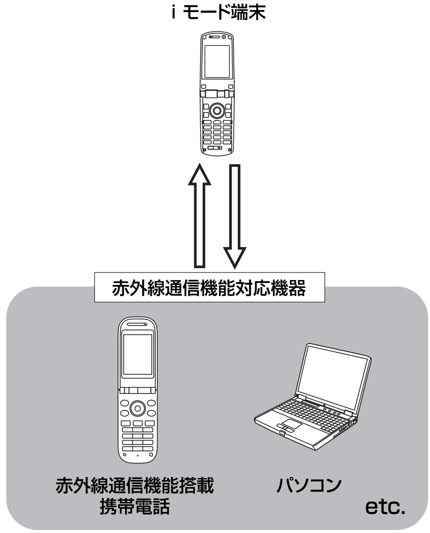
■ 赤外線通信機能

赤外線通信機能が搭載された携帯電話、パソコンなどと、電話帳やメール、ブックマークなどを送受信できます。※

また、iアプリで赤外線通信を利用することにより、赤外線通信機能が搭載された機器と連動して、より広がった使いかたができます。例えば携帯電話をテレビのリモコンや会員証などとして利用することが可能です。

※ 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

- 赤外線通信モードにする→P300

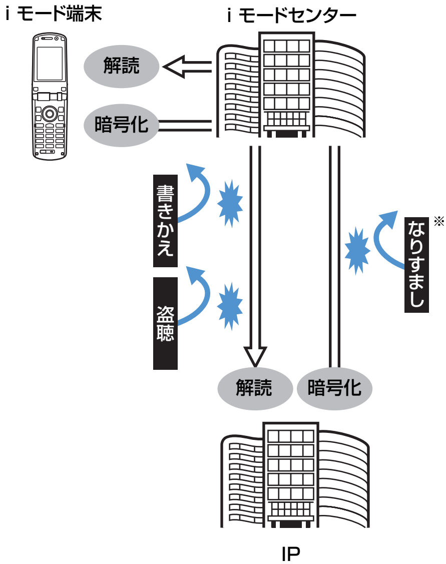


■ SSL通信

SSLとは認証／暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式のことです。SSLページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴、なりすましや書きかえを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやりとりできるようにしています。

SSL通信には、iモード端末から特別な操作なしに、端末内のCA証明書を利用し、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示するものと、FirstPassセンターからダウンロードしたユーザ証明書を利用し、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示するものの2つがあります。なお、サイトによって使用する証明書は異なります。→P199

- iモード端末に保存されているCA証明書を利用する→P199
- FirstPassのユーザ証明書を利用する→P199



※ なりすましとは、第三者がサイトになりすまして、不正にお客様の情報を入手したりすることです。

■ FOMAカード動作制限機能

お客様情報（電話番号・電話帳（一部）など）を格納しているFOMAカードを、ｉモード端末に挿入して、サイトからダウンロードしたり、メールにて取得したメロディ・静止画・動画などのファイルを動作制限します。また、別のFOMAカードに差し替えたり、または未挿入の状態で電源をONにした場合、取得したファイルの再生や表示もできなくする機能です。→P40

※ カメラ機能によりお客様が撮影した静止画・動画、外部メモリからｉモード端末内に保存したファイルについては、本機能の対象外となります。

※ 着信音や待受画面設定など、ｉモード端末に設定していた場合、本機能により設定がリセットされます。

■ ｉメロディ

サイトから最新の曲やお好みの曲をｉモード端末にダウンロードし、着信音として利用できます。
→P192

■ ｉアニメ

サイトからお好みのアニメーション画像をｉモード端末にダウンロードし、待受画面や着信画面に表示できます。→P125、128、192

■ Flash®

Flashとは、絵や音を利用したアニメーション技術です。多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを利用できます。また、Flash画像を利用した画像をｉモード端末にダウンロードし、待受画面に設定することもできます。
Flash画像によっては、お客様のｉモード端末の端末情報データを参照できるものがあります。利用する端末情報データには次のものがあります。

- 電池残量
- 時刻情報
- バイリンガル設定
- 受信レベル
- 着信音量設定
- 機種情報

→P195

■ メッセージサービス

メッセージサービスは、欲しい情報（メッセージ）が自動的にお客様のｉモード端末に届くサービスです。メッセージサービスにはメッセージR（リクエスト）とメッセージF（フリー）があります。

メッセージR（リクエスト）	メッセージサービスを提供するサイトでお申し込みいただくと、欲しい情報が自動的に届けられるメッセージです。
メッセージF（フリー）	パケット通信料が無料で届けられるメッセージです。

- メッセージサービスの受信方法→P196、197、218
- メッセージF（フリー）の設定について、2004年10月1日以降にFOMAの新規ご契約と同時にｉモードをお申し込みの場合は、メッセージF設定の初期設定が「受信する」となっております。お客様が受信を希望されない場合は、メッセージF設定をお客様自身で「受信しない」設定にご変更いただく必要がございますので、ご了承ください。
  ※ 上記の場合以外のお客様がメッセージFをご利用になるには、あらかじめオプション設定からの受信設定が必要です。初期設定では、「受信しない」設定になっております。
- 電源が入っていないとき、圏外などで受信できないときは、メッセージR/Fはｉモードセンターに保管されます。

お知らせ

● ｉモードセンターでのメッセージR/Fの保管件数、保管期間は次のとおりです。最大保管件数、最大保管期間を超えた場合は、最も古いメッセージR/Fから順に削除されます。

メッセージ名	最大保管件数	最大保管期間
メッセージR	300件	72時間
メッセージF	300件	72時間

● ｉモードセンターに保管されたメッセージR/Fは、ｉモード問合せにより受信できます。→P197、218

■ トクだねニュース便

メッセージR（リクエスト）機能を利用し、ニュースや天気などの情報をｉモード端末にドコモが配信するサービスです。
トクだねニュース便はお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込み完了後、自動的にマイメニュー登録され、マイメニューからアクセスしても同じ情報を見ることができます。
- メッセージRの画面の見かた→P198

ｉモードパスワード

有料サイトの申し込みやマイメニューの登録・解除、ｉモードメールの設定などを行うときには「ｉモードパスワード」が必要です。ご契約時は「0000」に設定されていますので、お客様独自の4桁の数字に変更してください。→P187
ｉモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

インターネット接続

インターネットホームページのアドレス（URL）を入力することにより、インターネットに接続し、ｉモード対応のインターネットホームページを表示できます。
- 表示方法→P187

お知らせ

- ｉモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。ｉモード対応のインターネットホームページとは、ｉモード対応のタグなどで作成されたホームページのことです。→P187
- パソコン上での表示とは異なる場合があります。
- URLが512文字を超えるインターネットホームページは、表示できない場合があります。

ｉモードのご使用にあたって

- サイト（番組）やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイト（番組）やインターネットホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- ｉモード端末に保存されている内容（メール、メッセージR/F、画面メモ、ｉアプリ、ｉモーション）やブックマークなどの登録内容は、電池パックを外したままの状態でも約1ヶ月は記録されていますが、それ以上経過すると消失する可能性があります。また、ｉモード端末の故障、修理やその他の取扱いによっても消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ｉモード端末の修理などを行った場合、ｉモード・ｉアプリ・ｉモーションにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しい携帯電話への移行を行っておりません。また、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源をONにした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画・動画・メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画・動画・メロディ）、画面メモおよびメッセージR/Fなどを表示・再生できません。
- FOMAカードにより表示･再生が制限されているファイルを待受画面や着信音などに設定されている場合、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにすると、設定内容は初期状態にリセットされます。

お知らせ

- FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、保存内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、パソコンをお持ちの方は、万一に備えデータリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに管理することをおすすめします。→P378
- miniSDメモリーカード*（別売）にメール、ブックマークなどの内容を保存できます。

*miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

iモードメニューを表示する

1 [i]を押す



メニュー	機 能	参照先
iモード設定	iモードに関する機能を設定します。	P194
メッセージR	受信したメッセージRを見ることができます。	P197
メッセージF	受信したメッセージFを見ることができます。	P197
画面メモ	FOMA端末に保存された画面メモを見ることができます。	P190
iMenu	iモードセンターに接続すると、最初にiMenuが表示されます。ここから各サイト（番組）へアクセスします。	P183
Bookmark	登録したお気に入りのサイトへ、直接アクセスできます。	P189
ラストURL	最後に表示したサイトへアクセスできます。	P184
Internet	URLを入力して、インターネットホームページにアクセスできます。	P187
iモード問合せ	iモードセンターにiモードメールやメッセージR・メッセージFが届いているかどうか問い合わせます。	P197、218

お知らせ

- ●▶[iモード]「iモード」を押してもiモードメニューを表示できます。

サイトを表示する

iモードに接続して、いろいろなサイトを表示し、各種サービスを利用できます。

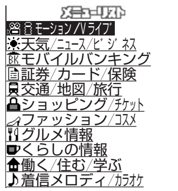
1 [i]▶[iMenu]を押す



が点滅し、接続されると が点滅します。

- ページ取得中に[✉]［中止］または[CLR]を押すと、ページの取得が中止されます。

2 「メニューリスト」を選択し、[●]を押す



3 見たいサイトの項目を選択し、[●]を押す

サイトに接続されます。

■ iモードを終了するとき

① [PWR]を押す
② [i]「はい」を押す
が消えます。

■「どこでもSANYO」

「どこでもSANYO」のサイトからオリジナルデータ（メニューアイコン、祝日データ、辞書データ、カテゴリアイコン）やデコメールテンプレートなどをダウンロードし、FOMA端末で利用できます。

- アクセス方法：「iMenu」→「メニューリスト」→「ケータイ電話メーカー」→「どこでもSANYO」

- アクセス用QRコード

お知らせ

- ●サイト表示中にiMenuに戻るときは、[i]［機能］▶[i]「iMenu」を押します。

次ページへつづく

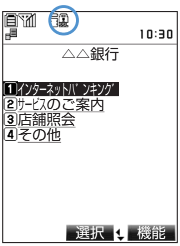
●サイト表示中にｉモードメニューに戻るときは、i［機能］▶◎▶◎▶3「ｉモードメニュー」を押します。
●画像を表示できなかった場合は または が表示されます。
●表示中のページが正しく表示されていない場合、「文字コード変換」で正しく表示できる場合があります。
●「圏外」またはセルフモード中は、ｉモードはご利用になれません。
●サイトによってはｉモード端末の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を送信することを通知するメッセージが表示されることがあります。
●送信される「ｉモード端末の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。
●送信するお客様の「ｉモード端末の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）等に通知されることはありません。

SSL対応のページに接続する

SSL 対応のページ（SSL ページ）を表示できます。
- SSL通信を行うには、接続サイトとFOMA端末に同じ認証機関が発行した「証明書」という電子情報が必要です。→P199

SSLページに接続する

SSLページに接続する場合は、SSL通信開始のメッセージが表示されます。



- SSLページが表示されると、 が表示されます。
- サイトとの通信の安全性が確認できない場合、確認画面が表示されます。接続するときは1「はい」を押します。接続を中止するときは2「いいえ」を押します。

お知らせ

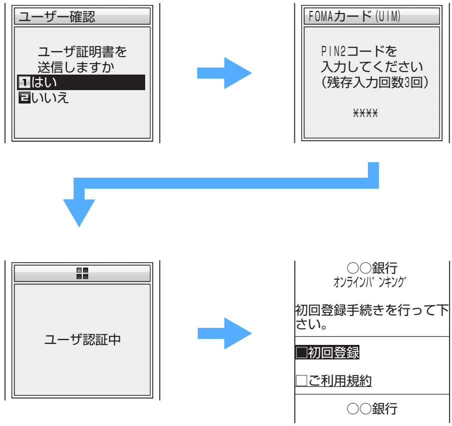
●SSLページ表示中に証明書を表示する場合は、i［機能］▶◎▶6「証明書表示」を押します。

SSLページから通常ページに進む

SSLページから通常ページに進む場合は、確認画面が表示されます。
- 1「はい」を押すと、通常ページが表示され、 が消えます。

FirstPass対応ページに接続する

FirstPass対応ページに接続する場合は、次のように操作します。



1 1「はい」を押す

2 PIN2コードを入力し、◉を押す

ユーザ証明書が送信され、FirstPass対応ページが表示されます。

<ラストURL>

最後に表示したページに再接続する

ｉモードを終了すると、最後に表示したサイトのURLが記憶されます。最後に表示したページに簡単に再接続できます。

1 i▶[ラストURL]を押す

最後に表示したサイトのURLが表示されます。
- ラストURLが記憶されていないときは、メッセージが表示されます。

2 ◉を押す

■URLをコピーするとき

①i［機能］▶1「コピー」を押す

■ラストURLを削除するとき

①i［機能］▶2「削除」を押す
②1「はい」を押す
- 中止するときは2「いいえ」を押します。

サイトの見かたと操作

サイト表示中の操作方法について説明します。

画像の表示について

絵や音を利用したアニメーション技術であるFlashに対応しています。Flash画像によりサイトの表現力がより豊かになります。また、Flash画像を待受画面に設定することができます。

- 画像表示設定を「表示しない」に設定した場合は、Flash画像も表示されません。
- Flash画像が表示されているときは、表示動作が通常のサイト表示とは異なる場合があります。
- Flash画像によっては、画像保存や画面メモに保存をしても画像の一部が保存されないなど、サイトでの見えかたと異なる場合があります。
- Flash画像が表示されていても、正しく動作しない場合があります。また、正しく動作しないFlash画像は保存できない場合があります。
- Flash画像によっては、効果音が鳴るものがあり、効果音を鳴らさない場合は、効果音設定を「再生しない」に設定してください。Flash画像によっては効果音が鳴らないものもあります。
- Flash画像によっては、画面下部に▶◀▲▼が表示されていない場合でも、Flash画像の操作ができる場合があります。
- 再生中に30秒以上操作しなかった場合は、一時停止します。再開するには、[方向キー]、[●]、[0]～[9]、[＊]、[#]のいずれかを押してください。
- 再生中にエラーが発生したFlash画像は保存できません。
- Flash画像によっては、再生中にFOMA端末を振動させるものがあります。バイブレータ設定を「OFF」に設定していても振動しますのでご注意ください。
- Flash画像によっては、端末情報データを利用するものがあります。端末情報データを画像が利用するためには、端末情報データ利用設定を「利用する」に設定してください。→P195
  お買い上げ時は、「利用する」に設定されています。なお、画像が利用する端末情報データには次のものがあります。
  - 電池残量
  - 受信レベル
  - 時刻情報
  - 着信音量設定
  - バイリンガル設定
  - 機種情報
- 待受画面に設定されたFlash画像のメロディは再生されません。

リンク先や項目を選択する

ｉモード接続中に、サイトによっては次のような操作ができます。

リンク先

表示中のページから関連するページ（リンク先）へ進むための項目です。リンク先を選択すると反転表示されます。

- 画像にリンク先が設定されている場合もあります。画像を選択すると枠で囲まれます。
- [1]、[2]などの番号付きのリンク先は、対応するダイヤルボタンを押すと、リンク先へ進めます。ただし、サイトによってはリンク先へ進めない場合があります。

チェックボックス

選択肢の中から複数項目を選択できます。

☐：選択されていない状態

☑：選択されている状態

- [●]で選択／解除が切り替わります。

ラジオボタン

選択肢の中から1つだけ選択できます。

○：選択されていない状態

◉：選択されている状態

- [●]で選択する項目が切り替わります。

プルダウンメニュー

選択肢の一覧から項目を選択できます。

[●]を押すと、一覧が表示されます。[上下キー]を押して項目を選択し、[●]を押します。

- サイトによっては、選択肢の一覧で項目を選択する操作を繰り返して複数の項目が選択できます。選択後に[i]［完了］を押すと、操作が完了します。

テキストボックス

文字を入力できます。テキストボックスを選択すると文字入力画面が表示されます。

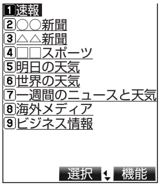
- パスワードなどを入力した場合、「＊」で表示されることがあります。
- 文字入力中にバーコードリーダーや文字リーダーを起動して、読み取った内容を入力できます。

ボタン（送信・リセットなど）

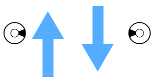
ページの入力・選択内容をサイトに送信したり、取り消したりできます。ボタンを選択すると、実線枠で囲まれます。[●]を押すと、実行されます。

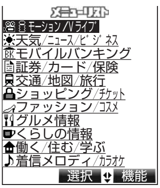
前のページに戻る／進む

キャッシュに記憶された前のページに戻ったり、次のページに進んだりできます。キャッシュとは、表示したインターネットホームページなどのデータを一時的に記憶する端末内の場所です。[方向キー]を押すことで、通信を行わずにキャッシュとして記憶されたページを表示できます。
ただし、端末のキャッシュサイズを超えているか、サイトによって必ず最新情報を読み込むように設定（作成）されたページを表示する場合は、[方向キー]を押すと通信を行います。

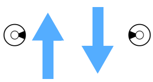


現在のページ





1つ前のページ



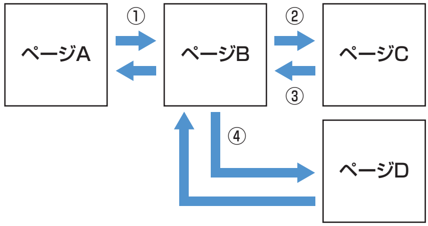


2つ前のページ

- [CLR]を押しても前のページに戻ります。
- キャッシュに記憶されたページを表示しても、以前入力した文字や設定などの情報は表示されません。
- ｉモードを終了すると、キャッシュに記録されたページの情報はクリアされます。
- Flash画像が表示されている場合は、表示動作が異なることがあります。

お知らせ

●ページA→ページB→ページCの順に表示（①、②）した後でページBに戻り（③）、ページDに進む（④）と、ページB→ページCの表示履歴は消去されます。ページD→ページB→ページAの順に戻ることはできますが、ページCへ戻ることはできません。



画面をスクロールする

サイトやインターネットホームページを表示中に、[方向キー]で画面をスクロールします。



サイト全体が表示されていないとき、またはリンク先が選択できるときは▲や▼が表示されます。

- [方向キー]を1秒以上押すと、連続スクロールします。
- スクロール設定で、[方向キー]を押したときのスクロール行数を設定できます。
- [キー]または[キー]を押すと、画面単位でスクロールします。
- メッセージR/F、ｉモードメール、SMSでも同様に操作できます。→P197、221

＜再読み込み＞

情報を再読み込みする

ページの情報を正常に受信し直したり、新しい情報に更新できます。

1 サイトを表示中に、[i]［機能］▶[方向キー]▶[5]「再読み込み」を押す

ページの情報が受信され、ページが再表示されます。

お知らせ

●サイト表示中にFlash画像をもう一度動作させたいときは、[i]［機能］▶[方向キー]▶[7]「リトライ」を押します。

＜URL表示＞

URLを表示する

表示中のサイトのURLを表示します。

1 サイトを表示中に、i［機能］▶7「URL表示/コピー」を押す
- URLをコピーするときは、i［コピー］を押します。

お知らせ

●URL履歴一覧画面、ブックマーク一覧画面、画面メモ一覧から操作する場合は、i［機能］▶「URL 表示/コピー」を選択し、●を押します。
●表示中のサイトのURLをメールにコピーするには、i［機能］▶◎▶1「メール作成」を押します。表示中のサイトのURLが本文に貼り付けられてメール作成画面が表示されます。

マイメニュー

マイメニューに登録する

よく利用するサイトをマイメニューに登録することで、次回からそのサイトに簡単にアクセスできます。
- マイメニューは45件まで登録できます。
- マイメニュー登録にはｉモードパスワードが必要です。
- ｉモードのサイトのみマイメニューに登録できます。ただし、登録できないサイトもあります。インターネットホームページを登録する場合はブックマークに登録してください。
- 有料サイトに申し込むと自動的にマイメニューに登録されます。

1 サイトを表示中に「マイメニュー登録」を選択し、●を押す

2 ｉモードパスワード欄を選択し、●▶ｉモードパスワードを入力し、●を押す

入力したパスワードは「＊」で表示されます。
- お買い上げ時は「0000」に設定されています。

3 「決定」を選択し、●を押す

マイメニューに登録したサイトを表示する

1 i▶iMenu▶1を押す

2 サイトを選択し、●を押す

ｉモードパスワード変更

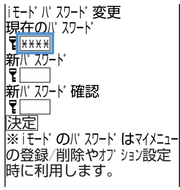
ｉモードパスワードを変更する

マイメニュー登録／削除、メッセージサービスやｉモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定などをするときはｉモードパスワードが必要です。ｉモードパスワードはｉモードご契約時には「0000」に設定されていますので、お客様独自のｉモードパスワードに変更してください。なお、ｉモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。
- ｉモードパスワードには、4桁の数字を入力します。
- ｉモードパスワードを万一お忘れの場合は、ドコモショップ窓口において、運転免許証などでご契約者本人であることを確認させていただいた上で、ｉモードパスワードを「0000」にリセットさせていただくことになります。

1 i▶iMenu▶8を押す

2 「ｉモードパスワード変更」を選択し、●を押す

3 現在のパスワード欄を選択し、●▶ｉモードパスワードを入力し、●を押す



入力したパスワードは「＊」で表示されます。

4 新パスワード欄を選択し、●▶新しいｉモードパスワードを入力し、●を押す

5 新パスワード確認欄を選択し、●▶手順4で入力したｉモードパスワードをもう一度入力し、●を押す

6 「決定」を選択し、●を押す
- 入力した内容が間違っていた場合は、メッセージが表示されます。

インターネット接続

インターネットホームページを表示する

URLを入力してインターネットホームページにアクセスします。
- ｉモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。
- インターネットホームページ表示中の操作方法は、ｉモードのサイトの場合と同じです。

1 i▶Internetを押す

ｉモード／ｉモーション　マイメニュー

次ページへつづく

2 「新規入力」を選択して●を押し、URLを入力し、●を押す

- 「http://」または「https://」を含めて半角512文字まで入力できます。

お知らせ

- ●サイトやインターネット表示中から操作する場合は、[i]［機能］▶[6]「Internet」を押します。
- ●受信データが1ページの最大サイズを超えたときはメッセージが表示され、受信できた分のデータが表示されます。

＜URL履歴＞

URL履歴を使って表示する

接続操作したインターネットホームページのURLを新しい順に表示します。

- 10件まで記憶されます。10件を超えると古いものから上書きされます。

1 [i]▶を押す



URL履歴一覧画面

2 URLを選択し、●を押す

3 ●を押す

URL履歴を削除する

1 URL履歴一覧画面でURLを選択し、[i]［機能］▶[5]「削除」を押す

2 [1]「1件削除」を押す

■選択削除するとき

①[2]「選択削除」を押す
②URLを選択し、●を押す
- 解除するときは●を押します。

③[i]［実行］を押す

■全件削除するとき

①[3]「全件削除」を押す
②端末暗証番号を入力し、●を押す

3 [1]「はい」を押す

- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

＜文字コード変換＞

正しい文字で表示する

表示中のサイトの文字が正しく表示されないときは、文字コードを変換すると正しく表示できる場合があります。

1 サイトを表示中に、[i]［機能］▶◎▶◎▶[2]「文字コード変換」を押す

- 手順1を繰り返すと、ShiftJIS→JIS→EUC→UTF8の順に切り替わります。操作を4回繰り返すと元の文字コードに戻ります。
- 文字コード変換を行っても文字を正しく表示できない場合があります。
- 文字が正しく表示されているときに文字コード変換を行うと、正しく表示されない場合があります。

ブックマーク

ホームページやサイトを登録してすばやく表示する

頻繁に見るサイトやインターネットホームページをブックマークに登録すると、すばやく表示させることができ便利です。

ブックマークに登録する

- 100件まで登録できます。
- URLは「http://」または「https://」を含めて半角256 文字まで登録できます。最大文字数を超えるURLは登録できません。
- サイトによってはブックマークに登録できない場合があります。

1 サイトを表示中に、[i]［機能］▶[2]「Bookmark登録」を押す

2 登録先フォルダを選択し、●を押す

3 タイトルを入力し、●を押す

- 全角12文字（半角24文字）まで入力できます。
- タイトルの最大文字数を越えた部分は削除されます。
- タイトルを入力しないで登録すると、ブックマーク一覧画面ではURLが表示されます。

お知らせ

- ●URL履歴一覧画面から登録する場合は[i]［機能］▶[2]「Bookmark登録」を押します。
- ●ブックマークが最大保存件数を超えるときは、確認画面が表示されます。登録する場合は上書きするブックマークを選択します。
- ●miniSDメモリーカードにエクスポートしたブックマークは他の機器にコピーできます。（一部対応していない機器もあります。）

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

ブックマークからホームページやサイトを表示する

1 **i ▶ Bookmark を押す**

2 **フォルダを選択し、●を押す**

3 **ブックマークを選択し、●を押す**

■ ブックマークのURLを表示･コピーするとき

① i［機能］▶ 1「URL表示/コピー」を押す

URLが表示されます。●を押すと、接続されます。

- コピーするときは、i［コピー］を押します。

■ ブックマークのURLを貼り付けてメール作成するとき

① i［機能］▶ 4「メール作成」を押す

- 以降の操作：→P209「ｉモードメールを作成して送信する」手順2～6

お知らせ

●サイト表示中から操作する場合はi［機能］▶ 3「Bookmark一覧」を押します。

フォルダを作成する

- メインフォルダを含めて8個まで作成できます。

1 **i ▶ Bookmark を押す**

2 **i［機能］▶ 1「フォルダ作成」を押す**

3 **フォルダ名を入力し、●を押す**

- 全角8文字（半角16文字）まで入力できます。

■ フォルダを並べ替えるとき

- メインフォルダは並べ替えられません。

① i［機能］▶ 3「フォルダ並べ替え」を押す

② フォルダを選択し、●を押す

③ 移動先を選択し、●を押す

- 他のフォルダを並べ替えるときは、手順②～③を繰り返します。

④ i［完了］を押す

■ 各フォルダ内のブックマークを全件表示するとき

① i［機能］▶ 5「Bookmark全件表示」を押す

ブックマークをフォルダに移動する

1 **ブックマークを選択し、i［機能］▶ 3「フォルダ移動」を押す**

2 **1「1件移動」を押す**

■ 選択移動するとき

① 2「選択移動」を押す

② ブックマークを選択し、●を押す

- 解除するときは●を押します。

③ i［実行］を押す

■ 全件移動するとき

① 3「フォルダ内全件移動」を押す

- ブックマーク全件表示中は3「全件移動」を押します。

3 **移動先フォルダを選択し、●を押す**

4 **1「はい」を押す**

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

ブックマークやフォルダのタイトルを変更する

- メインフォルダのフォルダ名は変更できません。

1 **ブックマークを選択し、i［機能］▶ 2「タイトル編集」を押す**

- フォルダ名を変更するときは、フォルダを選択し、i［機能］▶ 2「フォルダ名編集」を押します。

2 **新しいタイトルを入力し、●を押す**

- ブックマークのタイトルは全角12文字（半角24文字）まで入力できます。フォルダ名は全角8文字（半角16文字）まで入力できます。

ブックマークやフォルダを削除する

フォルダ削除

- メインフォルダは削除できません。
- フォルダに保存されているブックマークも削除されます。

1 **フォルダを選択し、i［機能］▶ 4「フォルダ削除」を押す**

2 **端末暗証番号を入力し、●を押す**

3 **1「はい」を押す**

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

ブックマーク削除

1 **ブックマークを選択し、i［機能］▶ ◎ ▶ 2「削除」を押す**

次ページへつづく

2 [1]「1件削除」を押す

■ 選択削除するとき

①[2]「選択削除」を押す
②ブックマークを選択し、●を押す
- 解除するときは●を押します。

③[i]［実行］を押す

■ 全件削除するとき

①[3]「フォルダ内全件削除」を押す
- ブックマーク全件表示中は[3]「全件削除」を押します。

②端末暗証番号を入力し、●を押す

3 [1]「はい」を押す
- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

画面メモ

サイトの内容を保存する

表示中のサイトの内容を画面メモとしてFOMA端末に保存できます。

画面メモを保存する

保存可能件数は、保存する画面メモのデータ量により変動します。
- 100件まで登録できます。

1 サイトを表示中に、[i]［機能］▶[4]「画面メモ」を押す

2 保存先フォルダを選択し、●を押す

3 タイトルを入力し、●を押す
- 全角12文字（半角24文字）まで入力できます。
- タイトルの最大文字数を越えた部分は削除されます。
- タイトルを入力しない場合は「無題」として保存されます。

お知らせ

●画面メモの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従い保存可能な空き領域が確保できるまでFOMA端末内の画面メモを削除します。

画面メモを表示する

1 [i]▶[画面メモ]を押す

2 フォルダを選択し、●を押す

3 画面メモを選択し、●を押す
- 画面メモ表示中の操作方法は、機能メニューなど一部を除きサイト表示中と同じです。
→P185
- 詳細を示すアイコンの意味は次のとおりです。

：通常の画面メモ
：保護されている画面メモ
：FOMAカード未挿入
：保護されている画面メモでFOMAカード未挿入

■ 選択した画面メモの情報を表示するとき

①[i]［機能］▶[6]「情報表示」を押す
- 画面メモ表示中は[i]［機能］▶[3]「情報表示」を押します。

フォルダを作成する

- メインフォルダを含めて8個まで作成できます。

1 [i]▶[画面メモ]を押す

2 [i]［機能］▶[1]「フォルダ作成」を押す

3 フォルダ名を入力し、●を押す
- 全角8文字（半角16文字）まで入力できます。

■ フォルダを並べ替えるとき

- メインフォルダは並べ替えられません。

①[i]［機能］▶[3]「フォルダ並べ替え」を押す
②フォルダを選択し、●を押す
③移動先を選択し、●を押す
- 他のフォルダを並べ替えるときは、手順②～③を繰り返します。

④[i]［完了］を押す

■ 各フォルダ内の画面メモを全件表示するとき

①[i]［機能］▶[5]「画面メモ全件表示」を押す

画面メモをフォルダに移動する

1 画面メモを選択し、[i]［機能］▶[3]「フォルダ移動」を押す

2 [1]「1件移動」を押す

■ 選択移動するとき

①[2]「選択移動」を押す
②画面メモを選択し、●を押す
- 解除するときは●を押します。

③[i]［実行］を押す

■ 全件移動するとき

①[3]「フォルダ内全件移動」を押す
- 画面メモ全件表示中は[3]「全件移動」を押します。

3 移動先フォルダを選択し、●を押す

4 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

画面メモやフォルダのタイトルを変更する

- メインフォルダのフォルダ名は変更できません。

1 画面メモを選択し、i［機能］▶1「タイトル編集」を押す

- フォルダ名を変更するときは、画面メモフォルダ一覧画面でフォルダを選択し、i［機能］▶2「フォルダ名編集」を押します。

2 新しいタイトルを入力し、●を押す

- 画面メモのタイトルは全角12文字（半角24文字）まで入力できます。フォルダ名は全角8文字（半角16文字）まで入力できます。

お知らせ

●画面メモ表示中にタイトルを変更する場合はi［機能］▶1「タイトル編集」を押します。

画面メモやフォルダを削除する

- 保護されている画面メモは削除できません。全件削除しても保護されている画面メモは削除されません。また、保護されている画面メモがあるフォルダも削除できません。画面メモの保護を解除してから削除してください。

フォルダ削除

- メインフォルダは削除できません。

1 フォルダを選択し、i［機能］▶4「フォルダ削除」を押す

2 端末暗証番号を入力し、●を押す

3 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

画面メモ削除

1 画面メモを選択し、i［機能］▶7「削除」を押す

2 1「1件削除」を押す

■ 選択削除するとき

①2「選択削除」を押す

②画面メモを選択し、●を押す

- 解除するときは●を押します。

③i［実行］を押す

■ 全件削除するとき

①3「フォルダ内全件削除」を押す

- 画面メモ全件表示中は3「全件削除」を押します。

②端末暗証番号を入力し、●を押す

3 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

お知らせ

●表示中の画面メモを削除する場合はi［機能］▶4「削除」を押します。

画面メモを保護する

- 50件まで保護できます。

1 画面メモを選択し、i［機能］▶2「保護」を押す

- アイコンに🔒が付きます。

■ 保護を解除するとき

①画面メモを選択し、i［機能］▶2「保護解除」を押す

②1「1件保護解除」を押す

- すべての画面メモを解除するときは2「全件保護解除」を押し、1「はい」を押します。

お知らせ

●表示中の画面メモを保護するにはi［機能］▶2「保護」を押します。保護解除するにはi［機能］▶2「保護解除」を押します。

<ソート>

画面メモを並べ替える

画面メモの並び順を一時的に並べ替えます。

1 画面メモ一覧画面で、i［機能］▶4「ソート」を押す

2 1～6を押す

保存日時（新→旧）	保存日時の新しい順に並べ替えます。
保存日時（旧→新）	保存日時の古い順に並べ替えます。
タイトル（昇順）	タイトルの昇順に並べ替えます。
タイトル（降順）	タイトルの降順に並べ替えます。
保護/非保護順	保護→非保護の順に並べ替えます。
非保護/保護順	非保護→保護の順に並べ替えます。

次ページへつづく

お知らせ

●画面メモ一覧表示を終了すると、並び順は「保存日時(新→旧)」に戻ります。

画像保存

サイトやメッセージから画像を取得する

表示中のサイトやメッセージR/Fなどから画像を保存すると、待受画面などに設定できます。

1 画像があるサイトを表示し、[i]［機能］▶[5]「画像保存」を押す



画像に枠が付きます。

- [CLR]を押すと、サイトやメッセージR/Fの表示画面に戻ります。

2 画像を選択し、●▶[1]「はい」を押す

- 背景画像を保存するときは[i]［背景保存］▶[1]「はい」を押します。
- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

3 フォルダを選択し、●を押す

- マイピクチャ内の「i モード」フォルダ、「デコメールピクチャ」フォルダまたは「ユーザーフォルダ」を選択できます。
- フレームまたはスタンプ画像は「アイテム」フォルダのみ選択できます。

4 [1]「はい」または[2]「いいえ」を押す

- [1]「はい」を押すと画像を設定できる一覧が表示されます。→P278
- 画像を保存した後も続けて画像を選択することができます。終了するときは[CLR]を押してサイト表示画面に戻ります。

お知らせ

●FOMA端末への保存可能件数について→P274
●FOMA端末へ保存可能な1件の最大サイズは約100Kバイトです。
●画像によっては正しく表示できない場合があります。
●静止画のサイズがディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。
●横縦（または縦横）のサイズが640×480（アニメーションGIFは240×320）を超えるGIF形式の画像は保存できません。また、JPEGの種類によっては保存できないものもあります。
●データBOXの空き容量が足りないときや、最大保存件数を超えるとき→P297

i メロディ

サイトから i メロディをダウンロードする

表示中のサイトからメロディを保存すると、着信音などに設定できます。

1 サイトでダウンロードするメロディを選択し、●を押す

- [✉]［中止］を押すと、ダウンロードを中止します。

2 [1]～[5]を押す

再生	メロディを再生します。
保存	メロディを保存します。 「データBOX」→「メロディ」→「i モード」フォルダに保存されます。
設定	メロディを設定します。 ①設定先を選択し、●を押す
情報表示	情報を表示します。
戻る	サイト表示に戻ります。 • 保存していないときは確認画面が表示されます。[1]「はい」または[2]「いいえ」を押します。

お知らせ

●FOMA端末への保存可能件数、1件の最大サイズについて→P274
●メロディによっては正しく再生できない場合があります。
●データBOXの空き容量が足りないときや、最大保存件数を超えるとき→P297

サイトからメニューアイコンやデータをダウンロードする

「どこでもSANYO」のサイトからオリジナルデータ（メニューアイコン、祝日データ、辞書データ、カテゴリアイコン）やデコメールテンプレートなどをダウンロードし、いろいろな用途に利用できます。

1 サイトでダウンロードするデータを選択し、●を押す

- [✉]［中止］を押すと、ダウンロードを中止します。

2 項目を選択し、◉を押す

表示	データを表示します。 • デコメールテンプレートのときは「プレビュー」となります。
保存	オリジナルデータは「生活ツール」→「オリジナルデータ」に保存されます。 • デコメールテンプレートのときは1「はい」または2「いいえ」を押します。「データBOX」→「マイピクチャ」→「デコメールピクチャ」フォルダに保存されます。
設定	データを利用します。 ①設定先を選択し、◉を押す • デコメールテンプレートのときは「メール作成」となります。
情報表示	情報を表示します。
戻る	サイト表示に戻ります。 • 保存していないときは確認画面が表示されます。1「はい」または2「いいえ」を押します。

お知らせ

●FOMA端末への保存可能件数、1件の最大サイズについて→P274
●「どこでもSANYO」について→P183
●データBOXの空き容量が足りないときや、最大保存件数を超えるとき→P297

Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を使う

表示中のサイトやメールに記載されている電話番号やメールアドレス、URLを利用して、音声電話／テレビ電話（Phone To／AV Phone To）や、iモードメール作成（Mail To）、サイト接続（Web To）ができます。また、電話帳に登録することもできます。

• サイトによっては、利用できない機能があります。
• パソコンなどからメールを受信すると、Phone To（AV Phone To）· Mail To · Web To機能が使用できない場合があります。

電話番号を選択してできる機能

• 電話番号として使える桁数は26桁までです。

1 電話番号を選択し、◉を押す

2 項目を選択し、◉を押す

音声発信	音声電話をかけます。 ①1「発信」または2「中止」を押す • 発信者番号通知設定、番号付加※について→P55
テレビ電話発信	テレビ電話をかけます。 ①1「発信」または2「中止」を押す • 発信者番号通知設定、番号付加※について→P55
電話帳新規登録	電話帳に登録します。 • 以降の操作：→P95「FOMA端末電話帳に登録する」手順2～6、P99「FOMAカード電話帳に登録する」手順2～4
電話帳追加登録	電話帳に追加登録します。 ①電話帳を選択し、◉を押す • 以降の操作：→P107「電話帳を修正する」手順2～4
電話番号コピー	電話番号をコピーします。

※ 付加した番号を削除するときは、番号付加メニューで「リセット」を選択し、◉を押します。

メールアドレスを選択してできる機能

• メールアドレスとして使える文字数は半角50文字までです。

1 メールアドレスを選択し、◉を押す

2 項目を選択し、◉を押す

メール作成	メールを作成します。 • 以降の操作：→P209「iモードメールを作成して送信する」手順4～6
電話帳新規登録	電話帳に登録します。 • 以降の操作：→P95「FOMA端末電話帳に登録する」手順2～6、P99「FOMAカード電話帳に登録する」手順2～4
電話帳追加登録	電話帳に追加登録します。 ①電話帳を選択し、◉を押す • 以降の操作：→P107「電話帳を修正する」手順2～4
アドレスコピー	メールアドレスをコピーします。

URLを選択してできる機能

1 URLを選択し、◉を押す

2 項目を選択し、◉を押す

サイト接続	サイトに接続します。 ① [i]［接続］を押す
Bookmark登録	Bookmarkを登録します。 • 以降の操作：→P188「ブックマークに登録する」手順2～3
電話帳新規登録	電話帳に登録します。 • 以降の操作：→P95「FOMA端末電話帳に登録する」手順2～6、P99「FOMAカード電話帳に登録する」手順2～4
電話帳追加登録	電話帳に追加登録します。 ① 電話帳を選択し、◉を押す • 以降の操作：→P107「電話帳を修正する」手順2～4
URL コピー	URL をコピーします。

お知らせ

●複数のメールアドレスが続けて表示されている場合、Mail To機能を利用できないことがあります。
●ブックマーク一覧画面から登録する場合は、[i]［機能］▶[5]「電話帳新規登録」または[6]「電話帳追加登録」を押します。
●URL履歴一覧画面から登録する場合は、[i]［機能］▶[3]「電話帳新規登録」または[4]「電話帳追加登録」を押します。

iモード設定

iモードの設定を行う

iモードに関する機能を設定します。

1 [i]▶[iモード設定]を押す

メニュー	機　能	参照先
スクロール設定	サイトや画面メモ、メッセージR/Fを表示したときのスクロール行数を設定します。	P196
画像表示設定	サイトや画面メモ、メッセージR/Fを表示したときに、画像を表示するかどうかを設定します。	P196
メッセージ自動表示設定	受信したときに自動的に表示するメッセージR/Fを設定します。	P197
メッセージ添付メロディ設定	メッセージR/Fに添付されているメロディを自動的に再生するかどうかを設定します。	P197
iモーション自動再生設定	ダウンロードしたiモーションを自動的に再生するかどうかを設定します。	P202
端末情報データ利用設定	サイトや画面メモのFlash画像に、端末情報データを利用させるかどうかを設定します。	P195
効果音設定	サイトや画面メモのFlash画像の効果音を鳴らすかどうかを設定します。	P195
iモード問合せ設定	iモードセンターにiモードメールやメッセージR・メッセージFが届いているかどうか問い合わせます。メール設定のiモード問合せ設定と設定内容は同じです。	P230
接続待ち時間設定	iモードセンターに接続するまでの最大待ち時間を設定します。	P194
接続先設定	iモード以外のサービスへの接続先を設定します。	P195
証明書センター接続先設定	FirstPass以外のサービスを受けるときに、接続先を設定します。	P201
証明書設定	SSL通信時に必要な証明書の有効／無効の設定や内容確認をします。	P199
ユーザ証明書操作	FirstPassセンターからユーザ証明書の発行申請や、証明書のダウンロードができます。	P199
iモード設定確認	iモード設定の設定内容を確認できます。	P196
iモード設定リセット	iモード設定をお買い上げ時の設定内容に戻します。	P196

<接続待ち時間設定>

接続待ち時間を設定する

お買い上げ時	60秒間

サイトから応答がないときに、自動的に接続を中断するまでの時間を設定します。

1 [i]▶[iモード設定]▶[9]を押す

2 1～3を押す

60秒間	60秒間応答がない場合に、自動的に接続を中断します。
90秒間	90秒間応答がない場合に、自動的に接続を中断します。
無制限（設定なし）	接続を中断しません。

お知らせ

●「無制限（設定なし）」に設定しても、電波状況などにより接続が中断されることがあります。

＜接続先設定＞

ｉモードから接続先を変更する（ISP接続通信）

お買い上げ時	ｉモード（FOMAカード）

通常は設定を変更する必要はありません。

ｉモード以外のサービスへの接続先を設定します。
- 登録できる接続先は最大10件です。
- ｉモード契約時の接続先は、ご契約頂いた地域により異なります。
- ISP接続通信を利用するには、別途他プロバイダへのお申し込みが必要です。プロバイダが提供するサービスには、別途情報料などがかかる場合があります。
- 接続先を変更した場合はｉモードが利用できなくなります。

1 i▶iモード設定▶◎▶1を押す

2 「未登録」を選択し、i［編集］を押す

■ 以前設定した接続先に変更するとき

①以前設定した接続先を選択し、●を押す

■ ｉモードを利用する設定に戻すとき

①1「ｉモード（FOMAカード）」を押す

■ 設定した接続先を削除するとき

①接続先を選択し、✉［削除］を押す
②端末暗証番号を入力し、●を押す
③1「はい」を押す
- 中止するときは2「いいえ」を押します。

3 端末暗証番号を入力し、●を押す

4 タイトルを入力し、●を押す
- 全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

5 接続先名称を入力し、●を押す
- 半角英数字、半角記号を99文字まで入力できます。

6 接続先アドレスを入力し、●を押す
- 半角英数字、半角記号を30文字まで入力できます。

7 接続先アドレス2を入力し、●を押す
- 半角英数字、半角記号を30文字まで入力できます。

8 入力内容を確認し、i［完了］を押す

接続先が変更されます。

お知らせ

●ｉモード以外のサービスへ接続した際のパケット通信料は、パケ・ホーダイの対象とはなりませんのであらかじめご了承ください。
●通信中は接続先を設定／変更できません。

＜端末情報データ利用設定＞

Flash画像で端末情報データを利用するかどうかを設定する

お買い上げ時	利用する

サイトや画面メモのFlash画像に、FOMA端末の端末情報データを利用させるかどうかを設定します。Flash画像が利用する端末情報データは次のものがあります。

- 電池残量
- 時刻情報
- バイリンガル設定
- 受信レベル
- 着信音量設定
- 機種情報

1 i▶iモード設定▶6を押す

2 1「利用する」または2「利用しない」を押す

＜効果音設定＞

Flash画像の効果音を利用するかどうかを設定する

お買い上げ時	再生する

サイトや画面メモのFlash画像の効果音を鳴らすかどうかを設定します。

1 i▶iモード設定▶7を押す

2 1「再生する」または2「再生しない」を押す

お知らせ

●サイト表示中に操作する場合はi［機能］▶◎▶◎▶1「効果音設定」を押します。
●「再生する」に設定しても、Flash画像によっては効果音が鳴らないことがあります。

＜画像表示設定＞

画像を表示しないようにする

お買い上げ時	表示する

サイトや画面メモ、メッセージR/Fを表示したときに、画像を表示するかどうかを設定します。

1 [i]▶[iモード設定]▶[2]を押す

2 [1]「表示する」または[2]「表示しない」を押す

サイトなどでは、表示されない画像の代わりに、[画像]が表示されます。

- 「表示しない」に設定すると、Flash画像も表示されません。

お知らせ

●メッセージR/Fの添付画像は、「表示しない」に設定していても表示されます。
●サイト表示中に操作する場合は[i]［機能］▶[○]▶[4]「画像表示設定」を押します。
●「表示する」に設定しても、画像が正しく表示されないことがあります。

＜スクロール設定＞

スクロール行数を設定する

お買い上げ時	1行

サイトや画面メモ、メッセージR/Fを表示中に[○]を押したときのスクロール行数を設定します。

1 [i]▶[iモード設定]▶[1]を押す

2 [1]～[5]を押す

＜ｉモード設定確認＞

ｉモード機能の設定の内容を確認する

1 [i]▶[iモード設定]▶[○]▶[5]を押す

＜ｉモード設定リセット＞

ｉモード機能の設定を初期状態に戻す

1 [i]▶[iモード設定]▶[○]▶[6]を押す

2 端末暗証番号を入力し、[●]を押す

3 [1]「はい」を押す

- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

メッセージ受信

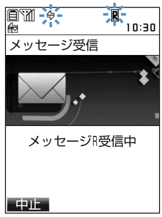
メッセージR/Fを受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、メッセージR/Fを自動的に受信します。受信したメッセージR/FはFOMA端末に保存されます。

- メッセージRは100件まで、メッセージFは50件まで保存できます。
- 次のようなときに送られてきたメッセージR/Fは、ｉモードセンターに保管されます。
  - テレビ電話通話中
  - セルフモード中
  - 赤外線通信利用中
  - データ通信中
  - 電源が入っていないとき
  - ｉモード圏外
  - メッセージR/F一覧が保護や未読で満杯のとき
  - FirstPassセンター接続中

1 メッセージR/Fを受信する

受信中は[アイコン]と、[R]または[F]が点滅します。受信が完了すると[アイコン]が点滅し、[R]または[F]が点灯します。
メッセージR/F着信音が鳴り、着信ランプが点灯／点滅して受信件数が表示されます。





受信結果画面

- [✉]［中止］を押すと、受信を中止できます。受信時の状況によってはメッセージR/Fを受信する場合があります。
- 受信結果画面が表示されてから約30秒間何も操作しないでいると、自動的に受信前の画面に戻ります。メッセージ自動表示設定で設定したメッセージを受信したときは、何も操作しないでいると、受信結果画面から受信前の画面に戻る前に、未読メッセージR/Fの内容が表示されます。
- マルチタスク中は自動表示できません。

新着メッセージR/Fを表示する

＜例＞受信したメッセージRを表示するとき

1 受信結果画面で[2]「メッセージR」を押す

- メッセージFを表示するときは[3]「メッセージF」を押します。

2 メッセージRを選択する

- メッセージR/Fの見かた→P198

お知らせ

- 受信優先設定によっては、受信中画面や受信結果画面が表示されない場合があります。→P232
- FOMA端末がメッセージR/Fを受信すると、iモードセンター内のメッセージR/Fは削除されます。
- メッセージR/Fの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護されていない既読のメッセージR/Fから古い順に上書きされます。残しておきたいメッセージR/Fは保護してください。
- 未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯で上書きできないときは、メッセージR/Fの受信は中止され、画面には R（オレンジ）や F（オレンジ）が表示されます。
- iモードセンターにメッセージR/Fが残っているときは、 や が表示されます。ただし、メッセージR/Fがあっても表示されない場合もあります。（例：電源が入っていないとき、圏外時）また、iモードセンターの保管件数（→P181）が満杯になったときは、（オレンジ）や （オレンジ）が表示されます。
- 途中で受信に失敗した場合は、iモード問合せを行ってメッセージR/Fを受信し直してください。

<メッセージ自動表示設定>

メッセージR/Fを自動的に表示する

お買い上げ時	メッセージR優先

受信したときに自動的に表示するメッセージR/Fを設定します。

1 i ▶ iモード設定 ▶ 3 を押す

2 1 ～ 5 を押す

メッセージR優先	メッセージRを優先自動表示します。
メッセージRのみ	メッセージRのみ自動表示します。
メッセージF優先	メッセージFを優先自動表示します。
メッセージFのみ	メッセージFのみ自動表示します。
自動表示しない	メッセージR/Fを自動表示しません。

<メッセージ添付メロディ設定>

メッセージR/Fの添付メロディを自動的に再生する

お買い上げ時	自動再生する

メロディが添付されているメッセージR/Fを表示したときに、メロディを自動的に再生するかどうかを設定します。

1 i ▶ iモード設定 ▶ 4 を押す

2 1「自動再生する」または 2「自動再生しない」を押す

iモード問合せ

メッセージR/Fがあるかどうかを問い合わせる

圏外にいた時や電源を切っていた時にメッセージR/Fが届いていないかを問い合わせます。

- 電波状態によってはiモード問合せができない場合がありますのでご了承ください。

1 i ▶ iモード問合せ を押す

iモードセンターにメッセージR/Fが保管されていれば受信します。

- iモードメールの問い合わせの操作は、メッセージR/Fと同じです。

お知らせ

- ✉ ▶ ✉［✉問合せ］を押しても問い合わせができます。
- iモードセンターにメッセージR/Fが保管されているときは、 や が表示されます。ただし、メッセージR/Fがあっても表示されない場合もあります。（例：電源が入っていないとき、圏外時）
- お買い上げ時はメール、メッセージR、メッセージFをすべて受信する設定になっています。メッセージRやメッセージFの配信を希望されない場合は、設定を解除してください。

メッセージR／メッセージF

メッセージBOXのメッセージR/Fを表示する

- 受信したメッセージR/FはFOMA端末に保存されます。

<例>メッセージRを表示するとき

1 i ▶ メッセージR を押す

メッセージR一覧画面が表示されます。

- メッセージFを表示するときは メッセージF「メッセージF」を押します。

2 メッセージRを選択し、● を押す

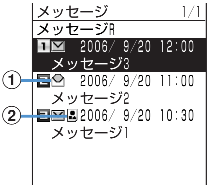
メッセージR表示画面が表示されます。

お知らせ

- メッセージ添付メロディ設定を「自動再生する」に設定している場合、メロディが添付されているメッセージR/Fを表示すると、メッセージR着信音量設定、メッセージF着信音量設定それぞれで設定されている音量でメロディが自動的に再生されます。再生を途中で停止させるときは●を押します。
- 受信したメッセージの添付ファイルを確認するには、i［機能］▶ 3「添付ファイル確認」を押します。
- 受信したメッセージに表示されている画像をFOMA端末に取り込めます。→P220
- メロディをFOMA端末に取り込めます。操作方法はiモードメールからのメロディ保存と同じです。→P219
- Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To 機能が利用できます。

メッセージR/F一覧画面／表示画面の見かた

メッセージR/F一覧画面の見かた

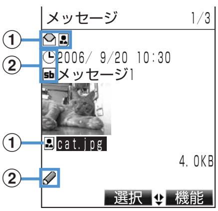


①メッセージ種別
- ：未読メッセージ
- ：既読メッセージ
- 保護しているときは が付きます。

②添付ファイル種別
- ：静止画※
- ：メロディ※
- ：静止画、メロディ（FOMAカード未挿入など）
- ：無効ファイル

※削除済みには が付きます。

メッセージR/F表示画面の見かた



①メッセージ種別・添付ファイル種別
- メッセージR/F一覧画面と同じです。

②項目種別
- ：受信日時
- ：件名
- ：本文

<画像再読み込み>

メッセージR/F内の画像を再読み込みする

取得に失敗した本文中の画像を受信し直します。
- 画像によっては再読み込みを行っても表示できない場合があります。

1 メッセージR/F表示画面でi［機能］▶4「画像再読み込み」を押す

<保護>

メッセージR/Fを保護する

- メッセージR/Fは全保存件数分保護できます。

1 メッセージR/F一覧画面でメッセージR/Fを選択し、i［機能］▶2「保護」を押す
- アイコンに が付きます。

■保護を解除するとき

①メッセージR/Fを選択してi［機能］▶2「保護解除」を押す
- 1「1件保護解除」を押す
- すべての保護メッセージR/Fを解除するときは2「全件保護解除」を押し、1「はい」を押します。

お知らせ

●メッセージR/F表示画面で保護するにはi［機能］▶1「保護」を押します。保護解除するにはi［機能］▶1「保護解除」を押します。

<ソート>

メッセージR/Fを並べ替える

メッセージR/F一覧画面の並び順を一時的に並べ替えます。

1 メッセージR/F一覧画面で✉［ソート］を押す

2 1～4を押す

受信日時（新→旧）	受信日時の新しい順に並べ替えます。
受信日時（旧→新）	受信日時の古い順に並べ替えます。
件名（昇順）	件名の昇順に並べ替えます。
件名（降順）	件名の降順に並べ替えます。

お知らせ

●メッセージR/F一覧画面を終了すると、並び順は「受信日時（新→旧）」に戻ります。

<検索>

メッセージR/Fを検索して表示する

メッセージR/F一覧画面から検索条件を指定してメッセージR/Fを検索できます。

1 メッセージR/F一覧画面でi［機能］▶1「検索」を押す

2 1～4を押す

未読検索	未読メッセージR/Fを抽出します。
既読検索	既読メッセージR/Fを抽出します。
保護検索	保護されたメッセージR/Fを抽出します。
添付あり検索	添付ファイルがあるメッセージR/Fを抽出します。

■ 検索後に再検索するとき

①i［機能］▶1「検索」▶1「再検索」を押す
- 以降の操作は手順2と同じです。
- 最初の検索結果は破棄されます。

■ 検索結果から戻るとき

①i［機能］▶1「検索」▶2「検索状態解除」を押す

<削除>

メッセージR/Fを削除する

- 保護されているメッセージR/Fは削除できません。保護を解除してから削除してください。

1 メッセージR/F一覧画面でメッセージR/Fを選択し、i［機能］▶3「削除」を押す

2 1「1件削除」を押す

■ 選択削除するとき

①2「選択削除」を押す
②メッセージR/Fを選択し、●を押す
- 解除するときは●を押します。

③i［実行］を押す

■ 全件削除するとき

①3「全件削除」を押す
②端末暗証番号を入力し、●を押す
- 検索結果表示中は3「検索メッセージ全件削除」を押します。

3 1「はい」を押す
- 中止するときは2「いいえ」を押します。

お知らせ

●メッセージR/F表示画面から削除する場合はi［機能］▶5「削除」を押します。

SSL証明書操作

SSL証明書を操作する

お買い上げ時	すべて 選択

SSL通信時に必要な証明書の有効／無効の設定や内容確認をします。
- お買い上げ時は、すべての証明書が有効に設定されています。
- ユーザ証明書をダウンロードしていない場合は、「ユーザ証明書」は表示されません。
- 青色のFOMAカードを差し込んでいる場合は、「ドコモ証明書」「ユーザ証明書」は表示されません。

1 i▶[iモード設定]▶◎▶3を押す

2 証明書を選択する
- ●を押すたびに有効／無効が切り替わります。
- 証明書を選択し、✉［詳細］を押すと、内容を確認できます。

3 設定が完了したらi［完了］を押す

お知らせ

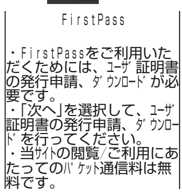
●証明書は認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時にFOMA端末内に保存されています。
●ドコモ証明書はFirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、FOMAカード（緑色）内に保存されています。
●ユーザ証明書はFirstPass対応サイトへ接続するために必要な証明書で、FirstPassセンターからダウンロードします。ダウンロードするとFOMAカード（緑色）内に保存されます。

ユーザ証明書操作

FirstPassの設定を行う

FirstPassセンターからユーザ証明書の発行申請やダウンロードができます。
- FirstPass対応ページに接続するには、ユーザ証明書をFirstPassセンターからダウンロードし、緑色のFOMAカードに保存する必要があります。青色のFOMAカードを差し込んでいる場合は接続できません。
- FirstPassセンターに接続する場合、日付時刻設定を行ってください。
- FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。
- FirstPassセンターに接続中は、メールの送受信やメッセージR/F の受信はできません。

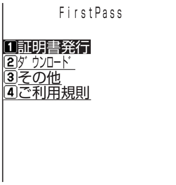
1 i▶[iモード設定]▶◎▶4を押す



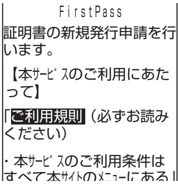
iモード／iモーション　SSL証明書操作

次ページへつづく

2 「次へ」を選択し、◉を押す



3 1「証明書発行」を押す



■初めてFirstPassをご利用になるとき

「ご利用規則」をよくお読みになり、同意の上、FirstPassをご利用ください。

■証明書を失効要求するとき

「その他」を選択し、「証明書失効」を選択します。
PIN2コードを入力し、画面の指示に従って操作してください。

4 表示された内容を確認し、「実行」を選択して◉を押す

5 ◉を押す

6 PIN2コードを入力し、◉を押す

7 メッセージを確認し、「ダウンロード」を選択して◉を押す

8 内容を確認し、「実行」を選択して◉を押す

お知らせ

- FirstPassセンターへの接続や利用のパケット通信料は無料です。
- iモードでFirstPass対応サイトへのアクセスに発生するパケット通信料はパケ・ホーダイに含まれます。
- ユーザ証明書を新規で発行するときも更新で発行するときも、必ず発行申請を行ったあとにダウンロードを行ってください。発行の申請をしていないユーザ証明書はダウンロードすることができません。
- ユーザ証明書は、お客様がFOMA契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書は緑色のFOMAカードに保存され、FirstPassに対応しているサイト（クライアント認証に対応しているサイト）で利用できます。
- 添付のCD-ROMからFirstPass PCソフトをパソコンにインストールすると、FOMA端末をパソコンに接続して、FirstPassを使った通信を行うことができます。詳しくはCD-ROM内の「FirstPassManual」をご覧ください。「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます。（別途通信料がかかります。）詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。

FirstPassのご使用にあたって

- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
- FirstPassはFOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただくことが可能です。パソコンでご利用いただくためには、添付のCD-ROM内のFirstPass PCソフトが必要です。
- ユーザ証明書の発行申請をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、ご同意の上、要求してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コードの入力が必要です。
- PIN2コード入力後になされたすべての行為はお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分ご注意ください。
- FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行うことができます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

証明書センター接続先設定

証明書発行接続先を変更する

お買い上げ時	ドコモ

ユーザ証明書をダウンロードするときの接続先を設定します。設定を変更するとFirstPassセンターに接続できなくなります。

通常は設定を変更する必要はありません。

1 **i ▶**  **▶ ◎ ▶ 2 を押す**

2 **「未登録」を選択し、i［編集］を押す**

■ 以前設定したユーザー指定接続先に変更するとき

① 2「ユーザー指定接続先」を押す

■ FirstPassを利用する設定に戻すとき

① 1「ドコモ」を押す

■ 設定したユーザー指定接続先を削除するとき

①「ユーザー指定接続先」を選択し、✉［削除］を押す
② 端末暗証番号を入力し、●を押す
③ 1「はい」を押す
- 中止するときは2「いいえ」を押します。

3 **端末暗証番号を入力し、●を押す**

4 **接続先名称を入力し、●を押す**
- 半角英数字、半角記号を99文字まで入力できます。

5 **接続先アドレスを入力し、●を押す**
- 半角英数字、半角記号を100文字まで入力できます。

6 **入力内容を確認し、i［完了］を押す**
接続先が変更されます。

ｉモーションとは

サイトやインターネットホームページから映像や音（ｉモーション）をFOMA端末に取得し、再生したり、着信音（着モーション）などに設定できます。（一部の対応していないｉモーションは着モーションに設定できません。）

ｉモーションのタイプについて

ｉモーションには、大きく分けて次の2つのタイプがあります。取得したｉモーションがどのタイプであるかは、サイトにより異なります。

■ スタンダードタイプ

FOMA端末に保存することができます。
ｉモーションによっては、スタンダードタイプでも保存できないものもあります。
- 取得後に再生可能なタイプ（約500Kバイトまで）
- 取得中に再生可能なタイプ（約500Kバイトまで）

■ ストリーミングタイプ（FOMA SA702iは対応していません）

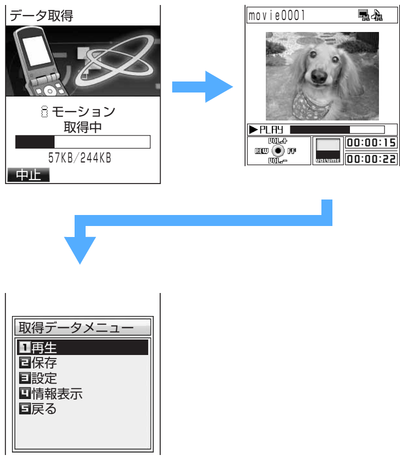
ストリーミングタイプとは、データを取得しながら同時に再生を行うタイプで、再生し終わったデータについては破棄されます。約2Mバイトまで再生できますが、繰り返し再生をしたり、FOMA端末に保存することはできません。

ｉモーション取得

サイトからｉモーションを取得する

- ｉモーションによっては、取得したデータをFOMA端末に保存できない場合があります。
- ASF形式のｉモーションの取得、再生はできません。取得、再生できるｉモーションはMP4（Mobile MP4）形式のみです。

1 **ｉモーションを選択し、●を押す**



- ｉモーション自動再生設定を「自動再生する」に設定しているときは、ｉモーションが自動的に再生されます。設定していないときは、取得データメニューが表示されます。
- ✉［中止］を押すと、取得を中止します。
- 取得中に再生可能なｉモーションのときは、ｉモーション自動再生設定を「自動再生する」に設定している場合、取得中に再生します。

次ページへつづく

2 **1「再生」を押す**



- 再生中は次の操作ができます。
  - ◉：一時停止／再開
  - ◁：巻戻し
  - ✉：停止
  - ◇：音量調節
  - ▷：早送り
- 一時停止中は次の操作ができます。
  - ▷：コマ送り
  - ◁：コマ戻し
- 取得中の再生では、早送り、巻き戻し、コマ送り、コマ戻しはできません。

■保存するとき

①2**「保存」を押す**
「データBOX」→「iモーション」→「iモード」フォルダに保存されます。

■待受画面などに設定するとき

①3**「設定」を押す**
- 以降の操作：→P283「動画・iモーションを音声着信などに設定する」手順3

■iモーションの情報を表示するとき

①4**「情報表示」を押す**

■保存せず戻るとき

①5**「戻る」▶1「はい」を押す**
- 中止するときは2「いいえ」を押します。

お知らせ

●FOMA端末への保存可能件数、1件の最大サイズについて→P274
●iモーションによっては、データ取得中の再生ができないものがあります。
●iモーションによっては、取得したデータを正しく再生できない場合があります。
●再生制限付きのiモーションについて
- iモーションには、再生回数／再生期限／再生期間が設定されている場合があります。再生できる期間が制限されているiモーションは、期間前や後には再生できません。また、長い期間電池パックを外しているとFOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期間や再生期限が決められているiモーションは再生できません。
- 再生回数／再生期限／再生期間が決められているiモーションを再生すると、再生前に残り再生回数／期限／期間を確認できます。

●iモーションを取得しながら再生しているときにデータの受信待ちになり、再生が一時停止することがあります。このような場合でも、データを受信し始めると自動的に再生が再開されます。
●iモーションを取得しながら再生しているときに、電波状況などにより再生が停止したり、画像が乱れたりする場合があります。そのような場合でも、iモーションの取得完了後に再生できます。
●データBOXの空き容量が足りないときや、最大保存件数を超えるとき→P297
●下記ビットレート※を超えるiモーションを再生すると、コマ落ちや音とびが発生することがあります。
- 取得後に再生可能なタイプ
  映像：128Kbps
  音響：128Kbps
- 取得中に再生可能なタイプ
  映像：64Kbps
  音響：80Kbps

※ビットレートとは、圧縮された映像データや音声データが1秒あたりどのくらいの情報量で表現されているかを表すものです。

iモーション自動再生設定

iモーションを自動再生するかどうかを設定する

お買い上げ時	自動再生する

1 **i▶(iモード設定)▶5を押す**

2 **1「自動再生する」または2「自動再生しない」を押す**

メール

ｉモードメールとは. 204
メールメニューを表示する . . . . <メールメニュー> 208

ｉモードメール／デコメールを作成する

ｉモードメールを作成して送信する. . . . . <ｉモードメール作成･送信> 209
デコメールを作成して送信する . . . . <デコメール> 211
テンプレートを利用する 213
ファイルを添付する. . .<メロディ／画像／動画／ｉモーションメール> 214
ｉモードメールを保存しておき、あとで送信する . . <ｉモードメール保存> 216
手早くｉモードメールを作成する . . . . <ワンタッチメール作成> 216

ｉモードメールを受ける・操作する

ｉモードメールを受信したときは . . . .<メール自動受信> 216
ｉモードメールを選択して受信する. . . . .<メール選択受信> 217
ｉモードメールがあるかどうかを問い合わせる . . . .<ｉモード問合せ> 218
ｉモードメールに返信する . . . . <ｉモードメール返信> 218
ｉモードメールを他の宛先に転送する . . . . <ｉモードメール転送> 219
ｉモードメールからメロディを再生・保存する . . . . . <メロディ保存> 219
画像メールの画像を表示・保存する. . . . .<画像保存> 220
ｉモーションメールからｉモーションを再生・保存する
. . . . <ｉモーションメール> 220

メールBOXを操作する

受信／送信メールBOXのメールを表示する
. . . .<受信メールBOX／送信メールBOX> 221
フォルダ一覧／メール一覧・表示画面での操作 223
メールの便利な機能. 227
電話帳を利用してメールを検索する. . . . .<パーソナル検索> 228

メールの履歴を利用する

メールの履歴を利用する . . . .<受信アドレス履歴・送信アドレス履歴> 228

メールの設定を行う

FOMA端末のメール機能を設定する . . . . <メール設定> 229

チャットメールを使う

チャットメールを作成して送信する. . . . . <チャットメール作成・送信> 232

SMS（ショートメッセージ）を使う

SMS（ショートメッセージ）を作成して送信する . .<SMS作成・送信> 235
SMS（ショートメッセージ）を受信したときは . . . .<SMS受信> 236
SMS（ショートメッセージ）があるかどうかを問い合わせる
. . . . <SMS問合せ> 236
SMS（ショートメッセージ）の設定を行う . . . .<SMS設定> 236
SMS（ショートメッセージ）をFOMAカードに保存する
. . . . <FOMAカード操作> 237

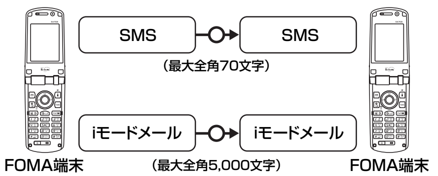
iモードメールとは

FOMA端末では、iモードメール、SMSの2種類のメール機能を利用できます。

- iモードメールをご利用いただくには、iモードのご契約が必要です。
- SMSは、iモードをご契約されていなくてもご利用いただけます。

メール機能の送受信について

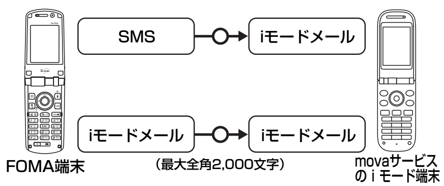
FOMA端末→FOMA端末



FOMA端末→movaサービスのiモード端末

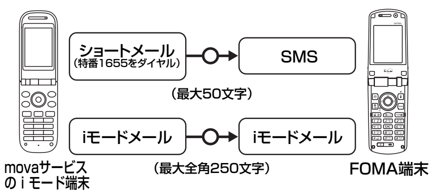
FOMA端末から送信したSMSは、movaサービスのiモード端末ではiモードメールとして受信されます。

※「SMS送達通知設定」(→P236)を設定されている場合には、movaサービスのiモード端末へ送ることはできません。



movaサービスのiモード端末→FOMA端末

movaサービスのiモード端末から送られたiモードメールとショートメールを受信できます。ショートメールはSMSとして受信します。



※ショートメールとは、ドコモの携帯電話間で文字メッセージをやりとりできるサービスです。
- FOMA端末では、movaサービスのiモード端末から送られてきたショートメールをSMSとして受信します。

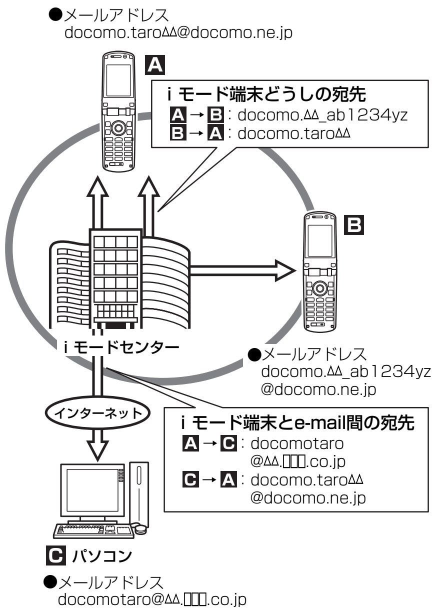
iモードメールについて

iモードを契約するだけで、iモード端末(mova端末含む)間はもちろん、インターネットを経由してe-mailとのメールのやりとりができます。

iモードご契約時のメールアドレスは次のようになります。

新規にiモードをご契約の場合
@マークより前がランダムな英数字の組み合わせになっていますので、iモード契約後にお客様のメールアドレスをご確認ください。
(例)abc1234~789xyz@docomo.ne.jp
<お客様のメールアドレスの確認方法>
i Menu →オプション設定 →□メール設定 →アドレス確認

- iモード端末(mova端末含む)間でメールをやりとりする場合は、@マークより前の部分のみのアドレスで送信可能です。
- パソコンなどのe-mailからメールを受信する場合は、@docomo.ne.jpも含めたアドレス全体を使用します。



- メールの送信方法→P209
- メールの受信方法→P216

■メール選択受信

iモードセンターに保管されているメールの件名などを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にiモードセンターでメールを削除できます。
→P217

メール設定を行う

下記の各種設定を行うことができます。

設定方法
i Menu → [TV]オプション設定 → □メール設定 →【各設定】

※ 詳細はｉモードご契約時にお渡しいたします『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

■ メールアドレス変更【メールアドレス設定（アドレス変更）】

たとえば「docomo.taro_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、メールアドレスの「@」より前の部分を、お好みのアドレスに変更できます。

■ メールアドレス確認【メールアドレス設定（アドレス確認）】

現在設定されているメールアドレスを確認できます。

■ シークレットコード登録【メールアドレス設定（その他設定）→シークレットコード登録】

電話番号のアドレス利用時に、メールアドレスに加えて4桁のシークレットコードを登録できます。シークレットコードを指定していないメールは受信されなくなるため、不要なメールの受信を避けられます。

■ メールアドレスリセット【メールアドレス設定（その他設定）→アドレスリセット】

メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にできます。

■ 迷惑メール対策

次のいずれかの方法でメールの受信／拒否設定を行うと、メールの受信を制限できます。

① 受信/拒否設定【メール受信設定（迷惑メール対策）→受信/拒否設定】
- ドコモ・au・ボーダフォン・TU-KA・ウィルコムのうち、指定する会社からのメールの受信ができます。
  また、上記の会社以外から送信されたメールのうち、指定するドメインまたはアドレスから受信できます。そして、インターネットからの携帯・PHSドメインになりすましたメールを拒否できます。

② SMS拒否設定【メール受信設定（迷惑メール対策）→SMS拒否設定】
- 受信するSMSを制限することができ、「SMS一括拒否」、「非通知SMS拒否」、「国際SMS拒否」、「非通知SMSと国際SMSの拒否」の4つの中から選択いただけます。また、設定の状況を確認できます。

③ ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限【メール受信設定（その他設定）→ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限】
- 1日に1台のｉモード端末（mova端末含む）から送信される200通目以降のｉモードメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否したい場合は設定する必要はありません。

④ 未承諾広告※メール拒否【メール受信設定（その他設定）→未承諾広告※メール拒否】
- 受信者の同意なしに一方的に広告・宣伝を行うために送信される、メール件名欄の最前部に「未承諾広告※」と記載されているメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否したい場合は設定する必要はありません。(送信者はメール件名欄の最前部に未承諾広告※（全角6文字）と記載することが法律で義務づけられています。)

■ メールサイズ制限【メール受信設定（メールサイズ制限）】

あらかじめ指定したサイズによって、受信するｉモードメールを制限できます。

■ メール設定状況確認【メール受信設定（設定状況確認）】

現在設定されているメール受信／拒否などの設定状況を確認できます。

■ メール機能停止【メール機能停止】

メール機能を利用されない場合、ｉモードセンターでのメール機能停止ができます。

送受信できる文字数

ｉモードメールで送受信できる文字数は次のとおりです。

項　目	全角文字（漢字、ひらがな、絵文字など）	半角文字（英字、数字、カタカナなど）
題 名	15文字	30文字
メールアドレス	－	50文字
本 文	5000文字	10000文字

お知らせ

- ｉモードメールの本文は全角5000文字（10000バイト）まで送受信できますが、添付ファイルのデータ量により送受信できる文字数が少なくなります。
- 本文が受信できる文字数を超えた場合、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた分が自動的に削除されます。
- mova端末へｉモードメールを送信する場合、本文として送信できるのは最大全角2000文字までです。また、ｉショット・ｉモーションメールはURLの記載されたメールとして送信され、それ以外の添付ファイルは削除されます。
- 題名が受信可能な文字数を超えた場合、超えた文字は削除されます。
- ｉモード端末（mova端末含む）どうしのメールのやりとり以外では半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。受信側で正しく表示されない場合があります。

メールを受信できないとき

iモードセンターに届いたメールは、すぐにお客様のiモード端末に送信されます。ただし、お客様のiモード端末の電源が入っていない場合やiモード圏外などで受信できないときは、メールはiモードセンターに保管されます。iモードセンターで保管しているときは、一定の時間をおいて最大3回まで再送されます。また、メール選択受信設定により、iモードセンターでiモードメールを選択して受信することができます。

お知らせ

● iモードセンターでのメールの最大保管件数、保管期間は次のとおりです。

項　目	最大保管件数	最大保管期間
iモードメール	207～1000件 (約2Mバイトまで)	720時間

●保管期間が超過したメールは自動的に削除されます。
●最大保管件数は、メールのデータサイズにより異なります。保管件数を超えた場合は、iモードセンターではメールを受信せず、送信者にエラーメッセージとともに返信します。このときiモード端末には が表示されます。ただし、メール選択受信設定が「ON」のときは、保管件数を超えても は表示されません。
● iモードセンターに保管されているメールは、iモード問合せ(→P218)やメール選択受信(→P217)により受信できます。また新しいメールが届いたときは、保管されている他のメール、メッセージR/Fも合わせて受信できます。
● iモード端末でメールを受信するとiモードセンターに保管されていたメールは削除されます。受信したメールはiモード端末に保存されます。→P216
●極端に容量の大きいメールはiモードセンターで受け付けないことがあります。

こんなこともできます

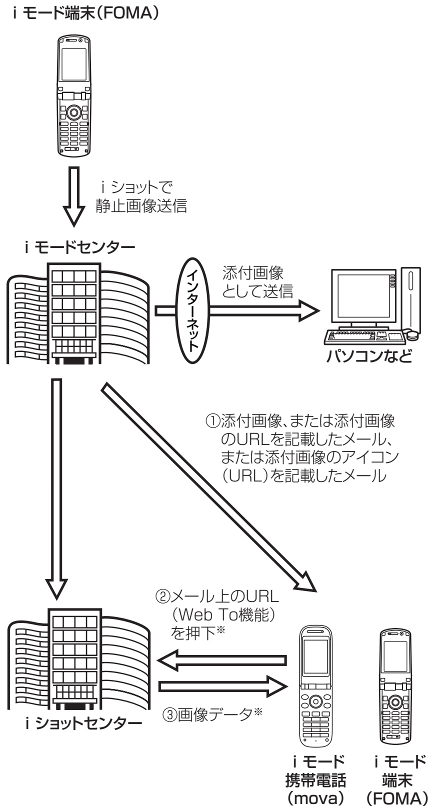
■ ファイル添付メール

- **メロディ添付メール**
  サイト、インターネットホームページからダウンロードしたメロディファイルを、iモードメールに添付して送受信できます。(メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているメロディファイルは送信できません。)
  - 送信する→P214
  - 受信したとき→P219
- **画像添付メール**
  サイト、インターネットホームページ、または外部メモリから取得した静止画ファイルを、iモードメールに添付して送受信できます。(メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画ファイルは送信できません。)
  - 送信する→P214
  - 受信したとき→P220

■ iショット

カメラ機能付き端末で撮影した静止画を添付ファイルとしてiモード端末(mova端末含む)およびパソコンや他社携帯電話の間で送受信できます。受信側には添付ファイル形式または、画像閲覧用URL(またはアイコン)および画像の保存期限が記載されたメールとして送信され、そのURLを押下して画像を取得できます。
mova端末へ送れるメール本文は最大全角184文字(369バイト)で、複数ファイルを添付した場合、添付ファイルは削除され、メール本文のみ通知されます。

- 送信する→P214
- 受信したとき→P220



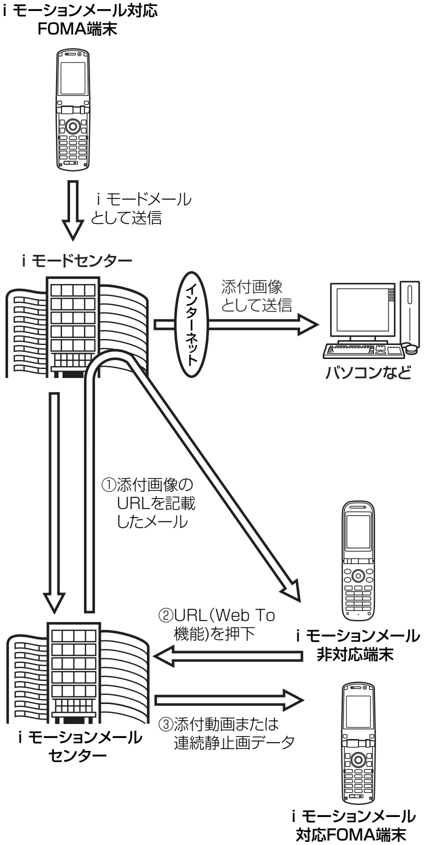
※ 添付画像のURLを記載したメールを受信した場合

- iショットセンターでは最大10日間画像が保存され、保存期間経過後自動的に削除されます。
- iモード端末が送信できるのは最大500Kバイトまでの静止画となります。また、20Kバイトより大きい画像を添付してiモード端末に送信した場合は、受信側では自動的にサイズの圧縮された画像を取得します。

■ iモーションメール

iモーションメール対応端末で撮影した動画やサイトから取得した動画を、iモーションメール対応端末およびパソコンや他社携帯電話の間で送受信できます。(メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている動画ファイルは送信できません。)

- iモーションメールを送信する→P214
- iモーションメールを受信したとき→P220
- サービスのしくみ
  iモーションメールに添付された動画ファイルはiモーションメールセンターに送信され、そこで保存されます。(送信先がパソコンなどの場合は、直接添付ファイルとして送信されます。)
  iモーションメール対応端末で受信した場合、メール本文中に表示されているURLを押下して動画を取得することができます。
  iモーションメール非対応端末へ送信した場合は、iモーションが連続静止画に変換され、URLの記載されたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを押下し、連続静止画を取得します。



- iモーションメールセンターでは最大10日間画像が保存され、保管期間経過後自動的に削除されます。
- iモーションメール対応端末が受信できるのは最大500Kバイトまでの動画となります。また、取得した動画はiモーションメール対応端末の画面に合わせて画像サイズを自動的に変換します。

■ デコメール

iモードメール編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を本文中に貼り付けることによって、自分のオリジナルメールを作成して送信したり、装飾された楽しいメールを受信することが可能になります。(パソコンから装飾したメールを受信する場合、iモード端末では非対応の装飾があるため、パソコン上と同じ動作にならない場合もあります。)
デコメールを非対応端末へ送信した場合は、URLが記載されたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを押下し、デコメールを閲覧できます。

- デコメール編集方法→P211
- デコメール送信方法→P211
- 対応機種･･･デコメール対応機種でご利用いただけます。詳しくは『iモード操作ガイド』をご覧ください。

■ メール同報送信

同じiモードメールを、一度に複数の宛先(最大5件)に送信できます。→P209

お知らせ

●通信料は、1通のみ送信した場合と同じです。(ただし、追加した宛先の情報量については通信料が増えます。)

■ Cc、Bcc送受信

パソコンと同じように、iモードメール編集時に宛先をTo、Cc、Bccから選択できます。
ただし、Toが1件もない場合は、メールを送信できません。→P209

■ チャットメール

複数の相手と会話をするような感覚でメールの交換ができます。

お知らせ

●通信料は、相手が複数の場合メール同報送信した時と同じです。

SMS（ショートメッセージ）について

FOMA端末間で文字メッセージをやりとりできます。
- 受信したSMSや送信したSMSをFOMAカードに保存できます。→P237
- 送信したSMSが相手に届いたかどうかを知らせる送達通知を受け取ることができます。→P236
  - 送信方法→P235
  - 受信方法→P236
  - 問合せ方法→P236

SMS（ショートメッセージ）の宛先

SMSの宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。

送受信できる文字数

SMSで送受信できる文字数は次のとおりです。
送信文字種の設定により最大文字数が異なります。
→P237

項　目	送信文字種「日本語」	送信文字種「英語」
宛先	20文字（数字、＊、＃のみ）※1	
本文	全角・半角を問わず70文字	半角160文字※2

※1 先頭に半角の「+」を入力した場合は21文字です。
※2 半角の英数字と記号（゛゜｢｣､･ﾞﾟ-を除く）を送信できます。
記号（|^{}[]~¥）を入力すると送信できる文字数が少なくなります。

お知らせ

●SMSでは題名は送信できません。
●SMSの本文に半角カタカナ、絵文字を使用すると、受信側で正しく表示されない場合があります。

SMS（ショートメッセージ）を受信できないとき

お客様のFOMA端末に送られてきたSMSは、SMSセンターで受信し、すぐにお客様のFOMA端末に送信します。ただし、お客様のFOMA端末の電源が入っていない、圏外などで受信できないときは、SMSはSMSセンターに保管されます。

お知らせ

●SMSセンターでのSMSの最大保管期間は72時間です。送信したSMSの保管期間を指定することもできます。→P236
●保管期間が過ぎたSMSは自動的に削除されます。
●SMSセンターに保管されているSMSは、SMS問合せにより受信できます。→P236
●FOMA端末がSMSを受信すると、SMSセンターに保管されていたSMSは削除されます。受信したSMSはFOMA端末に保存されます。→P236

メールメニュー

メールメニューを表示する

1 ✉を押す



メニュー	機　能	参照先
メール設定	メールに関する各種機能の設定をします。	P229
パーソナル検索	電話帳から検索したい電話番号やメールアドレスを選択して、送受信BOX内から該当するメールを検索します。	P228
SMS新規作成	SMSを新規に作成して送信します。	P235
iモード問合せ	iモードセンターにiモードメールやメッセージR/Fがあるかどうかを問い合わせます。	P197、218
受信BOX	受信メールを表示します。	P221
メール新規作成	iモードメールを新規に作成して送信します。	P209
メール選択受信	iモードセンターからメールを選択して受信します。	P217
送信BOX	送信済みのメールを表示します。	P221
チャットメール	複数の相手と会話をするような感覚でメールの交換ができます。	P232
SMS問合せ	SMSセンターにSMSがあるかどうかを問い合わせます。	P236
未送信BOX	送信せずに保存したメールや送信に失敗したメールを表示します。	P221
デコメールテンプレート	テンプレートの内容を表示してメールを作成します。テンプレートを新規作成することもできます。	P213

お知らせ

●◉▶「メール」を押しても表示することができます。

iモードメール作成・送信

iモードメールを作成して送信する

- 添付ファイルについて→P214

1 [メール]を1秒以上押す



メール作成画面

2 [To]「宛先」を選択し、●を押す

3 [6]「直接入力」を押して宛先を入力し、●を押す

- 半角50文字まで入力できます。

■ 電話帳から入力するとき

①[1]「電話帳引用」を押す
- 電話帳を編集しているときに、マルチタスクを使ってメールに宛先を入力するなどの場合、電話帳の編集を終了すると電話帳を引用することができます。

②電話帳を選択し、●を押す
③メールアドレスを選択し、●を押す

■ 送受信アドレス履歴から入力するとき

①[2]「送信アドレス履歴引用」または[3]「受信アドレス履歴引用」を押す
②アドレス履歴を選択し、●を押す
③●を押す

■ 送信グループから入力するとき

- あらかじめメール設定で送信グループを登録しておく必要があります。

①[4]「送信グループ引用」を押す
②[◀▶]でグループを選択する
③宛先を選択する
- 不要な宛先を解除するときは●を押します。

④[i]［完了］を押す

■ プロフィールから入力するとき

①[5]「プロフィール引用」を押す
②メールアドレスを選択し、●を押す

■ 宛先を修正するとき

①メールアドレスを選択し、●を押す
②[1]「宛先変更」を押す

■ To、Cc、Bccを変更するとき

①メールアドレスを選択し、●を押す
②[2]～[4]を押す
- Toは送信相手の宛先です。Toが1件も設定されていないメールは送信できません。
- Ccは直接の送信相手以外にメールの内容を知らせたい宛先用です。
- Bccは他の送信相手に知らせたくない宛先用です。Bccに入力したメールアドレスは他の送信相手には表示されません。

■ 宛先を削除するとき

①メールアドレスを選択し、●を押す
②[5]「宛先削除」▶[1]「はい」を押す

■ 宛先追加について

宛先を入力すると、宛先欄が自動的に追加されます。宛先はTo、Cc、Bccあわせて5件まで入力でき、メールを同時に送信（同報送信）できます。

- 通信料は1通のみ送信した場合と同じです。（ただし、追加した宛先の情報量については通信料が増えます。）
- 同じ宛先は入力できません。

4 [sb]「件名」を選択して●を押し、件名を入力して●を押す

- 全角15文字（半角30文字）まで入力できます。

5 [✎]「本文」を選択して●を押し、本文を入力して●を押す

- 全角5000文字（半角10000文字）まで入力できます。
- 文中で改行できます。かな方式の場合、改行するときは[#]を押します。改行も本文の文字数に含まれます。
- 本文を装飾することもできます。→P211

■ スペースを入力するとき

①本文入力中に[i]［機能］▶[7]「スペース入力」を押す
- メール本文の最後で[▶]を押しても半角スペースを入力できます。スペースも本文の文字数に含まれます。

■ 署名を挿入するとき

- 署名はあらかじめ登録しておく必要があります。

①本文入力中に[i]［機能］▶[▶]▶[▶]▶[3]「署名」を押す
- メール作成画面で[i]［機能］▶[3]「署名挿入」を押しても署名を挿入できます。

②[1]～[3]を押す
- 署名の文字数も本文の文字数に含まれます。

メール

iモードメール作成・送信

次ページへつづく

■ 位置情報URLを貼り付けるとき

- 位置情報URLを貼り付けたときはURLも文字数に含まれます。
- movaサービスのｉモード端末へ送信するときは、本文文字数の制限を超えた場合、URLの途中であっても、超えた文字数分のみが削除されますのでご注意ください。
- 本文の位置情報URLの前に が付加されます。

①本文入力中に[i]［機能］▶[○]▶[7]「位置情報引用」を押す

②[1]～[6]を押す

現在地確認	現在地の情報を取得して貼り付けます。 ①現在地確認結果画面で[●]を押す
位置履歴から	位置履歴一覧から位置情報を選択して貼り付けます。 ①位置履歴を選択し、[●]▶[●]を押す
電話帳から	電話帳に登録されている位置情報を選択して貼り付けます。 ①電話帳を検索し、[●]▶[●]を押す
プロフィールから	プロフィールに登録されている位置情報を貼り付けます。 ①[●]▶[●]を押す
画像データから	画像に埋め込まれている位置情報を選択して貼り付けます。 ①フォルダからファイルを選択し、[●]▶[●]を押す
スケジュールから	スケジュールに登録されている位置情報を貼り付けます。 ①スケジュールを選択し、[●]▶[●]を押す

③[1]「はい」を押す

- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

④[●]を押す

6 [✉]［送信］を押す

- 接続中に[✉]［中止］を押すと、接続が中止されます。ただし、タイミングによっては送信されることがあります。

お知らせ

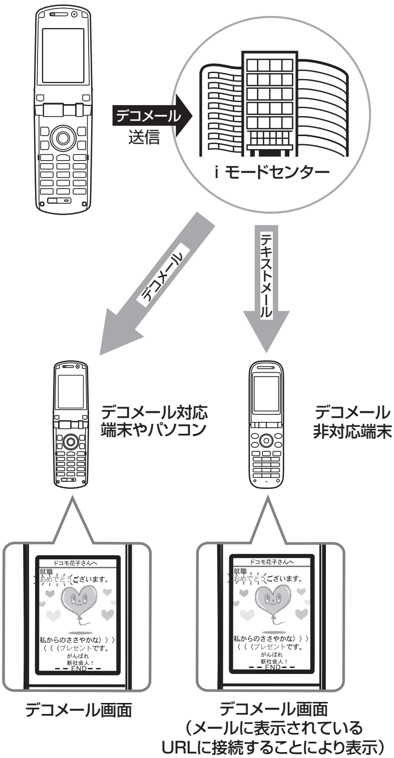
- [✉]▶[メール新規作成]「メール新規作成」を押してもメール作成画面を表示できます。
- 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- ｉモードメールを正常に送信できていても、電波状況によっては「送信できませんでした」というエラーメッセージが表示される場合があります。
- ｉモード端末（mova含む）どうしのメールのやりとり以外では半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。正しく表示されない場合があります。
- 一部の絵文字は、相手のｉモード端末の機種によっては正しく表示されない場合があります。
- 送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、ｉモードメールが未送信BOXに保存されます。未送信BOXからｉモードメールを編集・送信できます。→P216
- 送信が正常に終了したときは、ｉモードメールは送信BOXに保存されます。送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護されていない送信メールから古い順に上書きされます。残しておきたい送信メールは保護してください。→P227
- ドコモ以外のメールアドレスにメール送信を行った場合に宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。
- 相手がシークレットコードを登録しているときは、宛先に相手のｉモード端末の電話番号に続けて4桁のシークレットコードを入力してください。
- 未送信メールや保護されているメールで、メールの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、ｉモードメールは作成できません。送信・未送信BOXから不要なｉモードメール、SMSを削除してください。→P227
- ToとCcに設定したメールアドレスは、受信側に表示されます。ただし、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては表示されない場合があります。
- 署名設定に署名が登録・設定されていれば、メール作成時に設定した署名が自動的に付加されます。

デコメール

デコメールを作成して送信する

iモードメールの本文には、文字色や文字サイズを変更したり、デコメールピクチャやカメラで撮影した写真を挿入するなど、表現力豊かなメールを作成し、送信できます。
デコメールの作成方法には、装飾を指定してから文字を入力する方法と、文字を入力してから装飾する方法があります。→P212

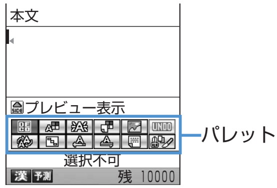
- お買い上げ時に登録されている画像について→P363



装飾を指定してから文字を入力する

1 メール作成画面で✎「本文」を選択して◉を押し、✉［デコレーション］を押す

2 パレットで装飾を選択する



パレットでマークにカーソルを合わせて◉を押すと、その装飾が選択されます。複数のマークを選択することで、複数の装飾が設定できます。ただし、「テロップ」「スウィング」「文字位置」は同時に設定できません。

■ 文字またはライン（罫線）色を変更するとき

① [アイコン]を選択し、◉▶文字色を選択し、◉を押す
- 30色から選択できます。
- 絵文字の文字色も変更されます。元に戻すときは範囲を選択し、「指定なし」を選択してください。→P212

② ✉［本文入力］を押して文字を入力し、◉を押す

■ 文字サイズを変更するとき

① [アイコン]を選択し、◉▶文字サイズを選択し、◉を押す
- 「大」「標準」「小」から選択できます。

② ✉［本文入力］を押して文字を入力し、◉を押す

■ 画像を挿入するとき

① [アイコン]を選択し、◉▶フォルダを選択し、◉を押す

② 画像を選択し、◉を押す
[アイコン]で指定されている位置に画像が挿入されます。
- JPEGまたはGIF形式の静止画を、メール本文を含め約10000バイトまで挿入できます。
- 位置情報付き静止画を挿入したときは、静止画の後に位置情報URLが付加されます。位置情報付き静止画を添付したメールを送信した場合、添付された静止画の位置情報は削除されます。ただし、本文の位置情報URLは削除されません。
- 本文入力中に挿入した画像にカーソルを合わせてi［機能］▶◎▶◎▶4「情報表示」を押すと、画像の情報が表示されます。

■ 文字を点滅させるとき

①[点滅]を選択し、◉を押す
②✉［本文入力］を押して文字を入力し、◉を押す
入力した文字が点滅します。点滅は一定期間が経過すると停止します。

■ 文字または画像を流して表示（テロップ表示）させるとき

①[テロップ]を選択し、◉を押す
②✉［本文入力］を押して文字を入力し、◉を押す

■ 文字または画像を左右に揺らして表示（スウィング表示）させるとき

①[スウィング]を選択し、◉を押す
②✉［本文入力］を押して文字を入力し、◉を押す

■ 文字または画像の表示位置を変更するとき

①[文字位置]を選択し、◉▶表示位置を選択し、◉を押す
- 「左寄せ」「センタリング」「右寄せ」から選択できます。

②✉［本文入力］を押して文字を入力し、◉を押す

■ 本文中にライン（罫線）を挿入するとき

①[ライン]を選択し、◉を押す

■ 本文の背景色を変更するとき

①[背景色]を選択し、◉▶背景色を選択し、◉を押す
- 30色から選択できます。
- 背景色によっては、画像やｉモーション取得先URLの文字色と重なり、URLが見えない場合があります。

■ 1つ前の状態に戻すとき

①[UNDO]を選択し、◉を押す
直前に行った装飾または文字入力などが解除されます。

■ コピー・切り取りするとき

①[コピー/切り取り]を選択し、◉▶「コピー」または「切り取り」を選択し、◉を押す
②始点を選択し、◉を押す
③終点を選択し、◉を押す

■ 貼り付けするとき

①[貼り付け]を選択し、◉▶「貼り付け」を選択して◉を押す
- 以降の操作：→P355「文字を貼り付ける」手順2

■ 装飾を変更するとき

①[装飾変更]を選択し、◉を押す
②始点を選択し、◉を押す
③終点を選択し、◉を押す
④パレットで装飾を選択する

3 i［閉じる］を押す

■ 1つ前の状態に戻すとき

①i［機能］▶⊙▶⊙▶5「元に戻す」を押す

■ 装飾を確認するとき

①i［機能］▶⊙▶⊙▶6「プレビュー」を押す
- 設定した装飾と、入力できる残りのデータ量の正確なバイト数を確認できます。
- ▯を押しても装飾を確認できます。

■ 装飾をすべて解除するとき

①i［機能］▶1「デコレーション」▶⊙▶4「全解除」を押す
②1「はい」を押す
- 中止するときは2「いいえ」を押します。

お知らせ

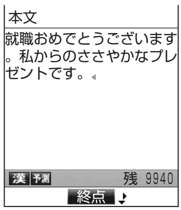
●本文入力中にi［機能］▶1「デコレーション」を押しても操作できます。

範囲を指定してから文字を装飾する

すでに入力されている文字の装飾や、装飾されている文字の装飾変更ができます。
- ライン挿入、画像挿入、背景色、コピー／切り取り／貼り付けは操作できません。

1 メール作成画面で✎「本文」を選択して◉を押し、i［機能］▶1▶⊙▶3「デコレーション変更」を押す

2 始点を選択し、◉を押す



- 文章すべてを選択するときはi［全選択］▶1「はい」を押します。手順4へ進みます。

3 終点を選択し、◉を押す



4 装飾方法を選択する

■ 文字またはライン（罫線）色を変更するとき

① [1]「文字色」▶文字色を選択し、●を押す

■ 文字サイズを変更するとき

① [2]「文字サイズ」▶[1]～[3]を押す

■ 文字を点滅させるとき

① [4]「点滅」▶[1]「設定」を押す
- 解除するときは[2]「解除」を押します。

■ 文字または画像を流して表示（テロップ表示）させるとき

① [5]「テロップ」▶[1]「設定」を押す
- 解除するときは[2]「解除」を押します。

■ 文字または画像を左右に揺らして表示（スウィング表示）させるとき

① [6]「スウィング」▶[1]「設定」を押す
- 解除するときは[2]「解除」を押します。

■ 文字または画像の表示位置を変更するとき

① [7]「文字位置」▶[1]～[3]を押す

お知らせ

●デコメールの場合、「文字色」、「文字サイズ」、「点滅」、「画像」、「ライン」のみコピーまたは切り取り元の装飾情報を引き継ぎます。それ以外の装飾情報については引き継がず、貼り付け先の指定に従います。

●本文入力中にコピー・切り取りしたデコメール本文をそのまま貼り付けできるのは、その本文のあるメール本文入力画面のみです。それ以外の場所では、装飾が解除されテキストデータのみの貼り付けデータになります。またプレビュー表示や署名挿入など他の操作を行った場合も装飾が解除されます。

●装飾したデコメールの本文をコピー・切り取りするとき、装飾データが引き継がれるのは、最後にコピー・切り取りしたもののみです。それ以前のものは装飾が解除され、テキストデータのみの貼り付けデータになります。

●装飾した文字を削除しても、装飾データのみが残り、入力文字数が少なくなる場合があります。装飾の解除を行ってから文字を削除してください。なお、[CLR]を1秒以上押して文字を削除した場合は、装飾データを含めて文字が削除されます。

●デコメールを非対応端末に送信した場合、メール本文にデコメール閲覧用のURLをつけて送信し、受信者はURLを選択し、サイトに接続することによりデコメールを表示・閲覧することができます。また、相手の機種によっては正しく受信できなかったり、表示できない場合があります。

●デコメール閲覧用のURLのついたメールを受信した非対応端末から、他の端末へメールを転送したり、URLを直接入力しても、受信した端末以外からはデコメールは閲覧できません。

●受信したデコメールを引用返信、転送した場合、装飾と挿入した画像は引用された状態で本文が表示されます。

●パソコンなどから送信された装飾付きメールを受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。

●画像のみやラインのみのデータをコピーすると、貼り付けデータ一覧画面には「デコメールデータ」と表示されます。

テンプレートを利用する

FOMA端末に登録されているテンプレートを利用して、デコメールを作成できます。テンプレートとは、レイアウトや装飾が決められているデコメール用の雛形です。テンプレートを利用することにより、簡単にデコメールを作成／送信することができます。

- お買い上げ時に登録されている画像について
→P363

お知らせ

●送受信したデコメールをテンプレートとして登録できます。送受信メール表示画面で[i]［機能］▶「テンプレートへ保存」を選択し、●を押します。

●テンプレートはサイトからダウンロードすることができます。ダウンロードしたテンプレートは「マイピクチャ」→「デコメールピクチャ」フォルダに保存され、編集することもできます。→P183

<テンプレート選択>

テンプレートを利用してデコメールを作成する

1 メール作成画面で[i]［機能］▶[2]「テンプレート選択」を押す

2 テンプレートを選択し、●を押す

テンプレートの内容がメール作成画面に設定されます。
- ファイルが添付されているときやメール本文が入力されているときにテンプレートの読み込みを行うと、確認画面が表示されます。[1]「はい」を押し、テンプレートを選択するとメールは上書きされます。中止するときは[2]「いいえ」を押します。

3 内容を追加・修正して送信する

お知らせ

●本文入力中に[i]［機能］▶[2]「テンプレート」を押しても操作できます。

●テンプレート自体は添付できません。

テンプレートを作成する

1 [✉]▶

▶[1]を押す

2 テンプレートを作成し、●を押す
- 作成方法について→P211

3 [1]「はい」を押す
- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

お知らせ

- データBOXの容量が足りないときや、最大保存件数を超えるとき→P297

テンプレート一覧を表示してテンプレートを利用する

登録されているテンプレートを一覧表示し、内容を確認してメール作成画面に設定したり、テンプレートを編集できます。

1 [✉]▶▶[2]を押す

2 テンプレートを選択し、[●]を押す

■ タイトルを編集するとき

① [i]［機能］▶[4]「タイトル編集」を押す
② タイトルを入力し、[●]を押す
- 全角18文字（半角36文字）まで入力できます。

■ テンプレートの情報を見るとき

① [i]［機能］▶[5]「情報表示」を押す

■ デコメールピクチャのファイル名を編集するとき

① [i]［機能］▶[◎]▶[3]「ファイル名編集」を押す
② ファイル名を入力し、[●]を押す
- 半角36文字まで入力できます。

■ テンプレートを並べ替えるとき

① [i]［機能］▶[◎]▶[4]「ファイルソート」を押す
② [1]～[7]を押す

日付順（新→旧）	保存日時の新しい順に並べ替えます。
日付順（旧→新）	保存日時の古い順に並べ替えます。
タイトル順（昇順）	タイトルの昇順に並べ替えます。
タイトル順（降順）	タイトルの降順に並べ替えます。
ファイルサイズ（昇順）	ファイルサイズの昇順に並べ替えます。
ファイルサイズ（降順）	ファイルサイズの降順に並べ替えます。
取得元別	取得元の順に並べ替えます。 • 取得元別のソートができるのは、お客様が作成したフォルダ（ユーザーフォルダ）のみです。

■ メールを作成するとき

① テンプレート表示中に[✉]［メール作成］を押す
テンプレートの内容がメール作成画面に設定されます。
② 内容を追加・修正して送信する

■ テンプレートを編集するとき

① テンプレート表示中に[●]を押す
② 内容を追加・修正し、[●]を押す
③ [1]「上書き保存」または[2]「新規保存」を押す

テンプレートを削除する

1 テンプレートを選択し、[i]［機能］▶[◎]▶[◎]▶[2]「削除」を押す

2 [1]「1件削除」を押す

■ 選択削除するとき

① [2]「選択削除」を押す
② テンプレートを選択し、[●]を押す
- 解除するときは[●]を押します。

③ [i]［実行］を押す

■ 全件削除するとき

① [3]「フォルダ内全件削除」を押す
② 端末暗証番号を入力し、[●]を押す

3 [1]「はい」を押す
- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

メロディ／画像／動画／iモーションメール

ファイルを添付する

iモードメールに静止画やメロディを添付して送信します。また、FOMA端末で撮影またはサイトから取得した動画・iモーションなどを添付して、iモーションメールとして送信できます。
- 添付可能なファイルは次のとおりです。

SMF形式メロディ	最大10件添付可能	静止画とメロディを合計最大10件、メール本文を含め最大10000バイト添付できます。ファイルサイズによって、添付可能な最大件数は変わります。
10000バイト以下のJPEG、GIF形式静止画		
10001バイト以上、500Kバイト以下のJPEG形式静止画（大容量静止画）	1件のみ添付可能	大容量静止画と動画・iモーションは、1件のメールにどちらか1件だけを添付できます。
500Kバイト以下の動画・iモーション		

1 メール作成画面で[添付]「添付」を選択し、[●]を押す

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

2 ファイルを添付する

- 静止画、動画・ｉモーション、メロディを選択し、✉［再生］を押すと再生できます。一覧画面に戻るにはCLRを押します。
- 添付できない静止画、動画・ｉモーション、メロディは選択できません。

■静止画を添付するとき

①1「イメージ添付」を押し、フォルダを選択して●を押す

②静止画を選択し、●を押す

- 位置情報付き静止画を添付する場合は、確認画面が表示されます。1「貼り付ける」を押すと、あわせてメール本文に位置情報URLが付加されます。2「画像のみ添付」を押すと、画像のみが添付されます。中止するときは3「キャンセル」を押します。
- 画像サイズがQVGAを超える静止画の場合は、確認画面が表示されます。1「はい」▶●を押すと、画像が添付されます。ファイルサイズが500Kバイトを超えるJPEG形式の静止画の場合は、自動的に500Kバイト以下に変換されたあと表示され、●を押すとデータBOXに保存され、添付されます。

■動画・ｉモーションを添付するとき（ｉモーションメール）

①2「ｉモーション添付」を押し、フォルダを選択して●を押す

②動画・ｉモーションを選択し、●を押す

- 500Kバイトを超えるｉモーションの場合は、確認画面が表示されます。1「はい」を押して動画を切り出してください。→P286

■メロディを添付するとき

①3「メロディ添付」を押し、フォルダを選択して●を押す

②メロディを選択し、●を押す

■静止画・動画を撮影し、すぐ添付するとき

①4「フォト撮影」または5「ムービー撮影」を押す

②撮影し、●を押す

「データBOX」→「マイピクチャ」（静止画）または「ｉモーション」（動画）→「カメラ」フォルダに保存されます。

- ファイルを1つ以上添付している場合に静止画や動画を撮影して添付すると、確認画面が表示されます。1「はい」を押すと、添付ファイルが解除されます。

■miniSDメモリーカード内のデータを添付するとき

①6「miniSD」を押し、フォルダを選択して●を押す

②データを選択し、●を押す

お知らせ

- 動画・ｉモーションや大容量静止画を添付した場合、本文に入力できる文字数が全角100文字（半角200文字）分、デコメールで全角200文字（半角400文字）分少なくなります。
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは添付できません。
- movaサービスのｉモード端末には、JPEG形式の静止画1枚のみ添付できます。その場合、movaサービスのｉモード端末はURL付きのｉショットメールとして受信します。
- メロディやGIF形式の静止画を添付すると、movaサービスのｉモード端末では受信できません。
- ｉモーションメールでは、撮影した動画などを本文を除き500Kバイトまで添付できます。最大サイズを超えたｉモーションは添付できません。また、ｉモーションによっては添付できないものもあります。
- 受信側がSA702i以外の場合、送信したメロディが正しく再生できないことがあります。
- 静止画をQVGAサイズ（240×320）に縮小できます。（→P279）QVGAサイズは待受画面のサイズであり、ｉモード対応端末に送るのに適したサイズです。
- 10000バイトを超えるJPEG形式の静止画が添付されたメールをｉモード対応端末に送信した場合、ｉショットセンターでｉモード対応端末に送るのに適したサイズに変換されます。
- 10000バイトを超えるGIF形式の静止画はメールに添付できません。
- ｉモーションメール送信時、送信相手側機種によっては、動画が荒くなったり、連続静止画に変換されて表示される場合があります。
- 位置情報付き静止画を添付したメールを送信した場合、添付された静止画の位置情報は削除されます。ただし、本文の位置情報URLは削除されません。

添付ファイルを再生／変更／情報表示／解除する

1 メール作成画面で添付ファイルを選択し、●を押す

2 項目を選択し、●を押す

再生	添付ファイルを再生します。
変更	添付ファイルを変更します。 • 以降の操作：→P214「ファイルを添付する」手順2
情報表示	添付ファイルの情報を表示します。
解除	添付ファイルを解除します。 ①1「はい」を押す • 中止するときは2「いいえ」を押します。

iモードメール保存

iモードメールを保存しておき、あとで送信する

- 送信済み・未送信のiモードメールとSMSは、送信BOXと未送信BOXあわせて400件まで保存できます。

iモードメールを保存する

作成途中のiモードメールを、送信せず未送信BOXに保存しておきます。

1 メール作成画面で[i]［機能］▶[1]「保存」を押す

- 件名、宛先、本文のいずれかが入力されているか、ファイルが添付されていると保存できます。

2 [1]「はい」を押す

- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

送信・保存したiモードメールを編集・送信する

送信済みや、送信せずに保存したり送信に失敗したiモードメールやSMSを、編集・送信できます。

- 保存してあるiモードメールやSMSは、1件ずつしか送信できません。

1 [✉]▶ 送信BOX または 未送信BOX を押す

2 フォルダを選択し、[●]を押す

3 メールを選択し、[●]を押す

4 メールを編集し、送信する

- 送信済みのメールを編集するときは[✉]［編集］を押します。

ツータッチメール作成

手早くiモードメールを作成する

FOMA端末電話帳のメモリ番号0～99の相手には、簡単な操作でiモードメールを作成できます。

- 複数のメールアドレスが登録されている場合、1件目のメールアドレスが宛先となります。

<例>メモリ番号27の相手にiモードメールを送信するとき

1 待受画面でメモリ番号（[2][7]）を押す

- メモリ番号の前に0などを付ける必要はありません。

2 [●]▶[3]「メール作成」を押す

- iモードメールの作成・送信方法→P209

お知らせ

●入力したメモリ番号に電話帳データが登録されていない場合は、メール作成できません。

メール自動受信

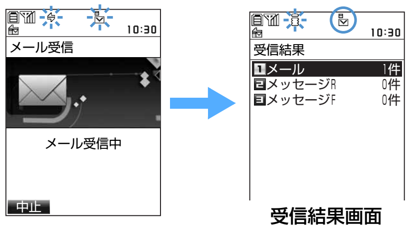
iモードメールを受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、iモードメールを自動的に受信します。受信したiモードメールは受信BOXに保存されます。

- 受信BOXにはSMSとあわせて1000件まで保存できます。
- 次のようなときに送られてきたiモードメールは、iモードセンターに保管されます。
  - テレビ電話通話中
  - セルフモード中
  - 赤外線通信利用中
  - データ通信中
  - 電源が入っていないとき
  - iモード圏外
  - メール選択受信設定ON中
  - 受信BOXが保護や未読メールで満杯のとき
  - FirstPassセンター接続中

1 iモードメールを受信する

[アイコン]と[アイコン]が点滅し、「メール受信中」と表示されます。受信が完了すると[アイコン]が点滅し、[アイコン]が点灯します。
メール着信音が鳴り、着信ランプが点灯／点滅して受信件数が表示されます。



受信結果画面

- [アイコン]：未読のiモードメールとSMSがあります。
- [アイコン]：未読のiモードメールがあります。
- [✉]［中止］を押すと、受信を中止できます。受信時の状況によってはメールを受信する場合があります。
- 受信結果画面は約30秒間表示されます。何も操作しないでいると、自動的に受信前の画面に戻ります。

新着iモードメールを表示する

1 受信結果画面で[1]「メール」を押す

- [2]「メッセージR」、[3]「メッセージF」を押すと、メッセージR/Fが表示されます。

2 フォルダを選択し、[●]を押す

3 メールを選択し、[●]を押す

- 受信メールの見かた→P222

メール
iモードメール保存

お知らせ

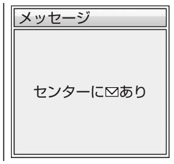
- 正しく表示できない文字はスペースなどで表示されます。
- 受信優先設定によっては、受信中画面や受信結果画面が表示されない場合があります。
- メール選択受信設定を「ON」に設定すると、メールを自動的に受信せずに、必要なメールだけを選択して受信できます。
- 新しいｉモードメールが届いたときには、ｉモードセンターで保管している他のｉモードメールやメッセージR/Fもあわせて受信します。
- FOMA端末がｉモードメールを受信すると、ｉモードセンター内のｉモードメールは削除されます。
- To、Cc、Bccを設定できる端末からのメールを受信した場合、自分がTo、Cc、Bccのどれに当てはまるかを確認できます。→P222
- 極端に容量の大きいｉモードメールは、ｉモードセンターで受け付けずに、エラーメッセージと共に送信者に返信されることがあります。
- ｉモードメールではメロディや静止画を添付ファイルとして送受信できます。対応していない添付ファイルはｉモードセンターで削除されます。添付ファイルが削除された場合は、本文に［添付ファイル削除］のメッセージが追加されます。
- 受信メール（本文+添付ファイル）のデータ量が、オプション設定の「メールサイズ制限」で設定した文字数（データ量）を超えた場合は、添付ファイルはｉモードセンターで削除され、もう一度受信できません。
- 添付ファイル受信設定が「受信しない」に設定されている場合は、添付ファイルはｉモードセンターで削除され、削除された添付ファイルを再度受信することはできません。
- 複数のｉモードメール、メッセージR/Fを同時に受信したときは、最後に受信したｉモードメール、メッセージR/Fに設定されている条件に従い着信音やバイブレータ、着信ランプが動作します。
- ｉモードメールを自動受信できないときは、ｉモードセンターに保管されます。保管されたメールは一定の時間をおいて最大3回再送されます。
- 受信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護されていない既読の受信メールから古い順に上書きされます。残しておきたい受信メールは保護してください。
- 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯で上書きできないときは、ｉモードメールの受信は中止され、画面には が表示されます。
- ｉモードセンターにｉモードメールが残っているときは、 が表示されます。ただし、ｉモードメールがあっても表示されない場合もあります。（例：電源が入っていないとき、圏外時）また、ｉモードセンターの保管件数が満杯になったときは、（オレンジ）が表示されます。
- 途中で受信に失敗した場合は、ｉモード問合せまたはメール選択受信を行ってｉモードメールを受信し直してください。

メール選択受信

ｉモードメールを選択して受信する

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除できます。メール選択受信をご利用になるためには、あらかじめメール選択受信設定を「ON」に設定します。なお、「ON」に設定した場合は、自動的にｉモードメールを受信できません。

ｉモードメールが届いたときは



ｉモードメールを受信すると、センターにメールがある旨のメッセージで確認できます。このとき、着信音やバイブレータは動作しません。

- ◉を押すと、待受画面または元の画面に戻ります。

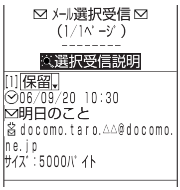
ｉモードメールを選択受信する

1 ✉▶［メール選択受信］を押す

■ メール選択受信設定が「OFF」のとき

① 1「はい」▶1「ON」を押す

- 設定しないときは2「OFF」を押します。



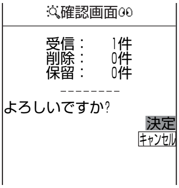
ｉモードに接続され、ｉモードセンターに保管されているｉモードメールが一覧表示されます。

- メールの末尾のアイコンの意味は次のとおりです。
  - 📷：静止画ファイルが添付されています。
  - ♪：メロディファイルが添付されています。
  - 🎥：ｉモーションが添付されています。

2 メールごとにプルダウンメニューから「受信」「削除」「保留」のいずれかを選択する

- 「保留」を選択した場合は、そのままｉモードセンターに保管されます。ｉモード問合せなどで受信できます。
- ページが複数ある場合は、メール一覧の最後に表示される「前ページ」「次ページ」を選択して⦿を押すと、前後のページを表示できます。

3 「受信/削除」を選択し、⦿を押す



■ ｉモードセンターに保管されている全メールを削除するとき

①「ｉモードセンターから全てのメールを」の「削除」を選択し、⦿を押す

4 「決定」を選択し、⦿を押す

お知らせ

●メール選択受信設定を「ON」に設定した場合でも、ｉモード問合せをすると全メールを受信しますので、受信したくない場合には、ｉモード問合せ設定の項目から「メール」を外しておいてください。→P230

ｉモード問合せ

ｉモードメールがあるかどうかを問い合わせる

圏外にいた時や電源を切っていた時にｉモードメールが届いていないかを問い合わせます。

- 電波状態によってはｉモード問合せができない場合がありますのでご了承ください。

1 ✉▶ｉモード問合せ を押す

ｉモードセンターにｉモードメールが保管されていれば受信します。

- メッセージR/Fの問い合わせの操作は、ｉモードメールと同じです。

お知らせ

●✉▶✉［✉問合せ］を押しても問い合わせができます。
●ｉモードセンターにｉモードメールが保管されているときは、✉が表示されます。ただし、ｉモードセンターに保管されているときでも✉が表示されない場合があります。（例：電源が入っていないとき、圏外時）
●お買い上げ時はメール、メッセージR、メッセージFをすべて受信する設定になっています。メッセージRやメッセージFの配信を希望されない場合は、設定を解除してください。→P230

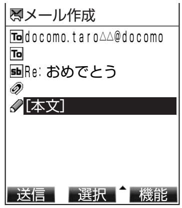
ｉモードメール返信

ｉモードメールに返信する

受信したｉモードメールやSMSに返信します。ｉモードメールへの返信には、返信する宛先のみ入力する方法と、受信したｉモードメールの本文を引用する方法があります。

- 受信メールによっては返信できない場合があります。

1 受信メール一覧画面でメールを選択し、ⓘ［機能］▶1「返信」を押す



件名には先頭に「Re:」の付いた受信メールの件名が入力されています。（ｉモードメールのみ）

- 受信したｉモードメールの本文を引用するには2「引用返信」を押します。
- 複数の宛先に送られた受信メールのときは1「送信元」または2「全員」を押します。

2 メールを編集して送信する

- 返信すると、アイコンが↩になります。

お知らせ

●受信メール表示画面から返信する場合は、✉［返信］を押します。引用返信の場合はⓘ［機能］▶1「引用返信」を押します。
●引用返信する際に引用した本文の先頭に付ける引用文字を設定できます。→P230
●SMSには引用返信できません。
●受信メールの添付ファイルは、返信メールには添付されません。
●発信元に非通知理由（「非通知設定」、「公衆電話」、「通知不可能」）が表示される受信SMSには返信できません。
●メール本文にｉアプリ起動の貼付データ（ｉアプリTo）がある場合、返信や転送をするとｉアプリToは引用できません。また、データリンクソフトや赤外線通信時もｉアプリ Toは引用できません。
●メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルがデコメールの本文に挿入されている場合、引用返信時に削除されます。
●件名の文字数が「Re:」と合わせて全角15文字（半角30文字）を超えたときは、超えた部分が削除されます。（ｉモードメールのみ）
●件名の先頭に「Re:」の付いた受信メールを返信する場合、新たに「Re:」は付きません。（ｉモードメールのみ）

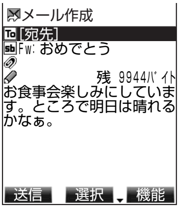
iモードメール転送

iモードメールを他の宛先に転送する

受信したiモードメールやSMSを他の宛先に転送できます。

- 受信したメールの種別でそれぞれ転送されます。
- 受信メールに添付ファイルがある場合は、そのまま転送メールに添付されます。

1 受信メール一覧画面でメールを選択し、[i]［機能］▶[3]「転送」を押す



件名には先頭に「Fw:」の付いた受信メールの件名が入力されています。（iモードメールのみ）

2 宛先を入力して送信する

- 転送すると、アイコンが になります。

お知らせ

- ●受信メール表示画面から転送する場合は[i]［機能］▶[2]「転送」を押します。
- ●受信メールの添付ファイル（静止画、メロディ）のうち、メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは転送メールに添付されません。
- ●10000バイトを超える静止画（大容量静止画）が添付されたメールで画像を取得していない場合は、転送時に画像は添付されません。
- ●メール本文にiアプリ起動の貼付データ（iアプリTo）がある場合、返信や転送をするとiアプリToは引用できません。また、データリンクソフトや赤外線通信時もiアプリ Toは引用できません。
- ●メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルがデコメールの本文に挿入されている場合、転送時に削除されます。
- ●受信したデコメールを引用した場合、装飾と挿入されている画像は引用された状態で本文が表示されます。また、転送時にサイズオーバーとなった場合は、メッセージが表示されます。
- ●件名の文字数が「Fw:」と合わせて全角15文字（半角30文字）を超えたときは、超えた部分が削除されます。（iモードメールのみ）

メロディ保存

iモードメールからメロディを再生・保存する

受信したiモードメールに添付または貼り付けられたメロディを再生・保存します。

- 送信側がSA702i以外の場合、送られてきたメロディが正しく再生できないことがあります。
- ミュージックプレイヤーでBGM再生中はメロディは自動再生されません。

1 メロディが添付されているiモードメールを表示する



- 添付ファイル種別のアイコンについて →P222
- メールを表示したときにメロディを自動再生させたくないときは、メロディ自動再生設定を「自動再生しない」に設定してください。

■ 添付ファイル一覧を表示するとき

①[i]［機能］▶[7]「添付ファイル確認」を押す
- メロディを選択し、●を押すと、再生します。
- メロディを選択し、[✉]［保存］を押すと、保存します。

2 メロディを選択し、●を押す

3 項目を選択し、●を押す

再生	メロディを再生します。 ・再生を途中で止めるときは[✉]［停止］を押します。
保存	メロディを保存します。 ・「データBOX」→「メロディ」→「iモード」フォルダに保存されます。miniSDメモリーカードからインポートされたメールなど、メールによっては「データ交換」フォルダに保存される場合があります。
設定	着信音などに設定します。 ①設定先を選択し、●を押す
情報表示	情報を表示します。
削除	削除します。 ①[1]「はい」を押す ・中止するときは[2]「いいえ」を押します。

お知らせ

- 添付ファイル一覧でメロディを選択し、i［機能］を押すと、着信音などへの設定、情報表示、削除を行うことができます。
- データBOXの空き容量が足りないときや、最大保存件数を超えるとき→P297

画像保存

画像メールの画像を表示・保存する

受信したｉモードメールに添付された静止画を表示・保存します。

1 静止画が添付されているｉモードメールを表示する



- 添付ファイル種別のアイコンについて→P222
- １つ目の添付ファイルが自動的に表示されます。

■ 添付ファイル一覧を表示するとき

①i［機能］▶7「添付ファイル確認」を押す
- 静止画を選択し、●を押すと、表示します。
- 静止画を選択し、✉［保存］を押すと、保存します。

2 静止画を選択し、●を押す

3 項目を選択し、●を押す

再生	静止画を表示します。
保存※	静止画を保存します。 •「データBOX」→「マイピクチャ」→「ｉモード」フォルダに保存されます。miniSDメモリーカードからインポートされたメールなど、メールによっては「データ交換」フォルダに保存される場合があります。
設定	待受画面などに設定します。 ①設定先を選択し、●を押す
情報表示	情報を表示します。
削除※	削除します。 ①1「はい」を押す • 中止するときは2「いいえ」を押します。

※ 大容量静止画のときは行えません。

お知らせ

- 添付ファイルで静止画を選択し、i［機能］を押すと、待受画面などへの設定、情報表示、削除ができます。ただし、大容量静止画の場合は、削除できません。
- 取得できる静止画は、JPEG形式またはGIF形式で約100Kバイトまでです。また、約500KバイトまでのJPEG形式の静止画（大容量静止画）が添付されたメールを受信した場合、適したサイズに変換されたあと取得できます。
- ｉモードメールに添付された10000バイトを超えるJPEG形式の静止画（大容量静止画）は、自動的に取得されます。自動取得された大容量静止画は、自動的に「データBOX」→「マイピクチャ」→「ｉモード」フォルダに保存されます。
- 大容量静止画を自動的に取得できなかった場合は、ｉモードメール中の「📷画像あり」を選択し、●▶1「データ取得」を押すと画像を取得することができます。●▶2「URL表示」を押すと、取得元のURLを表示できます。
- 静止画のサイズがディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。ただし、大きすぎるときは表示されないことがあります。
- 静止画によっては正しく表示できない場合があります。また、表示できるサイズは、横240ドット×縦320ドットまでです。サイズを超えた場合は、受信はできても表示することができません。
- 送信メールに添付した静止画も同様の操作で保存できます。
- データBOXの空き容量が足りないときや、最大保存件数を超えるとき→P297

ｉモーションメール

ｉモーションメールからｉモーションを再生・保存する

ｉモーションメールで送られてきた動画・ｉモーションのデータは、ｉモーションメールセンターに保管され、ｉモーション閲覧のためのURLが付加されたメールを受信します。

- 取り込めるｉモーションは、約500Kバイトまでです。

1 ｉモーションのURLを含むｉモードメールを表示する

2 ｉモーションのURLを選択し、●▶1「サイト接続」を押す

3 i［接続］を押す

- ｉモーション自動再生設定を「自動再生する」に設定しているときは、ダウンロードが完了すると自動的にｉモーションが再生されます。
- データ取得中に✉［中止］を押すと、取得が中止されます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

4 ダウンロードの完了後、項目を選択し、◉を押す

再生	ｉモーションを再生します。 • 再生画面の操作方法→P281
保存	ｉモーションを保存します。 • 「データBOX」→「ｉモーション」→「ｉモード」フォルダに保存されます。
設定	待受画面などに設定します。 • 以降の操作：→P283「動画・ｉモーションを音声着信などに設定する」手順3
情報表示	情報を表示します。
戻る	URL表示画面に戻ります。 • ｉモーションを保存していないときは、確認画面が表示されます。［1］「はい」を押すと、ｉモーションを保存せずにURL表示画面に戻ります。

お知らせ

● ｉモーション再生中に［i］［機能］を押しても、情報表示や拡大再生などができます。
●送信メールに添付されている動画・ｉモーションも同様にして再生できます。ただし、動画・ｉモーションがFOMA端末から削除されているときは再生できません。
● ｉモード端末へｉモーションメールを送信した場合、ｉモーションセンターに保存されたｉモーション閲覧用URL1件につき50回まで取得することができます。50回を超えた場合は、ｉモーションの取得ができなくなります。
●メールに添付されたｉモーションをパソコンなどで再生する場合は、対応のソフトが必要となります。詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

受信メールBOX／送信メールBOX

受信／送信メールBOXのメールを表示する

受信したメールは受信BOXに、送信したメールは送信BOXに保存されます。また、保存したメールや送信に失敗したメールは未送信BOXに保存されます。

• 送信メール、未送信メールは、送信BOX・未送信BOXのｉモードメールとSMSを合わせて400件まで、受信メールは1000件まで保存できます。（データの大きさによって、保存できる件数は変わります。）

＜例＞受信メールを表示する

1 ［✉］▶［受信BOX］を押す

• 送信メールは［送信BOX］「送信BOX」を、未送信メールは［未送信BOX］「未送信BOX」を押します。

2 フォルダを選択し、◉を押す

受信メール一覧画面が表示されます。

3 表示するメールを選択し、◉を押す

受信メール表示画面が表示されます。

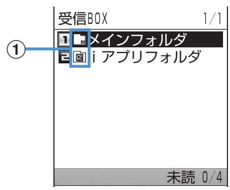
• ◀▶を押すと、前後のメールを表示できます。

お知らせ

●受信BOXや送信BOXの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護されていない既読の受信メールや保護されていない送信メールから古い順に上書きされます。必要なメールは保護することをおすすめします。
●送受信したメールの添付ファイルを確認するには、［i］［機能］▶「添付ファイル確認」を選択し、◉を押します。
●メール連動型ｉアプリ用フォルダを選択すると、対応するソフトが起動します。
●ソフトを起動させずにメール連動型ｉアプリ用フォルダ内のメールを見るときは、メール連動型ｉアプリ用フォルダを選択中に［i］［機能］▶◀▶▶［2］「フォルダ内全件表示」を押します。
●パソコンなどから送信された装飾付きメールを受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。
●デコメールを表示した場合、デコメールの背景色によっては画像やｉモーション取得先URLの文字色と重なってURLが見えない場合があります。
●送受信したデコメールをテンプレートとして登録できます。送受信メール表示画面で［i］［機能］▶「テンプレートへ保存」を選択し、◉を押します。
●miniSDメモリーカードにエクスポートしたメールは他の機器にコピーできます。（一部対応していない機器もあります。）

フォルダ一覧画面の見かた

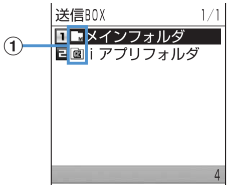
受信フォルダ一覧画面の見かた



① フォルダ種別
- ［M］：通常のフォルダ（メインフォルダにはMが付きます。）
- ［i］：メール連動型ｉアプリ用のフォルダ

• 未読メールがあるフォルダは青になります。
• セキュリティが設定されているときは、アイコンに［鍵］が付きます。

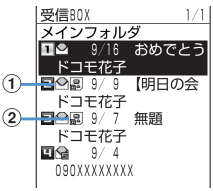
送信･未送信フォルダ一覧画面の見かた



①フォルダ種別
- ：通常のフォルダ（メインフォルダにはMが付きます。）
- ：メール連動型ｉアプリ用のフォルダ
- • セキュリティが設定されているときは、アイコンに が付きます。

受信／送信／未送信メールのメール一覧画面／表示画面の見かた

受信メール一覧画面の見かた



①メール種別
- ：未読メール
- ：既読メール
- ：返信済みメール
- ：転送済みメール
- ：未読SMS
- ：既読SMS
- ：返信済みSMS
- ：転送済みSMS
- • 保護しているときは が付きます。

②添付ファイル種別
- ：静止画※
- ：メロディ※
- ：大容量静止画
- ：大容量静止画（削除済み）
- ：大容量静止画（未取得）
- ：無効ファイル
- ：FOMAカード内SMS
- ：UIM実行制限ファイル
- ：メッセージｉアプリ
- ：ｉアプリ連携

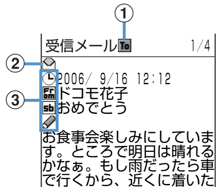
※削除済みには が付きます。

- 受信日時には、当日の場合は時刻、当日以外は日付が表示されます。
- 電話帳に登録されている発信元の場合、名前が表示されます。

お知らせ

- ｉモードメールでは、発信元または宛先のメールアドレスが電話帳のメールアドレスと一致すれば、電話帳に登録された名前で表示されます。SMSでは、発信元または宛先の電話番号が電話帳の電話番号と一致すれば、電話帳に登録された名前で表示されます。
- 10000バイトを超える画像（大容量静止画）が添付されているときは、静止画やメロディが添付されていても、 が表示されます。また、静止画やメロディのみ複数添付されているときは、先頭に添付されているファイルのアイコンが表示されます。

受信メール表示画面の見かた



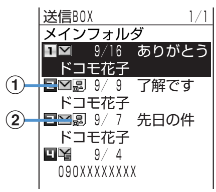
①受信タイプ種別
- ：送信元からToに設定されたメール
- ：送信元からCcに設定されたメール
- ：送信元からBccに設定されたメール

②メール種別・添付ファイル種別
- • 受信メール一覧画面と同じです。

③項目種別
- ：受信日時
- ：発信元※
- ：宛先（To）※
- ：宛先（Cc）※
- ：件名
- ：本文

※返信できないときはグレーになります。

送信／未送信メール一覧画面の見かた



①メール種別
- ：送信済みメール※
- ：送信済みSMS※
- ：送信失敗メール
- ：送信失敗SMS

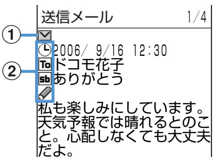
※未送信のときは青になります。
- • 保護しているときは が付きます。

② 添付ファイル種別
- ：静止画※
- ：メロディ※
- ：ｉモーション
- ：ｉモーション（削除済み）
- ：大容量静止画
- ：大容量静止画（削除済み）
- ：無効ファイル
- ：UIM実行制限ファイル
- ：FOMAカード内SMS
- ：メッセージｉアプリ

※ 削除済みにはが付きます。

- 送信日時には、当日の場合は時刻、当日以外は日付が表示されます。
- 電話帳に登録されている宛先の場合、名前が表示されます。

送信／未送信メール表示画面の見かた



① メール種別・添付ファイル種別
- 送信／未送信メール一覧画面と同じです。

② 項目種別
- ：送信日時
- ：宛先（To）※
- ：宛先（Cc）※
- ：宛先（Bcc）※
- ：件名
- ：本文

※ 送信に失敗したときは が付きます。（未送信メールのみ）

フォルダを作成・編集・削除する

フォルダを作成する

- 受信BOXと送信BOXにメインフォルダとメール連動型ｉアプリ用フォルダを含めて24個まで作成できます。すでに24個のフォルダがある場合は、メール連動型ｉアプリをダウンロードできません。
- メールフォルダのみが残っているメール連動型ｉアプリを再度ダウンロードする場合、そのフォルダを利用できますが、フォルダにセキュリティが設定されている場合は、端末暗証番号を入力したあとに、ダウンロードすることができます。フォルダを利用しない場合は、フォルダを削除して、新規フォルダを作成することができます。ただし、新規フォルダを作成しない場合は、メール連動型ｉアプリをダウンロードすることができません。

1 **フォルダ一覧画面で［機能］▶「フォルダ作成」を押す**

2 **フォルダ名を入力し、を押す**
- 全角8文字（半角16文字）まで入力できます。

フォルダ名を編集する

- メインフォルダのフォルダ名は編集できません。

1 **フォルダを選択し、［機能］▶「フォルダ名編集」を押す**

2 **新しいフォルダ名を入力し、を押す**

お知らせ

●メール連動型ｉアプリをダウンロードした場合、受信BOX・送信BOX・未送信BOXにｉアプリメール用フォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はソフト名と同じになり、変更はできません。

フォルダを削除する

- メインフォルダは削除できません。
- 保護されているメールがあるフォルダは削除できません。保護解除してからフォルダを削除してください。

1 **フォルダを選択し、［機能］▶「フォルダ削除」を押す**

2 **端末暗証番号を入力し、を押す**

3 **「はい」を押す**
- 中止するときは「いいえ」を押します。
- メール連動型ｉアプリ用フォルダは、対応するメール連動型ｉアプリがある場合は削除できません。削除すると、送信・未送信フォルダ一覧画面に作成されたメール連動型ｉアプリ用フォルダも削除することができます。

フォルダ一覧／メール一覧・表示画面での操作

<自動振り分け設定>

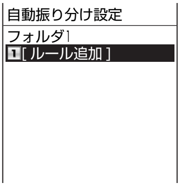
メールを自動的にフォルダに振り分ける

受信／送信したｉモードメールやSMSを、振り分け条件によって自動的にフォルダに振り分けます。
- メインフォルダには設定できません。
- 送受信メールの振り分け条件は、各フォルダにそれぞれ8件まで登録できます。

振り分け条件を設定する

<例>受信BOXに設定するとき

1 **フォルダを選択し、i［機能］▶3「自動振り分け設定」を押す**



ルール一覧画面

2 **「ルール追加」を選択し、●を押す**

3 **振り分け条件を設定する**

■ 送信元アドレスを条件にするとき

①1「送信元アドレス」を押す
②1〜6を押す

電話帳引用	①電話帳を選択し、●▶メールアドレスを選択し、●を押す
送信アドレス履歴引用	①アドレス履歴を選択し、●▶●を押す
受信アドレス履歴引用	①アドレス履歴を選択し、●▶●を押す
送信グループ引用	①メールアドレスを選択し、●を押す
プロフィール引用	①メールアドレスを選択し、●を押す
直接入力	①メールアドレスを入力し、●を押す

■ 件名を条件にするとき

①2「件名」を押す
②件名を入力し、●を押す

■ 全受信メールを条件にするとき

①3「全受信メール」を押す

4 **i［完了］を押す**

お知らせ

- ●送信BOXに設定する場合、振り分け条件は1「送信先アドレス」、2「件名」、3「全送信メール」と表示されます。
- ●振り分けは次の優先順位で行います。
  ①件名
  ②送信元(送信先)アドレス
  ③全受信(全送信)メール
- ●振り分け条件が他のフォルダにすでに設定されている場合、確認画面が表示されます。1「はい」を押すと、操作中のフォルダに設定されます。
- ●留守番電話サービスの着信通知で受信するSMSは、「送信先アドレス」、「件名」の振り分け条件で設定できません。
- ●メール連動型iアプリ用フォルダに自動振り分け設定を設定する場合、確認画面が表示されます。1「はい」を押すと、メール連動型iアプリ用のフォルダに設定されます。
- ●通常のメールをメール連動型iアプリ用フォルダにも自動振り分けすることができます。この場合、メール連動型iアプリの振り分け条件が優先されます。
- ●メール連動型iアプリに対応したメールを受信・送信した場合は、自動的にメール連動型iアプリ用フォルダに振り分けされます。

振り分け条件を編集する

1 **ルール一覧画面でルールを選択し、●を押す**

2 **1「はい」を押す**

- 中止するときは2「いいえ」を押します。
- 以降の操作：→P224「振り分け条件を設定する」手順3〜4

■ 振り分け条件を削除するとき

①ルールを選択し、✉［削除］▶1「1件削除」を押す
- 2「全件削除」のときは端末暗証番号を入力し、●を押します。

②1「はい」を押す
- 中止するときは2「いいえ」を押します。

お知らせ

- ●「送信元（送信先）アドレス」、「件名」が設定済みのフォルダに「全受信(全送信)メール」を設定しようとすると、確認画面が表示されます。1「はい」を押すと、設定済みの条件は削除され、「全受信（全送信）メール」が設定されます。

自動振り分け設定した後にメールを再振り分けする

自動振り分け設定の変更やフォルダ移動したメールなどを、現在の振り分け設定されているフォルダに移動します。
- すべてのフォルダのメールが対象になります。

1 **フォルダ一覧画面でi［機能］▶4「メール再振り分け」を押す**

2 **1「はい」を押す**

- 中止するときは2「いいえ」を押します。
- セキュリティが設定されているフォルダがある場合、確認画面が表示されます。1「はい」を押して端末暗証番号を入力し、●を押すと、メールが再振り分けされます。2「いいえ」を押すと、セキュリティが設定されているフォルダ以外が再振り分けされます。

フォルダを並べ替える

- メインフォルダは並べ替えられません。

<例>受信フォルダを並べ替えるとき

1 **フォルダを選択し、[i]［機能］▶[5]「フォルダ並べ替え」を押す**

2 **フォルダを選択し、[●]を押す**

3 **移動先を選択し、[●]を押す**
- 続けて他のフォルダを並べ替えるときは、手順2〜3を繰り返します。

4 **[i]［完了］を押す**

フォルダにセキュリティをかける

セキュリティを設定されたフォルダの閲覧や削除、自動振り分け設定などの操作時に、端末暗証番号の入力が必要になるため、他の人に見られなくなります。
- フォルダにセキュリティが設定されているメール連動型ｉアプリは自動起動やｉアプリ待受画面を起動することができません。

<例>受信フォルダにセキュリティをかけるとき

1 **フォルダを選択し、[i]［機能］▶[▶]▶[1]「セキュリティ設定」を押す**
- 解除するときは、[▶]▶[1]「セキュリティ解除」を押します。

2 **端末暗証番号を入力し、[●]を押す**

お知らせ

●フォルダ移動や自動振り分け設定によってセキュリティが設定されたフォルダへメールが移動する場合、端末暗証番号の入力は不要です。

<フォルダ内全件表示>

メールを全件表示する

受信／送信／未送信メールをフォルダごとに全件表示します。

<例>受信フォルダを全件表示するとき

1 **フォルダを選択し、[i]［機能］▶[▶]▶[2]「フォルダ内全件表示」を押す**
- 確認が終わったら[CLR]を押します。

■ BOX内のメールをすべて表示するとき

①[i]［機能］▶[▶]▶[3]「受信メール全件表示」を押す

メール全件一覧が表示されます。

フォルダ設定を元に戻す

フォルダに設定した内容がリセットされます。フォルダ内のメールはそのまま残ります。
- 次のようにリセットされます。
  - フォルダ名：新しいフォルダ
  - セキュリティの設定：OFF
  - 自動振り分け設定：ルールなし

<例>受信フォルダの設定を元に戻すとき

1 **フォルダを選択し、[i]［機能］▶[▶]▶[4]「フォルダ設定リセット」を押す**

2 **端末暗証番号を入力し、[●]を押す**

3 **[1]「はい」を押す**
- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

<アドレス確認>

メールアドレスを確認する

受信／送信／未送信メールの発信元や宛先のメールアドレスを表示します。

<例>受信メールのアドレスを確認するとき

1 **メールを選択し、[i]［機能］▶[▶]▶[1]「アドレス確認」を押す**

2 **メールアドレスを選択し、[✉]［詳細］を押す**
- 戻るには[✉]［一覧］を押します。
- [◀▶]で前後のメールアドレスの詳細が表示されます。

3 **[●]を押し、機能を選択し、[●]を押す**

メール作成※	メールを作成します。 • 以降の操作：→P209「ｉモードメールを作成して送信する」手順4〜6
電話帳新規登録	電話帳に登録します。 • 以降の操作：→P95「FOMA端末電話帳に登録する」手順2〜6、P99「FOMAカード電話帳に登録する」手順2〜4
電話帳追加登録	電話帳に追加登録します。 • 以降の操作：→P107「電話帳を修正する」手順2〜4
自動振り分け設定	振り分け条件に設定します。 ①フォルダを選択し、[●]を押す
送信グループ登録	①グループを選択し、[●]を押す • SMSの場合、送信グループに登録できません。
アドレスコピー※	アドレスをコピーします。

※ SMSのときは「SMS作成」、「電話番号コピー」と表示されます。

次ページへつづく

お知らせ

- 受信／送信メール表示画面から操作するときは、[i]［機能］▶「アドレス確認」を選択し、●を押します。
- メールアドレスが電話帳に登録されているときは、名前が表示されます。

<フォルダ移動>

受信／送信メールをフォルダに移動する

メールを別のフォルダに移動できます。

<例>受信メールを他のフォルダに1件移動するとき

1 メールを選択し、[i]［機能］▶[6]「フォルダ移動」を押す

2 [1]「1件移動」を押す

■ 選択移動するとき

① [2]「選択移動」を押す
② メールを選択し、●を押す
- 解除するときは●を押します。

③ [i]［実行］を押す

■ 全件移動するとき

① [3]「フォルダ内全件移動」を押す
- 検索結果一覧表示中は[3]「検索メール全件移動」、メール全件一覧では[3]「全件移動」を押します。

3 移動先フォルダを選択し、●を押す

4 [1]「はい」を押す
- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

<表示切替>

メール一覧の表示形式を設定する

受信／送信／未送信メール一覧の表示形式を設定します。

<例>受信メール一覧画面を表示切替するとき

1 メール一覧画面で[i]［機能］▶[7]「表示切替」を押す

2 [1]〜[3]を押す

日時/件名/送信元	一覧で日時／件名／送信元を表示します。
日時/送信元	一覧で日時／送信元を表示します。
件名/送信元	一覧で件名／送信元を表示します。

- 「送信元」は、送信／未送信メールでは「送信先」と表示されます。

<ソート>

受信／送信メールを並べ替える

受信／送信／未送信メール一覧の並び順を一時的に並べ替えます。

<例>受信メールをソートするとき

1 メール一覧画面で[✉]［ソート］を押す

2 [1]〜[6]を押す

受信日時（新→旧）	受信日時の新しい順に並べ替えます。
受信日時（旧→新）	受信日時の古い順に並べ替えます。
件名（昇順）	件名の昇順に並べ替えます。
件名（降順）	件名の降順に並べ替えます。
送信元（昇順）	送信元の昇順に並べ替えます。
送信元（降順）	送信元の降順に並べ替えます。

- 「受信日時」は、送信メールでは「送信日時」、未送信メールでは「保存日時」と表示されます。
- 「送信元」は、送信／未送信メールでは「送信先」と表示されます。

お知らせ

- メール一覧表示を終了すると、並び順は「受信日時（新→旧）」に戻ります。

<メール検索>

メールを検索して表示する

受信／送信／未送信メール一覧から検索条件を指定してメールを検索できます。

<例>受信メールを検索するとき

1 メール一覧画面で[i]［機能］▶[4]「検索」を押す

2 [1]〜[4]を押す

未読検索	未読メールを抽出します。
既読検索	既読メールを抽出します。
保護検索	保護されたメールを抽出します。
添付あり検索	添付ファイルがあるメールを抽出します。

- 送信メールでは「保護検索」、「添付あり検索」から選択できます。
- 未送信メールでは「送信失敗検索」、「未送信検索」、「添付あり検索」から選択できます。

■ 検索後に再検索するとき

① メール一覧画面で[i]［機能］▶[4]「検索」▶[1]「再検索」を押す
- 以降の操作は手順2と同じです。
- 最初の検索結果は破棄されます。

■ 検索結果一覧から戻るとき

①メール一覧画面でi［機能］▶4「検索」▶2「検索状態解除」を押す

<メール保護>

受信／送信メールを保護する

- 受信メールは500件まで、送信メールは200件まで保護できます。（データの大きさによって、保護できる件数は変わります。）
- FOMAカードのSMSは保護できません。

＜例＞受信メールを1件保護するとき

1 **メールを選択し、i［機能］▶5「保護」を押す**
- アイコンに が付きます。

■ 保護を解除するとき

①メールを選択し、i［機能］▶5「保護解除」を押す

②1「1件保護解除」を押す
- すべての保護メールを解除するときは2「全件保護解除」を押し、1「はい」を押します。

お知らせ

●メール表示画面から保護するにはi［機能］▶3「保護」を押します。保護解除するにはi［機能］▶3「保護解除」を押します。

<メール削除>

受信／送信メールを削除する

- 保護されているメールは削除できません。保護を解除してから削除してください。

＜例＞受信メールを1件削除するとき

1 **メールを選択し、i［機能］▶⊙▶5「削除」を押す**

2 **1「1件削除」を押す**

■ 選択削除するとき

①2「選択削除」を押す

②メールを選択し、●を押す
- 解除するときは●を押します。

③i［実行］を押す

■ 全件削除するとき

①3「フォルダ内全件削除」を押す
- 検索結果一覧表示中は3「検索メール全件削除」、メール全件一覧表示中は3「全件削除」を押します。

②端末暗証番号を入力し、●を押す

3 **1「はい」を押す**
- 中止するときは2「いいえ」を押します。

お知らせ

●メール表示画面から削除するには、i［機能］▶⊙▶⊙▶4「削除」を押します。

メールBOX内のメールを一括削除する

フォルダに関係なく、閲覧中のメールBOX内のメールを一括削除できます。
- 保護されたメールやFOMAカード内のSMSは削除されません。

＜例＞受信BOX内のメールを一括削除するとき

1 **受信フォルダ一覧画面でi［機能］▶7「受信メール一括削除」を押す**

2 **端末暗証番号を入力し、●を押す**

3 **1「はい」を押す**
- 中止するときは2「いいえ」を押します。
- セキュリティが設定されているフォルダがある場合、確認画面が表示されます。1「はい」を押すと、メールが一括削除されます。2「いいえ」を押すと、セキュリティが設定されているフォルダ以外のメールが一括削除されます。

メールの便利な機能

メールの文字サイズを設定する

1 **メールを表示し、i［機能］▶⊙▶2「文字サイズ」を押す**

2 **1～3を押す**

本文などをコピーする

ｉモードメール、SMSの本文などをコピーできます。
- 受信したデコメールをコピーするときは、テキストデータのみコピーされます。

1 **メールを表示し、i［機能］▶⊙▶3「コピー」を押す**

2 **項目を選択し、●を押す**

アドレス	メールアドレスをコピーします。 • メールアドレスが複数あるときは、メールアドレスを選択し、●を押します。
件名	件名をコピーします。
本文	本文をコピーします。 • 全角5000文字（半角10000文字）までコピーできます。

メール本文を利用する

メール本文の内容をユーザー辞書に登録したり、英単語辞書を使って調べたり、単語の読みの確認ができます。

<例>受信メールで利用するとき

1 メールを表示し、i［機能］▶ ◎を押す

2 項目を選択し、◉を押す

ユーザ辞書登録	• 指定できる文字数は全角20文字（半角40）文字までです。 ①始点を選択し、◉を押す ②終点を選択し、◉を押す ③よみを入力し、◉を押す
英単語辞書	①始点を選択し、◉を押す ②終点を選択し、◉を押す • 候補が複数あるときは、単語を選択し、◉を押します。
よみ確認	①始点を選択し、◉を押す ②終点を選択し、◉を押す • 文章のときは文節ごとに表示されます。文節を選択し◉を押します。

URLをブックマークに登録する

iモードメール、SMS、メッセージR/F本文中のURLをブックマークに登録できます。

<例>受信メールのURLからブックマーク登録するとき

1 URLを含むメールを表示してURLを選択し、◉を押す

2 2「Bookmark登録」を押す

• 以降の操作：P188「ブックマークに登録する」手順2～3

お知らせ

●Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To 機能が利用できます。

パーソナル検索

電話帳を利用してメールを検索する

電話帳から検索したい電話番号やメールアドレスを選択して、送受信BOX内から該当するメールを検索します。

• 受信メールのとき：送信元を検索できます。
• 送信メールのとき：先頭の送信先（To）1件を検索できます。

1 ✉▶ パーソナル検索 を押す

2 電話帳を選択し、◉▶◉を押す

3 電話番号やメールアドレスを選択し、◉を押す

• 解除するときは◉を押します。
• メールアドレスはすべて選択されています。

4 i［検索］を押す



• 検索を中止するときは✉［中止］を押します。
• セキュリティが設定されているフォルダがある場合、確認画面が表示されます。1「はい」を押して端末暗証番号を入力し、◉を押すと、検索が始まります。2「いいえ」を押すと、セキュリティが設定されているフォルダ以外が検索されます。

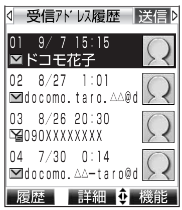
受信アドレス履歴・送信アドレス履歴

メールの履歴を利用する

受信／送信したメールのアドレス（電話番号）は、受信／送信アドレス履歴一覧に自動的に記録されます。受信／送信アドレス履歴には、それぞれ30件まで記録されます。

メールの履歴を表示する

1 ◎を1秒以上押す



アドレス履歴一覧画面

• ◎を1秒以上押すと受信アドレス履歴が表示され、◎を1秒以上押すと送信アドレス履歴が表示されます。
• ✉はiモードメールを、✉はSMSを示します。

2 アドレス履歴を選択し、◉を押す

アドレス履歴詳細画面が表示されます。

3 ◉を押す

• 以降の操作：→P193「メールアドレスを選択してできる機能」手順2

■ 電話帳に登録されている画像を背景として表示しないとき

①[i]［機能］▶[4]「シースルー表示OFF」を押す

- 表示するときは[4]「シースルー表示ON」を押します。

メールの履歴を利用する

1 アドレス履歴一覧画面でアドレス履歴を選択し、[i]［機能］を押す

2 項目を選択し、●を押す

音声発信※	音声電話をかけます。 • 以降の操作：→P193「電話番号を選択してできる機能」手順2
テレビ電話発信※	テレビ電話をかけます。 • 以降の操作：→P193「電話番号を選択してできる機能」手順2
フォト表示OFF	画像の表示をON／OFFします。 • 表示するときは「フォト表示ON」を選択し、●を押します。
プッシュ信号送信※	プッシュ信号を送信します。 • 通話中にアドレス履歴を表示する→P315

※ アドレス履歴詳細画面でも同様に操作できます。

お知らせ

●受信／送信アドレス履歴で「音声発信」や「テレビ電話発信」などを利用するときは、あらかじめ受信／送信した相手の電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する必要があります。

<メール履歴削除>

メールの履歴を削除する

1 アドレス履歴を選択し、[i]［機能］▶[3]「削除」を押す

2 [1]「1件削除」を押す

■ 選択削除するとき

①[2]「選択削除」を押す
②メールを選択し、●を押す
- 解除するときは●を押します。

③[i]［実行］を押す

■ 全件削除するとき

①[3]「全件削除」を押す
②端末暗証番号を入力し、●を押す

3 [1]「はい」を押す

- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

お知らせ

●アドレス履歴詳細画面から削除するには、[i]［機能］▶[3]「削除」を押します。

メール設定

FOMA端末のメール機能を設定する

1 [✉]▶[メール設定]を押す

機能名	内　容	参照先
iモード問合せ設定	iモードセンターに問い合わせる内容を設定します。	P230
添付ファイル受信設定	添付ファイルを受信するかどうかを設定します。	P231
メール選択受信設定	メールを自動受信せず、選択して受信できるようにします。	P230
メロディ自動再生設定	メロディが添付されたメールを表示したときに、自動再生するかどうかを設定します。	P231
受信優先設定	メールまたはメッセージR/Fを受信したときの受信中画面、および受信結果画面を優先的に表示するかどうかを設定します。	P232
署名設定	メールに付加する署名を登録します。	P230
引用符編集	メール返信のときに、引用する本文に付ける引用文字を設定します。	P230
スクロール設定	メール本文を表示したときのスクロール行数を設定します。	P232
返信自動学習	返信元メールに含まれている単語、カタカナを一時的に学習し、変換候補として利用できます。	P231
送信グループ登録	複数の宛先をメールグループとして設定します。	P230
SMS送達通知設定	SMSを送信する際に、送達通知の配信を要求するかどうかを設定します。	P236
SMSメッセージ有効期限	SMSセンターで送信したSMSの保管する期間を選択します。	P236
SMS入力文字種設定	SMS本文の入力方法を選択します。	P237
SMSセンター設定	ドコモ以外のSMSサービスへの接続先を設定します。	P237
メール設定確認	メール設定の設定内容を確認できます。	P232

メール／メール設定

次ページへつづく

機能名	内　容	参照先
メール設定リセット	メール設定をお買い上げ時の設定内容に戻します。	P232

＜署名設定＞

メールに署名を付ける

お買い上げ時	OFF

ｉモードメールの本文に自動的に付加する署名を設定します。3件まで設定できます。

1 ✉▶メール設定▶6を押す

2 1〜3を押す

- 設定しないときは4「OFF」を押します。操作はここで終了です。

■ 署名のタイトルを編集するとき

①署名を選択し、i［タイトル編集］を押す
②タイトルを入力し、●を押す
- 全角8文字（半角16文字）まで入力できます。

3 署名を入力し、●を押す

- 全角128文字（半角256文字）まで入力できます。
- SMS、チャットメールには署名が付加されません。

＜引用符編集＞

返信時に付加する引用文字を設定する

お買い上げ時	＞（半角）

メール返信のときに引用する本文に付ける引用文字を設定します。

1 ✉▶メール設定▶7を押す

2 引用符を入力し、●を押す

- 全角5文字（半角10文字）まで入力できます。

＜ｉモード問合せ設定＞

センター問い合わせの内容を設定する

お買い上げ時	すべて問合せ

ｉモードセンターへ問い合わせをするときに、ｉモードメール、メッセージR/Fの中から受信する項目を設定します。
ｉモード設定のｉモード問合せ設定と設定内容は同じです。
- 受信をしない場合は、□に設定してください。

1 ✉▶メール設定▶1を押す

2 項目を選択する

- ●を押すたびに選択／解除が切り替わります。

3 i［完了］を押す

＜メール選択受信設定＞

メールを選択して受信できるようにする

お買い上げ時	OFF

1 ✉▶メール設定▶3を押す

2 1「ON」を押す

- 設定しないときは2「OFF」を押します。

お知らせ

●メール選択受信設定を「ON」に設定しているときは、自動的にメールを受信できません。また、メール着信音やバイブレータも動作しません。
●メール選択受信設定を「ON」に設定しているときにｉモードセンターにメールが届くと、メッセージが表示されます。

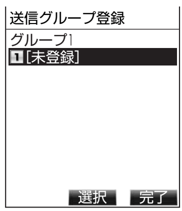
＜送信グループ登録＞

宛先をメールグループに登録する

複数のメールアドレスをメールグループに登録すると、ｉモードメール作成時に簡単な操作で複数の宛先が設定できます。
- 最大10グループ登録できます。1メールグループにつき最大5件のメールアドレスを登録できます。
- 同一グループ内には重複してメールアドレスを登録できません。他グループとは重複してメールアドレスを登録できます。

1 ✉▶メール設定▶○◀▶1を押す

2 グループを選択し、●を押す



■ メールグループ名を編集するとき

①グループを選択し、i［機能］▶1「グループ名編集」を押す
②グループ名を入力し、●を押す
- 全角8文字（半角16文字）まで入力できます。

メール
メール設定

■ メールグループ内のメールアドレスをすべて削除するとき

①グループを選択し、i［機能］▶2「削除」を押す
②1「はい」を押す
- 中止するときは2「いいえ」を押します。

3 「未登録」を選択し、●を押す

■ メールアドレスを修正するとき

①メールアドレスを選択し、●を押す
②1「はい」を押す
- 手順4に進みます。
- 中止するときは2「いいえ」を押します。

■ メールアドレスを削除するとき

①メールアドレスを選択し、✉［削除］を押す
②1「1件削除」を押す
- 2「全件削除」のときは端末暗証番号を入力し、●を押します。

③1「はい」を押す
- 中止するときは2「いいえ」を押します。

4 6「直接入力」を押してメールアドレスを入力し、●を押す

メールアドレスが登録されます。
- 半角50文字まで入力できます。
- 電話帳に登録されているメールアドレスは、登録されている名前が表示されます。電話帳に登録されていない場合は、メールアドレスが表示されます。
- 他のメールアドレスを追加する場合は、手順3〜4を繰り返します。

■ 電話帳から入力するとき

①1「電話帳引用」を押す
②電話帳を選択し、●を押す
③メールアドレスを選択し、●を押す

■ 送受信アドレス履歴から入力するとき

①2「送信アドレス履歴引用」または3「受信アドレス履歴引用」を押す
②アドレス履歴を選択し、●を押す
③●を押す

■ プロフィールから入力するとき

①5「プロフィール引用」を押す
②メールアドレスを選択し、●を押す

5 i［完了］を押す

<返信自動学習>

返信メール作成時に返信元メールの単語を利用する

お買い上げ時	ON

返信メールの本文入力時に、返信元メールに含まれている単語、カタカナを一時的に学習し、変換候補として利用できます。

1 ✉▶メール設定▶9を押す

2 1「ON」を押す

- 利用しないときは2「OFF」を押します。

<メロディ自動再生設定>

メロディを自動再生するかどうかを設定する

お買い上げ時	自動再生する

メロディが添付されているｉモードメールを表示したときに、メロディを自動的に再生するかどうかを設定します。

1 ✉▶メール設定▶4を押す

2 1「自動再生する」または2「自動再生しない」を押す

お知らせ

●複数のメロディが添付されているときは、添付されている順番にメロディが再生されます。ただし、ファイル形式の異なるメロディが添付されているなど、メロディによっては順番どおりに再生されない場合もあります。

<添付ファイル受信設定>

添付ファイルを受信するかどうかを設定する

お買い上げ時	画像とメロディ

ｉモードメールに添付されている静止画、添付メロディを受信するかどうかを設定します。

1 ✉▶メール設定▶2を押す

2 1〜3を押す

- 受信しないときは4「受信しない」を押します。

お知らせ

●受信しない添付ファイルはｉモードセンターで削除され、受信できなくなりますのでご注意ください。
●画像を受信しない設定にすると、デコメールの挿入画像も受信できなくなります。
●メール本文に貼り付けられたMFi形式のメロディは、添付ファイル受信設定にかかわらず受信できます。

＜受信優先設定＞

操作中のメール受信通知を設定する

お買い上げ時	受信通知優先

FOMA端末の操作中に、メールまたはメッセージR/Fを受信したときの受信中画面、および受信結果画面を優先的に表示するかどうかを設定します。

1 [✉]▶[メール設定]▶[5]を押す

2 [1]「受信通知優先」または[2]「ユーザー操作優先」を押す

受信通知優先	メールを受信したときは、実行中の機能を一時的に中止し、受信中画面および受信結果画面を表示します。
ユーザー操作優先	メールを受信したときに他の機能を実行中の場合は、受信中画面および受信結果画面を表示しません。受信はアイコンでお知らせし、着信音やバイブレータなども動作しません。

お知らせ

●次の場合、「受信通知優先」に設定しても、受信中画面および受信結果画面は表示されません。
- 音声電話通話中
- テレビ電話通話中（SMS受信のみ）
- 静止画／動画撮影中
- ボイスレコーダー起動中
- チャットメール起動中
- ｉアプリ起動中

＜スクロール設定＞

メールのスクロール行数を設定する

お買い上げ時	1行

メール本文を表示中に[◎]を押したときのスクロール行数を設定します。

1 [✉]▶[メール設定]▶[8]を押す

2 [1]～[5]を押す

お知らせ

●受信／送信メールの表示中にスクロール設定を変更する場合は、[i]［機能］▶「スクロール設定」を選択し、[●]を押します。

＜メール設定確認＞

メール設定の内容を確認する

1 [✉]▶[メール設定]▶[◎]▶[6]を押す

＜メール設定リセット＞

メール機能の設定を初期状態に戻す

1 [✉]▶[メール設定]▶[◎]▶[7]を押す

2 端末暗証番号を入力し、[●]を押す

3 [1]「はい」を押す
- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

お知らせ

●メール設定リセットをしても、SMSメッセージ有効期限、SMS入力文字種設定、SMSセンター設定はお買い上げ時の設定内容には戻りません。

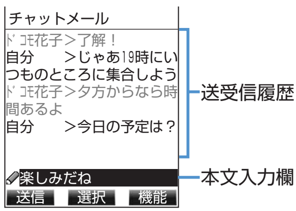
チャットメール作成・送信

チャットメールを作成して送信する

複数の相手と会話をするような感覚でメールの交換ができます。

- メール選択受信設定を「ON」に設定しているときは、チャットメールをご利用いただけません。
- 複数の相手とチャットメールをやり取りした場合の通信料は、同報メール送信の場合と同じです。
- 次の条件をすべて満たすメールは、チャットメールと識別されます。
  - チャットメンバーに登録されているメールアドレスからのｉモードメール
  - 件名に「チャットメール」（すべて半角またはすべて全角）が含まれている
  - デコメールではない

チャットメール画面の見かた



チャットメール画面

<メンバー登録>

チャットメンバーを登録する

チャットメールをやり取りする相手を登録します。
- チャットメンバーには5件まで登録できます。
- 同じメールアドレスを複数登録することはできません。

1 [✉]▶[チャットメール]を押す



- すでにチャットメンバーが登録されているときはチャットメール画面が表示されます。[i]［機能］▶[3]「メンバー設定」を押し、手順2へ進みます。

2 **[i]［機能］▶[1]「新規追加」を押す**

■チャットメンバーを編集するとき

①**チャットメンバーを選択し、[i]［機能］▶[2]「編集」を押す**
②**編集する欄を選択し、[●]を押す**
- ニックネームを編集するときは手順4、宛先を編集するときは手順3、表示色を編集するときは手順5へ進みます。
- 「自分」のニックネーム、表示色を編集することもできます。

③**[✉]［完了］を押す**

■チャットメンバーを削除するとき

①**チャットメンバーを選択し、[i]［機能］▶[3]「削除」を押す**
②**[1]「1件削除」を押す**
- [2]「全件削除」を押したときは端末暗証番号を入力し、[●]を押します。

③**[1]「はい」を押す**
- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

3 **[5]「直接入力」を押して宛先を入力し、[●]を押す**
- 半角50文字まで入力できます。

■電話帳から入力するとき

①**[1]「電話帳引用」を押す**
②**電話帳を選択し、[●]を押す**
③**メールアドレスを選択し、[●]を押す**

■送受信アドレス履歴から入力するとき

①**[2]「送信アドレス履歴引用」または[3]「受信アドレス履歴引用」を押す**
②**アドレス履歴を選択し、[●]を押す**
③**[●]を押す**

■送信グループから入力するとき

- あらかじめメール設定で送信グループを登録しておく必要があります。

①**[4]「送信グループ引用」を押す**
②**[◀▶]でグループを選択する**
③**宛先を選択する**
- 不要な宛先を解除するときは[●]を押します。

④**[i]［完了］を押す**

4 **ニックネーム欄を選択し、[●]▶ニックネームを入力し、[●]を押す**
- 全角4文字（半角8文字）まで入力できます。
- ニックネームが未入力の場合、宛先の先頭半角8文字が表示されます。

5 **表示色欄を選択し、[●]▶表示色を選択し、[●]を押す**

6 **[✉]［完了］▶[✉]［完了］を押す**

チャットメールを作成して送信する

- 送信したチャットメールは送信BOXに保存されます。
- 送信に失敗したチャットメールは未送信BOXに保存されます。再送信する場合は、未送信BOXから送信してください。

1 **[✉]▶[チャットメール]を押す**

2 **[●]を押す**

■送信するメンバーを設定するとき

①**[i]［機能］▶[3]「メンバー設定」を押す**
②**メンバーを選択し、[●]を押す**
- 解除するときは[●]を押します。

③**[✉]［完了］を押す**

3 **本文を入力し、[●]を押す**
- 全角250文字（半角500文字）まで入力できます。

4 **[✉]［送信］を押す**

送信されたチャットメールの本文が、チャットメール画面に表示されます。

<チャットメール受信>

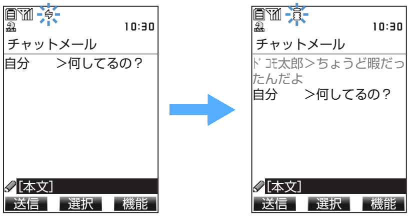
チャットメールを受信する

- チャットメールは最新のものから50件まで表示されます。
- 受信したチャットメールは、受信BOXに保存されます。チャットメール画面で受信したチャットメールは、受信BOXでは既読メールとなります。
- チャットメールに着信音を設定できます。iモーションを着信音に設定した場合は、チャットメール画面表示中にチャットメールを受信しても再生しません。また、待受画面などでチャットメールを含む複数のメールを同時に受信した場合は、最後に受信したメールに設定されている着信音が動作します。

次ページへつづく

- チャットメールの表示可能文字数は全角250文字（半角500文字）までです。
- 受信したチャットメールにファイルが添付されている場合は、チャットメール画面では本文のみ表示されます。
- 受信したチャットメールの本文中に電話番号やメールアドレス、URLが含まれていても、チャットメール画面ではPhone To (AV Phone To)・Mail To・Web To機能を利用できません。受信BOXからチャットメールを表示したときは、Phone To (AV Phone To)・Mail To・Web To機能を利用できます。

1 チャットメール画面表示中にチャットメールを受信する



着信音が鳴り、チャットメール画面の先頭に本文が表示されます。チャットメール作成中に受信した場合も、同様に表示されます。

チャットメール画面表示中以外に受信したとき

1 受信メール一覧画面で件名に「チャットメール」（すべて半角またはすべて全角）が含まれているｉモードメールを選択し、●を押す

2 [1]「はい」を押す

- 送信者がチャットメンバーとして登録されていないときは、チャットメンバーに登録されます。すでに5件登録されているときは、登録できません。
- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

チャットメール画面でできること

受信できなかったチャットメールを受信する

受信できずにｉモードセンターに保管されているチャットメールを受信します。

1 チャットメール画面で[i]［機能］▶[1]「更新」を押す

最新のチャットメールの宛先を確認する

1 チャットメール画面で[i]［機能］▶[2]「最新メール宛先確認」を押す

■ **未設定のチャットメンバーを設定するとき**

① [✉]［設定］を押す
② メンバーを選択し、●を押す
- 解除するときは●を押します。

③ [✉]［完了］を押す

文字サイズを切り替える

1 チャットメール画面で[i]［機能］▶[6]「文字サイズ切替」を押す

- 元のサイズに戻すにはもう一度[i]［機能］▶[6]「文字サイズ切替」を押します。

<チャットメール削除>

チャットメールを削除する

- チャットメールを削除すると、送受信BOXからもチャットメールが削除されます。

1 チャットメール画面で[i]［機能］▶[4]「チャットメール削除」を押す

2 [1]「はい」を押す

- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

お知らせ

●チャットメール画面以外で受信したチャットメールは、受信BOXより削除してください。
●保護されているチャットメールは、チャットメール画面からは削除されますが、送受信BOX内のチャットメールは削除されません。

<チャットメール終了>

チャットメールを終了する

1 チャットメール画面で[CLR]または[PWR]を押す

- 未送信のチャットメールがあるときは、[1]「はい」を押します。中止するときは[2]「いいえ」を押します。

2 [1]「はい」または[2]「いいえ」を押す

はい	チャットメールを削除して終了します。この場合、メール一覧画面からもチャットメールが削除されます。
いいえ	チャットメールを削除せずに終了します。次回チャットメールを起動したときは、前回のチャットメールが表示されます。

お知らせ

- ●チャットメール画面で[i]［機能］▶[5]「チャットメール終了」を押してもチャットメールを終了できます。
- ●未送信のチャットメールは削除されます。

SMS作成・送信

SMS（ショートメッセージ）を作成して送信する

- 半角カタカナや絵文字を使うと受信側に正しく表示されない場合があります。また、文字の装飾はできません。
- 送信できる絵文字は♥と☎のみです。
- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国・海外通信事業者についてはドコモのホームページをご覧ください。
- 受信、送信、未送信のSMS一覧／表示画面の見かた→P221

1 [✉]▶[SMS新規作成]を押す

SMS作成画面が表示されます。

2 [To]「宛先」を選択し、[●]を押す

3 [6]「直接入力」を押して宛先を入力し、[●]を押す

- 宛先が電話帳に登録されている場合は、[To]に電話帳の名前が表示されます。
- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合、「+」（[0]を1秒以上押す）「国番号」「相手先の携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」ではじまる場合は、「0」を除いて入力してください。また、「010」、「国番号」、「相手先の携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。（受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力して海外に返信してください。）

■ 電話帳から入力するとき

① [1]「電話帳引用」を押す
② 電話帳を選択し、[●]を押す
③ 電話番号を選択し、[●]を押す

■ メール送受信履歴から入力するとき

① [2]「送信アドレス履歴引用」または[3]「受信アドレス履歴引用」を押す
② アドレス履歴を選択し、[●]を押す
③ [●]を押す

■ プロフィールから入力するとき

① [5]「プロフィール引用」を押す
② 電話番号を選択し、[●]を押す

4 [✎]「本文」を選択して[●]を押し、本文を入力して[●]を押す

- 入力できる文字数はSMS入力文字種設定によって変わります。
- 文中で改行できます。改行するときは[#]を押します。改行も本文の文字数に含まれます。
- [◎]を押して半角スペースを入力できます。スペースも本文の文字数に含まれます。

5 [✉]［送信］を押す

■ 送信せずに保存するとき

① [i]［機能］▶[1]「保存」を押す

未送信BOXに保存されます。

- 宛先、本文のいずれも入力されていない場合は保存できません。

お知らせ

- ●電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- ●送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、SMSが未送信BOXに保存されます。未送信BOXからSMSを編集・送信できます。→P216
- ●送信が正常に終了したときは、SMSは送信BOXに保存されます。送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護されていない送信メールから古い順に上書きされます。残しておきたい送信メールは保護してください。
- ●送信する文字種や送達通知を受け取るかどうかは、あらかじめSMS設定で設定できます。（→P236）また、「送達通知設定」「メッセージ有効期限」は、SMSの作成開始後に[i]［機能］を押して変更することもできます。設定した内容は、作成中のSMSのみ有効です。
- ●送達通知設定を「ON」に設定して送信した場合、SMSが相手のFOMA端末に届いたことを知らせる送達通知が送られてきます。送達通知は受信BOXに保存されます。
- ●発信者番号通知が「通知しない」に設定されていても、SMS送信時は送信先に発信者番号が通知されます。
- ●送信する文字種により送信できない文字があります。→P208
- ●未送信メールや保護されているメールで、メールの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、SMSは作成できません。送信・未送信BOXから不要なiモードメール、SMSを削除してください。
- ●マルチナンバーに契約されている場合、通常発信者番号を基本契約番号に設定してください。

送信・保存したSMS（ショートメッセージ）を編集・送信する

送信済みや、送信せずに保存したり送信に失敗したSMSを、編集・送信できます。→P216

SMS受信

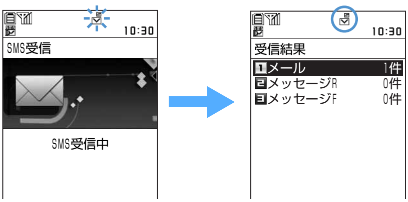
SMS（ショートメッセージ）を受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、SMSを自動的に受信します。受信したSMSは受信BOXに保存されます。

- 受信BOXにはｉモードメールとあわせて1000件まで保存できます。
- 次のようなときに送られてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
  - セルフモード中
  - 赤外線通信利用中
  - 電源が入っていないとき
  - ｉモード圏外
  - 受信BOXが保護や未読メールで満杯のとき
  - FOMAカードが保存しているSMSで満杯のとき

1 SMSを受信する

が点滅し、「SMS受信中」と表示されます。受信が完了すると点灯します。
メール着信音が鳴り、着信ランプが点灯／点滅して受信件数が表示されます。



受信結果画面

- ：未読のｉモードメールとSMSがあります。
- ：未読のSMSがあります。
- 受信結果画面は約30秒間表示されます。何も操作しないでいると、自動的に受信前の画面に戻ります。

新着SMS（ショートメッセージ）を表示する

1 受信結果画面で 1「メール」を押す

2 フォルダを選択し、●を押す

3 メールを選択し、●を押す

SMS表示画面が表示されます。
- 受信メールの見かた→P222
- 受信したSMSに返事を出す→P218
- 受信したSMSを転送する→P219

お知らせ

- FOMA端末がSMSを受信すると、SMSセンター内のSMSは削除されます。
- movaサービスのｉモード端末から送信されたショートメールは、FOMA端末ではSMSとして受信します。
- 発信元に非通知理由（「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能」）が表示される受信SMSには返信できません。
- 途中で受信に失敗した場合は、SMS問合せを行ってSMSを受信しなおしてください。
- 受信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護されていない既読の受信メールから古い順に上書きされます。残しておきたい受信メールは保護してください。→P227
- 未読メールや保護されているメールで保存領域が満杯で上書きできないときは、SMSの受信は中止され、画面には が表示されます。
- FOMAカードにSMSが最大件数（20件）保存されているときは、受信BOXに空きがあっても、SMSを受信できないことがあります。このとき、画面には が表示されます。FOMA端末に移動するか、FOMAカードのSMSを削除してください。

SMS問合せ

SMS（ショートメッセージ）があるかどうかを問い合わせる

圏外にいた時や電源を切っていた時にSMSが届いていないかを問い合わせます。

- 電波状態によってはSMS 問合せができない場合がありますのでご了承ください。

1 ▶[SMS問合せ]を押す

SMSセンターにSMSが保管されていれば受信します。

SMS設定

SMS（ショートメッセージ）の設定を行う

SMSを利用するときの各種条件を設定します。

SMS（ショートメッセージ）送達通知設定

お買い上げ時	OFF

SMSを送信する際に、送達通知の配信を要求するかどうかを設定します。

1 ▶[メール設定]▶ ▶2を押す

2 1「ON」を押す

- 設定しないときは2「OFF」を押します。

SMS（ショートメッセージ）メッセージ有効期限

お買い上げ時	3日

送信したSMSが圏外などで届かなかった場合にSMSセンターに保管する期間を設定します。0日～3日から選択できます。

1 ▶[メール設定]▶ ▶3を押す

2 1～4を押す

- 「0日」を設定すると一定時間後、再送したのちにSMSセンターから削除します。

SMS（ショートメッセージ）入力文字種設定

お買い上げ時	日本語

本文の入力方法を選択します。

- 文字種により送信できる文字数が異なります。
→P208

1 ✉▶メール設定▶◎▶4を押す

2 1「日本語」または2「英語」を押す

日本語	全角・半角を問わず70文字まで入力できます。
英語	半角英数字、半角記号（゛。「」、・゛゜-を除く）を160文字まで入力できます。

SMS（ショートメッセージ）センター設定

お買い上げ時	ドコモ

通常は設定を変更する必要はありません。

1 ✉▶メール設定▶◎▶5を押す



2 2「その他」を押してSMSセンター番号を入力し、◉を押す

- 半角20文字まで入力できます。先頭に「+」を入力した場合は21文字です。
- SMSセンター番号の先頭に0を1秒以上押して「+」を付加すると「international」に設定されます。付加しない場合は「unknown」に設定されます。

お知らせ

●SMS作成画面から操作する場合はi［機能］を押します。この場合には、「送達通知設定」「メッセージ有効期限」のみ設定できます。また、SMS作成画面から設定した内容は、作成中のSMSのみ有効です。

●SMSメッセージ有効期限、SMS入力文字種設定、SMSセンター設定の設定内容は、FOMAカードを挿入している場合はFOMAカードに記憶されます。設定したときと違うFOMAカードを挿入すると、設定が変わる場合があります。

FOMAカード操作

SMS（ショートメッセージ）をFOMAカードに保存する

FOMA端末内のSMSを、FOMAカードに移動またはコピーして保存できます。また、FOMAカード内のSMSを、FOMA端末に移動またはコピーできます。

SMS（ショートメッセージ）をFOMAカードに移動／コピーする

- FOMAカードには、受信／送信／未送信SMSを合わせて20件まで保存できます。移動／コピーした受信／送信／未送信SMSは、それぞれのメインフォルダに表示されます。
- 送信SMSを移動／コピーしても、対応する送達通知はFOMAカードに移動／コピーされません。

<例>受信したSMSを1件移動するとき

1 SMSを選択し、i［機能］▶◎▶2「FOMAカード（UIM）操作」を押す

2 1「FOMAカードへ移動」を押す

- コピーするときは2「FOMAカードへコピー」を押します。

3 1「はい」を押す

- FOMAカード内のSMSはUIMが表示されます。
- 中止するときは2「いいえ」を押します。

お知らせ

●SMS表示画面から操作するときは、i［機能］▶「FOMAカード（UIM）操作」を選択し、◉を押します。

FOMAカード内のSMS（ショートメッセージ）をFOMA端末に移動／コピーする

<例>受信SMSを1件移動するとき

1 SMSを選択し、i［機能］▶◎▶2「FOMAカード（UIM）操作」を押す

2 3「本体へ移動」を押す

- コピーするときは4「本体へコピー」を押します。

次ページへつづく

3 [1]「はい」を押す

- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

お知らせ

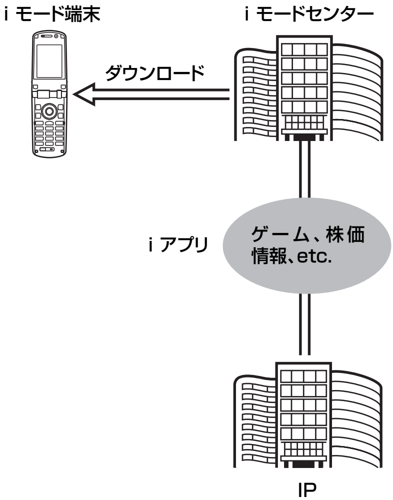
●SMS表示画面から操作するときは、[i]［機能］▶「FOMAカード（UIM）操作」を選択し、[●]を押します。

ｉアプリ

ｉアプリとは. 240
ｉアプリDXとは 240
サイトからｉアプリをダウンロードする 241
ｉアプリを実行する. 242
ｉアプリを自動実行する 244
サイトやメールからｉアプリを実行する . . . .＜ｉアプリTo機能＞ 245
ｉアプリ待受画面を操作する. . . . . ＜ｉアプリ待受画面設定＞ 245
ｉアプリを管理する. 246
ｉアプリのさまざまな機能を利用する 249

ｉアプリとは

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ｉモード対応FOMA端末（以下、ｉモード端末）を便利に活用いただけます。たとえば、ｉモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のｉアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックするなどが可能です。さらに、地図のｉアプリでは、必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。また、ｉアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存・画像取得など「データBOX」と連動できるｉアプリもあります。



- ｉアプリをダウンロードする→P241
- ｉアプリを実行する→P242
- ｉアプリを自動実行する→P244

お知らせ

●ソフトによってはｉモード端末の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を利用する場合があります。
●ソフトによっては実行時に通信を行うものがあります。通信を行わないように設定することもできます。→P243

登録データを利用する

ｉアプリのソフトには、お客様のｉモード端末の登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）を参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは次のとおりです。

- 電話帳登録
- アイコン情報利用
- ブックマーク登録
- スケジュール登録
- データBOXからの画像取得
- データBOXへの画像保存

ｉアプリDXとは

ｉアプリDXでは、ｉモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信か知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されたり、GPS機能を利用して地図上に自分の現在地を表示させ目的地までのルートを検索するなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。

登録データを利用する

ｉアプリDXのソフトでは、通常のｉアプリで利用できる登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）に加えて、メール、リダイヤル、着信履歴、着信音などの登録データを参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは次のとおりです。

- 電話帳登録
- 電話帳参照
- アイコン情報利用
- ブックマーク登録
- スケジュール登録
- メールメニューの利用
- ｉモードメール作成画面利用
- 最新のリダイヤル参照
- 最新の着信履歴参照
- 最新の未読メール参照
- 着信音保存
- ｉモーション保存
- 着信音変更（電話、メール、メッセージR/F）
- データBOXからの画像取得
- データBOXへの画像保存
- 画面設定の変更（待受画面、電話発着信、メニューアイコン）

お知らせ

●ｉアプリDXでは、ソフトの有効性を確認するため、ソフトの通信設定に関わらず通信する場合があります。通信回数やタイミングはソフトによって異なります。
●ｉアプリDXを起動するには日付時刻設定が必要です。

メール連動型ｉアプリとは

メール連動型ｉアプリはｉアプリDXの一種で、ｉモードメールで情報をやりとりすることにより、株価などの欲しい情報やゲームの進行がリアルタイムに更新されるなど、ソフトをより便利に楽しく利用することができます。

- メール連動型ｉアプリで利用されるｉアプリメールは、正しく表示できない場合があります。

GPS対応ｉアプリとは

GPS対応ｉアプリでは、GPS機能を利用することにより、現在地のタウン情報などがより簡単に探せたり、地図上に自分の現在地を表示させ目的地までのルートを検索するなど、ソフトをより便利に楽しく利用することができます。

- GPS対応ｉアプリを利用すると、利用するソフトの情報提供者あるいはGPSサービス提供者に位置情報が送信されます。
- GPS対応ｉアプリでGPS機能を利用する場合、利用するソフトの位置情報利用設定を「送信する」に設定する必要があります。

こんなこともできます

■ ｉアプリ待受画面

ｉアプリ待受画面ではｉアプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。
→P245

- ｉアプリ待受画面に対応したソフトで利用できる機能です。

■ ｉアプリの自動起動

時刻や日付、曜日などを指定して、ソフトを自動起動できます。あらかじめソフトに設定されている時間間隔で自動起動できるソフトもあります。
→P244

■ カメラ撮影

ソフトからｉモード端末のカメラを使って撮影できます。→P249

- カメラ撮影機能に対応したソフトで利用できる機能です。

■ 赤外線通信

ソフトから、赤外線通信機能が搭載された機器と通信できます。赤外線通信機能搭載機器と連動してより広がった使いかたができます。→P249

- 赤外線通信機能に対応したソフトで利用できる機能です。
- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

■ 赤外線リモコン

ソフトから赤外線リモコンに対応した家電機器など、各種機器を操作できます。→P300

- 赤外線リモコン機能に対応したソフトで利用できる機能です。相手の機器に対応したソフトが必要です。

サイトからｉアプリをダウンロードする

サイトからソフトをダウンロードしてFOMA端末に保存します。

- お買い上げ時に登録されているソフトを含めて100件まで保存できます。（ソフトのサイズにより保存件数は変わります。）
- すでにFOMA端末に保存されているｉアプリを再度ダウンロードできません。ただし、ソフトが新しくなった場合はバージョンアップできます。
- 電波状況などによりソフトのダウンロードに失敗した場合、そのソフトはFOMA端末に保存されません。
- ダウンロードにはパケット通信料がかかります。

1 サイトからダウンロードするソフトを選択し、●を押す

選択したソフトがダウンロードされます。

- ✉［中止］を押すと、ダウンロードが中止されます。

■ ソフト情報表示設定を「表示する」に設定しているとき

ソフト名やバージョンなどの情報が表示されます。

①●▶1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

■ 選択したソフトが異なるFOMAカードですでにダウンロードされているとき

①上書きするかどうかの確認画面で1「はい」を押す

■ 登録データや携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を利用するソフトをダウンロードするとき

①1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。
- 登録データを利用するソフトの場合、✉［詳細］を押すと、利用する登録データの内容を一覧で確認できます。
- お客様の住所や年齢、性別などがIP（情報サービス提供者）に通知されることはありません。

2 保存先のフォルダを選択し、●を押す

3 ｉアプリ設定を設定する

- ソフトによっては設定できる項目が変わります。設定がない場合は、手順5へ進みます。

■ ソフト起動中に通信するかどうかを設定するとき

①「通信設定」を選択し、●を押す
②1「通信する」または2「通信しない」を押す

次ページへつづく

■ iアプリ待受画面に設定するとき

①「iアプリ待受画面」を選択し、●を押す
② 1「設定する」または 2「設定しない」を押す

■ 位置情報送信を許可するかどうかを設定するとき

①「位置情報利用設定」を選択し、●を押す
② 1「位置情報を送信する」または 2「位置情報を送信しない」を押す

4 i［完了］を押す

5 1「はい」を押す

iアプリが起動します。

- 位置情報を利用するソフトを起動した場合、確認画面が表示されます。起動するときは 1「はい」を押します。
- 起動しないときは 2「いいえ」を押します。

サイトからすぐに起動するiアプリについて

iアプリの中にはダウンロードが完了すると同時に起動するものがあります。（即起動iアプリ）

- 即起動iアプリには、FOMA端末に保存できないものがあります。

お知らせ

● iアプリの保存領域に空きがない場合やすでにソフトが100件保存されている場合は、確認画面が表示されます。データを削除してダウンロードしたソフトを保存する場合は、1「はい」を押してください。2「いいえ」を押すと、ソフトは保存されず、ダウンロード元の画面に戻ります。ソフトを削除してダウンロードに失敗した場合、削除したソフトは元に戻りません。
●接続に失敗したときは 1「再接続する」を押してもう一度ダウンロードを開始してください。
●対応機種でない場合、ソフトにエラーがある場合などはメッセージが表示され、ダウンロードできません。

<ソフト情報表示設定>

ダウンロード時にiアプリの情報を見る

お買い上げ時	表示しない

1 iアプリフォルダ一覧画面で i［機能］▶ 7「ソフト情報表示設定」を押す

2 1「表示する」または 2「表示しない」を押す

お知らせ

● iアプリ一覧画面から設定するには、i［機能］▶◎▶ 4「ソフト情報表示設定」を押します。
● iアプリのソフト名は変更できません。

iアプリを実行する

1 i を1秒以上押す

iアプリフォルダ一覧画面が表示されます。

2 フォルダを選択し、●を押す

■ iアプリ一覧に表示されるアイコン

①アプリ種別

- （アイコン）：iアプリ　- （アイコン）：iアプリDX
- （アイコン）：iアプリ待受画面設定中
- （アイコン）：自動起動設定中
- （アイコン）：iアプリ待受画面／自動起動設定中

②情報種別

- iアプリアイコン、iアプリDXアイコンに付きます。
- （アイコン）：SSLでダウンロードしたとき
- （アイコン）：メッセージiアプリのとき
- （アイコン）：位置情報取得iアプリのとき

3 iアプリを選択し、●を押す

- 通信設定を「起動ごとに確認」に設定している場合は、確認画面が表示されます。1「通信する」または 2「通信しない」を押します。

お知らせ

●●▶（iアプリ）「iアプリ」を押しても、iアプリフォルダ一覧画面を表示できます。
●ソフトによってはダウンロード後も起動中に通信を行う場合があります。通信を行うかどうかをあらかじめ設定できます。→P243
● iアプリ起動中に音声電話の着信があると、着信画面になり、電話にでることができます。
● iアプリ起動中にメールやメッセージを受信すると、アイコンで通知します。iアプリを実行したままメールを見られます。→P315
●3Dポリゴン※エンジン搭載により、iアプリで立体画像を表示できます。
※多角形（三角形や四角形など）を組み合わせることにより、立体的で奥行きがある画像を実現します。
● iアプリで利用する画像※やお客様が入力したデータなどが、自動的にインターネットを経由して、サーバに送信される可能性があります。
※実行中のソフトからカメラを起動して撮影した画像や、赤外線通信機能を利用して取得した画像などです。
●ソフトが許可されている機能以外の動作をしようとする場合、「セキュリティエラーのため終了しました」のメッセージが表示されます。セキュリティエラーによりソフトが終了した場合、エラー履歴が保存されます。
● iアプリ起動中に再生されるメロディは、音量設定の音声着信で設定した音量で再生されます。音量設定をステップトーンに設定した場合は、LEVEL3の音量で再生されます。→P119
●ソフトによっては音が鳴らない場合があります。

<ソフト動作設定>

iアプリの動作設定を行う

1 iアプリを選択し、[i]［機能］ ▶[メニュー]▶[3]「ソフト動作設定」を押す

2 項目を設定する

■ 通信について設定するとき

① [3]「通信設定」を押す

② [1]〜[3]を押す

- 通信には通信料がかかります。「通信する」に設定すると自動的にネットワークに接続されますのでご注意ください。
- 通信を必要とするソフトを「通信しない」に設定すると、動作が正常に行えない可能性があります。

■ アイコン情報について設定するとき

① [5]「アイコン情報設定」を押す

② [1]「利用する」または[2]「利用しない」を押す

- iアプリ待受画面に設定されているソフトを「利用する」に設定すると、未読のメール・メッセージ、電池残量、マナーモード、圏内・圏外のアイコンの有無がお客様の携帯電話情報（FOMA端末の製造番号、FOMAカードの識別番号）と同じようにインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。
- アイコン情報が必要なソフトを「利用しない」に設定していると、起動できないものがあります。

■ 着信音や画面の変更を許可するかどうか設定するとき

① [6]「着信音・画像変更」を押す

② [1]「許可する」または[2]「許可しない」を押す

- 許可するかしないか設定できるiアプリを「許可する」に設定した場合、自動的に着信音や画像が変更される場合があります。
- 「許可する」に設定したときは、変更ごとに確認画面を表示するかどうかを設定します。[1]「表示する」または[2]「表示しない」を押します。

■ 電話帳や履歴の参照を許可するかどうか設定するとき

- 電話帳、リダイヤル・着信履歴、最新の未読メールを参照しないソフトにはこの設定はできません。

① [7]「電話帳・履歴参照」を押す

② [1]「許可する」または[2]「許可しない」を押す

- 許可するかしないか設定できるiアプリを「許可する（有効）」に設定した場合、自動的に電話帳・リダイヤル・着信履歴を参照します。

■ 位置情報を利用・送信するかどうか設定するとき

① [メニュー]▶[1]「位置情報利用設定」を押す

② [1]「送信する」または[2]「送信しない」を押す

ソフトから他のソフトを起動する

起動中のソフトからソフト一覧画面に戻らずに他のソフトを起動することができます。
ソフトの起動方法、起動するソフトの登録方法はソフトによって異なりますので、画面の案内に従って操作・設定してください。

- 他のソフトを起動することに対応したソフトをダウンロードしておく必要があります。
- ソフトによっては起動するソフトをあらかじめ登録しておく必要があります。

お知らせ

● 起動するソフトが指定されていても、そのソフトがFOMA端末に保存されていない場合は、ダウンロードする必要があります。

お買い上げ時に登録されているソフト

あらかじめ「AGE of EMPIRES Ⅱ MOBILE」、「Gガイド番組表リモコン」のソフトが登録されています。

- お買い上げ時に登録されているソフトを削除しても、「どこでもSANYO」のサイトからダウンロードできます。→P183

AGE of EMPIRES Ⅱ MOBILE

「AGE of EMPIRES Ⅱ MOBILE」は、リアルタイムで行われる戦略ゲームで、帝国を築き、戦い、征服していくゲームです。
プレイヤーは、ローマ帝国が衰退した中世の時代にわたって勢力を拡大していき、強大な国家の建設を目指してプレイします。
他の文明に征服されることなく、自国の繁栄を勝ち取ることがゲームの目的となります。
遊び方は、ゲーム内の操作方法やヘルプ、チュートリアルなどで確認してください。



プレイ	モードを選択して、ゲームをスタートします。
スコア	キャンペーンモードの各シナリオの最高スコア確認ができます。
操作方法	ゲームでのボタンに割り振られた操作を確認できます。
オプション	ヘルプやサウンドのON／OFF設定やクレジットの確認などができます。
終了	ゲームを終了します。

次ページへつづく

■ ゲームモードの説明

チュートリアルモード
実際にゲームをプレイしながら、操作方法を覚えるモードです。

キャンペーンモード
物語に沿った一連のシナリオをプレイするモードです。ゲームに勝利しなければ先に進むことはできません。

ランダムマップモード
ゲームをクリアすると、新しいマップが生成されるため、毎回異なるゲームプレイをすることができます。

■ 初心者向けのヒント

ここでは、ランダムマップゲームをプレイする初心者のために、ゲームのヒントをいくつか紹介します。ランダムマップゲームでは、２人の町の人と１人の斥候が用意された暗黒の時代からはじめて、強力な文明を確立していくことになります。

- まず最初に、木・石・金といった資源を集めなければなりません。町の人が２人いるので、町の近くの森で木の伐採をします。
- 石・金を集めるためにはもっと大勢の町の人が必要ですが、建物が町の中心だけでは５人までしかユニットを作成できません。そこで伐採した木を使い、家を建設してサポートできる人数を増やします。
- 家が完成したら町の人の作成を開始します。新しく作成した町の人は石・金の採掘を行います。
- そろそろ敵の襲来に備えなければいけません。集めた資源で戦士育成所を建設し、槍兵を作成し、町を守ってください。
- 「家」と「戦士育成所」を建てると、暗黒の時代から領主の時代にアップグレードすることができるようになります。町の中心を選択し、文明のアップグレードを行ってください。

Gガイド番組表リモコン



- 画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じたチャンネルが表示されます。

テレビ番組表とテレビリモコン機能が1つになった便利アプリです。
いつでもどこでも知りたい時間のテレビ番組情報が簡単に取得できます。お住まいの地域に応じたテレビ局の番組タイトル・番組内容・開始／終了時間・Gコード®などを知ることができます。気になった番組情報があったらすぐにお友達に番組のタイトル・番組の放送スケジュールなどをメールでお知らせできる「おすすめメール」機能があります。
また、お使いのテレビのリモコン操作ができます。（一部対応していない機種もあります）

- 「Gガイド番組表リモコン」の月額利用料は無料です。別途パケット通信料がかかります。
- 詳しくは「ｉモード操作ガイド」をご覧ください。

お知らせ

- 両ソフトはFOMAカード動作制限を受けることなく起動できます。ただし、削除後に再ダウンロードした場合またはバージョンアップによってソフトを上書きした場合は、通常のソフトと同様にFOMAカードの制限を受けます。FOMAカード動作制限機能について→P40
- お買い上げ時の設定は次のようになっています。
  - 通信設定　　　　：通信する
  - ｉアプリTo設定 ：許可する※1
  - 待受画面通信設定：通信する※2
  - 待受画面設定　　：設定しない※2
  - アイコン情報設定：利用する※2
  - 着信音・画像変更：許可する※2
  - 電話帳・履歴参照：許可する※2
  - 位置情報利用設定：送信する※2
  - 自動起動設定　　：設定しない

  ※1「AGE of EMPIRES Ⅱ MOBILE」では設定を変更できません。
  ※2 両ソフトともに設定を変更できません。

ｉアプリを自動実行する

お買い上げ時	ソフト設定　：なし ユーザー設定：なし

日時や繰り返しを設定して、ｉアプリを自動的に起動するように設定できます。

- 有効にできる自動起動設定は、ソフト設定・ユーザー設定を合わせて30件です。
- 電源が切れているとき、オールロック中、PIMロック（ｉアプリ）中は自動起動できません。

<自動起動設定>

自動起動するかどうかを設定する

- 自動起動する間隔が設定されているソフトの場合は、ソフトに設定されている間隔で自動起動するかどうかを登録します。
- 自動起動設定できないソフトもあります。

1 **ｉアプリを選択し、[i]［機能］▶[○]▶[2]「自動起動設定」を押す**



2 1「ソフト設定」または2「ユーザー設定」を押す

ソフト設定	ソフト内にあらかじめ設定されている日時・繰り返しで自動起動するかどうかを設定します。
ユーザー設定	自動起動登録で設定されている日時で自動起動するかどうかを設定します。

3 1「あり」を押す

- 自動起動しないときは2「なし」を押します。

4 i［完了］を押す

ソフトに🕒が表示されます。ただし、場合によっては設定しても表示されないことがあります。

<自動起動登録>

起動日時を設定する

- 設定できる条件はソフトによって異なります。
- 自動起動設定のソフト設定とユーザー設定を「なし」に設定している場合は、自動起動しません。

1 iアプリを選択し、i［機能］▶◯▶2「自動起動設定」を押す

2 3「繰り返し」を押す

3 1～3を押す

1回のみ	登録した日時に1回だけ自動起動します。
毎日	毎日登録した時刻に自動起動します。
曜日	選択した曜日の登録した時刻に毎週、自動起動します。 ①曜日を選択し、◉を押して設定／解除を設定する ②i［完了］を押す

4 日時を入力し、◉を押す

5 i［完了］を押す

お知らせ

- ●iアプリ自動起動とアラームやスケジュールアラームなどが同時刻に設定されている場合は、各種アラームが優先され、iアプリは起動しません。またメール作成など他の操作を行っているときも起動しない場合があります。
- ●自動起動に失敗した場合、自動起動失敗履歴として保存されます。
- ●複数のソフトを同時刻に自動起動させることはできません。同じ設定にしようとするとエラーメッセージが表示されます。
- ●同一ソフトの自動起動が前回の自動起動から10分未満の場合、起動できない場合があります。自動起動する間隔を10分以上に設定してください。

iアプリTo機能

サイトやメールからiアプリを実行する

サイト・メール・赤外線通信・バーコードなど、iアプリ以外の機能からiアプリを起動できます。

1 ソフトにリンクしている項目を選択し、◉を押す

2 1「はい」を押す

- 起動しないときは2「いいえ」を押します。

お知らせ

- ●起動するソフトがあらかじめFOMA端末に保存されている必要があります。ただし、サイトから起動するソフトについては、ダウンロード後すぐに起動するものがあります。（即起動iアプリ）このときソフトは保存されておらず、確認画面が表示されます。また、即起動iアプリにはFOMA端末に保存できないものもあります。
- ●起動するソフトがFOMA端末に保存されていない場合、「指定されたソフトがありません」と表示されます。
- ●即起動iアプリは起動中に通信を行うかどうかの確認画面が表示されることがあります。
- ●iアプリTo設定で「許可しない」に設定しているとiアプリを起動できません。
- ●iアプリ終了後やエラーによりiアプリが強制終了された場合は起動元の画面に戻ります。

<iアプリTo設定>

iアプリToで起動するかどうかを設定する

サイト・メールなどからiアプリを起動させるかどうかをソフトごとに設定できます。

- iアプリTo機能を設定できないソフトもあります。

1 iアプリを選択し、i［機能］▶◯▶3「ソフト動作設定」▶4「iアプリTo設定」を押す

2 1「許可する」または2「許可しない」を押す

iアプリ待受画面設定

iアプリ待受画面を操作する

iアプリを待受画面に設定し、待受画面からiアプリを起動して操作できます。

- iアプリ待受画面を設定するには、あらかじめ待受画面用のソフトをダウンロードしておく必要があります。
- 待受画面に設定できないソフトもあります。
- iアプリ待受画面が起動中は、🄰や🄰が表示されます。
- 待受画面設定の壁紙設定よりもiアプリ待受画面設定の設定が優先されます。
- iアプリ待受画面に設定できるソフトは1件のみです。

iアプリ待受画面を設定する

1 [●]▶[設定]▶[2]▶[1]▶[2]を押す

2 [1]「設定」を押す

3 iアプリを選択し、[●]を押す

4 [1]「設定する」または[2]「設定しない」を押す

iアプリから設定する

1 iアプリを選択し、[i]［機能］▶[◎]▶[3]「ソフト動作設定」▶[1]「待受画面設定」を押す

2 [1]「設定する」または[2]「設定しない」を押す

iアプリ待受画面のiアプリを起動する

1 iアプリ待受画面表示中に[CLR]を押す

iアプリが起動し、[アイコン]や[アイコン]が[アイコン]（オレンジ）や[アイコン]（オレンジ）の点滅に変わります。

■起動中にiアプリ待受画面を終了・解除するとき

① iアプリ待受画面を起動中に[PWR]を押す

- 以降の操作：→P246「iアプリ待受画面を解除する」手順3

お知らせ

- iアプリ待受画面表示中にオールロックまたはPIMロック（iアプリ）を設定すると、iアプリ待受画面は終了し、オールロックの場合はお買い上げ時の待受画面に、PIMロック（iアプリ）の場合はiアプリ待受画面に設定する前の待受画面が表示されます。オールロックまたはPIMロック（iアプリ）を解除するとiアプリ待受画面が再表示されます。
- iアプリ待受画面設定中に電源を入れ直した場合、確認画面が表示されます。[1]「はい」を押すと、iアプリ待受画面が起動され、[2]「いいえ」を押すと待受画面が表示されます。なにも操作しない場合は、約5秒後にiアプリ待受画面が起動します。
- ネットワークに接続するソフトをiアプリ待受画面に設定した場合は、電波状況により正しく動作しないことがあります。
- iアプリ待受画面に設定されているソフトのアイコン情報設定を「利用する」に設定すると、未読のメール・メッセージ、電池残量、マナーモード、圏内・圏外のアイコンの有無がお客様の携帯電話情報（FOMA端末の製造番号、FOMAカードの識別番号）と同じようにインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。

<iアプリ待受画面通信設定>

iアプリ待受画面の通信を設定する

1 iアプリを選択し、[i]［機能］▶[◎]▶[3]「ソフト動作設定」▶[2]「待受画面通信設定」を押す

2 [1]「通信する」または[2]「通信しない」を押す

お知らせ

- 待受画面通信設定を「通信しない」に設定した場合、タイムリーな情報提供ができない場合がありますのでご注意ください。

iアプリ待受画面を解除する

1 [●]▶[設定]▶[2]▶[1]▶[2]を押す

2 [2]「終了・解除」を押す

3 [2]「解除する」を押す

- 一時的にiアプリ待受画面を終了するときは[1]「終了する」を押します。次に待受画面を表示するときはiアプリ待受画面が起動します。
- 中止するときは[3]「キャンセル」を押します。

iアプリから解除する

1 iアプリを選択し、[i]［機能］▶[◎]▶[3]「ソフト動作設定」▶[1]「待受画面設定」を押す

- iアプリ待受画面設定中に別のソフトを選択した場合は、確認画面が表示されます。

2 [1]「はい」を押す

- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

iアプリを管理する

ソフトをバージョンアップしたり、使いやすいように並び替えたりできます。また、iアプリの起動に失敗したときなどのエラー履歴を確認することができます。

お知らせ

- iアプリ作成者の方へ
ソフトを作成中、正常動作しないときは、トレース情報表示が参考になる場合があります。
アプリ一覧で[i]［機能］▶[6]「履歴表示」▶[4]「トレース情報」を押して確認できます。

<バージョンアップ>

iアプリをバージョンアップする

FOMA端末に保存しているソフトがサイトでバージョンアップされたときは、ダウンロードしてバージョンアップできます。

1 iアプリを選択し、i［機能］▶3「バージョンアップ」を押す

2 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。
- ソフト動作設定やソフト個別の設定によっては、確認画面が表示されます。ダウンロード時の確認画面について→P241

お知らせ

●ソフトによっては自動的にバージョンアップが必要かどうか確認し、起動時に確認画面が表示されることがあります。1「はい」を押すと、バージョンアップを開始します。

●メール連動型iアプリが使用する、受信BOX・送信BOX・未送信BOXのフォルダにセキュリティが設定されている場合、バージョンアップによって、そのフォルダ名が変更されるメール連動型iアプリはバージョンアップ時に確認画面が表示され、1「実行」を押し、端末暗証番号を入力するとバージョンアップを開始します。

●PIMロック（メール）中は、バージョンアップによって対応するフォルダ名が変更されるメール連動型iアプリはバージョンアップできません。

フォルダを作成する

- メインフォルダを含めて9個まで作成できます。

1 iアプリフォルダ一覧画面でi［機能］▶1「フォルダ作成」を押す

2 フォルダ名を入力し、●を押す

- 全角8文字（半角16文字）まで入力できます。

■作成したフォルダ名を変更するとき

- メインフォルダのフォルダ名は変更できません。

①フォルダを選択し、i［機能］▶2「フォルダ名編集」を押す
②フォルダ名を入力し、●を押す

■フォルダを並べ替えるとき

- メインフォルダは並べ替えられません。

①i［機能］▶3「フォルダ並べ替え」を押す
②フォルダを選択し、●を押す
③移動先を選択し、●を押す
- 他のフォルダを並べ替えるときは、手順②～③を繰り返します。

④i［完了］を押す

iアプリをフォルダに移動する

1 iアプリを選択し、i［機能］▶2「フォルダ移動」を押す

2 1「1件移動」を押す

■選択移動するとき

①2「選択移動」を押す
②iアプリを選択し、●を押す
- 解除するときは●を押します。

③i［実行］を押す

■全件移動するとき

①3「フォルダ内全件移動」を押す

3 移動先フォルダを選択し、●を押す

4 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

iアプリやフォルダを削除する

フォルダ削除

- メインフォルダは削除できません。

1 フォルダを選択し、i［機能］▶4「フォルダ削除」を押す

2 端末暗証番号を入力し、●を押す

3 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

iアプリ削除

1 iアプリを選択し、i［機能］▶○◀▶1「削除」を押す

2 1「1件削除」を押す

■選択削除するとき

①2「選択削除」を押す
②iアプリを選択し、●を押す
- 解除するときは●を押します。

③i［実行］を押す

■全件削除するとき

①3「フォルダ内全件削除」を押す
②端末暗証番号を入力し、●を押す

3 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

お知らせ

●削除するiアプリがiアプリ待受画面に設定されている場合は、確認画面が表示されます。1「はい」を押すと、iアプリを削除し、待受画面は壁紙設定で設定されている画像になります。

●メール連動型iアプリを削除する場合、そのソフトが使用する受信BOX・送信BOXのフォルダに保護されたメールがあると削除できません。

次ページへつづく

●メール連動型ｉアプリを削除する場合、自動的に作られたフォルダを同時に削除するかしないかを選択することができます。ただし、PIMロック（メール）中やフォルダ内に保護されたメールがある場合はソフトもフォルダも削除できません。
●メール連動型ｉアプリが使用する受信BOX・送信BOX・未送信BOXのフォルダにセキュリティが設定されている場合は、確認画面が表示されます。削除する場合は1「実行」を押し、端末暗証番号を入力してください。
●メールフォルダのみが残っているメール連動型ｉアプリを再度ダウンロードする場合、そのフォルダを利用できますが、フォルダにセキュリティが設定されている場合は、端末暗証番号を入力したあとに、ダウンロードすることができます。フォルダを利用しない場合は、フォルダを削除して、新規フォルダを作成することができます。ただし、新規フォルダを作成しない場合やPIMロック（メール）中は、メール連動型ｉアプリをダウンロードすることができません。
●ソフトによってはメール連動型ｉアプリを削除すると、ｉアプリメールがフォルダ内から削除されることがあります。
●マルチタスクなどでメール連動型ｉアプリ用フォルダを操作中の場合は、対応するメール連動型ｉアプリを削除できません。

<ソート>

ｉアプリを並べ替える

1　ｉアプリを選択し、i［機能］▶1「ソート」を押す

2　項目を選択し、●を押す

実行回数（昇順）	実行回数の昇順に並べ替えます。
実行回数（降順）	実行回数の降順に並べ替えます。
起動日時（新→旧）	起動日時の新しい順に並べ替えます。
起動日時（旧→新）	起動日時の古い順に並べ替えます。
保存日時（新→旧）	保存日時の新しい順に並べ替えます。
保存日時（旧→新）	保存日時の古い順に並べ替えます。
アプリ名（昇順）	アプリ名の昇順に並べ替えます。
アプリ名（降順）	アプリ名の降順に並べ替えます。
アプリサイズ（昇順）	ソフトの保存サイズの昇順に並べ替えます。
アプリサイズ（降順）	ソフトの保存サイズの降順に並べ替えます。

お知らせ

●実行回数やアプリサイズなど条件が同じ場合、ソート順位が並び変わらない場合があります。

<証明書表示>

ｉアプリの証明書を確認する

ｉアプリをSSL通信でダウンロードした場合、ダウンロード先の証明書を表示します。

1　ｉアプリを選択し、i［機能］▶5「証明書表示」を押す

<履歴表示>

ｉアプリのエラーなどの情報を確認する

起動に失敗したときなどのエラー情報を確認できます。

1　フォルダを選択し、i［機能］▶5「履歴表示」を押す

2　1〜4を押す

自動起動失敗履歴	自動起動に失敗したソフト名と日時が確認できます。
待受エラー終了履歴	ｉアプリ待受画面の続行に失敗したソフト名と日時が確認できます。
セキュリティエラー履歴	ソフトが許可されていない通信・参照などをしようとして強制終了した場合のソフト名と日時が確認できます。
トレース情報	ソフト実行中のエラー出力に書き込まれた文字列や例外などで終了した場合の内容をトレース情報として出力します。

■履歴やトレース情報を削除するとき

①履歴一覧画面またはトレース情報画面でi［削除］を押す

②1「はい」を押す

• 中止するときは2「いいえ」を押します。

お知らせ

●ｉアプリ一覧画面から確認するには、i［機能］▶6「履歴表示」を押します。
●自動起動失敗履歴・待受エラー終了履歴・セキュリティエラー履歴・トレース情報はそれぞれ約1Kバイトまで保存できます。
●最大保存容量を超える場合は自動的に一番古い履歴が削除され、新しい履歴が保存されます。

<ソフト情報表示>

iアプリの情報を確認する

iアプリのソフト名やバージョン、設定内容を確認できます。

1 iアプリを選択し、i［機能］▶4「ソフト情報表示」を押す

お知らせ

●ダウンロード時に確認できるように設定することもできます。→P242

<システム情報表示>

iアプリのシステム状況を確認する

iアプリの使用容量・空き容量・保存件数を数字やグラフで表示します。

1 フォルダを選択し、i［機能］▶6「システム情報表示」を押す

お知らせ

●iアプリ一覧画面から確認するには、i［機能］▶7「システム情報表示」を押します。

iアプリのさまざまな機能を利用する

iアプリには、電話をかけたり、サイトに接続したり、カメラやバーコードリーダー、赤外線通信などの機能を利用できるものがあります。

- それぞれ機能に対応したソフトをあらかじめダウンロードしておく必要があります。

iアプリから電話をかける

1 画面に従って電話番号を選択し、⦿を押す

- 以降の操作：→P193「電話番号を選択してできる機能」手順2
- 電話をかけるとソフトは中断されます。
- ソフトによって操作方法が異なったり、電話をかけられない場合があります。

iアプリからサイトに接続する

1 画面に従ってリンク項目を選択し、⦿を押す

2 i［接続］を押す

ソフトが終了し、サイトが表示されます。

- ソフトによって操作方法が異なったり、サイトに接続できない場合があります。

iアプリからカメラ機能を利用する

1 ソフトを操作してカメラ撮影を行う

- ソフトには、自動的にカメラが起動するものがあります。

お知らせ

●ソフトからカメラを起動した場合、撮影した画像はマイピクチャまたはiモーションの「カメラ」フォルダには保存されず、iアプリの一部として保存・利用されます。

●ソフトによって、サイズ、連写、画質、フレームなどの設定ができます。

iアプリからバーコードリーダーや文字リーダーを利用する

iアプリからカメラを利用して、JANコードやQRコード、文字を読み取ることができます。

1 ソフトを操作してコードを読み取る

- 読み取ったデータはソフトで利用・保存される旨のメッセージが表示されます。

iアプリから赤外線通信を利用する

- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できない場合があります。

1 ソフトを操作して赤外線通信を行う

i チャネル

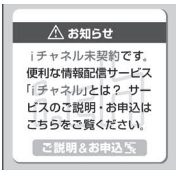
i チャネルとは 252
i チャネルを表示する 253
i チャネルの設定を行う 253

iチャネルとは

ニュースや天気などのグラフィカルな情報としてドコモまたはIP（情報サービス提供者）がiチャネル対応端末に配信するサービスです。
定期的に情報を受信し、最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、iチャネル対応ボタンを押すことでチャネル一覧に表示されます（チャネル一覧の表示方法は→P253）。更に、チャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。

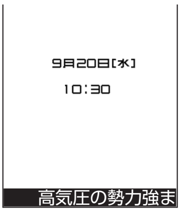
- iチャネルのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細等については、『iモード操作ガイド』をご覧ください。

■ 未契約



- iチャネルをご契約いただいていない場合

■ 契約後

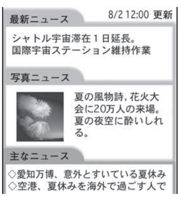


- iチャネルをご契約いただいた後、情報を受信したタイミング、もしくはチャネル一覧を表示したタイミングで、待受画面に自動的にテロップが流れます。



- iチャネルボタンを押すとチャネル一覧が表示されます。各チャネルごとにテロップで流れていた情報などを一覧で見ることができます。

接続



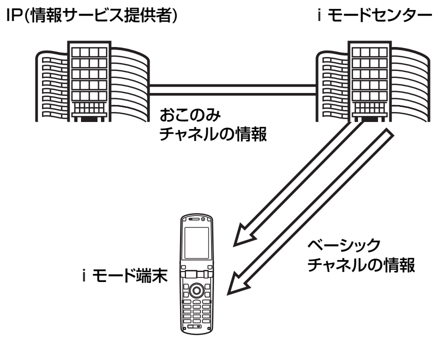
- 各チャネルを選択すると、それぞれの詳細情報画面が閲覧できます。

※ 各画像はイメージです。実際の画面とは異なります。

■ チャネルの種類

チャネルには「ベーシックチャネル」と「おこのみチャネル」の2種類があります。「ベーシックチャネル」はドコモが提供するチャネルであり、あらかじめ登録されていますのでiチャネルの利用開始時からすぐに利用することができます。「ベーシックチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料はiチャネルのサービス利用料に含まれます。「おこのみチャネル」はドコモ以外のIP（情報サービス提供者）が提供するチャネルで、お客様ご自身がお好きなチャネルを登録して利用できます。「おこのみチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料などは、iチャネルのサービス利用料には含まれません。
なお、待受画面にテロップとして流すことができるのは、「ベーシックチャネル」の情報のみとなります。

- 「おこのみチャネル」には、ご利用にあたり情報料がかかるものがあります。
- 「おこのみチャネル」には、ご利用にあたりチャネルを提供するIP（情報サービス提供者）に対し別途お申し込みが必要になるものがあります。
- 「ベーシックチャネル」も「おこのみチャネル」も、チャネル一覧から詳細情報を閲覧する際は、iチャネルのサービス利用料とは別にパケット通信料がかかります。



iチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。（お申し込みにはiモード契約が必要です。）

- 操作方法→P253
- 対応機種：701iシリーズ、702iシリーズ、902iシリーズ、P851i、D851iWM

おためしサービス

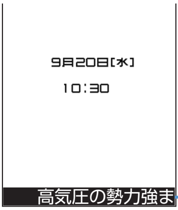
ｉモードをご契約の上ｉチャネル対応端末を利用しているお客様で、ｉチャネル対応端末を利用している契約者回線についてｉチャネルを申し込んだことがない場合、一定期間、サービス利用料無料で「ベーシックチャネル」を利用できます。なお、チャネル一覧から詳細情報を閲覧される際にかかるパケット通信料は、お客様のご負担となります。

- おためしサービスのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細等については、『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

おためしサービスは、原則としてFOMAカードを挿入してｉチャネル対応端末の利用を開始した際、一定時間経過後に自動的に開始されます。自動的に開始しない場合は、ｉチャネル対応ボタンを押下することで開始できます。
おためしサービスを利用できるのは、１つのご契約者回線につき１回のみです。
おためしサービスは開始後一定期間経過すると、自動的に終了します。また、途中で終了したい場合の操作方法については、『ｉモード操作ガイド』をご参照ください。

テロップについて

ｉチャネルをご契約になると、情報を受信したタイミングで待受画面のテロップに自動的に情報が流れます。



テロップ

- 情報受信中は[アイコン]が点滅します。

お知らせ

●端末の電源OFF、もしくは圏外であった場合や、電波状況が良くないときは、情報を受信できない場合があります。
●待受画面にアニメーションやｉモーションを設定しているときは、再生が終わるとテロップが表示されます。
●次の場合、テロップは表示されません。
- FOMAカード未挿入のとき
- FOMAカードが識別できないとき
- PINロックが完全にロックされているとき
- PIMロック（ｉモード）中
- オールロック中
- 公共モード（ドライブモード）中
- 電池が切れそうなとき
- ｉアプリ待受画面を設定しているとき

ｉチャネルを表示する

チャネル一覧を表示し、ｉチャネルの情報サイトにアクセスします。

1 **[ｉチャネル]を押す**
チャネル一覧画面が表示されます。

2 **情報を選択する**

お知らせ

●ご利用の状況により、チャネル一覧を表示したタイミングで情報を受信する場合があります。

ｉチャネルの設定を行う

お買い上げ時	テロップ表示設定：表示する テロップ速度設定：標準

待受画面にテロップを表示するかどうかや表示のときのスクロール速度を設定します。

1 **チャネル一覧画面で[ｉ]［機能］を押す**

2 **項目を設定する**

■表示するかどうかを設定する
①[1]「テロップ表示設定」を押す
②[1]「表示する」または[2]「表示しない」を押す

■スクロール速度を設定する
①[2]「テロップ速度設定」を押す
②[1]～[3]を押す
- 「速い」、「標準」、「遅い」から選べます。

お知らせ

●情報を受信しても、着信音・バイブレータは動作しません。また、着信ランプも点灯／点滅しません。
●お客様の操作によりテロップ表示設定を「表示しない」に設定した場合は、テロップは表示されません。
●ｉチャネル未契約時にテロップ表示設定を「表示する」に設定しても、テロップは表示されません。
●ｉチャネル解約後はテロップは表示されません。
●ｉチャネルサービス解約前に、ｉモードサービス解約を行った場合、テロップ表示はそのままですが、最新の情報は受信されません。
●ｉアプリ待受画面を設定しているときにテロップ表示設定を「表示する」に設定すると、ｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。ｉアプリ待受画面を解除するときは[1]「はい」を押します。
●通常は変更する必要はありませんが、ｉチャネルの接続先を変更することができます。→P195

● 次の場合、テロップは表示されなくなりますが、を押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報を受信し、テロップが表示されます。情報サイトによっては、チャネル一覧を表示しなくても最新の情報を受信してテロップが表示される場合があります。

- 接続先を変更したとき
- 設定リセットやデーター括削除を行ったとき
- 他のｉチャネル対応端末にFOMAカードを差し換えたとき

● 接続先変更後、情報が自動更新されない場合があります。最新の情報を受信したい場合は、を押してチャネル一覧を表示してください。

GPS機能

GPSとは 256
自分のいる場所を確認する ....<現在地確認> 256
現在地確認の設定を行う ....<現在地確認設定> 257
ナビゲーションを使用する ....<ナビゲーション> 258
GPSソフトを使う ....<GPSソフト> 260
要求に応えて現在の位置情報を提供する ....<位置提供> 260
現在の位置情報を通知する ....<現在地通知> 262
確認した位置情報の履歴を表示する ....<位置履歴> 265
各機能から位置情報を利用する 266
GPS機能のご利用について 268

GPSとは

GPS（Global Positioning System：全地球測位システム）は、米国国防総省が開発・運用しているシステムで、地球の周回軌道を回る衛星から放射される位置測位用の電波を利用して現在の位置（緯度、経度など）を知ることができるシステムです。
GPS衛星から放射される位置測位用の電波を利用して、FOMA端末（お客様）の位置情報（緯度・経度）を取得します。取得した位置情報を利用して、さまざまなサービスが利用できます。

GPS機能を使ってできること

■ 今いる場所の地図や周りの情報を見る、探す（現在地確認）

現在地の位置情報を送信して地図を表示したり、周辺情報を検索したりできます。

■ ナビゲーションを使う（ナビゲーション）

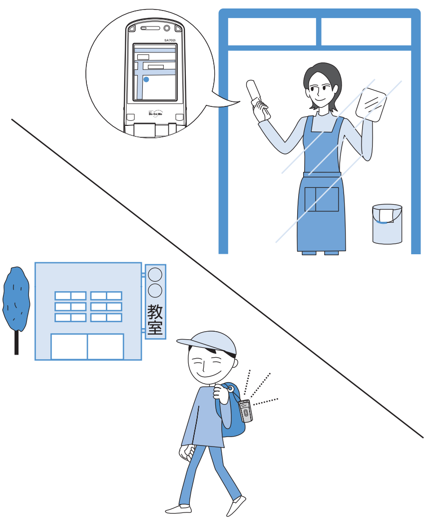
位置情報を利用して、目的地まで歩いて行くときなどにナビゲーションを使うことができます。

■ GPS機能対応のｉアプリを使う（GPSソフト）

位置情報を利用した便利なｉアプリを使うことができます。交通情報を確認することなどができます。

■ 相手からの要求に応えて位置情報を提供する（位置提供）

GPSサービスやドコモの「イマドコサーチ」であらかじめ検索対象になっていると、現在どこにいるかの要求があった際、位置情報を提供します。
「イマドコサーチ」とは、検索者が、ｉモード対応FOMA端末をお持ちの方のおおよその場所を、携帯電話やパソコンから地図情報で確認できるサービスです。「イマドコサーチ」に関しての詳細は、ドコモのホームページなどをご覧ください。



■ 今いる場所の位置情報を通知する（現在地通知・定期現在地通知）

現在地の位置情報を他の人に通知します。また、定期的に通知するように設定できます。

■ 撮影した静止画に位置情報を埋め込む

撮影した静止画に位置情報を埋め込むことができます。埋めこまれた位置情報から地図の表示やナビゲーションなどができます。

■ メールで自分の場所やお気に入りの場所を送る

位置情報をメール本文に貼り付けることができます。受信者は位置情報URLを利用して周辺地図を見ることができます。

■ 位置情報を電話帳やスケジュールに登録する

取得した位置情報を電話帳やスケジュールに登録して利用することができます。

- GPS機能のご利用について→P268

現在地確認

自分のいる場所を確認する

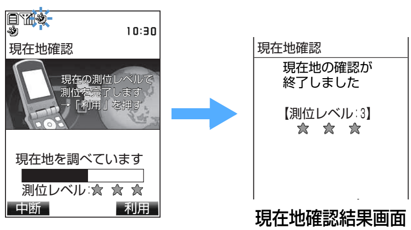
現在地を測位して、自分が今どこにいるか確認できます。測位した位置情報をメールで送ったり、GPSソフトなどで利用したりできます。

- 現在地確認はFOMA端末が圏外でもできる場合がありますが、時間がかかる場合があります。また、周囲の状況によって、測位できないことがあります。
- 現在地確認はFOMA端末が圏外でもできる場合がありますが、地図の表示やナビゲーションの使用などはできません。

1 ▶現在地確認を押す

が点滅し、測位を開始します。

- 現在地確認中に表示されている測位レベルの位置情報を現在地確認結果として利用したいときは、［利用］を押します。



現在地確認結果画面

- 測位レベルとは測位結果の誤差範囲の目安です。

測位レベル3（★★★）：誤差が50m未満
測位レベル2（★★☆）：誤差が50m以上300m未満
測位レベル1（★☆☆）：誤差が300m以上

※ 測位レベルは目安です。実際とは異なることがあります。

■ 現在地確認を中止するとき

① ［中断］またはを押す

2 を押す

3 項目を選択し、◉を押す

地図を見る	サイトに接続し、地図を表示します。 ① 1「はい」を押す
メール貼り付け	位置情報URLをメールの本文に貼り付けます。 • 位置情報URLとは地図や周辺情報などを提供するサイトのURLに位置情報（緯度・経度）・測地系※、測位レベルなどの情報を付加したものです。位置情報URLにアクセスすることにより、位置情報を活用したサイトを表示することができます。 ① 1「はい」を押す メール作成画面が表示されます。 • 以降の操作：→P209「iモードメールを作成して送信する」手順2～6
ナビゲーション	ナビゲーションが起動します。画面の指示に従って操作してください。→P258
GPSソフト起動	GPSソフト一覧を表示します。 • 以降の操作：→P260「GPSソフトを使う」手順2
電話帳新規登録	位置情報を電話帳に新規登録します。 • 以降の操作：→P95「FOMA端末電話帳に登録する」手順3～6 • FOMAカード電話帳には登録できません。
電話帳追加登録	位置情報を電話帳に追加登録します。 ① 電話帳を選択し、◉を押す • すでに位置情報が貼り付けられているときは、確認画面が表示されます。 • 以降の操作：→P107「電話帳を修正する」手順2～4
スケジュール新規登録	位置情報をスケジュールに新規登録します。 • 以降の操作：→P321「スケジュールを登録する」手順3～5
スケジュール追加登録	位置情報をスケジュールに追加登録します。 ① スケジュールを選択し、◉を押す • すでに位置情報が貼り付けられているときは、確認画面が表示されます。 • 以降の操作：→P321「スケジュールを登録する」手順4～5

※ 測地系とは、地球上の位置を緯度・経度で表すための基準のことです。

お知らせ

● ◉ ▶ 生活ツール「生活ツール」▶ ◎ ▶ 2 ▶ 現在地確認「現在地確認」を押しても現在地確認ができます。
● GPSを1秒以上押しても現在地確認ができます。
● 公共モード（ドライブモード）中の現在地確認では、確認音、バイブレータ、着信ランプは動作しません。
● 測位レベルは目安です。周囲の電波状況などにより異なります。

現在地確認設定

現在地確認の設定を行う

現在地確認を行ったあと簡単な操作で地図を表示したり、GPSソフトを起動するようにしたりできます。

GPSボタンの設定を行う

お買い上げ時	地図を見る

現在地確認をした後（GPSボタンを1秒以上押した場合）の動作を設定します。

1 GPS ▶ 現在地確認設定 ▶ 1 を押す

2 項目を選択し、◉を押す

地図を見る	サイトに接続し、地図を表示します。
メール貼り付け	位置情報URLをメールの本文に貼り付けます。
ナビゲーション	ナビゲーションを起動します。→P258
GPSソフト起動	GPSソフト一覧を表示します。→P260
電話帳登録	位置情報を電話帳に新規・追加登録します。→P95、107
スケジュール登録	位置情報をスケジュールに新規・追加登録します。→P321
測位毎に確認	現在地確認するたびに利用する項目を選択します。

現在地確認の測位モードを設定する

お買い上げ時	標準モード

1 GPS ▶ 現在地確認設定 ▶ 2 を押す

2 1「標準モード」または2「品質重視モード」を押す

標準モード	短い時間で測位することを優先します。
品質重視モード	時間をかけて測位を行います。その結果、標準モードより精度が上がる場合があります。

ナビゲーション

ナビゲーションを使用する

ナビゲーションは現在地からの経路を探索して音声で道案内などを行う機能です。簡単な操作で目的地までのルート探索などを行うことができます。

- ご利用にあたっては、FOMAサービスおよびｉモードのご契約が必要です。
- ナビゲーションの利用料は無料ですが、通信時には別途パケット通信料がかかります。
- 機能として搭載しているナビゲーションは2009年9月末をもってご利用できなくなります。あらかじめご了承ください。
- 本書に記載されるナビゲーションの画面はイメージです。

ナビゲーションを起動する

1 ▶を押す

■ 初めて起動するとき

ナビゲーション利用確認画面が表示されます。

①「確認/利用規約承諾」を選択し、◉を押す

ナビゲーション初期設定画面が表示されます。

- 利用規約およびご利用上の注意事項をご確認ください。

②設定を行う

- 通信設定を「起動ごとに確認」に設定するとナビゲーションを起動するたびに確認画面が表示されます。
- 位置情報利用設定を「送信ごとに確認」に設定すると位置情報を測位するたびに確認画面が表示されます。
- 電話帳／履歴参照を「参照ごとに確認」に設定すると電話帳や位置履歴を参照するたびに確認画面が表示されます。

③「確認（次へ進む)」を選択し、◉を押す

ナビゲーションの起動画面



①かんたんナビ

行きたい場所を設定し、そこまでの経路探索と音声ナビゲーションを行います。

②現在地メニュー

現在地を確認します。現在地情報から周辺地図を表示したり、周辺スポット検索や最寄り駅案内を行います。

③インフォメーション

重要なお知らせ、利用規約、ナビゲーションの利用期限、通信料のご案内、よくある質問について記載されています。

④各種設定

ナビゲーション（音量／バイブレーション設定)、航空写真表示、通信、位置情報利用、電話帳／履歴参照の設定を行います。

お知らせ

- ●ナビゲーション起動時は通信を行いません。かんたんナビ、現在地メニュー、インフォメーション（一部）を使うときに通信を行い、パケット通信料がかかります。通信料の目安については、インフォメーションメニューから通信料のご案内をご覧ください。
- ●利用規約およびご利用上の注意事項を必ずお読みになり、同意のうえご利用ください。

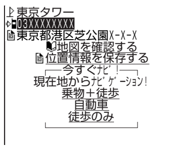
ナビゲーションを使う

- GPS信号の状況によっては、誤差が大きくなったり、ご利用いただけない場合があります。
- 出発地に設定できるのは、測位した現在地のみです。

＜例＞東京タワーへ行く場合

1 ナビゲーションを起動し、 「かんたんナビ」を押す

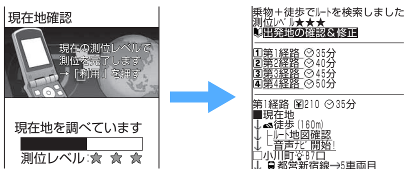
2 目的地を検索する



目的地画面

- 住所、電話番号など、いろいろな情報から検索できます。画面に従って操作してください。

3 移動手段を選択し、◉を押す



ルート検索結果画面（「乗物+徒歩」）

現在地を測位し、ルート検索結果画面が表示されます。

- 目的地までの距離が約10kmを超えている場合、「徒歩のみ」でのナビゲーションはできません。
- 目的地画面で「自動車」を選択すると、ルートを地図で確認できます。（音声ナビゲーションはできません。）
- 目的地画面で「地図アイコン凡例」を選択して◉を押すと、地図上に表示されるアイコンの説明を見ることができます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。➔P287

4 「音声ナビ開始！」を選択し、●を押す



- Navigation engine by NAVITIME JAPAN 地図：昭文社

現在地付近の地図が表示され、バイブレータが振動してから音声でナビゲーションが始まります。（各種設定のバイブレーション設定が「OFF」の場合は、振動しません。）

- 一度音声ナビゲーションでお知らせした音声は、聞きなおすことができません。
- 音声ナビゲーションを開始するまで、時間がかかる場合があります。
- 音声ナビゲーションが行われるのは徒歩のときだけです。
- 電子コンパスONの場合は、常に自分の向いている方向が地図の上向きになるように、地図が自動的に回転します。お買い上げ時は電子コンパスの方位が正しく設定されていません。FOMA端末を持ち、手首を返しながら大きく8の字を描くように約5秒間動かすことで方位が設定されます。
- 音声ナビゲーション中にあらかじめ設定したルートから離れた場合、ルートから外れた旨のメッセージが表示されます。

■ 地図でルートを確認するとき

①「ルート地図確認」を選択し、●を押す

- 音声ナビゲーションは行われません。

お知らせ

- 音声ナビゲーションを開始したときや現在地メニューから「地図を確認する」を選択した場合は、電子コンパスONになります。
- 電子コンパスを使う場合は、本体を完全に開き、ボタン操作部を水平にしてご利用ください。
- 地図、道案内、経路情報などについて、正確性、即時性など、いかなる保証もしませんのであらかじめご了承のうえご利用ください。
- ご利用の際は実際の交通規則に従って走行または通行してください。運転中および歩行中の携帯電話の操作、画面の確認は行わないでください。
- 地図などの無断転載、複製、改変は禁止されています。
- 電子コンパスは、地球のわずかな磁場を感知して方位を算出しています。以下の場合は、正しい方位が表示できないことがあります。
  - 建物、鉄製品（特にスチールデスクなど）、ラジオ、テレビ、高圧線、磁気を含む岩盤の付近
  - 磁性体材料を含むストラップ、時計、指輪のご使用時や、電車、バス、自動車の付近や車内
  - 急激な温度変化をともなう環境下
- 電子コンパス起動直後や、FOMA端末の開閉時、miniSDメモリーカードの抜き差し時、またはラジオ、テレビ、鉄製品、マグネット類などに近づけたり、その付近や急激な温度変化をともなう環境下に長時間置いたままにした場合は、FOMA端末を持ち、手首を返しながら大きく8の字を描くように約5秒動かすことで方位調整が行われます。

地図ビューアについて

ナビゲーションで表示される地図ビューアの種類には、通常モード（現在地／目的地の地図）、ルート表示モード、ナビモードがあります。



通常モード（現在地／目的地）

現在地や目的地画面で、「地図を確認する」を選択したときに表示されます。



ルート表示モード（徒歩／自動車）

ルート検索結果画面で「ルート地図確認」を選択したときに表示されます。



ナビモード

ルート検索結果画面で「音声ナビ開始！」を選択したときに表示されます。

地図ビューアの操作キー

次のキーで地図ビューアを操作できます。

キー	動　作
✣	上下左右にスクロールします。
●［拡大］	拡大します。
✉［縮小］	縮小します。
*	左回りに回転します。
#	右回りに回転します。
i［ﾒﾆｭｰ］	機能メニューが表示されます。
0	十字カーソルの地点が画面の中心になります。
9	スカイビュー機能のON／OFFを切り替えます。
CLR	地図を閉じます。 十字カーソル移動中はもとの位置に戻ります。 機能メニュー／各種ポップアップ表示中は地図の画面に戻ります。

地図ビューアの機能メニュー

機能メニューから地図ビューアを操作できます。表示メニュー、表示順は地図ビューアの種類によって異なります。

- 「航空写真」と「ナビモードON」、「現在地更新ON」、「スカイビュー ON」は同時に設定できません。

機能メニュー	地図の表示モード	内　容
ナビモードON／OFF	ルート表示（徒歩） ナビ	ルート表示モード（徒歩）時に「ナビモードON」にすると、ナビゲーションを開始します。 ナビモード時に、「ナビモードOFF」にすると、ルート表示モードに切り替わります。
リルート（再探索）	ルート表示（徒歩） ナビ	現在地または十字カーソル位置を出発地に変更してルート探索をやり直します。
現在地更新ON／OFF	通常（現在地） ルート表示（自動車）	「現在地更新ON」にすると現在地の測位を行い、現在地にオートスクロールします。
場所を修正する	通常（現在地／目的地）	十字カーソルの地点の地図に修正します。
地図の縮尺変更	全モード	地図の縮尺を選択します。「航空写真」を選択すると、航空写真地図が表示されます。
電子コンパスON／OFF	全モード	進行方向を上にして地図を表示します。
ナビゲーション設定	ルート表示（徒歩） ナビ	音量とバイブレーションの設定を行います。
スカイビューON／OFF	全モード	「スカイビュー ON」にすると、空から見ているような3D地図表示になります。
地図操作方法	全モード	地図の操作方法やメニューについて説明します。
地図を閉じる	全モード	地図を閉じます。

お知らせ

●航空写真を利用した場合、約400m四方の航空写真地図をダウンロードするために、約50Kバイト（約400パケット）のパケット通信料がかかります。

●音声ナビゲーション中に道を間違えたり、建物の影に入ったりすると、画面と音声が正しい動作をしない場合があります。

GPSソフト

GPSソフトを使う

GPSソフトは、GPS機能に対応したｉアプリです。FOMA端末で取得した位置情報を利用して、周辺地図を表示することなどができます。

- あらかじめGPS機能に対応したｉアプリをダウンロードしておく必要があります。
- 位置情報の利用方法は、ソフトによって異なります。

1 ▶を押す

2 GPSソフトを選択し、◉を押す

- GPSに対応したソフトのみが表示されます。

位置提供

要求に応えて現在の位置情報を提供する

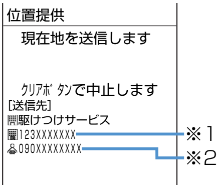
相手から要求があったときに現在の位置情報を提供します。

- この機能を利用するには、位置提供可否設定を「位置提供機能ON」に設定する必要があります。（→P261）なお、お買い上げ時は、位置提供可否設定は「位置提供機能OFF」に設定されています。さらに、位置提供設定のサービス利用設定（GPSサービス利用設定）が必要な場合があります。→P262（「イマドコサーチ」ご利用者は、ｉモードオプション設定の位置情報利用設定（イマドコサーチ設定）が必要です。）
- 位置提供のご利用にあたっては、サービスへの申し込みが必要となる場合があります。また、GPSサービスや「イマドコサーチ」の利用は有料となる場合があります。
- 位置提供のご利用にあたっては、GPSサービス提供者や、ドコモのホームページなどでのお知らせに従って行ってください。
- 位置提供可否設定を「位置提供機能ON」にすると操作することなく位置が送信されることがあります。

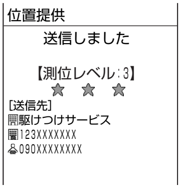
位置情報のリクエストがあると

設定した接続先から位置情報の提供を要求されると、位置提供を開始します。

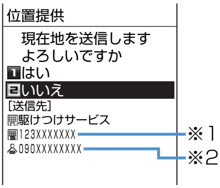
- が点滅し、測位を開始します。
- 音声／テレビ電話発信中、通話中は、通知／確認音、バイブレータは動作せず、「プッププッ」という音、着信ランプ、画面表示のみ動作します。
- GPSサービスご利用時、GPSサービス利用設定が「許可」の場合、お客様の確認なしに位置を提供します。
- 「イマドコサーチ」ご利用時、ｉモードオプション設定の位置情報利用設定（イマドコサーチ設定）が「許可」の場合、お客様の確認なしに位置を提供します。





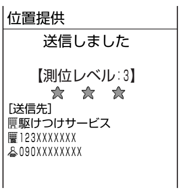


- GPSサービスご利用時、GPSサービス利用設定が「毎回確認」の場合、位置提供のリクエストのたびにお客様が確認して位置を提供します。
- 「イマドコサーチ」ご利用時、iモードオプション設定の位置情報利用設定（イマドコサーチ設定）が「毎回確認」の場合、位置提供のリクエストのたびにお客様が確認して位置を提供します。



1「はい」を押す※3





※1「(位置提供の送信先ID)」は表示されない場合があります。

※2「(位置提供の要求者ID)」が電話帳の電話番号またはメールアドレスと一致した場合は、電話帳の名前が表示されます。電話帳と一致せず、現在地通知先の電話番号と一致した場合は、通知先名が表示されます。その場合、アイコンは「」になります。

※3 送信しないときは2「いいえ」を押します。約20秒操作をしなかった場合は、位置提供を行いません。

■ 位置提供を中断するとき

①位置提供中に[中断]またはCLRを押す
- タイミングによっては位置情報が送信されることがあります。
- 電波状況によっては、位置情報が送信されても、GPSサービス提供者やイマドコサーチの検索者に届いていないことがあります。

お知らせ

●位置情報を提供する相手の電話番号やメールアドレスが、シークレット設定された電話帳に登録されている場合、シークレットモード中以外は名前は表示されません。

位置提供の可否を設定する

お買い上げ時	位置提供機能OFF

1 ▶▶3▶1を押す

位置提供可否設定画面が表示されます。

2 1「位置提供機能ON」を押す
- 許可しないときは2「位置提供機能OFF」を押します。

3 端末暗証番号を入力し、●を押す

位置提供を許可する期間を設定するとき

- 許可期間を設定したときの動作について→P269

1 位置提供可否設定画面で3「許可期間設定」を押す

2 端末暗証番号を入力し、●を押す

3 許可期間を設定する

■ 開始時刻を設定するとき

①START を選択し、●を押す
②開始時刻を入力し、●を押す

■ 終了時刻を設定するとき

①END を選択し、●を押す
②終了時刻を入力し、●を押す

■ 繰り返しを設定するとき

①を選択し、●を押す
②1〜3を押す

毎日	毎日設定した時間に位置情報の提供を許可します。
曜日指定	指定した曜日に位置情報の提供を許可します。 ①曜日を選択して●を押す ・解除するときは●を押します。 ②i［完了］を押す
繰り返しなし	設定した期間だけ位置情報の提供を許可します。

GPS機能　位置提供

■ 有効期間を設定するとき

- 繰り返しなしの場合は、設定できません。
- 有効期間を設定しない場合は、操作する必要はありません。

① ▷|を選択し、●を押す

② 1「設定」を押す

- 設定しないときは2「設定なし」を押します。

③ 開始日を入力し、●▶終了日を入力し、●を押す

4 i［確定］を押す

<サービス利用設定>

GPSサービス利用設定を行う

GPSサービス利用設定に接続して位置提供の検索許可や、パスワードなどサービスの設定を行います。

- 「イマドコサーチ」では、FOMA端末でのGPSサービス利用設定は不要ですが、iモードオプション設定の位置情報利用設定（イマドコサーチ設定）が必要です。位置情報利用設定については、ドコモのホームページなどをご覧ください。

1 メニュー▶通知/提供設定▶3▶4を押す

GPSサービス利用設定に接続されます。

2 必要な設定を行う

- 設定方法については、GPSサービス提供者にお問い合わせください。

お知らせ

●GPSサービス利用設定への接続中は、証明書表示・文字コード変換以外の機能（Bookmark登録・画面メモなど）は利用できません。URL履歴にも残りません。

●公共モード（ドライブモード）中の位置提供については、次のように動作します。

- GPSサービス利用設定が「毎回確認」の場合、公共モード（ドライブモード）中は位置提供の要求に対して、位置情報は提供されません。
- GPSサービス利用設定が「許可」の場合、通知／確認音・バイブレータ・着信ランプは動作せず、画面表示のみされ、位置情報が提供されます。

位置提供の測位モードを設定する

お買い上げ時	標準モード

1 メニュー▶通知/提供設定▶3▶2を押す

- 以降の操作：→P257「現在地確認の測位モードを設定する」手順2

接続先を設定する

お買い上げ時	契約時接続先

契約時接続先以外のGPSサービス利用設定への接続先を設定します。

通常は設定を変更する必要はありません。

1 メニュー▶通知/提供設定▶3▶3を押す

2 「未登録」を選択し、i［編集］を押す

■ FOMA端末契約時の接続先に戻すとき

① 1「契約時接続先」を押す

■ 以前設定したユーザー指定接続先に変更するとき

① 2「ユーザー指定接続先」を押す

■ 設定したユーザー指定接続先を削除するとき

①「ユーザー指定接続先」を選択し、✉［削除］を押す

② 端末暗証番号を入力し、●を押す

③ 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

3 端末暗証番号を入力し、●を押す

4 接続先名称を入力し、●を押す

- 半角英数字、半角記号を99文字まで入力できます。

5 接続先アドレスを入力し、●を押す

- 半角英数字、半角記号を100文字まで入力できます。

6 入力内容を確認し、i［完了］を押す

接続先が変更されます。

- 入力し直すときは●を押します。

現在地通知

現在の位置情報を通知する

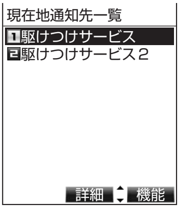
現在地の位置情報を特定の相手（GPSサービス提供者）に通知します。

- 現在地通知のご利用にあたっては、GPSサービス提供者への申し込みが必要となる場合があります。また、GPSサービスの利用は有料となる場合があります。
- 現在地通知・定期現在地通知のご利用にあたっては、GPSサービス提供者や、ドコモのホームページなどでのお知らせに従って行ってください。また、これらの機能の利用は有料です。

通知する相手を登録する

- 9件まで登録できます。

1 メニュー ▶ 通知/提供設定 ▶ 2 ▶ 1 **を押す**



現在地通知先一覧画面

■ 通知先を電話帳登録するとき

①**通知先を選択し、**i［機能］▶5「電話帳新規登録」**を押す**
- 以降の操作：→P95「FOMA端末電話帳に登録する」手順2〜6、P99「FOMAカード電話帳に登録する」手順2〜4
- 追加登録するときは6「電話帳追加登録」を押して電話帳を選択し、●を押します。以降の操作：→P107「電話帳を修正する」手順2〜4

■ 通知先を編集するとき

①**通知先を選択し、●を押す**
②✉［編集］**を押す**
③**項目を編集し、●を押す**
④i［登録］**を押す**

2 i［機能］▶1「新規登録」**を押す**

3 **内容を入力する**

■ 通知先名を入力するとき

①（通知先名）**を選択し、●を押す**
②**通知先名を入力し、●を押す**
- 全角16文字（半角32文字）まで入力できます。
- 電話帳などから引用して通知先名を入力できます。→P353

■ 通知先IDを入力するとき

通知先IDとは、サービス契約後にGPSサービス提供者から知らされる番号です。

①（通知先ID）**を選択し、●を押す**
②**通知先IDを入力し、●を押す**
- 12桁までの半角数字で設定してください。「＊」、「＃」も入力できます。

■ 電話番号を入力するとき

①（電話番号）**を選択し、●を押す**
②**電話番号を入力し、●を押す**
- 「＊」、「＃」、「＋」、「P」を含めて、26桁まで入力できます。
- すでに現在地通知先に登録されている電話番号は登録できません。
- 電話帳などから引用して電話番号を入力できます。→P353

■ 発信時の現在地通知を設定するとき

登録した電話番号に音声／テレビ電話をかけるときに、現在地情報を通知するかどうかを設定します。

- 発信時に発信者番号通知設定を「番号非通知」に設定した場合、現在地通知はできません。発信者番号通知設定について→P55
- 発信時に相手が公共モード（ドライブモード）中や着信を拒否した場合、現在地通知はできません。
- 電話番号を入力しないと、設定できません。

①（発信時通知）**を選択し、●を押す**
②1〜3**を押す**

4 i［登録］**を押す**

通知先を削除する

1 **現在地通知先一覧画面で通知先を選択し、**i［機能］▶7「削除」**を押す**

2 1「1件削除」**を押す**

■ 選択削除するとき

①2「選択削除」**を押す**
②**通知先を選択し、●を押す**
- 解除するときは●を押します。

③i［実行］**を押す**

■ 全件削除するとき

①3「全件削除」**を押す**
②**端末暗証番号を入力し、●を押す**

3 1「はい」**を押す**
- 中止するときは2「いいえ」を押します。

現在地通知の測位モードを設定する

お買い上げ時	標準モード

1 メニュー ▶ 通知/提供設定 ▶ 2 ▶ 2 **を押す**
- 以降の操作：→P257「現在地確認の測位モードを設定する」手順2

位置情報を通知する

現在地の位置情報を選択した相手に通知します。

1 [GPS]▶[通知/提供設定]▶[1]を押す

2 通知先を選択し、●を押す



[GPS]が点滅し測位を開始します。

■ 通知先を入力して通知するとき

①「直接入力」を選択し、●を押す
②通知先の通知先IDを入力し、●を押す

■ 現在地通知を中止するとき

①[メール]［中断］または[CLR]を押す
- タイミングによっては位置情報が送信されることがあります。
- 電波状況によっては、位置情報が送信されても、GPSサービス提供者に届いていないことがあります。

<ワンタッチ通知先>

現在地を簡単に通知する

現在地を通知する相手を設定しておくと、簡単な操作で位置情報を通知できます。
- ワンタッチ通知先を利用するには、ワンタッチ通知先設定を行ってください。

1 [TASK]を1秒以上押す

現在地確認を行い、ワンタッチ通知先に設定した相手に位置情報を通知します。

ワンタッチ通知先を設定する

ワンタッチ通知先で通知する相手を登録します。
- 設定した通知先を削除すると、ワンタッチ通知先の設定は解除されます。

1 現在地通知先一覧画面で通知先を選択し、[i]［機能］▶[2]「ワンタッチ通知先設定」を押す

- 設定を解除するときは[2]「ワンタッチ通知先解除」を押します。

定期的に現在地を通知する

設定した時刻になると、現在地を通知するように設定できます。
- スケジュールは2件まで登録できます。
- 定期現在地通知を設定したときの動作について→P270

1 [GPS]▶[通知/提供設定]▶[2]▶[3]を押す

2 [1]「スケジュール1」または[2]「スケジュール2」を押す

- スケジュールごとに有効／無効が表示されます。

3 端末暗証番号を入力し、●を押す

4 [1]「有効」を押す

■ 設定を解除するとき

①[2]「無効」を押す
- 一度登録したスケジュールは「無効」にしても前回の設定は残ります。

5 項目を設定する

■ 通知先を設定するとき

①[TITLE]を選択し、●を押す
②通知先を選択し、●▶●を押す
- あらかじめ現在地通知先を設定しておく必要があります。→P263

■ 開始時刻を設定するとき

①[START]を選択し、●を押す
②開始時刻を入力し、●を押す

■ 終了時刻を設定するとき

- 通知間隔が「1回のみ」の場合は、入力できません。

①[END]を選択し、●を押す
②終了時刻を入力し、●を押す

■ 通知間隔を設定するとき

①[間隔]を選択し、●を押す
②[1]「通知間隔」または[2]「1回のみ」を押す

通知間隔	設定した通知開始時間から終了時間まで、設定した時間ごとに現在地通知を行います。 ①通知間隔を入力し、●を押す • 5分未満は設定できません。
1回のみ	設定した通知開始時間に現在地通知を行います。

■ 繰り返しを設定するとき

① を選択し、◉を押す
② 1～3を押す

毎日	毎日設定した時間に現在地通知を行います。
曜日指定	指定した曜日に現在地通知を行います。 ①曜日を選択し、◉を押す ・解除するときは◉を押します。 ② i［完了］を押す
繰り返しなし	設定した期間だけ現在地通知を行います。

■ 有効期間を設定するとき

- 繰り返しなしの場合は、設定できません。
- 有効期間を設定しない場合は、操作する必要はありません。

① を選択し、◉を押す
② 1「設定」を押す
  - 設定しないときは2「設定なし」を押します。
③ 開始日を入力し、◉▶終了日を入力し、◉を押す

6 i［登録］を押す

お知らせ

●公共モード（ドライブモード）中の定期現在地通知については、通知音（OKトーン、NGトーンを含む）・バイブレータ・着信ランプは動作せず、画面表示のみされ、現在地通知を行います。
●音声／テレビ電話発信中、通話中の定期現在地通知については、通知音、バイブレータは動作せず、「プッププッ」という音、着信ランプ、画面表示のみ動作し、現在地通知を行います。

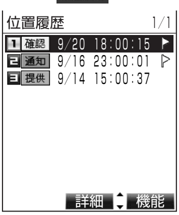
位置履歴

確認した位置情報の履歴を表示する

位置情報の履歴を表示します。位置履歴の位置情報から地図を表示したり、メールに貼り付けたりできます。

- 位置履歴は50件まで記録され、50件を超えると古い履歴から順に上書きされます。

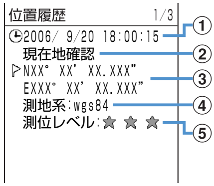
1 ▶ 位置履歴 を押す



位置履歴一覧画面

- 現在地確認・現在地通知・位置提供が実行された日時・測位結果を確認できます。
  - 確認：現在地を確認したとき
  - 通知：現在地を通知したとき
  - 提供：現在地を要求されたとき（位置提供を行わなかった場合も、表示されます。）
- 位置履歴に位置情報がある場合は、が表示されます。

2 位置履歴を選択し、◉を押す



位置履歴詳細画面

①測位日時
測位した日時

②種別
現在地確認、現在地通知、定期現在地通知、位置提供のいずれかを表示

③位置情報
経度（度、分、秒）、緯度（度、分、秒）
「N」は北緯、「E」は東経

④測地系
wgs84（世界測地系）、Tokyo（日本測地系）
- 測地系とは地球上の位置を経度・緯度で表わすための基準のことです。

⑤測位レベル
測位の誤差範囲

アイコン	内　容
	測位日時
	位置情報
	現在地通知の通知先の名称／位置提供の送信先の名称
	現在地通知の通知先のID／位置提供の送信先のID
	位置提供の要求者名
	位置提供の要求者ID
★★★	誤差が50m未満（測位レベル3）
★★☆	誤差が50m以上300m未満（測位レベル2）
★☆☆	誤差が300m以上（測位レベル1）

- 位置履歴に位置情報が表示されていても、電波状況により、GPSサービス提供者やイマドコサーチの検索者に届いていないことがあります。

位置履歴で使用できる機能

- 測位に失敗した履歴は各機能で使用できません。（検索者にメール、削除を除く）

1 **位置履歴一覧画面で位置履歴を選択し、i［機能］を押す**

2 **項目を選択し、●を押す**

地図を見る	サイトに接続し、地図を表示します。 ①1「はい」を押す
メール貼り付け	位置情報URLをメールの本文に貼り付けます。 ①1「はい」を押す メール作成画面が表示されます。 ・以降の操作：→P209「iモードメールを作成して送信する」手順2～6 ・位置情報URLについて→P257
検索者にメール	位置提供の要求者IDがメールアドレスの場合に、要求者IDを宛先にしてメールを作成します。 ・以降の操作：→P209「iモードメールを作成して送信する」手順4～6
ナビゲーション	ナビゲーションが起動します。→P258
GPSソフト起動	GPSソフト一覧を表示します。 ・以降の操作：→P260「GPSソフトを使う」手順2
電話帳新規登録	位置情報を電話帳に新規登録します。 ・以降の操作：→P95「FOMA端末電話帳に登録する」手順3～6 ・FOMAカード電話帳には登録できません。
電話帳追加登録	位置情報を電話帳に追加登録します。 ①電話帳を選択し、●を押す ・以降の操作：→P107「電話帳を修正する」手順2～4
スケジュール新規登録	位置情報をスケジュールに新規登録します。 ・以降の操作：→P321「スケジュールを登録する」手順3～5
スケジュール追加登録	位置情報をスケジュールに追加登録します。 ①スケジュールを選択し、●を押す ・以降の操作：→P321「スケジュールを登録する」手順4～5
画像へ埋め込む	静止画に位置情報を埋め込みます。
削除	位置履歴を削除します。

位置履歴の位置情報を画像に埋め込む

JPEG形式の画像に位置情報を埋め込むことができます。埋め込んだ位置情報を利用して地図を表示したり、メールに貼り付けたりできます。→P267

- SA702i以外で撮影した静止画などには登録できない場合があります。

1 **位置履歴一覧画面でi［機能］▶●▶3「画像へ埋め込む」を押す**

2 **1「マイピクチャ（本体）」または2「デジカメ（miniSD）」を押す**

3 **フォルダを選択し、●を押す**

4 **静止画を選択し、●を押す**

- すでに位置情報が埋め込まれている場合、確認画面が表示されます。

新規保存	静止画をコピーして、位置情報を埋め込みます。
位置情報更新	すでに埋め込まれている位置情報に上書きします。
キャンセル	位置情報を埋め込みません。

位置履歴を削除する

1 **位置履歴一覧画面でi［機能］▶●▶4「削除」を押す**

2 **1「1件削除」を押す**

■選択削除するとき

①2「選択削除」を押す
②位置履歴を選択し、●を押す
- 解除するときは●を押します。

③i［実行］を押す

■全件削除するとき

①3「全件削除」を押す
②端末暗証番号を入力し、●を押す

3 **1「はい」を押す**

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

各機能から位置情報を利用する

電話帳やスケジュール、静止画に埋め込んだ位置情報から地図を表示したり、メールに貼り付けたりできます。

位置情報を埋め込む

FOMA端末電話帳、スケジュール、静止画、プロフィールに位置情報を埋め込むことができます。

1 **FOMA端末電話帳、スケジュール、プロフィール編集画面または静止画撮影・確認画面、画像一覧・表示画面を表示する**

- FOMA端末電話帳編集について→P107

- スケジュール編集について→P322
- プロフィール編集について→P326
- 静止画撮影／確認画面表示方法について→P163
- 画像一覧／表示画面表示方法について→P275

2 **「位置情報なし」を選択し、●を押す**

- 静止画撮影／確認画面では[i]［機能］▶「位置情報埋め込み」を選択し、●を押します。
- 画像一覧／表示画面では[i]［機能］▶「位置情報」を選択し、●▶[1]「はい」を押します。

3 **項目を選択し、●を押す**

- データによって表示される項目が異なります。

現在地確認	現在地確認を行い、位置情報を埋め込みます。 ①現在地確認結果画面で●を押す
位置履歴から	位置履歴一覧から位置情報を埋め込みます。 ①位置履歴を選択し、●▶●を押す
電話帳から	電話帳に登録されている位置情報を埋め込みます。 ①電話帳を検索し、●▶●を押す
プロフィールから	プロフィールに登録されている位置情報を埋め込みます。 ①●▶●を押す
画像データから	静止画に埋め込まれている位置情報を埋め込みます。 ①[1]「マイピクチャ（本体）」または[2]「デジカメ(miniSD)」を押す ②フォルダを選択し、●▶静止画を選択し、●を押す ③●を押す
スケジュールから	スケジュールに登録されている位置情報を埋め込みます。 ①スケジュールを選択し、●▶●を押す

埋め込んだ位置情報を利用する

1 **データを選択する**

- FOMA端末電話帳表示方法について→P103
- スケジュール表示方法について→P322
- 画像一覧／表示画面表示方法について→P275
- プロフィール表示方法について→P326

2 **[i]［機能］▶「位置情報」を選択し、●を押す**

- FOMA端末電話帳、スケジュール詳細画面、プロフィールの場合は、「位置情報あり」を選択し、●を押しても次の操作ができます。

3 **項目を選択し、●を押す**

- データによっては、選択できない項目があります。

地図を見る	サイトに接続し、地図を表示します。 ①[1]「はい」を押す
メール貼り付け	位置情報URLをメールの本文に貼り付けます。 ①[1]「はい」を押す メール作成画面が表示されます。 ・以降の操作：→P209「iモードメールを作成して送信する」手順2～6 ・位置情報URLについて→P257
ナビゲーション	ナビゲーションが起動します。→P258
GPSソフト起動	GPSソフト一覧を表示します。 ・以降の操作：→P260「GPSソフトを使う」手順2
電話帳新規登録	位置情報を電話帳に新規登録します。 ・以降の操作：→P95「FOMA端末電話帳に登録する」手順3～6 ・FOMAカード電話帳には登録できません。
電話帳追加登録	位置情報を電話帳に追加登録します。 ①電話帳を選択し、●を押す ・以降の操作：→P107「電話帳を修正する」手順2～4
スケジュール新規登録	位置情報をスケジュールに新規登録します。 ・以降の操作：→P321「スケジュールを登録する」手順3～5
スケジュール追加登録	位置情報をスケジュールに追加登録します。 ①スケジュールを選択し、●を押す ・以降の操作：→P321「スケジュールを登録する」手順4～5
画像へ埋め込む	静止画に位置情報を埋め込みます。 ・以降の操作：→P266「位置履歴の位置情報を画像に埋め込む」手順2～4
位置情報埋め込み	すでに埋め込まれた位置情報を更新できます。 ・以降の操作：→P266「位置情報を埋め込む」手順3
位置情報詳細	埋め込んだ位置情報の詳細が表示されます。→P265
削除	①[1]「はい」を押す ・電話帳、スケジュール、プロフィールでは、編集画面から行ってください。

GPS機能のご利用について

GPS機能のご利用について

- GPSサービスとは、位置提供・現在地通知の機能を利用したサービスです。
- サービスご利用にあたっては、申し込みが必要な場合や有料となるものがあります。
- 位置提供や現在地通知のご利用にあたっては、GPSサービス提供者や、ドコモのホームページなどでのお知らせに従って行ってください。また、これらの機能の利用は有料です。
- GPS機能のご利用にあたっては、iモードのご契約が必要となる場合があります。
- GPSは米国国防総省により運営されておりますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。
  - 建物の中や直下
  - かばんや箱の中
  - 密集した樹木の中や下
  - 移動中の自動車、電車などの車内
  - 地下やトンネル、地中、水中
  - ビル街や住宅密集地
  - 高圧線の近く
  - 大雨、雪などの悪天候
  - 携帯電話の周囲に障害物（人や物）があるとき
  - 携帯電話の画面・操作ボタン・マイクやスピーカー周辺を手で覆い隠すように持っているとき

  このような場合、得られる位置情報の誤差が300m以上になる場合があります。
- FOMA端末のGPS機能は、現在地確認機能を除いて、圏外では使用できません。
- 圏外での現在地確認は圏内での測位と比べて、時間がかかるなど動作が異なる場合があります。
- GPSの人工衛星は高度約20,000kmの衛星軌道上に約24個あり、それぞれが約12時間で地球を一周しています。そのため同じ使用環境であっても日時が異なれば、電波の受信状態が異なり、位置情報に大きな誤差を生じたり、測位できなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。
- オールロック中、PIMロック（GPS）中、セルフモード中、FOMAカード未挿入の場合、PINロックが完全にロックされている場合はGPS機能は利用できません。ただし、PIMロック中でも位置提供は利用できます。
- 機能として搭載しているナビゲーションは、2009年9月末をもってご利用できなくなります。あらかじめご了承ください。
- 電話の発信中、着信中およびメールの受信中には、測位が失敗する場合があります。
- FOMA端末の故障、修理やその他の取扱いによって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したためお客様が不利益を被ったとしても当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末は航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる障害が発生しても当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末は高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置情報の誤差による損害が発生しても当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末のGPS機能は、日本国外では使用できません。
- 次の場合は現在地確認・位置提供・現在地通知・定期現在地通知は行われません。
  - 赤外線通信中
  - ソフトウェア更新中
  - 電源を入れたときのPINコード入力時

また、各機能が行われない条件は次のとおりです。

機能名	条　件
現在地確認	• テレビ電話通話中 • ｉアプリ起動中にGPSボタンを1秒以上押したとき
位置提供	• 現在地確認、現在地通知、定期現在地通知、位置提供の各測位中 • ｉアプリからの測位中、ｉアプリがサイト接続中、ｉアプリが赤外線通信中 • ナビゲーションからの測位中／パケット通信中（送受信中）
現在地通知	• ｉアプリ起動中にタスクボタンを1秒以上押したとき
定期現在地通知	• ｉアプリが赤外線通信中

位置提供を許可する期間を設定したときの動作

<例>現在の日時が「2006/9/20 14:00」のとき

設定内容				位置提供が行われる期間
開始時刻	終了時刻	繰り返し	有効期間	
15:00	22:00	繰り返しなし	−	2006/9/20 15:00 ～ 2006/9/20 22:00まで
		毎日	開始日：2006/9/25 終了日：2006/10/25	2006/9/25 15:00 ～ 2006/10/25 22:00まで毎日（15:00～22:00の間）
			開始日：2006/9/15 終了日：2006/10/25	2006/9/20 15:00 ～ 2006/10/25 22:00まで毎日（15:00～22:00の間）
			設定なし	2006/9/20 15:00 以降毎日（15:00～22:00の間）
		曜日指定	開始日：2006/9/25 終了日：2006/10/25	2006/9/25 15:00 ～ 2006/10/25 22:00までの指定した曜日（15:00～22:00の間）
			開始日：2006/9/15 終了日：2006/10/25	2006/9/20 15:00 ～ 2006/10/25 22:00までの指定した曜日（15:00～22:00の間）
			設定なし	2006/9/20 15:00以降の指定した曜日（15:00～22:00の間）
09:00	22:00	繰り返しなし	−	2006/9/21 9:00 ～ 2006/9/21 22:00まで
		毎日	開始日：2006/9/25 終了日：2006/10/25	2006/9/25 9:00 ～ 2006/10/25 22:00まで毎日（9:00～22:00の間）
			開始日：2006/9/15 終了日：2006/10/25	2006/9/20 14:00 ～ 2006/10/25 22:00まで毎日（9:00～22:00の間）
			設定なし	2006/9/20 14:00 以降毎日（9:00～22:00の間）
		曜日指定	開始日：2006/9/25 終了日：2006/10/25	2006/9/25 9:00 ～ 2006/10/25 22:00までの指定した曜日（9:00～22:00の間）
			開始日：2006/9/15 終了日：2006/10/25	2006/9/20 14:00 ～ 2006/10/25 22:00までの指定した曜日（9:00～22:00の間）
			設定なし	2006/9/20 14:00 以降の指定した曜日（9:00～22:00の間）
15:00	10:00	繰り返しなし	−	2006/9/20 15:00 ～ 2006/9/21 10:00まで
		毎日	開始日：2006/9/25 終了日：2006/10/25	2006/9/25 15:00 ～ 2006/10/26 10:00まで毎日（15:00～翌日10:00の間）
			開始日：2006/9/15 終了日：2006/10/25	2006/9/20 15:00 ～ 2006/10/26 10:00まで毎日（15:00～翌日10:00の間）
			設定なし	2006/9/20 15:00 以降毎日（15:00～翌日10:00の間）
		曜日指定	開始日：2006/9/25 終了日：2006/10/25	2006/9/25 15:00 ～ 2006/10/26 10:00まで の指定した曜日（15:00～翌日10:00の間）

次ページへつづく

＜例＞現在の日時が「2006/9/20 14:00」のとき

設定内容				位置提供が行われる期間
開始時刻	終了時刻	繰り返し	有効期間	
15:00	10:00	曜日指定	開始日：2006/9/15 終了日：2006/10/25	2006/9/20 15:00 ～ 2006/10/26 10:00までの指定した曜日（15:00～翌日10:00の間）
			設定なし	2006/9/20 15:00 以降の指定した曜日（15:00～翌日10:00の間）
09:00	09:00	繰り返しなし	－	2006/9/21 9:00 ～ 2006/9/22 9:00まで
		毎日	開始日：2006/9/25 終了日：2006/10/25	2006/9/25 9:00 ～ 2006/10/26 9:00まで毎日（9:00～翌日9:00の間）
			開始日：2006/9/15 終了日：2006/10/25	2006/9/20 14:00 ～ 2006/10/26 9:00まで毎日（9:00～翌日9:00の間）
			設定なし	2006/9/20 14:00 以降毎日（9:00～翌日9:00の間）
		曜日指定	開始日：2006/9/25 終了日：2006/10/25	2006/9/25 9:00 ～ 2006/10/26 9:00までの指定した曜日（9:00～翌日9:00の間）
			開始日：2006/9/15 終了日：2006/10/25	2006/9/20 14:00 ～ 2006/10/26 9:00までの指定した曜日（9:00～翌日9:00の間）
			設定なし	2006/9/20 14:00 以降の指定した曜日（9:00～翌日9:00の間）

定期現在地通知を設定したときの動作

＜例＞現在の日時が「2006/9/20 14:00」のとき

設定内容					定期現在地通知が行われる期間
開始時刻	終了時刻	通知間隔	繰り返し	有効期間	
15:00	22:00	1:00 （1時間）	繰り返しなし	－	2006/9/20 15:00に通知、以降2006/9/20 22:00まで1時間ごとに通知
			毎日	開始日：2006/9/25 終了日：2006/10/25	2006/9/25 15:00に通知、以降2006/10/25 22:00まで毎日通知（15:00～22:00の間、1時間ごとに通知）
				開始日：2006/9/15 終了日：2006/10/25	2006/9/20 15:00に通知、以降2006/10/25 22:00まで毎日通知（15:00～22:00の間、1時間ごとに通知）
				設定なし	2006/9/20 15:00に通知、以降毎日15:00～22:00の間、1時間ごとに通知
			曜日指定	開始日：2006/9/25 終了日：2006/10/25	2006/9/25 15:00以降2006/10/25 22:00までの指定した曜日に通知（15:00～22:00の間、1時間ごとに通知）
				開始日：2006/9/15 終了日：2006/10/25	2006/9/20 15:00以降2006/10/25 22:00までの指定した曜日に通知（15:00～22:00の間、1時間ごとに通知）
				設定なし	2006/9/20 15:00以降の指定した曜日に通知（15:00～22:00の間、1時間ごとに通知）
09:00	22:00	1:00 （1時間）	繰り返しなし	－	2006/9/21 9:00 に通知、以降2006/9/21 22:00まで1時間ごとに通知
			毎日	開始日：2006/9/25 終了日：2006/10/25	2006/9/25 9:00 に通知、以降2006/10/25 22:00まで毎日通知（9:00～22:00の間、1時間ごとに通知）
				開始日：2006/9/15 終了日：2006/10/25	2006/9/20 15:00 に通知、以降2006/10/25 22:00まで毎日通知（9:00～22:00の間、1時間ごとに通知）

<例>現在の日時が「2006/9/20 14:00」のとき

設定内容					定期現在地通知が行われる期間
開始時刻	終了時刻	通知間隔	繰り返し	有効期間	
09:00	22:00	1:00 (1時間)	毎日	設定なし	2006/9/20 15:00に通知、以降、毎日9:00～22:00の間、1時間ごとに通知
			曜日指定	開始日：2006/9/25 終了日：2006/10/25	2006/9/25 9:00以降2006/10/25 22:00までの指定した曜日に通知（9:00～22:00の間、1時間ごとに通知）
				開始日：2006/9/15 終了日：2006/10/25	2006/9/20 15:00以降2006/10/25 22:00までの指定した曜日に通知（9:00～22:00の間、1時間ごとに通知）
				設定なし	2006/9/20 15:00以降の指定した曜日に通知（9:00～22:00の間、1時間ごとに通知）
09:00	–	1回のみ	繰り返しなし	–	2006/9/21 9:00に通知
			毎日	開始日：2006/9/25 終了日：2006/10/25	2006/9/25 9:00に通知、以降2006/10/25まで毎日、9:00に通知
				開始日：2006/9/15 終了日：2006/10/25	2006/9/21 9:00に通知、以降2006/10/25まで毎日、9:00に通知
				設定なし	2006/9/21 9:00に通知、以降毎日、9:00に通知
			曜日指定	開始日：2006/9/25 終了日：2006/10/25	2006/9/25 9:00以降2006/10/25までの指定した曜日の9:00に通知
				開始日：2006/9/15 終了日：2006/10/25	2006/9/21 9:00以降2006/10/25までの指定した曜日の9:00に通知
				設定なし	2006/9/21 9:00以降の指定した曜日の9:00に通知
15:00	–	1回のみ	繰り返しなし	–	2006/9/20 15:00に通知
			毎日	開始日：2006/9/25 終了日：2006/10/25	2006/9/25 15:00に通知、以降2006/10/25まで毎日、15:00に通知
				開始日：2006/9/15 終了日：2006/10/25	2006/9/20 15:00に通知、以降2006/10/25まで毎日、15:00に通知
				設定なし	2006/9/20 15:00に通知、以降毎日、15:00に通知
			曜日指定	開始日：2006/9/25 終了日：2006/10/25	2006/9/25 15:00以降2006/10/25までの指定した曜日の15:00 に通知
				開始日：2006/9/15 終了日：2006/10/25	2006/9/20 15:00以降2006/10/25までの指定した曜日の15:00 に通知
				設定なし	2006/9/20 15:00以降の指定した曜日の15:00に通知
15:00	10:00	1:00 (1時間)	繰り返しなし	–	2006/9/20 15:00に通知、以降2006/9/21 10:00まで1時間ごとに通知
			毎日	開始日：2006/9/25 終了日：2006/10/25	2006/9/25 15:00に通知、以降2006/10/26 10:00まで毎日通知（15:00～ 翌日10:00の間、1時間ごとに通知）
				開始日：2006/9/15 終了日：2006/10/25	2006/9/20 15:00に通知、以降2006/10/26 10:00まで毎日通知（15:00～ 翌日10:00の間、1時間ごとに通知）
				設定なし	2006/9/20 15:00に通知、以降毎日15:00～翌日10:00の間、1時間ごとに通知

次ページへつづく

＜例＞現在の日時が「2006/9/20 14:00」のとき

設定内容					定期現在地通知が行われる期間
開始時刻	終了時刻	通知間隔	繰り返し	有効期間	
15:00	10:00	1:00 （1時間）	曜日指定	開始日：2006/9/25 終了日：2006/10/25	2006/9/25 15:00以降2006/10/26 10:00までの指定した曜日に通知 （15:00～翌日10:00の間、1時間ごとに通知）
				開始日：2006/9/15 終了日：2006/10/25	2006/9/20 15:00以降2006/10/26 10:00までの指定した曜日に通知 （15:00～翌日10:00の間、1時間ごとに通知）
				設定なし	2006/9/20 15:00に通知、以降の指定した曜日に通知（15:00～翌日10:00の間、1時間ごとに通知）
09:00	09:00	1:00 （1時間）	繰り返しなし	－	2006/9/21 9:00に通知、以降2006/9/22 9:00まで1時間ごとに通知
			毎日	開始日：2006/9/25 終了日：2006/10/25	2006/9/25 9:00に通知、以降2006/10/26 9:00まで毎日通知 （9:00～翌日9:00の間、1時間ごとに通知）
				開始日：2006/9/15 終了日：2006/10/25	2006/9/20 15:00に通知、以降2006/10/26 9:00まで毎日通知 （9:00～翌日9:00の間、1時間ごとに通知）
				設定なし	2006/9/20 15:00に通知、以降毎日9:00～翌日9:00の間、1時間ごとに通知
			曜日指定	開始日：2006/9/25 終了日：2006/10/25	2006/9/25 9:00以降2006/10/26 9:00までの指定した曜日に通知 （9:00～翌日9:00の間、1時間ごとに通知）
				開始日：2006/9/15 終了日：2006/10/25	2006/9/20 15:00以降2006/10/26 9:00までの指定した曜日に通知 （9:00～翌日9:00の間、1時間ごとに通知）
				設定なし	2006/9/20 15:00以降の指定した曜日に通知（9:00～翌日9:00の間、1時間ごとに通知）

データ表示／編集／管理

データBOXについて 274
静止画を使いこなす
保存した画像を表示する 275
静止画を編集する . . . . <画像編集> 278
動画を使いこなす
動画・ｉモーションを再生する 281
動画・ｉモーションを編集する . . . . <ｉモーション編集> 284
メロディを使いこなす
メロディを再生する. 287
miniSD メモリーカードを使いこなす
miniSDメモリーカードについて 287
FOMA端末のデータをminiSDメモリーカードにコピーする 289
miniSDメモリーカードのデータをプレビューする 290
miniSDメモリーカードのデータをFOMA端末にコピーする 291
miniSDメモリーカードを管理する 292
miniSDリーダライタとして使う . . . . <miniSDモード> 292
その他データを使いこなす
オリジナルデータを表示／登録する. 293
各種データを使いこなす
フォルダとデータを使いこなす 293
赤外線通信を使いこなす
赤外線通信について. 298
赤外線通信を使ってデータを送信する . . . . <赤外線送信> 299
赤外線通信を使ってデータを受信する . . . . <赤外線受信> 299
赤外線通信モードにする . . . . <赤外線通信モード> 300
赤外線リモコン機能を利用する 300
ボイスレコーダーを使いこなす
ボイスレコーダーとして使う . . . . <ボイスレコーダー ＞ 301
静止画を印刷する
miniSDメモリーカードに保存されている画像の印刷方法を設定する
. . . . <DPOFプリント予約> 303

データBOXについて

FOMA端末で撮影した静止画／動画、ダウンロードしたメロディなど、さまざまなデータをフォルダに振り分け、管理します。データBOXの容量（オリジナルデータを含む）、フォルダの内容などは次のとおりです。

データBOXの容量

- データBOXの容量は約25Mバイトで、最大保存件数は1024件です。（お買い上げ時に登録されているデコメールピクチャを含みます。）
- 1件の最大サイズは、ｉモード（メール添付含む）より取得した場合など取得方法により異なります。

データ種別	1件の最大サイズ
画像	
JPEG形式	約1Mバイト
GIF形式	
アニメーションGIF形式	
Flash画像	約100Kバイト
動画・ｉモーション	
MP4形式	約500Kバイト※1
メロディ	
SMF形式	約100Kバイト
MFi形式	
オリジナルデータ	
メニューアイコン	約100Kバイト
祝日データ※2	約5Kバイト
辞書※2	約20Kバイト
カテゴリアイコン※2	約100Kバイト

※1 ｉモード（メール添付含む）より取得した場合のデータ最大容量です。FOMA端末で撮影したデータの最大サイズは約8Mバイトです。miniSDメモリーカードからコピー可能な最大サイズは、データBOX容量内であれば制限はありません。

※2 祝日データは10件、辞書データは100件、カテゴリアイコンはセットアイコン・個別アイコン合わせて40件まで保存できます。

フォルダの種類と内容

- ユーザーフォルダは、マイピクチャ、ｉモーション、メロディ内に、それぞれ10個まで追加できます。

フォルダ名	フォルダ内のデータ内容
マイピクチャ	
ｉモード	サイト、ｉモードメール、メッセージR/F、ｉアプリより取得・作成された画像
カメラ	カメラで撮影した画像 撮影した画像を編集した画像
デコメールピクチャ	内蔵されているデコメール用の画像・テンプレート、サイトよりダウンロードしたデコメール用のテンプレートなど
プリインストール	内蔵されている画像（フレーム・スタンプを含む）※
データ交換	赤外線受信、USB通信などから取得した画像、miniSDメモリーカードからコピーした画像、バーコードリーダーから取得した画像
アイテム	FOMA端末にて作成、もしくはダウンロードしたフレーム、スタンプ（内蔵されているフレーム・スタンプを除く）
ユーザーフォルダ	お客様が作成できるフォルダで、マイピクチャ内のフォルダより「フォルダ移動」でファイルを移動可能

※ デコメール用の画像・テンプレートを除きます。

フォルダ名	フォルダ内のデータ内容
ｉモーション	
ｉモード	サイト、ｉモードメール、ｉアプリより取得・作成されたｉモーション
カメラ	カメラで撮影した動画 撮影した動画を編集した動画 ボイスレコーダー（音声のみの動画撮影）によって録音された音声データ
データ交換	赤外線受信、USB通信などから取得した動画・ｉモーション、miniSDメモリーカードからコピーした動画・ｉモーション
ラジオメモ	FMラジオで録音した音声データ
ユーザーフォルダ	お客様が作成できるフォルダで、ｉモーション内のフォルダより「フォルダ移動」でファイルを移動可能
メロディ	
ｉモード	サイト、ｉモードメール、メッセージR/F、ｉアプリより取得・作成されたメロディ
プリインストール	内蔵されているメロディ
データ交換	赤外線受信、USB通信などから取得したメロディ、miniSDメモリーカードからコピーしたメロディ、バーコードリーダーから取得したメロディ
ユーザーフォルダ	お客様が作成できるフォルダで、メロディ内のフォルダより「フォルダ移動」でファイルを移動可能

- ユーザーフォルダにセキュリティを設定すると、になります。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

フォルダ内で表示されるアイコン

アイコン	データ内容
マイピクチャ	
	GIF形式データ
	アニメーションGIF形式データ
	JPEG形式データ
	Exif-JPEG形式データ※
	位置情報付きJPEG形式データ
	フレームデータ
	スタンプデータ
	Flash画像データ
	デコメールテンプレートデータ
	内蔵されている静止画
iモーション	
	MP4形式データ（動画）
	MP4形式データ（音声のみ）
	MP4形式データ（再生制限付き動画）
メロディ	
	MFi形式メロディデータ
	SMF形式メロディデータ
フォルダ共通	
（例）	再生不可（データ種別アイコン上に「×」を表示）
	ファイル制限なし
	ファイル制限あり
／	処理中
	FOMAカード動作制限あり

※「Exif」とは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、主にデジタルカメラなどで使用される静止画用のファイルフォーマットです。

アイコン	画像サイズ
マイピクチャ	
	Sub-QCIF
	QCIF
	QVGA（待受画面）
	CIF
	VGA
	XGA
	SXGA
	1M
	その他サイズ
iモーション	
	Sub-QCIF
	QCIF
	その他サイズ

お知らせ

● FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他取扱いによって、データBOXに保存したデータが消失してしまう場合があります。万一に備え、保存したデータはminiSDメモリーカードを利用して保管することをおすすめします。（→P287）保存したデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用してパソコンに保管することもできます。→P378

保存した画像を表示する

「マイピクチャ」フォルダに保存されている画像を表示します。

1 ◉▶[データBOX]▶1を押す

- ✉［miniSD］を押すと、miniSDメモリーカードに切り替わります。以降の操作：→P290「miniSDデータを表示する」手順2～4

2 フォルダを選択し、◉を押す



画像一覧画面（12分割表示）

■ 画像をiモードメールに添付するとき

①画像を選択し、i［機能］▶2「メール添付」を押す

- 画像が添付されたメール作成画面が表示されます。
- 画像サイズが待受画面より大きい場合は、画像サイズを待受画面に変換して添付できます。
- 画像表示画面でも同じ操作でメールに画像を添付できます。
- 以降の操作：→P209「iモードメールを作成して送信する」手順2～6
  位置情報付き静止画の添付について→P215

■ 表示方法を切り替えるとき

①i［機能］▶5「表示切替」を押す

②1～3を押す

■ 画像に位置情報を埋め込むとき

① 画像を選択し、i［機能］▶7「位置情報」を押す
- すでに画像に位置情報が埋め込まれているときは、位置情報を利用できます。
以降の操作：→P267「埋め込んだ位置情報を利用する」手順3
- 画像表示画面から位置情報を埋め込むにはi［機能］▶6「位置情報」を押します。

② 1「はい」を押す
- 中止するときは、2「いいえ」を押します。
- 以降の操作：→P266「位置情報を埋め込む」手順3

■ スライドショーを見るとき

選択した画像から順番に、フォルダ内の画像（JPEG、GIF形式）を約3秒ごとに連続して表示できます。
- アニメーション、Flash画像はスライドショーで表示されません。

① i［機能］▶○▶1「スライドショー」を押す
- すべての画像を表示すると画像一覧画面に戻ります。途中で画像一覧画面に戻るには●またはCLRを押します。

3 画像を選択し、●を押す



画像表示画面

- 画像サイズが横240×縦220ドットより小さいときは、●で拡大／等倍表示を切り替えられます。
- 画像サイズが横240×縦220ドットより大きいときは、●▶i［ズーム］または✉［ワイド］で倍率を変更できます。▶◀▲▼が表示されているときは、✥で画像をスクロールできます。●［最適化］を押すと通常表示に戻ります。

■ 画像を全画面表示するとき

① i［機能］▶7「全画面表示」を押す
- 画像表示画面に戻るには●かCLRを押します。

■ アニメーション、Flash画像のとき

表示すると、自動的に再生されます。
アニメーション再生中は✉で停止、停止中に●で再生します。
Flash画像再生中は●で停止、停止中に●で再生します。
- アニメーション、Flash画像とも、i［機能］▶1「リトライ」で先頭から再生します。

お知らせ

●サイトからダウンロードしたFlash画像は、サイトでの見えかたと異なる場合があります。

画像一覧画面の見かた

画像をサムネイルまたはリストで一覧表示します。
- 画像表示を切り替える→P275



4分割表示



12分割表示



リスト表示

① データ種別
② タイトル
- 待受画面などに設定されている場合は、文字色が変わります。

③ ファイル制限
④ 画像サイズ
⑤ ファイルサイズ

- 画像によってはサムネイル表示が正しくされない場合があります。その場合は次のような代替画像が表示されます。
  - ：サムネイルを表示できない静止画
  - ：デコメールテンプレート
  - ：FOMAカード動作制限機能が設定されている静止画

<アイテム作成>

静止画からスタンプ／フレーム／メニューアイコンを作成する

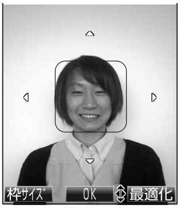
スタンプ作成

- 画像サイズが34×34ドット以上、CIF以下の静止画からスタンプを作成できます。

1 画像一覧画面で静止画を選択し、i［機能］▶6「アイテム作成」▶1「スタンプ」を押す

2 スタンプ枠を選択し、●を押す

3 スタンプ枠に画像を配置する



- ✤で画像をスクロールできます。
- ✉［枠サイズ］を押すと、スタンプ枠のサイズを切り替えられます。
- i［最適化］を押すと、画像の縦横どちらかの短辺を現在の枠サイズに合わせ、画像を縦横比を変更せずに縮小します。元に戻すときは、i［解除］を押します。

4 ●を押す

5 作成されたスタンプを確認し、●を押す

6 タイトルを入力し、●を押す

「データBOX」→「マイピクチャ」→「アイテム」フォルダに保存されます。

- 全角18文字（半角36文字）まで入力できます。

フレーム作成

- 画像サイズがCIF（352×288）、待受画面、QCIF、Sub-QCIFの静止画からフレームを作成できます。

1 画像一覧画面で静止画を選択し、i［機能］▶6「アイテム作成」▶2「フレーム」を押す

2 フレーム枠を選択し、●を押す

フレーム枠になる以外の部分がグレー表示されます。

3 作成されるフレームを確認し、●を押す

フレーム枠がプレビュー表示されます。

4 ●を押す

5 タイトルを入力し、●を押す

「データBOX」→「マイピクチャ」→「アイテム」フォルダに保存されます。

- 全角18文字（半角36文字）まで入力できます。

メニューアイコン作成

作成したメニューアイコンはメインメニューなどに設定できます。

- ファイル制限が設定されている静止画（FOMA端末で設定した場合を除く）はメニューアイコンを作成できません。ただし、個別アイコンは以下のサイズの画像からは作成できます。
  - 80×84ドット（6/9分割）※1
  - 80×63ドット（12分割）※2

※1 6分割はGPSメニュー、9分割はメインメニュー、iモードメニュー用のアイコンです。
※2 12分割はメールメニュー用のアイコンです。

- 画像サイズによってはメニューアイコンを作成できない場合があります。

1 画像一覧画面でi［機能］▶6「アイテム作成」▶3「メニューアイコン」を押す

2 1「セットアイコン」または2「個別アイコン」を押す

3 分割数を選択し、●を押す



- セットアイコン作成のときは、✤で背景色を選択し、●を押します。

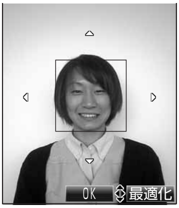
4 「画像1」を選択し、●を押す

5 フォルダを選択し、●を押す

6 画像を選択し、●を押す

- ✉［再生］を押すと、画像を確認できます。

7 位置やサイズを調整し、●を押す



個別アイコン作成時

- ✥で位置を調整できます。
- i［最適化］を押すと、画像の縦横どちらかの長辺（個別アイコン作成時は短辺）を現在の枠サイズに合わせ、画像を縦横比を変更せずに縮小します。元に戻すときは、i［解除］を押します。

8 ●を押す

9 「画像2」を選択し、●を押す

手順5～8を操作し、項目選択時に表示される画像を確定します。

10 i［保存］を押す

- ✉［再生］を押すと、メニューアイコンを再生して確認できます。

11 タイトルを入力し、●を押す

オリジナルデータの「メニューアイコン」に保存されます。

- 全角18文字（半角36文字）まで入力できます。

お知らせ

●画像表示画面からアイテムを作成するには、i［機能］▶5「アイテム作成」を押します。

画像を待受画面などに設定する

- 画像サイズがVGAより大きい画像は設定できません。
- 画像サイズがQCIFより大きい画像、ファイル制限が設定されている画像（FOMA端末で設定した場合を除く）は、「テレビ電話代替画像」、「テレビ電話伝言メモ画像」、「応答保留画像」、「通話中保留画像」に設定できません。

1 画像表示画面で✉［設定］を押す

2 設定先を選択し、●を押す

- 設定先や画像によっては表示位置やサイズを設定できます。→P125

お知らせ

●選択した設定先に映像と音声が含まれる動画・iモーションが設定されている場合は、着信音がお買い上げ時の状態に戻ることを確認するメッセージが表示されます。

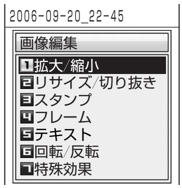
画像編集

静止画を編集する

サイズ変更やスタンプ貼り付けなど、「マイピクチャ」フォルダに保存されている静止画を編集します。

- 次のデータは編集できません。
  - 画像サイズが960×1280ドットより大きいデータ
  - 画像サイズが34×34ドットより小さいデータ
  - ファイル制限が設定されているデータ（FOMA端末で設定した場合、情報表示の取得元が「データ交換」になっている場合を除く）
  - FOMAカード動作制限機能が設定されているデータ
- 画像サイズがCIFより大きい静止画は、「拡大/縮小」、「スタンプ」、「フレーム」、「テキスト」、「回転/反転」、「特殊効果」の編集はできません。

1 静止画を表示し、i［機能］▶1「画像編集」▶編集する



画像編集メニュー

拡大/縮小	画像を拡大／縮小します。→P279
リサイズ/切り抜き	画像を特定のサイズに変更します。→P279
スタンプ	画像にスタンプを貼り付けます。→P279
フレーム	画像にフレームを貼り付けます。→P280
テキスト	画像に文字を貼り付けます。→P280
回転/反転	画像を回転／反転します。→P280
特殊効果	画像に特殊効果をかけます。→P280

2 画像を確認し、●を押す

- 編集内容を取り消すときは✉［取消］▶1「はい」を押します。
- 続けて他の編集をするときはi［機能］を押します。

3 1「新規保存」を押す

■編集元の画像に上書きするとき

①2「上書き保存」▶1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

4 タイトルを入力し、◉を押す
- 全角18文字（半角36文字）まで入力できます。

お知らせ

- ●画像一覧画面で編集するには、静止画を選択し、ⓘ［機能］▶1「画像編集」を押します。
- ●静止画や編集方法によっては、編集結果がイメージと異なることがあります。
- ●編集と保存を繰り返し行うと、画質が劣化したり、静止画のファイルサイズが大きくなることがあります。また、この場合編集後のデータが再編集できなくなる場合があります。
- ●データBOXの空き容量が足りないときや、最大保存件数を超えるとき→P297
- ●待受画面などに設定されている静止画を編集した場合、上書き保存はできません。

画像を拡大／縮小する

1 画像編集メニューで1「拡大/縮小」を押す

2 ⓘ［拡大］または✉［縮小］を押してサイズを変更する
縦横比を保持したまま、5%ずつ拡大／縮小します。
- ▶◀▲▼が表示されたときは、✥で画像をスクロールできます。

3 ◉を押す
- 以降の操作：→P278「静止画を編集する」手順2～4

画像サイズの圧縮や切り抜きをする

静止画を特定のサイズにリサイズ／切り抜きします。
- 画像サイズがSub-QCIFより小さい静止画はリサイズ／切り抜きできません。
- 画像の縦または横のサイズが、リサイズ／切り抜きするサイズより小さい場合は切り抜きできません。

1 画像編集メニューで2「リサイズ/切り抜き」を押す

2 1～4を押す

3 ◉を押す
- ✉［切替］を押すと、リサイズと切り抜きを切り替えることができます。
- 切り抜きをするときは、✥で切り抜く部分を調整し、◉を押します。
- 手順2で「CIF（352×288）」を選択したときは切り抜きできません。

4 画像を確認し、◉を押す
- 以降の操作：→P278「静止画を編集する」手順2～4

スタンプを貼り付ける

画像にスタンプや画像を貼り付けます。
- スタンプや画像は、20個まで貼り付けられます。スタンプや画像のサイズによって、貼り付け可能数は変わります。
- お買い上げ時に登録されているスタンプについて→P363
- 画像サイズがQCIFより小さい静止画は画像を貼り付けできません。
- 貼り付けるスタンプや画像は、miniSDメモリーカードから選択できません。
- 貼り付けできるスタンプの画像サイズは、240×320ドット未満です。
- 貼り付けできる静止画の画像サイズは34×34ドット以上、QCIF以下です。

1 画像編集メニューで3「スタンプ」を押す

2 1「スタンプ貼り付け」を押す

■ 画像を貼り付けるとき

①2「画像貼り付け」を押す
②フォルダを選択し、◉を押す
③画像を選択し、◉を押す
- 手順4へ進みます。

3 スタンプを選択し、◉を押す
- ✉［←］またはⓘ［→］を押すと、サイズが違うスタンプが表示されます。
- 画像サイズより大きいスタンプは貼り付けられません。
- アイテム作成（→P277）で作成したスタンプやサイトからダウンロードしたスタンプも選択できます。

4 ✥で位置を調整し、◉を押す



- 同じスタンプや画像を、続けて別の位置に貼り付けることができます。
- 貼り付けたスタンプや画像の位置調整をやりなおすときは、CLRを押します。CLRを1秒以上押すと、貼り付けたスタンプや画像がすべて削除されますが、最初に貼り付けたスタンプや画像は表示されたままとなります。
- 他のスタンプや画像を追加するときは、✉［追加］を押します。手順2～4を繰り返してください。

5 ⓘ［確定］を押す
- 以降の操作：→P278「静止画を編集する」手順2～4

お知らせ

●スタンプは、「どこでもSANYO」のサイトからダウンロードできます。→P183

フレームを貼り付ける

- 画像サイズがCIF、待受画面、QCIF、Sub-QCIFの静止画にフレームを貼り付けできます。
- お買い上げ時に登録されているフレームについて→P363

1 画像編集メニューで[4]「フレーム」を押す



選択した静止画と同じサイズのフレームが表示されます。

- [i]を押すごとに、フレームの表示方法を切り替えられます。
- アイテム作成（→P277）で作成したフレームやサイトからダウンロードしたフレームも選択できます。

2 フレームを選択し、●を押す

3 フレームを貼り付けた画像を確認し、●を押す

- [◀]または[▶]を押してフレームを選択できます。
- 以降の操作：→P278「静止画を編集する」手順2～4

テキストを貼り付ける

1 画像編集メニューで[5]「テキスト」を押す

2 [1]～[5]を押す

3 テキストを入力し、●を押す

- 画像や文字のサイズによって入力できる文字数が異なります。

4 ✥で位置を調整する



- [i]［色変更］を押すごとに、黒→白→赤→緑→水色と文字色が切り替わります。
- [✉]［戻る］を押すと、テキスト入力画面に戻ります。

5 ●を押す

- 以降の操作：→P278「静止画を編集する」手順2～4

回転／反転させる

1 画像編集メニューで[6]「回転/反転」を押す

2 [i]［回転］または[✉]［反転］を押す



- [i]［回転］を押すごとに、右90度に回転します。✥で表示されていない部分を確認できます。
- [✉]［反転］を押すと、左右反転します。
- 反転中に[i]［回転］を押すと、左90度に回転します。

3 ●を押す

- 以降の操作：→P278「静止画を編集する」手順2～4

特殊な効果をかける

1 画像編集メニューで[7]「特殊効果」を押す

2 [1]～[9]を押す

モザイク/塗りつぶし	画像にモザイクをかけます。
セピア	画像を古い写真のような茶色がかった色にします。
モノクロ	画像を白黒にします。
タイル	画像を分割表示します。
ポートレート	画像を楕円形に表示し、その外側を白で表示します。
フェードアウト	画像の外側をグレー表示し、遠近感を出します。
スポットライト	画像の外側を黒くし、円形のライトがあたっているように表示します。
ポスター	絵画のように画像に濃淡をつけます。
ソフトフォーカス	画像全体をソフトにぼかします。

- ◀▶を押すと、前後の特殊効果に切り替わります。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

3 ●を押す

■ モザイク／塗りつぶしを選択したとき

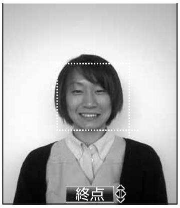
✉を押すとモザイクが粗くなり、3回押すと塗りつぶしになります。✉［やり直し］を押すと元に戻ります。

■ モザイク／塗りつぶし、セピア、モノクロを選択したとき

特殊効果をかける範囲を指定できます。

①ⓘ［範囲］を押す
- 戻るときは、ⓘ［全画面］を押します。

②✣で範囲の始点を決め、●を押す



③✣で範囲を決め、●を押す

■ タイルを選択したとき

ⓘを押すごとに、4分割→16分割→64分割に切り替わります。

■ ポートレート、フェードアウト、スポットライトを選択したとき

ⓘを押すごとに、画像表示部分を絞ります。ⓘ［やり直し］を押すと元に戻ります。

■ ポスターを選択したとき

ⓘを押すごとに、濃淡の強弱が切り替わります。

4 ●を押す

- 以降の操作：→P278「静止画を編集する」手順2～4

動画・ｉモーションを再生する

「ｉモーション」フォルダに保存されている動画・ｉモーションを再生します。

- 画像サイズがSub-QCIF、QCIFの動画・ｉモーション、音声のみの動画・ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を再生できます。

1 ●▶［データBOX］▶2を押す

- ✉［miniSD］を押すと、miniSDメモリーカードに切り替わります。以降の操作：→P290「miniSDデータを表示する」手順2～4

2 フォルダを選択し、●を押す



動画一覧画面

■ 動画・ｉモーションをｉモードメールに添付するとき

①動画・ｉモーションを選択し、ⓘ［機能］▶2「メール添付」を押す
- 動画・ｉモーションが添付されたメール作成画面が表示されます。
- 動画再生画面でも同じ操作でメールに動画・ｉモーションを添付できます。
- ファイルサイズが約500Kバイトより大きい場合は、メール添付可能なサイズに切り出してから添付します。
- 以降の操作：→P209「ｉモードメールを作成して送信する」手順2～6

■ 表示方法を切り替えるとき

①ⓘ［機能］▶5「表示切替」を押す

②1～3を押す

■ サムネイルを設定するとき

- 動画一覧画面に表示される画像（サムネイル）を設定できます。
- 次の動画・ｉモーションはサムネイルを設定できません。
  - FOMA端末で撮影した以外のデータ※
  - ファイルサイズが約7.4Mバイトより大きいデータ
  - ファイル制限が設定されているデータ（FOMA端末で設定した場合を除く）
  - FOMAカード動作制限機能が設定されているデータ
  - 情報表示の取得元が「ｉモード」になっているデータ
  - 再生制限付きのｉモーション
  - 映像のない動画・ｉモーション

※データによっては設定できる場合があります。

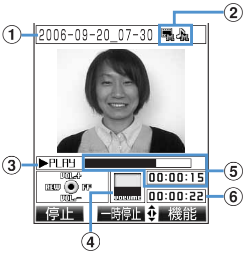
①動画・ｉモーションを選択し、ⓘ［機能］▶7「サムネイル設定」を押す

②✉［前へ］またはⓘ［次へ］を押してサムネイルにする画像を選択し、●を押す
- ◐を押しても選択できます。

③1「はい」を押す
- 中止するときは2「いいえ」を押します。

次ページへつづく

3 動画を選択し、●を押す



動画再生画面

①タイトル

②ファイル種別

- ：映像あり（ブルー）
- ：再生不可（グレー）
- ：音声あり（ブルー）
- ：再生不可（グレー）
- ：テキストあり（ブルー）
- ：再生不可（グレー）

③再生状態

④再生音量

⑤再生時間

現在の再生時間を数字（カウンター）とバーで示します。

⑥総再生時間

- 再生中は以下の操作ができます。
  - ●：一時停止／再開
  - ✉：停止
  - ▶：早送り（1秒以上押すと、連続早送りになります）
  - ◀：巻戻し（1秒以上押すと、連続巻戻しになります）
  - ▲▼：音量調節
- 一時停止中は以下の操作ができます。
  - ▶：コマ送り（1秒以上押すと、連続コマ送りになります）
  - ◀：コマ戻し（1秒以上押すと、連続コマ戻しになります）

※ボイスレコーダー、映像のない動画・iモーションの再生時は操作できません。

■テロップにリンク先が表示されたとき

動画再生中に下線付きの電話番号などのリンク先が表示されたときは、●または✉［停止］を押す、または再生が終了すると、Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を利用できます。→P193

■動画・iモーションを拡大再生するとき

① i［機能］▶5「拡大再生」を押す

- 等倍再生するにはi［機能］▶5「等倍再生」を押します。

■動画・iモーションを繰り返し再生するとき

① i［機能］▶7「繰り返し再生ON」を押す

- 繰り返し再生をやめるにはi［機能］▶7「繰り返し再生OFF」を押します。

お知らせ

●動画・iモーション再生中に●または✉［停止］を押して再生を停止させ、✉［設定］を押した場合、動画再生画面に戻った時点で先頭から再生を開始します。

動画一覧画面の見かた

動画・iモーションをサムネイルまたはリストで一覧表示します。

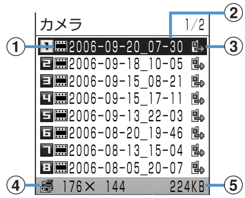
- 画像表示を切り替える→P281



4分割表示



12分割表示



リスト表示

①データ種別

②タイトル

- 待受画面などに設定されている場合は、文字色が変わります。

③ファイル制限

④画像サイズ

⑤ファイルサイズ

- 画像によってはサムネイル表示が正しくされない場合があります。その場合は次のような代替画像が表示されます。
  - ：サムネイルを表示できない動画・iモーション
  - ：音声のみの動画・iモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）
  - ：FOMAカード動作制限機能が設定されているiモーション

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

<チャプター>

動画を場面ごとに区切る

長時間の動画・iモーションに区切り（チャプター）を登録できます。チャプター登録した部分からの再生ができます。

チャプター登録

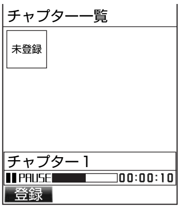
チャプターは、1件の動画・iモーションに最大12個まで登録できます。チャプター情報付きの動画・iモーションは、データBOX、miniSDメモリーカードにそれぞれ100件まで作成できます。

- 次の動画・iモーションはチャプター登録ができません。
  - FOMA端末で撮影した以外のデータ※
  - ファイルサイズが約7.4Mバイトより大きいデータ
  - ファイル制限が設定されているデータ（FOMA端末で設定した場合を除く）
  - FOMAカード動作制限機能が設定されているデータ
  - 情報表示の取得元が「iモード」になっているデータ
  - 再生制限付きのiモーション
  - 映像のない動画・iモーション

  ※データによっては登録できる場合があります。

1 動画を再生する

2 チャプター登録する場面で i［機能］▶ 6「チャプター」を押す



チャプター登録した場面が数字（カウンター）とバーで表示されます。

3 「未登録」を選択し、✉［登録］を押す

- すでに登録されているチャプターを選択し、✉［登録］を押すと確認画面が表示されます。上書きするときは 1「はい」を押します。
- すでに登録したチャプターと同じ場面や近い場面で登録することはできません。

チャプター再生

1 動画一覧画面で i［機能］▶ 6「チャプター」を押す

- 動画再生画面からも同じ操作でチャプター再生ができます。

2 チャプターを選択し、●を押す

選択したチャプターから再生されます。

■ **チャプターのタイトルを編集するとき**

①**チャプターを選択し、i［機能］▶ 1「チャプタータイトル編集」を押す**

②**タイトルを入力し、●を押す**

- 全角7文字（半角14文字）まで入力できます。

■ **設定したチャプターを解除するとき**

①**チャプターを選択し、i［機能］▶ 2「チャプター解除」を押す**

②**1「1件解除」を押す**

- 2「全件解除」を押したときは、1「はい」を押します。

動画・iモーションを音声着信などに設定する

- 次の動画・iモーションは設定できません。
  - 再生制限付きのiモーション
  - ファイルサイズが約500Kバイトより大きいデータ
  - 情報表示の取得元が「ラジオ」になっているデータ
- 次の動画・iモーションは着信音・着信画像に設定できません。
  - テロップ付きの動画・iモーション
  - 情報表示の取得元が「データ交換」になっているデータ
  - 情報表示の着信音設定および着信画面設定が「不可」になっているデータ
- 映像のない動画・iモーションは、待受画面に設定できません。

1 動画再生画面で●または✉［停止］を押す

2 ✉［設定］を押す

3 設定先を選択し、●を押す

- 動画・iモーションによっては、表示サイズや音量を設定する画面が表示されます。1「拡大」または 2「等倍」を押し、◎で音量を設定します。
- 動画・iモーションによっては、設定している着信音や着信画像が変更されることを確認するメッセージが表示されます。

iモーション編集

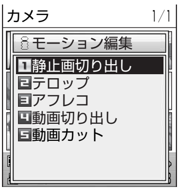
動画・iモーションを編集する

静止画の切り出しや任意の範囲の切り出しなど、iモーションに保存されている動画・iモーションを編集します。

- 次のデータは編集できません。
  - FOMA端末で撮影した以外のデータ※
  - ファイルサイズが約7.4Mバイトより大きいデータ
  - ファイル制限が設定されているデータ（FOMA端末で設定した場合を除く）
  - FOMAカード動作制限機能が設定されているデータ
  - 情報表示の取得元が「iモード」になっているデータ
  - 再生制限付きのiモーション
  - テキストのみのiモーション
  - FMラジオで録音したデータ

  ※データによっては編集できる場合があります。
- 編集中に動画・iモーションを再生したときのボタン操作について→P282

1 動画を選択し、i［機能］▶1「iモーション編集」▶編集する



iモーション編集メニュー

静止画切り出し	動画・iモーションから静止画を切り出します。
テロップ	動画・iモーションにテロップを追加します。
アフレコ	動画・iモーションに新たに音声を追加します。→P286
動画切り出し	動画・iモーションから任意の範囲を切り出します。→P286
動画カット	動画・iモーションから任意の範囲を削除します。→P286

2 1「新規保存」を押す

- 動画切り出しのときは1「新規保存」▶1「はい」を押します。

■編集元の動画・iモーションに上書きするとき

①2「上書き保存」▶1「はい」を押す
- 中止するときは2「いいえ」を押します。

3 タイトルを入力し、●を押す

- 全角18文字（半角36文字）まで入力できます。

お知らせ

- 動画再生画面で編集するには、i［機能］▶1「iモーション編集」を押します。
- データBOXの空き容量が足りないときや、最大保存件数を超えるとき→P297
- 待受画面、着信音などに設定されている動画・iモーションを編集した場合、上書き保存はできません。

静止画の切り出し

動画・iモーションの再生中に任意の場面を指定し、静止画として切り出します。

- テロップのある動画・iモーションを切り出ししても、静止画にテロップは含まれません。
- 映像のない動画・iモーションは、静止画の切り出しはできません。
- 静止画はJPEG形式で「データBOX」→「マイピクチャ」→「カメラ」フォルダに保存されます。

1 iモーション編集メニューで1「静止画切り出し」を押す

2 ●を押して再生し、切り出す場面で●を押す

- やり直すときは✉［やり直し］を押します。
- 再生を再開するときは●を押します。

3 i［保存］▶1「はい」を押す

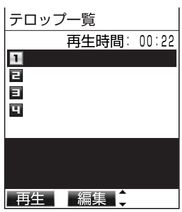
- 中止するときは2「いいえ」を押します。
- 以降の操作：→P284「動画・iモーションを編集する」手順3

テロップ編集

動画・iモーションにテロップ表示（文字を流して表示）を追加します。

- テロップは4個まで挿入できます。
- テロップに電話番号、メールアドレス、URLを入力しても、Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を利用できません。
- ファイルサイズが約500Kバイトより大きい動画は、テロップ編集できません。
- 音声のみの動画・iモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）は、テロップ編集できません。（サムネイル付の音声データを含む。）

1 iモーション編集メニューで2「テロップ」を押す



テロップ一覧画面

- ✉［再生］を押すと、動画・iモーションを確認できます。

2 1～4▶1「開始/終了時間」を押す

3 テロップ表示を始める場面で ⓘ［始点］を押し、表示を終わる場面で ⓘ［終点］を押す

- 動画・ｉモーションの途中からテロップを挿入する場合は、◉を押して再生させてから ⓘ［始点］／［終点］を押します。
- やり直すときは ✉［やり直し］を押します。

4 テロップを入力し、◉を押す

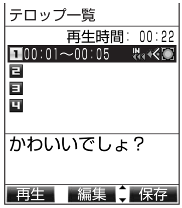
- 全角20文字（半角40文字）まで入力できます。

5 でテロップの装飾を選択し、で装飾内容を選択する

装　飾	アイコン	装飾内容
文字サイズ	SMALL	小さい文字で表示します。
	BIG	大きい文字で表示します。
文字色	—	8色の中から選択します。
背景色	—	8色の中から選択します。
文字位置		左揃えで表示します。
		中央揃えで表示します。
		右揃えで表示します。
スクロール	IN	文字が画面外から現われ、設定した文字位置で停止します。
	OUT	文字が、設定した文字位置から画面外へ消えます。
	IN OUT	文字が画面外から現われ、そのまま画面外へ消えます。
		スクロールしません。
スクロール方向		右から左にスクロールします。
		左から右にスクロールします。
		下から上にスクロールします。
		上から下にスクロールします。
点滅		文字を点滅させます。
		文字を点滅させません。
下線		文字を下線付きにします。
		文字を下線なしにします。

- 選択した装飾内容を画面下部で確認できます。ただし、スクロール、スクロール方向、点滅は確認できません。
- スクロール方向は、スクロールを設定しないと選択できません。

6 ◉を押す



スクロール、スクロール方向、点滅を設定した場合、装飾内容がアイコンで表示されます。
画面下部に、設定したテロップが表示されます。

- 複数のテロップを挿入するときは、手順2～6を繰り返します。
- ✉［再生］を押すと、テロップを追加した内容を確認できます。途中でテロップ一覧画面に戻るには ✉［停止］▶✉［戻る］を押します。

7 ⓘ［保存］を押す

- 以降の操作：→P284「動画・ｉモーションを編集する」手順2～3

登録されているテロップを編集する

1 テロップ一覧画面でテロップを選択し、◉を押す

2 テロップを編集する

■開始／終了時間を編集するとき

① 1「開始/終了時間」を押す
- 以降の操作：→P284「テロップ編集」手順3～7

■テロップを編集するとき

① 2「テロップ入力」を押す
② テロップを入力し、◉を押す
- 以降の操作：→P284「テロップ編集」手順7

■テロップの装飾を編集するとき

① 3「デコレーション」を押す
- 以降の操作：→P284「テロップ編集」手順5～7

■テロップを削除するとき

① 4「テロップ削除」を押す
② 1「1件削除」を押す
- 2「全件削除」を押したときは、端末暗証番号を入力し、◉を押します。

③ 1「はい」を押す
- 中止するときは 2「いいえ」を押します。
- 以降の操作：→P284「テロップ編集」手順7

アフレコ編集

動画・ｉモーションに新たに音声を追加します。（すでにある音声はすべて削除されます。）

- ファイルサイズが約500Kバイトより大きい動画・ｉモーションは、アフレコ編集できません。
- 音声のみの動画・ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）はアフレコ編集できません。（サムネイル付の音声データを含む。）

1 ｉモーション編集メニューで[3]「アフレコ」を押す

2 [●]を押す

- [✉]［再生］を押すと、動画・ｉモーションを確認できます。
- 途中でアフレコを終了するときは[●]を押します。
- アフレコ編集をやめるときは、[✉]［中止］を押します。

3 [●]を押す

- [✉]［再生］を押すと、アフレコした内容を確認できます。
- 以降の操作：→P284「動画・ｉモーションを編集する」手順2〜3

動画の切り出し

動画・ｉモーションから任意の範囲を切り出します。

- テロップのある動画・ｉモーションを切り出ししても、テロップは含まれません。
- 同じ動画・ｉモーションから複数切り出すことができます。

1 ｉモーション編集メニューで[4]「動画切り出し」を押す

2 [1]〜[3]を押す

ｉモードメール添付	指定した場面からｉモードメールに添付できるファイルサイズ（約290Kバイト）まで切り出します。
大容量メール添付	指定した場面からｉモードメールに大容量メールとして添付できるファイルサイズ（約490Kバイト）まで切り出します。
制限なし	ファイルサイズが約1Mバイトまでお好きな範囲を切り出せます。

3 切り出す範囲を選択する

■ ｉモードメール添付または大容量メール添付を選択したとき

①切り出しを始める場面で[i]［始点］を押す

- 途中から切り出す場合は、[●]を押して再生させてから[i]［始点］を押してください。
- 動画のファイルサイズが約290Kバイト（ｉモードメール添付選択時）または約490Kバイト（大容量メール添付選択時）以下の場合は、[i]［始点］は表示されません。[●]で再生させてから[i]［始点］を押してください。
- やり直すときは[✉]［やり直し］を押します。
- 始点の指定位置によっては、切り出しできない場合があります。

■ 制限なしを選択したとき

①切り出しを始める場面で[i]［始点］を押し、終わる場面で[i]［終点］を押す

- 途中から切り出す場合は、[●]を押して再生させてから[i]［始点］／［終点］を押してください。
- やり直すときは[✉]［やり直し］を押します。
- 始点／終点の指定位置によっては、切り出しできない場合があります。

4 [1]「はい」を押す

- やり直すときは[2]「いいえ」を押します。

5 [●]を押す

- [✉]［再生］を押すと、切り出した動画を再生して確認できます。
- 以降の操作：→P284「動画・ｉモーションを編集する」手順2〜3

動画のカット

動画・ｉモーションから任意の範囲を削除します。

- ファイルサイズが約1Mバイトを超える動画はカットできません。
- 動画カットを行うと、カットした範囲にかかわらず、テロップは削除されます。

1 ｉモーション編集メニューで[5]「動画カット」を押す

2 カットを始める場面で[i]［始点］を押し、終わる場面で[i]［終点］を押す

- 動画・ｉモーションの途中から削除する場合は、[●]を押して再生させてから[i]［始点］／［終点］を押します。
- やり直すときは、[✉]［やり直し］を押します。

3 [1]「はい」を押す

- やり直すときは[2]「いいえ」を押します。

4 [●]を押す

- [✉]［再生］を押すと、不要部分を削除した動画を再生して確認できます。
- 以降の操作：→P284「動画・ｉモーションを編集する」手順3

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

メロディを再生する

「メロディ」フォルダに保存されているメロディを再生します。

1 ● ▶ データBOX ▶ 3 を押す

2 フォルダを選択し、●を押す



メロディ一覧画面

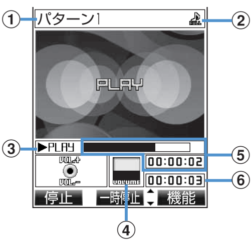
①データ種別
②タイトル
- 着信音などに設定されている場合は、文字色が変わります。

③ファイル制限
④ファイルサイズ

■ メロディをｉモードメールに添付するとき

①メロディを選択し、i［機能］▶ 1「メール添付」を押す
- メロディが添付されたメール作成画面が表示されます。
- メロディ再生画面でも同じ操作でメールにメロディを添付できます。
- 以降の操作：→P209「ｉモードメールを作成して送信する」手順2～6
  メールに添付できるメロディについて→P214

3 メロディを選択し、●を押す



メロディ再生画面

①タイトル
②再生モード（→P296）
- ：ポイント再生
- ：フルコーラス再生

③再生状態
④再生音量
⑤再生時間
現在の再生時間を数字（カウンター）とバーで示します。
⑥総再生時間

- 再生中は次の操作ができます。
  - ●：一時停止／再開
  - ✉：停止
  - ◎：音量調節

■ メロディを繰り返し再生するとき

①i［機能］▶ 4「繰り返し再生ON」を押す
- 繰り返し再生をやめるときはi［機能］▶ 4「繰り返し再生OFF」を押します。

メロディを着信音などに設定する

1 メロディ再生画面で✉［停止］または●を押す

2 ✉［設定］を押す

3 設定先を選択し、●を押す
- 選択した設定先に映像と音声が含まれる動画・ｉモーションが設定されている場合は、着信画像がお買い上げ時の状態に戻ることを確認するメッセージが表示されます。

miniSDメモリーカードについて

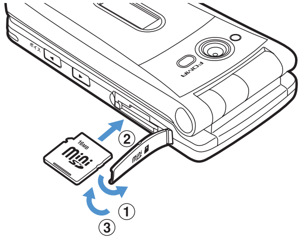
FOMA端末内の電話帳やメール、ブックマークなどのデータをminiSDメモリーカードに保存したり、miniSDメモリーカード内のデータの再生やFOMA端末へのコピーができます。

- miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
- miniSDメモリーカードは、必ずFOMA端末で初期化を行ってから使用してください。→P292
- FOMA端末では512MバイトまでのminiSDメモリーカード（市販品）に対応しています。（2006年5月現在）なお、最新の対応状況は下記のサイトでご確認ください。
  - ｉモードから：「どこでもSANYO」→P183
  - パソコンなどから：
    三洋電機株式会社テレコムカンパニーのホームページ　http://www.sanyo-keitai.com

miniSDメモリーカードの取付けかた／取外しかた

- miniSDメモリーカード取付け／取外しの際には、以下のことにご注意ください。
  - 指のはらを使って行ってください。
  - 必ず電源を切った状態で行ってください。
  - miniSDメモリーカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。
  - 向きを確認して正しく取付けてください。正しく取付けていない状態では、データが壊れることがあります。
- miniSDメモリーカードを取付けて電源を入れると、 が表示されます。

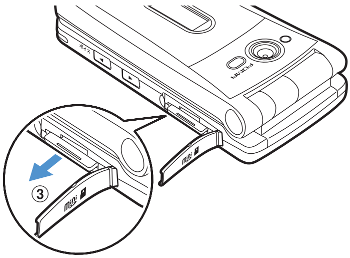
miniSDメモリーカードの取付けかた



①miniSDメモリーカードスロットのカバーを開く
②miniSDメモリーカードを、印字面を上にして、「カチッ」と音がするまでまっすぐゆっくりとスロットに差し込む
- 斜めに差し込むとFOMA端末やカードを破損する恐れがあります。

③miniSDメモリーカードスロットのカバーを閉じる

miniSDメモリーカードの取外しかた



①miniSDメモリーカードスロットのカバーを開く
②miniSDメモリーカードを「カチッ」と音がするまで軽く押し込む
miniSDメモリーカードが少し出ます。
③miniSDメモリーカードをまっすぐにゆっくりと引き抜く
④miniSDメモリーカードスロットのカバーを閉じる

miniSDメモリーカードのフォルダ構成

■FOMA端末で表示したとき

miniSDメモリーカードのフォルダ構成は以下のとおりです。データの種類によって保存先が分かれています。

フォルダ名	最大フォルダ件数	1つのフォルダに保存できるデータ件数
miniSDデータ		
デジカメ	900件	9999件
ピクチャ	999件	9999件
iモーション	4095件	4095件
メロディ	999件	9999件
PIMデータ		
電話帳	―	合わせて65535件
受信メール		
送信メール		
未送信メール		
スケジュール／ToDo		
Bookmark		
現在地通知先		999件
テキストメモ		合わせて65535件
インポートフォルダ		
インポートフォルダ	―	無制限※

※ FOMA端末で表示できるのは1000件までです。

フォルダ名	フォルダ内のデータ内容
miniSDデータ	
デジカメ※1	カメラで撮影した静止画、DCF※2規格のJPEG、GIF
ピクチャ※1	JPEG、アニメーションGIF
iモーション	カメラで撮影した動画・iモーション、FMラジオで録音した音声データ
メロディ	メロディ
PIMデータ	
電話帳	電話帳データ
受信メール	受信メールデータ
送信メール	送信メールデータ
未送信メール	未送信メールデータ
スケジュール／ToDo	スケジュール、ToDoデータ
Bookmark	ブックマークデータ
現在地通知先	現在地通知先データ
テキストメモ	テキストメモデータ
インポートフォルダ	
インポートフォルダ	パソコンでやりとりするデータ
DPOFプリント予約	
DPOFプリント予約※3	DPOFプリント予約されたデータ

※1 ファイルサイズが1.1Mバイトより大きい静止画は表示されません。
※2 DCFはDesign rule for Camera File systemの略です。
※3 999部（通常プリント998、インデックスプリント1）

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

■ パソコンなどで表示したとき

```
miniSDメモリーカード
├ DCIM（撮影画像、静止画）
│ └ xxxSANYO ──── DCSAxxxx.JPG
│              └─ DCSAxxxx.GIF
├ MISC（DPOF プリント予約）
│ └──────────── AUTPRINT.MRK
├ SD_VIDEO（動画・i モーション、FM ラジオの音声データ）
│ └ PRLzzz ───── MOLzzz.3GP
├ SD_PIM（PIM データ（現在通知先は除く））
│ ├──────────── PIMxxxxx.VCF
│ ├──────────── PIMxxxxx.VCS
│ ├──────────── PIMxxxxx.VMG
│ ├──────────── PIMxxxxx.VNT
│ └──────────── PIMxxxxx.VBM
└ PRIVATE
  ├ DOCOMO
  │ ├ STILL（アニメーション GIF、静止画）
  │ │ ├──────── STILxxxx.JPG
  │ │ ├──────── STILxxxx.GIF
  │ │ └ SUDxxx※1 ── STILxxxx.JPG
  │ │           └─ STILxxxx.GIF
  │ ├ LCSClient（現在地通知先）
  │ │ └──────── LSCDCxxx.LSC
  │ ├ RINGER（メロディ）
  │ │ ├──────── RINGxxxx.MLD
  │ │ ├──────── RINGxxxx.MID
  │ │ └ RUDxxx※2 ── RINGxxxx.MLD
  │ │           └─ RINGxxxx.MID
  │ └ TABLE※3
  └ SANYO
    └ IMPORT（インポートフォルダ）
      └──────── xxxx.JPG 他※4
```

※1「STILL」フォルダ内のデータ件数が最大保存件数を超えると、「SUDxxx」フォルダが自動的に作成されます。
※2「RINGER」フォルダ内のデータ件数が最大保存件数を超えると、「RUDxxx」フォルダが自動的に作成されます。
※3 データを管理するフォルダです。このフォルダにあるファイルを削除・変更すると、FOMA端末でデータを正しく表示できなくなります。
※4 拡張子が「.JPG」「.JPEG」「.JPE」「.GIF」「.3GP」「.MLD」「.MID」以外は再生不可データ扱いとなります。

- フォルダ名とファイル名の規則は次のとおりです。使用する文字はすべて半角です。
  - 「xxxSANYO」のxxxは100～999
  - 「DCSAxxxx」のxxxxは0001～9999
  - 「SUDxxx」「RUDxxx」「LSCDCxxx」のxxxは001～999
  - 「STILxxxx」「RINGxxxx」のxxxxは0001～9999
  - 「PRLzzz」「MOLzzz」のzzzは001～FFFまでの16進数（16進数では1つの桁を0～9とA～Fの16種類の文字で表します）
  - 「PIMxxxxx」のxxxxxは00001～65535

お知らせ

- ●FOMA端末からminiSDメモリーカードにデータをコピーしたときや、カメラで撮影した静止画や動画を直接miniSDメモリーカードに保存したときなどに、そのファイルに対応したフォルダがminiSDメモリーカードに自動的に作成され、表のように表示されます。
- ●パソコンなどからminiSDメモリーカードにデータを保存するときは、表のファイル形式、ファイル名で決められたフォルダに保存してください。保存先を間違えたり、異なるファイル形式のデータを保存したりすると、FOMA端末では認識できません。
- ●パソコンなどでminiSDメモリーカードにコピーしたデータをFOMA端末で利用するには、FOMA端末でminiSDメモリーカードの管理ファイル更新をしないと利用できない場合があります。
- ●他の機器からminiSDメモリーカードに保存したデータは、FOMA端末で表示・再生できない場合があります。また、FOMA端末からminiSDメモリーカードに保存したデータは、他の機器で表示・再生できない場合があります。
- ●miniSDメモリーカードに保存されたデータはバックアップをとるなどして別に保管することをおすすめします。万一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

FOMA端末のデータをminiSDメモリーカードにコピーする

データBOXに保存されているデータや、PIMデータをminiSDメモリーカードにコピーします。

- 次のデータはコピーできません。
  - Flash画像、フレーム、スタンプ
  - オリジナルデータ
  - お買い上げ時に登録されているデータ（デコメールピクチャを除く）
  - ファイル制限ありのデータ（FOMA端末で設定した場合、情報表示の取得元が「データ交換」、「ラジオ」のデータを除く）

1 画像／動画／メロディ一覧画面でデータを選択し、i［機能］▶「miniSDへコピー」選択し、●を押す

- 各データの再生画面でも同じ操作で1件コピーができます。

2 1「1件コピー」を押す

■ 選択コピーするとき

① 2「選択コピー」を押す
② データを選択し、●を押す
- 解除するときは●を押します。

③ i［実行］を押す

■ 全件コピーするとき

① 3「全件コピー」を押す
② 端末暗証番号を入力し、●を押す

3 [1]「はい」を押す

- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

お知らせ

- miniSDメモリーカードにチャプター情報付きの動画・iモーションが100件保存されている場合、またはコピーによって100件を超える場合は、確認画面が表示されます。[1]「実行」を押すと、チャプター情報は削除され、動画・iモーションのみコピーされます。
- 位置情報を埋め込んだ静止画をminiSDメモリーカードにコピーした場合、位置情報の測位レベルは、レベル3になります。→P265
- miniSDメモリーカードにデータをコピーすると、管理情報もminiSDメモリーカードに書き込まれます。

<エクスポート>

PIMデータをminiSDメモリーカードにコピーする

- コピーできるPIMデータについて→P288
- FOMAカード内の電話帳データはコピーできません。

PIMデータを1件ずつコピーする

<例>電話帳データをコピーするとき

1 電話帳を選択し、[i]［機能］▶[○]▶[1]「エクスポート」を押す

2 [1]「はい」を押す

- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。
- 電話帳に画像が設定されている場合は、確認画面が表示されます。

PIMデータをまとめてコピーする

1 [●]▶[生活ツール]▶[3]▶[2]を押す

2 項目を選択し、[●]を押す

3 [i]［機能］▶[2]「本体からエクスポート」を押す

4 端末暗証番号を入力し、[●]を押す

- スケジュール／ToDoをエクスポートする場合は、[1]「スケジュール」または[2]「ToDo」を押します。

5 [1]「はい」を押す

- 中止するときは、[2]「いいえ」を押します。
- データをまとめて1ファイルとして保存します。エクスポートを行った日時がタイトルになります。
- データに画像が設定されている場合は、確認画面が表示されます。

お知らせ

- 日付時刻設定をしていないときは、タイトルは「2006/ 1/ 1 0:00」になります。
- 電話帳やスケジュールに登録した位置情報、静止画に埋め込んだ位置情報については、miniSDメモリーカードを経由して他の機種にコピー・移動しようとした場合には、その位置情報がその機種では表示・利用できない場合があります。
- 電話帳データを1件コピーした場合、グループ番号はグループ0になります。
- 電話帳データをまとめてコピーした場合、1件目にプロフィールがコピーされます。
- PIMロック（プロフィール）中に電話帳データをまとめてコピーした場合、プロフィールはコピーされません。
- プロフィールに登録している２件目の郵便番号、住所はminiSDメモリーカードにコピーされません。

miniSDメモリーカードのデータをプレビューする

- パソコンなどでデータを変更したり、削除したりすると、FOMA端末で正しく表示できなくなる場合があります。そのような場合は、miniSDメモリーカードの情報を更新してください。→P292

miniSDデータを表示する

<例>「デジカメ」フォルダを表示するとき

1 [●]▶[生活ツール]▶[3]▶[1]を押す

2 [1]「デジカメ」を押す

- [✉]［本体］を押すとデータBOXに切り替わります。

3 フォルダを選択し、[●]を押す

- [✉]を押すと、「デジカメ」フォルダと「ピクチャ」フォルダを切り替えられます。フォルダ内にフォルダやデータがないときは[✉]［ピクチャ］、[✉]［デジカメ］は表示されません。

4 データを選択し、[●]を押す

- 静止画表示中の操作→P276
- 動画再生中の操作→P282
- メロディ再生中の操作→P287
- データ再生時の設定について→P296

お知らせ

- [●]▶[データBOX]「データBOX」▶[✉]［miniSD］を押しても表示できます。
- 「miniSDデータ」内のデータ一覧画面・データ再生画面でも、データBOXでの操作と同様に[i]［機能］を押して画像の編集などができます。
- miniSDメモリーカード内で編集したデータを保存するときに、空き容量が足りない、または最大保存件数を超える場合は、「データBOX」→「データ交換」に保存されます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

●メール添付するときに画像変換をした場合、添付したデータはデータBOXにコピーされます。
●大容量静止画・動画をメールに添付すると、データはデータBOXにコピーされます。
●miniSDメモリーカード内のデータはファイル制限の設定にかかわらず、メール添付ができます。

PIMデータを表示する

1 ●▶（生活ツール）▶[3]▶[2]を押す

2 項目を選択し、●を押す

PIMデータの一覧画面が表示されます。

3 ファイルを選択し、●を押す

- 複数のデータがあるファイルのときは、データを選択して●を押します。

お知らせ

●「PIMデータ」内のデータ表示画面でも、FOMA端末での操作と同様に[i]［機能］を押してさまざまな機能が使えます。

miniSDメモリーカードのデータをFOMA端末にコピーする

miniSDデータをFOMA端末にコピーする

- 次のデータはFOMA端末にコピーできません。
  - ファイルサイズが約25Mバイトより大きいデータ
  - FOMA端末で再生できないデータ

1 miniSDデータの一覧画面でデータを選択し、[i]［機能］▶「本体へコピー」を選択し、●を押す

2 [1]「1件コピー」を押す

■選択コピーするとき

①[2]「選択コピー」を押す
②データを選択し、●を押す
- 解除するときは●を押します。

③[i]［実行］を押す

■全件コピーするとき

①[3]「全件コピー」を押す
②端末暗証番号を入力し、●を押す

3 [1]「はい」を押す

- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。
- データは、データBOX各フォルダ内の「データ交換」フォルダに保存されます。

お知らせ

●FOMA端末にチャプター情報付きの動画・iモーションが100件保存されている場合、またはコピーによって100件を超える場合は、確認画面が表示されます。[1]「実行」を押すと、チャプター情報は削除され、動画・iモーションのみコピーされます。

PIMデータをFOMA端末にコピーする

1 PIMデータの一覧画面でファイルを選択し、[i]［機能］▶[3]「インポート」を押す

- すべてのファイルをコピーするときは[4]「全ファイルインポート」を押します。

■複数のデータがあるファイルをコピーするとき

①データを選択し、[i]［機能］▶「1件インポート」を選択し、●を押す
- ファイル内すべてのデータをコピーするときは、[i]［機能］▶「全件インポート」を選択し、●を押します。手順2へ進みます。

②[1]「はい」を押す
- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

2 端末暗証番号を入力し、●を押す

3 [1]～[3]を押す

新規保存	FOMA端末に登録されているデータにminiSDメモリーカードのデータを加えて保存します。
上書き保存	FOMA端末に登録されているデータを削除し、miniSDメモリーカードのデータを保存します。
中止	インポートを中止します。

4 [1]「はい」を押す

- 中止するときは、[2]「いいえ」を押します。

お知らせ

●電話帳データを新規保存でコピーする場合、FOMA端末に同じメモリ番号のデータがあるときは、最小の空きメモリ番号に保存されます。
●電話帳データを上書き保存でコピーする場合、1件目のデータをプロフィールとして保存するかどうかを選択できます。コピーすると、プロフィールの自局電話番号以外を上書きします。
●電話帳データを1件コピーした場合や、グループ番号が20以上のデータをコピーした場合は、グループ0に登録されます。
●PIMロック（プロフィール）中に電話帳データを上書き保存でコピーする場合、プロフィールは上書きされません。
●現在地通知先を上書き保存でコピーする場合、ワンタッチ通知先設定、定期現在地通知が解除されることを確認する画面が表示されます。

miniSDメモリーカードを管理する

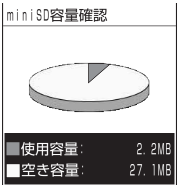
空き容量の確認や初期化など、miniSDメモリーカードを管理します。

miniSDメモリーカードの保存容量を確認する

使用している容量、空き容量の目安を円グラフで確認できます。

1 ●▶生活ツール▶3を押す

2 i［機能］▶1「miniSD容量確認」を押す



現在使用している容量と空き容量の目安がグラフと数値で表示されます。

お知らせ

●miniSDメモリーカードの容量は、miniSDメモリーカードに明記されている容量よりも少なくなります。

miniSDメモリーカードを初期化する

miniSDメモリーカードを初期化して、FOMA端末で使用できるようにします。

- miniSDメモリーカードは、必ずFOMA端末で初期化を行ってから使用してください。
- 初期化すると、保存されているデータはすべて削除されます。大切なデータが保存されていないかご確認の上、初期化してください。

1 ●▶生活ツール▶3を押す

2 i［機能］▶3「miniSD初期化」を押す

3 端末暗証番号を入力し、●を押す

4 1「はい」を押す

- 中止するときは、2「いいえ」を押します。

miniSDメモリーカードの情報を更新する

パソコンなどでminiSDメモリーカード内のデータを編集してFOMA端末でデータを正しく表示できなくなったときに、miniSDメモリーカードの情報を更新します。

1 ●▶生活ツール▶3を押す

2 i［機能］▶2「管理ファイル更新」を押す

3 1「はい」を押す

- 中止するときは、2「いいえ」を押します。

お知らせ

●miniSDメモリーカード内のデータ量によっては、情報更新に時間がかかることがあります。

miniSDモード

miniSDリーダライタとして使う

FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続して、miniSDメモリーカードを取付けたFOMA端末をリーダライタとして使用します。

- 対応OSはWindows 2000、Windows XPです。
- パソコンからFOMA端末のフォルダやデータを操作することはできません。

<例>Windows XPの場合

1 ●▶設定▶4▶●▶5を押す

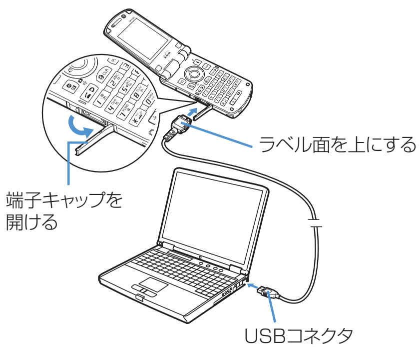
2 2「miniSDモード」を押す

が表示されます。
外部接続端子がminiSDメモリーカードのデータの読み込み／書き込み用になります。

3 パソコンとFOMA端末をFOMA USB接続ケーブルで接続する

マイコンピュータに「リムーバブルディスク」のアイコンが表示されます。

- 接続時にパソコンとFOMA端末の電源を入れておいてください。



＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

■ショートカットアイコンについて

パソコンと通信可能な状態になると、待受画面にUSBモード設定へのショートカットアイコン（[↗]）が表示されます。

お知らせ

- FOMA端末の電池レベルがほとんど残っていないときや電池切れになった場合は送受信中のデータが失われるおそれがあります。FOMA端末の電池が十分に残っていることを確認してください。またパソコンの電源についても確認してください。卓上ホルダ（別売）のご使用をおすすめします。
- パソコンからFOMA端末へデータを転送中はFOMA USB接続ケーブル（別売）やminiSDメモリーカードを抜かないでください。
- データの転送前にFOMA端末とパソコンが正しく接続できているか確認してください。
- データを転送中でも音声／テレビ電話の発信・着信、ｉモードメール・SMS・メッセージR/Fの送受信ができます
- パソコンからFOMA USB接続ケーブル（別売）を取外すには（Windows XPの場合）
  ①Windows XPのタスクバー上の「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをダブルクリックし、「USB大容量記憶装置デバイス」をクリックする
  ②「停止」をクリックし、「OK」をクリックする
  ③FOMA USB接続ケーブル（別売）を取外す

オリジナルデータを表示／登録する

「どこでもSANYO」のサイトからダウンロードしたオリジナルデータ（メニューアイコン、祝日データ、辞書データ、カテゴリアイコン）を表示、登録します。

- お買い上げ時はメニューアイコンのセットアイコンのみ保存されています。
- 「どこでもSANYO」について→P183

メニューアイコンを表示／登録する

メニューアイコンには1画面分の「セットアイコン」と、1項目分の「個別アイコン」があります。

- メニューアイコンは作成することもできます。→P277

1 [●]▶[生活ツール]▶[〇]▶[1]▶[1]を押す

2 メニューアイコンを選択し、[●]を押す

■タイトルを編集するとき

①メニューアイコンを選択し、[i]［機能］▶[1]「タイトル編集」を押す
②タイトルを入力し、[●]を押す
- 全角18文字（半角36文字）まで入力できます。

3 [✉]［設定］▶[1]～[4]を押す

- メニューアイコンの種類によっては設定できないメニューがあります。

4 [●]を押す

- 個別アイコンを設定するときは、項目を選択し、[●]を押します。

祝日データを表示／登録する

1 [●]▶[生活ツール]▶[〇]▶[1]▶[2]を押す

2 祝日データを選択し、[●]を押す

3 [✉]［設定］▶[1]「はい」を押す

- すでに選択した祝日データが設定されているときは、確認画面が表示されます。
- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

辞書データを表示／登録する

- 辞書は約64Kバイトまたは５件まで設定できます。
- 辞書データの解除について→P356

1 [●]▶[生活ツール]▶[〇]▶[1]▶[3]を押す

2 辞書データを選択し、[●]を押す

3 [✉]［設定］▶[1]「はい」を押す

- すでに選択した辞書データが設定されているときは、確認画面が表示されます。
- [●]を押すと、辞書データの詳細を確認できます。
- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

スケジュール／ToDoのカテゴリアイコンを表示する

カテゴリアイコンには複数のアイコンを持つ「セットアイコン」と、1つずつの「個別アイコン」があります。

- カテゴリアイコンは、スケジュール／ToDo登録時に設定できます。→P321、323

1 [●]▶[生活ツール]▶[〇]▶[1]▶[4]を押す

- [セットアイコン]（セットアイコン）を選択して[●]を押すと、内容を表示できます。

フォルダとデータを使いこなす

フォルダを作成したり、作成したフォルダ（ユーザーフォルダ）にセキュリティをかけたりすることができます。

フォルダを作成・編集・削除する

- フォルダは「マイピクチャ」、「ｉモーション」、「メロディ」内にそれぞれ10個まで作成できます。
- お買い上げ時に登録されているフォルダのフォルダ名編集、削除はできません。

フォルダを作成する

1 フォルダ一覧画面でi［機能］▶1「フォルダ作成」を押す

2 フォルダ名を入力し、●を押す

- 全角8文字（半角16文字）まで入力できます。
- 入力されている文字を削除してから行います。

■ 作成したフォルダ名を編集するとき

①フォルダを選択し、i［機能］▶3「フォルダ名編集」を押す
②フォルダ名を入力し、●を押す

フォルダを削除する

1 フォルダを選択し、i［機能］▶5「フォルダ削除」を押す

2 1「1件削除」を押す

■ 選択削除するとき

①2「選択削除」を押す
②フォルダを選択し、●を押す
- 解除するときは●を押します。

③i［実行］を押す

■ 全件削除するとき

①3「全件削除」を押す

3 端末暗証番号を入力し、●を押す

- フォルダにセキュリティが設定されている場合は、1「実行」を押してから端末暗証番号を入力します。

4 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

フォルダやデータを並べ替える

ユーザーフォルダやデータBOX内のファイルの並べ替えができます。

フォルダを並べ替える

- お買い上げ時に登録されているフォルダは並べ替えできません。

1 フォルダ一覧画面でi［機能］▶2「フォルダ並べ替え」を押す

2 フォルダを選択し、●を押す

3 ✥で移動先を選択し、●を押す

- 続けて他のフォルダを並べ替えるときは、手順2～3を繰り返します。

4 i［完了］を押す

データを並べ替える

データBOX内のファイルを並べ替えます。

- お買い上げ時に登録されているフォルダでは、取得元別のソートはできません。

1 画像／動画／メロディ一覧画面でi［機能］▶「ファイルソート」を選択し、●を押す

2 1～7を押す

日付順（新→旧）	保存日時の新しい順に並べ替えます。
日付順（旧→新）	保存日時の古い順に並べ替えます。
タイトル順（昇順）	絵文字、全角文字（記号、数字、英大文字、英小文字、ひらがな、カタカナ、外字、漢字）、半角文字（記号、数字、英大文字、英小文字、カタカナ）の順に並べ替えます。
タイトル順（降順）	タイトル順（昇順）の逆の順に並べ替えます。
ファイルサイズ（昇順）	ファイルサイズの小さい順に並べ替えます。
ファイルサイズ（降順）	ファイルサイズの大きい順に並べ替えます。
取得元別	取得元のフォルダ順（カメラ、iモード、データ交換、ラジオ、デコメールピクチャ）に並べ替えます。

フォルダやデータにセキュリティをかける

ユーザーフォルダにセキュリティをかけたり、データBOX内のファイルにファイル制限を設定し、送信先のFOMA端末などから添付データとして転送できないようにしたりできます。

フォルダにセキュリティをかける

- お買い上げ時に登録されているフォルダにセキュリティをかけることはできません。
- セキュリティを設定したフォルダを見るには、端末暗証番号の入力が必要になります。

1 フォルダを選択し、i［機能］▶4「セキュリティ設定」を押す

- 解除するときはi［機能］▶4「セキュリティ解除」を押します。

2 端末暗証番号を入力し、●を押す

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

データにファイル制限を設定する

- 次のデータはファイル制限を変更できません。
  - ファイル制限が設定されているデータ（FOMA端末で設定した場合、情報表示の取得元が「カメラ」、「データ交換」、「ラジオ」になっている場合を除く）
  - 情報表示の取得元が「ｉモード」になっているデータ
  - フレーム、スタンプ

1 画像／動画／メロディ一覧画面でファイルを選択し、i［機能］▶「ファイル制限」を選択し、●を押す

2 1「あり」を押す

- 解除するときは2「なし」を押します。

データの管理用タイトル／ファイル名を変更する

データの管理用タイトル（FOMA端末で表示されるタイトル）やデータBOX内のデータのファイル名を編集できます。

- 次のデータはファイル名の編集はできません。
  - ファイル制限が設定されているデータ（FOMA端末で設定した場合、情報表示の取得元が「カメラ」、「データ交換」、「ラジオ」になっている場合を除く）
  - お買い上げ時に登録されているデータ（デコメールピクチャは除く）
  - Flash画像

1 画像／動画／メロディ一覧画面でファイルを選択し、i［機能］▶「タイトル編集」を選択し、●を押す

- 各データの再生画面でも同じ操作でタイトル編集ができます。

■ ファイル名を編集するとき

①画像／動画／メロディ一覧画面でファイルを選択し、i［機能］▶「ファイル名編集」を選択し、●を押す

2 タイトルまたはファイル名を入力し、●を押す

- 管理用タイトルを未入力で保存した場合は、ファイル名または初期タイトルになります。→P296
- 全角18文字（半角36文字）まで入力できます。

データを別のフォルダに移動する

データBOX内のファイルを、ユーザーフォルダに移動できます。

- お買い上げ時に登録されているフォルダ間で、フォルダ移動することはできません。
- ユーザーフォルダからｉモード／カメラ／デコメールピクチャ／データ交換／アイテムフォルダへ移動する場合、データの種類によって移動できるフォルダが決まります。
- お買い上げ時に登録されているデータ（デコメールピクチャは除く）は、フォルダ移動できません。

1 画像／動画／メロディ一覧画面でファイルを選択し、i［機能］▶「フォルダ移動」を選択し、●を押す

2 1「1件移動」を押す

■ 選択移動するとき

①2「選択移動」を押す
②ファイルを選択し、●を押す
- 解除するには●を押します。

③i［実行］を押す

■ 全件移動するとき

①3「フォルダ内全件移動」を押す

3 移動先のフォルダを選択し、●を押す

4 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

データを削除する

データBOX、miniSDメモリーカード内のデータ、オリジナルデータを削除できます。

- マイピクチャ、メロディの「プリインストール」フォルダに保存されているデータは削除できません。
- オリジナルデータのメニューアイコンで、お買い上げ時に登録されているデータは削除できません。
- 待受画面や着信音などに設定しているデータを削除すると、それぞれの設定はお買い上げ時に戻ります。

1 各データの一覧画面でデータを選択し、i［機能］▶「削除」を選択し、●を押す

- 各データの再生／詳細画面も同じ操作で1件削除ができます。

2 1「1件削除」を押す

■ 選択削除するとき

①2「選択削除」を押す
②データを選択し、●を押す
- 解除するときは●を押します。

③i［実行］を押す

■ フォルダ内のデータを全件削除するとき

①3「フォルダ内全件削除」を押す
②端末暗証番号を入力し、●を押す

3 １「はい」を押す

- 中止するときは２「いいえ」を押します。
- 待受画面や着信音などに設定しているデータが含まれているときは、確認画面が表示されます。削除するときは、１「はい」、設定しているデータ以外を削除するときは３「利用データ以外削除」、中止するときは２「いいえ」を押します。

<情報表示>

データの詳細情報を確認する

データBOX、miniSDメモリーカード内のデータ、オリジナルデータの情報を表示します。

1 データを選択し、i［機能］▶「情報表示」を選択し、●を押す

- 各データの再生／詳細画面も同じ操作で情報表示ができます。

表示項目一覧

詳細情報の項目の内容は以下のとおりです。

項　目	内　容
ファイル名	データのファイル名
タイトル	データの初期タイトル。初期タイトルがない場合は、iモーションは「不明」、メロディ、オリジナルデータは「No title」と表示
ファイル種別	ファイルの種別
作成者	動画・iモーションの作成者の名前など
コピーライト	動画・iモーションの著作者名や公表年月日など
説明	動画・iモーションの説明
表示サイズ	データの表示サイズ
ファイルサイズ	データのファイルサイズ
音	動画・iモーションのデータ種別
着信音設定	動画・iモーションを着信音に設定できるかどうか
着信画面設定	動画・iモーションを着信画像に設定できるかどうか
ファイル制限	メール添付によって他の携帯電話にデータを送信したとき、受信した相手の携帯電話からさらに他の携帯電話にデータを送信することを制限するかしないか • サイトからダウンロードしたiモーション、メロディなどでは変更できません。
再生制限	動画・iモーションの再生制限
位置情報	静止画に位置情報が埋め込まれているかどうか
故障時移行可否	お客様のFOMA端末を修理する際、お客様のデータをドコモ指定の故障取扱い窓口において移行できるかどうか※
取得元	データの取得元
保存日時	データを保存した日時
再生時間	データの再生時間
枚数	メニューアイコンの枚数
設定先	ファイルの設定先
画像設定	miniSDメモリーカード内の電話帳データで、画像が設定されているかどうか

※ 万が一、お客様のデータを移行できない場合およびデータの消失、変化に関し、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

<再生設定>

データ再生時の設定をする

お買い上げ時	照明　：常時点灯 バイブレータ　：ON LED　：ON 再生モード　：フルコーラス再生 表示サイズ　：等倍再生 音量　：LEVEL3

データBOX、miniSDメモリーカードのデータの再生について設定します。

- ミュージックプレイヤー再生時はミュージックプレイヤーの設定に従います。
- 待受画面に設定した静止画、動画・iモーションの再生は、待受画面設定の設定に従います。
- データ再生中に音量を調節するなど、一時的な変更は再生設定には反映されません。

1 ●▶「データBOX」を押す

2 i［機能］▶１「再生設定」を押す

3 項目を設定する

- i［確認］を押すと、設定内容を一覧で確認できます。

■照明を設定するとき

① １「照明」を押す
② １「常時点灯」または２「端末設定に従う」を押す

常時点灯	再生中は常に照明を点灯します。
端末設定に従う	照明設定の設定に従います。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

■ バイブレータを設定するとき

- メロディ再生時に有効です。

① 2「バイブレータ」を押す

② 1「ON」を押す

- 再生中はメロディに連動して振動します。(連動せず、固定のパターンで振動する場合があります。)
- 振動させないときは、2「OFF」を押します。

■ LEDを設定するとき

- メロディ再生時に有効です。

① 3「LED」を押す

② 1「ON」を押す

- 再生中はメロディに連動して点滅します。(連動せず、固定のパターンで点滅する場合があります。)
- 点滅させないときは、2「OFF」を押します。

■ 再生モードを設定するとき

- メロディ再生時に有効です。
- SMF形式のメロディ、演奏開始位置指定のないメロディは、設定にかかわらずフルコーラス再生されます。

① 4「再生モード」を押す

② 1「ポイント再生」または2「フルコーラス再生」を押す

ポイント再生	ファイルに設定されている演奏開始位置から再生します。
フルコーラス再生	メロディを最初から最後まで再生します。

■ 表示サイズを設定するとき

- 静止画、動画・iモーション再生時に有効です。

① 5「表示サイズ」を押す

② 1「拡大再生」または2「等倍再生」を押す

■ 音量を設定するとき

- Flash画像、動画・iモーション、メロディ再生時に有効です。

① 6「音量」を押す

② で音量を調節し、●を押す

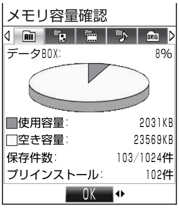
メモリの使用状況を確認する

データBOXのメモリ容量の目安を円グラフで確認できます。

1 ●▶

を押す

2 i［機能］▶2「メモリ容量確認」を押す



- 現在使用している容量と空き容量の目安がグラフと数値で表示され、各フォルダのデータ保存件数などが確認できます。でデータBOX全体、マイピクチャ、iモーション、メロディ、オリジナルデータの表示を切り替えられます。
- i［詳細］を押すと、各フォルダ内のメモリ容量などを確認できます。でフォルダを切り替えられます。

メモリ不足や保存件数オーバーになったときは

静止画を編集して保存しようとしたときなど、データBOXの空き容量が足りないときや最大保存件数を超えるときは、確認画面が表示されます。

1 確認画面が表示されたら、1「はい」を押す

2 1「データBOX」または2「オリジナルデータ」を押す

3 フォルダを選択し、●を押す

4 データを選択し、●を押す

- 解除するときは●を押します。

5 i［実行］を押す

- 待受画面や着信音などに設定しているデータが含まれているときは、確認画面が表示されます。削除するときは、1「はい」、設定しているデータ以外を削除するときは3「利用データ以外削除」、中止するときは2「いいえ」を押します。削除すると設定はお買い上げ時に戻ります。
- 空き容量が確保されるまで、手順1～5を繰り返してください。

赤外線通信について

赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末や携帯電話などと、電話帳や画像などのデータを送受信できます。また、ｉアプリで赤外線通信を利用し、赤外線通信機能が搭載された機器と連動できます。

- オールロック中、セルフモード中は、赤外線通信はできません。
- PIMロック中はロックされている機能に関するデータは送受信できません。
  PIMロックについて→P145
- ｉアプリから起動した赤外線通信では全件送受信ができない場合があります。
- 赤外線通信中は圏外と同じ状態になるため、通話、ｉモード、データ通信などはできません。
- 赤外線通信中はマルチタスクは使えません。
- 赤外線通信とUSB接続（miniSDモードは除く）は同時に使用できません。
- ダウンロードしたメロディや画像などは、赤外線通信で送受信できない場合があります。
- 約300Kバイトを超える画像、ｉモーションは送受信できません。（画像の場合は、約300Kバイト以内でも送受信できない場合があります。また、約100Kバイトを超えるメロディは送受信できません。）
- メールデータに送受信できない画像などが添付されている場合、送信時は本文のみが送信されます。また、受信時は本文のみ受信する場合があります。
- 保存できるデータの件数・容量がオーバーした場合はメッセージが表示されます。全件受信時は、保存可能な分のみ保存されます。
- SA702iの赤外線通信機能はIrMC1.1に準拠しています。相手の端末、機種によってはIrMC1.1に準拠している場合でも、赤外線通信ができないことがあります。
- SA702i以外の赤外線通信機器との通信では、データが正しく受信されないことや受信側でデータが正しく表示されない場合があります。
- 直射日光のあたる場所や、蛍光灯の真下などでは赤外線通信が正常に行えないことがあります。
- プロフィールに登録されている２件目の郵便番号、住所は、赤外線送信されません。
- ブックマークを送受信した場合、フォルダ分けの設定が反映されません。

赤外線通信で送受信できるデータ

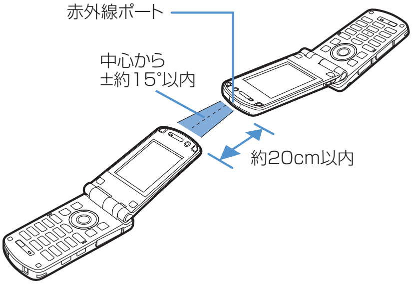
データの種類	受信時の保存場所	受信時の保存順
電話帳、プロフィール	電話帳※	最も小さい空きメモリ番号の順で登録されます。
受信メール（ｉモードメール、SMS）	受信BOXのメインフォルダ	受信日時の順に登録されます。
送信メール（ｉモードメール、SMS）	送信BOXのメインフォルダ	送信日時の順に登録されます。
未送信メール（ｉモードメール、SMS）	未送信BOXのメインフォルダ	保存日時の順に登録されます。
スケジュール	スケジュール一覧	開始日時の古い順、終了日時の古い順、アラーム日時の古い順で登録されます。
ToDo	ToDo一覧	期限日時の古い順で登録されます。
ブックマーク	Bookmarkのメインフォルダ	一番上に登録されます。
現在地通知先	現在地通知先一覧	一番下に登録されます。
メモデータ	テキストメモ	一番下に登録されます。
静止画	マイピクチャのデータ交換フォルダ	データBOXの並び順の設定に従って登録されます。
動画・ｉモーション	ｉモーションのデータ交換フォルダ	
メロディ	メロディのデータ交換フォルダ	

※ 電話帳データを全件受信した場合、一件目をプロフィールとし、プロフィールの自局電話番号以外を上書きします。

- PIMロック（プロフィール）中に電話帳を全件送受信した場合、プロフィールは送受信されません。
- PIMロック（マルチメディア）中に画像付きの電話帳などを送受信した場合、画像は送受信されません。
- 静止画、動画・ｉモーション、メロディは、全件送受信できません。
- 静止画、動画・ｉモーションのタイトルは、全角9文字（半角18文字）まで送受信できます。
- メロディのタイトルは全角18文字（半角36文字）まで送受信できます。
- FMラジオで録音したデータは送信できません。
- 電話帳を1件送受信した場合、グループ番号はグループ0に登録されます。
- 他社のFOMA端末からSA702iへグループ番号が20以上の電話帳を送信したときは、SA702iでは全てグループ0に登録されます。
- 電話帳やスケジュールに登録した位置情報、画像に埋め込んだ位置情報については、赤外線通信を経由して、他の機種に保存しようとした場合には、その位置情報がその機種では表示・利用できない場合があります。

赤外線通信をするときは

- 受信する側のFOMA端末を受信状態にしておきます。
- 赤外線ポートを平行に向き合わせ、距離を約20cm（角度は中心から約15°）以内にしてください。また、データの送受信が終わるまで相手側の赤外線ポート部に向けたままにして動かさないでください。
- 赤外線通信中は通信中の画面になり、アイコンが点滅します。データの送受信が終わるまで、FOMA端末の間にものを置いたり、動かしたりしないでください。



赤外線送信

赤外線通信を使ってデータを送信する

赤外線通信機能が搭載されている他のFOMA端末や携帯電話などに、電話帳や自局電話番号などのデータを送信します。赤外線送信には、送信するデータを選択して1件ずつ送信する方法と、データを種類ごとに全件送信する方法があります。

- あらかじめ受信する側の端末を受信状態にしてから送信してください。
- メールにｉアプリを起動させるリンク情報がある場合は、その情報が削除されて送信されます。

データを1件送信する

各機能から赤外線通信で送信するデータを選択し、機能メニューから赤外線通信を起動して送信します。

<例>プロフィールを赤外線送信するとき

1 ●▶[0]を押す

2 [i]［機能］▶[6]「赤外線送信」を押す
- データに画像が含まれている場合、確認画面が表示されます。項目を選択し、●を押します。

3 [1]「はい」を押す
- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。
- 通信を中断するときは[✉]［中断］を押してください。
- 相手の端末とうまく接続できないときは確認画面が表示されます。赤外線ポートの位置を確認し、[1]「はい」を押してもう一度送信してください。

データを全件送信する

電話帳、スケジュールなど、選択した項目のすべてのデータを送信します。
- 全件送信する場合は、送信側と受信側で同じ認証パスワード（4桁の数字）を入力する必要があります。あらかじめ相手の方と認証パスワードを決めておいてください。（FOMA端末には設定できません。）

1 ●▶[生活ツール]▶[2]▶[3]を押す

2 項目を選択し、●を押す
- 電話帳、受信メール、送信メール、未送信メールを選択したときは[1]「本体」または[2]「FOMAカード（UIM）」を押します。
- データに画像が含まれている場合は確認画面が表示されます。

3 端末暗証番号を入力し、●を押す

4 4桁の認証パスワードを入力する
- 入力した認証パスワードは「****」と表示されます。

5 [1]「はい」を押す
- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。
- 通信を中断するときは[✉]［中断］を押してください。
- 相手の端末とうまく接続できないときは確認画面が表示されます。赤外線ポートの位置を確認し、[1]「はい」を押してもう一度送信してください。

お知らせ

- 電話帳を全件送信すると、1件目にプロフィールが送信されます。
- 受信側と認証パスワードが違った場合は、通信は終了し、赤外線通信メニューの画面に戻ります。
- データの並び順は、送信側と受信側で異なる場合があります。

赤外線受信

赤外線通信を使ってデータを受信する

赤外線通信機能が搭載されている他のFOMA端末や携帯電話などから、電話帳やメールなどのデータを受信します。赤外線受信には、1件ずつ受信する方法と、データを種類ごとに全件受信する方法があります。

データを1件受信する

1 ●▶[生活ツール]▶[2]▶[1]を押す

2 [1]「はい」を押す
- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

次ページへつづく

3 送信側でデータを1件送信する
- 通信を中断するときは✉［中断］を押してください。
- 相手の端末とうまく接続できないときは確認画面が表示されます。赤外線ポートの位置を確認し、1「はい」を押してもう一度受信してください。

4 受信が完了したら、1「はい」を押す
- 保存可能な件数・容量を超えた場合は、保存できません。
- 2「いいえ」を押すと、データは保存されません。
- 同じブックマークのデータが受信側にある場合は確認画面が表示されます。

データを全件受信する

電話帳、スケジュールなど、項目ごとのすべてのデータを赤外線受信できます。
- 全件受信する場合は、送信側と受信側で同じ認証パスワード（4桁の数字）を入力する必要があります。あらかじめ相手の方と認証パスワードを決めておいてください。（FOMA端末には設定できません。）

1 ●▶生活ツール▶2▶2を押す

上書きすると受信側に保存されているデータが削除されることを確認するメッセージが表示されます。

2 ●を押す

3 端末暗証番号を入力し、●を押す

4 4桁の認証パスワードを入力する
- 入力した認証パスワードは「＊＊＊＊」と表示されます。

5 1「はい」を押す
- 中止するときは2「いいえ」を押します。

6 送信側でデータを送信する
- 通信を中断するときは✉［中断］を押してください。
- 相手の端末とうまく接続できないときは確認画面が表示されます。赤外線ポートの位置を確認し、1「はい」を押してもう一度受信してください。

7 1「はい」を押す
- 1「はい」を押すと、受信側のデータはすべて削除され、送信されたデータが保存されます。2「いいえ」を押すと通信を終了し、受信側のデータは削除されません。
- 現在地通知先データの場合、ワンタッチ通知先設定、定期現在地通知が解除されることを確認する画面が表示されます。2「いいえ」を押すと、通信を終了します。

8 保存成功件数と保存失敗件数が表示される
- 保存できるデータの件数がオーバーした場合はメッセージが表示され、保存可能な分のみ保存されます。

赤外線通信モード

赤外線通信モードにする

ｉアプリ起動データを受信した場合、ｉアプリを起動できます。
- 赤外線通信機器が指定するソフトをあらかじめダウンロードしておく必要があります。

1 ●▶生活ツール▶2▶1を押す

2 1「はい」を押す
- 中止するときは2「いいえ」を押します。

3 赤外線通信機器からｉアプリ起動データを受信する
- 通信を中断するときは✉［中断］を押してください。

4 1「はい」を押す

ソフトが起動します。起動後の操作はソフトによって異なります。

赤外線リモコン機能を利用する

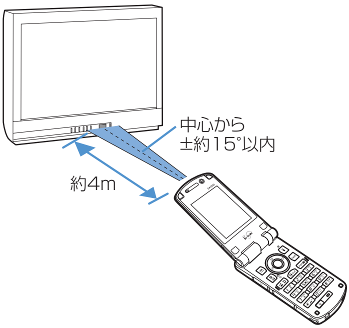
お買い上げ時に登録されているｉアプリ、「Gガイド番組表リモコン」またはダウンロードした対応ｉアプリを起動して、FOMA端末を赤外線リモコンとして使用できます。
- 「Gガイド番組表リモコン」について詳しくは『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
- リモコン機能を利用する場合は、機器に対応したソフトをダウンロードする必要があります。
- ボタン操作はソフトによって異なります。
- 機器によっては操作できないものや、一部動作しない場合があります。
- 対応機器や周囲の明るさにより、通信に影響がでる可能性があります。
- セルフモード中は赤外線リモコン機能を利用できません。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

リモコン操作について

赤外線リモコンに対応したｉアプリを起動し（→P242）、FOMA端末の赤外線ポートを図のように対応機器の赤外線受信部に向けて操作をしてください。

- リモコン操作ができる角度は中心から約15°、距離は約4mです。
- 対応機器や周囲の明るさなどにより、操作できる角度と距離は変わります。



ボイスレコーダー

ボイスレコーダーとして使う

FOMA端末で音声を録音できます。録音したデータはFOMA端末やminiSDメモリーカードに保存して、再生だけでなくメールに添付したり、編集したりできます。

- miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287
- miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

録音できる時間や保存形式について

■ 録音可能な時間

FOMA端末　　　　　　：1ファイルにつき約85分
miniSDメモリーカード：1ファイルにつき約120分

- 長時間録音する場合は、電池残量にご注意ください。充電しながら録音することをおすすめします。
- FOMA端末の空き容量によって、録音可能時間が異なる場合があります。
- 音声データをメールで添付する場合は次の時間を目安に録音してください。
  ｉモードメールに添付する場合：約3分
  大容量メールに添付する場合　：約5分10秒

■ 保存先

FOMA端末　：「データBOX」→「ｉモーション」フォルダ内に保存されます。
miniSDメモリーカード：「miniSD」→「miniSDデータ」→「ｉモーション」フォルダに保存されます。

- お買い上げ時は「データBOX」→「ｉモーション」→「カメラ」フォルダに保存されるように設定されています。保存先設定で保存先を変更できます。

■ 保存形式

ファイル形式：MP4
符号化方式　：AMR
拡張子　　　：.3gp

- 録音した日時が自動的にファイル名／タイトルとして保存されます。2006年9月20日10：30に録音した場合は「2006-09-20_10-30」になります。
- ファイル名／タイトルは保存後に変更できます。→P295

音声を録音する

- 音声は送話口から録音されます。
- マナーモード中や公共モード（ドライブモード）中、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続中でも、録音開始／終了音が鳴ります。録音開始／終了音の音量は変更できません。
- 録音中に着信・アラーム・メール受信などがあった場合の動作→P167

1 ●▶生活ツール▶8▶1を押す
- 動画撮影画面で、ｉ［機能］▶5「撮影種別」▶3「音声のみ」を押しても、ボイスレコーダーとして音声を録音できます。→P166

■ マイク感度を設定するとき

①ｉ［機能］▶2「マイク感度」を押す
②1「広域用」または2「自分撮り用」を押す

■ 保存先を設定するとき

①ｉ［機能］▶3「保存先設定」を押す
- 以降の操作：→P171「撮影した静止画／動画の保存先を設定する」手順2

■ ファイル制限を設定するとき

①ｉ［機能］▶5「ファイル制限」を押す
②1「あり」または2「なし」を押す

■ 録音前に静止画を撮影するとき

撮影した静止画はサムネイルとして動画一覧画面で表示されます。

①[カメラ]を押す
- [✉]［カメラ切替］を押すと、アウトカメラ／インカメラを切り替えます。
- 撮影後、撮り直すときは[✉]［撮直し］を押します。
- [◎]でズームが使えます。→P167
- [▲]または[▼]を押すと、明るさを設定できます。→P168
- [i]［機能］▶[◎]▶[1]「操作ガイド」を押すと、操作ガイドを表示できます。

■ 特殊効果をかけて静止画を撮影するとき

①[i]［機能］▶[1]「特殊効果」を押す
- [4]を押しても特殊効果がかけられます。
- 以降の操作：→P170「撮影効果を設定する」手順2～3

■ 拡大表示して静止画を撮影するとき

①[i]［機能］▶[4]「拡大表示」を押す
- 等倍表示にするときは[i]［機能］▶[4]「等倍表示」を押します。
- [◎]を押しても拡大表示／等倍表示ができます。

■ ライトを点灯して静止画を撮影するとき

①[i]［機能］▶[6]「ライト」を押す
- [#]を押してもライトを点灯できます。

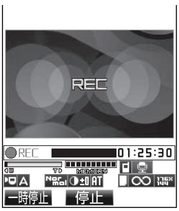
②[1]「ON」を押す
- 点灯させないときは[2]「OFF」を押します。

■ 画面のちらつきを抑えるとき

①[i]［機能］▶[7]「ちらつき軽減」を押す

②[1]～[3]を押す

2 [●]を押す



録音開始音が鳴り、録音が始まります。
- miniSDメモリーカードを保存先に設定しているときに、miniSDメモリーカードの空き容量がない、または件数オーバーの場合は、保存先をデータBOXに変更し、保存します。
- 録音画面の見かたについて→P161

■ 録音を一時停止するとき

①[✉]［一時停止］を押す
- [✉]［再開］を押すと、録音を再開します。

3 [●]を押す

録音が終了し、自動保存されます。
- 録音可能な時間を超えると、録音は自動的に終了し、保存されます。

音声を再生する

- データBOXから音声データを再生する→P281

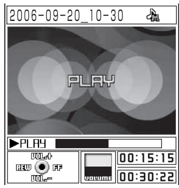
1 [●]▶[生活ツール]▶[8]▶[2]を押す

2 フォルダを選択し、[●]を押す



- [✉]を押すと、データBOXとminiSDメモリーカードを切り替えられます。

3 音声データを選択し、[●]を押す



音声データ再生画面

- 再生中の操作について→P282
- 音声を録音する前に静止画を撮影した場合は、撮影した静止画が表示されます。

■ 指定した時間から音声を再生するとき

- データBOXから音声を再生する場合はジャンプ再生はできません。
- 音声データ再生画面でも同じ操作でジャンプ再生ができます。

①音声データを選択し、[i]［機能］▶[1]「ジャンプ再生」を押す

②再生を始める時間を入力し、[●]を押す

指定した時間から音声データが再生されます。
- 表示されている時間は音声データの長さです。範囲内で指定してください。
- 時間の表示は「時間：分：秒」です。

■ タイトルを変更するとき

- データBOXでタイトルを変更する→P295
- 音声データ再生画面でも同じ操作でタイトル編集ができます。

①音声データを選択し、[i]［機能］▶[2]「タイトル編集」を押す

②タイトルを入力し、[●]を押す
- 全角18文字（半角36文字）まで入力できます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

■ 詳細情報を確認するとき

- データBOXで詳細情報を表示する→P296
- 音声データ再生画面でも同じ操作で情報表示ができます。

①音声データを選択し、i［機能］▶3「情報表示」を押す

■ 音声を削除するとき

- データBOXで音声データを削除する→P295
- 音声データ再生画面でも同じ操作で削除ができます。

①音声データを選択し、i［機能］▶4「削除」を押す
②1「はい」を押す
- 中止するときは2「いいえ」を押します。

DPOFプリント予約

miniSDメモリーカードに保存されている画像の印刷方法を設定する

miniSDメモリーカードに保存されている静止画に印刷の設定をします。あらかじめ印刷方法を設定しておくと、プリンタやお店で簡単に指定印刷できます。

- DPOF（Digital Print Order Format）に対応したプリンタまたはプリントサービスの店舗で有効です。
- 選択できる画像は、Exif-JPG形式の静止画です。
- 予約できる設定はインデックスプリント1件と通常プリント998件までです。
- ファイルサイズが1Mバイト以上の画像は予約できません。
- 別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。→P287

印刷部数を予約する

1 ●▶生活ツール▶3▶4を押す

2 フォルダを選択し、●を押す

画像一覧画面が表示されます。

- 画像の右下に表示されている数字は、現在予約されている印刷部数です。

3 画像を選択し、●▶i［予約］を押す

- 予約を解除するときは、✉［解除］を押します。

4 印刷部数を入力し、●を押す

印刷部数は0～999部まで設定できます。

- 印刷部数を0部にして●を押すと、予約は解除されます。

5 ●を押す

画像一覧画面に戻ります。

- 複数の画像に印刷部数を予約するときは、手順3～5を繰り返します。

6 ✉［保存］▶1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

複数の画像の印刷部数を一度に予約する

1 画像一覧画面で画像を選択し、i［機能］▶1「部数指定」を押す

2 1「1件指定」を押す

■ 選択指定するとき

①2「選択指定」を押す
②画像を選択し、●を押す
- 解除するときは●を押します。

③i［実行］を押す
④1「はい」を押す
- 中止するときは2「いいえ」を押します。

■ 全件指定するとき

①3「全件指定」を押す
②1「はい」を押す
- 中止するときは2「いいえ」を押します。

3 印刷部数を入力し、●を押す

- 以降の操作：→P303「印刷部数を予約する」手順6

予約状況を確認する

1 ●▶生活ツール▶3▶4を押す

2 i［機能］▶3「予約状況確認」を押す

予約画像件数、総印刷部数、インデックスプリント指定、最終更新日が表示されます。

予約を解除する

1 画像一覧画面で画像を選択し、i［機能］▶2「予約解除」を押す

2 1「1件解除」を押す

■ 選択解除するとき

①2「選択解除」を押す
②画像を選択し、●を押す
- 解除するときは●を押します。

③i［実行］を押す

■ 全件解除するとき

①3「全件解除」を押す

3 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。
- 以降の操作：→P303「印刷部数を予約する」手順6

予約を一括で解除する

1 [●]▶[生活ツール]▶[3DEF]▶[4GHI]を押す

2 [i]［機能］▶[2ABC]「一括解除」を押す

3 [1]「はい」を押す

- 中止するときは[2ABC]「いいえ」を押します。

インデックスプリントを指定する

インデックスプリント（画像を縮小して一覧にしたもの）を印刷するように設定します。

- 印刷部数を設定（1～999部）しないとインデックスプリントの指定はできません。

1 [●]▶[生活ツール]▶[3DEF]▶[4GHI]を押す

2 [i]［機能］▶[1]「インデックスプリント指定」を押す

3 [1]「はい」を押す

- インデックスプリントをしない場合は、[2ABC]「いいえ」を押します。

音楽再生／FMラジオ

音楽を聞く

ミュージックプレイヤーを利用する 306
パソコンで作成したｉモーション（音楽データ含む）をFOMA端末で再生する
. 308

FMラジオを聴く

FMラジオをご利用になる前に 309
FMラジオを聴く 309
FMラジオを録音する 311
FMラジオの設定を行う 311

ミュージックプレイヤーを利用する

データBOX、miniSDメモリーカードに保存されている音声のみの動画・iモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）、メロディをプレイリストに登録し、連続で再生できます。

- miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287
- miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
- miniSDモード中は、miniSDメモリーカードからのデータ登録・再生はできません。

プレイリストを作成する

- 9件まで作成できます。
- 1件のプレイリストにはデータを80件まで登録できます。
- 次のデータはプレイリストに登録できません。
  - 音声のみの動画・iモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）以外
  - 再生制限付きのiモーション
  - FOMAカード動作制限機能が設定されているデータ
  - 再生時間が長いMFi形式メロディ
  - FOMA端末で再生できないデータ

1 **[●]▶

▶[9]を押す**

プレイリスト一覧画面が表示されます。

2 **「未登録」を選択し、[✉]［登録］を押す**

3 **[1]「データBOX」または[2]「miniSD」を押す**

4 **フォルダを選択し、[●]を押す**

5 **データを選択し、[●]を押す**

- 解除するときは、[●]を押します。
- [✉]［再生］を押すと、データを再生して確認できます。

6 **[i]［登録］を押す**

- 複数のデータを登録するときは、「未登録」を選択して[✉]［登録］を押し、手順3～6を繰り返します。
- [CLR]を押すと、プレイリスト一覧画面に戻ります。

プレイリストを編集する

プレイリスト名を編集する

1 **プレイリスト一覧画面でプレイリストを選択し、[i]［機能］▶[1]「プレイリスト名編集」を押す**

2 **プレイリスト名を入力し、[●]を押す**

- 全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

プレイリストを解除する

1 **プレイリスト一覧画面でプレイリストを選択し、[i]［機能］▶[2]「解除」を押す**

2 **[1]「はい」を押す**

- 中止するときは、[2]「いいえ」を押します。

プレイリストのデータを変更する

1 **プレイリスト一覧画面でプレイリストを選択し、[✉]［確認］を押す**

プレイリスト詳細画面が表示されます。

- 前回再生を途中で終了したプレイリストの場合は、終了時に再生していたデータにフォーカスがあたります。

2 **データを選択し、[✉]［変更］を押す**

■ 追加登録するとき

①[i]［機能］▶[1]「追加登録」を押す
- 「未登録」を選択し、[✉]［登録］を押しても追加登録ができます。
- 以降の操作：→P306「プレイリストを作成する」手順3～6

■ データを並べ替えるとき

①[i]［機能］▶[2]「並べ替え」を押す
②データを選択し、[●]を押す
③[✥]で移動先を選択し、[●]を押す
- 続けて他のデータを並べ替えるときは、手順②～③を繰り返します。

④[i]［完了］を押す

■ データの詳細情報を確認するとき

①データを選択し、[i]［機能］▶[4]「情報表示」を押す
- 表示項目について→P296

3 **[1]「データBOX」または[2]「miniSD」を押す**

4 **フォルダを選択し、[●]を押す**

5 **データを選択し、[●]を押す**

- [✉]［再生］を押すと、データを再生して確認できます。

プレイリストのデータを解除する

1 **プレイリスト詳細画面でデータを選択し、[i]［機能］▶[3]「登録解除」を押す**

2 **[1]「1件解除」を押す**

■ 選択解除するとき

①[2]「選択解除」を押す
②データを選択し、[●]を押す
- 解除するときは、[●]を押します。

③[i]［実行］を押す

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

■ 全件解除するとき

① 3「全件解除」を押す

3 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

お知らせ

- データBOXで、プレイリストに登録されているデータのタイトル編集を行った場合は、プレイリストでもデータのタイトルが変更されます。
- データBOXで、プレイリストに登録されているデータを削除した場合は、プレイリストから解除されます。
- miniSDメモリーカードで、プレイリストに登録されているデータのタイトル編集を行っても、プレイリストには反映されません。
- プレイリストに登録されているminiSDメモリーカードのデータは、miniSDメモリーカードからデータを削除した場合やminiSDメモリーカードが挿入されていない場合、タイトルがグレーで表示され、再生されません。
- プレイリストに登録されているminiSDメモリーカードのデータは、miniSDメモリーカードに登録時のデータと同じファイル名のデータが存在すれば、登録データと異なるデータでも再生される場合があります。ファイル名について→P296

ミュージックプレイヤーで再生する

- TASKを押して別の機能を起動した場合も、BGMとして再生することができます。
- 再生中に次の状態になった場合、ミュージックプレイヤーは停止し、各機能が終了した後に停止したデータの先頭から再生します。
  - 音声電話／テレビ電話着信、64Kデータ通信発着信、パケット通信発信
  - メール／SMS／メッセージR/F受信（受信通知優先時）※
  - 定期現在地通知、位置提供
  - アラーム鳴動（スケジュール／ToDoアラームを含む）

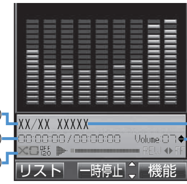
  ※ 大容量添付メール受信時は、再生を再開しません。
- ミュージックプレイヤーで再生中に、別機能で動画・ｉモーション、メロディを再生しようとした場合は、ミュージックプレイヤーの再生は停止され、動画・ｉモーション、メロディの再生画面終了後に再開されます。
- ミュージックプレイヤーで再生中に、サイトに接続しFlash画像を表示すると音が途切れたり、再生が中断する場合があります。また、再度ミュージックプレイヤーを起動すると、エラーメッセージが表示される場合があります。

1 ●▶生活ツール▶9を押す

プレイリスト一覧画面が表示されます。

- 前回プレイリストの再生を途中で終了した場合は、そのプレイリスト名の文字色が変わります。

2 プレイリストを選択し、●を押す

①②③④⑤


プレイリスト再生画面

① **曲数**
- 「登録番号／総曲数」で表示されます。

② **タイトル**

③ **再生時間**
- 「再生経過時間／総再生時間」とバーで表示されます。

④ **再生音量**

⑤ **設定状況**
- ランダム再生アイコン：ランダム再生
- リピートアイコン：リピート再生
- OFF 120：オフタイマー※

※ アイコンは120分に設定時の例です。OFFに設定時はアイコンは表示されません。

- 再生中は次の操作ができます。
  - ●：一時停止／再開
  - 上下：音量調節（16段階で調節可能）※1
  - 右：早送り※2
  - 左：巻戻し※2
  - 側面キー：前／次のデータを再生
  - CLR：停止

  ※1 一時停止中でも操作できます。

  ※2 音声のみの動画・ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）再生時に操作できます。
- ✉［リスト］を押すと、プレイリストの登録データが表示されます。データを選択し、●を押すと、選択したデータから順に再生されます。再生中のデータは文字色が変わります。
- FOMA端末を折りたたんでいるときに音量を調節するときは、側面キーの上や下を1秒以上押します。背面ディスプレイに音量が表示されます。

再生時の設定をする

リピート再生、ランダム再生、オフタイマーなどの設定ができます。

1 プレイリスト再生画面でi［機能］を押す

2 項目を設定する

■ リピート再生するとき

プレイリスト内のデータを繰り返し再生することができます。

① 1「リピート再生ON」を押す
- リピート再生しないときは1「リピート再生OFF」を押します。

次ページへつづく

■ランダム再生するとき

プレイリスト内のデータをランダムに再生することができます。

①[2]「ランダム再生ON」を押す
- ランダム再生しないときは[2]「ランダム再生OFF」を押します。

■オフタイマーを設定するとき

設定した時間が経過すると、ミュージックプレイヤーを終了します。
- 再生を開始したときにオフタイマーのカウントを開始します。
- 再生中にオフタイマーを設定し直した場合や、[CLR]を押して再生を停止させた場合などは、オフタイマーのカウントがリセットされます。

①[3]「オフタイマー」を押す
②[1]～[4]を押す
- オフタイマーを解除するときは、[5]「OFF」を押します。

■データの詳細情報を確認するとき

①[4]「情報表示」を押す
- 表示項目について→P296

パソコンで作成したｉモーション（音楽データ含む）をFOMA端末で再生する

インターネットで購入した楽曲やCDの楽曲などをパソコンなどを利用してminiSDメモリーカードに保存し、FOMA端末で再生することができます。（一部条件下では再生できない場合があります。）

- miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
- miniSDメモリーカード内に保存した楽曲は、個人使用の範囲内でのみ使用することができます。
- ご利用に当たっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。
- miniSDメモリーカード内に保存した楽曲は、パソコンなど他の媒体に複製または移し替えをしないでください。
- miniSDメモリーカードについて→P287

1 お客様が購入したCDの楽曲などをAAC形式に変換できる市販のソフトウェアなどを利用して変換し、パソコンに保存する
- ソフトウェアの使用方法など詳細については、ソフトウェア提供各社のホームページなどでご確認ください。

2 miniSDメモリーカードをパソコンに挿入し、楽曲ファイルをコピーする

■具体的な手順

①手順1で作成したファイルの名前を「MOLxxx.3gp」に変更する（「xxx」は001～FFFまでの16進数）
②miniSDメモリーカード内の「SD_VIDEO」フォルダ配下の「PRLxxx」フォルダにコピーする
- ファイル名を変更する際は、パソコン上の設定で拡張子を表示させた後に行ってください。
- 「SD_VIDEO」フォルダがminiSDメモリーカード内にない場合は、パソコン上で「SD_VIDEO」フォルダを作成し、さらにその配下に「PRLxxx」フォルダを作成した後、手順①で作成したファイルを「PRLxxx」フォルダにコピーしてください。
- miniSDメモリーカードのフォルダ構成について→P289

3 miniSDメモリーカードをFOMA端末に挿入する

4 [●]▶[データBOX]▶[✉][miniSD]▶[3]「ｉモーション」▶「PRLxxx」▶楽曲を選択し、ｉモーション（音楽データ含む）を再生する
- ｉモーション（音楽データ）は、ミュージックプレイヤーで再生することもできます。
- 以下の場合は再生が停止します。
  - 音声電話／テレビ電話の着信があったとき
  - 受信優先設定を「受信通知優先」に設定しているときに、メールを受信したとき
  - 各種アラームが動作したとき
  - タスクキーを押したとき
- 繰り返して音楽を聞くときは、再生中に[i][機能]▶[7]「繰り返し再生ON」を押します。

お知らせ

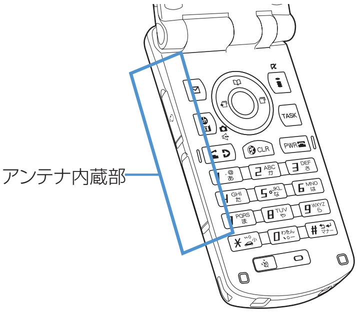
- ご使用になる市販のソフトウェアによっては、楽曲ファイルをFOMA端末で再生できない場合があります。
- FOMA端末では、著作権保護技術で保護された音楽データは再生できません。
- miniSDメモリーカードを取付けたFOMA端末をパソコンに接続し、楽曲ファイルをコピーすることもできます。→P292

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

FMラジオをご利用になる前に

FOMA端末で、FMラジオ放送とテレビ放送（1ch～3ch）の音声を聴くことができます。また、放送内容を録音することもできます。

- FMラジオの電波状態の悪い場所や電子機器の近くで使用するなど、使用状況によって雑音が入ることや聴き取りにくいことがあります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- FMラジオのアンテナは、FOMA端末のイヤホンマイク端子や外部接続端子の付近に内蔵されています。FMラジオを聴くときは、FMラジオのアンテナ内蔵部を手などでおおわないでください。



- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。

FMラジオをクリアに聴くには

鉄筋の建物や山の陰、電車内などFMラジオの電波の弱いところでは、はっきり聴こえない場合があります。そのような場合は、次のことをお試しください。

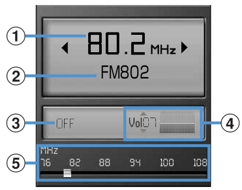
- 内蔵アンテナ部分を手などでおおっていないか確認してください。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を取付け、イヤホンコードを伸ばして聴こえる方向を探してみてください。FMラジオのアンテナはFOMA端末に内蔵されていますが、イヤホンマイクを接続するとイヤホンマイクがアンテナの役割をします。スピーカーで聴くときでもイヤホンマイクを取付け、いっぱいに伸ばして一番よく聴こえる方向を探してみてください。
- FMラジオの電波は外から入ってきますので、できるだけ窓のそばなどで聴くようにしてください。

FMラジオを聴く

- [TASK]を押して別の機能を起動した場合も、FMラジオをBGMとして聴くことができます。
- FMラジオ起動中に以下のような状態になった場合は、FMラジオはミュートになり、各機能終了後、元の音量に戻ります。
  - 音声／テレビ電話発着信中、通話中
  - 64Kデータ着信中
  - カメラ起動中
  - ｉアプリ起動中
  - 動画・ｉモーション（映像のみのデータも含む）、メロディ再生中
  - ｉモードメール表示時のメロディ再生中
  - 伝言メモ、通話中音声メモの録音／再生中
  - ナビゲーションで音声ガイダンス中
  - アラームの鳴動中

FMラジオを起動する

1 **[●]▶[FMラジオ]を押す**



FMラジオ画面

①周波数
②放送局名
③オフタイマー
- オフタイマーを設定している場合に表示されます。残り時間が3分以下になると残分が表示されます。→P312

④音量
⑤周波数のアナログ表示

- 初めて起動したときはエリアを選択します。
以降の操作：→P311「利用するエリアを選択する」手順2
- FMラジオを終了するときは、[CLR]または[PWR]▶[1]「はい」を押します。

音量を調節する

- LEVEL0（ミュート）～LEVEL15の16段階で調節できます。

1 **FMラジオ画面で[◎]を押す**

- サイドボタン設定を「リスト+ボリューム」にしているときは、[▲]や[▼]を1秒以上押しても音量を調節できます。→P312

チューニング（調整）を行う

1 FMラジオ画面で[十字キー]を押す

- 0.1MHz単位でチューニングできます。
- サイドボタン設定を「チューニング」にしているときは、[▲]や[▼]を押してもチューニングできます。→P312

■ 自動でチューニングするとき

①FMラジオ画面で[十字キー]を１秒以上押す

自動的に一番近い視聴可能な周波数の放送局を受信します。

- [メール]［停止］を押すとチューニングを停止します。
- [CLR]を押すとチューニングを中止し、元の放送局に戻ります。
- 受信可能な放送局が見つからないときは、1周するとチューニングを停止します。
- サイドボタン設定を「チューニング」にしているときは、[▲]や[▼]を1秒以上押しても自動でチューニングできます。→P312

■ 周波数を入力してチューニングするとき

①FMラジオ画面で[i]［機能］▶[1]「ダイレクトチューニング」を押す

②周波数を入力し、[●]を押す

放送局リストから選択する

- 登録されている放送局リストは、選択したエリアによって異なります。→P373

1 FMラジオ画面で[メール]［リスト］を押す



放送局リスト画面（大阪エリア選択時）

- サイドボタン設定を「リスト+ボリューム」にしているときは、[▲]や[▼]を押して前後の放送局を選択できます。→P312

■ ワンタッチでチューニングするとき

①FMラジオ画面でダイヤルボタンを押す

ダイヤルボタンに該当する放送局にチューニングします。

2 放送局を選択し、[●]を押す

- [メール]を押すと、TV音声とFM放送を切り替えられます。

放送局リストを編集する

- テレビ音声のリストは編集できません。
- 周波数は76.0～108.0MHzで入力できます。

エリア別に登録されている放送局リストを編集する

1 放送局リスト画面で放送局を選択し、[i]［編集］を押す

2 周波数を入力し、[●]を押す

- [メール]［リセット］を押すと、お買い上げ時に戻ります。

お気に入り放送局リストを編集する

- 1つのリストにつき、放送局は最大9件まで登録できます。
- お気に入り放送局リストを編集するには、事前にエリア選択で「お気に入り1」、「お気に入り2」を選択します。→P311

1 放送局リスト画面で「未登録」を選択し、[i]［編集］を押す

■ 放送局を削除するとき

①放送局を選択し、[メール]［削除］を押す

②[1]「はい」を押す

- 中止するときは、[2]「いいえ」を押します。

2 [2]「直接入力」を押す

■ エリア別に登録されている放送局リストからコピーするとき

①[1]「エリアコピー」を押す

②地域を選択し、[●]▶都道府県を選択し、[●]を押す

- エリアコピーを行うと、リストがすべてコピーしたエリアのものに入れ替わります。

③[1]「はい」を押す

- エリア選択をやり直すときは、[2]「いいえ」を押します。
- コピーした内容を編集するときは、[i]［編集］▶[2]「直接入力」を押し、手順3へ進みます。

3 周波数を入力し、[●]を押す

4 放送局名を入力し、[●]を押す

- 全角7文字（半角14文字）まで入力できます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

FMラジオを録音する

FMラジオの音声を、データBOXまたはminiSDメモリーカードに録音して保存できます。

- miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります→P287
- miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
- FMラジオの録音はモノラルです。
- 録音したFMラジオを再生した場合、音質が変化することがあります。
- 録音中に音声電話、テレビ電話などの着信やアラームの鳴動などがあった場合、オフタイマーで設定した時間が経過した場合は、録音は停止され、それまでのデータが保存されます。
- 録音中はマルチタスクは使えません。
- 録音中に音量を調節しても、保存データには影響しません。
- 保存先をminiSDメモリーカードに設定しているときに、空き容量が約100Kバイト未満または最大保存件数を超える場合は、保存先はデータBOXに変更されます。
- 保存先をデータBOXに設定しているときに、空き容量が約100Kバイト未満または最大保存件数を超える場合は、録音できません。

録音できる時間や保存形式について

■ 録音可能な時間

FOMA端末　　　　　：1ファイルにつき約85分
miniSDメモリーカード：1ファイルにつき約120分

- 長時間録音する場合は、電池残量にご注意ください。充電しながら録音することをおすすめします。
- 保存先の空き容量によって、録音可能時間が異なる場合があります。

■ 保存先

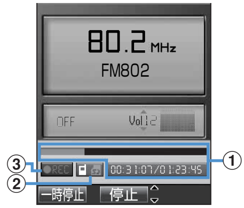
- 「データBOX」→「ｉモーション」→「ラジオメモ」または「miniSD」→「ｉモーション」内のフォルダに保存されます。
- お買い上げ時はデータBOXに保存されます。保存先は変更できます。

■ 保存形式

ファイル形式：MP4
符号化方式　：AMR
拡張子　　　：.3gp

- 録音した日時と周波数が自動的にファイル名／タイトルとして保存されます。2006年9月20日10：30にxxxMHzのFMラジオを録音した場合、「06-09-20_10-30_xxxx」になります。
- ファイル名／タイトルは保存後に変更できます。→P295

1 FMラジオ画面で◉を押す



FMラジオ録音画面

①録音時間
- 「録音済時間／録音可能時間」とバーで表示されます。

②保存先
- [データBOXアイコン]：データBOXに保存
- [miniSDアイコン]：miniSDメモリーカードに保存

③状態

2 ◉を押す

録音が終了し、自動保存されます。
- 録音可能な時間を超えると、録音は自動的に終了し、保存されます。

<保存先設定>

録音の保存先を設定する

1 FMラジオ画面でi［機能］▶3「保存先設定」を押す

2 1「データBOX」または2「miniSD」を押す

FMラジオの設定を行う

- 設定内容はFMラジオを終了しても保持されます。

<エリア選択>

利用するエリアを選択する

1 FMラジオ画面でi［機能］▶2「エリア選択」を押す

2 地域を選択し、◉▶都道府県を選択し、◉を押す

- 「お気に入り1」、「お気に入り2」には、お好きな放送局をリストに登録できます。→P310

＜音声出力設定＞

音声の出力先を設定する

• スピーカーからは設定にかかわらずモノラル出力されます。

1 **FMラジオ画面でi［機能］▶4「音声出力設定」を押す**

2 **音声出力先を設定する**

■ステレオ／モノラルを設定するとき
①1「ステレオ/モノラル設定」を押す
②1「ステレオ（オート)」または2「モノラル」を押す

■出力先を設定するとき
①2「出力先設定」を押す
②1「スピーカー」または2「イヤホン」を押す

3 **i［完了］を押す**

＜サイドボタン設定＞

サイドボタンでの操作を設定する

1 **FMラジオ画面でi［機能］▶5「サイドボタン設定」を押す**

2 **1「リスト+ボリューム」または2「チューニング」を押す**

＜スキン設定＞

FMラジオ画面のスキンを設定する

FMラジオ画面のデザイン（スキン）を変更します。

1 **FMラジオ画面でi［機能］▶6「スキン設定」を押す**

2 **1～3を押す**

• i［確認］を押すと、スキンを表示して確認できます。

＜オフタイマー＞

自動的にFMラジオを終了する

設定した時間が経過すると、FMラジオを終了します。

1 **FMラジオ画面でi［機能］▶7「オフタイマー」を押す**

2 **1～4を押す**

• オフタイマーを解除するときは、5「OFF」を押します。

その他の便利な機能

マルチアクセスについて .... <マルチアクセス> 314
マルチタスクについて .... <マルチタスク> 315
自動的に電源をON／OFFにする .... <オートパワー ON／OFF> 316
指定した時刻にアラームで知らせる .... <アラーム> 316
カレンダーを表示する .... <カレンダー> 319
スケジュールを登録する 321
ToDoを登録する 323
よく使う機能を登録する .... <ジャンプメニュー> 326
自分の名前やメールアドレスなどを登録する .... <プロフィール> 326
通話中に相手の声を録音する .... <通話中音声メモ> 327
通話時間／料金を確認する .... <時間／料金> 328
通話時間の表示を設定する .... <通話時間表示> 328
通話料金の上限を設定して知らせる .... <通話上限値設定> 329
電卓として使う .... <電卓> 329
メモを入力する .... <テキストメモ> 330
イヤホンをつないで自動で電話をかける .... <イヤホン自動発信> 331
イヤホンをつないで自動で電話を受ける .... <オート着信> 331
各種機能の設定状況を確認する .... <設定状況確認> 332
各種機能の設定を初期状態に戻す .... <設定リセット> 332
登録データを一括して削除する .... <データ一括削除> 334
英単語辞書を使う .... <英単語辞書> 335
現在の時刻や着信などがあったことを音声でお知らせする ... <ボイス通知> 335
コンパスを使って方角を確認する .... <簡易コンパス> 336

マルチアクセス

マルチアクセスについて

音声電話・パケット通信・SMSの3つの機能を同時に使用できます。

- タスクバーには、動作中の機能のアイコンが表示されます。
- マルチアクセス機能により、次の3つの通信を同時に使用できます。

- 音声電話	：1通信
- iモード、iアプリ、iモードメール、パソコンなどをつないだパケット通信	：いずれか1通信
- SMS	：1通信

- 使用できる機能の組み合わせについて→P375

通信中にiモードメールや音声電話を受ける

<例>通話中にiモードメールを受信するとき

1 iモードメールを受信する



[アイコン]と[アイコン]が点滅し、受信が完了すると[アイコン]が点滅、[アイコン]が点灯します。着信音は鳴りません。

- 受信したiモードメールを確認する場合は[TASK]を押し、[アイコン]「ﾒｰﾙ･ﾒｯｾｰｼﾞ通信」を選択し、[●]を押します。

<例>iモード接続・パケット通信中に音声電話を受けるとき

iモード接続中でも、通信を終了することなく音声電話を受けます。パソコンとつないだパケット通信中も同様です。

1 iモード接続中・パケット通信中に電話がかかってくる

2 [通話]を押す

通話できます。

- 通話中画面とサイト画面を切り替えて操作できます。→P315
- サイト表示を終了するにはサイトの画面で[PWR]▶[1]「はい」を押します。
- 通話を終了するには通話中の画面で[PWR]を押します。

通信中に他の通信を使うとき

接続中の通信を中断せずに、別の通信を同時に行えます。

<例>音声電話通話中にiモードに接続するとき

1 通話中に[TASK]を押す

2 「新規」を選択し、[●]▶[2]「iモード」を押す

iモードメニューが表示されます。項目を選択し、[●]を押します。

- 通話中画面とサイト画面を切り替えて操作できます。→P315
- サイト表示を終了するにはサイトの画面で[PWR]▶[1]「はい」を押します。
- 通話を終了するには通話中の画面で[PWR]を押します。

<例>音声電話通話中にiモードメールを送信するとき

1 通話中に[TASK]を押す

2 「新規」を選択し、[●]▶[1]「メール」を押す

3 [4]「メール新規作成」を押す

4 iモードメールを作成し、送信する

iモードメールを送信すると通話中の画面に戻ります。

<例>iモード接続中に音声電話をかけるとき

1 iモード接続中に[TASK]を押す

2 「新規」を選択し、[●]▶[アイコン]「ダイヤル入力」を選択し、[●]を押す

3 電話番号を入力し、[通話]を押す

電話番号入力画面では、電話帳・履歴なども通常と同じ操作で使えます。→P54

- 通話を終了するとiモードのサイト画面に戻ります。
- 通話中画面とサイト画面を切り替えて操作できます。→P315
- サイト表示を終了するにはサイトの画面で[PWR]▶[1]「はい」を押します。
- 通話を終了するには通話中の画面で[PWR]を押します。

お知らせ

- マルチアクセス中はそれぞれの通信について通信料金がかかります。
- テレビ電話通話中、64Kデータ通信中は、キャッチホンをお申し込みいただいている場合、通信を切断して音声着信を受けられます。また、SMSを受信できます。この場合、着信音などは鳴動せず、アイコンまたは受信画面でお知らせします。
- 64Kデータ通信中はSMSの送信もできます。

マルチタスク

マルチタスクについて

複数の機能を同時に起動させて、画面を切り替えながら操作できます。

- 同時に起動できる機能について→P376
- タスクバーには、動作中の機能のアイコンが表示されます。
- 同時に起動できる機能は2つまでです。ただし、2つの機能を実行中に着信やアラームなどがあった場合は、2つの機能を終了させることなくその機能は実行されます。
- テレビ電話通話中はプロフィール表示、GPS測位のみできます。

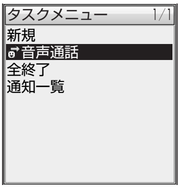
新しい機能を実行する

通話中、通信中、操作中に別の機能を実行できます。

- 機能によっては同時に実行できない場合や制限のある場合があります。

<例>通話中に電話帳を確認するとき

1 通話中に[TASK]を押す



2 「新規」を選択し、●を押す

3 [5]「プライベート」▶[1]「電話帳」を押す

電話帳検索画面が表示されます。

4 電話帳を選択し、●を押す

- 電話帳の検索方法について→P103
- 電話帳と通話中の画面を切り替えて操作できます。
- 電話帳を終了する場合は、電話帳の画面で[PWR]を押します。
- 電話を切る場合は、通話中の画面で[PWR]を押します。

お知らせ

●マルチタスクで利用できる機能は、実行中の機能やロック設定の状況などによって、制限される場合があります。また、赤外線送受信中、ソフトウェア更新中などは、マルチタスクによる操作はできません。
●実行中に機能を切り替えた場合、機能によっては表示などの動作に遅れが発生することがあります。
●プロフィールや電話帳などに動画・iモーションを登録している場合、音声電話通話中、テレビ電話通話中は[アイコン]が表示されます。

操作する機能を切り替える

1 機能実行中に[TASK]を押す

実行中の機能が一覧で表示されます。

2 項目を選択し、●を押す

タスクメニューに表示される機能

- タスクメニューの機能名は、メニューの機能名などと異なる場合があります。

機能名	対応する機能・画面
ダイヤル入力	電話番号を入力して、音声電話発信、テレビ電話発信など
メール	受信BOX・送信BOX・未送信BOXの表示、メール／SMS新規作成など
iモード	iMenu、Bookmark、Internet、画面メモなど
iアプリ	iアプリ
データBOX	データBOX表示
プライベート	電話帳、カレンダー、リダイヤル、着信履歴など
生活ツール	カメラ、アラーム、ミュージックプレイヤー、GPSなど
FMラジオ	FMラジオを起動、終了
チャネル一覧	チャネル一覧を表示
マナーモード	マナーモードの設定、解除
直デン	直デンを表示
プロフィール	プロフィールを表示
切替	起動中の機能を切り替え
通知一覧	アラームなどの通知があった場合、通知内容を一覧表示

お知らせ

●2つ以上の機能を実行中は通知一覧の確認はできません。

実行中のすべての機能を終了する

- 音声通話、アラーム（スヌーズ）、SMS送受信中、またはUSB通信などのタスク切り替え対象外の機能は、「全終了」を選択しても終了しません。
- テレビ電話通話中は「全終了」を選択できません。

1 機能実行中に[TASK]を押す

2 「全終了」を選択し、●を押す

3 [1]「はい」を押す

- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

オートパワー ON／OFF

自動的に電源をON／OFFにする

お買い上げ時	オートパワー ON　：OFF オートパワー OFF：OFF

FOMA端末の電源を指定した時刻に自動的に入れたり切ったりします。

- 「オートパワー ON」と「オートパワー OFF」は同時刻に設定できません。

1 ●▶設定▶7を押す

2 3「オートパワー ON」または4「オートパワー OFF」を押す

3 1「ON」を押す

- 解除するときは2「OFF」を押します。操作はここで終了です。

4 設定時刻を入力し、●を押す

お知らせ

●アラーム起動設定（→P319）を「ON」、アラームを「ON」に設定している場合は、オートパワー ONの設定にかかわらず、アラーム起動時刻に自動的に電源が入ります。

●PIN1コード入力設定を「ON」にしている場合は、オートパワー ONで電源が入った後、PIN1コード入力画面が表示されます。PIN1コードを入力後に待受画面が表示されます。

●オートパワー OFFとアラームやスケジュールアラームなどを同時刻に設定すると、アラームやスケジュールアラームなどに設定した動作が行われた後に電源が切れます。アラームにスヌーズモードを設定している場合は、スヌーズ動作を解除した後に電源が切れます。

●通話中、メール送受信中、iモードなど通信中にオートパワー OFFを設定した時刻になった場合は、それぞれの通信を終了し、待受画面に戻った時点で電源が切れます。

●待受中以外のときにオートパワー OFFを設定した時刻になっても、動作中のそれぞれの機能を終了させるまで電源は切れません。

●病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止されている場所では、電源を切るだけでなくオートパワー ONの設定も解除してください。

アラーム

指定した時刻にアラームで知らせる

お買い上げ時	すべてOFF

指定した時刻に音や振動などでお知らせします。繰り返しや通知方法を設定できます。

- 8件まで登録できます。

アラームを設定する

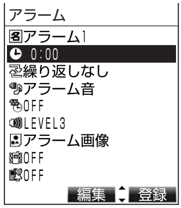
1 ●▶生活ツール▶6を押す

2 1～8を押す

アラームを選択します。

- 「ON」に設定されているアラームには、🔔が表示されます。

3 1「ON」を押す



- 解除するときは2「OFF」を押します。操作はここで終了です。

4 項目を設定する

■アラーム名を設定するとき

①名を選択し、●を押す
②アラーム名を入力し、●を押す

- 全角6文字（半角12文字）まで入力できます。

■アラーム時刻を設定するとき

①時計アイコンを選択し、●を押す
②時刻を入力し、●を押す

■繰り返しを設定するとき

①繰り返しアイコンを選択し、●を押す
②1～6を押す

毎日	毎日通知します。
月～金	月曜日～金曜日に通知します。
月～土	月曜日～土曜日に通知します。
休日以外	カレンダーで休日に設定した日以外の日に通知します。
曜日指定	通知する曜日を指定できます。 ①曜日を選択し、●を押す • 解除するときは●を押します。 ② i［完了］を押す
繰り返しなし	1回だけ通知します。

■ アラーム音を設定するとき

①を選択し、●を押す
②項目を選択し、●を押す

ｉモーション	動画・ｉモーションで通知します。 ①フォルダからデータを選択し、●を押す
メロディ	音やメロディで通知します。 ①フォルダからデータを選択し、●を押す
時刻+ｉモーション	時刻を音声で読み上げた後、動画・ｉモーションで通知します。 ①フォルダからデータを選択し、●を押す
時刻+メロディ	時刻を音声で読み上げた後、音やメロディで通知します。 ①フォルダからデータを選択し、●を押す
OFF	アラーム音を鳴らしません。

- 時刻を読み上げる設定にすると、「＋データのタイトル」で表示されます。

■ アラーム音にFMラジオを設定するとき

①を選択し、●を押す
②【3】「FMラジオ」または【6】「時刻+FMラジオ」を押す

FMラジオ	固定のアラーム音が鳴った後、FMラジオで通知します。
時刻+FMラジオ	時刻を音声で読み上げ、固定のアラーム音が鳴った後、FMラジオで通知します。

- 確認画面が表示されます。

③チューニングを行い、●を押す
- で0.1MHzずつ、を1秒以上押して自動的にチューニングできます。
- 【i】［ダイレクト］を押すと、周波数を直接入力できます。
- 【✉】［リスト］を押すと、放送局リストから選択できます。
- で音量を調節できます。アラーム鳴動時は（アラーム音量）の設定に従います。
- スヌーズモードを設定しているときは、確認画面が表示されます。
- 時刻を読み上げる設定にすると、「＋周波数」で表示されます。

■ スヌーズモードを設定するとき

- アラーム音にFMラジオを設定しているときは設定できません。

①を選択し、●を押す
②【1】～【3】を押す

ON 音固定	固定のアラーム音を繰り返して通知します。 ①スヌーズ時間を入力し、●を押す • 1～15分の間隔で設定できます。
ON 音選択	1～6回目までそれぞれに設定したアラーム音で通知します。 ①スヌーズ音を選択し、●を押す ②【1】「ｉモーション」または【2】「メロディ」を押す • スヌーズ音を鳴らさないときは【3】「OFF」を押します。 ③フォルダからデータを選択し、●を押す • 手順①～③を繰り返して各スヌーズ音を設定します。 ④【i】［確定］を押す ⑤スヌーズ時間を入力し、●を押す • 1～15分の間隔で設定できます。
OFF	スヌーズ通知しません。

■ アラーム音量を調節するとき

①を選択し、●を押す
②で音量を設定し、●を押す
- 【✉】［STEP↓］または【i】［STEP↑］を押しても、ステップダウン（だんだん小さく）、ステップアップ（だんだん大きく）を設定できます。

■ アラーム通知画像を設定するとき

①を選択し、●を押す
②【1】～【3】を押す

マイピクチャ	静止画を表示します。 ①フォルダからデータを選択し、●を押す • 画像の設定について→P125
ｉモーション	動画・ｉモーションを表示します。 ①フォルダからデータを選択し、●を押す • 映像のみの動画・ｉモーションを設定できます。
OFF	アラーム通知画像を設定しません。

■ バイブレータを設定するとき

①を選択し、●を押す
②【1】～【7】を押す
- 【1】「メロディ連動」は設定したメロディに合わせてバイブレータが動作します。
- 設定しないときは【8】「OFF」を押します。
- 振動を確認するときは【✉】［確認］▶●を押します。

③【1】～【3】を押す
- 振動を確認するときは【✉】［確認］▶●を押します。

次ページへつづく

■アラーム／マナーモードの優先を設定するとき

① 📱を選択し、●を押す
② 1「ON」または2「OFF」を押す

ON	マナーモード中もアラームの設定に従って通知します。
OFF	マナーモード中はマナーの設定に従って通知します。

5 i［登録］を押す

待受画面に🔔が表示されます。

お知らせ

●iモーションの種類によってはアラーム音やアラーム通知画像に設定できない場合があります。
●タイトルが長い画像・iモーションなどを設定すると、アラーム設定画面では最大全角10文字（半角21文字）まで表示されます。
●アラーム音に映像と音声が含まれるiモーションを設定すると、アラーム通知画像が同じiモーションに変更されることを確認するメッセージが表示されます。アラーム音またはアラーム通知画像を変更すると、もう一方がお買い上げ時に戻ることを確認するメッセージが表示されます。

アラームをお買い上げ時の状態に戻す

1 ●▶生活ツール▶6を押す

2 アラームを選択し、i［機能］▶2「リセット」を押す

3 1「1件リセット」を押す

- 2「全件リセット」を押したときは、端末暗証番号を入力し、●を押します。

4 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

指定した時刻になると

- 設定した時刻になると、設定した動作でアラームが鳴動します。
- アラーム鳴動中に、いずれかのボタンを押すとアラームは止まります。ただし、FMラジオ鳴動中は✣を押しても止まりません。
- 何も操作をしない場合、アラームは約1分後に止まります。アラーム音にFMラジオを設定しているときは、約1時間後に止まります。この場合、待受画面にお知らせアイコンが表示されます。
- FMラジオが鳴動中は、✣を押して音量調節ができます。
- スヌーズモードを設定しているときは、設定した間隔でアラームが繰り返し鳴動します。スヌーズを解除するには、CLR（FOMA端末を折りたたんでいるときは⬚）を1秒以上押してください。スヌーズは6回繰り返すと解除されます。
- 設定した時刻に通話などを行っていた場合は、アラームは次のように動作します。
  - **通話中、メール送受信中**
    通話／送受信終了後、アラームが鳴動します。
  - **電源を切っているとき**
    アラーム起動設定を「OFF」にしている場合は、アラームは鳴動しません。電源を入れたときに待受画面にお知らせアイコンが表示されます。
  - **静止画／動画撮影中、iモード接続中、iアプリ起動中、FMラジオ起動中、ミュージックプレイヤー再生中、通話中音声メモ／伝言メモ再生中、応答メッセージ録音中、テキストメモなど文字編集中**
    アラームが鳴動します。スヌーズモードを設定している場合はスヌーズ解除後に各動作に戻ります。
  - **GPS測位中**
    測位が終了してからアラームが鳴動します。
  - **PIMロック（アラーム）中、オールロック中、ソフトウェア更新中**
    アラームは鳴動しません。ロック解除後、ソフトウェア更新終了後にお知らせアイコンが表示されます。

アラームの優先順位について

アラーム、スケジュールアラームなど、複数のアラームが同時刻に設定されている場合の優先順位は次のとおりです。

①定期現在地通知
　1～2の登録順ですべて通知
②アラーム（スヌーズが設定されている場合はスヌーズモード解除まで）
　1～8の登録順ですべて鳴動
③ToDoアラーム
　期限日時が早いもの1件を鳴動
④スケジュールアラーム
　開始日時が早いもの1件を鳴動

- アラーム、スケジュールアラーム、ToDoアラーム鳴動中に定期現在地通知の時刻になった場合は、それぞれのアラームは解除され、定期現在地通知を行います。
- ToDoアラームの期限日時が同じ場合は、ToDoの保存日時が新しいもの1件が鳴動します。
- スケジュールアラームの開始日時が同じ場合は、終了日時の早いもの、終了日時も同じ場合はスケジュールの保存日時が新しいもの1件が鳴動します。

お知らせ

●アラーム鳴動中に音声着信、メール受信があった場合は、アラームが停止します。ただし、メール設定の受信優先設定で「ユーザー操作優先」にしている場合は、アラームは鳴動し続け、メール受信はアイコンで表示されます。

電源を切っていてもアラームが鳴るように設定する

お買い上げ時	OFF

1 ⦿▶[生活ツール]▶[6]を押す

2 [i]［機能］▶[1]「アラーム起動設定：OFF」を押す

- 電源を切っているときにアラームを鳴らす設定にしているときは、「アラーム起動設定：ON」と表示されます。

3 [1]「はい」を押す

- 電源を切っているときにアラームを鳴らさないときは[2]「いいえ」を押します。

お知らせ

●PIN1コード入力設定を「ON」にしている場合は、アラーム設定で指定した時刻に電源が入り、アラームを停止した後（スヌーズを解除した後）、PIN1コード入力画面が表示されます。PIN1コードを入力後、待受画面が表示されます。
●電源を切っている状態からアラームを鳴らす場合、PIN1コード入力設定が「ON」でｉモード（メール添付含む）より取得したデータをアラーム音やアラーム通知画像に設定しているときは、それぞれはお買い上げ時の設定で鳴動します。また、PIN1コード入力設定の設定にかかわらずFOMAカード動作制限機能が設定されたデータをアラーム音やアラーム通知画像に設定している場合でも、それぞれはお買い上げ時の設定で鳴動します。
●病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止されている場所では、電源を切るだけでなくアラーム起動設定も「OFF」に設定してください。

カレンダー

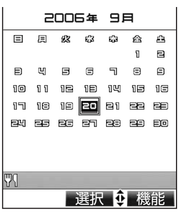
カレンダーを表示する

月間表示と１日表示でスケジュールの確認ができます。また、休日を設定してオリジナルのカレンダーとして使用できます。

1 ⦿▶[プライベート]▶[2]を押す

カレンダーが月間表示されます。

- シースルー表示を「ON」に設定しているときは、確認画面が表示されます。



月間表示画面

■ 新規登録をするとき

①[i]［機能］▶[1]「新規登録」を押す
②[1]〜[5]を押す

スケジュール	スケジュールを登録します。 • 以降の操作：→P321「スケジュールを登録する」手順3〜5
ToDo	ToDoを登録します。 • 以降の操作：→P323「ToDoを登録する」手順3〜5
マイピクチャ	静止画を選択して登録します。 ①フォルダからデータを選択し、⦿を押す
ｉモーション	動画・ｉモーションを選択して登録します。 ①フォルダからデータを選択し、⦿を押す
メロディ	メロディを選択して登録します。 ①フォルダからデータを選択し、⦿を押す

- 一日表示画面からでも同じ操作で新規登録できます。
- カレンダーに登録できる静止画、動画・ｉモーション、メロディは、合わせて300件までです。１つのデータを複数の日に登録できません。
- フレーム、スタンプ、再生期限付きのｉモーション、お買い上げ時に登録されているデータなどはカレンダーに登録できません。
- 2005年１月１日から2020年12月31日までの日に登録できます。登録がある日には、月間表示の日付に下線が付きます。

■ 日付移動するとき

①[i]［機能］▶[4]「日付移動」を押す
②日付を入力し、⦿を押す

- 一日表示画面からも[i]［機能］▶[7]「日付移動」を押して日付移動ができます。

■ 休日を設定するとき

①[i]［機能］▶[5]「休日設定」を押す
②[1]〜[3]を押す

当日のみ	選択した日のみ休日に設定します。
毎週	選択した日と同じ曜日を休日に設定します。
期間設定	指定した期間を休日に設定します。 ①開始日を入力し、⦿▶終了日を入力し、⦿を押す

- 一日表示画面からも[i]［機能］▶⦿▶[1]「休日設定」を押して当日を休日に設定できます。
- 2005年1月1日から2020年12月31日までの日に設定できます。

次ページへつづく

■ 休日を解除するとき

①i［機能］▶6「休日解除」を押す
②1〜4を押す

当日のみ	選択した日のみ休日を解除します。
毎週	選択した日と同じ曜日の休日を解除します。
期間設定	指定した期間の休日を解除します。 ①開始日を入力し、●▶終了日を入力し、●を押す
リセット	休日をお買い上げ時の設定に戻します。 ①端末暗証番号を入力し、●▶1「はい」を押す

- 一日表示画面からもi［機能］▶◎▶1「休日解除」を押して当日の休日を解除できます。

■ 背景に画像を表示するとき

①i［機能］▶7「シースルー表示」を押す
②1「ON」を押す
- シースルー表示をしないときは2「OFF」を押します。

③「カレンダー登録画像」または「カメラ撮影画像」を選択し、●を押す

カレンダー登録画像	選択した日に登録されている画像を背景に表示します。
カメラ撮影画像	選択した日にカメラ撮影した画像（静止画／動画の開始画像）を背景に表示します。カメラ撮影した画像が複数ある場合は、撮影日時が最新の画像が表示されます。

- 「カレンダー登録画像」、「カメラ撮影画像」両方を「ON」に設定できます。その場合、カレンダー登録されている画像が優先して表示されます。

④i［完了］を押す

■ 登録データを表示するとき

カレンダー月間表示画面の下部に表示される登録データの表示方法を設定します。

①i［機能］▶◎▶1「登録データ表示」を押す
②1「アイコン」または2「リスト」を押す
- カレンダー月間表示画面の下部に、登録データがアイコンまたはリストでプレビュー表示されます。

アイコン	選択した日の登録データなどをアイコンで表示します。表示の優先順位は次のとおりです。 ①プロフィールに登録された誕生日データ（ ） ②電話帳に登録された誕生日データ（ ） ③ToDo（期限日時の早い順） ④スケジュール（開始日時の早い順） ⑤画像などのデータ（登録の新しい順）
リスト	選択した日の登録データなどをアイコンとリストで表示します。表示できるのは優先順位の高い2項目です。

③●を押す

■ 祝日を設定または解除するとき

- 祝日データはダウンロードしておく必要があります。祝日データについて→P293

①i［機能］▶◎▶2「祝日設定/解除」を押す
②祝日データを選択し、●を押す
- 解除するときは●を押します。

③i［実行］▶1「はい」を押す
- 中止するときは2「いいえ」を押します。

2 日付を選択し、●を押す

登録データが一覧で表示されます。



1日表示画面

- ◎で前後の日を表示できます。
- プロフィールの誕生日データを選択し、●を押すと、お祝いのメッセージが表示されます。
- 電話帳の誕生日データを選択し、●を押すと、電話帳詳細画面が表示されます。Phone To（AV Phone To）· Mail To · Web To機能を利用できます。

■ メールに添付するとき

登録している静止画、動画・ｉモーション、メロディを添付してｉモードメールを送信します。

①データを選択し、i［機能］▶4「メール添付」を押す
データが添付されたメール作成画面が表示されます。
- 以降の操作：→P209「ｉモードメールを作成して送信する」手順2〜6
- ファイルの添付について→P214

■ 登録しているスケジュールやデータを削除／登録解除するとき

①データを選択し、i［機能］▶◎▶2「削除/登録解除」を押す
②1「はい」を押す
- 中止するときは2「いいえ」を押します。

お知らせ

●カレンダーは1582年11月1日から9999年12月31日まで表示できます。
●あらかじめ2006年と2007年の祝日が設定されています。2008年以降の祝日は祝日設定で設定してください。
●祝日は「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成13年法律第59号）」に基づいています。また、春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため、異なる場合があります。（2006年5月現在）
●プロフィールや電話帳で誕生日を登録・編集すると、誕生日データはカレンダーでも自動的に登録・編集されます。

●スケジュールやToDoにダウンロードしたカテゴリアイコンを設定している場合、PIMロック（マルチメディア）中、FOMAカード動作制限機能設定中は「? 分類なし」と表示されます。

スケジュールを登録する

カレンダーにスケジュールを登録できます。スケジュールアラームを設定すると指定した日時にアラーム音や画像でお知らせします。

- 100件まで登録できます。
- 同じ日に複数のスケジュールを登録できます。

1 ●▶ プライベート ▶ 2 を押す

2 日を選択し、i［機能］▶ 1「新規登録」▶ 1「スケジュール」を押す

3 内容を入力し、●を押す



- 内容が入力されていないと登録できません。
- 全角100文字（半角200文字）まで入力できます。

4 項目を設定する

■ 開始日時を設定するとき

①　を選択し、●を押す
②開始日時を入力し、●を押す

- ✉［終日］を押すと、開始日時・終了日時を終日に設定します。
- 開始日時の時刻を0：00、終了日時を翌日の0：00に設定すると、「終日」と表示されます。

■ 終了日時を設定するとき

①　を選択し、●を押す
②終了日時を入力し、●を押す

■ 繰り返しを設定するとき

①　を選択し、●を押す
②　で繰り返す周期を選択し、●を押す

- 繰り返しを設定しないときは「なし」を選択し、手順⑥へ進みます。

③繰り返す期間を入力し、●を押す
④ 1「あり」または 2「なし」を押す

- 繰り返し例外日を設定しないときは 2「なし」を押します。スケジュール登録画面に戻ります。

⑤例外日を選択し、●を押す

- 解除するときは●を押します。
- ✉［全解除］を押すと、すべての例外日が解除されます。
- 例外日を設定すると、繰り返しの項目に　が表示されます。

⑥ i［完了］を押す

■ カテゴリ（分類）を設定するとき

① 類 を選択し、●を押す
②カテゴリアイコンを選択し、●を押す

- 設定したアイコンはカレンダーで表示されます。
- カテゴリアイコンは、お買い上げ時に登録されているデータ以外に、「どこでもSANYO」のサイトからダウンロードして設定することもできます。→P183

■ 内容を入力するとき

①　を選択し、●を押す
②内容を入力し、●を押す

■ 場所を設定するとき

①　を選択し、●を押す
②場所を入力し、●を押す

- 全角20文字（半角40文字）まで入力できます。

■ 位置情報を埋め込むとき

①　を選択し、●を押す

- 以降の操作：→P266「位置情報を埋め込む」手順3

■ アラームを設定するとき

①　を選択し、●を押す

- 以降の操作：→P316「アラームを設定する」手順3～4
- アラーム日時は開始日時より未来に設定できません。

② i［確定］を押す

■ URLを設定するとき

① URL を選択し、●を押す
②URLを入力し、●を押す

- 半角256文字まで入力できます。

■ 要約を設定するとき

①　を選択し、●を押す
②要約を入力し、●を押す

- 全角20文字（半角40文字）まで入力できます。

■ シークレット設定するとき

シークレット設定はシークレットモード中のみ行えます。→P148

①　を選択し、●を押す
② 1「ON」を押す

- 解除するときは 2「OFF」を押します。

5 i［登録］を押す
- スケジュールアラームを現在日時より未来に設定した場合は、待受画面に が表示されます。
- 開始日時が現在日時より過去に設定されている場合は、確認画面が表示されます。

お知らせ

●繰り返しを設定した後、開始日時を変更する場合は、繰り返しを解除することを確認する画面が表示されます。
●スケジュールに登録した内容は、FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合もあります。万一に備え、大切なスケジュールの内容は別にメモを取ったり、miniSDメモリーカード（→P287）を利用して保管することをおすすめします。登録してある内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用してパソコンに保管することもできます。→P378

他の機能からスケジュールを登録する

スケジュール機能に対応したｉアプリからスケジュールを新規登録できます。ｉアプリから新規登録できるスケジュールの項目は以下のとおりです。

- 開始日時　　- 繰り返し設定
- 内容※　　- アラーム設定

※ｉアプリで入力した「内容」が全角100文字（半角200文字）を超えた場合は、全角100文字（半角200文字）までが登録されます。

- スケジュール機能に対応したｉアプリをダウンロードしておく必要があります。→P241
- 登録時はｉアプリが中断し、FOMA端末のスケジュール機能になります。

スケジュールを確認／修正する

登録したスケジュールの詳細を、スケジュール一覧または１日表示画面から確認できます。またスケジュールの編集や削除ができます。

スケジュール一覧から確認する

1 月間表示画面でi［機能］▶2「スケジュール一覧」を押す



スケジュール一覧画面

登録されているすべてのスケジュールが開始日の古い順に表示されます。

- 開始日、カテゴリアイコン、要約（要約が入力されていないときは内容）、位置情報ありの場合は が表示されます。
- 終了日時の過ぎたスケジュールは文字色が変わります。

■スケジュールを新規登録するとき

①i［機能］▶1「新規登録」を押す
- 以降の操作：→P321「スケジュールを登録する」手順3～5

■位置情報を利用するとき

①スケジュールを選択し、i［機能］▶2「位置情報」を押す
- 以降の操作：→P267「埋め込んだ位置情報を利用する」手順3

■URLを利用するとき

①スケジュールを選択し、i［機能］▶3「URL」を押す
②1「サイト接続」または2「Bookmark登録」を押す

サイト接続	サイトに接続します。 ①URLを選択し、●▶i［接続］を押す ・中止するときは✉［キャンセル］を押します。
Bookmark登録	ブックマークに登録します。 ①URLを選択し、●を押す ・以降の操作：→P188「ブックマークに登録する」手順2～3

■スケジュールの登録件数を確認するとき

①i［機能］▶7「メモリ登録件数」を押す

2 スケジュールを選択し、●を押す



スケジュール詳細画面

- ◉を押すと、前後のスケジュールを表示できます。
- 内容や要約に電話番号などを登録しておくと、Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を利用できます。

■スケジュールを編集するとき

①✉［編集］を押す
- 以降の操作：→P321「スケジュールを登録する」手順4～5

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

■ 項目をコピーするとき

①[i]［機能］▶[3]「項目コピー」を押す
②項目を選択し、●を押す
- コピーしたデータは、テキストとしてメール本文や電話帳などの文字入力画面で貼り付けできます。設定内容のコピーではありません。

■ 通話中にプッシュ信号を送信するとき

- 通話中にスケジュールを表示する→P315

①電話番号を選択し、[i]［機能］▶[5]「プッシュ信号送信」を押す

1日表示画面から確認する

1 1日表示画面でスケジュールを選択し、●を押す

お知らせ

●1日表示画面からスケジュール一覧を表示するには[i]［機能］▶[5]「スケジュール一覧」を押します。

スケジュールアラームを設定していると

- アラームを設定した時刻になると、スケジュールアラームが鳴動します。
- アラームの優先順位について→P318
- アラーム鳴動中に、いずれかのボタンを押すとアラームは止まり、通知されたスケジュールを確認できます。
- アラーム鳴動中に何も操作をしない場合は、アラームは約1分後に止まり、待受画面にお知らせアイコンが表示されます。
- 設定した時刻に通話などを行っていた場合は、アラームは次のように動作します。
  - **通話中、メール送受信中**
    通話／送受信終了後、スケジュールアラームが鳴動します。
  - **電源を切っているとき**
    スケジュールアラームは鳴動しません。電源を入れたときに待受画面にお知らせアイコンが表示されます。
  - **静止画／動画撮影中、iモード接続中、iアプリ起動中、FMラジオ起動中、ミュージックプレイヤー再生中、通話中音声メモ／伝言メモ再生中、応答メッセージ録音中、テキストメモなど文字編集中**
    スケジュールアラームが鳴動します。
    - ミュージックプレイヤー再生中にアラームを止めた場合は、ミュージックプレイヤー終了後待受画面に戻ったときに、お知らせアイコンが表示されます。
  - **GPS測位中**
    測位が終了してからスケジュールアラームが鳴動します。
  - **PIMロック（カレンダー）中、オールロック中、ソフトウェア更新中**
    スケジュールアラームは鳴動しません。ロック解除後、ソフトウェア更新終了後にお知らせアイコンが表示されます。

お知らせ

●スケジュールアラーム鳴動中に音声着信、メール受信があった場合は、アラームが停止します。ただし、メール設定の受信優先設定で「ユーザー操作優先」にしている場合は、アラームは鳴動し続け、メール受信はアイコンで表示されます。
●マルチタスクで2つの機能を実行中にスケジュールアラームが鳴動した場合、アラームを止めた後、2つの機能を終了し待受画面に戻ったときに、お知らせアイコンが表示されます。
●シークレットモード中以外でも、シークレット設定されているスケジュールアラームは鳴動します。ただし確認はできません。

スケジュールを削除する

1 スケジュール一覧画面でスケジュールを選択し、[i]［機能］▶[6]「削除」を押す

2 [1]「1件削除」を押す

■ 選択削除するとき

①[2]「選択削除」を押す
②スケジュールを選択し、●を押す
- 解除するときは●を押します。

③[i]［実行］を押す

■ 全件削除するとき

①[3]「全件削除」を押す
②端末暗証番号を入力し、●を押す

3 [1]「はい」を押す
- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

お知らせ

●スケジュール詳細画面でスケジュールを削除するには、[i]［機能］▶[4]「削除」を押します。
●シークレット設定されているデータが含まれている場合は、削除するデータ（シークレットデータ、通常データ）を選択し、[i]［実行］を押します。

ToDoを登録する

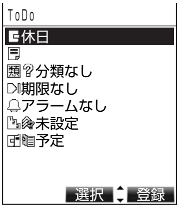
大切な用事やしなければならない予定などを登録できます。期限日時などを設定して管理できます。ToDoアラームを設定すると指定した日時にアラーム音や画像でお知らせします。
- 50件まで登録できます。
- 同じ日に複数のToDoを登録できます。

1 ●▶▶[2]を押す

2 [i]［機能］▶[1]「新規登録」▶[2]「ToDo」を押す

次ページへつづく

3 内容を入力し、●を押す



- 内容が入力されていないと登録できません。
- 全角100文字（半角200文字）まで入力できます。

4 各項目を設定する

■内容を入力するとき

①を選択し、●を押す
②内容を入力し、●を押す

■要約を設定するとき

①を選択し、●を押す
②要約を入力し、●を押す
- 全角20文字（半角40文字）まで入力できます。

■カテゴリ（分類）を設定するとき

①類を選択し、●を押す
②カテゴリアイコンを選択し、●を押す
- カテゴリアイコンは、お買い上げ時に登録されているデータ以外に、「どこでもSANYO」のサイトからダウンロードして設定することもできます。→P183

■期限日時を設定するとき

①を選択し、●を押す
②期限日時を入力し、●を押す
- 期限日時を設定しない場合は、日付時刻設定で設定している日に登録されます。

■アラームを設定するとき

①を選択し、●を押す
- 以降の操作：→P316「アラームを設定する」手順3～4
- アラーム日時は期限日時より未来に設定できません。

②[i]［確定］を押す

■優先順位を設定するとき

①を選択し、●を押す
②[1]～[3]を押す

高	優先順位の高いToDoに設定します。
低	優先順位の低いToDoに設定します。
未設定	優先順位を設定しません。

■状態を設定するとき

①を選択し、●を押す
②[1]～[8]を押す
- 8種類から選択できます。設定したアイコンはカレンダーで表示されます。
- [7]「完了」を押したときは、完了日時を入力し、●を押します。

■完了日時を入力するとき

- 状態が「予定」のときは、完了日時の項目は表示されません。

①完を選択し、●を押す
②完了日時を入力し、●を押す

■シークレット設定するとき

シークレット設定はシークレットモード中のみ行えます。→P148

①を選択し、●を押す
②[1]「ON」を押す
- 解除するときは[2]「OFF」を押します。

5 [i]［登録］を押す

- ToDoアラームが設定された場合は、待受画面にが表示されます。

お知らせ

●ToDoの完了日時を設定した場合や状態を「完了」にした場合、ToDoアラームは鳴動しません。

●ToDoに登録した内容は、FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合もあります。万一に備え、大切なToDoの内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカード（→P287）を利用して保管することをおすすめします。登録してある内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用してパソコンに保管することもできます。→P378

ToDoを確認／修正する

登録したToDoの詳細を、ToDo一覧または1日表示画面から確認できます。またToDoの編集や削除ができます。

ToDo一覧から確認する

1 月間表示画面で[i]［機能］▶[3]「ToDo一覧」を押す



ToDo一覧画面

登録されているすべてのToDoが期限日時の古い順に表示されます。
- 状態、優先順位、要約（要約が入力されていないときは内容）が表示されます。
- 期限日時が過ぎ、完了日時が入力されていないToDoや、状態を「完了」にしていないToDoは、文字色が変わります。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

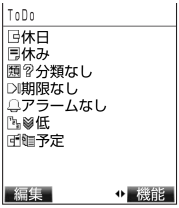
■ ToDoを新規登録するとき

①i［機能］▶1「新規登録」を押す
- 以降の操作：→P323「ToDoを登録する」手順3～5

■ ToDoの登録件数を確認するとき

①i［機能］▶5「メモリ登録件数」を押す

2 ToDoを選択し、●を押す



ToDo詳細画面

- ◀▶を押すと、前後のToDoを表示できます。
- 内容や要約に電話番号などを登録しておくと、Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を利用できます。

■ ToDoを編集するとき

①✉［編集］を押す
- 以降の操作：→P323「ToDoを登録する」手順4～5

■ 項目をコピーするとき

①i［機能］▶3「項目コピー」を押す
②項目を選択し、●を押す
- コピーしたデータは、テキストとしてメール本文や電話帳などの文字入力画面で貼り付けできます。設定内容のコピーではありません。

■ 通話中にプッシュ信号を送信するとき

- 通話中にToDoを表示する→P315

①電話番号を選択し、i［機能］▶5「プッシュ信号送信」を押す

1日表示画面から確認する

1 1日表示画面でToDoを選択し、●を押す

お知らせ

●1日表示画面からToDo一覧を表示するにはi［機能］▶6「ToDo一覧」を押します。

ToDoアラームを設定していると

- アラームを設定した時刻になると、ToDoアラームが鳴動します。
- アラームの優先順位について→P318
- アラーム鳴動中に、いずれかのボタンを押すとアラームは止まり、通知されたToDoを確認できます。
- アラーム鳴動中に何も操作をしない場合は、アラームは約1分後に止まり、待受画面にお知らせアイコンが表示されます。
- 設定した時刻に通話などを行っていた場合は、アラームは次のように動作します。
  - **通話中、メール送受信中**
    通話／送受信終了後、ToDoアラームが鳴動します。
  - **電源を切っているとき**
    ToDoアラームは鳴動しません。電源を入れたときに待受画面にお知らせアイコンが表示されます。
  - **静止画／動画撮影中、iモード接続中、iアプリ起動中、FMラジオ起動中、ミュージックプレイヤー再生中、通話中音声メモ／伝言メモ再生中、応答メッセージ録音中、テキストメモなど文字編集中**
    ToDoアラームが鳴動します。
    - ミュージックプレイヤー再生中にアラームを止めた場合は、ミュージックプレイヤー終了後待受画面に戻ったときに、お知らせアイコンが表示されます。
  - **GPS測位中**
    測位が終了してからToDoアラームが鳴動します。
  - **PIMロック（カレンダー）中、オールロック中、ソフトウェア更新中**
    ToDoアラームは鳴動しません。ロック解除後、ソフトウェア更新終了後にお知らせアイコンが表示されます。

お知らせ

●ToDoアラーム鳴動中に音声着信、メール受信があった場合は、アラームが停止します。ただし、メール設定の受信優先設定で「ユーザー操作優先」に設定している場合は、アラームは鳴動し続け、メール受信はアイコンで表示されます。

●マルチタスクで2つの機能を実行中にToDoアラームが鳴動した場合、アラームを止めた後、2つの機能を終了し待受画面に戻ったときに、お知らせアイコンが表示されます。

●シークレットモード中以外でも、シークレット設定されているToDoアラームは鳴動します。ただし確認はできません。

ToDoを削除する

1 ToDo一覧画面でToDoを選択し、i［機能］▶4「削除」を押す

2 1「1件削除」を押す

■ 選択削除するとき

①2「選択削除」を押す
②ToDoを選択し、●を押す
- 解除するときは●を押します。

③i［実行］を押す

■ 全件削除するとき

①3「全件削除」を押す
②端末暗証番号を入力し、●を押す

3 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

次ページへつづく

お知らせ

- ToDo詳細画面からToDoを削除するにはⓘ［機能］▶4「削除」を押します。
- シークレット設定されているデータが含まれている場合は、削除するデータ（シークレットデータ、通常データ）を選択し、ⓘ［実行］を押します。

ジャンプメニュー

よく使う機能を登録する

よく使う機能をジャンプメニューに登録しておくと、少ない操作で機能を実行できます。

ジャンプメニューに登録する

お買い上げ時	1：アラーム　2：電卓 3：ミュージックプレイヤー 4：ボイスレコーダー 5：デコメールテンプレート 6：カメラde辞書　7：ボイス通知

ジャンプメニューの登録・変更や、並び替えができます。

1 ●▶✉［ジャンプ］を押す



2 ⓘ［リスト編集］を押す

3 番号を選択し、●を押す

■ メニューを並び替えるとき

①項目を選択し、ⓘ［移動］を押す
②移動先を選択し、●を押す

4 項目を選択し、●を押す

- ●［登録］と表示されている機能が登録できます。●［選択］と表示されている機能は、さらに下位の階層から機能を登録できます。

ジャンプメニューを実行する

1 ジャンプメニューを表示し、項目を選択して●を押す

それぞれの機能が実行されます。

ジャンプメニューから解除する

1 ジャンプメニューを表示し、ⓘ［リスト編集］を押す

2 項目を選択し、✉［解除］を押す

3 1「1件解除」を押す

■ 全件解除するとき

①2「全件解除」を押す
②端末暗証番号を入力し、●を押す
③1「はい」を押す
- 中止するときは2「いいえ」を押します。

ジャンプメニューをリセットする

ジャンプメニューをお買い上げ時の設定に戻します。

1 ジャンプメニューを表示し、✉［リセット］を押す

- 機能が1つも登録されていないときは、CLR▶✉［リセット］を押します。

2 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

プロフィール

自分の名前やメールアドレスなどを登録する

お客様のご契約端末の電話番号の表示、名前やメールアドレスなどの登録・編集ができます。

- 自局電話番号は変更できません。

1 ●▶0を押す

自局電話番号には、ご契約の電話番号が表示されています。

2 ✉［編集］▶端末暗証番号を入力し、●を押す

3 「私」を設定する

- 設定できる項目は次のとおりです。

：マイアドレス	：名前
：フリガナ	：画像

- 設定手順について→P95「FOMA端末電話帳に登録する」手順3～5

■ マイアドレスを設定するとき

①を選択し、●を押す
②メールアドレスを入力し、●を押す
- 半角英数字、半角記号を50文字まで入力できます。

4 ◎▶「連絡先」を設定する

- 設定できる項目は次のとおりです。それぞれ2件まで設定できます。

：郵便番号	：住所
：電話番号	：メールアドレス

- 設定手順について→P95「FOMA端末電話帳に登録する」手順3～5

5 ◎▶「情報」を設定する

- 設定できる項目は次のとおりです。

：位置情報	：ホームページ
：フリーメモ	：血液型
：誕生日	：星座
：趣味	

- 設定手順について→P95「FOMA端末電話帳に登録する」手順3〜5

6 i［登録］を押す

登録した内容を利用する

登録した電話番号やメールアドレス、URLを利用することができます。

1 ●▶0を押す

2 i［機能］▶項目を選択し、●を押す

音声発信	①電話番号を選択し、●を押す
テレビ電話発信	①電話番号を選択し、●を押す
メール作成	①メールアドレスを選択し、●を押す
位置情報	• 以降の操作：→P267「埋め込んだ位置情報を利用する」手順3
URL	• 以降の操作：→P322「URLを利用するとき」手順②
プッシュ信号送信	• 通話中にプロフィールを表示する→P315 ①電話番号を選択し、●を押す

お知らせ

- ●▶「プライベート」▶5を押してもプロフィールを表示できます。
- プロフィールのメールアドレスを変更しても、iモードのメールアドレスは変更されません。また、iモードのメールアドレスを変更しても、プロフィールのメールアドレスは自動的には変更されません。メールアドレスを変更するとき→P205
- 登録した電話番号などから、Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を利用できます。

通話中音声メモ

通話中に相手の声を録音する

- 1件につき約20秒、4件まで録音できます。
- テレビ電話通話中も音声のみ録音され、画像は録画されません。

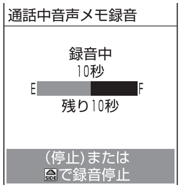
1 通話中にi［機能］▶1「通話中音声メモ録音」を押す

- すでに4件録音されている場合は録音できません。

■ テレビ電話通話中に相手の声を録音するとき

①i［機能］▶4「通話中音声メモ録音」を押す

2 ●または▯を押す



音声電話通話時

録音が開始されます。約20秒後に録音は終了します。

- 録音を途中でやめるときは●または▯を押します。

音声メモを再生する

1 ●▶「プライベート」▶4▶4を押す

■ 音声電話／テレビ電話をかけるとき

①音声メモを選択し、i［機能］▶1「音声発信」または2「テレビ電話発信」を押す

- 再生画面でも同じ操作で電話をかけられます。

②1「発信」を押す

- 発信者番号通知設定、番号付加について→P55
- 中止するときは、2「中止」を押します。

■ 電話帳に登録するとき

①音声メモを選択し、i［機能］▶3「電話帳新規登録」を押す

- 以降の操作：→P95「FOMA端末電話帳に登録する」手順2〜6、P99「FOMAカード電話帳に登録する」手順2〜4
- 追加登録するときは4「電話帳追加登録」を押して電話帳を選択し、●を押します。以降の操作：→P107「電話帳を修正する」手順2〜4
- 再生画面でも同じ操作で電話帳に登録ができます。

■ 電話番号をコピーするとき

①音声メモを選択し、i［機能］▶5「電話番号コピー」を押す

- 再生画面でも同じ操作で電話番号コピーができます。

■ｉモードメールを送信するとき

音声メモの相手の電話番号とメールアドレスが電話帳に登録されている場合、メールを作成して送信できます。

①音声メモを選択し、i［機能］▶6「メール作成」を押す
- 電話帳に複数のメールアドレスが登録されているときは、メールアドレスを選択し、●を押します。
- 以降の操作：→P209「ｉモードメールを作成して送信する」手順4〜6
- 再生画面でも同じ操作でメール作成ができます。

2 音声メモを選択し、●を押す

音声メモが受話口から再生されます。
- ◎で音量を調節できます。
- ●を押すと、再生を停止します。

音声メモを削除する

1 ●▶プライベート▶4▶4を押す

2 音声メモを選択し、i［機能］▶7「削除」を押す

3 1「1件削除」を押す
- 2「全件削除」を押したときは、端末暗証番号を入力し、●を押します。

4 1「はい」を押す
- 中止するときは2「いいえ」を押します。

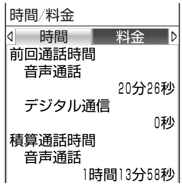
時間／料金

通話時間／料金を確認する

音声電話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

- 通話時間は音声電話通話時間とデジタル通信通話時間（テレビ電話通話時間＋64Kデータ通信時間）が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金はかけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、前回通話料金は「¥＊＊＊,＊＊＊,＊＊＊」となります。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算）が表示されます。
  ※901iシリーズより前に発売されたFOMA端末では、FOMAカードに蓄積された料金を表示することはできません。(FOMAカードには蓄積されています。)
- 表示される通話時間および通話料金は、リセットすることができます。
- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間／料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。

1 ●▶設定▶4▶1を押す



- ◎で「時間」、「料金」を切り替えられます。

お知らせ

- 前回および積算の音声通話時間やデジタル通信通話時間が999時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントされます。
- 電源を切ると、前回通話料金は「¥＊＊＊,＊＊＊,＊＊＊」となります。
- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
- ｉモード通信、パケット通信の通信時間・通信料金はカウントされません。ｉモード利用料などの確認方法については、ｉモードご契約時にお渡しする『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

積算通話時間と積算通話料金をリセットする

1 ●▶設定▶4▶1を押す

2 「時間」または「料金」を選択し、✉［リセット］を押す

3 端末暗証番号を入力し、●を押す
- 積算通話料金をリセットするときはPIN2コードを入力し、●を押します。

4 1「はい」を押す
- 中止するときは2「いいえ」を押します。

通話時間表示

通話時間の表示を設定する

お買い上げ時	ON

音声電話、テレビ電話の通話中や通話終了時に、通話時間を表示できます。

1 ●▶設定▶4▶3を押す

2 1「ON」を押す
- 表示しないときは2「OFF」を押します。

その他の便利な機能

時間／料金

通話上限値設定

通話料金の上限を設定して知らせる

お買い上げ時	OFF

設定した通話料金の上限を超えると、待受画面にアイコンを表示するなどしてお知らせします。また、毎月自動的に積算通話料金をリセットすることができます。

1 ● ▶ 設定 ▶ [4] ▶ [2] を押す

2 [1]「ON」を押す

- 解除するときは、[2]「OFF」を押します。

3 端末暗証番号を入力し、●を押す

4 項目を設定する

■ 通話料金の上限を設定する

① [1]「通話料金上限」を押す
② 上限値を入力し、●を押す
- 10〜100000円まで入力できます。

■ 通知方法を設定する

① [2]「通知方法」を押す
② [1]「アイコンのみ」または[2]「アラーム+アイコン」を押す

■ 自動リセットを設定する

- 自動リセットを設定している場合は、毎月1日の0時にリセットされます。

① [3]「自動リセット」を押す
② [1]「ON」を押す
- リセットしないときは、[2]「OFF」を押します。

③ PIN2コードを入力し、●を押す

5 [i]［保存］を押す

設定した上限値を超えると

積算通話料金が設定した上限値を超えると、待受画面にアイコンが表示されます。



- 通知方法を「アラーム+アイコン」に設定している場合は、メッセージも表示されます。●を押すとメッセージは消去されます。

■ アイコンを消去するとき

① ● ▶ 設定「設定」▶ [4] ▶ [2] を押す
② [3]「上限値アイコン消去」を押す
③ 端末暗証番号を入力し、●を押す

お知らせ

- 設定リセット、データ一括削除、通話上限値設定の変更を行うと、アイコンは消去されます。
- FOMAカードを差し込んでいないときやPINロック解除コードが完全にロックされているときなどは、自動リセットの設定は「OFF」になります。
- 自動リセットを設定しているときに、月をまたいで通話した場合、通話料金は前月分に加算されます。
- 自動リセットを設定しているときに電源を切ると、次に電源を入れるときはPIN2コードの入力が必要です。
- 自動リセットを設定していても上限値を超えたことをお知らせするアイコンは消去されません。
- 上限値を超えたことをお知らせするアイコンを消去した後、積算通話料金が設定した通話料金の上限を超えているときは、通話をしても、アイコンなどの通知を行ないません。

電卓

電卓として使う

FOMA端末で10桁までの四則演算ができます。また、計算結果をコピーし、後の計算でそのデータを貼り付けて利用することができます。

1 ● ▶ 生活ツール ▶ [5] を押す

2 計算式を入力する



操作ボタン	操作内容
[0]〜[9]	数字の入力
[上]	＋（足し算）
[下]	−（引き算）
[左]	×（かけ算）
[右]	÷（わり算）
[メール/iアプリ]	C（入力した数字を消去）
[メール]	表示されている数値をコピー
[i]	小数点の入力
[iアプリ]	コピーした数値を貼り付け※
●	＝（計算結果）
[CLR]	計算過程をすべて消去
[PWR]	電卓を終了

※ 貼り付け可能なデータがある場合に表示されます。

お知らせ

- 計算結果が10桁を超えると「E」と表示されます。解除するには、[CLR]を押します。小数点を含む数値が10桁を超えると、表示に収まらない小数部分は切捨てて表示されます。

次ページへつづく

●0によるわり算を行うと、「E」と表示されます。
●電卓を使用中に着信やアラーム通知などがあった場合は、電卓は中止され、各機能終了後に計算途中の画面に戻ります。
●貼り付けデータ一覧には、貼り付けできるデータのみ表示されます。
●数値の入力途中で貼り付けを行うと、数値は上書きされます。

テキストメモ

メモを入力する

• 50件まで登録できます。

1 ●▶プライベート▶4▶1を押す



テキストメモ一覧画面

2 i［機能］▶1「新規登録」を押す

3 テキストメモを入力し、●を押す
• 全角128文字（半角256文字）まで入力できます。

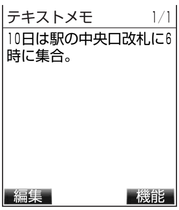
4 カテゴリを選択し、●を押す
• 6種類から選択できます。

メモを確認／修正する

1 ●▶プライベート▶4▶1を押す

■情報を見るとき
①テキストメモを選択し、i［機能］▶5「テキストメモ情報」を押す
• テキストメモ詳細画面でも同じ操作でテキストメモ情報を確認できます。

2 メモを選択し、●を押す



テキストメモ詳細画面

• ◎を押すと、前後のテキストメモを表示できます。

• 電話番号などを登録しておくと、Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を利用できます。

■テキストメモを修正するとき
①✉［編集］を押す
• 以降の操作：➔P330「メモを入力する」手順3〜4

■通話中にプッシュ信号を送信するとき
• 通話中にテキストメモを表示する➔P315
①電話番号を選択し、i［機能］▶4「プッシュ信号送信」を押す

お知らせ

●テキストメモに登録した内容は、FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合もあります。万一に備え、大切なテキストメモの内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカード（➔P287）を利用して保管することをおすすめします。登録してある内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用してパソコンに保管することもできます。➔P378

メモを削除する

1 テキストメモ一覧画面でテキストメモを選択し、i［機能］▶4「削除」を押す

2 1「1件削除」を押す

■選択削除するとき
①2「選択削除」を押す
②テキストメモを選択し、●を押す
• 解除するときは●を押します。
③i［実行］を押す

■全件削除するとき
①3「全件削除」を押す
②端末暗証番号を入力し、●を押す

3 1「はい」を押す
• 中止するときは2「いいえ」を押します。

お知らせ

●テキストメモ詳細画面から削除するにはi［機能］▶3「削除」を押します。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。➔P287

イヤホン自動発信

イヤホンをつないで自動で電話をかける

接続した平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）のスイッチを押して、音声電話をかけたり着信に応答したりできます。

- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）の接続方法→P29
- お買い上げ時は電話帳のメモリ番号499に登録されている相手が自動発信対象となります。自動発信する相手は変更できます。
- オールロック中、セルフモード中、PIMロック（電話帳）中はイヤホン自動発信はできません。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続中はクローズ動作設定は無効になります。

1 待受中にスイッチを1秒以上押す

音声電話がかかります。

2 通話が終わったらスイッチを1秒以上押す

平型スイッチ付イヤホンマイク接続中に電話を受ける

1 着信中にスイッチを1秒以上押す

2 通話が終わったらスイッチを1秒以上押す

お知らせ

- ●平型スイッチ付イヤホンマイク接続中でも、テレビ電話の着信に応答できます。FOMA端末を折りたたんだ状態では、代替画像で設定している画像が送信されます。
- ●キャッチホンをご契約され、開始に設定している場合、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して、通話中にかかってきた電話に応答したり、通話相手を切り替えたりできます。

イヤホンをつないで電話をかけるときの相手を選ぶ

お買い上げ時	設定なし（メモリ番号499）

- イヤホン自動発信先に設定できるのは、FOMA端末電話帳1件のみです。電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、通常使用する電話番号として選択した電話番号が設定されます。

1 電話帳を選択し、[i]［機能］▶[◎]▶[◎]▶[4]「イヤホン自動発信先設定」を押す

■ イヤホン自動発信先から解除するとき

①電話帳を選択し、[i]［機能］▶[◎]▶[◎]▶[4]「イヤホン自動発信先解除」を押す

②[1]「はい」を押す

- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

2 [1]「はい」を押す

電話帳に[アイコン]が表示されます。

- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。
- シークレット設定されている電話帳が設定されている場合、シークレットモード中以外のときに変更するには端末暗証番号を入力し、[●]を押します。

お知らせ

- ●イヤホン自動発信先に設定している電話帳を削除したときは、お買い上げ時の設定に戻ります。ただし、イヤホン自動発信先の電話帳に登録されている電話番号をすべて削除しても、設定は戻りません。
- ●イヤホン自動発信先に設定している電話帳のメモリ番号を編集すると、イヤホン自動発信先も自動的に編集したメモリ番号になります。
- ●イヤホン自動発信先に設定している電話帳が別の電話帳データによって上書きされた場合は、お買い上げ時の設定に戻ります。

<イヤホン自動発信設定>

イヤホン自動発信を設定する

お買い上げ時	OFF

平型スイッチ付イヤホンマイク接続時に、イヤホン自動発信できるように設定します。

1 [●]▶[設定]▶[4]▶[7]を押す

2 [1]「ON」を押す

- 設定しないときは[2]「OFF」を押します。

オート着信

イヤホンをつないで自動で電話を受ける

お買い上げ時	OFF

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続中に音声電話やテレビ電話の着信があると、設定した時間が経過した後に自動的に応答します。

- 公共モード（ドライブモード）中は、本機能は動作しません。不在着信として着信履歴に記録されます。
- 着信拒否の対象となる電話番号から着信があった場合は、本機能は動作しません。
- 伝言メモの応答時間とオート着信の応答時間は同じ時間に設定できません。

1 [●]▶[設定]▶[4]▶[6]を押す

2 [1]「ON」を押す

- 設定しないときは[2]「OFF」を押します。操作はここで終了です。

3 応答時間を入力し、[●]を押す

- 0～120秒まで設定できます。

次ページへつづく

お知らせ

- ●テレビ電話をオート着信で受けた場合は、代替画像で設定している画像が送信されます。
- ●留守番電話サービスまたは転送でんわサービスと本機能を同時に設定している場合は、設定した呼出時間によって優先順位が異なります。

設定状況確認

各種機能の設定状況を確認する

- FOMAカードが挿入されていない場合や、認識できなかった場合は、PIN1コード入力設定の状況は「XXX」、通話／通信料金は「¥XXXX,XXX,XXX」で表示されます。

1 ●▶設定▶9▶1を押す

- ◎で項目を切り替え、◎で画面をスクロールします。

設定リセット

各種機能の設定を初期状態に戻す

各種機能の設定をお買い上げ時の設定に戻します。

- 設定リセット中は、他の機能を使用できません。
- 設定リセットでお買い上げ時の設定に戻る機能についてはメニュー一覧と下記の一覧をご覧ください。

機能名	お買い上げ時の設定
iアプリ	
ソフト情報表示設定	表示しない
ソフト動作設定	
待受画面設定	設定しない
FMラジオ	
周波数	76.0MHz
エリア選択	未設定
保存先設定	「データBOX」→「iモーション」→「ラジオメモ」
音声出力設定	
ステレオ/モノラル設定	ステレオ（オート）
出力先設定	スピーカー
サイドボタン設定	リスト+ボリューム
スキン設定	デジタル
オフタイマー	120分
データBOX	
表示切替	12分割表示
ファイルソート	日付順（新→旧）
再生設定	
照明	常時点灯
バイブレータ	ON
LED	ON
再生モード	フルコーラス再生
表示サイズ	等倍再生
音量	LEVEL3
設定	
音/バイブレータ	
音設定	
音声着信	The Space
テレビ電話着信	The Space
公衆電話着信	パターン4
非通知設定着信	パターン4
通知不可能着信	パターン4
メール着信	エレクトリック
チャットメール着信	ハープ
メッセージR着信	エレクトリック
メッセージF着信	エレクトリック
ボタン確認音	ピポパ
オープントーン	オープントーン1
クローズトーン	クローズトーン1
OKトーン	ON
NGトーン	ON
充電確認音	充電確認音1
応答保留音	応答保留音1
通話中保留音	通話中保留音1
現在地確認	OFF
現在地通知	モールス
定期現在地通知	モールス
位置提供/許可	モールス
位置提供/確認	シロフォン
LED設定	お知らせLED／通話イルミネーション OFF 現在地確認、現在地通知 定期現在地通知 位置提供/許可 位置提供/確認 パターン：パターン1 カラー：7 その他すべて パターン：メロディ連動 カラー：7
ディスプレイ	
待受画面設定	
壁紙設定 本体色「ホワイトブラック」 本体色「ブラックブルー」 本体色「ピンクホワイト」	 スプライン スクエア ファンシー
iアプリ待受画面設定	設定なし
時計/カレンダー設定	デジタル時計（小）
当日スケジュール	下地表示：表示
発着信画面設定	
音声発信	発信（音声）
音声着信	着信（音声）
テレビ電話発信	発信（テレビ電話）
テレビ電話着信	着信（テレビ電話）
公衆電話着信	着信（番号表示なし）
非通知設定着信	着信（番号表示なし）
通知不可能着信	着信（番号表示なし）

機能名	お買い上げ時の設定
照明	
照明設定	
画面/ボタン照明	ON
照明時間	10秒
常時点灯設定	
充電器接続	OFF
テレビ電話	ON
iモード	OFF
メール	OFF
iアプリ	OFF
省電力設定	30秒
テイスト設定 本体色「ホワイトブラック」 本体色「ブラックブルー」 本体色「ピンクホワイト」	 ブラック ブラック ピンク
通話/通信	
通話品質調整機能	
通話品質アラーム	アラーム高音
再接続機能	アラーム高音
ノイズキャンセラ	ON
国際ダイヤル設定	
自動付加設定	ON
国際電話設定	名称：WORLD CALL 番号：009130010
テレビ電話	
テレビ電話画像選択	
代替画像	カメラオフ（テレビ電話）
テレビ電話伝言メモ画像	伝言メモ（テレビ電話）
応答保留画像	応答保留（テレビ電話）
通話中保留画像	通話中保留（テレビ電話）
プライベート	
電話帳	
文字サイズ	標準
フォト表示	フォト表示ON
検索	行検索
時短検索	回数順
イヤホン自動発信先設定	設定なし （メモリ番号499）
カレンダー	
休日設定	日曜日、2006／2007年の祝日
シースルー表示	ON
登録データ表示	アイコン
履歴	
フォト表示	フォト表示ON
シースルー表示	シースルー表示ON
生活ツール	
カメラ	
サイズ選択	フォト撮影：待受画面 ムービー撮影：QCIF
画質選択	ノーマル
ファイルサイズ制限	iモードメール添付
撮影モード	標準
日付スタンプ	OFF

機能名	お買い上げ時の設定
マイク感度	広域用
シャッター音	カシャ
開始/終了音	ピピッ
自動保存	自動保存OFF
保存先設定	フォト撮影：「データBOX」→「マイピクチャ」→「カメラ」 ムービー撮影：「データBOX」→「iモーション」→「カメラ」
ちらつき軽減	自動
ボイスレコーダー	
マイク感度	広域用
保存先設定	「データBOX」→「iモーション」→「カメラ」
ミュージックプレイヤー	
リピート再生	リピート再生OFF
ランダム再生	ランダム再生OFF
オフタイマー	120分
GPS	
通知/提供設定	
現在地通知設定	
現在地通知先一覧	
ワンタッチ通知先設定	なし
測位モード設定	標準モード
定期現在地通知設定	無効
位置提供設定	
位置提供可否設定	位置提供機能OFF
測位モード設定	標準モード
接続先設定	契約時接続先
現在地確認設定	
GPSボタン設定	地図を見る
測位モード設定	標準モード
iチャネル※	
iチャネル設定	
テロップ表示設定	表示する
テロップ速度設定	標準
NWサービス	
留守番電話	
件数増加鳴動設定	メロディ：ブザー
マルチナンバー	
通常発信番号設定	
付加番号1	名称：付加番号1 番号：なし 音：The Rockabilly
付加番号2	名称：付加番号2 番号：なし 音：The Rockabilly
メインメニュー、メールメニュー、iモードメニュー、GPSメニュー	
並べ替え	－
メニューアイコン 本体色「ホワイトブラック」 本体色「ブラックブルー」 本体色「ピンクホワイト」	 サークル サークル パネル
メニュー説明表示	メニュー説明表示ON

次ページへつづく

機能名	お買い上げ時の設定
ジャンプメニュー	アラーム 電卓 ミュージックプレイヤー ボイスレコーダー デコメールテンプレート カメラde辞書 ボイス通知
マナーモード	OFF
公共モード（ドライブモード）	OFF
サイドボタン操作	有効
テレビ電話通話中	
画面表示位置切替	親画面：相手画像 子画面：自画像
テレビ電話画面設定	両方
等倍表示／拡大表示	拡大表示
受話音量	LEVEL3
ちらつき軽減	自動

※チャネル一覧は削除されます。

1 ●▶[設定]▶8▶1を押す

2 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

3 端末暗証番号を入力し、●を押す

4 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

データ一括削除

登録データを一括して削除する

FOMA端末に登録、保存、保護したデータを一括して削除します。

- FOMAカードやminiSDメモリーカードに登録・保存したデータは削除されません。
- データ一括削除中は、他の機能を使用できません。また、電話の着信やメールの受信などもできません。
- お買い上げ時に登録されているｉアプリ、デコメールピクチャ、デコメールテンプレートは削除されますが、「どこでもSANYO」からダウンロードすることができます。→P183
- 設定リセットの対象になる機能のデータと、以下のデータがすべて削除され、お買い上げ時の状態に戻ります。
  - 受信／送信／未送信メール
  - 受信/送信BOXの自動振り分け設定
  - 受信／送信／未送信BOX内のフォルダのセキュリティ設定
  - チャットメンバー
  - メッセージR/F
  - 画面メモ
  - Bookmark
  - ラストURL
  - Internet
  - ｉアプリ
  - 放送局リスト
  - ｉアプリの履歴表示
  - データBOX内のデータ※1
  - 端末暗証番号
  - 時間/料金※2
  - プレフィックス設定
  - 定型文
  - 顔文字
  - ユーザー辞書
  - ソフトウェア更新の予約
  - 電話帳
  - スケジュール
  - ToDo
  - リダイヤル
  - 着信履歴
  - 送信／受信アドレス履歴
  - テキストメモ
  - 伝言メモ
  - 通話中音声メモ
  - ダイヤルメモ
  - プロフィール
  - バーコードリーダー
  - 文字リーダー
  - プレイリスト
  - オリジナルデータ※3
  - 追加サービス
  - 現在地通知先一覧
  - 位置履歴
  - GPSソフト
  - 直デン
  - 学習情報
  - 通知一覧
  - 貼り付けデータ

※1 デコメールピクチャ、デコメールテンプレート以外のお買い上げ時に登録されているデータは削除されません。
※2 積算通話料金はリセットされません。
※3 お買い上げ時に登録されているメニューアイコンは削除されません。

1 ●▶[設定]▶8▶2を押す

2 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

3 端末暗証番号を入力し、●を押す

4 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

お知らせ

●パソコンから設定したデータ通信の設定はリセットされません。
●データ一括削除を行うと、ｉチャネルのテロップは表示されなくなります。[i]を押してチャネル一覧を表示し最新の情報を受信すると、テロップが表示されるようになります。情報サイトによっては、チャネル一覧を表示しなくても最新の情報が受信されテロップが表示される場合があります。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

英単語辞書

英単語辞書を使う

FOMA端末を英単語辞書として使えます。和英／英和／カタカナ英語辞書のほか、英単語クイズを楽しんだり、英単語をカメラで撮影して読み取り、翻訳することもできます。

和英／英和／カタカナ英語辞書を使う

和英辞書　　　　：日本語から英語に翻訳
　　　　　　　　　（見出し語約10,000語）
英和辞書　　　　：英語から日本語に翻訳
　　　　　　　　　（見出し語約20,000語）
カタカナ英語辞書：カタカナ読みから英語に翻訳
　　　　　　　　　（見出し語約20,000語）

1 ◉▶生活ツール▶7を押す

2 辞書を選択し、◉を押す

3 単語を入力し、◉を押す

- 入力できる文字種と文字数は次のとおりです。

和英辞書	漢字・ひらがな	8文字
英和辞書	半角大英・半角小英・半角記号	16文字
カタカナ英語辞書	全角カタカナ	8文字

- 翻訳候補が複数ある場合は✥で単語を選択し、◉を押します。
- カタカナ英語辞書では、◉を押すと翻訳した単語を英和辞書で検索できます。

英単語クイズを楽しむ

和英・英和単語クイズが楽しめます。レベルと挑戦回数が表示されます。

1 ◉▶生活ツール▶7▶4を押す

2 1「和英ゲームスタート」または2「英和ゲームスタート」を押す

- 3「ルール説明」を押すと、詳しいルールの説明を見ることができます。
- ◇でクリアした範囲でレベルを変更できます。

■ 英単語クイズをリセットするとき

①✉［リセット］▶1「はい」を押す
- 中止するときは2「いいえ」を押します。

3 答えを選択し、◉を押す

- ダイヤルボタンを押しても答えられます。
- 1回のクイズで10問出題されます。10問連続で正解するとステージクリアとなり、次のレベルを選択できるようになります。
- 正解して次の問題へ進むには◉を押してください。
- 不正解またはTIME OVERになった時点でクイズは終了です。◉を押すと英単語クイズの最初の画面に戻ります。
- *を押すと、2択問題に変わります。ただし、使用できるのは10問中1回限りです。
- #を押すと、時間制限がなくなります。ただし、使用できるのは10問中1回限りです。

4 10問連続正解後、◉を押す

お知らせ

●英単語辞書使用中、英単語クイズ中に着信などがあった場合は、各機能終了後、元の画面に戻ります。クイズ回答中の場合は途中から始められます。問題内容は変更されます。

カメラde辞書を使う

調べたい単語の文字列をカメラで撮影し、翻訳できます。

1 接写モードに切り替える

- 接写モードの切り替えについて→P169

2 ◉▶生活ツール▶7▶5を押す

- 以降の操作：→P176「英単語を読み取る」手順2

ボイス通知

現在の時刻や着信などがあったことを音声でお知らせする

待受中に、現在時刻やお知らせアイコンの通知内容を音声でお知らせします。

- サイドボタン操作無効中（FOMA端末を折りたたんでいるとき）、オールロック中はボイス通知されません。
- PIMロック中はロックされている機能に関する通知はボイス通知されません。
- FOMA端末を開いているときでも、折りたたんでいるときでもボイス通知します。
- お知らせアイコンについて→P36

1 待受中に▯（ボイス）を押す

- 複数の通知がある場合は、▯（ボイス）を押すごとに順番にお知らせします。

ボイス通知を設定する

お買い上げ時	時刻+通知一覧

1 ● ▶ 設定 ▶ [9] ▶ [2] **を押す**

2 [1]～[4] **を押す**

時刻	時刻をお知らせします。
通知一覧	お知らせアイコンの通知内容をお知らせします。
時刻+通知一覧	時刻とお知らせアイコンの通知内容をお知らせします。
OFF	ボイス通知しません。

お知らせ

● マナーモード中や、着信音量を「OFF」に設定している場合は、お知らせアイコンの通知内容をバイブレータでお知らせします。通知内容によって振動が変わります。
● ボイス通知の音量は、音声着信の音量設定に従います。

簡易コンパス

コンパスを使って方角を確認する

- お買い上げ時は、まず方位調整を行ってからご使用ください。
- 本体を完全に開き、ボタン操作部を水平にしてご利用ください。

1 ● ▶ 生活ツール ▶ ◎ ▶ [3] **を押す**

2 ● **を押す**

■方位を調整するとき

① [i]［調整］を押す
調整方法が表示されます。

② ●を押し、FOMA端末を手首を返しながら大きく約５秒間8の字に振る
- 中止するときは、[✉]［中止］を押します。
- 調整に失敗したときは、[1]「はい」を押し、もう一度FOMA端末を振ります。

お知らせ

● 簡易コンパスは、地球のわずかな磁場を感知して方位を算出しています。以下の場合は、正しい方位が表示できないことがあります。
- 建物、鉄製品（特にスチールデスクなど）、ラジオ、テレビ、高圧線、磁気を含む岩盤の付近
- 磁性体材料を含むストラップ、時計、指輪のご使用時や、電車、バス、自動車の付近や車内
- 急激な温度変化をともなう環境下

● 簡易コンパス起動直後や、FOMA端末の開閉時、miniSDメモリーカードの抜き差し時、またはラジオ、テレビ、鉄製品、マグネット類などに近づけたり、その付近や急激な温度変化をともなう環境下に長時間置いたままにした場合は、方位調整を行ってください。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

ネットワークサービス

FOMA端末から利用できるネットワークサービス 338
留守番電話サービスを利用する . . . . <留守番電話> 338
キャッチホンを利用する . . . . <キャッチホン> 339
転送でんわサービスを利用する . . . . <転送でんわ> 340
迷惑電話ストップサービスを利用する . . <迷惑電話ストップサービス> 340
番号通知お願いサービスを利用する. . . . . . <番号通知お願いサービス> 341
デュアルネットワークサービスを利用する. . <デュアルネットワーク> 341
ガイダンスを日本語と英語で切り替える . . . .<英語ガイダンス> 341
サービスダイヤルを利用する. . . . .<サービスダイヤル> 341
通話中に電話がかかってきたときの対応方法を選ぶ. . <着信動作選択> 341
通話中着信設定を開始／停止する . . . .<通話中着信設定> 341
遠隔操作を設定する. . . . . <遠隔操作設定> 342
マルチナンバーを利用する . . . . <マルチナンバー > 342
サービスを登録して利用する . . . . <追加サービス> 343

- 本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。また、マルチナンバーについては『マルチナンバー操作ガイド』をご覧ください。

FOMA端末から利用できるネットワークサービス

FOMA端末を便利に利用するために、次のネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名	月額使用料	申し込み	参照先
留守番電話サービス	有料	必要	P338
キャッチホン	有料	必要	P339
転送でんわサービス	無料	必要	P340
迷惑電話ストップサービス	無料	必要	P340
発信者番号通知サービス	無料	不要	P51
番号通知お願いサービス	無料	不要	P341
公共モード（ドライブモード）	無料	不要	P73
公共モード（電源OFF）	無料	不要	P74
デュアルネットワークサービス	有料	必要	P341
英語ガイダンス	無料	不要	P341
マルチナンバー	有料	必要	P342
SMS（ショートメッセージ）	無料	不要	P235、236

- お申し込み、お問い合わせについては取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。また、マルチナンバーについては『マルチナンバー操作ガイド』をご覧ください。
- ドコモから新しいネットワークサービスが追加された場合は、FOMA端末のメニューに登録し、サービスの操作ができます。→P343
- 「サービス停止」とは、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。

留守番電話

留守番電話サービスを利用する

電波の届かないところにいるときや電源を切っているときなど電話を受けられないときに、音声電話／テレビ電話をかけてきた相手に応答メッセージでお応えし、伝言メッセージをお預かりします。※

- 伝言メッセージは1件につき最大3分、音声電話とテレビ電話それぞれ20件まで録音できます。※
- お預かりした伝言メッセージは、最大72時間保存されます。
- 留守番電話サービスを「開始」に設定しているときに音声電話／テレビ電話がかかってきた場合は、着信音が呼出時間に設定した時間鳴ります。※その間に応答すると、そのまま通話できます。その間に応答しない場合は、自動的に留守番電話サービスセンターに接続されます。この着信は待受画面や着信履歴でもお知らせします。ただし、呼出時間を「0秒」にした場合は、着信履歴に記録されません。
- 留守番電話サービスを開始しているときも、通常通り音声電話／テレビ電話をかけたり、受けたりできます。※
- 留守番電話センターにテレビ電話の伝言メッセージがあった場合は、SMSでお知らせします。※

※（テレビ電話については）2006年5月現在、サービス未提供です。

留守番電話サービスの基本的な流れ

留守番電話サービスを開始する

↓

音声電話／テレビ電話が留守番電話サービスに接続される※1

↓

相手が用件を伝言メッセージに録音する※2

↓

留守番電話にメッセージをお預かりしていることをアイコンなどでお知らせする

↓

伝言メッセージを再生する

※1（テレビ電話については）2006年5月現在、サービス未提供です。

※2 急いでいる時など、留守番電話の応答メッセージを省略して伝言メッセージを録音する場合は、応答メッセージが流れているときに#を押すと、すぐに伝言メッセージの録音モードに切り替えられます。

留守番電話サービスを利用する

1 ● ▶ NWサービス ▶ 1 を押す

2 項目を選択し、●を押す

留守番サービス開始	① 1「はい」を押す • 続けて呼出時間を設定するときは、1「はい」▶呼出時間を入力し、●を押します。
留守番呼出時間設定	留守番電話サービスに接続されるまでの時間を設定します。 ① 1「はい」▶呼出時間を入力し、●を押す
留守番サービス停止	① 1「はい」を押す
留守番設定確認	現在の設定が表示されます。
留守番メッセージ再生	伝言メッセージを再生します。 ① 1「はい」を押す
留守番サービス設定	音声ガイダンスで留守番電話サービスを設定します。 ① 1「はい」を押す
メッセージ問合せ	新しい伝言メッセージがあるかを確認します。
件数増加鳴動設定	新しい伝言メッセージがあることを、メロディなどでお知らせします。 • お買い上げ時は「ブザー」に設定されています。 ① 1「メロディ」を押す • 鳴らさないときは2「OFF」を押します。 ② メロディを選択し、●を押す
表示消去	留守番電話のアイコン「」を消去します。 ① 1「はい」を押す
着信通知	圏外やFOMA端末の電源が入っていないときに着信があったことを、圏内になったときや電源が入ったときに、SMSでお知らせします。 ① 1「着信通知開始」を押す • 停止するときは2「着信通知停止」を押します。 • 設定を確認するときは3「着信通知設定確認」を押します。 ② 1「はい」を押す • 確認画面が表示されます。1「はい」または2「いいえ」を押します。

お知らせ

- メッセージ問合せ後にお預かりした伝言メッセージは、再度メッセージ問合せを行っても確認できない場合があります。
- 留守番電話のテレビ電話対応設定について変更するには、「1412」へ音声電話発信をしてください。※
  ※ 2006年5月現在、サービス未提供です。

キャッチホン

キャッチホンを利用する

通話中にかかってきた電話にでることができます。また、通話中の電話を保留にして、別の相手に新たに電話をかけられます。

- キャッチホンを利用するときは、着信動作選択（→P341）を「通常着信」に設定してください。通話中着信設定（→P341）に関わらず、キャッチホンが利用できます。
- テレビ電話通話中に音声着信があった場合、または音声電話中にテレビ電話の着信があった場合は、着信の通知はされますが、同時にはご利用できません。
- マルチ接続中にさらに着信があった場合、「ププ…ププ…」と通知音がなり、保留か通話を終了すれば着信に応答できることを通知するメッセージが表示されます。新しい着信を切断するには、i［機能］▶1「着信拒否」を押してください。

1 ● ▶ NWサービス ▶ 2 を押す

2 項目を選択し、●を押す

キャッチホン開始	① 1「はい」を押す
キャッチホン停止	① 1「はい」を押す
キャッチホン設定確認	現在の設定が表示されます。

通話中の音声電話を保留にして、かかってきた電話にでる

1 通話中に「ププ…ププ…」と音が聞こえたら または●を押す

最初の相手との通話が保留になり、後からかかってきた電話と通話できます。

■ 通話する相手を切り替えるとき

① を押す

• i［機能］▶1「切替」を押しても切り替えられます。

電話を切るとき

■ 通話中の電話を切るとき

① PWR を押す

通話中の電話が切断され、保留中の電話の着信音が鳴ります。 または●を押すと通話できます。

■ 保留中の電話を切るとき

① i［機能］▶2「保留呼切断」を押す

保留されている電話が切断されます。通話中の電話とは引き続き通話できます。

通話中の電話を終わらせて、かかってきた電話にでる

1 通話中に「ププ…ププ…」と音が聞こえたら PWR を押す

通話中の電話が切断され、かかってきた電話の着信音が鳴ります。
- 着信音または着信画像にｉモーションを設定している場合は、お買い上げ時の設定で鳴動します。

2 **[発信]または●を押す**

新しくかかってきた電話と通話できます。

通話中の電話を保留にして、別の相手に電話をかける

1 **通話中に電話番号を入力し、[発信]を押す**

最初の電話は自動的に保留になります。
- 電話帳やリダイヤル、着信履歴から電話番号を選択して電話をかけることができます。

■通話する相手を切り替えるとき

①[発信]を押す
- [i]［機能］▶[1]「切替」を押しても切り替えられます。

お知らせ

●通話中の着信に応答した場合、ディスプレイに「マルチ接続中」と表示されます。
●通話中に●を押すと、両方の電話を保留できます。

転送でんわ

転送でんわサービスを利用する

電話を受けられないときにFOMA端末にかかってきた電話を、あらかじめ登録した転送先に自動的に転送します。
- 登録できる転送先は１件です。
- 転送でんわサービスを「開始」に設定しているときに音声電話がかかってきた場合は、着信音が呼出時間に設定した時間鳴ります。その間に応答すると、そのまま通話できます。その間に応答しない場合は、自動的に登録した転送先に接続されます。この着信は待受画面や着信履歴でもお知らせします。ただし、呼出時間を「0秒」に設定した場合は、着信履歴に記録されません。

転送でんわサービスの基本的な流れ

転送先の電話番号を登録する

↓

転送でんわサービスを開始する

↓

FOMA端末に電話がかかってくる

↓

電話にでないと自動的に登録した転送先に転送される

転送でんわサービスを利用する

1 **●▶[NWサービス]▶[3]を押す**

2 **項目を選択し、●を押す**

転送サービス開始	①[1]「はい」を押す ②[3]「開始」を押す • 呼出時間を設定するときは、[2]「呼出時間設定」▶呼出時間を入力し、●を押します。 • 転送先を変更するときは、[1]「転送先変更」を押します。以降の操作は「転送先変更」と同じです。
転送サービス停止	①[1]「はい」を押す
転送先変更	①[1]「直接入力」▶電話番号を入力し、[1]「転送先変更のみ」または[2]「転送先変更+開始」を押す • 電話番号入力時に電話帳を引用するときは、[2]「電話帳引用」▶電話帳を選択し、●▶電話番号を選択し、●▶●を押します。
転送先通話中時設定	転送先が電話中のときに、留守番電話サービスセンターに接続します。 ①[1]「はい」を押す
転送サービス設定確認	現在の設定が表示されます。

転送ガイダンス有・無を設定する

1 **[1][4][2][9]▶[発信]を押す**

2 **音声ガイダンスに従って設定する**

お知らせ

●かかってきた電話を手動で転送するときは、P64をご覧ください。

迷惑電話ストップサービス

迷惑電話ストップサービスを利用する

特定の相手からの電話を自動的に着信拒否します。拒否したい電話番号を迷惑電話として登録すると、登録した電話番号から電話がかかってきたときに、着信を拒否するガイダンスを流して通話を終了します。
- 迷惑電話は30件まで登録できます。

1 **●▶[NWサービス]▶[4]を押す**

2 項目を選択し、● を押す

迷惑電話着信拒否登録	最後に着信応答した電話を登録します。 ① [1]「はい」を押す
電話番号指定拒否登録	① 電話番号を選択または入力し、 ● ▶ [1]「はい」を押す
迷惑電話全登録削除	① [1]「はい」を押す
迷惑電話1登録削除	最後に登録した電話番号を解除します。 ① [1]「はい」を押す
拒否登録件数確認	現在登録されている電話番号の件数が表示されます。

番号通知お願いサービス

番号通知お願いサービスを利用する

発信者番号を非通知でかけてきた電話に、番号を通知して電話をかけなおしてもらうようガイダンスで通知し、電話を切ります。迷惑電話などによるトラブルを防ぎ、安心して携帯電話を活用できます。

1 ● ▶ [NWサービス] ▶ [6] を押す

2 項目を選択し、● を押す

番号通知お願い開始	① [1]「はい」を押す
番号通知お願い停止	① [1]「はい」を押す
番号通知お願い確認	現在の設定が表示されます。

デュアルネットワーク

デュアルネットワークサービスを利用する

FOMAでご契約されたひとつの電話番号で、movaもご利用いただけます。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

1 ● ▶ [NWサービス] ▶ ◯ ▶ [1] を押す

2 項目を選択し、● を押す

デュアルネットワーク切替	FOMA端末を利用できるように設定します。 ① [1]「はい」▶ネットワーク暗証番号を入力し、● を押す
デュアルネットワーク状態確認	FOMA端末が利用可能な状態かを確認できます。

英語ガイダンス

ガイダンスを日本語と英語で切り替える

発着信時の音声ガイダンス、留守番電話サービスや転送でんわサービスなど、各種ネットワークサービス設定時の音声ガイダンスを、日本語または英語で選択できます。

- 発信者が本サービスを利用している場合は、発信者側の発信時の設定が着信者側の着信時の設定より優先されます。

1 ● ▶ [NWサービス] ▶ ◯ ▶ [2] を押す

2 項目を選択し、● を押す

ガイダンス設定	① [1]〜[3] ▶言語を選択し、● を押す
ガイダンス設定確認	現在の設定が表示されます。

サービスダイヤル

サービスダイヤルを利用する

ドコモ総合案内・受付や、ドコモ故障窓口へ電話をかけます。

1 ● ▶ [NWサービス] ▶ ◯ ▶ [4] を押す

2 項目を選択し、● を押す

ドコモ故障問合せ	① ● を押す
ドコモ総合案内・受付	① ● を押す

着信動作選択

通話中に電話がかかってきたときの対応方法を選ぶ

通話中または64Kデータ通信中にかかってきた電話への対応方法を選択します。

- 通話中の音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信を終了し、かかってきた新しい音声着信に出る操作を行いたい場合は、着信動作選択を「通常着信」に設定してください。

1 ● ▶ [NWサービス] ▶ [8] を押す

2 項目を選択し、● を押す

通常着信	かかってきた電話に応答したり、手動で留守番電話サービスや転送でんわサービスで登録した転送先に転送したりできます。
留守番電話※	留守番電話サービスに接続します。
転送でんわ	転送でんわサービスに登録されている転送先に転送します。
着信拒否	着信を拒否し、電話を切ります。

※ 2006年5月現在、留守番電話を利用して、テレビ電話の伝言メッセージをお預かりすることはできません。

通話中着信設定

通話中着信設定を開始／停止する

通話中または64Kデータ通信中にかかってきた電話に、「着信動作選択」で設定した動作で対応します。

1 ● ▶ [NWサービス] ▶ [7] を押す

2 項目を選択し、●を押す

通話中着信設定開始	① 1「はい」を押す
通話中着信設定停止	① 1「はい」を押す
通話中着信設定確認	現在の設定が表示されます。

遠隔操作設定

遠隔操作を設定する

留守番電話サービスや転送でんわサービスの操作を、プッシュ式の一般電話や公衆電話からできるようにします。

1 ●▶NWサービス▶9を押す

2 項目を選択し、●を押す

遠隔操作開始	① 1「はい」を押す
遠隔操作停止	① 1「はい」を押す
遠隔操作設定確認	現在の設定が表示されます。

マルチナンバー

マルチナンバーを利用する

電話番号を追加して「ビジネス用」「プライベート用」など、電話番号を使い分けることができます。

マルチナンバーを設定する

1 ●▶NWサービス▶◎▶5を押す

2 項目を選択し、●を押す

通常発信番号設定	① 1〜3▶1「はい」を押す
通常発信番号設定確認	現在の設定が表示されます。

1回の通話ごとにマルチナンバーを設定する

機能メニューから番号を選択し、発信ごとに使用する電話番号を設定して電話をかけることができます。

1 待受画面で電話番号を入力し、i［機能］を押す

2 2「番号付加」▶3「マルチナンバー」を押す

3 1〜4を押す

基本契約番号	基本契約番号で発信します。
付加番号1※	付加番号1で発信します。
付加番号2※	付加番号2で発信します。
設定削除	設定を解除します。

※ マルチナンバーに名前を登録している場合はその名前が表示されます。

4 発信キーを押す

お知らせ

●リダイヤル、着信履歴を利用して発信を行うと、発信したときに設定されていた番号からの発信になります。

マルチナンバーを登録／編集する

- 登録した名前は、通常発信番号設定画面や、通常発信番号設定確認の際のメッセージなどで表示されます。
- 「基本契約番号」は内容を変更できません。

1 ●▶NWサービス▶◎▶5を押す

2 1「通常発信番号設定」を押す

3 「付加番号1」または「付加番号2」を選択し、i［編集］を押す

4 項目を設定する

■ 名前を設定するとき

① 名 を選択し、●を押す
② 名前を入力し、●を押す
- 全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

■ 電話番号を設定するとき

① 電話 を選択し、●を押す
② 電話番号を入力し、●を押す
- 26桁まで入力できます。

■ 着信音を設定するとき

① 着信音 を選択し、●を押す
- 以降の操作：→P116「着信音や着モーションを変更する」手順3〜5
- ご契約時は「The Rockabilly」に設定されています。

5 i［登録］を押す

お知らせ

●映像のみのｉモーションなど、ｉモーションによっては着信音に設定できない場合があります。
●着信音に映像と音声が含まれるｉモーションを設定した場合、着信画像もそのｉモーションに変更されます。
●別のFOMAカードに差し替えた場合は、マルチナンバーの名前／電話番号／着信音を再登録する必要があります。
●マルチナンバーへの着信については、電話帳の個別着信やグループ着信、音設定の設定にかかわらず、着信時の音はすべてマルチナンバーに設定した着信音になります。（マルチナンバーの着信音の設定を「OFF」にしている場合、着信音はそれぞれの設定に従います。）着信音以外はそれぞれの各種設定の設定に従います。

追加サービス

サービスを登録して利用する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、FOMA端末のメニューに新しいサービスを登録して利用します。
新しいネットワークサービスが追加されると、そのネットワークサービスを利用するためのコードが通知されます。このコードとサービス名を登録してください。

サービスを登録する

- 新しいサービスは10 件まで登録できます。

1 ●▶ NWサービス ▶○▶ 3 を押す

2 1「追加サービス」▶ i［新規］を押す

- 登録したサービスを編集するときは、サービスを選択し、●▶項目を選択し、●を押します。

3 サービス名を入力し、●を押す

- 全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

4 コードを入力し、●を押す

- 26桁まで入力できます。

5 i［登録］を押す

サービスを開始する

1 ●▶ NWサービス ▶○▶ 3 を押す

2 1「追加サービス」を押す

3 サービスを選択し、●を押す

4 ✉［送信］を押す

登録したサービスの受信表示を編集する

- 応答メッセージは10件まで登録できます。

1 ●▶ NWサービス ▶○▶ 3 を押す

2 2「応答メッセージ設定」▶ i［新規］を押す

- 登録した応答メッセージを編集するときは、応答メッセージを選択し、●▶項目を選択し、●を押します。

3 応答メッセージを入力し、●を押す

- 全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

4 コマンドを入力し、●を押す

- 26桁まで入力できます。

5 i［登録］を押す

追加サービスを削除する

1 ●▶ NWサービス ▶○▶ 3 を押す

2 1「追加サービス」を押す

- 応答メッセージを削除するときは、2「応答メッセージ設定」を押します。

3 項目を選択し、✉［削除］を押す

4 1「1 件削除」を押す

■ 選択削除するとき

①2「選択削除」を押す
②項目を選択し、●を押す
- 解除するときは●を押します。

③ i［実行］を押す

■ 全件削除するとき

①3「全件削除」を押す
②端末暗証番号を入力し、●を押す

5 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

データ通信

データ通信について......................................346
データ通信の準備の流れ..................................347
ATコマンド...348

- データ通信について、詳細は添付のCD-ROM内の「PDF版「データ通信マニュアル」(データ通信.pdf)」をご覧ください。
- 「PDF版「データ通信マニュアル」(データ通信.pdf)」をご覧になるには、Adobe Reader(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます。(別途通信料がかかります。)詳細はアドビシステムズ株式会社のホームページをご覧ください。

データ通信について

FOMA端末から利用できるデータ通信について

FOMA端末とパソコンを接続して、パケット通信・64Kデータ通信・データ転送ができます。

- FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
- FOMA端末でFAX通信はできません。
- FOMA端末をドコモのPDA「musea」や「sigmarion Ⅱ」と接続してデータ通信を行う場合、「musea」や「sigmarion Ⅱ」をアップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

パケット通信とは

パケット通信は、通信方式の一つで、データを転送するときにちいさなまとまり（パケット）に分割して送受信するため、回線を占有しません。１つの回線を複数の端末で使用できるため効率がよく、データを送受信していないときは通信料がかかりません。ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使い方ができます。また、通信時間や通信距離に関係なく、送受信されたデータの量に応じて課金されるため、メールの文字データ送受信など、比較的少ない量のデータを高速でやり取りする場合に適しています。
データ量の大きいファイル（高品質の画像やメロディなど）を送受信すると、通信料が高額になりますのでご注意ください。

- 受信最大384kbps、送信最大64kbpsでの高速パケット通信が可能です。

■ パケット通信をするには

- FOMAサービスエリア内で行ってください。
- 通信設定ファイル、FOMA PC設定ソフトをインストールし、各種設定を行って通信してください。FOMA USB接続ケーブル（別売）と、USBポートを装備したパソコン、またはドコモのPDAが必要です。
- アクセスポイントがドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」など、FOMAのパケット通信に対応している必要があります。

64Kデータ通信とは

64kbps（データ通信の速度）でデータを送受信するデータ通信です。データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるため、高品質な画像やメロディなどのダウンロードなど、比較的多い量のデータを送受信する場合に適しています。
長時間にわたる通信を行った場合、通信料が高額になりますのでご注意ください。

■ 64Kデータ通信をするには

- FOMAサービスエリア内で行ってください。
- 通信設定ファイル、FOMA PC設定ソフトをインストールし、各種設定を行って通信してください。FOMA USB接続ケーブル（別売）と、USBポートを装備したパソコン、またはドコモのPDAが必要です。
- 接続先がドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」など、FOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64kbpsに対応している必要があります。

データ転送とは

データ転送はFOMA USB接続ケーブル（別売）または赤外線通信を使ってデータをやり取りします。通信料はかかりません。電話帳やメール、スケジュールなどのデータをパソコンや赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末、携帯電話に転送します。
データの保存・バックアップにご利用ください。

■ FOMA USB接続ケーブル（別売）でデータ転送をするには

- 通信設定ファイルをインストールし、通信してください。FOMA USB接続ケーブル（別売）と、USBポートを装備したパソコンが必要です。

■ 赤外線通信をするには

- 赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末・携帯電話・パソコンなどとデータを送受信します。パケット通信・64Kデータ通信はできません。

お知らせ

- ●基地局が混雑していたり電波状況がよくない場合は、パケット通信・64Kデータ通信ができないことがあります。
- ●PPPパケット着信機能には対応しておりません。
- ●パケット通信で大きなサイズの画像の表示・ファイルのダウンロードなどを行うと、通信料が高額になりますので、ご注意ください。
- ●64Kデータ通信、パケット通信を行う場合や、ハンズフリー対応機器からFOMA端末を操作する場合は、USBモード設定を「通信モード」にします。

  ● ▶ 設定「設定」▶ 4 ▶ ○ ▶ 5を押し、1「通信モード」を押します。

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料について

パソコンなどからインターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）に対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

- FOMAでのインターネット接続には、ブロードバンド接続オプション、国際ローミング等に対応した「mopera U」のご利用をおすすめします。また、今すぐ簡単にインターネットに接続したい方には「mopera」が便利です。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申込不要、月額使用料無料です。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64kbps対応の接続先をご利用ください。
- PIAFSなどのPHS64K／32Kデータ通信やDoPaのアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザー認証について

接続先によっては、接続時にユーザー認証が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークでIDとパスワードを入力してください。IDとパスワードは接続先のプロバイダまたはネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証について

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証でFirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合は、添付のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定を行ってください。詳しくは添付のCD-ROM内の「FirstPassManual」をご覧ください。「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。パソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページからダウンロードできます。（別途通信料がかかります。）詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページをご覧ください。

■FirstPass PCソフトの動作環境

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機
OS（各日本語版）	Windows 98SE、Me、2000、XP
必要メモリ※	Windows 98SE、Me、2000：32Mバイト以上 Windows XP：128Mバイト以上
ハードディスク容量※	10Mバイト以上の空き容量
ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer 5.5以上

※パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

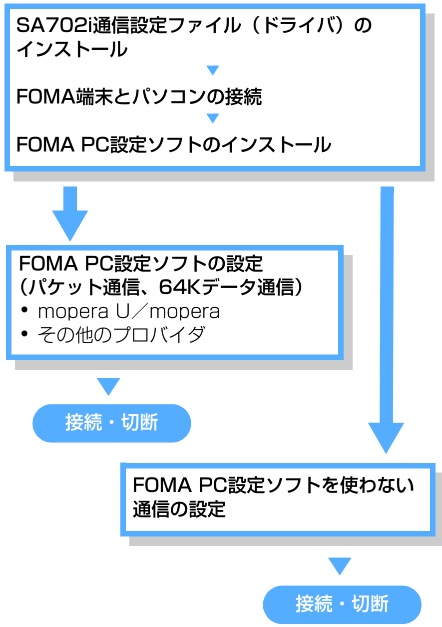
データ通信の準備の流れ

FOMA端末とパソコンを接続して、パケット通信・64Kデータ通信を利用する準備について説明します。

添付のCD-ROMについて（FOMA SA702i用 CD-ROM）

SA702i通信設定ファイル（ドライバ）、FOMA PC設定ソフト、FirstPass PCソフトが入っています。通信設定ファイルはFOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続して通信するのに必要なソフトウェアです。また、FOMA PC設定ソフトはデータ通信に必要なさまざまな設定をパソコンから簡単に行えるソフトウェアです。

データ通信の流れ



動作環境について

通信設定ファイル／FOMA PC設定ソフトを使用するための、パソコンの動作環境は次のとおりです。

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機 USBポート（USB仕様1.1以上に準拠）
OS（各日本語版）	Windows 98、Me、2000、XP
必要メモリ	Windows 98、Me：32Mバイト以上 Windows 2000：64Mバイト以上 Windows XP：128Mバイト以上
ハードディスク容量	5Mバイト以上の空き容量

- お客様のパソコンの設定によってはインストールできない場合があります。

次ページへつづく

お知らせ

- 必要メモリ、ハードディスク容量はお使いのパソコンのシステム構成によって異なります。
- アップグレードからの動作は保証いたしかねます。
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用による問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ATコマンド

FOMA端末はATコマンドに準拠し、ATコマンド以外に拡張コマンドの一部や独自のATコマンドが使用できます。

- ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。コマンドの先頭に「AT」を付けることからこのように呼ばれています。
- ATコマンドの詳細は、添付のCD-ROM内の「PDF版「データ通信マニュアル」（データ通信.pdf）」をご覧ください。

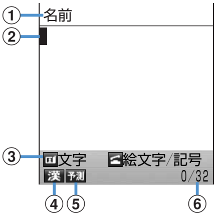
文字入力

文字入力について 350
かな方式で文字を入力する ....<かな方式> 350
定型文を編集／登録する ....<定型文編集> 354
顔文字を編集／登録する ....<顔文字編集> 354
文字のコピー・切り取りと貼り付け............... <文字コピー ＞ 354
区点コードで入力する......................<区点コード入力> 355
カーソルを自動的に移動するようにする ... <自動カーソル移動設定> 355
よく使う単語を登録する ....<ユーザー辞書登録> 356
学習情報を初期状態に戻す ....<学習情報リセット> 356
ダウンロードした辞書を使用する ....<ダウンロード辞書> 356
入力予測機能を設定する ....<入力予測> 357
２タッチ方式で文字を入力する ....<2タッチ方式> 357

文字入力について

電話帳の名前入力や、メール作成などでの文字入力のしかたについて説明します。

入力画面について



文字入力画面

①画面タイトル
②カーソル
③ガイド
④現在の入力モード
⑤入力予測機能の設定
⑥現在入力済みの文字数／最大入力文字数または残り入力可能文字数の表示

「元に戻す」機能について

[元に戻す]を押すと、直前の動作を取り消すことができます。文字変換や削除、貼り付けなどで操作を間違えたときに押すと、確定前・削除前に戻すことができます。

- 元に戻すことができるのは直前の操作のみです。
- 文字変換の確定・削除など行った後、新たに次の操作を行った場合は[元に戻す]は使えません。

入力方式の設定について

お買い上げ時	かな方式

1 **● ▶**  **▶ 6 ▶ 5 を押す**

- 文字入力中に切り替えるときは、文字入力画面で[機能]▶「入力設定」を選択し、●▶「入力方式」を選択し、●を押します。

2 **項目を選択し、●を押す**

- 区点コードは文字入力画面で選択できます。

かな方式	1つのボタンに複数の文字が割り当ててあり、ボタンを押すたびに文字が替わります。
2タッチ方式	2つのボタンを押し、その組み合わせで文字を入力します。
区点コード	4桁の区点コードを入力し、コードに対応する文字を入力します。

かな方式

かな方式で文字を入力する

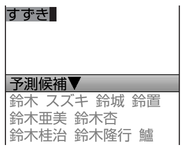
かな方式での文字入力について説明します。

- お買い上げ時の入力方式は「かな方式」、入力予測は「ON」、自動カーソル移動設定は「ON」に設定されています。
  入力予測機能の設定→P357
  自動カーソル移動設定→P355

漢字・ひらがなを入力する

＜例＞「鈴木」と入力するとき

1 **文字入力画面で「すずき」と入力する**



① **3を3回押す**：「す」が入力されます。
② **●を押す**：カーソルがひとつ右に移動します。
- 自動カーソル移動設定が「ON」のときは、自動的にカーソルが移動します。

③ **3を3回押す**：「す」が入力されます。
④ ***を押す**：濁点がつきます。
⑤ **2を2回押す**：「き」が入力されます。

- ダイヤルボタンの文字割当てについて→P365
- 入力予測をOFFにしているときは、予測候補は表示されません。
- 1文字削除するときは、CLRを押します。
- 確定していない文字をすべて削除する場合は、CLRを1秒以上押します。
- 濁点、半濁点のつけ方について→P351

■入力文字のサイズを変更するとき

- 文字入力画面によっては変更できない場合があります。

①[機能]▶「入力設定」を選択し、●を押す
②「文字サイズ」を選択し、●を押す
③1～3を押す

2 **▶「鈴木」を選択し、●を押す**

「すずき」が「鈴木」に変換されます。

- ひらがなのまま確定する場合は、を押さずに●を押してください。
- 漢字ひらがなモード以外のモードで入力した文字は変換できません。
- 文章が一度に変換されない場合は、文節ごとに手順2を繰り返してください。
- 確定しないで一度に入力できる文字は20文字までです。

■改行するとき

①改行する位置で[#]を押す

- 入力画面によっては改行できない場合があります。

■スペースをいれるとき

①[→]を押す

- 文字を入力しているときは、確定後に[→]を押します。
- 文中にスペースを挿入するときは、記号として挿入します。→P352

■変換の文節を変更するとき

①文字入力中に[←→]を押す

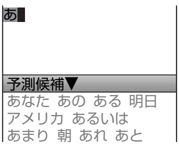
- 入力予測を「OFF」に設定しているときは、変換中に[←→]を押します。

入力予測を使って文字を入力する

入力予測機能を使うと、全文を入力しなくても予測候補から単語を選択して入力できます。一度入力した単語は自動的に学習情報として登録され、予測候補に反映されるので、よく使う文字の入力がすばやくできるようになります。

- 入力予測機能の設定について→P357
- 学習情報のリセットについて→P356

1 文字入力画面で「あ」を入力する



読みが「あ」で始まる単語を予測し、予測候補を表示します。

2 [↕]▶単語を選択し、[●]を押す

続けて入力する単語を予測し、予測候補に表示します。

- 予測候補が多数ある場合は、[↑]や[↓]で前後のページを見ることができます。

入力モード（入力する文字の種類）を切り替える

- 入力画面によって切り替えられる文字の種類は異なります。

1 文字入力画面で[文字]「文字」を押す



2 入力モードを選択し、[●]を押す

アイコン	モード
漢	漢字ひらがなモード
ア／ｱｲ	全角／半角カタカナモード
A／a	全角英大／小文字モード
AB／ab	半角英大／小文字モード
1／12	全角／半角数字モード
絵	絵文字モード
記	記号モード
顔	顔文字モード
かな	かなモード

- ダイヤルボタンを押しても選択できます。
- 文字入力画面で[絵記]「絵文字/記号」を押しても絵文字・記号・顔文字を入力できます。
- かなモードはユーザー辞書登録時の「よみ」入力画面でのみ使用できます。

文字を修正する

文字を挿入するとき

1 [✣]でカーソルを移動し、文字を入力する

カーソルがあたっている文字の左側に文字が挿入されます。

- スペースも記号として挿入できます。

文字を削除するとき

1 [✣]で文字を選択し、[CLR]を押す

カーソルがあたっている1文字が削除されます。

- カーソルが文中にある場合、１秒以上押すとカーソル以降の文字がすべて削除されます。
- カーソルが文末にある場合、カーソル左の1文字が削除されます。1秒以上押すとすべての文字が削除されます。

「゛」をつける・「゜」をつける・小文字にする

1 [✣]で文字を選択し、[＊]を押す

カーソルがあたっている文字に「゛」「゜」がつきます。または小文字になります。（文字によります。）

- 入力したい文字になるまで、[＊]を押してください。

カタカナ、英数字を入力する

それぞれの入力モードで入力する方法と、漢字ひらがなモードで入力して変換する方法があります。

<例>全角でSANYOと入力するとき

1 漢字ひらがなモードで[7]を4回▶[2]を1回▶[6]を2回▶[9]を3回▶[6]を3回押す

- 画面には「めかひるふ」と表示されています。
- ダイヤルボタンの文字割当てについて→P365

文字入力 かな方式

2 [i]［英数カナ］を押す

- 全角英大文字、半角英大文字、全角英小文字、半角英小文字、全角数字、半角数字、全角カタカナ、半角カタカナの変換候補が表示されます。

3 [1]「SANYO」を押す

定型文を入力する

- 定型文一覧→P368
- 定型文を編集／登録できます。→P354

1 文字入力画面で[i]［機能］▶「定型文」を選択し、●を押す



カテゴリごとに定型文一覧が表示されます。

2 [1]～[9]を押す

カーソル位置に定型文が挿入されます。

- [i]［カテゴリ］または◀▶を押すと、カテゴリが切り替わります。
- 全文を確認するときは、定型文を選択して[✉]［詳細］を押します。[✉]［一覧］を押すと、定型文一覧に戻ります。

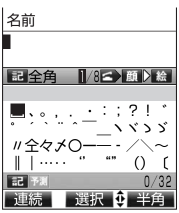
お知らせ

●挿入すると入力可能な文字数を超える場合、入力できない文字を含む定型文を挿入しようとした場合は、次のいずれかのようになります。
- エラーメッセージが表示され、挿入されない
- 入力可能な文字数まで挿入される
- 入力できない文字がスペースで置き換えられて挿入される（スペースが入力できない場合は削除される）

記号を入力する

- 記号一覧→P367
- 記号は入力可能なもののみ一覧表示されます。

1 文字入力画面で[文字]「文字」▶ 記 を選択し、●を押す



記号一覧が表示されます。

- 文字入力画面で[絵/記号]「絵文字/記号」を2回（絵文字が入力できない画面では1回）押しても表示されます。
- 以前使用した記号が一覧の1行目に履歴として表示されます。

2 記号を選択し、●を押す

- [i]を押すと、半角記号と全角記号を切り替えられます。

■記号を連続して入力するとき

①記号を選択し、[✉]［連続］を押す
②手順①を繰り返す
③●を押す

お知らせ

●漢字ひらがなモードで「きごう」と入力して変換しても、記号を入力できます。

絵文字を入力する

- 絵文字一覧→P367

1 文字入力画面で[文字]「文字」▶ 絵 を選択し、●を押す



絵文字一覧が表示されます。

- 文字入力画面で[絵/記号]「絵文字/記号」を1回押しても表示されます。（絵文字が入力できない画面では表示されません。）
- 以前使用した絵文字が一覧の1行目に履歴として表示されます。

2 絵文字を選択し、●を押す

- [i]を押すと、絵文字1と絵文字2を切り替えられます。

■絵文字を連続して入力するとき

①絵文字を選択し、[✉]［連続］を押す
②手順①を繰り返す
③●を押す

お知らせ

●単語によっては漢字ひらがなモードで入力してから、絵文字に変換できるものもあります。（例：「はれ」→☀）

顔文字を入力する

- 顔文字一覧→P368
- 顔文字を編集／登録できます。→P354

1 文字入力画面で[絵/記号]「文字」▶[顔]を選択し、●を押す



顔文字一覧が表示されます。
- 文字入力画面で[絵文字]「絵文字/記号」を3回（絵文字が入力できない画面では2回）押しても表示されます。（顔文字が入力できない画面では表示されません。）

2 [1]～[5]を押す

- 文字入力画面によっては入力モードが制限され、入力できない顔文字もあります。
- [i]［カテゴリ］または◀▶を押すと、カテゴリが切り替わります。

■ 顔文字を連続して入力するとき

①顔文字を選択し、[メール]［連続］を押す
②手順①を繰り返す
③●を押す

お知らせ

●漢字ひらがなモードで「かお」と入力して変換できる顔文字もあります。

いろいろな機能から引用して入力する

電話帳やスケジュールなどから文字データを引用して入力します。
- 引用できる機能は、文字入力画面によって異なります。
- 同じ機能からの引用はできません。（例：電話帳登録中に電話帳からは引用できません。）

1 文字入力画面で[i]［機能］を押す

2 引用先を選択し、●を押す

電話帳引用	電話帳を引用します。 ①電話帳を選択し、●▶項目を選択し、●を押す
履歴引用	リダイヤル、着信履歴、送信アドレス履歴、受信アドレス履歴を引用します。 ①[1]～[4]▶履歴を選択し、●▶●を押す
スケジュール引用	スケジュールに登録されている内容を引用します。 ①スケジュールを選択し、●▶項目を選択し、●を押す
テキストメモ引用	テキストメモを引用します。 ①テキストメモを選択し、●を押す
Bookmark引用	BookmarkのURLを引用します。 ①フォルダを選択し、●▶Bookmarkを選択し、●を押す
プロフィール引用	プロフィールを引用します。 ①項目を選択し、●を押す
位置情報引用	現在地確認で測位した位置情報や位置履歴、電話帳などに登録されている位置情報を引用します。 ・以降の操作：→P210「位置情報URLを貼り付けるとき」手順②～③

バーコードを利用して入力する

文字入力画面からバーコードリーダーを起動してバーコードを読み取り、文字を入力できます。

1 文字入力画面で[i]［機能］▶「バーコードリーダー」を選択し、●を押す

- 以降の操作：→P172「コードを読み取る」手順4～5
- 文字入力画面によってはバーコードリーダーを使えない場合があります。

文字リーダーを利用して入力する

文字入力画面から文字リーダーを起動して英数字・記号を読み取り、文字を入力します。
- 一度に読み取れる文字数は約49文字です。

1 文字入力画面で[i]［機能］▶「文字リーダー」を選択し、●を押す

- 以降の操作：→P174「文字を読み取る」手順4～6
- 文字入力画面によっては文字リーダーを使えない場合があります。

定型文編集

定型文を編集／登録する

お買い上げ時に登録されている定型文の編集や新しい定型文の作成／登録ができます。

1 ●▶[設定]▶[6 MNO は]▶[1 .@ あ]を押す

2 項目を選択し、●を押す

- [6 MNO は]「自由固定文」を選択すると、新しく定型文を作成して登録できます。

■ お買い上げ時に戻すとき

- 自由固定文に登録されている定型文は消去されます。

①項目を選択し、[メール]［リセット］を押す
②[1 .@ あ]「1件リセット」または[2 ABC か]「全件リセット」を押す
③端末暗証番号を入力し、●を押す
④[1 .@ あ]「はい」を押す
- 中止するときは[2 ABC か]「いいえ」を押します。

3 定型文を選択し、●を押す

4 定型文を編集し、●を押す

- 全角32文字（半角64文字）まで登録できます。
- 文字列をすべて削除した状態で●を押すと、お買い上げ時に戻ります。
- 定型文の文末に半角スペースは登録できません。文頭・文中の半角スペースは有効です。

顔文字編集

顔文字を編集／登録する

お買い上げ時に登録されている顔文字を編集して登録できます。

1 ●▶[設定]▶[6 MNO は]▶[2 ABC か]を押す

2 項目を選択し、●を押す

■ リセットするとき

①項目を選択し、[メール]［リセット］を押す
②[1 .@ あ]「1件リセット」または[2 ABC か]「全件リセット」を押す
③端末暗証番号を入力し、●を押す
④[1 .@ あ]「はい」を押す
- 中止するときは[2 ABC か]「いいえ」を押します。

3 顔文字を選択し、●を押す

4 顔文字を編集し、●を押す

- 全角7文字（半角14文字）まで登録できます。
- 文字列をすべて削除した状態で●を押すと、お買い上げ時に戻ります。
- 顔文字の文末に半角スペースは登録できません。文頭・文中の半角スペースは有効です。

文字コピー

文字のコピー・切り取りと貼り付け

入力した文字を範囲指定して、コピー・切り取りができます。コピー・切り取りされた文字列は、貼り付けデータに保存され、いつでも貼り付けできます。

- 貼り付けデータは18件または全件で合計全角5000文字（半角10000文字）まで保存できます。
- 貼り付けデータが18件保存されているとき、または貼り付けデータの合計文字数が全角5000文字（半角10000文字）を超えたときに新たにコピー・切り取りをすると、一番古いデータが自動的に削除されます。

文字をコピーする／切り取る

1 文字入力画面で[i]［機能］▶「コピー」を選択し、●を押す

- 切り取りをするときは「切り取り」を選択し、●を押します。
- 確定した文字にカーソルがあたっていないと、「コピー」、「切り取り」は選択できません。
- 「切り取り」は範囲指定した文字を貼り付けデータに保存し、元画面からは消去します。

2 始点を選択し、●を押す

3 終点を選択し、●を押す

範囲を指定してコピーする／切り取る

- [メール]［範囲］は確定した文字にカーソルがあたっていないと表示されません。

1 始点を選択し、[メール]［範囲］を押す

2 終点を選択し、●を押す

3 [1 .@ あ]「コピー」または[2 ABC か]「切り取り」を押す

■ ユーザー辞書に登録するとき

範囲の文字をユーザー辞書に登録します。
→P356
- 指定できる文字数は全角20文字（半角40文字）までです。

①[3 DEF さ]「ユーザー辞書登録」を押す
②「よみ」を入力し、●を押す

■ 英単語辞書を使用するとき

範囲の文字を英訳／和訳し、文字入力画面に入力します。

① 4「英単語辞書」を押す
- 翻訳候補が複数ある場合は、◎で単語を選択し、●を押します。
- 指定できる文字数は和英／カタカナ英語辞書の場合8文字（全角・半角ともに）まで、英和辞書の場合16文字（全角・半角ともに）までです。
- 翻訳結果で単語を選択して i［置換］を押すと、文字が単語に置換され、✉［挿入］を押すと範囲の左に挿入されます。

■ よみ確認をするとき

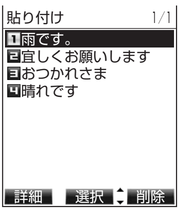
範囲の文章の漢字の読みを表示します。

① 5「よみ確認」を選択する
- 指定できる文字数は全角50文字（半角100文字）までです。
- 文章は文節ごとに表示されます。文節を選択し、●を押してください。

文字を貼り付ける

コピー・切り取りした文字を貼り付けデータから選択して文字入力画面に貼り付けます。画面によっては、貼り付けデータの一部分だけを選択して貼り付けることもできます。

1 貼り付ける位置で i［機能］▶「貼り付け」を選択し、●を押す



- 貼り付けできないデータは一覧画面に表示されない場合があります。

2 データを選択し、●を押す

■ 一部分だけ貼り付けるとき

① データを選択し、✉［詳細］を押す
② i［部分選択］を押す
③ 始点を選択し、●を押す
④ 終点を選択し、●を押す

■ 貼り付けデータを削除するとき

① データを選択し、i［削除］を押す
② 1「1件削除」を押す
- 2「全件削除」を押したときは、端末暗証番号を入力し、●を押します。

③ 1「はい」を押す
- 中止するときは 2「いいえ」を押します。

お知らせ

●貼り付けると入力可能な文字数を超える場合、入力できない文字を含むデータを挿入しようとした場合は、次のいずれかのようになります。
- エラーメッセージが表示され、挿入されない
- 入力可能な文字数まで挿入される
- 入力できない文字がスペースで置き換えられて挿入される（スペースが入力できない場合は削除される）

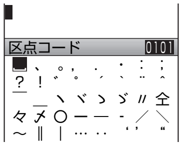
区点コード入力

区点コードで入力する

４桁の区点コードを入力し、コードに対応する文字を入力します。
- 区点コード一覧→P369

1 文字入力画面で i［機能］▶「入力設定」を選択し、●▶「入力方式」を選択し、●を押す

2 3「区点コード」を押す



3 区点コードを入力し、●を押す
- 区点コード一覧から文字を選択し、●を押しても入力できます。▼や▲で前後のページを見ることができます。
- 無効な区点コードは入力できません。
- 区点コード入力中に CLR を押すと１桁の区点コードを消去します。CLR を１秒以上押すとすべて消去します。

■ 文字を連続して入力するとき

① 区点コードを入力し、✉［連続］を押す
② 手順①を繰り返す
③ ●を押す

自動カーソル移動設定

カーソルを自動的に移動するようにする

お買い上げ時	ON

文字入力中に約1秒操作しないときに、カーソルを自動的に移動させるように設定します。同じ行の文字を続けて入力する際に便利です。
- かな方式で入力時のみ有効です。

1 ●▶  **▶6▶7を押す**

2 1「ON」を押す
- 自動的に移動させないときは、2「OFF」を押します。

文字入力中にON／OFFを切り替える

お買い上げ時	自動カーソル移動ON

1 文字入力画面でi［機能］▶「入力設定」を選択し、●を押す

2 「自動カーソル移動ON」または「自動カーソル移動OFF」を選択し、●を押す

ユーザー辞書登録

よく使う単語を登録する

よく使う言葉や単語を登録しておくと、変換候補や予測候補に表示されるようになります。長い言葉などを短いよみで登録しておくと便利です。

- 100件まで登録できます。

単語を新規登録する

1 ●▶設定▶6▶3を押す

ユーザー辞書一覧画面が表示されます。

2 i［新規］を押す

3 よみを入力し、●を押す

- 全角ひらがなで20文字まで登録できます。

4 単語を入力し、●を押す

ユーザー辞書編集
1よみ
さんよう
2単語
三洋電機

- 全角20文字（半角40文字）まで登録できます。

5 i［登録］を押す

お知らせ

●ユーザー辞書一覧では「よみ」の50音順に表示されます。

登録した単語を編集する

1 ユーザー辞書一覧画面でユーザー辞書を選択し、●を押す

2 1「よみ」または2「単語」を押す

3 内容を編集し、●を押す

4 i［登録］を押す

登録した単語を削除する

1 ユーザー辞書一覧画面でユーザー辞書を選択し、m［削除］を押す

2 1「1件削除」を押す

■選択削除するとき

①2「選択削除」を押す
②ユーザー辞書を選択し、●を押す
- 解除するときは●を押します。

③i［実行］を押す

■全件削除するとき

①3「全件削除」を押す
②端末暗証番号を入力し、●を押す

3 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

学習情報リセット

学習情報を初期状態に戻す

文字入力で学習した情報をリセットします。

- 絵文字・記号の入力履歴も削除されます。
- リセットされた学習情報は元に戻せません。

1 ●▶設定▶6▶8を押す

2 1「はい」▶端末暗証番号を入力し、●を押す

3 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

ダウンロード辞書

ダウンロードした辞書を使用する

ダウンロード辞書を設定しておくと、入力予測で予測候補として表示されるようになります。

- 合計で約64Kバイトまで、または5件まで設定できます。
- あらかじめ辞書データをダウンロードしておく必要があります。

1 ●▶設定▶6▶4を押す

2 辞書を選択し、●を押す

- 解除するときは、●を押します。
- m［確認］を押すと、辞書の詳細を確認できます。単語を選択して●を押すと、「よみ」を確認できます。

3 i［実行］▶1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

入力予測

入力予測機能を設定する

お買い上げ時	ON

1 ●▶設定▶6▶6を押す

2 1「ON」または2「OFF」を押す

文字入力中にON／OFFを切り替える

お買い上げ時	入力予測ON

1 文字入力画面でi［機能］▶「入力設定」を選択し、●を押す

2 「入力予測ON」または「入力予測OFF」を選択し、●を押す

お知らせ

●「入力予測ON」設定時の文字入力中、変換中に✉［変換］または✉［予測］を押すと、一時的に入力予測ON／OFFを切り替えられます。「入力予測ON」から「入力予測OFF」に切り替えたときに、1度で目的の文字に変換されない場合は、◎を押してください。変換候補が一覧で表示されます。

2タッチ方式

２タッチ方式で文字を入力する

2つのダイヤルボタンを押し、その組み合わせで文字を入力します。

- 数字、絵文字、記号、顔文字の入力方法はかな方式と同じです。
- 入力方式の設定→P350

入力モードを切り替える

２タッチ方式で入力中は、漢字ひらがなモード、全角カタカナモード、半角カタカナモード、半角英字モード、かなモードのアイコンが次のように変わります。

- 漢：漢字ひらがなモード
- ア：全角カタカナ／英字モード
- ｱA：半角カタカナ／英字モード
- Aa：半角大小英字モード
- かな：かなモード

- 入力モードの切り替えかたは、かな方式と同じです。→P351
- かなモード以外は、すべて英数字入力が可能です。

文字を入力する

<例>「すずき」と入力するとき

1 文字入力画面で「すずき」と入力する

①3▶3を押す：「す」が入力されます。
②3▶3を押す：「す」が入力されます。
③*を押す　　：濁点がつきます。
④2▶2を押す：「き」が入力されます。

- 以降の操作はかな方式と同じです。→P350
- ダイヤルボタンの文字割当てについて→P366

付録／外部機器連携／困ったときには

メニュー一覧 360
お買い上げ時に登録されているデータ 363
ダイヤルボタンの文字割当て一覧（かな方式） 365
ダイヤルボタンの文字割当て一覧（2タッチ方式） 366
記号・絵文字・顔文字一覧 367
定型文一覧 368
区点コード一覧 369
FMラジオ放送局一覧 373
マルチアクセスの組み合わせについて 375
マルチタスクの組み合わせについて 376
FOMA端末から利用できるサービス 377
オプション・関連機器のご紹介 378

外部機器との連携

データリンクソフトのご紹介 378
動画再生ソフトのご紹介 379

困ったときには

故障かな？と思ったら、まずチェック 379
こんな表示が出たら .... <エラーメッセージ一覧> 381
保証とアフターサービス 385
ソフトウェアを更新する .... <ソフトウェア更新> 387
障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る .... <スキャン機能> 392
主な仕様 394
FOMA端末の保存・登録・保護件数 395
携帯電話機の比吸収率（SAR）について 396

メニュー一覧

メインメニューから各機能を選択した場合のボタン操作または選択するアイコンを記載しています。

- メインメニューは、待受画面で◉を押すと表示されます。
- ■の設定は、設定リセットを行ってもお買い上げ時の設定には戻りません。

メール

機能名	お買い上げ時	参照先
メール設定		
1 iモード問合せ設定	すべて問合せ	P230
2 添付ファイル受信設定	画像とメロディ	P231
3 メール選択受信設定	OFF	P230
4 メロディ自動再生設定	自動再生する	P231
5 受信優先設定	受信通知優先	P232
6 署名設定	OFF	P230
7 引用符編集	＞（半角）	P230
8 スクロール設定	1行	P232
9 返信自動学習	ON	P231
⊙1 送信グループ登録	登録なし	P230
⊙2 SMS送達通知設定	OFF	P236
⊙3 SMSメッセージ有効期限	3日※1	P236
⊙4 SMS入力文字種設定	日本語※1	P237
⊙5 SMSセンター設定	ドコモ※1	P237
⊙6 メール設定確認	－	P232
⊙7 メール設定リセット	－	P232
パーソナル検索	－	P228
SMS新規作成	－	P235
iモード問合せ	－	P218
受信BOX	－	P221
メール新規作成	－	P209
メール選択受信	－	P217
送信BOX	－	P221
チャットメール	－	P232
SMS問合せ	－	P236
未送信BOX	－	P221
デコメールテンプレート	－	P213

iモード

機能名	お買い上げ時	参照先
iモード設定		
1 スクロール設定	1行	P196
2 画像表示設定	表示する	P196
3 メッセージ自動表示設定	メッセージR優先	P197
4 メッセージ添付メロディ設定	自動再生する	P197
5 iモーション自動再生設定	自動再生する	P202
6 端末情報データ利用設定	利用する	P195
7 効果音設定	再生する	P195
8 iモード問合せ設定	すべて問合せ	P230
9 接続待ち時間設定	60秒間	P194
⊙1 接続先設定	iモード（FOMAカード）	P195
⊙2 証明書センター接続先設定	ドコモ	P201
⊙3 証明書設定	すべて選択	P199
⊙4 ユーザ証明書操作	－	P199
⊙5 iモード設定確認	－	P196
⊙6 iモード設定リセット	－	P196
メッセージR	－	P197
メッセージF	－	P197
画面メモ	－	P190
i Menu	－	P183
Bookmark	－	P189
ラストURL	－	P184
Internet	－	P187
iモード問合せ	－	P197

iアプリ※2

FMラジオ※2

データBOX※2

設定

機能名	お買い上げ時	参照先
1 音/バイブレータ		
1 音量設定	OKトーン、NGトーン：LEVEL1 その他：LEVEL3	P119
2 音設定	※2	P116
3 バイブレータ設定	すべてOFF	P119
4 LED設定	※2	P133
5 通知時間設定	すべて5秒	P122
6 マナー	マナーモード：サイレントバイブ タイマーモード：連続モード	P123
7 呼出バイブ	OFF	P120
2 ディスプレイ		
1 待受画面設定	※2	P125
2 発着信画面設定	※2	P128
3 背面時計設定	時計（小）	P128
4 背面通知表示	ON	P129
5 背面表示	時間経過でOFF	P129
6 照明	※2	P129
7 文字サイズ	すべて標準	P135
8 テイスト設定	※2	P131
3 セキュリティ		
1 端末暗証番号変更	0000	P140
2 シークレットモード	OFF	P148
3 セルフモード	OFF	P144
4 オールロック	OFF	P142
5 遠隔オールロック	OFF	P143
6 ダイヤル発信制限	OFF	P146
7 FOMAカード（UIM）	OFF※1	P140
8 PIMロック	OFF	P145
9 着信拒否設定	OFF	P148～150、P152
1 発着信履歴表示	リダイヤル/送信アドレス履歴：ON 着信/受信アドレス履歴：ON	P148
4 通話/通信		
1 時間/料金	―	P328
2 通話上限値設定	OFF	P329
3 通話時間表示	ON	P328
4 エニーキーアンサー	ON	P64
5 開閉通話設定	オープン通話：OFF クローズ動作：切断	P65
6 オート着信	OFF	P331
7 イヤホン自動発信設定	OFF	P331
8 着信音出力先切替	イヤホン＋スピーカー	P122
9 呼出動作開始時間	無音時間設定：OFF 無音着信履歴表示：ON	P151
1 通話品質調整機能	※2	P62、P121
2 サブアドレス設定	ON	P61
3 プレフィックス設定	―	P60
4 国際ダイヤル設定	※2	P59
5 USBモード設定	通信モード	P292、P346
5 テレビ電話		
1 発信時自画像送信	ON	P90
2 音声自動再発信設定	OFF	
3 テレビ電話画面設定	両方	
4 画面サイズ設定	拡大表示	
5 送信画質設定	標準	
6 テレビ電話画像選択	※2	P88
7 テレビ電話ハンズフリー設定	ON	P88
6 文字入力		
1 定型文編集	―	P354
2 顔文字編集	―	P354
3 ユーザー辞書編集	―	P356
4 ダウンロード辞書	なし	P356
5 入力方式	かな方式	P350
6 入力予測	ON	P357
7 自動カーソル移動	ON	P355
8 学習情報リセット	―	P356
7 時計		
1 日付時刻設定	自動	P50
2 GPS時刻設定	OFF	P50
3 オートパワーON	OFF	P316
4 オートパワーOFF	OFF	
8 リセット		
1 設定リセット	―	P332
2 データ一括削除	―	P334
9 ユーザー補助		
1 設定状況確認	―	P332
2 ボイス通知	時刻＋通知一覧	P336
3 Select language	日本語※1	P136
4 電池レベル表示	―	P47
5 スキャン機能	スキャン機能設定：有効	P392
6 ソフトウェア更新	―	P387
7 ガイド機能	―	P38

プライベート

機能名	お買い上げ時	参照先
1 電話帳	※2	P94
2 カレンダー	※2	P319
3 履歴		
1 リダイヤル	※2	P56
2 着信履歴	※2	P66
3 送信アドレス履歴	※2	P228
4 受信アドレス履歴	※2	P228
4 メモメニュー		
1 テキストメモ	―	P330
2 伝言メモ設定	OFF	P77
3 伝言メモ再生	―	P80
4 通話中音声メモ再生	―	P327

次ページへつづく

機能名	お買い上げ時	参照先
5 ダイヤルメモ	―	P69
5 プロフィール	―	P326

生活ツール

機能名	お買い上げ時	参照先
1 バーコードリーダー	―	P172
2 赤外線通信	―	P298
3 miniSD	―	P287
4 カメラ		
1 フォト撮影	※2	P163
2 ムービー撮影	※2	P166
3 バーコードリーダー	―	P172
4 文字リーダー	―	P174
5 電卓	―	P329
6 アラーム	すべてOFF	P316
7 英単語辞書		
1 和英辞書	―	P335
2 英和辞書	―	P335
3 カタカナ英語辞書	―	P335
4 英単語クイズ	レベル1挑戦中 挑戦回数0回	P335
5 カメラde辞書	―	P335
8 ボイスレコーダー	※2	P301
9 ミュージックプレイヤー	※2	P306
◎1 オリジナルデータ	―	P293
◎2 GPS		
通知/提供設定	※2	P260、262
位置履歴	―	P265
現在地確認設定	※2	P257
GPSソフト	―	P260
現在地確認	―	P256
ナビゲーション	―	P258
◎3 簡易コンパス	―	P336

NWサービス

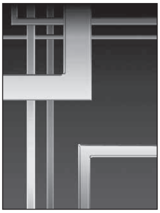
機能名	お買い上げ時	参照先
1 留守番電話	※2	P338
2 キャッチホン	―	P339
3 転送でんわ	―	P340
4 迷惑電話ストップ	―	P340
5 発信者番号通知	―	P51
6 番号通知お願いサービス	―	P341
7 通話中着信設定	―	P341
8 着信動作選択	通常着信	P341
9 遠隔操作設定	―	P342
◎1 デュアルネットワーク	―	P341
◎2 英語ガイダンス	―	P341
◎3 追加サービス	―	P343
◎4 サービスダイヤル	―	P341
◎5 マルチナンバー	※2	P342

※1 ご使用のFOMAカードが新規ご契約のものでない場合は、FOMAカードの設定によって異なる場合があります。
※2 設定内容については設定リセットをご覧ください。
→P332

お買い上げ時に登録されているデータ

■ 待受画面


スプライン


スクエア


ファンシー


アニマル

■ 発着信画面、テレビ電話画像、アラーム画像


発信（音声）


着信（音声）


発信（テレビ電話）


着信（テレビ電話）



着信（番号表示なし）



カメラオフ（テレビ電話）



伝言メモ（テレビ電話）


応答保留（テレビ電話）


通話中保留（テレビ電話）


アラーム画像

■ メニューアイコン



サークル



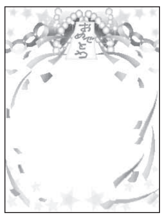
パネル

■ フレーム





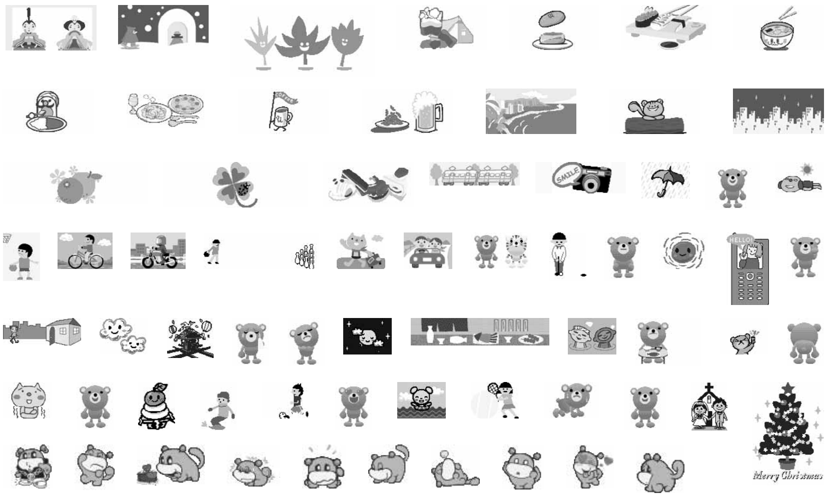




■ スタンプ



■ デコメールピクチャ



©BVIG

■ デコメールテンプレート


ごめんね


お久しぶり！


NEW YEAR CARD


HAPPY!


花火


バーベキュー


海


ブンブン１


ブンブン２


ブンブン３


メリークリスマス


HAPPY BIRTHDAY


お花見


結婚おめでとう

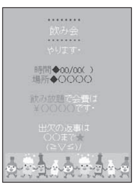

ありがとう

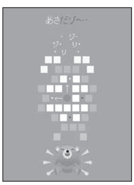

ｺﾞﾊﾝに行こう


暑中お見舞い


オッケー


お願い！


飲み会


あさだゾ〜☀


只今移動中

※画面はイメージです。

©BVIG

ダイヤルボタンの文字割当て一覧（かな方式）

ダイヤルボタンを必要回数押して文字を入力します。
カタカナ・英字・数字モードでは入力モードに従って、全角文字または半角文字が入力されます。

ボタン	入力モード				
	漢字ひらがな	カタカナ	英字（大文字）	英字（小文字）	数字
1	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ｧｨｩｪｫ	．＠－＿／：～1 .@-_/:~1	．＠－＿／：～1 .@-_/:~1	1
2	かきくけこ	カキクケコ	ABC2	abc2	2
3	さしすせそ	サシスセソ	DEF3	def3	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	GHI4	ghi4	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	JKL5	jkl5	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNO6	mno6	6
7	まみむめも	マミムメモ	PQRS7	pqrs7	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	TUV8	tuv8	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZ9	wxyz9	9
0	わをんゎ、。ー・～！？□	ワヲンヮ、。ー・～！？□ ﾜｦﾝ､｡ｰ-･~!?□	0	0	0
*	゛（濁点）　゜（半濁点） 大文字・小文字の切替		大文字・小文字の切替		
#	文字確定前：入力した文字をボタンに割り当てられた１つ前の文字にする 文字確定後：改行※1				改行※1
	絵文字／記号／顔文字の挿入				

- □はスペースです。入力画面によっては入力できない場合があります。
- 入力画面により、入力できない文字や記号は表示されません。
- * ・ # は電話番号入力画面では「＊」・「＃」の入力になります。
- ▢は半角モードで入力した場合です。

※1 入力画面によっては改行できない場合があります。

ダイヤルボタンの文字割当て一覧（2タッチ方式）

■ 漢字ひらがなモード、かなモード（漢 かな※3表示時）

		2桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
	2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
	3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
	4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
	5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
	6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	?	!	—	／
	7	ま	み	む	め	も	¥	&		☎	
	8	や	(	ゆ	)	よ	*	#		♥	※1
	9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
	0	わ	を	ん	゛※2	゜※2	6	7	8	9	0

- 空欄はスペースです。

※1 8▶0と押すと、大文字／小文字入力を切り替えます。小文字で入力できるのは　の文字です。文字を入力してから*を押しても大文字／小文字入力を切り替えられます。（その文字に対してのみの切り替えです。）

例：「ぁ」を入力する場合→8▶0▶1▶1または1▶1▶*

※2 「゛」と「゜」は、小文字モードでは「,」と「。」の入力になります。

※3 かな 表示時はひらがな以外入力無効です。

■ 全角カタカナモード、半角カタカナモード、半角英字モード（ア ｱA Aa※3表示時）

		2桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	ア	イ	ウ	エ	オ	A	B	C	D	E
	2	カ	キ	ク	ケ	コ	F	G	H	I	J
	3	サ	シ	ス	セ	ソ	K	L	M	N	O
	4	タ	チ	ツ	テ	ト	P	Q	R	S	T
	5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	U	V	W	X	Y
	6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	Z	?	!	—	／
	7	マ	ミ	ム	メ	モ	¥	&		☎	
	8	ヤ	(	ユ	)	ヨ	*	#		♥	※1
	9	ラ	リ	ル	レ	ロ	1	2	3	4	5
	0	ワ	ヲ	ン	゛※2	゜※2	6	7	8	9	0

- 空欄はスペースです。

※1 8▶0と押すと、大文字／小文字入力を切り替えます。小文字で入力できるのは　の文字です。文字を入力してから*を押しても大文字／小文字入力を切り替えられます。（その文字に対してのみの切り替えです。）

例：「ァ」を入力する場合→8▶0▶1▶1または1▶1▶*

※2 「゛」と「゜」は、小文字モードでは「,」と「。」の入力になります。

※3 Aa 表示時は英字・数字・記号以外入力無効です。

お知らせ

●入力画面によって入力できない文字があります。

●半角カタカナモード以外で「゛」・「゜」は単独で入力できません。

記号・絵文字・顔文字一覧

■ 記号一覧

半角			
␣ ! ” # $ % & ’ ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~ 。「 」、・ ー ゛ ゜			
全角			
␣、。，．・：；？！゛ ゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ 〃仝々〆〇ー―‐／＼～ ∥｜…‥‘’“”（）〔	〕［］｛｝〈〉《》「」 『』【】＋－±×÷＝≠ ＜＞≦≧∞∴♂♀°′″ ℃￥＄¢£％＃＆＊＠§ ☆★○●◎◇◆□■△▲	▽▼※〒→←↑↓＝∈∋ ⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨¬⇒⇔ ∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫ √∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪ †‡¶◯ゎゐゑヮヰヱヴ	ヵヶΑΒΓΔΕΖΗΘΙ ΚΛΜΝΞΟΠΡΣΤΥ ΦΧΨΩαβγδεζη θικλμνξοπρσ τυφχψωАБВГД
ЕЁЖЗИЙКЛМНО ПРСТУФХЦЧШЩ ЪЫЬЭЮЯабвгд еёжзийклмно прстуфхцчшщ	ъыьэюя─│┌┐ └┘├┬┤┴┼━┃┏┓ ┛┗┣┳┫┻╋┠┯┨┷┿ ┝┰┥┸╂	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪ ⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ⅠⅡ ⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩ㍉㌔㌢ ㍍㌘㌧㌃㌶㍑㍗㌍㌦㌣㌫ ㍊㌻㎜㎝㎞㎎㎏㏄㎡㍻〝	〟№㏍℡㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲ ㈹㍾㍽㍼∮∟⊿

- ␣はスペースです。
- 入力できない記号は表示されません。

■ 絵文字一覧

絵文字1



絵文字2



お知らせ

●「絵文字」をｉモード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されない場合があります。また、ｉモード端末でも相手の機種によっては正しく表示されない場合があります。

次ページへつづく

■ 顔文字一覧

カテゴリ	内　容	カテゴリ	内　容	カテゴリ	内　容
笑い	o(^−^)o (^0^) (^o^)／ (*^_^*) (^_^)v	挨拶	(−^○^−) (*^o^*) (‘o‘)ノ (・o・)ノ (~つ~)/	その他	(−.−)zzZ m(_ _)m ZZzz。。.. V(^−^)V (^з^)−☆Chu!!
泣き	(T_T) (ToT) (>_<) (;_;) (∋_∈)	汗	(^_^;) (−.−;) (^。^;) (−o−;) f^_^;		
怒り	(`ε´) (`へ´) (−_−#) (−″−;) (`o´)	えっ？	(・_・)エッ..? (・_・;) (*_*) (?_?) (￣○￣;)		

定型文一覧

カテゴリ	内　容
インターネット	@docomo.ne.jp
	.ne.jp
	.co.jp
	.com
	.or.jp
	.ac.jp
	http://
	www.
	http://www.
挨拶	ありがとうございました
	おはようございます
	お疲れ様です
	こんにちは
	こんばんは
	おやすみなさい
	Happy birthday!
	A HAPPY NEW YEAR!
	Merry Christmas!
伝言	連絡ください
	携帯に電話して
	メールして
	あとで電話するね
	またメールするね
	遅れます
	すぐ行きます
	迎えにきて！
	がんばって！！

カテゴリ	内　容
返事	Thank you!
	ありがとう
	ごめんなさい
	ＯＫ！
	ＮＧ！
	了解！
	ゴメン！
	大丈夫！
	今電話できない
ビジネス	いつもお世話になっております。
	至急電話ください。
	電車遅延のため、遅れます。
	申し訳ありません。
	よろしくお願いいたします。
	後ほどご連絡いたします。
	変更します。
	中止します。
	延期します。
自由固定文（9件）	

区点コード一覧

- 区点コード一覧の表示は、実際と表示の見え方が異なる場合があります。
- 区点コード一覧で該当する文字がない区点コードを入力すると、スペースが入力される場合と、入力自体ができない場合があります。

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐

次ページへつづく

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
す										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ～の										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
					ま					
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
					み					
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
					む					
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
					め					
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
					も					
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
					や					
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
					ゆ					
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
					よ					
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
					ら					
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
					り					
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
					る～れ					
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
					ろ					
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
					わ					
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	競	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					

次ページへつづく

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

FMラジオ放送局一覧

エリア		放送局名	周波数（MHz）
北海道・東北			
	北海道	AIR-G'	80.4
		FM NORTH WAVE	82.5
		NHK-FM	85.2
	青森	FM青森	80.0
		エフエム岩手	76.1
		NHK-FM	86.0
	岩手	エフエム岩手	76.1
		Date fm	77.1
		NHK-FM	83.1
	宮城	Date fm	77.1
		NHK-FM	82.5
	秋田	FM秋田	82.8
		エフエム岩手	76.1
		NHK-FM	86.7
	山形	Boy-FM	80.4
		Date fm	77.1
		NHK-FM	82.1
	福島	ふくしまFM	81.8
		Date fm	77.1
		NHK-FM	85.3
関東			
	東京	TOKYO FM	80.0
		J-WAVE	81.3
		Inter FM	76.1
		FMヨコハマ	84.7
		ＮＡＣＫ５	79.5
		bayfm78	78.0
		FM-FUJI	83.0
		放送大学	77.1
		NHK-FM	82.5
	神奈川	FMヨコハマ	84.7
		TOKYO FM	80.0
		FM-FUJI	83.0
		J-WAVE	81.3
		ＮＡＣＫ５	79.5
		bayfm78	78.0
		Inter FM	76.5
		NHK-FM	81.9
	埼玉	ＮＡＣＫ５	79.5
		TOKYO FM	80.0
		FMヨコハマ	84.7
		FM-FUJI	83.0
		J-WAVE	81.3
		bayfm78	78.0
		Inter FM	76.1
		NHK-FM	85.1
	千葉	bayfm78	78.0
		TOKYO FM	80.0
		FMヨコハマ	84.7
		J-WAVE	81.3
		ＮＡＣＫ５	79.5
		Inter FM	76.1
		NHK-FM	80.7
	茨城	TOKYO FM	80.0
		J-WAVE	81.3
		ＮＡＣＫ５	79.5
		bayfm78	78.0
		Inter FM	76.1
		NHK-FM	83.2
	栃木	RADIO BERRY	76.4
		TOKYO FM	80.0
		FMぐんま	86.3
		J-WAVE	81.3
		ＮＡＣＫ５	79.5
		NHK-FM	80.3
	群馬	FMぐんま	86.3
		TOKYO FM	80.0
		放送大学	78.8
		J-WAVE	81.3
		ＮＡＣＫ５	79.5
		NHK-FM	81.6
北陸・甲信越			
	新潟	FM新潟	77.5
		FM PORT	79.0
		NHK-FM	82.3
	富山	FMとやま	82.7
		FM石川	80.5
		NHK-FM	81.5
	石川	FM石川	80.5
		FM福井	76.1
		FMとやま	82.7
		NHK-FM	82.2
	福井	FM福井	76.1
		FM石川	80.5
		NHK-FM	83.4
	長野	FM長野	79.7
		NHK-FM	84.0
	山梨	FM-FUJI	83.0
		TOKYO FM	80.0
		NHK-FM	85.6
東海			
	岐阜	Radio80	80.0
		FM AICHI	80.7
		FM三重	78.9
		ZIP-FM	77.8
		RADIO-i	79.5
		NHK-FM	83.6
	静岡	K-MIX	79.2
		FMヨコハマ	84.7

次ページへつづく

エリア		放送局名	周波数（MHz）
	静岡	RADIO-i	79.9
		NHK-FM	88.8
	愛知	FM AICHI	80.7
		ZIP-FM	77.8
		RADIO-i	79.5
		FM三重	78.9
		Radio80	80.0
		NHK-FM	82.5
	三重	FM三重	78.9
		FM AICHI	80.7
		ZIP-FM	77.8
		RADIO-i	79.5
		Radio80	80.0
		NHK-FM	81.8
近畿			
	大阪	fm osaka	85.1
		FM802	80.2
		FMCOCOLO	76.5
		Kiss-FM KOBE	89.9
		α-STATION	89.4
		FM徳島	80.7
		NHK-FM	88.1
	兵庫	Kiss-FM KOBE	89.9
		fm osaka	85.1
		FM香川	78.6
		FM802	80.2
		α-STATION	89.4
		FM徳島	80.7
		FMCOCOLO	76.5
		NHK-FM	86.5
	京都	α-STATION	89.4
		fm osaka	85.1
		FM802	80.2
		Kiss-FM KOBE	89.9
		FMCOCOLO	76.5
		NHK-FM	82.8
	奈良	fm osaka	85.1
		FM802	80.2
		Kiss-FM KOBE	89.9
		α-STATION	89.4
		FMCOCOLO	76.5
		NHK-FM	87.4
	滋賀	e-radio	77.0
		fm osaka	85.1
		FM802	80.2
		α-STATION	89.4
		FMCOCOLO	76.5
		Radio80	80.0
		NHK-FM	84.0
	和歌山	fm osaka	85.1
		FM802	80.2
		FM徳島	80.7
		FMCOCOLO	76.5
		NHK-FM	84.7

エリア		放送局名	周波数（MHz）
中国・四国			
	鳥取	V-air	78.8
		NHK-FM	85.8
	島根	V-air	77.4
		NHK-FM	84.5
	岡山	FM岡山	76.8
		FM愛媛	79.7
		広島FM	78.2
		V-air	77.4
		FM香川	78.6
		NHK-FM	88.7
	広島	広島FM	78.2
		FM愛媛	79.7
		V-air	77.4
		NHK-FM	88.3
	山口	FM山口	79.2
		FM愛媛	79.7
		広島FM	78.2
		V-air	77.4
		CROSS FM	78.7
		LOVE FM	76.1
		NHK-FM	85.3
	徳島	FM徳島	80.7
		fm osaka	85.1
		NHK-FM	83.4
	香川	FM香川	78.6
		fm osaka	85.1
		FM愛媛	79.7
		広島FM	78.2
		FM徳島	80.7
		FM岡山	76.8
		NHK-FM	86.0
	愛媛	FM愛媛	79.7
		広島FM	78.2
		FM山口	79.2
		NHK-FM	87.7
	高知	FM高知	81.6
		FM徳島	80.7
		NHK-FM	87.5
九州・沖縄			
	福岡	FM福岡	80.7
		CROSS FM	78.7
		LOVE FM	76.1
		FMK	77.4
		FM山口	79.2
		FM佐賀	77.9
		NHK-FM	84.8
	佐賀	FM佐賀	77.9
		FM福岡	80.7
		SMILE-FM	79.5
		FMK	77.4
		CROSS FM	78.7
		LOVE FM	76.1
		NHK-FM	81.6

エリア		放送局名	周波数（MHz）
	長崎	SMILE-FM	79.5
		FMK	77.4
		FM佐賀	77.9
		LOVE FM	76.1
		NHK-FM	84.5
	熊本	FMK	77.4
		FM福岡	80.7
		SMILE-FM	79.5
		FM佐賀	77.9
		μFM	79.8
		CROSS FM	78.7
		LOVE FM	76.1
		NHK-FM	85.4
	大分	FM大分	88.0
		FM福岡	80.7
		FM愛媛	79.7
	大分	FM山口	79.2
		CROSS FM	78.7
		NHK-FM	88.9
	宮崎	JOY FM	83.2
		μFM	79.8
		NHK-FM	86.2
	鹿児島	μFM	79.8
		JOY FM	83.2
		NHK-FM	85.6
	沖縄	FM沖縄	87.3
		NHK-FM	88.1
TV音声			
	共通	TV-1ch	95.7
		TV-2ch	101.7
		TV-3ch	107.7

マルチアクセスの組み合わせについて

マルチアクセスで使用できる機能の組み合わせは次のとおりです。

○：使用中の機能を終了することなく、実行できます。

×：実行できません。

			使用中の機能				
			音声電話通話中	テレビ電話通話中	パケット通信中	64Kデータ通信中	iモード接続中
発生する機能	音声電話	発信	×※1	×	○	×	○
		着信	×※2	×※3	○	×※3	○
	テレビ電話	発信	×	×	×	×	○※8
		着信	×※3	×※4	×※4	×※4	×※4
	パケット通信	発信	○	×	×	×	×
	64Kデータ通信	発信	×	×	×	×	×
		着信	×※3	×※4	×※4	×※4	×※4
	iモード接続		○	×	×	×	×
	iモードメール	送信	○	×	×	×	○※7
		受信※5	○※6	×	×	×	○※7
	SMS	送信	○	×	○	○	○
		受信	○※6	○※6	○	○※6	○

※1 キャッチホンをご契約されている場合、現在の通話を保留し、別の相手に電話をかけられます。

※2 キャッチホンをご契約されている場合、通話中にかかってきた電話を受けられます。また、留守番電話サービス、転送でんわサービスをご契約の場合は着信動作選択で設定しておくと、各サービスで対応できます。→P341

※3 キャッチホン、留守番電話サービス、転送でんわサービスのいずれかをご契約されている場合、現在の通話／通信を終了すると着信を受けられます。→P341

※4 着信があった場合は、着信履歴に不在着信として残ります。

※5 メッセージR/F受信の場合も含みます。

※6 着信音は鳴らず、受信したことをアイコンでお知らせします。ただし、64Kデータ通信中は、アイコンまたは受信画面でお知らせします。

※7 iモード設定のユーザ証明書操作を起動中は、iモードメール／メッセージR/Fの送受信、iモード問合せはできません。

※8 テレビ電話をかけると、iモード通信を切断します。通話を終了するとiモードの画面に戻ります。

マルチタスクの組み合わせについて

現在実行中／設定中の機能ごとに、新規起動できるタスクメニュー項目の選択可否を次に示します。

○：起動・切り替えができます。　×：起動できません。

実行中の機能／新規起動タスクメニュー	ダイヤル入力中	音声電話通話中	テレビ電話通話中	iモード接続中	iアプリ起動中	メール作成中※1	メール・メッセージ閲覧中※1	メール送信中※1 iモード問合せ メール・メッセージ受信中	チャットメール	データBOX 生活ツール（1） FMラジオ※2	プライベート 生活ツール（2） 直デン	プロフィール	生活ツール（3）	生活ツール（4）
ダイヤル入力	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メール（1） iモード（1）※3 チャネル一覧	○	○	×	×	×	○	○※4	○	○※4	○	○	○	○	×
iアプリ	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○※12	○	○	○	×※5
メール（2）※3 iモード（2）	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○※14	○	○	○	○
メール（3） iモード（3）	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○※19
メール（4）※3	○	○	×	○	○	×※6	○	○※7	×	○※17	○	○	○	○
チャットメール	○	○	×	○	○	×	×	○	×	○※12	○	○	○	○
データBOX 生活ツール（1）※3 FMラジオ	○	○※8	×	○	○※15	○	○	○	○※15	×	○※15	○	○※16	○※20
プライベート※3 生活ツール（2） 直デン	○	○※9	×	○	○	○	○	○	○	○※12	×	○	○	○
プロフィール	○	○	○※10	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
生活ツール（3）※3	○	○	×※11	○	○	○	○	○	○	○※13	○	○	×※11	×※11
生活ツール（4）	○	○	×	×	×※5	○	○	○※18	○	○※12	○	○	×	×

メール（1）　：メール選択受信
メール（2）　：受信BOX、送信BOX、未送信BOX、パーソナル検索
メール（3）　：iモード問合せ、SMS問合せ
メール（4）　：メール新規作成、SMS新規作成、デコメールテンプレート
iモード（1）：i Menu、Bookmark、Internet、画面メモ、ラストURL
iモード（2）：メッセージR、メッセージF
iモード（3）：iモード問合せ
生活ツール（1）：バーコードリーダー、miniSD、カメラ、和英辞書、英和辞書、カタカナ英語辞書、英単語クイズ、カメラde辞書、ボイスレコーダー、ミュージックプレイヤー
生活ツール（2）：電卓、アラーム
生活ツール（3）：GPS（現在地確認、位置履歴、現在地通知、現在地通知先一覧）
生活ツール（4）：GPS（ナビゲーション、GPSソフト、サービス利用設定）、簡易コンパス

※1 iモードメール、SMSを含みます。
※2 静止画の連続撮影中、動画撮影中、アフレコ編集中は新規タスクを起動できません。
※3 FOMA端末とminiSDメモリーカードで同じ機能を起動することはできません。（FOMA端末電話帳とminiSDメモリーカード内の電話帳データなど）
※4 メール選択受信はできません。
※5 ナビゲーションは起動できます。
※6 デコメールテンプレートは起動できます。
※7 メール送信中は起動できません。
※8 データBOX、miniSD、ムービー撮影、文字リーダー、カメラde辞書、ボイスレコーダー、ミュージックプレイヤー、FMラジオは起動できません。
※9 伝言メモ再生、通話中音声メモ再生はできません。
※10 編集はできません。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

※11 現在地通知のみ起動できます。
※12 ミュージックプレイヤー起動中は起動できません。
※13 ミュージックプレイヤー起動中は、現在地確認、現在地通知のみ起動できます。
※14 ミュージックプレイヤー起動中は、パーソナル検索は起動できません。
※15 ミュージックプレイヤーは起動できません。
※16 現在地確認、現在地通知を起動中の場合のみ、ミュージックプレイヤーは起動できます。
※17 ミュージックプレイヤー起動中は、デコメールテンプレートは起動できません。
※18 サービス利用設定は起動できません。
※19 サービス利用設定を起動中はｉモード問合せは起動できません。
※20 GPSソフト、簡易コンパスを起動中はミュージックプレイヤーは起動できません。

FOMA端末から利用できるサービス

ご利用になれるサービス	電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）	（局番なし）106
一般電話の番号案内 およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料） （電話番号の案内を希望されないお客様については、ご案内できません）	（局番なし）104
電報の発信（有料）　午前8時～午後10時	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きた時の緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171

お知らせ

- コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります。（2006年5月現在）
- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。（→P328）目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内をしております。詳しくは一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください。（2006年5月現在）
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、発信場所が特定できません。警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、携帯電話からかけていること・電話番号・明確な現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように立ち止まって通報し、通報後はすぐに電源を切らず10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- 一般電話の転送電話をご利用のお客様で、転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼出音が聞こえることがあります。
- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください。（一般電話または公衆電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話は利用できます。）

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってお取扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプション機器の詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01／P02
- 平型ステレオイヤホンセット P01
- スイッチ付イヤホンマイク P001※1／P002※1
- ステレオイヤホンセット P001※1
- イヤホンターミナル P001※1
- イヤホンジャック変換アダプタP001
- 車載ハンズフリーキット01※2
- FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル01
- FOMA海外兼用 ACアダプタ 01
- キャリングケースS 01
- FOMA室内用補助アンテナ
- FOMA USB接続ケーブル
- 電池パック SA03
- 卓上ホルダ SA03
- リアカバー SA03
- FOMA AC アダプタ 01
- FOMA DC アダプタ 01
- 車内ホルダ 01
- FOMA乾電池アダプタ 01

※1 SA702iと接続するにはイヤホンジャック変換アダプタ P001が必要です。
※2 SA702iと接続するにはFOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル01が必要です。

データリンクソフトのご紹介

データリンクソフトを使って、電話帳・スケジュール・メール・メロディ・静止画・動画などのデータをパソコンとFOMA端末間でやりとりできます。
データリンクソフトはホームページからダウンロードすることができます。（FOMA端末のインターネット機能ではダウンロードできません。パソコンをお使いください。）また、ダウンロード時には別途通信料が必要となります。

- 転送にはFOMA USB接続ケーブル（別売）でFOMA端末とパソコンを接続する必要があります。赤外線通信では使用できません。
- FOMA端末を待受画面にした状態で転送を行ってください。
- ｉモード・ｉアプリにてダウンロードした情報など、著作権法によりFOMA端末外への出力を禁止されている静止画・動画・ｉモーション・メロディは、パソコンへ転送できません。

ダウンロード方法、転送可能なデータ、動作環境、操作方法、制限事項などの詳細については、下記ホームページまたはデータリンクソフトのヘルプをご覧ください。

三洋電機株式会社テレコムカンパニーのホームページ：http://www.sanyo-keitai.com

■ 対応OS

Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000、Windows XP（各日本語版）

■ ご使用にあたって

三洋電機株式会社は、本ソフトウェアに関する一切の動作・性能・品質上の保証およびお客様が本ソフトウェアを利用する特定の目的に合致しなかった場合の保証をせず、また、いかなる内容の瑕疵担保義務も負いません。また、本ソフトウェアの使用または使用できなかったことにより生じた、直接的、間接的、あるいは特別な損害に対して、いかなる責任も負いません。

データリンクソフトに関するお問合せ

三洋電機株式会社　データリンクソフトサポートセンター

0120-70-2534
受付時間　午前９：00～午後５：00（土・日・祝日・弊社所定の休日を除く）
・携帯電話、PHSからもご利用になれます。
●ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違えないようおかけください。

動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画（MP4形式のファイル）を再生するには、アップルコンピュータ（株）のQuickTimePlayer（無料）ver.6.4以上（またはver.6.3+3GPP）が必要です。QuickTimePlayerは下記のホームページよりダウンロードできます。

http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

- ダウンロードするには、インターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては、別途通信料がかかります。
- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細については、上記ホームページを参照してください。

故障かな？と思ったら、まずチェック

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックしていただき、必要な場合にはソフトウェア更新してください。（ソフトウェア更新について→P387）

こんなときは	ここをチェックしてください	参照先
FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）	•電池パックが正しく取付けられていますか？ •電池切れになっていませんか？	P41 P47
充電ができない	•電池パックが正しく取付けられていますか？ •充電端子は汚れていませんか？端子部を乾いた綿棒などで清掃してください。	P41 P21
充電しても、すぐに使えなくなる	•卓上ホルダ（別売）にFOMA端末が正しくセットされていますか？ •電池の寿命がきていませんか？ •充電端子は汚れていませんか？端子部を乾いた綿棒などで清掃してください。 •FOMA端末の扱いかたによって電池の持ち時間は変化します。	P46 P42 P21 P43
ピピピという警告音が鳴っている	•電池が少なくなってきています。充電してください。	P42
ボタン操作ができない	•FOMA端末の電源が入っていますか？ •オールロック中ではありませんか？	P48 P142
ダイヤルボタンを押しても電話がかけられない	•ダイヤル発信制限中ではありませんか？ •オールロック中ではありませんか？ •セルフモード中ではありませんか？	P146 P142 P144
電話帳をつかって電話がかけられない	•PIMロック（電話帳）中ではありませんか？ •オールロック中ではありませんか？ •セルフモード中ではありませんか？	P145 P142 P144
ダイヤルしたが話中音（プープー音）が出てつながらない	•市外局番を忘れていませんか？ •発信音を聞かず、急いでダイヤルしていませんか？ •「圏外」の表示が出ていませんか？	P54 P54 P48
「圏外」が表示され話中音（プープー音）が出る	•サービスエリア外か電波の弱い場所にいませんか？	P48

次ページへつづく

こんなときは	ここをチェックしてください	参照先
通話がとぎれたり、切れる	•電波の届きにくい場所にいませんか？ •電池切れになっていませんか？	P48 P47
電話の発着信、メールの送受信、ｉモードの機能が使えない	•電池切れになっていませんか？ •「圏外」の表示が出ていませんか？ •セルフモード中ではありませんか？	P47 P48 P144
着信音が鳴らない	•着信音量が「OFF」になっていませんか？ •着信音が「OFF」になっていませんか？ •電池切れになっていませんか？ •FOMA端末の電源が入っていますか？ •電話は切ってありますか？保留のままになっていませんか？ •次の機能を設定していませんか？ - 呼出動作開始時間 - 着信拒否設定 •マナーモード中ではありませんか？ •公共モード（ドライブモード）中ではありませんか？ •セルフモード中ではありませんか？ •留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定していませんか？	P119 P116 P47 P48 P55 P151 P149、150、152 P123 P73 P144 P338、340
通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	•受話音量の設定を変更していませんか？聞き取りやすい受話音量に調節してください。	P68、119
電話がかかってきたとき、設定したとおりの着信動作（着信音、バイブレータ、LED）をしない	•複数の機能で着信動作を設定している場合は、次の優先順位で動作を行います。 ① FOMA端末電話帳の個人設定 ② FOMA端末電話帳のグループ別の設定 ③ 音設定／バイブレータ設定／LED設定 •マルチナンバーにお申し込みいただき、付加番号に設定すると、付加番号の着信音設定に従います。	− P342
メールを受信したとき、設定したとおりの受信動作（メール着信音、バイブレータ、LED）をしない	•複数の機能で受信動作を設定している場合は、次の優先順位で動作を行います。 ① FOMA端末電話帳の個人設定 ② FOMA端末電話帳のグループ別の設定 ③ 音設定／バイブレータ設定／LED設定 •複数のメールを同時に受信したときは、最後に受信したメールに設定されている条件に従い動作を行います。 •送信元のメールアドレスを電話帳に正しく登録し、個別メール着信を設定していますか。	− − P98
ディスプレイが暗くなり、何も表示されない	•省電力状態です。ボタン操作をすると表示が復帰します。	P130
FOMA端末を折りたたんでいるときに、サイドボタンを押しても動作しない	•サイドボタン操作が「無効」に設定されていませんか？	P147
ボタンを押しても操作音が鳴らない	•ボタン確認音を「OFF」に設定していませんか？ •マナーモード中ではありませんか？	P120 P123
日付が英語で表示される	•Select languageを「English」に設定していませんか？	P136
現在地が確認できない	•ｉモードのお申し込みが必要です。	P268
現在地通知／定期現在地通知（位置通知）、位置提供が利用できない	•位置提供可否設定を「位置提供機能OFF」に設定していませんか？ •ｉモードのお申し込みが必要となる場合があります。 •GPSサービス利用設定で位置提供に必要な設定をしていますか？	P261 P268 P262
「しばらくお待ちください」が表示されて消えない	•回線が非常に混みあっていますので、しばらくたってからおかけ直しください。なお110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。	−
通話料金が積算されなくなった	•通話料金のFOMAカードへの積算が上限（約1677万円）に達した可能性があります。リセットすることにより、0円に戻すことができます。	P328

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

こんな表示が出たら

FOMA端末に表示される主なエラーメッセージを50音順に示します。

- エラーメッセージ中の「(数字)」または「XXX」は、ｉモードセンターより送信されたエラーを区別するためのコードです。

エラーメッセージ	説明と対処法	参照先
FOMAカード（UIM）が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした	サイトなどからダウンロードしたときのFOMAカードと異なるFOMAカードを挿入してｉモードやｉモードメールなどからｉアプリを起動しようとしたときに表示されます。ダウンロードしたときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。	−
FOMAカード（UIM）が異なるためご利用になれません	サイトなどからダウンロード、メールなどの添付ファイルを保存したときのFOMAカードと異なるFOMAカードを挿入して、データBOXから添付ファイルなどを実行しようとしたり、ｉアプリ一覧からｉアプリを起動しようとしたときに表示されます。ダウンロード、ファイルを保存したときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。	−
FOMAカード（UIM）が未挿入です　ご利用になれません	FOMAカードが挿入されていません。FOMAカードを挿入して利用してください。	P39
ｉアプリの通信回数が多くなっています　通信を継続しますか	ｉアプリご利用時の通信回数が一定時間内に著しく多い場合、表示されます。ｉアプリを継続して利用するときは1「はい」を、通信を行わないで、ｉアプリを継続して利用するときは2「いいえ」を、ｉアプリを終了するときは3「終了」を押します。	−
ｉモーション再生サイズを超えています	約500Kバイトを超えるｉモーションデータをダウンロードしようとしたときに表示されます。	−
ｉモーション再生サイズを超えました	サイズ不明のｉモーションデータをダウンロード中に、データが約500Kバイトを超えたため受信を中断しました。	−
ｉモードセンターが混みあっています　しばらくお待ちください（555）	ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。	−
miniSDが異常もしくは初期化されていません	miniSDメモリーカードが壊れているか、フォーマットが正しくありません。初期化を行ってください。	P292
PIMロック中です	PIMロック中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。	P145
PIN1コードがロックされています	PIN1コードがロックされているときに電源を入れると表示されます。PINロック解除コードを正しく入力してロックを解除してください。	P141
PINロック解除コードがロックされています	ドコモショップ窓口にお問い合わせください。	P139
SMSセンター設定を確認してください	メール設定の「SMSセンター設定」の設定が誤っています。設定を確認してください。	P237
SSL通信が切断されました	SSL通信中に接続に失敗したか、クライアント認証に関わるサーバ側での認証エラーのため、接続を中断しました。	−
SSL通信が無効です	SSL通信の認証時に問題が検出されました。接続は中止されます。	−
SSL通信が無効に設定されています	FOMA端末の証明書が無効に設定されています。証明書の内容を確認し、設定を変更してください。	P199
SSL通信を切断しました	SSL通信中にサイトの証明書にエラーが発生しました。接続確認画面で2「いいえ」を選択した場合に表示され、SSL通信が切断されます。	−
URLが長すぎて登録できません	ブックマークの登録で入力したURLが256文字を超えています。	P188
URLに誤りがあります	入力したURLが正しくありません。URLを確認してください。	−
宛先をご確認ください	SMSの宛先が誤っているため送信に失敗しました。宛先を確認してください。	−
エラーが発生しました　再生を終了します　設定が解除されます	添付ファイル再生時にエラーが発生したため、再生を終了します。	−

次ページへつづく

エラーメッセージ	説明と対処法	参照先
応答がありませんでした（408）	サイトやインターネットホームページから規定時間内に応答がなく、接続が中止されました。しばらく待ってから接続し直してください。	−
オート着信設定と同じ秒数のため設定できません	伝言メモとオート着信の応答時間に同じ秒数は設定できません。どちらかの応答時間を変更してください。	P78、331
オートパワー OFFと同じ時刻です／オートパワー ONと同じ時刻です	オートパワー OFFとオートパワー ONは同じ時刻に設定できません。時刻を変更してください。	P316
カード情報を認識できません	FOMAカードが正しく取付けられていないか、FOMAカードに異常があります。FOMAカードの取付けを確認してください。	P39
画像に誤りがあり正しく動作しません	画像データに誤りがあり、Flash画像を正しく再生できなくなったときに表示されます。	−
規定のアクセス回数を超えたため参照できません（491）	大容量の静止画に規定されているアクセス回数を超えてダウンロードしようとしたときに表示されます。	−
桁数オーバーです　自動付加できません	電話発信時に入力できる桁数は80桁までです。国際ダイヤル設定の自動付加設定を「ON」に設定しているとき、付加した結果の桁数が80を超えていると表示されます。	P59
圏外です	電波の届かない所かFOMAサービスエリア外にいるため実行できません。	−
現在地の確認に失敗しました	測位エラーです。電波状態の良い所に移動して操作し直してください。	−
現在地を送信しません	ネットワークの不具合またはイマドコサーチ等GPSの検索サービスの検索対象に設定されていないため、現在地を送信することができません。	−
現在利用不可能となっています	デュアルネットワークが利用不可能なときに表示されます。デュアルネットワークをご利用になるにはお申し込みが必要です。	−
このカードは認識できません	本FOMA端末で使用できないFOMAカードが取付けられているか、FOMAカードが正しく取付けられていないか、FOMAカードに異常があります。FOMAカードの取付けを確認してください。	P39
このサイトとのSSL 通信は無効です	サイトの証明書が書換えられています。このサイトには接続できません。	−
このサイトの安全性が確認できません　接続しますか	サイトの証明書が、FOMA端末でサポートされていません。接続するときは1「はい」を、接続を中止するときは2「いいえ」を押します。	−
このサイトは安全でない可能性があります　接続しますか	サイトの証明書が有効期限前か期限を過ぎています。接続するときは1「はい」を、接続を中止するときは2「いいえ」を押します。	−
この接続先の安全性が確認できません　接続しますか	FOMA端末の証明書の有効期限が過ぎています。接続するときは1「はい」を、接続を中止するときは2「いいえ」を押します。また、日付・時刻が未設定または間違っている場合にも表示されることがあります。日付・時刻を正しく設定してください。	P50
この接続先は安全でない可能性があります　接続しますか	サイトの証明書のCN名（サーバ名）が実際のサーバ名と一致していません。接続するときは1「はい」を、接続を中止するときは2「いいえ」を押します。	−
この通知先IDはご利用になれません	通知先として登録できないIDを入力しました。IDを確認してください。	P263
サービス未契約です	ｉモードをご契約されておりません。ｉモードをご利用になるにはお申し込みが必要です。ｉモードを途中から契約された場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れなおしてください。	P48
サービス未提供です	SMSが未提供です。	−
再生可能日前です　再生できません	再生期間が設定されているｉモーションを、再生期間より前に再生しようとしたとき表示されます。再生可能日以降に再生してください。	−
再生制限データに誤りがあるため取得できません	再生制限データが誤っていたり、再生期限／期間が切れているため、このデータを取得できません。	−
最大サイズを超えたので中断しました	サイトやインターネットホームページのデータが１ページの最大サイズを超えたため受信を中断しました。正常に受信した部分までを表示します。	−

エラーメッセージ	説明と対処法	参照先
最大サイズを超えています　受信できません（452）	サイトやインターネットホームページのサイズが最大サイズより大きいため、受信できません。	−
サイトが移動しました（301）	サイトやインターネットホームページのURLが変更されています。正しいURLを確認してください。	−
サイトに接続できませんでした（403）	指定のサイトなどのサーバに接続を拒否されました。	−
指定サイトがみつかりません（404）	指定されたサイトが見つかりませんでした。URLが正しいかどうか確認してください。	−
指定サイトに表示データがありません（204）	接続したサイトに表示するデータがありません。	−
指定されたソフトがありません	すでに削除されたｉアプリのソフトを、メールや外部機器からｉアプリTo機能で起動しようとしたときに表示されます。	−
指定されたソフトが起動できませんでした	ｉアプリにエラーが発生し、起動できないときに表示されます。ソフト動作設定や起動条件などに問題がある場合も起動できません。	−
指定したサイトへは接続できませんでした（504）	指定したサイトへの接続に失敗しました。もう一度接続してください。	−
指定したファイルが見つかりません（492）	大容量静止画のダウンロード時に、指定ファイルが見つかりませんでした。	−
受信メールがいっぱいです	受信BOXがいっぱいで新たにメールを受信できません。メールを消去してからｉモード問合せをしてください。	−
受信を拒否されました	SMSセンターにSMSの受信を拒否され、送信できませんでした。	−
既にメッセージをお預かりしています	すでにSMSは送信済みです。	−
正常に接続できませんでした（400）	サイトやインターネットホームページのエラーにより接続できません。URLが間違っている可能性があります。URLが正しいかどうか確認してください。	−
積算通話料金が上限を超えています	積算通話料金の上限を設定しているFOMAカードを利用しています。リセットしてから電話をかけなおしてください。	P328
セキュリティエラーのためｉアプリ待受画面を解除しました	許可されていない操作をしようとしたため、ｉアプリ待受画面が終了しました。	−
セキュリティエラーのため終了しました	許可されていない操作をしようとしたため、ｉアプリが終了しました。	−
接続相手が見つかりません　続けますか	赤外線通信の接続相手を発見／認識できません。接続を続ける場合は1「はい」を、接続を中断する場合は2「いいえ」を押します。	−
接続が中断されました	電波状態のよい所で接続し直してください。電波状態がよいのにこのエラーが表示される場合は、接続先が混み合っています。しばらく待ってから接続し直してください。	−
接続できません	ｉモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい所に移動して接続し直してください。	−
接続できませんでした（562）	ｉモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい所に移動して接続し直してください。	−
設定サイズオーバーです　選択できません	選択した辞書の合計容量が約64Kバイトを超えています。選択しなおしてください。	−
設定した料金上限値を超過しました	通話上限値設定で設定した通話料金の上限値を超えた場合に表示されます。	P329
設定時間内に接続できませんでした	設定時間内にサーバからの応答がありませんでした。もう一度接続してください。	−
送信できません　宛先を確認してください（451）	ｉモードメールが送信できません。宛先が正しいか確認してください。	−
送信できませんでした	ｉモードセンターまたはSMSセンター側のエラーにより、ｉモードメールまたはSMSの送信に失敗しました。しばらくたってから送信し直してください。	−
送信できませんでした（552）	ｉモードセンター側のエラーにより、ｉモードメールの送信に失敗しました。しばらくたってから送信し直してください。	−

次ページへつづく

エラーメッセージ	説明と対処法	参照先
送信を拒否されました	SMSの送信が拒否されました。	−
ソフトに誤りがあります	ソフトのデータに誤りがあるためダウンロードできません。	−
ソフトに誤りがあるためダウンロードできません	ソフトのデータに誤りがあるためダウンロードできません。	−
ダイヤル発信制限設定中です	ダイヤル発信制限中は禁止されている操作を行えません。	P146
ただいま利用制限中のためしばらくしてからご利用ください	ｉモードパケット定額サービスをご利用の場合に限り、一定時間内に著しく大量なデータ通信があったときに表示されます。一定時間接続できなることがありますので、しばらくたってからｉモードをご利用ください。	−
伝言メモ応答時間と同じ秒数のため設定できません	オート着信と伝言メモの応答時間に同じ秒数は設定できません。どちらかの応答時間を変更してください。	P78、331
問合せできませんでした	電波状態のよい所に移動して操作し直してください。それでも同じエラーになる場合は、しばらく待ってから操作し直してください。	−
登録中です　しばらくしてからご利用ください（554）	ｉモードへのユーザ登録中です。しばらくたってから操作し直してください。	−
入力データまたはURLが長すぎます	サイトやインターネットホームページの入力欄に入力された文字数が多すぎて送信できません。文字数を減らしてから送信し直してください。	−
入力データをご確認ください（205）	サイトやインターネットホームページの入力データに誤りがあります。入力データを確認してください。	−
認証タイプに未対応です（401）	認証タイプに未対応のため、指定のサイトやインターネットホームページには接続できません。	−
ネットワーク暗証番号が誤っています	ネットワーク暗証番号の入力が必要な機能で、ネットワーク暗証番号を間違えたときに表示されます。 正しいネットワーク暗証番号を入力してください。 ネットワーク暗証番号を万が一お忘れになったときは、FOMA端末およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。	P138
パスワードをご確認ください（401）	サイトやインターネットホームページの基本認証画面に入力したユーザ名かパスワードに誤りがあります。再入力してください。	−
無効なデータを受信しました（XXX）	指定のサイトやインターネットホームページがｉモードに対応していません。 URLが間違っている可能性があります。URLが正しいかどうか確認してください。 受信データにエラーがあるため表示できません。	−
メッセージがいっぱいです	メッセージR/Fの保存領域の空きが不足しているためメッセージR/Fを受信できません。未読のメッセージR/Fを読むか、メッセージR/Fの保護を解除するか、メッセージR/Fを削除してください。	P198、199
メール・メッセージがいっぱいです	受信メールとメッセージR/Fの保存領域の空きが不足しているため、メールとメッセージR/Fを受信できません。未読のメールとメッセージR/Fを読むか、メールとメッセージR/Fの保護を解除するか、メールとメッセージR/Fを削除してください。	P198、199、221、227
メモリ不足です　ｉモードを終了します	メモリ不足が発生したため処理を中断します。	−
ユーザ証明書がありません　継続しますか	ユーザ証明書がダウンロードされていません。接続を継続するときは1「はい」を、接続を中断するときは2「いいえ」を押します。	−
ユーザ証明書の有効期限が切れています　継続しますか	ユーザ証明書の有効期限が切れています。接続を継続するときは1「はい」を、接続を中断するときは2「いいえ」を押します。	−
予期しないエラー　再度コンパスを調整してください	簡易コンパスを使用時に、急激な温度変化などを検知し、検知後に方位の調整をしていない場合に表示されます。方位の調整を行ってください。	P336
読み取りできませんでした	バーコードや文字が読み取りできませんでした。	−

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書がついていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他取扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。なお、パソコン（Windows 98SE／Me／2000／XP）をお持ちの場合は、専用のデータリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。また、FOMA端末の修理等を行った場合、ｉモード・ｉアプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しいFOMA端末などに移行を行っておりません。

アフターサービスについて

調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。（→P379）それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にお問い合わせください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無償で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取扱い不良による故障・損傷等は有償修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有償修理となります。

次の場合は、修理できないことがあります

水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ・結露・汗などによる腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有償修理となります。

保証期間が過ぎた場合は

ご要望により有償修理いたします。

部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間です。この部品保有期間を修理可能期間といたします。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にお問い合わせください。

お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - FOMA端末、FOMAカードは、電波の混信やネットワークの故障を防ぐため、法律により技術基準が定められており、技術基準を満たさないFOMA端末、FOMA カードは使用できません。
  - 改造（部品の交換・改造・塗装など）が施されたFOMA端末の故障修理は、改造部分を元の状態（ドコモ純正品状態）に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取扱いをさせていただきます。ただし、改造の内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。
- FOMA端末に貼り付けされている銘板シールは、はがさないでください。
  銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他取扱いによって、クリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は、再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- FOMA端末の受話口部やスピーカーに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 電話機が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、電話機の状態によっては修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報について

- お客様ご自身で携帯電話機などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- 携帯電話を機種変更や故障修理する際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータ等が変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の携帯電話を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらデータ等は一部を除き交換後の製品に移し替えることができません。本FOMA端末はｉモード公式サイトからダウンロードした画像・着信メロディを故障修理時に移し替えいたします。（一部移し替えできないコンテンツもあります。また、故障の程度によっては移し替えができない場合があります。）

ソフトウェアを更新する

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかチェックし、必要な場合にはパケット通信※を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新してください。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お知らせ＆ヘルプ」にてご案内させていただきます。

※ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料です。

- ソフトウェアの更新方法には、次の2種類があります。
  - 即時更新：更新したいときすぐに更新を行います。
  - 予約更新：更新する日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。
- ｉモード接続先をユーザー接続先に設定している場合も、ソフトウェア更新を行うことができます。
- ソフトウェア更新を行うときは、電池をフル充電しておいてください。
- 次の場合はソフトウェア更新ができません。
  - 圏外のとき
  - 電池残量が3つ点灯していないとき
  - FOMAカードが未挿入のとき
  - PINロックが完全にロックされているとき
  - セルフモード中
  - 時計が未設定のとき
  - 電源が入っていないとき
  - その他の機能を起動中
  - FOMAカードが識別できないとき
  - PIMロック（ｉモード）中
  - オールロック中
  - 外部機器との接続中
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書換え）には時間がかかることがあります。
- PIN1コードON／OFF設定を「ON」に設定中にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書換え終了後の自動再起動時に、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発信、着信、各種通信機能の操作ができません。
- ソフトウェア更新中は、他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中などは音声電話の着信のみ受けることができ、電話の転送や伝言メモなどの操作もできます。
- ソフトウェア更新の際には、サーバ（当社のサイト）へSSL通信を行います。あらかじめ証明書設定でSSL証明書を有効に設定してください。お買い上げ時は有効に設定されています。→P199
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、もう一度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。
- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新は必要ありません　このままご利用ください」と表示されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新用以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新後、ｉモードセンター蓄積状態をあらわすアイコンなどは消えます。メール選択受信を「ON」に設定している場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にｉモードセンターにメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。→P217

次ページへつづく

お知らせ

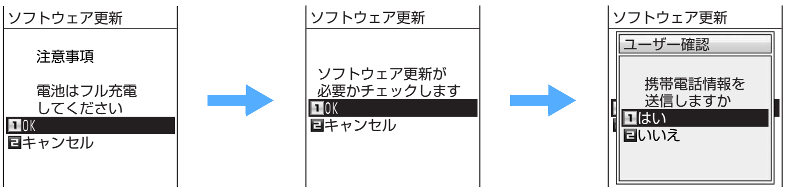
- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。（ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。）
- ソフトウェア更新中は絶対に電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。更新に失敗した場合は、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。

ソフトウェア更新を起動する

1 ◉▶[設定]▶9▶6を押す

2 端末暗証番号を入力し、◉を押す

3 注意事項を確認し、ソフトウェア更新が必要かチェックする



i「OK」を押す　　i「OK」を押す　　i「はい」を押す

SSL通信を開始し、ソフトウェア更新が必要かチェックします。

4 チェックの結果を確認する

更新チェック画面が表示されます。

■「更新が必要です」と表示されたとき

ソフトウェアの更新ができます。

今すぐ更新	すぐに更新を開始します。→P389
予約	日時を設定して後から更新できます。→P390
更新しない	ソフトウェア更新をしません。

■「更新は必要ありません　このままご利用ください」と表示されたとき

ソフトウェア更新の必要はありませんので、そのままFOMA端末をご使用ください。

■「サーバーが混み合っています」と表示されたとき

すぐに更新はできません。しばらくたってからもう一度やり直してください。

すぐにソフトウェアを更新する

• サーバが混みあっていると、すぐに更新できないことがあります。

1 更新チェック画面で[i]「今すぐ更新」を押す

メッセージが表示され、ダウンロードを開始します。



• [✉]［中止］を押すと、ダウンロードを中止できます。ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。
• ダウンロードが開始されると、あとはメニューなどを選択しなくても更新処理が実行されます。
•「サーバーが混み合っています」と表示されたときはすぐに更新できません。[i]「予約」または[2]「更新しない」を押します。
以降の操作：→P390「日時を予約してソフトウェアを更新する」手順2

2 ダウンロード終了後、[●]を押す

• [●]を押さなくても自動的に書換えは行われます。
• ソフトウェア書換え中はすべてのボタン操作が無効となり、更新を中止することもできません。



3 書換え終了後、自動的に再起動する

再起動後、自動的にサーバに接続し、更新完了のチェックを行います。
「ソフトウェア更新完了しました」と表示されると更新完了し、待受画面に戻ります。



＜予約更新＞

日時を予約してソフトウェアを更新する

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混みあっている場合には、あらかじめソフトウェア更新する日時をサーバと通信して予約しておくことができます。

- ソフトウェア更新の予約が完了したあとにデータ一括削除を行うと、予約の設定は削除されます。

1 更新チェック画面で［2］「予約」を押す



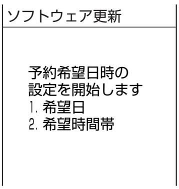
サーバと通信を行い、予約できる日時が表示されます。
表示される時刻は、サーバの時刻です。

2 希望日時を選択し、● ▶［1］「はい」を押す

ソフトウェア更新が予約されます。

■ 表示されている予約候補以外から選択するとき

①「その他の日時」を選択し、●を押す



② ●を押す

③ 希望日を選択し、●を押す



各時間帯の予約空き状況が表示されます。
○：空きあり
△：空き少
×：空きなし

④ 希望時間帯を選択し、●を押す

サーバに接続され、選択した希望日・時間帯に近い予約候補が表示されます。

⑤ 希望日時を選択し、●を押す

希望日時を確認する画面が表示されます。

⑥［1］「はい」を押す

通信画面になり、予約が完了し、待受画面に戻ります。

予約した時間になると

ソフトウェア更新

予約時刻です
更新を開始します

左の画面が表示され、FOMA端末は自動的にソフトウェア更新を開始します。予約日時前には、電池をフル充電し、電波が十分届くところでFOMA端末を待受画面にしておいてください。以降の動作は即時更新と同じです。

お知らせ

- PIN1コード入力設定を「ON」に設定していると、ソフトウェア更新後の再起動時にPIN1コード入力画面が表示されます。PIN1コード入力画面のままだと、電話の着信やメールの受信ができませんのでご注意ください。アラームはPIN1コード入力画面のままでも鳴動します。
- ソフトウェア更新の予約がアラームと同時刻に設定されている場合は、アラームが優先され、アラーム停止後、待受画面にソフトウェア更新の失敗を通知するアイコンが表示されます。
- ソフトウェア更新の予約時刻になっても、FOMA端末の状態によってはソフトウェア更新が起動できない場合があります。→P387

予約の確認・変更・取り消しをする

ソフトウェア更新の予約日時を確認できます。

1 ● ▶ 設定 ▶ 9 ▶ 6 を押す

2 端末暗証番号を入力し、● を押す

3 内容を確認する

ソフトウェア更新

12/ 1（金）19:07
に予約されています
1 OK
2 変更
3 取消

予約した日時でよい場合は 1 「OK」を押します。

- ソフトウェア更新が予約されていないときは、ソフトウェア更新が必要かのチェックを開始します。→P388

■ 予約を変更するとき

① 2「変更」▶ 1「はい」を押す

サーバに接続され、予約日時の設定画面が表示されます。

- 以降の操作：→P390「日時を予約してソフトウェアを更新する」手順2

■ 予約を取り消すとき

① 3「取消」▶ 1「はい」▶ 1「はい」を押す

サーバに接続され、予約が取り消されます。

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る

まずはじめに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロードやｉモードメールなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害等の発生を防ぐことができませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。よって弊社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。

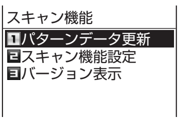
＜スキャン機能設定＞

スキャン機能を設定する

お買い上げ時	有効

スキャン機能設定を「有効」に設定すると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックします。

1 ●▶設定▶9▶5を押す



2 2「スキャン機能設定」を押す

3 1「有効」を押す

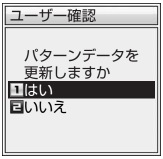
- 無効にするときは2「無効」を押します。

4 1「はい」を押す

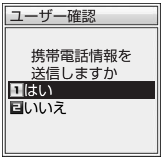
- 中止するときは2「いいえ」を押します。

パターンデータを更新する

1 ●▶設定▶9▶5▶1を押す



2 1「はい」を押す



- 中止するときは2「いいえ」を押します。

3 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。
- パターンデータ更新が必要ないときは「パターンデータは最新です」と表示されます。そのままお使いください。

お知らせ

●パターンデータ更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、スキャン機能以外の目的には利用いたしません。

●FOMA端末の日付（年月日）を正しく設定しておいてください。

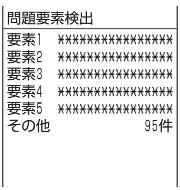
●パターンデータ更新中に音声電話がかかってきたときや、電池が切れそうなときなどは、更新が中断されます。

●次の場合はパターンデータ更新ができません。

- FOMAカード未挿入のとき
- 圏外のとき
- セルフモード中
- FOMAカードが識別できないとき
- PINロックが完全にロックされているとき
- PIMロック（ｉモード）中

スキャン結果の表示について

■ スキャンされた問題要素の表示について



問題要素検出画面

問題要素名は、問題のレベルの大きいものから順に表示されます。

- 問題要素が6個以上検出された場合は、6個目以降の問題要素名は省略されます。

次ページへつづく

■ スキャン結果の表示について

警告レベル0	警告レベル1	警告レベル2	警告レベル3	警告レベル4
問題要素検出 正常に動作できない場合があります 1 OK 2 詳細	問題要素検出 正常に動作できない場合があります 動作を中止しますか 1 はい 2 いいえ 3 詳細	問題要素検出 正常に動作できない場合があるため終了します 1 OK 2 詳細	問題要素検出 正常に動作できない場合があります データを削除しますか 1 はい 2 いいえ 3 詳細	問題要素検出 正常に動作できないためデータを削除します 1 OK 2 詳細
1「OK」を押すと、動作を継続します。	1「はい」を押すと、動作を中止し、終了します。2「いいえ」を押すと、動作を継続します。	1「OK」を押すと、動作を中止し、終了します。	1「はい」を押すと、データを削除し、終了します。2「いいえ」を押すと、動作を中止し、終了します。	1「OK」を押すと、データを削除し、終了します。

• 各画面で、「詳細」を選択して●を押すと、問題要素検出画面が表示されます。

<バージョン表示>

パターンデータのバージョンを確認する

1 ●▶設定▶9▶5▶3を押す

バージョン表示
パターンデータのバージョン
1.1
McAfee SECURITY

バージョンが表示されます。

• 画面はイメージです。

主な仕様

品名	FOMA SA702i
サイズ（mm）	高さ98×幅50×奥行き21（折りたたみ時）
質量（g）	約104（電池パック装着時）
連続待受時間	静止時：約480時間 移動時：約360時間
連続通話時間	音声電話通話時　：約170分 テレビ電話通話時：約100分
連続再生時間	音楽（ミュージックプレイヤー）：約7時間 FMラジオ　：約20時間
電池パック種別	リチウムイオン電池
電池容量	820mAh
充電時間	FOMA AC アダプタ 01：約105分 FOMA DC アダプタ 01：約105分

カメラ	撮像素子	アウトカメラ：CCD インカメラ　：CMOS
	有効画素数	アウトカメラ：約130万画素（1312×968） インカメラ　：約10万画素（360×294）
	記録画素数	アウトカメラ：約120万画素（1280×960） インカメラ　：約10万画素（352×288）
	デジタルズーム	アウトカメラ：最大約7倍 インカメラ　：最大約2倍

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用する場合の目安です。
- 連続待受時間とは、FOMA端末を折りたたんで電波を正常に受信できる状態で移動した場合の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い場合など）などにより、通話（通信）・待受時間は約半分程度になる場合があります。ｉモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。
- ｉモードメールの作成、ｉアプリの起動やデータ通信、カメラ、音楽再生、FMラジオの使用やマルチアクセスの実行などを行った場合、通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を折りたたんで電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を折りたたんで電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。
- 連続再生時間は、FOMA端末を折りたたんで、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を取付けないで、再生音量をLEVEL7（お買い上げ時）、オフタイマーをOFFに設定した状態で使用する場合の目安です。

FOMA端末の保存・登録・保護件数

種　別		保存・登録件数	保護件数
電話帳※1		500件	―
メッセージR		100件	100件
メッセージF		50件	50件
画面メモ		100件	50件
ブックマーク		100件	―
メール※2	受信メール	1000件	500件※4
	送信メール	400件※3	200件※4
	未送信メール		―
ｉアプリ		100件	―
データBOX		1024件※5	―
オリジナルデータ	メニューアイコン	1024件※5	―
	祝日データ	10件※5	―
	辞書	100件※5	―
	カテゴリアイコン	40件※5	―

次ページへつづく

種　別	保存・登録件数	保護件数
スケジュール	100件	ー
ToDo	50件	ー
テキストメモ	50件	ー

※1 FOMAカードには50件まで保存できます。
※2 iモードメールとSMSの合計件数です。
※3 送信メールと未送信メールの合計件数です。
※4 データの大きさによって、保護できる件数は変わります。
※5 実際に保存・登録できる件数は、データサイズにより少なくなる場合があります。

お知らせ

●FOMA端末に保存されているデータは、FOMA 端末の故障・修理やその他取扱いによって、保存・登録内容が消失してしまう場合もあります。万一に備え、保存・登録した内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカード（→P287）を利用して保管することをおすすめします。保存・登録してある内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用してパソコンに保管することもできます。→P378

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種FOMA SA702iの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA SA702iのSARの値は0.998W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/product/
三洋電機株式会社テレコムカンパニーのホームページ http://www.sanyo-keitai.com

※技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14 条の2）で規定されています。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P287

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

索引／クイックマニュアル

索引 406
クイックマニュアル 412

索引

ア行

アウトカメラ……29
宛先追加……209
アドレス確認……205，225
アドレスリセット……205
アフターサービス……385
アラーム……316
　アラーム起動設定……319
暗証番号
　端末暗証番号……138
　認証パスワード……139
　ネットワーク暗証番号……138
　ｉモードパスワード……138
　PINロック解除コード……139
　PIN1コード……139
　PIN2コード……139
位置情報……266
位置提供……260
　位置提供可否設定……261
　サービス利用設定……262
　接続先設定……262
　測位モード設定……262
位置履歴……265
イヤホン自動発信……331
　設定……331
イヤホンマイク端子……29
インカメラ……28
インターネット接続
　文字コード変換……188
　URL入力……187
　URL履歴……188
引用符編集……230
英語ガイダンス……341
英単語クイズ……335
英単語辞書……335
エクスポート……290
エニーキーアンサー……64
絵文字一覧……367
エラーメッセージ一覧……381
遠隔オールロック……143
遠隔操作設定……342
応答時間……78
応答保留……70
応答保留音……71
応答メッセージ……79
オート着信……331
オートパワー ON／OFF……316
オープン通話……65
オープントーン……117
オールロック……142
お知らせアイコン……36
音設定……116
オプション・関連機器……378
オリジナルデータ……293
オリジナルマナーモード……123
音楽再生……308
音量設定……119
音量調節
　受話音量……68

カ行

ガイド機能……38
外部接続端子……29
顔文字
　一覧……368
　編集……354
学習情報リセット……356
各部の名称と機能……28
画像
　アイテム作成……277
　回転／反転……280
　拡大／縮小……279
　スタンプ貼り付け……279
　スライドショー……276
　設定……278
　テキスト貼り付け……280
　特殊効果……280
　表示……275
　表示・保存（ｉモードメール）……220
　フレーム貼り付け……280
　編集……278
　リサイズ／切り抜き……279
　ｉモードメール作成……275
画像保存……192
カテゴリアイコン
　ダウンロード……192
かな方式……350
　定型文入力……352
　文字割り当て……365
カメラ
　静止画撮影……163
　動画撮影……166
カメラde辞書……176
画面メモ
　削除……191
　ソート……191
　タイトル編集……191
　表示……190
　フォルダ移動……190
　フォルダ作成……190
　フォルダ名編集……191
　保護……191
　保存……190
カレンダー……319
簡易コンパス……336
記号一覧……367
機能メニュー選択……36
キャッシュ……186
キャッチホン……339
拒否履歴……67
区点コード一覧……369
区点コード入力……355
グループ編集……101
クローズ動作……65
クローズトーン……117
ゲキタイ……69
圏外……48
現在地確認……256
現在地確認設定……257
　測位モード設定……257
　GPSボタン設定……257
現在地通知……262
現在地通知設定
　測位モード設定……263
　通知先登録……263
　定期現在地通知設定……264
　ワンタッチ通知先……264
公共モード（電源OFF）……74
公共モード（ドライブモード）……73
国際電話設定……60
故障かな？と思ったら……379
こんな表示が出たら……381

サ行

サービスダイヤル……341
再生設定……296
再接続機能……62
サイト
　画面スクロール……186
　再読み込み……186
　操作……185
　次のページに進む……186
　表示……183
　前のページに戻る……186
　ラストURL……184
　SSLページ接続……184
　URL表示……187
サイドボタン
　主な操作……30
　操作有効／無効……147
サブアドレス設定……61
シークレットコード登録……205
シークレット設定……109
シークレットモード……148
時間／料金……328
辞書データ
　ダウンロード……192
　登録……293，356
自動カーソル移動設定……355
自動再生設定
　添付メロディ……231
自動受信
　メッセージR/F……196
　ｉモードメール……216
　SMS……236
自動付加設定……59
自動振り分け設定……223
車載ハンズフリー……63
ジャンプメニュー……326
　移動……326
　登録……326
　リセット……326
充電確認音……121
充電時間……43
充電端子……29
充電方法
　卓上ホルダ……46
　ACアダプタ……44
　DCアダプタ……44
祝日データ
　ダウンロード……192
　登録……293
受信優先設定……232
受話音量……68
受話口……28
常時点灯設定……130
省電力設定……130
情報表示……296
証明書……199

証明書センター接続先設定...201
照明設定...129
初期値設定...49
署名
　設定...230
　挿入（ｉモードメール）...209
スキャン機能...392
　設定...392
　バージョン表示...394
　パターンデータ更新...393
スクロール...186
スクロール設定...196，232
スケジュール...321
スタンプ
　作成...277
　貼り付け...279
ストラップ取付口...29
スピーカー...29
静止画撮影...163
　明るさ...168
　画像サイズ／画質...168
　シーンセレクト...169
　自動保存ON／OFF...170
　ズーム...167
　接写...169
　セルフタイマー...169
　ちらつき軽減...172
　特殊効果...170
　フレーム撮影...165
　保存先設定...171
　保存枚数...158
　ホワイトバランス...170
　ライト／フラッシュ...168
　連続撮影...164
赤外線通信...298
　受信...299
　送信...299
　リモコン機能...300
赤外線通信モード...300
赤外線ポート...28
接写切替スイッチ...29
接続先設定
　ISP接続通信...195
接続待ち時間設定...194
設定状況確認...332
設定リセット...332
セルフタイマー...169
セルフモード...144
送信グループ...209
送信グループ登録...230
送達通知設定...236
送話口...29
即時更新...389
ソフトウェア更新...387
　起動...388
　即時更新...389
　予約更新...390
ソフトの自動起動
　自動起動設定...244
　自動起動登録...245

タ行

ダイヤル発信制限...146
ダイヤルボタン文字割当て一覧...365，366
ダイヤルメモ...69
ダウンロード
　画像...192
　カテゴリアイコン...192
　辞書データ...192
　祝日データ...192
　メニューアイコン...192
　メロディ...192
　ｉアプリ...241
卓上ホルダ...46
タスクアイコン...32
端末暗証番号...138
　変更...140
チェックボックス...185
知的財産権...24
着信音
　内蔵メロディ一覧...118
着信音出力先切替...122
着信動作選択...341
着信履歴...66
　削除...67
チャットメール...232
　削除...234
　作成...233
　終了...234
　受信...233
　送信...233
　メンバー登録...233
チャプター...283
直デン...111
　直デンアイコン...113
　直デンBOX...112
追加サービス（USSD登録）...343
ツータッチダイヤル...110
ツータッチメール作成...216
通知時間設定...122
通話時間...328
通話時間表示...328
通話上限値設定...329
通話中音声メモ
　再生...327
　削除...328
　録音...327
通話中着信設定...341
通話中保留...55
通話中保留音...72
通話品質アラーム...121
通話料金...328
定型文
　一覧...368
　入力...352
　編集...354
テイスト設定...131
ディスプレイ...28
　待受画面設定...125
　見かた...30
データ一括削除...334
データ通信...346
　動作環境...347
データリンクソフト...378
データBOX...274
　削除...295
　情報表示...296
　セキュリティ設定...294
　タイトル編集...295
　ファイル制限...295
　ファイルソート...294
　フォルダ移動...295
　フォルダ削除...294
　フォルダ作成...294
　フォルダ並べ替え...294
　フォルダ名編集...294
　メモリ容量確認...297
テキストメモ
　確認／修正...330
　削除...330
　入力...330
デコメール
　作成...211
デコメールテンプレート...213
　作成...213
　選択...213
デュアルネットワークサービス...341
テレビ電話...82
　受ける...85
　かける...83
　画面の見かた...82
　ズーム...87
　送信画質設定...86
　着信中の操作...85
　通話中保留...84
テレビ電話画像選択...88
テレビ電話画面設定...89
テレビ電話ハンズフリー設定...88
電源ON／OFF...48
伝言メモ...76
　応答時間...78
　応答メッセージ...79
　再生...80
　削除...80
　設定...77
転送でんわサービス...340
電卓...329
電池
　残量確認...47
　充電時間...43
電池パックの取付け／取外し...41
添付ファイル
　画像メール受信...220
　再生／変更／情報表示／解除...215
　添付...214
　添付ファイル受信設定...231
　保存（静止画）...220
　保存（メロディ）...219
添付ファイル受信設定...231
テンプレート
　デコメール作成...213
電話
　受ける...63
　エニーキーアンサー...64
　かける...54
　サブアドレス設定...61
　着信中の操作...64
　通話中着信音...64
　通話中保留...55
電話帳...94
　グループ編集...101
　検索...103
　コピー...107
　削除...109
　シークレット設定...109
　登録...95，99
　登録件数...110
　名前の表示...95
　フォト表示ON／OFF...106
　編集...107
　文字サイズ...106

　FOMAカード……99
　SMS作成……105
電話帳から電話をかける……103
電話帳指定着信許可……148
電話帳指定着信拒否……149
電話帳登録……95
電話帳登録外着信拒否……152
動画撮影……166
　明るさ……168
　画像サイズ／画質……168
　自動保存ON／OFF……170
　ズーム……167
　接写……169
　セルフタイマー……169
　ちらつき軽減……172
　特殊効果……170
　ファイルサイズ制限……169
　保存先設定……171
　ホワイトバランス……170
　ライト……168
　録画・録音可能時間……159
動画・ｉモーション
　アフレコ編集……286
　再生……281
　サムネイル設定……281
　静止画切り出し……284
　設定……283
　チャプター……283
　テロップ編集……284
　動画一覧画面の見かた……282
　動画カット……286
　動画切り出し……286
　編集……284
　ｉモードメール作成……214
同報送信……209
取扱上の注意……21

ナ行

ナイショ……69
ナビゲーション……258
　起動……258
　地図ビューア……259
名前の表示……95
入力予測……357
認証パスワード……139
ネットワーク暗証番号……138
ノイズキャンセラ……62

ハ行

バーコードリーダー
　読み取り……172
　利用……173
バージョンアップ……247
バイブレータ設定……119
背面通知表示……129
背面ディスプレイ……29，128
　アイコン一覧……33
　見かた……33
背面時計設定……128
背面表示……129
バイリンガル……136
パケット通信……346
パスワード
　認証……139
　ｉモード……138
発信者番号通知……51
発着信画面設定……128
発着信履歴表示……148
貼り付け
　スタンプ……279
　テキスト……280
　文字……355
番号通知お願いサービス……341
ハンズフリー……54
非通知理由別着信拒否……150
日付時刻設定……50
表示切替……226
平型スイッチ付イヤホンマイク……331
フォルダ
　削除……294
　作成……294
　並べ替え……294
フォルダ内全件表示……225
不在着信……76
ブックマーク
　削除……189
　タイトル編集……189
　登録（ホームページ・サイト）……188
　登録（メール）……228
　表示……189
　フォルダ移動……189
　フォルダ作成……189
　フォルダ名編集……189
フラッシュ……29
プルダウンメニュー……185
フレーム
　作成……277
　撮影……165
　貼り付け……280
プレフィックス
　設定……60
プロフィール
　確認……51
　登録……326
返信自動学習……231
ボイス通知……335
ボイスレコーダー……301
　再生……302
　削除……303
　ジャンプ再生……302
　保存先設定……301
　録音……301
ポーズダイヤル……58
保証……385
ボタン確認音……120
保留
　応答保留……70
　通話中保留……55
本体付属品……26

マ行

マイピクチャ……275
マイメニュー……187
待受画面……48
待受画面設定……125
　壁紙設定……125
　時計／カレンダー設定……126
　ｉアプリ待受画面……245
マナーモード……123
マルチアクセス……314
　組み合わせ……375
マルチタスク……315
　機能切り替え……315
　機能実行……315
　組み合わせ……376
マルチナンバー……342
未承諾広告※メール拒否……205
ミュージックプレイヤー
　再生……307
　プレイリスト作成……306
迷惑電話ストップサービス……340
メインメニュー
　並べ替え……131
　メニューアイコン変更……132
　メニュー説明表示……132
メール……204
メールアドレス……204
　確認……205
　変更……205
　リセット……205
メール機能停止……205
メールサイズ制限……205
メール自動受信……216
メール受信／拒否設定……205
メール新規作成……209
メール設定……205，229
メール設定確認……232
メール設定状況確認……205
メール設定リセット……232
メール選択受信……217
メール選択受信設定……230
メールメニュー……208
メール履歴削除……229
メール連動型ｉアプリ……240
メッセージ自動表示設定……197
メッセージR/F……196
　一覧画面／表示画面の見かた……198
　画像再読み込み……198
　検索……198
　削除……199
　自動表示設定……197
　受信……196
　受信優先設定……232
　新着メッセージ表示……196
　ソート……198
　添付メロディ設定……197
　問合せ……197
　表示……197
　保護……198
メニュー
　一覧……360
　機能メニュー選択……36
メニューアイコン
　作成……277
　ダウンロード……192
　登録……293
メモリ登録件数……110
メロディ
　再生……287
　再生時の操作……287
　設定……287
　ｉモードメール作成……287
メロディ一覧……118
メロディ自動再生設定……231
文字コード変換……188
文字コピー……354
文字サイズ変更……135
文字入力……350
　絵文字入力……352
　顔文字入力……353
　顔文字編集……354
　記号入力……352
　切り取り……354

区点コード入力 355
コピー 354
ダイヤルボタンの文字割当て一覧 365, 366
定型文入力 352
定型文編集 354
入力予測 357
貼り付け 355
文字リーダー
英単語読み取り 176
文字読み取り 174
利用 176

ヤ行

ユーザー辞書登録 356
ユーザ証明書操作 199
優先順位
アラーム 318
自動振り分け 224
着信音 117
着信画像 128
電話帳（名前表示） 57, 67
当日スケジュール 127
登録データ表示 320
バイブレータ 120
LED 134
ToDo 324
呼出動作開始時間 151
呼出バイブ 120
予約更新 390

ラ行

ライト 29
ラジオボタン 185
ラストURL 184
リアカバー 29
リセット
学習情報リセット 356
ジャンプメニュー 326
設定リセット 332
メールアドレス 205
リダイヤル 56
削除 57
リモコン機能 300
利用できるサービス 377
リンク先 185
留守番電話サービス 338

英数字

ACアダプタ 44
ATコマンド 348
AV Phone To 193
DCアダプタ 44
DPOFプリント予約 303
FirstPass 184, 199
ユーザ証明書 199
FirstPass PCソフト 347
FMラジオ
エリア選択 311
オフタイマー 312
音声出力設定 312
起動 309
サイドボタン設定 312
スキン設定 312
放送局一覧 373
保存先設定 311
録音 311
FOMAカード操作（SMS）
FOMAカードに移動／コピー 237
FOMA端末に移動／コピー 237
FOMAカード電話帳登録 99
FOMAカード（UIM）
暗証番号 40
機能差分 41
動作制限機能 40
GPS 256
時刻設定 50
ソフト 260
対応ｉアプリ 241
ｉアプリ 240
カメラの利用 249
削除 247
システム情報表示 249
実行 242
自動起動設定 244
自動起動登録 245
自動実行 244
証明書表示 248
赤外線通信の利用 249
ソート 248
ソフト情報表示 249
ソフト情報表示設定 242
ソフト動作設定 243
ダウンロード 241
バージョンアップ 247
履歴表示 248
ｉアプリ待受画面設定 245
ｉアプリ待受画面通信設定 246
ｉアプリDX 240
ｉアプリTo機能 245
ｉアプリTo設定 245
ｉショット 206
ｉチャネル
設定 253
表示 253
ｉメロディ 192
ｉモーション 201
再生 202, 281
自動再生設定 202
取得 201
設定 283
編集 284
保存 202
ｉモーションメール 207
再生・保存 220
作成 214
ｉモード 178
ｉモード設定 194
画像表示設定 196
効果音設定 195
スクロール設定 196
接続先設定 195
接続待ち時間設定 194
端末情報データ利用設定 195
ｉモード設定確認 196
ｉモード設定リセット 196
ｉモード問合せ設定 230
ｉモード問合せ
メッセージR/F 197
ｉモードメール 218
ｉモードパスワード 138
ｉモードパスワード変更 187
ｉモードメール 204
宛先追加 209
アドレス確認 225
アドレス履歴 228
一覧画面／表示画面の見かた 222
画像表示・保存 220
画像保存 220
コピー 227
作成 209
自動振り分け設定 223
受信 216
受信メールBOX 221
受信優先設定 232
署名挿入 209
新着メール表示 216
選択受信 217
送受信できる文字数 205
送信 209
送信グループ 209
送信グループ登録 230
送信メールBOX 221
ソート 226
ツータッチメール作成 216
デコメール 211
転送 219
添付ファイル 214
テンプレート 213
問合せ 218
パーソナル検索 228
表示切替 226
フォルダ一覧画面の見かた 221
フォルダ移動 226
フォルダ削除 223
フォルダ作成 223
フォルダ内全件表示 225
編集 216
返信 218
返信自動学習 231
保管期間 206
未送信メールBOX 221
メール一括削除 227
メール検索 226
メール削除 227
メール保護 227
メール保存 216
メロディ保存 219
文字サイズ 227
履歴削除 229
受信／拒否設定 205
ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限 205
ｉモードメニュー 183
ISP接続通信 195
JANコード 172
LED設定 133
Mail To 193
miniSDメモリーカード 287
インポートフォルダ 288
エクスポート 290
情報更新 292
初期化 292
取付け／取外し 287
フォルダ構成 288
容量確認 292
FOMA端末からminiSDメモリーカードにコピー 289
miniSDデータ表示 290
miniSDメモリーカードからFOMA端末にコピー 291

PIMデータ表示……291
miniSDモード……292
mopera U／mopera……347
NGトーン……121
OKトーン……121
Phone To……193
PIMロック……145
PINロック解除……141
PINロック解除コード……139
PIN1コード入力設定……140
PIN1コード変更……141
PIN2コード変更……141
QRコード……172
SAR……396
Select language……136
SMS
一覧画面／表示画面の見かた……222
移動／コピー（FOMAカードへ）……237
移動／コピー（FOMA端末へ）……237
拒否設定……205
作成……235
自動振り分け設定……223
受信……236
受信優先設定……232
新着メール表示……236
設定……236
センター設定……237
送受信できる文字数……208
送信……235
送達通知設定……236
問合せ……236
入力文字種設定……237
表示……221
フォルダ一覧画面の見かた……221
編集……235
保管期間……208
メール一括削除……227
メール削除……227
メッセージ有効期限……236
SSL証明書操作……199
SSL通信……180
SSLページ接続……184
ToDo……323
URLコピー……187
URL入力……187
URL表示……187
URL履歴……188
Web To……193
WORLD CALL……59
国際電話設定……60
自動付加設定……59
186／184……57
2タッチ方式……357，366
64Kデータ通信……346

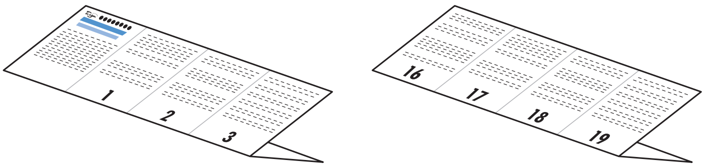
クイックマニュアル

クイックマニュアルの使いかた

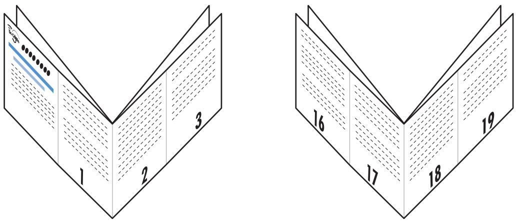
1 キリトリ線から切り離す（2枚）

※切り離しの際にはけがなどにご注意ください。

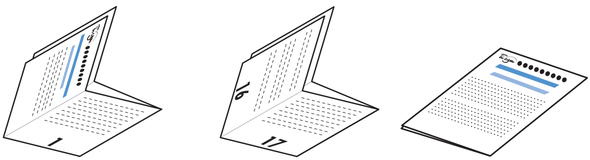
2 それぞれを縦半分に折る



3 それぞれを横半分に折る



4 それぞれをさらに横半分に折る



DoCoMo FOMA® SA702i

クイックマニュアル

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合 (局番なしの) 151 (無料)
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合 0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

- ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

故障お問い合わせ先

故障、異常かなと思われたら、下記までお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合 (局番なしの) 113 (無料)
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合 0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

- ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

電話帳の登録

電話帳を新規登録する

1. ◎を1秒以上押す
2. [1]「本体」を押す
   - [2]「FOMAカード（UIM）」を押すと、FOMAカードに電話帳を登録できます。
3. 各項目を設定し、[i]［登録］を押す

リダイヤルや着信履歴から登録する

1. ◎を押す
   - リダイヤル一覧画面または着信履歴一覧画面が表示されます。
2. 登録する電話番号を選択し、◉を押す
3. ◉▶[3]「電話帳新規登録」を押す
   - 電話帳に追加登録するときは[4]「電話帳追加登録」を押します。
4. [1]「本体」または[2]「FOMAカード（UIM）」を押す
5. 電話帳を登録する

電話帳を検索する

1. ◎を押す
2. 電話帳を検索する

行検索
◎でア～ワ、英、数、ナシ行を選択し、◎で電話帳を選択する

名前検索
名前を入力し、◉を押す

フリガナ検索
フリガナを入力し、◉を押す

メモリ番号検索
メモリ番号を入力する

グループ検索
◎でグループを選択し、◉▶◎で電話帳を選択する

電話番号検索
電話番号を入力し、◉を押す

メールアドレス検索
メールアドレスを入力し、◉を押す

番号種別検索
◎で番号種別、◎で電話帳を選択する

■ 時短検索

1. 待受画面でダイヤルボタンを1秒以上押す

■ 検索方法を切り替える

<検索画面のとき>

1. [i]［機能］▶「検索切替」を選択し、◉を押す
2. 検索方法を選択し、◉を押す

<検索結果画面のとき>

1. [✉]［検索］▶検索方法を選択し、◉を押す

電話帳を修正する

1. 電話帳を選択し、◉を押す
2. [✉]［編集］を押す
3. 各項目を修正する
4. [i]［登録］を押す
5. [1]「はい」を押す

文字を入力する

<例>かな方式で「鈴木」と入力するとき

1. 漢字ひらがなモードで文字を入力する
   「す」：[3]を3回▶◎（カーソルを右に移動）
   「ず」：[3]を3回▶[*]
   「き」：[2]を2回
2. ◎を押す
3. ◎で「鈴木」を選択し、◉を押す

<例>2タッチ方式で「鈴木」と入力するとき

1. 漢字ひらがなモードで文字を入力する
   「す」：[3]▶[3]
   「ず」：[3]▶[3]▶[*]
   「き」：[2]▶[2]
2. ◎を押す
3. ◎で「鈴木」を選択し、◉を押す

入力予測機能を設定する

■ 文字入力画面で切り替える

1. 文字入力画面で[i]［機能］▶「入力設定」を選択し、◉▶「入力予測OFF」または「入力予測ON」を選択し、◉を押す

■ 待受画面から切り替える

1. ◉▶[設定]「設定」▶[6]「文字入力」▶[6]「入力予測」▶[1]「ON」または[2]「OFF」を押す

入力方式を切り替える

■ 文字入力画面で切り替える

1. 文字入力画面で[i]［機能］▶「入力設定」を選択し、◉▶「入力方式」を選択し、◉を押す
2. [1]～[3]を押す

■ 待受画面から切り替える

1. ◉▶[設定]「設定」▶[6]「文字入力」▶[5]「入力方式」を押す
2. [1]～[2]を押す

入力モードを切り替える

1. 文字入力画面で[文]「文字」を押す
2. 文字種を選択し、◉を押す

絵文字・記号・顔文字を入力する

1. 文字入力画面で[絵]「絵文字/記号」を押す
   - [絵]を押すたびに絵文字→記号→顔文字と切り替わります。
2. 絵文字・記号・顔文字を選択し、◉を押す
   - [✉]［連続］を押すと、連続して入力できます。

定型文を入力する

1. 文字入力画面で[i]［機能］▶「定型文」を選択し、◉を押す
2. 定型文を選択し、◉を押す

区点コードで入力する

1. 文字入力画面で[i]［機能］▶「入力設定」を選択し、◉▶「入力方式」を選択し、◉を押す
2. [3]「区点コード」を押す
3. 区点コードを入力し、◉を押す

文字を削除する

■ カーソルが文中にあるとき

[CLR]：カーソル位置の文字を削除
[CLR]を1秒以上：カーソル以降のすべての文字を削除

■ カーソルが文末にあるとき

[CLR]：カーソル位置の左側にある文字を削除
[CLR]を1秒以上：すべての文字を削除（確定前は確定前のすべての文字を削除）

コピー・切り取り・貼り付けをする

■ コピー・切り取りをするとき

1. 文字入力画面で[i]［機能］▶「コピー」を選択し、◉を押す
   - 切り取るときは「切り取り」を選択し、◉を押します。
2. 始点を選択し、◉▶終点を選択し、◉を押す

■ 貼り付けるとき

1. 文字入力画面で、貼り付ける位置にカーソルを移動し、[i]［機能］▶「貼り付け」を選択し、◉を押す
2. データを選択し、◉を押す

キリトリ線

カメラを使う

静止画を撮影する

1. [カメラ]を1秒以上押す
2. 被写体にカメラを向けて◉を押す
3. ◉を押す

動画を撮影する

1. [カメラ]を1秒以上押す
2. [i]［機能］▶[1]「カメラモード」▶[2]「ムービー撮影」を押す
3. 被写体にカメラを向けて◉を押す
   - 録画を開始します。
4. ◉を押す
   - 録画を停止します。
5. ◉を押す

撮影した画像・動画を見る

■ 静止画を見るとき

1. ◉▶[データBOX]「データBOX」▶[1]▶[2]を押す
2. 静止画を選択し、◉を押す

■ 動画を見るとき

1. ◉▶[データBOX]「データBOX」▶[2]▶[2]を押す
2. 動画を選択し、◉を押す

再生中の操作
- ◉：一時停止／再開
- [✉]：停止
- [右]：早送り（1秒以上押すと、連続早送り）
- [左]：巻戻し（1秒以上押すと、連続巻戻し）
- [上下]：音量調節

一時停止中の操作※
- [右]：コマ送り（1秒以上押すと、連続コマ送り）
- [左]：コマ戻し（1秒以上押すと、連続コマ戻し）

※音声のみのデータ再生時は使用できません。

テレビ電話

テレビ電話をかける

1. 電話番号を入力し、[カメラ]を押す
   - 市外局番から入力してください。
2. テレビ電話接続後、相手と通話する

通話中の操作
- [カメラ]：代替画像とカメラ映像の切り替え
- [✉]：インカメラとアウトカメラの切り替え
- ◉：通話保留／保留解除

3. 通話が終わったら[PWR]を押す

テレビ電話を受ける

1. テレビ電話がかかってきたら[カメラ]または[マナー]を押す
   - [PWR]を押すと、応答保留になります。
2. テレビ電話接続後、相手と通話する

通話中の操作
- [カメラ]：代替画像とカメラ映像の切り替え
- [✉]：インカメラとアウトカメラの切り替え
- ◉：通話保留／保留解除

3. 通話が終わったら[PWR]を押す

GPS機能

現在地を確認する

1. [GPS]▶[現在地確認]「現在地確認」を押す
   - 現在地確認完了後、◉を押して地図の表示やメールへの貼り付け、スケジュールへの登録などができます。

現在地を通知する

1. [GPS]▶[通知/提供設定]「通知/提供設定」▶[1]を押す
2. 通知先を選択し、◉を押す
   - 現在地を通知するときは通知先を登録する必要があります。

ナビゲーションを利用する

1. [GPS]▶[ナビゲーション]「ナビゲーション」を押す
2. [1]「かんたんナビ」を押す
3. 画面に従い目的地を入力して検索する
4. 移動手段を選択し、◉を押す
5. 「音声ナビ開始！」を選択し、◉を押す

i モードメール

i モードメールを作成して送信する

1. [✉]を1秒以上押す
2. [To]を選択し、◉▶入力方法を選択し、◉▶宛先を入力し、◉を押す
3. [sb]を選択し、◉▶件名を入力し、◉を押す
4. [添付]を選択し、◉▶添付ファイルを選択し、◉を押す
5. [本文]を選択し、◉▶本文を入力し、◉を押す
6. [✉]［送信］を押す
   - [i]［機能］▶[1]「保存」▶[1]「はい」で未送信BOXにメールを保存します。

■ デコメールを作成するとき

1. 本文入力画面で[✉]を押す
   - テンプレートから作成するときは[i]［機能］▶[2]「テンプレート」を押します。
   - パレットを閉じるときは[i]［閉じる］を押します。

2. 本文を装飾する
   - デコメールを確認するときは、[i]［機能］▶[右]▶[右]▶[6]「プレビュー」を押します。
3. ◉を押す
4. [✉]［送信］を押す

保存したメールを編集して送信する

1. [✉]▶[送信BOX]「送信BOX」または[未送信BOX]「未送信BOX」を押す
2. フォルダを選択し、◉▶メールを選択し、◉を押す
3. [✉]［編集］▶メールを編集し、送信する

i モードメールを受信する

■ メールが届いているかどうか確認する

1. [✉]▶[iモード問合せ]「i モード問合せ」を押す
   - [✉]▶[✉]［✉問合せ］を押しても確認できます。

■ 受信した i モードメールを見る

1. メールを受信する
   - メール着信音やアイコンで受信をお知らせします。
2. 受信結果画面で[1]「メール」を押す
   - 待受画面にお知らせアイコン表示中は[上]▶◉▶◉を押します。
3. フォルダを選択し、◉▶メールを選択し、◉を押す

■ 受信BOXの i モードメールを見る

1. [✉]▶[受信BOX]「受信BOX」を押す
2. フォルダを選択し、◉▶メールを選択し、◉を押す

メールを返信・転送する

1. メール一覧画面でメールを選択し、[i]［機能］▶[1]「返信」を押す
   - 転送するときは[i]［機能］▶[3]「転送」を押します。

キリトリ線

メニュー一覧

メール	メール設定	
	パーソナル検索	
	SMS新規作成	
	ｉモード問合せ	
	受信BOX	
	メール新規作成	
	メール選択受信	
	送信BOX	
	チャットメール	
	SMS問合せ	
	未送信BOX	
	デコメール テンプレート	
ｉモード	ｉモード設定	
	メッセージR	
	メッセージF	
	画面メモ	
	ｉMenu	
	Bookmark	
	ラストURL	
	Internet	
	ｉモード問合せ	
ｉアプリ		

FMラジオ		
データBOX	マイピクチャ	
	ｉモーション	
	メロディ	
設定	音/バイブレータ	音量設定
		音設定
		バイブレータ設定
		LED設定
		通知時間設定
		マナー
		呼出バイブ
	ディスプレイ	待受画面設定
		発着信画面設定
		背面時計設定
		背面通知表示
		背面表示
		照明
		文字サイズ
		テイスト設定
	セキュリティ	端末暗証番号変更
		シークレットモード
		セルフモード
		オールロック
		遠隔オールロック
		ダイヤル発信制限

		FOMAカード(UIM)
		PIMロック
		着信拒否設定
		発着信履歴表示
	通話/通信	時間/料金
		通話上限値設定
		通話時間表示
		エニーキーアンサー
		開閉通話設定
		オート着信
		イヤホン自動発信設定
		着信音出力先切替
		呼出動作開始時間
		通話品質調整機能
		サブアドレス設定
		プレフィックス設定
		国際ダイヤル設定
		USBモード設定
	テレビ電話	発信時自画像送信
		音声自動再発信設定
		テレビ電話画面設定
		画面サイズ設定
		送信画質設定
		テレビ電話画像選択

		テレビ電話 ハンズフリー設定
	文字入力	定型文編集
		顔文字編集
		ユーザー辞書編集
		ダウンロード辞書
		入力方式
		入力予測
		自動カーソル移動
		学習情報リセット
	時計	日付時刻設定
		GPS時刻設定
		オートパワーON
		オートパワーOFF
	リセット	設定リセット
		データ一括削除
	ユーザー補助	設定状況確認
		ボイス通知
		Select language
		電池レベル表示
		スキャン機能
		ソフトウェア更新
		ガイド機能
プライベート	電話帳	
	カレンダー	

	履歴	リダイヤル
		着信履歴
		送信アドレス履歴
		受信アドレス履歴
	メモメニュー	テキストメモ
		伝言メモ設定
		伝言メモ再生
		通話中音声メモ再生
		ダイヤルメモ
	プロフィール	
生活ツール	バーコードリーダー	
	赤外線通信	
	miniSD	
	カメラ	
	電卓	
	アラーム	
	英単語辞書	
	ボイスレコーダー	
	ミュージック プレイヤー	
	オリジナルデータ	
	GPS	
	簡易コンパス	
NW サービス	留守番電話	
	キャッチホン	

	転送でんわ	
	迷惑電話ストップ	
	発信者番号通知	
	番号通知お願い サービス	
	通話中着信設定	
	着信動作選択	
	遠隔操作設定	
	デュアル ネットワーク	
	英語ガイダンス	
	追加サービス	
	サービスダイヤル	
	マルチナンバー	

その他の主な操作

機　能	操作方法
電源ON／OFF	PWRを2秒以上
サイドボタン操作の有効／無効	●を1秒以上
公共モード（ドライブモード）の設定／解除	＊を1秒以上
ｉモードメニューの表示	ｉ
ｉアプリフォルダー覧の表示	ｉを1秒以上
着信履歴の表示	◀
受信アドレス履歴の表示	◀を1秒以上
リダイヤルの表示	▶
送信アドレス履歴の表示	▶を1秒以上
マナーモードの設定／解除	#を 1 秒以上
GPSメニューの表示	GPS
チャネル一覧の表示	チャネル

ネットワークサービス

留守番電話サービス

お申し込みが必要なオプション(有料) サービスです。

■ サービスを開始する

1. ● ▶ NWサービス 「NWサービス」 ▶ 1 を押す
2. 1 「留守番サービス開始」 ▶ 1 「はい」を押す

■ サービスを停止する

1. ● ▶ NWサービス 「NWサービス」 ▶ 1 を押す
2. 3 「留守番サービス停止」 ▶ 1 「はい」を押す

■ 伝言メッセージを再生する

1. ● ▶ NWサービス 「NWサービス」 ▶ 1 を押す
2. 5 「留守番メッセージ再生」 ▶ 1 「はい」を押す
3. 音声ガイダンスに従って操作する

キリトリ線

キャッチホン

お申し込みが必要なオプション（有料）サービスです。

■ サービスを開始する

1. ● ▶ [NWサービス]「NWサービス」▶ [2] を押す
2. [1]「キャッチホン開始」▶ [1]「はい」を押す

■ サービスを停止する

1. ● ▶ [NWサービス]「NWサービス」▶ [2] を押す
2. [2]「キャッチホン停止」▶ [1]「はい」を押す

■ 通話中にかかってきた電話を受ける

通話中に [通話]

- 通話相手の切り替え：[通話]

■ 通話中に電話をかける

通話中に電話番号を入力 ▶ [通話]

- 通話相手の切り替え：[通話]

■ 通話を終了する

通話中に [PWR]

- 保留中相手との通話再開：[通話]

転送でんわサービス

お申し込みが必要なオプション（無料）サービスです。

■ サービスを開始する

1. ● ▶ [NWサービス]「NWサービス」▶ [3] を押す
2. [1]「転送サービス開始」▶ [1]「はい」を押す
3. [3]「開始」を押す

■ サービスを停止する

1. ● ▶ [NWサービス]「NWサービス」▶ [3] を押す
2. [2]「転送サービス停止」▶ [1]「はい」を押す

番号通知お願いサービス

お申し込みなしでご利用いただけます（無料）。

■ サービスを開始する

1. ● ▶ [NWサービス]「NWサービス」▶ [6] を押す
2. [1]「番号通知お願い開始」▶ [1]「はい」を押す

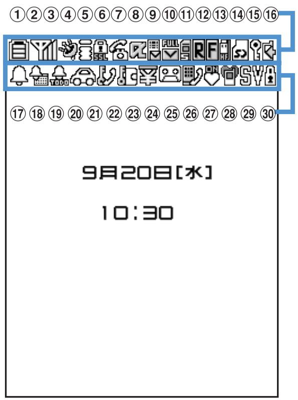
■ サービスを停止する

1. ● ▶ [NWサービス]「NWサービス」▶ [6] を押す
2. [2]「番号通知お願い停止」▶ [1]「はい」を押す

利用できるサービス

利用できるサービス	電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）	（局番なし）106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料）（電話番号の案内を希望されないお客様については、ご案内できません）	（局番なし）104
電報の発信（有料）午前8時～午後10時	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きた時の緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171

ディスプレイの見かた



① ：電池残量表示
② ：電波受信レベル
　：サービスエリア外または電波の届かないところ
　：セルフモード中
③ ：現在地確認中／位置提供中／現在地通知中
④ ：ｉモード接続中
⑤ ：SSLページ表示中
⑥ ：音声電話通話中
⑦ ：ｉアプリ起動中
⑧ ：ｉモードセンターにメールあり
⑨ ：受信BOX満杯
⑩ ：FOMAカード（SMS)満杯
⑪ ：未読メッセージRあり
⑫ ：未読メッセージFあり
⑬ ：USBハンズフリー動作中
⑭ ：miniSDメモリーカード装着中
⑮ ：シークレットモード中
⑯ ：不在着信あり

⑰ ：アラーム設定中
⑱ ：スケジュールアラーム設定中
⑲ ：ToDoアラーム設定中
　：オールロック中
⑳ ：公共モード（ドライブモード）中
㉑ ：ダイヤル発信制限中
㉒ ：PIMロック中
㉓ ：積算通話料金が設定した上限値を超過
㉔ ：伝言メモ設定中
㉕ ：センター留守電あり
㉖ ：マナーモード（時間経過OFF）中
　：マナーモード（期間設定）中
㉗ ：マナーモード中
㉘ ：音声着信音量OFF設定中
㉙ ：音声着信バイブレータ設定中
㉚ ：サイドボタン操作無効中

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）151（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

- ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

故障お問い合わせ先

故障、異常かなと思われたら、下記までお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）113（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

- ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

キリトリ線

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合
携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
・航空機内　　・病院内
※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 運転中の場合
運転中のFOMA端末のご使用は、安全な走行の妨げとなり危険です。
※車を安全なところに停車させてからご使用になるか、公共モード（ドライブモード）をご利用ください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。
■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音をすべて消す設定など、便利な機能があります。

- **マナーモード／オリジナルマナーモード**
  ボタン確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音をすべて消します（マナーモード）。
  マナーモードの動作を変更することもできます（オリジナルマナーモード）。
- **公共モード（ドライブモード）**
  電話をかけてきた相手に、運転中、または通話を控える必要のあるような場所にいるか、電源を切る必要がある場所にいるため電話に出られないことを知らせるガイダンスを流し、電話を切ります。電話がかかってきても着信音が鳴らないので安全に運転できます。
- **バイブレータ**
  電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。
- **伝言メモ**
  電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。

その他にも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。

「ドコモeサイト」では住所変更、料金プラン変更などの各種お手続き、資料請求を承っております。

i モードから	i Menu ⇒ 料金＆お申込 ⇒ ドコモeサイト　パケット通信料無料
パソコンから	My DoCoMo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種手続き（ドコモeサイト）

※ i モードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ i モードからご利用いただく場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、「My DoCoMo ID ／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「My DoCoMo ID ／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は下記総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）**113**（無料）

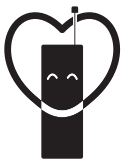
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。
●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。



マナーもいっしょに携帯しましょう。

◯公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道　株式会社NTTドコモ東北　株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海　株式会社NTTドコモ北陸　株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国　株式会社NTTドコモ四国　株式会社NTTドコモ九州

製造元　三洋電機株式会社

古紙配合率100%再生紙を使用しています。

PRINTED WITH SOY INK™
Trademark of American Soybean Association
大豆油インキを使用しています。

'06.6（2版）

Li-ion
環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

1AH6P1P0453--A

FOMA® SA702i
データ通信マニュアル

データ通信について 1
データ通信の準備の流れ 2
パソコンとFOMA端末を接続する 3
通信設定ファイルをインストールする 3
FOMA PC設定ソフトによる通信の設定 5
FOMA PC設定ソフトを使わない通信の設定 13
ATコマンド 18

データ通信マニュアルについて

本マニュアルでは、FOMA SA702iでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM内の「SA702i通信設定ファイル（ドライバ）」「FOMA PC設定ソフト」のインストール方法などを説明しています。

Windows XPの操作について

本マニュアルでは、Windows XP Service Pack 2 に対応した内容となっております。お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

データ通信について

FOMA 端末から利用できるデータ通信について

FOMA端末とパソコンを接続して、パケット通信・64Kデータ通信・データ転送ができます。

- FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
- FOMA端末でFAX通信はできません。
- FOMA端末をドコモのPDA「musea」や「sigmarion Ⅱ」と接続してデータ通信を行う場合、「musea」や「sigmarion Ⅱ」をアップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

パケット通信とは

パケット通信は、通信方式の一つで、データを転送するときにちいさなまとまり（パケット）に分割して送受信するため、回線を占有しません。１つの回線を複数の端末で使用できるため効率がよく、データを送受信していないときは通信料がかかりません。ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使い方ができます。また、通信時間や通信距離に関係なく、送受信されたデータの量に応じて課金されるため、メールの文字データ送受信など、比較的少ない量のデータを高速でやり取りする場合に適しています。
データ量の大きいファイル（高品質の画像やメロディなど）を送受信すると、通信料が高額になりますのでご注意ください。

- 受信最大384kbps、送信最大64kbpsでの高速パケット通信が可能です。

■ パケット通信をするには

- FOMAサービスエリア内で行ってください。
- 通信設定ファイル、FOMA PC設定ソフトをインストールし、各種設定を行って通信してください。（→P3、5）FOMA USB接続ケーブル（別売）と、USBポートを装備したパソコン、またはドコモのPDAが必要です。
- アクセスポイントがドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」など、FOMAのパケット通信に対応している必要があります。

64Kデータ通信とは

64kbps（データ通信の速度）でデータを送受信するデータ通信です。データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるため、高品質な画像やメロディなどのダウンロードなど、比較的多い量のデータを送受信する場合に適しています。
長時間にわたる通信を行った場合、通信料が高額になりますのでご注意ください。

■ 64Kデータ通信をするには

- FOMAサービスエリア内で行ってください。
- 通信設定ファイル、FOMA PC設定ソフトをインストールし、各種設定を行って通信してください。（→P3、5）FOMA USB接続ケーブル（別売）と、USBポートを装備したパソコン、またはドコモのPDAが必要です。
- 接続先がドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」など、FOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64kbpsに対応している必要があります。

データ転送とは

データ転送はFOMA USB接続ケーブル（別売）または赤外線通信を使ってデータをやり取りします。通信料はかかりません。電話帳やメール、スケジュールなどのデータをパソコンや赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末、携帯電話に転送します。
データの保存・バックアップにご利用ください。

■ FOMA USB接続ケーブル（別売）でデータ転送をするには

- 通信設定ファイルをインストールし、通信してください。（→P3）FOMA USB接続ケーブル（別売）と、USBポートを装備したパソコンが必要です。

■ 赤外線通信をするには

- 赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末・携帯電話・パソコンなどとデータを送受信します。パケット通信・64Kデータ通信はできません。赤外線通信について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- 基地局が混雑していたり電波状況がよくない場合は、パケット通信・64Kデータ通信ができないことがあります。
- PPPパケット着信機能には対応しておりません。
- パケット通信で大きなサイズの画像の表示・ファイルのダウンロードなどを行うと、通信料が高額になりますので、ご注意ください。
- 64Kデータ通信、パケット通信を行う場合や、ハンズフリー対応機器からFOMA端末を操作する場合は、USBモード設定を「通信モード」にします。

 ◉▶「設定」▶4▶◎▶5を押し、1「通信モード」を押します。

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料について

パソコンなどからインターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）に対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

次ページへつづく

- FOMAでのインターネット接続には、ブロードバンド接続オプション、国際ローミング等に対応した「mopera U」のご利用をおすすめします。また、今すぐ簡単にインターネットに接続したい方には「mopera」が便利です。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申込不要、月額使用料無料です。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64kbps対応の接続先をご利用ください。

- PIAFSなどのPHS64K／32Kデータ通信やDoPaのアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザー認証について

接続先によっては、接続時にユーザー認証が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークでIDとパスワードを入力してください。IDとパスワードは接続先のプロバイダまたはネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証について

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証でFirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合は、添付のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定を行ってください。詳しくは添付のCD-ROM内の「FirstPassManual」をご覧ください。「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。パソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページからダウンロードできます。（別途通信料がかかります。）詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページをご覧ください。

■ FirstPass PCソフトの動作環境

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機
OS（各日本語版）	Windows 98SE、Me、2000、XP
必要メモリ※	Windows 98SE、Me、2000：32Mバイト以上 Windows XP：128Mバイト以上
ハードディスク容量※	10Mバイト以上の空き容量
ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer 5.5以上

※パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

データ通信の準備の流れ

FOMA端末とパソコンを接続して、パケット通信・64Kデータ通信を利用する準備について説明します。

添付のCD-ROMについて（FOMA SA702i用 CD-ROM）

SA702i通信設定ファイル（ドライバ）、FOMA PC設定ソフト、FirstPass PCソフトが入っています。通信設定ファイルはFOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続して通信するのに必要なソフトウェアです。また、FOMA PC設定ソフトはデータ通信に必要なさまざまな設定をパソコンから簡単に行えるソフトウェアです。

データ通信の流れ

SA702i通信設定ファイル（ドライバ）のインストール→P3
▼
FOMA端末とパソコンの接続→P3
▼
FOMA PC設定ソフトのインストール→P5

↓

FOMA PC設定ソフトの設定（パケット通信、64Kデータ通信）
- mopera U／mopera→P6
- その他のプロバイダ→P7

▼
接続・切断→P10

↓

FOMA PC設定ソフトを使わない通信の設定→P13
▼
接続・切断→P17

動作環境について

通信設定ファイル／FOMA PC設定ソフトを使用するための、パソコンの動作環境は次のとおりです。

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機
	USBポート（USB仕様1.1以上に準拠）
OS（各日本語版）	Windows 98、Me、2000、XP
必要メモリ	Windows 98、Me：32Mバイト以上 Windows 2000：64Mバイト以上 Windows XP：128Mバイト以上
ハードディスク容量	5Mバイト以上の空き容量

- お客様のパソコンの設定によってはインストールできない場合があります。

次ページへつづく

お知らせ

- 必要メモリ、ハードディスク容量はお使いのパソコンのシステム構成によって異なります。
- アップグレードからの動作は保証いたしかねます。
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、記載の動作環境以外でのご使用による問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

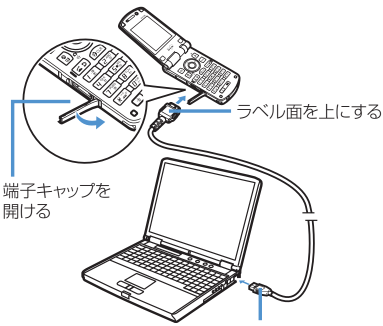
パソコンとFOMA端末を接続する

- 接続には、FOMA USB接続ケーブル（別売）が必要となります。

1 FOMA端末の外部接続端子のキャップを開け、FOMA USB接続ケーブルの一方（FOMA端末側）を差し込む

2 FOMA USB接続ケーブルのパソコン側をパソコンのUSBコネクタに差し込む

- 通信設定ファイルのインストール前にパソコンに接続すると、ウィザード画面が表示されます。その場合、FOMA端末を取外し、「キャンセル」をクリックしてください。
- インストール方法について
  Windows XPの場合→P3
  Windows 2000の場合→P4
  Windows 98/Meの場合→P4

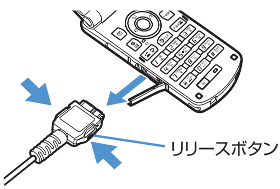


- 接続すると、FOMA端末の画面に が表示されます。

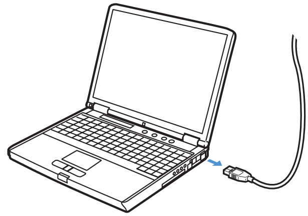
■取外すとき

①**FOMA USB接続ケーブルのリリースボタンを押しながら水平に引き抜く**

- 無理に引っ張ろうとすると故障の原因になります。



②**パソコンからFOMA USB接続ケーブルを引き抜く**



お知らせ

- データ通信中にFOMA USB接続ケーブルを外さないでください。データが破損することがあります。
- パソコンがFOMA端末を認識しなくなった場合は、通信設定ファイルをアンインストールし、再度インストールし直してください。

通信設定ファイルをインストールする

FOMA端末とパソコンを接続してデータ通信を行うために、通信設定ファイルをインストールします。

SA702i 通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

Windows XPにインストールするときを例に説明します。

- Windows XP、Windows 2000にインストールする場合、管理者権限を持つユーザー名でログオンしてからインストールしてください。それ以外のユーザーでインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合せください。
- インストールを始める前に、稼動中の他のプログラムがないことをご確認ください。ご使用中のプログラムがある場合は、使用中のプログラムを保存終了させた後、インストールを再開してください。

1 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

2 FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブルで接続する

「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。

- 接続するときに、FOMA端末の電源を入れておいてください。
- Windows XP Service Pack2にインストールするときは、「いいえ、今回は接続しません。」を選択し、「次へ」をクリックします。
- Windows 2000にインストールする場合以降の操作：→P4
- Windows 98／Meにインストールする場合以降の操作：→P4

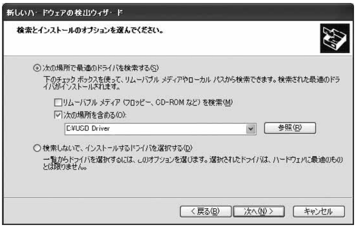
次ページへつづく

3 「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、「次へ」をクリックする

4 「次の場所で最適のドライバを検索する」を選択し、「リムーバブル メディア（フロッピー、CD-ROMなど）を検索」のチェックをはずして「次の場所を含める」をチェックする

5 「参照」をクリックし、ドライバのあるフォルダを指定して「OK」をクリックする

- フォルダは「<CD-ROMドライブ名>:¥USB Driver」です。



6 「次へ」をクリックする

7 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」画面が表示されたら、「完了」をクリックする

8 引き続き、手順3〜7を参考にして、残り3つの通信設定ファイルをすべてインストールする

- お使いのパソコンによっては、残り3つのうち自動的にインストールされる通信設定ファイルがあります。

■ Windows 2000にインストールするとき

①接続後（手順2）、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されたら、「次へ」をクリックする
②「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックする
③「場所を指定」をチェックして「次へ」をクリックする
④検索するフォルダを指定し、「OK」をクリックする
- フォルダは「<CD-ROMドライブ名>:¥USB Driver」です。

⑤ドライバ名を確認して、「次へ」をクリックする
⑥「完了」をクリックする
- 残り3つの通信設定ファイルをインストールします。

■ Windows 98/Meにインストールするとき

①接続後（手順2）、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されたら、「次へ」をクリックする
- Windows Meでは表示されません。手順②へ進みます。

②「ドライバの場所を指定する」を選択し、「次へ」をクリックする
- Windows 98の場合は「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックします。

③「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択して「検索場所の指定」をチェックし、「参照」をクリックして検索するフォルダを指定し、「次へ」をクリックする
- Windows 98の場合は「検索場所の指定」をチェックして「次へ」をクリックし、「更新されたドライバ（推奨）」を選択して「次へ」をクリックします。
- フォルダは「<CD-ROMドライブ名>:¥USB Driver」です。

④ドライバ名を確認し、「次へ」をクリックする
⑤「完了」をクリックする
- 残り4つの通信設定ファイルをインストールします。

インストールしたSA702i通信設定ファイル（ドライバ）を確認する

通信設定ファイルが正しくインストールできているか確認します。
- Windows XPを例に説明します。

1 「スタート」▶「コントロールパネル」をクリックする

2 「システム」をダブルクリックする

3 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックする

「デバイスマネージャ」が表示されます。



4 各デバイスをクリックして、ドライバがインストールされているか確認する

ポート（COMとLPT）：
FOMA SA702i Command Port
FOMA SA702i OBEX Port
モデム：
FOMA SA702i

次ページへつづく

ユニバーサルシリアルバス（USB）コントローラまたはUSB （Universal Serial Bus）コントローラ：
FOMA SA702i
FOMA SA702i Command※
FOMA SA702i Modem※
FOMA SA702i OBEX※
※Windows 98/Meのみ表示されます。

■ Windows 98/Me/2000で確認するとき

①「スタート」▶「設定」▶「コントロールパネル」をクリックする
②「システム」をダブルクリックする
③「デバイスマネージャ」タブをクリックする
- Windows 2000の場合は、「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックします。

④各デバイスをクリックして、ドライバがインストールされているか確認する
- ドライバの種類についてはP4をご覧ください。

SA702i 通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

ドライバのアンインストールが必要な場合は次の方法でアンインストールを行います。
- アンインストールはWindows XPを例に説明します。
- アンインストールを行う前に、FOMA端末をパソコンから取外してください。
- Windows XP、Windows 2000からアンインストールする場合、管理者権限を持つユーザー名でログオンしてからアンインストールしてください。それ以外のユーザーでアンインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合せください。
- アンインストールを始める前に、稼動中の他のプログラムがないことをご確認ください。ご使用中のプログラムがある場合は、使用中のプログラムを保存終了させた後、アンインストールを再開してください。

1 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

2 「スタート」▶「マイコンピュータ」▶「<CD-ROMドライブ名>」を右クリックし、「開く」を選択する

3 「USB Driver」フォルダの「SA702i_u.exe」をダブルクリックする
- お使いのパソコンによっては、「SA702i_u」と表示されることがあります。

4 「OK」をクリックする
アンインストールが開始されます。

5 「OK」をクリックし、Windowsを再起動する

FOMA PC設定ソフトによる通信の設定

FOMA PC設定ソフトを利用すると、簡単な操作でパケット通信や64Kデータ通信が行えます。

FOMA PC 設定ソフトについて

FOMA PC設定ソフトでは次の設定ができます。

かんたん設定
ガイドに従い操作することで、「FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成」を行い、同時に「W-TCPの設定」などが簡単に行えます。

W-TCPの設定
「FOMAパケット通信」を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。通信性能を最大限に活用するには、「W-TCP設定」による通信設定の最適化が必要です。

接続先（APN）の設定
「パケット通信」を行う際に必要な「接続先（APN）の設定」を行います。
FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり、通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPN（Access Point Name）と呼ばれる接続先名を設定し、その登録番号（cid）を接続先電話番号欄に指定して接続します。お買い上げ時、cidの1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、cidの3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されていますが、その他のプロバイダや社内LANに接続する場合はAPN設定が必要になります。
- cid（Context Identifier）とは、パケット通信の接続先（APN）に対応した番号で、FOMA端末にAPN登録をするときに設定するものです。

FOMA PC 設定ソフトをインストールする

Windows XPにインストールするときを例に説明します。
- Windows XP、Windows 2000にインストールする場合、管理者権限を持つユーザー名でログオンしてからインストールしてください。それ以外のユーザーでインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合せください。
- インストールを始める前に、稼動中の他のプログラムがないことをご確認ください。ご使用中のプログラムがある場合は、使用中のプログラムを保存終了させた後、インストールを再開してください。

1 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

2 「スタート」▶「ファイル名を指定して実行」をクリックする

次ページへつづく

3 名前に「＜CD-ROMドライブ名＞:¥FOMA_PCSET¥setup.exe」を入力し、「OK」をクリックする

4 「次へ」をクリックする

使用許諾契約の確認画面が表示されます。

5 内容を確認の上、同意する場合は「はい」をクリックする

- 「いいえ」をクリックすると、インストールできません。

6 「タスクトレイに常駐する」をチェックし、「次へ」をクリックする

インストールが完了すると、タスクトレイに「W-TCP設定」が表示されます。

- 「W-TCP通信」の最適化の設定・解除を操作する機能で、常駐をおすすめします。ここで常駐の設定にしなくても、インストール後にFOMA PC設定ソフトのメニューから常駐するように設定できます。



7 インストール先を確認し、「次へ」をクリックする

- 変更する場合は「参照」をクリックし、任意のインストール先を指定して「次へ」をクリックします。

8 プログラムフォルダのフォルダ名を確認して「次へ」をクリックする

インストールを開始します。

- 変更する場合はフォルダ名を入力して「次へ」をクリックします。



9 「完了」をクリックする

「FOMA PC設定ソフト」が起動します。

- 続けて各種設定を始めることができます。

お知らせ

- すでにW-TCP環境設定ソフト、FOMAデータ通信設定ソフト、FOMA PC設定ソフトがインストールされている場合は、アンインストールしてから、添付のCD-ROMに入っているFOMA PC設定ソフトをインストールしてください。→P10

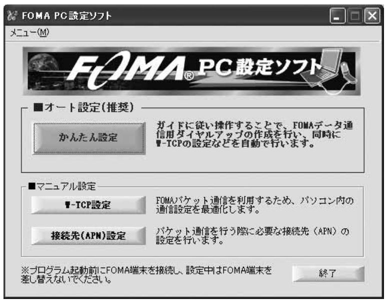
各種設定前の準備

FOMA PC設定ソフトを起動して、各種設定を行います。

- SA702i通信設定ファイル（ドライバ）がインストールされ、FOMA端末とパソコンがFOMA USB接続ケーブルで正しく接続されているか確認してください。
- FOMA端末がCOM20より大きい番号として認識されている場合は、APN設定の際、APNの情報の取得・書き込みができない場合があります。
- Windows XPを例に説明します。その他のOSをお使いの場合は、画面が異なります。

1 「スタート」▶「すべてのプログラム」（Windows XP以外のOSの場合は、「プログラム」）▶「FOMA PC 設定ソフト」▶「FOMA PC 設定ソフト」をクリックする

FOMA PC設定ソフトが起動します。



各種設定の方法

mopera Uまたはmoperaを利用したパケット通信設定方法

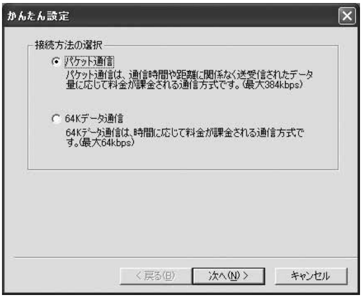
ドコモのインターネット接続サービスmopera U／moperaを利用してパケット通信を行う場合の設定です。

- mopera Uをご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。moperaをご利用いただく場合は、お申込不要、月額使用料無料です。
- mopera U／mopera以外のプロバイダをご利用のとき→P7

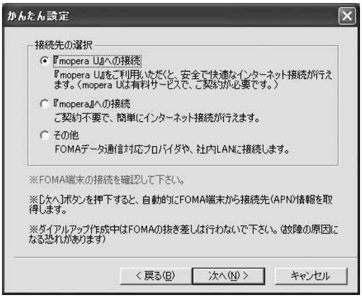
1 「かんたん設定」をクリックする

次ページへつづく

2 「パケット通信」を選択して「次へ」をクリックする



3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択し、「次へ」をクリックする



- 「『mopera U』への接続」を選択した場合、ご契約がお済みかどうかの確認画面が表示されます。ご契約がお済みの場合は「はい」をクリックします。

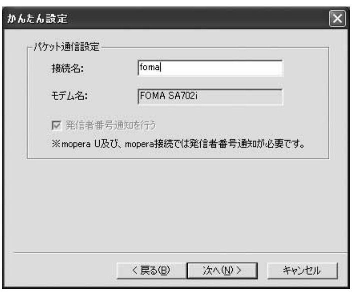
4 「OK」をクリックする

パソコンに接続されたFOMA端末から「接続先（APN）情報」を取得します。しばらくお待ちください。

5 接続名を入力して「次へ」をクリックする

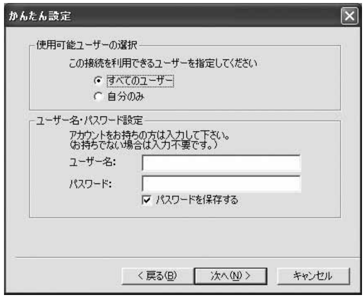
お好きな接続名を入力します。

- 半角文字「¥」、「/」、「:」、「＊」、「?」、「!」、「<」、「>」、「｜」、「"」は入力できません。



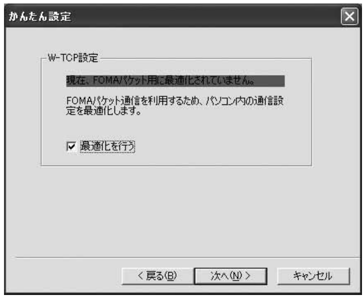
6 使用可能ユーザーを選択し、「次へ」をクリックする

- Windows 98/Meの場合、「使用可能ユーザーの選択」は表示されません。
- mopera U／moperaをお使いの場合、「ユーザー名」・「パスワード」については空欄でも接続できます。



7 「最適化を行う」をチェックし、「次へ」をクリックする

- すでに最適化されている場合、この画面は表示されません。



8 「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックし、設定情報を確認して「完了」をクリックする

9 「OK」をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動の確認画面が表示された場合、「はい」をクリックします。

その他のプロバイダを利用したパケット通信設定方法

mopera U／mopera以外のプロバイダを利用してパケット通信を行う場合の設定です。

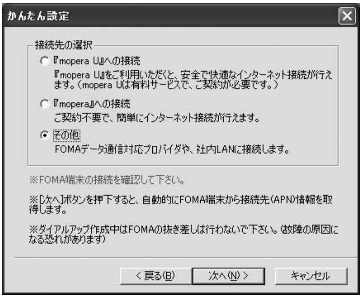
1 「かんたん設定」をクリックする

2 「パケット通信」を選択して「次へ」をクリックする

次ページへつづく

3 「その他」を選択し、「次へ」をクリックする

- mopera U／moperaをご利用のとき→P6



4 「OK」をクリックする

パソコンに接続されたFOMA端末から「接続先（APN）情報」を取得します。しばらくお待ちください。

5 接続名を入力して「接続先（APN）設定」をクリックする

お好きな接続名を入力します。

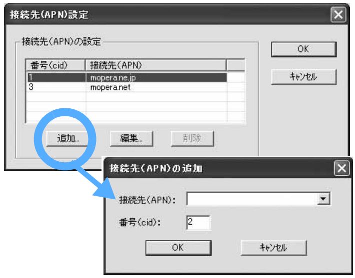
- 半角文字「¥」、「/」、「:」、「＊」、「?」、「!」、「<」、「>」、「｜」、「”」は入力できません。
- 「接続先（APN）の選択」にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が表示されています。
- 「発信者番号通知を行う」を選択すると、通信実行時に発信者番号を通知します。
- 社内LANの場合やプロバイダによっては「IPアドレス」と「ネームサーバー」の入力が必要な場合があります。「詳細情報の設定」をクリックし、プロバイダまたはネットワーク管理者からの情報をもとに設定してください。



6 接続先（APN）を設定する

別の接続先（APN）を設定するには、「追加」をクリックし、「接続先（APN）」にご利用のプロバイダのFOMAパケット網に対応した接続先名（APN）を正しく入力し、「OK」をクリックします。

- お買い上げ時には、番号（cid1）にはあらかじめ、moperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、番号（cid3）にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が設定されています。
- 接続先（APN）の登録は、cid（番号）の2、4〜16に設定します。
- 「接続先（APN）」には半角文字で、英数字、ハイフン（ - ）、ピリオド（ . ）のみ入力できます。

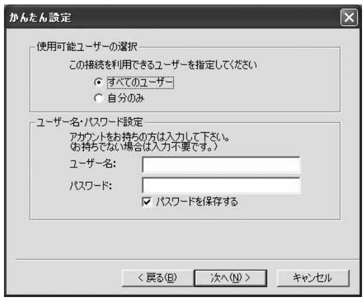


7 「OK」をクリックする

8 接続先名（APN）を確認し、「次へ」をクリックする

9 使用可能ユーザーを選択し、「ユーザー名」・「パスワード」を入力して「次へ」をクリックする

- Windows 98/Meの場合、「使用可能ユーザーの選択」は表示されません。
- 「ユーザー名」・「パスワード」はプロバイダからの情報をもとに正しく入力してください。



10 「最適化を行う」をチェックし、「次へ」をクリックする

- すでに最適化されている場合、この画面は表示されません。

11 「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」にチェックし、設定情報を確認して「完了」をクリックする

12 「OK」をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動の確認画面が表示された場合、「はい」をクリックします。

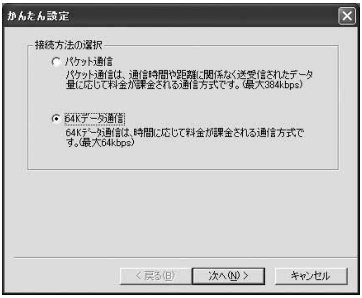
mopera Uまたはmoperaを利用した64Kデータ通信設定方法

ドコモのインターネット接続サービスmopera U／moperaを利用して64Kデータ通信を行う場合の設定です。

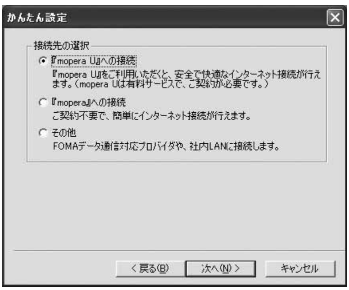
- mopera Uをご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。moperaをご利用いただく場合は、お申込不要、月額使用料無料です。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「64Kデータ通信」を選択して「次へ」をクリックする



3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択し、「次へ」をクリックする



- 「『mopera U』への接続」を選択した場合、ご契約がお済みかどうかの確認画面が表示されます。ご契約がお済みの場合は「はい」をクリックします。

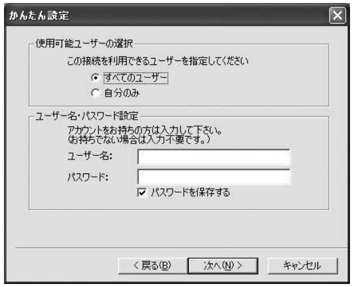
4 接続名を入力してモデムの選択（「FOMA SA702i」に設定）を確認し、「次へ」をクリックする

プロバイダの情報をもとに正しく入力します。

- 半角文字「￥」、「/」、「:」、「＊」、「?」、「!」、「<」、「>」、「｜」、「"」は入力できません。

5 使用可能ユーザーを選択し、「次へ」をクリックする

- Windows 98/Meの場合、「使用可能ユーザーの選択」は表示されません。
- mopera U／moperaをお使いの場合、「ユーザー名」･「パスワード」については空欄でも接続できます。



6 設定情報を確認して「完了」をクリックする

7 「OK」をクリックする

その他のプロバイダを利用した64Kデータ通信設定方法

mopera U／mopera以外のプロバイダを利用して64Kデータ通信を行う場合の設定です。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「64Kデータ通信」を選択して「次へ」をクリックする

3 「その他」を選択し、「次へ」をクリックする

4 接続名、電話番号を入力してモデムの選択（「FOMA SA702i」に設定）を確認し、「次へ」をクリックする

プロバイダの情報をもとに正しく入力します。

- 半角文字「￥」、「/」、「:」、「＊」、「?」、「!」、「<」、「>」、「｜」、「"」は入力できません。
- 社内LANの場合 やプロバイダによっては「IPアドレス」と「ネームサーバー」の入力が必要な場合があります。「詳細情報の設定」をクリックし、プロバイダまたはネットワーク管理者からの情報をもとに設定してください。

5 使用可能ユーザーを選択し、「ユーザー名」･「パスワード」を入力して「次へ」をクリックする

- Windows 98/Meの場合、「使用可能ユーザーの選択」は表示されません。
- 「ユーザー名」･「パスワード」はプロバイダからの情報をもとに正しく入力してください。

6 設定情報を確認して「完了」をクリックする

7 「OK」をクリックする

設定した通信を実行する

FOMA PC設定ソフトで設定した通信の実行や切断を行います。

- Windows XPを例に説明します。その他のOSをお使いの場合は、画面が異なります。

1 デスクトップのダイヤルアップ接続アイコンをダブルクリックする



通信接続を開始するための接続画面が表示されます。

■ Windows XPのスタートメニューから接続するとき

①「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」をクリックし、接続アイコンをダブルクリックする

■ Windows 98/Me/2000のスタートメニューから起動するとき

①「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワークとダイヤルアップ接続（ダイヤルアップネットワーク）」をクリックし、接続アイコンをダブルクリックする

2 「ダイヤル」をクリックし、接続を実行する

- mopera U／moperaを選択した場合、「ユーザー名」・「パスワード」については空欄でも接続できます。
- その他のプロバイダでのダイヤルアップ接続の場合は、「ユーザー名」・「パスワード」を入力して「ダイヤル」をクリックします。
- 「パスワードを保存する」を選択すると、次回からは入力の必要がなくなります。



- FOMA端末には「パケット通信中」または「64Kデータ通信中」という表示と、アイコンが表示されます。パケット通信・64Kデータ通信中のアイコンについて詳しくは取扱説明書をご覧ください。

通信を切断する

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されていない場合があります。次の操作を行って確実に切断してください。

- Windows XPを例に説明します。その他のOSをお使いの場合は、画面が異なります。

1 ダイヤルアップ接続アイコンをダブルクリックする

状態の画面が表示されます。



2 「切断」をクリックする

お知らせ

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。
- パケット通信中は、音声着信を受けられます。また、SMSを受信できます。
  64Kデータ通信中は、キャッチホンをお申し込みいただいている場合、通信を終了して着信に応答できます。また、SMSを受信できます。この場合、着信音などは鳴動せず、アイコンまたは受信画面でお知らせします。
- パケット通信・64Kデータ通信中の着信に、留守番電話サービスなどのネットワークサービスで対応できます。

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする場合は次の方法でアンインストールを行います。

- アンインストールはWindows XPを例に説明します。その他のOSをお使いの場合は、それぞれのOSの説明書をご覧ください。
- Windows XP、Windows 2000からアンインストールする場合、管理者権限を持つユーザー名でログオンしてからアンインストールしてください。それ以外のユーザーでアンインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合せください。
- アンインストールを始める前に、稼動中の他のプログラムがないことをご確認ください。ご使用中のプログラムがある場合は、使用中のプログラムを保存終了させた後、アンインストールを再開してください。

次ページへつづく

1 タスクトレイのW-TCP設定アイコン（　）を右クリックし、「常駐させない」を選択する

- 常駐しない設定の場合、アイコンは表示されません。そのままアンインストールを行います。

2 「スタート」▶「コントロールパネル」▶「プログラムの追加と削除」をダブルクリックする

3 「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択し、「変更と削除」をクリックする



4 プログラム名を確認し、「はい」をクリックする

アンインストールが開始されます。

5 「OK」をクリックする

お知らせ

●W-TCPが最適化されている場合は、アンインストール中に最適化を解除する画面が表示されます。「はい」をクリックし、画面に従ってパソコンを再起動してください。

W-TCPの設定

パソコンのパケット通信の設定をFOMAネットワーク用に最適化するために「W-TCP設定」を行います。

- 「W-TCP設定」とはFOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最適化するための「TCPパラメータ設定ツール」です。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

最適化の設定と解除（Windows XP）

Windows XPの場合は、ダイヤルアップごとに最適化できます。

1 「FOMA PC設定ソフト」を起動し、「W-TCP設定」をクリックする

- スタートメニューから起動する方法とタスクトレイの　をクリックして起動する方法があります。

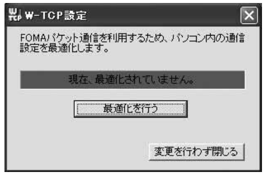
2 次の操作を行う

■ システム設定が最適化されていないとき

①「最適化を行う」をクリックする

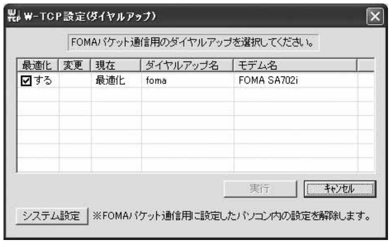
②最適化するダイヤルアップを選択し、「実行」をクリックする

システム設定、ダイヤルアップ設定それぞれの最適化が実行されます。（システム設定は再起動後に最適化が有効になります。）



■ システム設定が最適化されているとき

次の画面が表示されます。
内容を変更する場合はチェックボックスをクリックし、「実行」をクリックします。



■ 最適化を解除するとき

①「W-TCP設定（ダイヤルアップ）」画面で「システム設定」をクリックする

②「最適化を解除する」をクリックする

3 Windowsを再起動する

- 再起動後に設定が有効になります。

最適化の設定と解除（Windows 98/Me/2000）

1 「FOMA PC設定ソフト」を起動し、「W-TCP設定」をクリックする

- スタートメニューから起動する方法とタスクトレイの　をクリックして起動する方法があります。

2 次の操作を行う

■ システム設定が最適化されていないとき

①「最適化を行う」をクリックする

■ 最適化を解除するとき

①「最適化を解除する」をクリックする

3 Windowsを再起動する

- 再起動後に設定が有効になります。

接続先（APN）の設定

パケット通信時の接続先（APN）を設定します。

- 接続先（APN）は16件まで設定でき、登録番号（cid）の1～16に登録して管理します。
  お買い上げ時、cidの1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、cidの3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。
- Windows XPを例に説明します。その他のOSをお使いの場合は、画面が異なります。

1 「FOMA PC設定ソフト」を起動し、「接続先（APN）設定」をクリックする

2 「OK」をクリックする

接続されたFOMA 端末に自動的にアクセスし、登録されている「接続先（APN）情報」を読み込みます。

3 接続先（APN）の設定を行う



■ 接続先（APN）を追加するとき

①「追加」をクリックする

■ 登録済みの接続先（APN）を編集・修正するとき

①接続先（APN）を選択して「編集」をクリックする

■ 登録済みの接続先（APN）を削除するとき

①接続先（APN）を選択して「削除」をクリックする

- 番号（cid）の1と3に登録されている接続先（APN）は削除できません。番号（cid）の3を選択して「削除」をクリックした場合も、実際には削除されず、「mopera.net」の設定に戻ります。

■ 接続先（APN）設定をファイルへ保存するとき

①ツールバーの「ファイル」▶「名前を付けて保存」または「上書き保存」をクリックする

- FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先（APN）設定を保存するときに利用します。

■ 接続先（APN）設定をファイルから読み込むとき

①ツールバーの「ファイル」▶「開く」をクリックする

- 保存された接続先（APN）設定を再編集したり、FOMA 端末に書き込むときなどに利用します。

■ FOMA端末から接続先（APN）情報を読み込むとき

①ツールバーの「ファイル」▶「FOMA端末から設定を取得」をクリックする

- FOMA端末に手動でアクセスし、登録された接続先（APN）設定を読み込みます。

■ FOMA端末へ接続先（APN）情報を書き込むとき

①「FOMA端末へ設定を書き込む」をクリックする

- 表示されている接続先（APN）設定をFOMA端末に書き込みます。

②「はい」をクリックする

■ ダイヤルアップを作成するとき

①追加・編集された接続先（APN）を選択し、「ダイヤルアップ作成」をクリックする

- 「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面が表示されます。

②「はい」をクリックする

- FOMA端末に接続先を書き込みます。

③「OK」をクリックする

④任意の接続名を入力し、「アカウント・パスワードの設定」をクリックする

- mopera U／mopera の場合、設定は任意です。

⑤使用可能ユーザーを選択し、「ユーザー名」・「パスワード」を入力し、「OK」をクリックする

- Windows 98／Meの場合、「使用可能ユーザーの選択」は表示されません。
- ご利用のプロバイダより、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面で「詳細情報の設定」をクリックし、必要な情報を登録後、「OK」をクリックしてください。

⑥「OK」をクリックする

- 上書きする場合は「はい」をクリックしてください。

お知らせ

●mopera U／mopera以外の接続先（APN）については、プロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

FOMA PC設定ソフトを使わない通信の設定

ダイヤルアップネットワークの設定

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信／64Kデータ通信のダイヤルアップ接続の設定を行う方法について説明します。

ダイヤルアップネットワーク設定の流れ

接続先（APN）の設定
- 接続先がmopera U／mopera以外のパケット通信を行う場合に必要な設定です。

↓

発信者番号の通知／非通知の設定→P14

↓

ダイヤルアップネットワーク設定
- Windows XP→P14
- Windows 2000→P16
- Windows Me／98→P17

接続先（APN）を設定する

お買い上げ時	cid1　mopera.ne.jp cid3　mopera.net cid2、4～16　設定なし

設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここではWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。
- 接続先（APN）は、登録番号cid1～cid16に設定できます。
- お買い上げ時、cidの1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、cidの3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。その他のプロバイダや社内LANなどに接続する場合は、cid2、4～16にAPNを登録します。
- Windows XPを例に説明します。その他のOSをお使いの場合は、画面が異なります。

1 **FOMA端末とパソコンを接続する**

2 **「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ハイパーターミナル」をクリックする**
- Windows 98ではさらに「Hypertrm.exe」をダブルクリックします。
- Windows XP以外のOSでは「すべてのプログラム」が「プログラム」と表示されます。

3 **「名前」に任意の名前を入力して「OK」をクリックする**
- ハイパーターミナル起動後に、「「規定のTelnet」プログラムにしますか？」と表示された場合、任意で設定します。設定内容につきましては、パソコンメーカおよびマイクロソフト社にご確認ください。



4 **「電話番号」に番号（「0」など）を仮に入力し、「接続方法」から「FOMA SA702i」を選択して「OK」をクリックする**
- 市外局番は設定不要です。（接続先（APN）の設定とは関係ありません。）



5 **接続画面が表示されたら「キャンセル」をクリックする**

6 **接続先（APN）を入力して ⏎ を押す**

「AT+CGDCONT＝<cid>,“PPP”,“APN”」の形式で入力します。
- すでにcidが設定されている場合、上書きされますのでご注意ください。

<cid>
2、4～16 までのうち任意の番号を入力します。
“PPP”
そのまま“PPP”と入力します。
“APN”
接続先（APN）を“ ”で囲んで入力します。
「OK」と表示されれば、接続先（APN）の設定は完了です。

次ページへつづく

7 「OK」と表示されていることを確認し、「ファイル」▶「ハイパーターミナルの終了」をクリックする

- 「現在、接続されています。切断してよろしいですか？」と表示された場合は、「はい」をクリックします。
- 「“XXX”と名前付けされた接続を保存しますか?」と表示されるので、「いいえ」をクリックします。

■ 接続先（APN）設定をリセットするとき

AT+CGDCONT=⏎：

すべてのcid をリセットします。

- <cid>=1は「mopera.ne.jp」、<cid>=3は「mopera.net」（お買い上げ時）に戻り、<cid>=2、4～16の設定は未登録になります。

AT+CGDCONT= <cid> ⏎：

特定のcid をリセットします。

■ 接続先（APN）設定を確認するとき

AT+CGDCONT? ⏎

■ ATコマンドを入力しても画面に表示されないとき

ATE1 ⏎

■ 接続先（APN）とcid（登録番号）について

接続先（APN）の設定は電話帳に相手の電話番号などを登録するのと同じように登録されます。FOMA端末の電話帳と比較すると次のようになります。

接続先の設定項目	FOMA 端末の電話帳の登録項目
cid（登録番号）	登録番号（メモリ番号）
APN	相手の電話番号

お知らせ

●mopera U／mopera以外の接続先（APN）についてはプロバイダまたはネットワーク管理者にお問合せください。

●登録したcidはダイヤルアップ時の接続番号となります。

発信者番号の通知／非通知を設定する

お買い上げ時	設定なし

パケット通信を行うときに発信者番号の通知／非通知を設定できます。発信者番号はお客様の大切な情報なので、通知する際には十分にご注意ください。

- mopera Uまたはmoperaをご利用になる場合は、「通知」に設定する必要があります。

1 「ハイパーターミナル」を起動する

2 パケット通信時の発信者番号の通知（186）／非通知（184）を設定する

「AT＊DGPIR=<n>」の形式で入力します。

AT＊DGPIR=1 ⏎：

接続先（APN）に「184」を付けて接続します。

AT＊DGPIR=2 ⏎：

接続先（APN）に「186」を付けて接続します。

AT＊DGPIR=0 ⏎：

設定なしに戻ります。

3 「OK」と表示されていることを確認し、「ファイル」▶「ハイパーターミナルの終了」をクリックする

- 「“XXX”と名前付けされた接続を保存しますか?」と表示されるので、「いいえ」をクリックします。

■ ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に「186」（通知）／「184」（非通知）を付けることができます。

＊DGPIR コマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で「186」（通知）／「184」（非通知）の設定を行った場合、発信者番号の通知／非通知は次のようになります。

ダイヤルアップネットワークの設定（＜cid＞=1 の場合）	＊DGPIR コマンドによる設定	発信者番号の通知／非通知
＊99＊＊＊1#	設定なし	通知
	非通知	非通知
	通知	通知
184＊99＊＊＊1#	設定なし	非通知※1
	非通知	
	通知	
186＊99＊＊＊1#	設定なし	通知※2
	非通知	
	通知	

※1 ダイヤルアップネットワークの通知 184 が優先されます。

※2 ダイヤルアップネットワークの通知 186 が優先されます。

ダイヤルアップの設定を行う

Windows XPで設定する

1 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「新しい接続ウィザード」をクリックする

「新しい接続ウィザード」が表示されます。

2 「次へ」をクリックする

3 「インターネットに接続する」を選択し、「次へ」をクリックする

4 「接続を手動でセットアップする」を選択し、「次へ」をクリックする

次ページへつづく

5 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択し、「次へ」をクリックする

複数のモデムが存在する場合は「デバイスの選択」画面が表示されます。モデムが1つしかない場合は表示されませんので、手順7に進みます。

6 「モデムーFOMA SA702i（COMx）」のみ選択し、「次へ」をクリックする

- 「COMx」の「x」は、お使いのパソコンにより異なるポート番号（数字）が設定されます。



7 「ISP名」に任意の名前を入力し、「次へ」をクリックする

8 「電話番号」に接続先の番号を半角で入力して「次へ」をクリックする

■パケット通信のとき

＊99＊＊＊<cid>＃を入力します。

- <cid>には、「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号を入力します。mopera Uへ接続する場合は、＊99＊＊＊3＃、moperaへ接続する場合は、＊99＊＊＊1＃となります。

■64Kデータ通信のとき

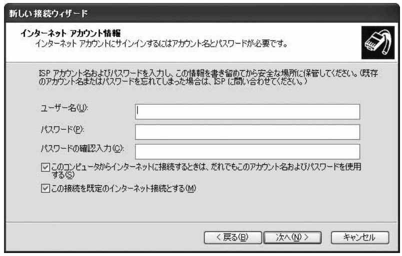
接続先の電話番号を入力します。

- mopera Uをご利用の場合は、＊8701、moperaをご利用の場合は、＊9601を入力します。



9 「ユーザー名」・「パスワード」・「パスワードの確認入力」を入力し、各項目を設定して「次へ」をクリックする

- 接続先がmopera U／moperaの場合、「ユーザー名」・「パスワード」・「パスワードの確認入力」については空欄でも接続できます。



10 「完了」をクリックする

接続先のダイヤルアップアイコンが作成されます。

11 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」をクリックする

12 作成したダイヤルアップアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックする

13 「全般」タブをクリックし、設定を確認する

複数のモデムが存在する場合、「接続の方法」で「モデムー FOMA SA702i」のみ選択します。

「ダイヤル情報を使う」のチェックを外しておきます。



14 「ネットワーク」タブをクリックし、各項目の設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP：Windows95/98/NT4/2000, Internet」を選択します。

「この接続は次の項目を使用します」は「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択します。「QoSパケットスケジューラ」は設定変更できませんので、そのままにしておいてください。

次ページへつづく

- ご利用のプロバイダによりIPおよびDNS情報の設定が必要な場合があります。プロバイダからの情報をもとに必要な設定を行ってください。



15「設定」をクリックする

16 すべてのチェックをはずし、「OK」をクリックする



17「OK」をクリックする

Windows 2000で設定する

1「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリックする

「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面が表示されます。

2「新しい接続の作成」をダブルクリックする

「新しい接続の作成」をはじめてダブルクリックした場合、「所在地情報」画面が表示されます。2回目以降は表示されませんので、手順5に進みます。

3「市外局番」を入力し、「OK」をクリックする

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

4「OK」をクリックする

「ネットワークの接続ウィザード」画面が表示されます。

5「次へ」をクリックする

6「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択し、「次へ」をクリックする

7「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク(LAN)を使って接続します」を選択し、「次へ」をクリックする

8「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択し、「次へ」をクリックする

9「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」が「FOMA SA702i」になっていることを確認し、「次へ」をクリックする

10「電話番号」に接続先の番号を入力して「市外局番とダイヤル情報を使う」のチェックを外し、「詳細設定」をクリックする

11「接続」タブをクリックして設定し、「アドレス」タブをクリックする

「接続の種類」を「PPP(Point to Point プロトコル)」にし、「LCP拡張を無効にする」にチェックが入っていることを確認します。
「ログオンの手続き」を「なし」にします。

- mopera U/mopera以外のプロバイダに接続する場合は、プロバイダからの情報をもとに設定します。

12 IPアドレスとISPによるDNS(ドメインネームサービス)アドレスの自動割り当てを設定し、「OK」をクリックする

各設定を「インターネットサービスプロバイダによる自動割り当て」と、「ISPによるDNS(ドメインネームサービス)アドレスの自動割り当て」に設定します。

- mopera U/mopera以外のプロバイダに接続する場合は、プロバイダからの情報をもとに設定します。

13「次へ」をクリックする

14「ユーザー名」・「パスワード」を入力し、「次へ」をクリックする

- mopera U/moperaに接続する場合は、「ユーザー名」・「パスワード」については空欄でも接続できます。入力されていないことを確認する画面が表示されたら「はい」をクリックします。
- mopera U/mopera以外のプロバイダに接続する場合は、プロバイダからの情報をもとに設定します。

15「接続名」に任意の名前を入力し、「次へ」をクリックする

16「いいえ」を選択し、「次へ」をクリックする

17「完了」をクリックする

18 作成したダイヤルアップアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックする

次ページへつづく

19 **「全般」タブをクリックし、設定を確認する**

複数のモデムが存在する場合、「接続の方法」で「モデム－ FOMA SA702i」を選択します。
「ダイヤル情報を使う」のチェックを外しておきます。

20 **「ネットワーク」タブをクリックし、各項目の設定を行う**

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP：Windows95/98/NT4/2000, Internet」を選択します。
コンポーネントは「インターネットプロトコル（TCP/IP）」のみチェックします。

21 **「設定」をクリックする**

22 **すべてのチェックを外し、「OK」をクリックする**

23 **「OK」をクリックする**

Windows 98／Meで設定する

1 **「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ダイヤルアップネットワーク」をクリックする**

はじめてダイヤルアップネットワークを起動した場合「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面が表示されます。2回目以降は表示されません。手順3にすすみます。

2 **「次へ」をクリックする**

3 **「新しい接続」をダブルクリックする**

4 **「接続名」に任意の名前を入力し、「次へ」をクリックする**

- 「モデムの選択」を「FOMA SA702i」にします。

5 **「電話番号」に接続先の番号を入力し、「次へ」をクリックする**

- 市外局番を入力する必要はありません。

6 **「完了」をクリックする**

- 接続名を確認します。

7 **「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ダイヤルアップネットワーク」をクリックする**

8 **作成した接続先のアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックする**

9 **「全般」タブをクリックし、設定を確認する**

複数のモデムが存在する場合、「接続方法」で「モデム－ FOMA SA702i」を選択します。
「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」のチェックを外しておきます。

10 **「ネットワーク」タブをクリックし、各項目の設定を行う**

「ダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP：インターネット、Windows2000/NT、Windows Me」を選択します。「詳細オプション」のすべてのチェックを外し、使用できるネットワークプロトコルは「TCP/IP」だけを選択します。
Windows 98の場合、「サーバーの種類」タブをクリックし、「ダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP：インターネット、Windows NT Server, Windows 98」を選択します。

11 **「OK」をクリックする**

- Windows Meでmopera U／moperaに接続する場合、「セキュリティ」タブの「ユーザー名」･「パスワード」については空欄でも接続できます。
- mopera U／mopera以外のプロバイダに接続する場合は、プロバイダからの情報をもとに設定します。

ダイヤルアップ接続する

通信の実行や切断について説明します。

- 接続前にFOMA端末とパソコンがFOMA USB接続ケーブルで正しく接続されているか確認してください。
- Windows XPを例に説明します。その他のOSをお使いの場合は、それぞれのOSの説明書をご覧ください。

1 **「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」をクリックする**

2 **設定した接続先アイコンをダブルクリックする**

3 **内容を確認し、「ダイヤル」をクリックする**

- Windows 98/Meの場合は「接続」をクリックします。
- mopera U／moperaを選択した場合は「ユーザー名」･「パスワード」については空欄でも接続できます。
- その他のプロバイダでのダイヤルアップ接続の場合は、「ユーザー名」･「パスワード」を入力して「ダイヤル」をクリックします。
- 「次のユーザーが接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワードを保存する」を選択すると、次回からは入力の必要がなくなります。



切断する

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されていない場合があります。次の操作を行って確実に切断してください。

- Windows XPを例に説明します。その他のOSをお使いの場合は、画面が異なります。

1 ダイヤルアップ接続アイコンをダブルクリックする

状態の画面が表示されます。



2 「切断」をクリックする

ATコマンド

FOMA端末はATコマンドに準拠し、ATコマンド以外に拡張コマンドの一部や独自のATコマンドが使用できます。

- ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。コマンドの先頭に「AT」を付けることからこのように呼ばれています。

ATコマンドについて

ATコマンドの入力形式

ATコマンドは、半角英数字を使用し、1行で入力してください。

- ATコマンドはコマンドに続くパラメータ（数字や記号）を含めて、1行で入力します。
- 1行とは最初の文字から↵を押した直前までの文字のことです。
- 最大545文字（「AT」含む）入力できます。

入力例

ATD＊99＊＊＊1#↵

リターンマーク：Enterキーを押します。コマンドの区切りになります。

パラメータ：コマンドの内容です。

コマンド：コマンド名です。

ATコマンドの入力モード

パソコンをターミナルモード（「ハイパーターミナル」を起動するなど）にすると、ATコマンドでFOMA端末を操作できます。ターミナルモードにすると、キーボードから入力された文字がそのまま通信ポートに送られ、FOMA端末を操作することができます。

■ オフラインモード

FOMA端末が待受の状態です。この状態でATコマンドの操作を行います。

■ オンラインデータモード

FOMA端末が通信中の状態です。ATコマンドを入力すると、ATコマンドそのものを通信先に送信して、通信先のモデムを誤動作させることがありますので、通信中はATコマンドを入力しないでください。

■ オンラインコマンドモード

FOMA端末が通信中でも、ATコマンドでFOMA端末を操作することが可能な状態です。（ATコマンド入力時は操作が必要です。）通信先と接続したままATコマンドを実行し、終了後に通信を続けられます。

オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替える

FOMA端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、次の方法があります。

- **「+++」コマンドまたは「S2」レジスタに設定したコードを入力する**
- **「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C※のER信号をOFFにする**

オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替えるには、「ATO↵」と入力します。

※ USBインターフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリケーションによるRS-232Cの信号制御が有効となります。

ATコマンド一覧

- FOMA SA702i Modem Portで使用できるATコマンドです。
- ATコマンド入力時に、使用しているPCや通信ソフトのフォント設定により、「￥」を入力しても「＼」と表示される場合があります。
- FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取外した場合、設定値が記録されないことがあります。

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT%V	FOMA端末のバージョンを表示します。	FOMA端末のバージョンを"VerX.XXX"などの形式で表示します。	AT%V↵ Ver1.000 OK
AT&C＜n＞	DTEへの回路CD（DCD）信号の動作条件を設定します。※1	n=0：常にON n=1：回線接続状態に従い変化（お買い上げ時） 「&C1」に設定する場合は、接続完了時の"CONNECT"を送出する直前にCD信号をONにします。回路が切断され、"NO CARRIER"を送出する直前にCD信号をOFFにします。	AT&C1↵ OK
AT&D＜n＞	オンラインデータモードのときに、DTEから受け取る回路ER（DTR）信号がONからOFFに変わったときの動作を設定します。※1	n=0：状態を無視（常にONとみなす） n=1：ONからOFFに変わるとオンラインコマンドモードに移行 n=2：ONからOFFに変わると回線を切断しオフラインモードに移行（お買い上げ時）	AT&D1↵ OK
AT&E＜n＞	接続時の速度表示仕様を選択します。※1	本コマンドは、「ATX＜n＞」コマンド(→P25)がn=0以外のときのみ有効です。 n=0：回線区間通信速度を表示 n=1：パソコンとFOMA端末間の通信速度を表示（お買い上げ時）	AT&E1↵ OK
AT&F	FOMA端末のATコマンド設定値を工場出荷時の状態にリセットします。通信中に本コマンドを入力した場合は、回線を切断してからリセットします。		AT&F↵ OK
AT&S＜n＞	DTEへ出力するデータセットレディ（DR）信号の制御のしかたを設定します。※1	n=0：常時ON（お買い上げ時） n=1：回線接続時にON	AT&S0↵ OK
AT&W	現在の設定値をFOMA端末に記録します。		AT&W↵ OK

次ページへつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT＊DANTE	FOMA端末の受信レベル表示を数字で表示します。	「AT＊DANTE」を実行すると"＊DANTE:＜n＞"の形式で表示されます。 n=0：圏外 n=1： n=2： n=3：	AT＊DANTE↵ ＊DANTE:3 OK AT＊DANTE=？↵ ＊DANTE:(0-3) OK （表示可能な値の範囲を表示する）
AT＊DGANSM=＜n＞	パケット着信呼に対する着信拒否／許可設定のモードを設定します。本コマンドの設定は、設定コマンド入力後のパケット着信呼のみ有効です。※2	n=0：着信拒否設定および着信許可設定をOFFに設定（お買い上げ時） n=1：パケット着信を許可 n=2：パケット着信を拒否	AT＊DGANSM=0↵ OK AT＊DGANSM？↵ ＊DGANSM:0 OK
AT＊DGPIR=＜n＞	本コマンドの設定は、発信時、着信時に有効です。 ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に「186」（通知）／「184」（非通知）を付けることができます。※2	n=0：パケット通信確立時、APNにそのまま接続（お買い上げ時） n=1：パケット通信確立時、APNに「184」を付けて接続 n=2：パケット通信確立時、APNに「186」を付けて接続 本コマンドとダイヤルアップネットワークの両方で「186」（通知）／「184」（非通知）を設定した場合→P14	AT＊DGPIR=0↵ OK AT＊DGPIR?↵ ＊DGPIR:0 OK
AT＊DRPW	FOMA端末が受信する電波の受信電力指標を表示します。	「AT＊DRPW」を設定すると"＊DRPW:＜n＞"の形式で表示されます。	AT＊DRPW↵ ＊DRPW:0 OK AT＊DRPW=？↵ ＊DRPW:(0-75) OK （表示可能な値の範囲を表示する）
+++	FOMA端末のモードをオンラインデータモードからオンラインコマンドモードへ移行します。 エスケープガード区間は「1秒」の固定値です。		
AT+CEER	直前の通信の切断理由を表示します。	「切断理由一覧」を参照→P28	AT+CEER↵ +CEER:36 OK
AT+CGDCONT	パケット発信時の接続先（APN）を設定します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照→P28	「ATコマンドの補足説明」を参照→P28

次ページへつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CGEQMIN	PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許可するかどうかの判定基準を登録します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照→P28	「ATコマンドの補足説明」を参照→P28
AT+CGEQREQ	パケット通信を確立したときにネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を許可するかどうかの判定基準を登録します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照→P29	「ATコマンドの補足説明」を参照→P29
AT+CGMR	FOMA端末のバージョンを表示します。		AT+CGMR↵ １２３４５６７８９ ０１２３４５６ OK
AT+CGREG= ＜n＞	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。通知される内容は圏内／圏外です。※1	＜n＞ 0：通知なし（お買い上げ時） 1：通知あり 「AT+CGREG=1」に設定すると、圏内から圏外、または圏外から圏内へ移動したときに"+CGREG：<stat>"の形式で通知されます。 <stat>パラメータは「0,1,4」をサポートします。 ＜stat＞ 0：圏外 1：圏内（home） 4：不明 「AT+CGREG?」のとき"+CGREG：<n>, <stat>"を表示します。	AT+CGREG=1↵ OK （通知ありに設定） AT+CGREG?↵ +CGREG:1,0 OK （通知あり、圏外を意味している）
AT+CGSN	FOMA端末の製造番号を表示します。		AT+CGSN↵ １２３４５６７８９ ０１２３４５ OK
AT+CLIP=＜n＞	64Kデータ通信の着信時に、相手の発信番号をパソコンに表示できます。※1	＜n＞ 0：リザルトを表示しない（お買い上げ時） 1：リザルトを表示する 「AT＋CLIP？」のとき、"+CLIP：＜n＞,＜m＞"を表示します。 ＜m＞ 0：発信時に相手に番号を通知しないNW設定 1：発信時に相手に番号を通知するNW設定 2：不明	AT+CLIP=0↵ OK

次ページへつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CLIR=＜n＞	64Kデータ通信の発信時に、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。※2	＜n＞ 0：サービスご契約の設定に従う 1：通知しない 2：通知する（お買い上げ時） 「AT+CLIR？」のとき、"+CLIR：＜n＞,＜m＞"を表示します。 ＜m＞ 0：CLIRは未起動（常時通知） 1：CLIRは常時起動（常時非通知） 2：不明 3：CLIRテンポラリーモード（非通知デフォルト） 4：CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト）	AT+CLIR=2↵ OK
AT+CMEE=＜n＞	FOMA端末のエラーレポートの有無を設定します。※1	エラーを"ERROR"のみで表示するか、理由を文字あるいは数値でレポートするかを設定します。 ＜n＞ 0：リザルトコードを使用せずに"ERROR"を表示（お買い上げ時） 1：リザルトコードを使用し、数字で理由を表示 2：リザルトコードを使用し、文字で理由を表示 n=1またはn=2でエラーレポート表示に設定した場合、エラーレポートは次のように表示されます。 "+CME ERROR：xxxx"（xxxxには、数字または文字が表示されます。「エラーレポート一覧」→P28）	AT+CMEE=0↵ OK AT+CNUM↵ ERROR AT+CMEE=1↵ OK AT+CNUM↵ +CME ERROR:10 AT+CMEE? +CMEE:0 OK
AT+CNUM	FOMA端末の自局番号を表示します。	「AT+CNUM」を実行すると +CNUM：, "<number>",＜type＞の形式で表示されます。 ＜number＞電話番号 ＜type＞ 129：国際アクセスコード+を含まない 145：国際アクセスコード+を含む	AT+CNUM↵ +CNUM :,"+8190 12345678",145 OK
AT+CPIN	FOMAカードの暗証番号を入力します。	PIN1／PIN2、PINロック解除コードを入力します。 「リザルトコード」を参照→P29	(PIN1／PIN2コードを入力) AT+CPIN="1234"↵ OK (PINロック解除コードと新しいPIN1／PIN2コードを入力) AT+CPIN="12345678","1234"↵ OK AT+CPIN?↵ +CPIN:READY OK

次ページへつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CR=＜mode＞	回線接続時に"CONNECT"のリザルトコードが表示される前に、パケット通信／64Kデータ通信を表示するかどうかを設定します。※1	<mode> 0：表示しない（お買い上げ時） 1：表示する パケット通信のときは、"GPRS"と表示され64Kデータ通信のときは"SYNC"と表示されます。	AT+CR=1↵ OK ATD＊99＊＊＊1#↵ +CR:GPRS CONNECT AT+CR? +CR:0 OK
AT+CRC=＜n＞	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。※1	n=0：使用しない（お買い上げ時） n=1：使用する	AT+CRC=0↵ OK AT+CRC? +CRC:0 OK
AT+CREG=＜n＞	ネットワークの圏内／圏外情報を表示するかを設定します。※1	<n> 0：通知なし（お買い上げ時） 1：通知あり 「AT+CREG＝1」に設定すると、圏内から圏外、または圏外から圏内へ移動したときに"+CREG:<stat>"の形式で通知されます。<stat>パラメータは「0,1,4」をサポートします。 <stat> 0：圏外 1：圏内 4：不明 「AT+CREG?」のとき"+CREG：<n>, <stat>"を表示します。	AT+CREG=1↵ OK （通知ありに設定） AT+CREG？↵ +CREG:1,0 OK （通知あり、圏外を意味している）
AT+CUSD=＜n＞	付加サービス等に関するネットワークの設定を行います。	<n> 0：中間リザルト+CUSD: 　<m>[,<str>,<dcs>]を送出しない 1：中間リザルト+CUSD: 　<m>[,<str>,<dcs>]を送出する <str>は、0～9,#,＊のみを許容とします。 <str>パラメータは、stringパラメータであるため、""で囲みます。	AT+CUSD=0,"xxxxxxxxx"↵ OK AT+CUSD=1,"＊148＊1＊0000#",0↵ +CUSD:0,"148＊7#",0 OK
AT+GMI	FOMA端末のメーカの名前が半角英数字で表示されます。		AT+GMI↵ SANYO Electric Co., Ltd. OK
AT+GMM	FOMA端末の製品名が半角英数字で表示されます。		AT+GMM↵ FOMA SA702i OK
AT+GMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	FOMA端末のバージョンを"VerX.XXX"などの形式で表示します。	AT+GMR↵ Ver1.000 OK

次ページへつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+IFC=＜n,m＞	パソコンとFOMA端末間のローカルフロー制御方式を設定します。※1	DCE by DTE（＜n＞） 0：フロー制御を行わない 1：XON/XOFFフロー制御を行う 2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行う（お買い上げ時） DTE by DCE（＜m＞） 0：フロー制御を行わない 1：XON/XOFFフロー制御を行う 2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行う（お買い上げ時）	AT+IFC=2,2↵ OK
AT+WS46=＜n＞	発信時に使用する無線ネットワークを設定します。着信に影響を与えるものではありません。	n=22：FOMAネットワーク（固定値）	AT+WS46=22↵ OK
ATA	64Kデータ通信の着信時に入力すると、着信処理を行います。		RING ATA↵ CONNECT
A/	直前に実行したコマンドを再実行するときに使用します。	前の応答が"ERROR"の場合"ERROR"が返ります。	A/ OK
ATD	発信処理を行います。※3	パケット通信： 「ATD＊99＊＊＊＜cid＞#↵」 「ATD＊99#」を入力した場合は「＜cid＞=1」を用います。（＜cid＞の入力を省略した場合は、「＜cid＞=1」になります。） 「ATD184＊99」で始まる書式を入力した場合は指定した＜cid＞に設定したAPNに対して"184"が付加されます。（発信者番号通知ありの"186"でも同様の操作ができます。） 64Kデータ通信： 「ATD[パラメータ][電話番号]↵」 相手の電話番号に「0～9、＊、#、A、a、B、b、C、c、D、d、-（ハイフン）、スペース、T、t、P、p、!、W、w、@、,（カンマ）」以外を設定した場合は、発信できません。 の文字は入力可能ですが、ダイヤル時には認識されません。	ATD＊99＊＊＊1#↵ CONNECT
ATE＜n＞	パソコンから送信された本コマンドに対して、FOMA端末がエコーを返すかどうかを設定します。※1	n=0：エコーバックなし n=1：エコーバックあり（お買い上げ時） 通常はn=1で使用します。パソコンにエコー機能がある場合、n=0に設定すると文字が二重に表示されなくなります。	ATE1↵ OK

次ページへつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATH	パケット通信および64Kデータ通信時に入力すると、回線を切断します。		(通信中) +++ OK ATH↵ NO CARRIER
ATI＜n＞	確認コードを表示します。	n=0：NTT DoCoMo n=1：製品名の略称を表示する (FOMA SA702i) n=2：製品のバージョンを"VerX.XXX"などの形式で表示する	ATI0↵ NTT DoCoMo OK
ATO	通信中にオンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻ります。		ATO↵ CONNECT
ATQ＜n＞	リザルトコードを表示するかどうかを設定します。※1	n=0：表示する（お買い上げ時） n=1：表示しない	ATQ0↵ OK
ATV＜n＞	リザルトコードの表示方法を設定します。※1	すべてのリザルトコードを数字表記あるいは英文字表記で表示します。 n=0：数字表記で表示する n=1：英文字表記で表示する（お買い上げ時）	ATV1↵ OK
ATX＜n＞	接続の"CONNECT"表示に速度表示の有無を設定します。また、ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行います。※1 ビジートーン検出： 接続先が通話中のとき、"BUSY"応答を送出します。 ダイヤルトーン検出： FOMA端末に接続されているかどうかを判定します。 速度表示： 接続時の"CONNECT"表示に速度を表示するかどうかを設定します。	n=0：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示なし n=1：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=2：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり n=3：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=4：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり (お買い上げ時)	ATX1↵ OK
ATZ	FOMA端末のATコマンド設定値をリセットします。※4	FOMA端末のATコマンド設定値を不揮発メモリの内容にリセットします。通信中に本コマンドを入力した場合は、回線を切断してからリセットします。	(オンライン時) ATZ↵ NO CARRIER (オフライン時) ATZ↵ OK
ATS0=＜n＞	FOMA端末が自動着信するまでの呼び出し回数を設定します。※1	n=0：自動着信なし（お買い上げ時） n=1～255：指定したリング数で自動着信	ATS0=0↵ OK

次ページへつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATS2=＜n＞	エスケープキャラクタの設定を行います。	n=0～127（お買い上げ時n=43） n=127に設定するとエスケープは無効になります。	ATS2=43↵ OK ATS2?↵ 043 OK
ATS3=＜n＞	復帰（CR）キャラクタの設定を行います。	ATコマンド文字列の最後を認識するキャラクタを定義します。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付きます。設定値は変更できません。（お買い上げ時n=13）	ATS3=13↵ OK ATS3?↵ 013 OK
ATS4=＜n＞	改行（LF）キャラクタの設定を行います。	英文でリザルトコードを表示する場合、[CR]キャラクタの後に付きます。設定値は変更できません。（お買い上げ時n=10）	ATS4=10↵ OK ATS4?↵ 010 OK
ATS5=＜n＞	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。	ATコマンド入力中にこのキャラクタを検出すると、入力バッファの最後のキャラクタを削除します。設定値は変更できません。（お買い上げ時n=8）	ATS5=8↵ OK ATS5?↵ 008 OK
ATS6=＜n＞	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドによりレジスタは設定されますが、動作しません。 n：2～10（お買い上げ時n=5）	ATS6=10↵ OK
ATS8=＜n＞	カンマダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドによりレジスタは設定されますが、ポーズ時間（3秒）に影響しません。 n=0：ポーズしない n：1～255（お買い上げ時n=3）	ATS8=3↵ OK
ATS10=＜n＞	自動切断の遅延時間（秒）を設定します。（1/10秒）※1	本コマンドによりレジスタは設定されますが、動作しません。 n：1～255（お買い上げ時n=1）	ATS10=1↵ OK
ATS30=＜n＞	データの送受信をこの時間以上行わないと切断します。	本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ有効です。<n>は分単位で設定します。 n：0～255（お買い上げ時n=0） n=0は不活動タイマオフ	ATS30=3↵ OK
ATS103=＜n＞	着サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。	本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ有効です。 n=0：＊アスタリスク n=1：/スラッシュ（お買い上げ時） n=2：¥マークあるいはバックスラッシュ	ATS103=0↵ OK
ATS104=＜n＞	発サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。	本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ有効です。 n=0：#シャープ n=1：%パーセント（お買い上げ時） n=2：&アンド	ATS104=0↵ OK

次ページへつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT¥S	現在の設定されている各コマンドとSレジスタの内容を表示します。		AT¥S↵ E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 &E1 ¥V0 S000＝000 S002＝043 S003＝013 S004＝010 S005＝008 S006＝005 S007＝060 S008＝003 S010＝001 S030＝000 S103＝001 S104＝001 OK
AT¥V＜n＞	接続時の応答コード仕様を選択します。※1	本コマンドは、「ATX<n>」コマンドがn=0以外のときのみ有効です。 →P25 n=0：通信プロトコルリザルトコードを使用しない（お買い上げ時） n=1：通信プロトコルリザルトコードを使用する	AT¥V0↵ OK

※1 「&W」コマンドでFOMA端末に記録されます。
※2 「&F」「Z」コマンドによるリセットは行われません。
※3 「ATDN↵」や「ATDL↵」でリダイヤル発信ができます。
※4 「&W」コマンドを使用する前に「Z」コマンドを実行すると、最後に記録した状態に戻り、それまでの変更内容は消去されます。

切断理由一覧

■ パケット通信

値	理　由
27	APNが存在しないか、もしくは正しくありません。
30	ネットワークによって切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

■ 64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手側が呼出し中のため通信ができません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない処理速度を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、もしくは着信を受けました。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
10	SIM not inserted	FOMAカードがセットされていません。
15	SIM wrong	ドコモ以外のSIM（FOMAカードに相当するICカード）が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

ATコマンドの補足説明

■ コマンド名：+CGDCONT=［パラメータ］

- **概要**

  パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。
- **書式**

  +CGDCONT＝[<cid>[, "PPP" [, "<APN>"]]] ↵
- **パラメータ説明**

  <cid>：1～16

  <APN>：任意

※<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～16」が登録できます。お買い上げ時、<cid>=1には、moperaに接続するためのAPN（「mopera.ne.jp」）が、<cid>=3にはmopera Uに接続するためのAPN（「mopera.net」）が登録されています。<APN>は接続先を示す接続ごとの任意の文字列です。

- **実行例**

  「abc」というAPN名を登録する場合のコマンド（<cid>=3の場合）

  AT+CGDCONT=3, "PPP", "abc" ↵

  OK
- **パラメータを省略した場合の動作**

  AT+CGDCONT=

  すべての<cid>の設定をクリアします。ただし、「<cid>=1」と「<cid>=3」の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。

  AT+CGDCONT=<cid>

  指定された<cid>の設定をクリアします。ただし、「<cid>=1」と「<cid>=3」の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。

  AT+CGDCONT=？

  設定可能な値のリスト値を表示します。

  AT+CGDCONT？

  現在の設定値を表示します。

■ コマンド名：+CGEQMIN=[パラメータ]

- **概要**

  PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。
- **書式**

  AT+CGEQMIN=[<cid> [, , <Maximum bitrate UL> [, <Maximum bitrate DL>]]] ↵
- **パラメータ説明**

  <cid>：1～16

  <Maximum bitrate UL>

  　：なし（お買い上げ時）または64

  <Maximum bitrate DL>

  　：なし（お買い上げ時）または384

※<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～16」が登録できます。お買い上げ時、<cid>=1には、moperaに接続するための APN（「mopera.ne.jp」）が、<cid>=3にはmopera Uに接続するためのAPN（「mopera.net」）が登録されています。「Maximum bitrate UL」および「Maximum bitrate DL」では、FOMA端末と基地局間の上りおよび下りの最低通信速度（kbps）を設定します。「なし（お買い上げ時）」に設定した場合は、すべての速度を許容しますが、「64」および「384」を設定した場合、これらの速度以下の接続は許容されないため、パケット通信が接続されない場合がありますのでご注意ください。

次ページへつづく

- **実行例**
  - ①上り／下りすべての速度を許容する場合のコマンド（<cid>=2の場合）
    AT+CGEQMIN=2 ↵
    OK
  - ②上り64kbps／下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（<cid>=3の場合）
    AT+CGEQMIN=3,,64,384 ↵
    OK
  - ③上り64kbps／下りすべての速度のみ許容する場合のコマンド（<cid>=4の場合）
    AT+CGEQMIN=4,,64 ↵
    OK
  - ④上りすべての速度／下り384kbps速度のみ許容する場合のコマンド（<cid>=5の場合）
    AT+CGEQMIN=5,,,384 ↵
    OK
- **パラメータを省略した場合の動作**

  AT+CGEQMIN=

  すべての<cid>の設定をクリアします。

  AT+CGEQMIN=<cid>

  指定された<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。

  AT+CGEQMIN=？

  設定可能な値のリストを表示します。

  AT+CGEQMIN？

  現在の設定を表示します。

■ コマンド名：+CGEQREQ=［パラメータ］

- **概要**

  PPPパケット通信時の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
- **書式**

  AT+CGEQREQ=[<cid>] ↵
- **パラメータ説明**

  上り64kbps／下り384kbpsの速度で接続を要求するコマンドのみ設定可能です。各cidにはその内容がお買い上げ時に設定されています。

  <cid>：1～16

  ※<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～16」が登録できます。お買い上げ時、<cid>=1には、moperaに接続するための APN（「mopera.ne.jp」）が、<cid>=3にはmopera Uに接続するためのAPN（「mopera.net」）が登録されています。
- **実行例**

  （<cid>=3の場合）
  AT+CGEQREQ=3 ↵
  OK
- **パラメータを省略した場合の動作**

  AT+CGEQREQ=

  すべての<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。

  AT+CGEQREQ=<cid>

  指定された<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。

  AT+CGEQREQ=？

  設定可能な値のリスト値を表示します。

  AT+CGEQREQ？

  現在の設定を表示します。

リザルトコード

■ リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信が来ています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音の検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了　タイムアウトしました。
100※	RESTRICTION※	ネットワークが規制中です。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

※「RESTRICTION」（数字：100）が表示された場合は、通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。

■ 拡張リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
5	CONNECT 1200	FOMA端末－PC間速度1200bpsで接続しました。
10	CONNECT 2400	FOMA端末－PC間速度2400bpsで接続しました。
11	CONNECT 4800	FOMA端末－PC間速度4800bpsで接続しました。
13	CONNECT 7200	FOMA端末－PC間速度7200bpsで接続しました。
12	CONNECT 9600	FOMA端末－PC間速度9600bpsで接続しました。
15	CONNECT 14400	FOMA端末－PC間速度14400bpsで接続しました。
16	CONNECT 19200	FOMA端末－PC間速度19200bpsで接続しました。
17	CONNECT 38400	FOMA端末－PC間速度38400bpsで接続しました。
18	CONNECT 57600	FOMA端末－PC間速度57600bpsで接続しました。
19	CONNECT 115200	FOMA端末－PC間速度115200bpsで接続しました。
20	CONNECT 230400	FOMA端末－PC間速度230400bpsで接続しました。
21	CONNECT 460800	FOMA端末－PC間速度460800bpsで接続しました。

次ページへつづく

■ AT+CPIN?のリザルトコード

PIN2 状態 / PIN1状態	認証済み	入力待ち	ロック解除コード入力待ち	ロック状態
認証済み	READY	SIM PIN2	SIM PUK2	READY
入力待ち	SIM PIN1	SIM PIN1	SIM PIN1	SIM PIN1
ロック解除コード入力待ち	SIM PUK1	SIM PUK1	SIM PUK1	SIM PUK1
ロック状態	ERROR	ERROR	ERROR	ERROR

お知らせ

●ATV<n>コマンド（→P25）がn=1に設定されている場合には英文字表記（お買い上げ時）、n=0に設定されている場合には数字表記でリザルトコードが表示されます。

●従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA端末−PC間はFOMA USB接続ケーブルで接続されているため、実際の接続速度と異なります。

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	PPPoverUDで接続（BC=UDI、+CBST=116,1,0）
5	PACKET	パケットで接続

■ リザルトコード表示例

ATX 0が設定されているとき

AT￥Vコマンド（→P27）の設定に関わらず、接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。

文字表示例 ：ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT

数字表示例 ：ATD＊99＊＊＊1#
1

ATX 4が設定されているとき

- ATX4、AT￥V0が設定されている場合（お買い上げ時）
  接続完了のときに、CONNECT<FOMA端末−PC間の速度>の書式で表示します。
  文字表示例 ：ATD＊99＊＊＊1#
  CONNECT 460800
  数字表示例 ：ATD＊99＊＊＊1#
  121
- ATX4、AT￥V1が設定されている場合
  接続完了のときに、次の書式で表示します。
  CONNECT<FOMA端末−PC間の速度><通信プロトコル><接続先APN>／<上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度>／<下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度>※
  文字表示例 ：ATD＊99＊＊＊1#
  CONNECT 460800 PACKET mopera.ne.jp/64/384
  （mopera.ne.jpに、上り最大64kbps、下り最大384kbpsで接続したことを表します。）
  数字表示例 ：ATD＊99＊＊＊1#
  1215

※ AT￥V1が設定されている場合、<接続先APN>以降はパケットで接続している場合のみ表示されます。